

過疎地域等における集落の状況に関する 現況把握調査報告書

令和7年3月

国土交通省 国土政策局 総合計画課

目 次

第1章 調査の概要	1-1
1-1. 調査の趣旨	
1-2. 本調査の対象と用語等について	
第2章 集落の現状把握	2-1
2-1. 調査の概要	
2-2. 調査の方法	
2-3. 過疎地域等における集落の現状	
2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化	
2-5. その他	
第3章 集落対策等に関する調査	3-1
3-1. 調査の概要	
3-2. 調査の方法	
3-3. 調査結果（市町村）	
3-4. 調査結果（都道府県）	
第4章 集落の現状及び集落対策等に関する事例調査	4-1
4-1. 調査の概要	
4-2. 調査結果	
参考資料1 集落の現状把握のための調査票	参考-1
参考資料2 市町村アンケート調査票	参考-5
参考資料3 都道府県アンケート調査票	参考-15
参考資料4 調査実施時における質問及び対応表	参考-21
参考資料5 集落データ調査【B票】の基礎処理内容及び今後の課題	参考-27

図表索引

第2章 集落の現状把握

※下表のページ番号の表記は章番号(2-)を省略している。
※冒頭に★の付く図表は今回調査で新たに追加。

図表タイトル	頁
2-2. 調査の方法	
図表 2-1 調査対象市町村の種類	1
図表 2-2 調査対象市町村数	2
図表 2-3 調査対象区域(旧市町村)数	2
図表 2-4 調査項目(集落データ収集項目)の概要	3
図表 2-5 集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧	4
図表 2-6 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 回答市町村数・区域(旧市町村)数	11
図表 2-7 調査対象地域と各節での集計範囲	12
2-3. 過疎地域等における集落の現状	
図表 2-8 市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【全体】	13
図表 2-9 地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【過疎地域のみ】	14
図表 2-10 現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】	15
図表 2-11 地域指定別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】	15
図表 2-12 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【過疎地域のみ】	16
図表 2-13 地域区分別 集落数【全体】	17
図表 2-14 地域指定別・地域区分別 集落数【全体】	17
図表 2-15 地方ブロック別・地域区分別 集落数【過疎地域のみ】	18
図表 2-16 集落類型別 集落数【全体】	19
図表 2-17 地域指定別・集落類型別 集落数【全体】	19
図表 2-18 地方ブロック別・集落類型別 集落数【過疎地域のみ】	20
図表 2-19 地域区分別・集落類型別 集落数【過疎地域のみ】	20
図表 2-20 市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	21
図表 2-21 地域指定別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	21
図表 2-22 地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	22
図表 2-23 地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	23
図表 2-24 地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	24
図表 2-25 地域指定別・地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】	24
図表 2-26 地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】	25
図表 2-27 人口規模別 集落数【全体】	26
図表 2-28 地域指定別・人口規模別 集落数【全体】	26
図表 2-29 地方ブロック別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	27
図表 2-30 集落類型別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	27
図表 2-31 地域区分別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	28
図表 2-32 役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	28
★図表 2-33 新幹線駅までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】	28
★図表 2-34 特急停車駅までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】	29
★図表 2-35 空港までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】	29
★図表 2-36 高速道路等のICまでの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】	30
図表 2-37 65歳以上人口割合別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	30
図表 2-38 転入者の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	31
図表 2-39 サポート人材の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】	31
図表 2-40 市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	32
図表 2-41 地域指定別・市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	32
図表 2-42 地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	33
図表 2-43 地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	34
図表 2-44 地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	35
図表 2-45 地域指定別・地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】	35
図表 2-46 地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】	36
図表 2-47 世帯数規模別 集落数【全体】	37
図表 2-48 地域指定別・世帯数規模別 集落数【全体】	37

図表タイトル	頁
図表 2-49 地方ブロック別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	38
図表 2-50 集落類型別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	38
図表 2-51 地域区分別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	39
図表 2-52 役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	39
★図表 2-53 新幹線駅までの距離別・世帯数規模別集落数 【過疎地域のみ】	39
★図表 2-54 特急停車駅までの距離別・世帯数規模別集落数 【過疎地域のみ】	40
★図表 2-55 空港までの距離別・世帯数規模別集落数 【過疎地域のみ】	40
★図表 2-56 高速道路等の IC までの距離別・世帯数規模別集落数 【過疎地域のみ】	41
図表 2-57 65 歳以上人口割合別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	41
図表 2-58 転入者の有無別・世帯数規模別 集落数 【過疎地域のみ】	42
図表 2-59 サポート人材の有無別・世帯規模別 集落数 【過疎地域のみ】	42
図表 2-60 集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】	43
図表 2-61 地域指定別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】	43
図表 2-62 地方ブロック別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	44
図表 2-63 集落類型別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	44
図表 2-64 地域区分別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	45
図表 2-65 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	45
★図表 2-66 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	46
★図表 2-67 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	46
★図表 2-68 空港までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	47
★図表 2-69 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	47
図表 2-70 転入者の有無別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	48
図表 2-71 集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】	49
図表 2-72 地域指定別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】	49
図表 2-73 地方ブロック別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	50
図表 2-74 集落類型別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	50
図表 2-75 地域区分別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	51
図表 2-76 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	51
★図表 2-77 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	52
★図表 2-78 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	52
★図表 2-79 空港までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	53
★図表 2-80 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	53
図表 2-81 転入者の有無別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	54
図表 2-82 集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【全体】	55
図表 2-83 地域指定別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【全体】	55
図表 2-84 地方ブロック別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	56
図表 2-85 集落類型別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	56
図表 2-86 地域区分別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	57
図表 2-87 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	57
★図表 2-88 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	58
★図表 2-89 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	58
★図表 2-90 空港までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	59
★図表 2-91 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	59
図表 2-92 転入者の有無別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	60
図表 2-93 集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【全体】	61
図表 2-94 地域指定別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【全体】	61
図表 2-95 地方ブロック別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	62
図表 2-96 集落類型別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	62
図表 2-97 地域区分別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	63
図表 2-98 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	63
★図表 2-99 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	64
★図表 2-100 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	64
★図表 2-101 空港までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	65
★図表 2-102 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	65
図表 2-103 転入者の有無別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	66
図表 2-104 地形的末端性別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	66
図表 2-105 65 歳以上人口割合が高い集落の主要特性 【全体】	67

図表タイトル	頁
図表 2-106 65 歳以上人口割合が高い集落の主要特性 【過疎地域のみ】	68
図表 2-107 集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【全体】	69
図表 2-108 地域指定別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【全体】	69
図表 2-109 地方ブロック別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	70
図表 2-110 集落類型別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	70
図表 2-111 地域区分別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	71
図表 2-112 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	71
★図表 2-113 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	72
★図表 2-114 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	72
★図表 2-115 空港までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	73
★図表 2-116 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別集落数 【過疎地域のみ】	73
図表 2-117 転入者の有無別・集落人口に占める 75 歳以上人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】	74
図表 2-118 75 歳以上人口割合の高い集落の主要特性 【全体】	75
図表 2-119 75 歳以上人口割合の高い集落の主要特性 【過疎地域のみ】	76
図表 2-120 転入者の有無別 集落数 【全体】	77
図表 2-121 地域指定別・転入者の有無別 集落数 【全体】	77
図表 2-122 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	78
図表 2-123 集落類型別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	79
図表 2-124 地域区分別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	79
図表 2-125 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	80
図表 2-126 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	80
図表 2-127 65 歳以上人口割合別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	81
図表 2-128 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	81
★図表 2-129 新幹線駅までの距離別・転入者の有無別集落数 【過疎地域のみ】	82
★図表 2-130 特急停車駅までの距離別・転入者の有無別集落数 【過疎地域のみ】	82
★図表 2-131 空港までの距離別・転入者の有無別集落数 【過疎地域のみ】	83
★図表 2-132 高速道路等の IC までの距離別・転入者の有無別集落数 【過疎地域のみ】	83
図表 2-133 近年転入がみられる集落の主要特性 【全体】	84
図表 2-134 近年転入がみられる集落の主要特性 【過疎地域のみ】	85
図表 2-135 子育て世帯の転入の有無別 集落数 【全体】	86
図表 2-136 地域指定別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【全体】	86
図表 2-137 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	87
図表 2-138 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	87
図表 2-139 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	88
図表 2-140 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	88
★図表 2-141 新幹線駅までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数 【過疎地域のみ】	89
★図表 2-142 特急停車駅までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数 【過疎地域のみ】	89
★図表 2-143 空港までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数 【過疎地域のみ】	90
★図表 2-144 高速道路等の IC までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数 【過疎地域のみ】	90
図表 2-145 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	91
図表 2-146 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【過疎地域のみ】	91
図表 2-147 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性 【全体】	92
図表 2-148 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性 【過疎地域のみ】	93
図表 2-149 地形的末端性別 集落数 【全体】	94
図表 2-150 地域指定別・地形的末端性別 集落数 【全体】	94
図表 2-151 地方ブロック別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	95
図表 2-152 集落類型別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	95
図表 2-153 地域区分別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	96
図表 2-154 集落の人口規模別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	97
図表 2-155 集落の世帯数規模別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	97
図表 2-156 65 歳以上人口割合別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	98
図表 2-157 転入者の有無別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】	98
図表 2-158 役場(本庁・支所)までの距離別 集落数 【全体】	99
図表 2-159 地域指定別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数 【全体】	99
図表 2-160 地方ブロック別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数 【過疎地域のみ】	100
図表 2-161 集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数 【過疎地域のみ】	100
図表 2-162 地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数 【過疎地域のみ】	101

図表タイトル	頁
図表 2-163 集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	102
図表 2-164 集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	102
図表 2-165 65歳以上人口割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	103
図表 2-166 転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】	103
★図表 2-167 新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【全体】	104
★図表 2-168 地域指定別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【全体】	104
★図表 2-169 地方ブロック別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	105
★図表 2-170 集落類型別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	106
★図表 2-171 地域区分別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	106
★図表 2-172 集落の人口規模別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	106
★図表 2-173 集落の世帯数規模別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	107
★図表 2-174 65歳以上人口割合別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	107
★図表 2-175 転入者の有無別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】	107
★図表 2-176 空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【全体】	108
★図表 2-177 地域指定別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【全体】	108
★図表 2-178 地方ブロック別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	109
★図表 2-179 集落類型別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	109
★図表 2-180 地域区分別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	109
★図表 2-181 集落の人口規模別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	110
★図表 2-182 集落の世帯数規模別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	110
★図表 2-183 65歳以上人口割合別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	110
★図表 2-184 転入者の有無別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】	111
図表 2-185 生活サービス機能が立地している集落数【全体】	112
図表 2-186 地域指定別 生活サービス機能が立地している集落数【全体】	112
図表 2-187 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	113
図表 2-188 集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	113
図表 2-189 地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	114
図表 2-190 役場(本庁)までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	114
★図表 2-191 新幹線駅までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	115
★図表 2-192 特急停車駅までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	115
★図表 2-193 空港までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	115
★図表 2-194 高速道路等のICまでの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	116
図表 2-195 集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	116
図表 2-196 集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	117
図表 2-197 65歳以上人口割合別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	117
図表 2-198 転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	117
図表 2-199 地形的末端性別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】	118
図表 2-200 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】	119
図表 2-201 地域指定別 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】	119
★図表 2-202 地域区分別・サポート人材の活動状況別集落数【全体】	120
図表 2-203 地方ブロック別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	121
図表 2-204 集落類型別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	121
図表 2-205 地域区分別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	122
図表 2-206 役場(本庁)までの距離別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	122
★図表 2-207 新幹線駅までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】	123
★図表 2-208 特急停車駅までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】	123
★図表 2-209 空港までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】	124
★図表 2-210 高速道路等のICまでの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】	124
図表 2-211 集落の人口規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	125
図表 2-212 集落の世帯数規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	125
図表 2-213 65歳以上人口割合別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	126
図表 2-214 転入者の有無別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】	126
図表 2-215 資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】	127
図表 2-216 地域指定別・資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】	127
図表 2-217 地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	128
図表 2-218 集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	128
図表 2-219 地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	129

図表タイトル	頁
図表 2-220 集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	129
図表 2-221 集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	130
図表 2-222 65歳以上人口割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	130
図表 2-223 転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	131
図表 2-224 生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】	132
図表 2-225 地域指定別・生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】	132
図表 2-226 地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	133
図表 2-227 集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	133
図表 2-228 地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	134
図表 2-229 集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	134
図表 2-230 集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	135
図表 2-231 65歳以上人口割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	135
図表 2-232 転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	136
図表 2-233 生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】	137
図表 2-234 地域指定別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】	137
図表 2-235 地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	138
図表 2-236 集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	138
図表 2-237 地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	139
図表 2-238 集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	139
図表 2-239 集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	140
図表 2-240 65歳以上人口割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	140
図表 2-241 転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	141
図表 2-242 集落機能の維持状況別 集落数【全体】	142
図表 2-243 地域指定別・集落機能の維持状況別 集落数【全体】	142
図表 2-244 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	143
図表 2-245 集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	143
図表 2-246 地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	144
図表 2-247 集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	144
図表 2-248 集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	145
図表 2-249 65歳以上人口割合別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	146
図表 2-250 転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】	146
図表 2-251 集落機能の維持状況別にみた集落特性【全体】	147
図表 2-252 集落機能の維持状況別にみた集落特性【過疎地域のみ】	148
図表 2-253 地域運営組織の有無別 集落数【全体】	149
図表 2-254 地域指定別・地域運営組織の有無別 集落数【全体】	149
図表 2-255 地方ブロック別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	150
図表 2-256 集落類型別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	150
図表 2-257 地域区分別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	151
図表 2-258 集落の人口規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	151
図表 2-259 集落の世帯数規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	152
図表 2-260 65歳以上人口割合別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	152
図表 2-261 転入者の有無別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	153
図表 2-262 サポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】	153
図表 2-263 今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】	154
図表 2-264 地域指定別・今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】	154
図表 2-265 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	155
図表 2-266 集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	155
図表 2-267 地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	156
図表 2-268 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	156
図表 2-269 集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	156
図表 2-270 集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	157
図表 2-271 65歳以上人口割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	157
図表 2-272 転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	158
図表 2-273 集落の無人化可能性別 集落数【全体】	159
図表 2-274 地域指定別・集落の無人化可能性別 集落数【全体】	159
★図表 2-275 サポート人材の活動状況別・集落の消滅可能性別集落数【全体】	160
図表 2-276 地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	161

図表タイトル	頁
図表 2-277 集落類型別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	161
図表 2-278 地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	162
図表 2-279 地形的末端性別・無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	162
図表 2-280 集落の人口規模別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	163
図表 2-281 集落の世帯数規模別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	163
図表 2-282 65歳以上人口割合別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-283 転入者の有無別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-284 サポート人材の活動状況別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】	164
図表 2-285 今後の無人化可能性別にみた集落特性【全体】	165
図表 2-286 今後の無人化可能性別にみた集落特性【過疎地域のみ】	166
図表 2-287 集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【全体】	167
図表 2-288 地域指定別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【全体】	167
図表 2-289 地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	168
図表 2-290 集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	168
図表 2-291 地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	169
図表 2-292 集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	169
図表 2-293 集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	170
図表 2-294 65歳以上人口割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	170
図表 2-295 転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】	171
図表 2-296 地域指定別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【全体】	172
図表 2-297 地方ブロック別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	173
図表 2-298 集落類型別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	173
図表 2-299 地域区分別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	174
図表 2-300 地形的末端性別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【無人化が危惧される集落】	174
図表 2-301 集落の人口規模別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	174
図表 2-302 集落の世帯数規模別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	175
図表 2-303 65歳以上人口割合別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	175
図表 2-304 転入者の有無別・最寄りの行政窓口, 病院, 商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】	175
図表 2-305 地域指定別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【全体】	176
図表 2-306 地方ブロック別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	177
図表 2-307 集落類型別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	178
図表 2-308 地域区分別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	178
図表 2-309 地形的末端性別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【無人化が危惧される集落】	178
図表 2-310 集落の人口規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	179
図表 2-311 集落の世帯数規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	179
図表 2-312 65歳以上人口割合別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	180
図表 2-313 転入者の有無別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】	180
図表 2-314 地域指定別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【全体】	181
図表 2-315 地方ブロック別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	182
図表 2-316 集落類型別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	182
図表 2-317 地域区分別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	183
図表 2-318 地形的末端性別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	183
図表 2-319 集落の人口規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	183
図表 2-320 集落の世帯数規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	184
図表 2-321 65歳以上人口割合別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	184
図表 2-322 転入者の有無別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】	184
★図表 2-323 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(無人化が危惧される集落)【全体】	185
★図表 2-324 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(当面存続するとみられる集落)【全体】	185
★図表 2-325 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(無人化が危惧される集落)【過疎地域のみ】	186
★図表 2-326 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(当面存続するとみられる集落)【過疎地域のみ】	186
2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化	
図表 2-327 地域指定別 前回調査対象地域における集落数の推移【全体・前回調査対象地域】	187
図表 2-328 地方ブロック別 前回調査対象地域における集落の推移【前回調査時の過疎地域のみ】	188
図表 2-329 地域指定別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【全体・前回調査対象地域】	189
図表 2-330 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【前回調査の過疎地域のみ】	190
図表 2-331 地域指定別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移【全体・前回調査対象地域】	191
図表 2-332 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移【前回調査の過疎地域のみ】	192

図表タイトル	頁
図表 2-333 前回調査対象地域における集落の人口規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】	193
図表 2-334 前回調査対象地域における地域区分別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	194
図表 2-335 <参考:前回調査>地域区分別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】	194
図表 2-336 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	195
図表 2-337 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】	195
図表 2-338 前回調査対象地域における集落の世帯規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】	196
図表 2-339 前回調査対象地域における地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	197
図表 2-340 <参考:前回調査>地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】	197
図表 2-341 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	198
図表 2-342 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】	198
図表 2-343 前回調査対象地域における人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	199
図表 2-344 前回調査対象地域における地方ブロック別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	200
図表 2-345 前回調査対象地域における集落類型別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	200
図表 2-346 前回調査対象地域における地域区分別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	201
図表 2-347 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	201
図表 2-348 前回調査対象地域における地形的末端性別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	201
図表 2-349 前回調査対象地域における65歳以上人口割合別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	202
図表 2-350 前回調査対象地域における世帯増減率(R06/R01)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	203
図表 2-351 前回調査対象地域における地方ブロック別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	204
図表 2-352 前回調査対象地域における集落類型別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	204
図表 2-353 前回調査対象地域における地域区分別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	205
図表 2-354 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	205
図表 2-355 前回調査対象地域における地形的末端性別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	205
図表 2-356 前回調査対象地域における高齢者割合別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	206
図表 2-357 前回調査対象地域における高齢者割合別 集落数【全体・前回調査対象地域】	207
図表 2-358 前回調査対象地域における地方ブロック別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	207
図表 2-359 前回調査対象地域における地域区分別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	208
図表 2-360 前回調査対象地域における役場(本庁)からの距離別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	208
図表 2-361 前回調査対象地域における集落機能の維持状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】	209
図表 2-362 前回調査対象地域における地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	210
図表 2-363 <参考:前回調査>地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】	210
図表 2-364 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	211
図表 2-365 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】	211
図表 2-366 前回調査対象地域における今後の人口動向の見通し別 集落数【全体・前回調査対象地域】	212
図表 2-367 前回調査対象地域における地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	213
図表 2-368 <参考:前回調査>地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】	213
図表 2-369 前回調査対象地域における地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	214
図表 2-370 <参考:前回調査>地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】	214
図表 2-371 前回調査対象地域における集落の無人化可能性別 集落数【全体・前回調査対象地域】	215
図表 2-372 前回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	216
図表 2-373 <参考:前回調査>地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域等】	216
図表 2-374 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	217
図表 2-375 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域等】	217
図表 2-376 前回調査対象地域における集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数【全体・前回調査対象地域】	218
★図表 2-377 前々回調査対象地域における集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【全体・前々回調査対象地域】	219
図表 2-378 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	220
★図表 2-379 前々回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】	221
図表 2-380 前回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	222
★図表 2-381 前々回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】	222
図表 2-382 前回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【全体・前回調査対象地域】	223
★図表 2-383 前々回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【全体・前々回調査対象地域】	224
図表 2-384 地方ブロック別・前回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【前回調査の過疎地域のみ】	225
★図表 2-385 地方ブロック別・前々回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【前々回調査の過疎地域のみ】	225
図表 2-386 前回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	226
★図表 2-387 前々回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R06/H27)別集落数【全体・前々回調査対象地域】	226
図表 2-388 前回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	227
★図表 2-389 前々回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R06/H27)別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】	227

図表タイトル	頁
図表 2-390 前回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】	228
★図表 2-391 前々回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R06/H27)別集落数【全体・前々回調査対象地域】	228
図表 2-392 前回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	229
★図表 2-393 前々回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R06/H27)別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】	229
図表 2-394 前回調査対象地域における前回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【全体・前回調査対象地域】	230
★図表 2-395 前々回調査対象地域における前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【全体・前々回調査対象地域】	231
図表 2-396 前回調査対象地域における前回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【前回調査の過疎地域のみ】	232
★図表 2-397 前々回調査対象地域における前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【前々回調査の過疎地域のみ】	233
図表 2-398 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】	234
図表 2-399 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	234
図表 2-400 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【全体・前回調査対象地域】	235
図表 2-401 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】	235
2-5. その他	
図表 2-402 集落が無人化した市町村数及び過疎区分別 無人化集落数【全体】	236
図表 2-403 地域指定別・過疎区分別 無人化集落数【全体】	236
図表 2-404 地方ブロック別・集落が無人化した市町村数及び過疎区分別無人化集落数【過疎地域のみ】	237
図表 2-405 前回調査時の無人化可能性の予測別にみた無人化集落の主要特性【過疎地域のみ】	238
★図表 2-406 前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた無人化集落の主要特性【過疎地域のみ】	239
図表 2-407 無人化理由別 無人化集落数【全体】	240
図表 2-408 地方ブロック別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】	241
図表 2-409 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】	241
★図表 2-410 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化理由別無人化集落数【過疎地域のみ】	242
図表 2-411 集落類型別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】	242
図表 2-412 地域区分別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】	242
図表 2-413 無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【全体】	243
図表 2-414 地方ブロック別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】	244
図表 2-415 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】	245
★図表 2-416 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落住民の転居先別無人化集落数【過疎地域のみ】	245
図表 2-417 集落類型別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】	245
図表 2-418 地域区分別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】	246
図表 2-419 無人化時期別 無人化集落数【全体】	247
図表 2-420 地方ブロック別・無人化時期別 無人化集落数【過疎地域のみ】	248
図表 2-421 地域資源別・無人化集落の管理状況別 無人化集落数【全体】	249
図表 2-422 地域資源別・無人化集落の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	249
図表 2-423 地方ブロック別・無人化集落の森林・林地の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	250
図表 2-424 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の森林・林地の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	250
★図表 2-425 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の森林・林地の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	251
図表 2-426 地方ブロック別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	252
図表 2-427 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	252
★図表 2-428 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	253
図表 2-429 地方ブロック別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	254
図表 2-430 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	254
★図表 2-431 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	255
図表 2-432 地方ブロック別・無人化集落の住宅の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	256
図表 2-433 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の住宅の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	256
★図表 2-434 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の住宅の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	257
図表 2-435 地方ブロック別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	258
図表 2-436 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	258
★図表 2-437 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	259
図表 2-438 地方ブロック別・無人化集落の用排水路等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	260
図表 2-439 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の用排水路等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	260
★図表 2-440 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の用排水路等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	261
図表 2-441 地方ブロック別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	262
図表 2-442 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	262
★図表 2-443 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	263
図表 2-444 地方ブロック別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	264
図表 2-445 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	264

図表タイトル	頁
★図表 2-446 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	265
図表 2-447 地方ブロック別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	266
図表 2-448 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	266
★図表 2-449 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】	267
図表 2-450 無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数【全体】	268
図表 2-451 地方ブロック別・無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】	269

第3章 集落対策等に関する調査

※下表のページ番号の表記は章番号(3-)を省略している。

図表タイトル	頁
3-2. 調査の方法	
図表 3-1 過疎地域等における集落対策等に関するアンケート調査 調査項目	2
3-3. 調査結果(市町村)	
図表 3-2 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)	4
図表 3-3 地域指定別 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)	5
図表 3-4 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(%)	6
図表 3-5 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(従来の分類)	6
図表 3-6 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合の経年比較(新たな分類による再集計)	6
図表 3-7 多くの集落で発生している問題・現象のうち特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)	7
図表 3-8 地域指定別 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)	8
図表 3-9 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題・現象の分野別回答割合	8
図表 3-10 集落対策の実施体制	9
図表 3-11 集落対策に係る専任職員の平均配置人数	9
図表 3-12 集落対策に係る専任職員を置いていない市町村における集落対策の実施体制(記述回答より整理)	9
図表 3-13 集落支援員制度の活用状況	10
図表 3-14 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)	10
図表 3-15 集落支援員制度を活用していない理由(記述回答より整理)	11
図表 3-16 集落支援員制度の導入にあたっての課題	11
図表 3-17 集落支援員制度に対する要望等(記述回答より整理)	12
図表 3-18 地域担当職員制度の実施状況	12
図表 3-19 地域担当職員の平均配置人数	13
図表 3-20 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)の活用状況	13
図表 3-21 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)に期待する活動	14
図表 3-22 集落調査の実施状況	15
図表 3-23 集落の実態を把握するために実施している調査の概要	16
図表 3-24 集落の維持・保全に向けた行政施策の対象	17
図表 3-25 集落の維持・保全に向けた行政施策の対策分野	17
図表 3-26 集落の維持・保全に向けた行政施策事例の内容(記述回答より整理)	18
図表 3-27 NPO 等による集落機能の維持・保全に係る取組事例	19
図表 3-28 NPO 等による集落活性化事例の内容(記述回答より整理)	19
図表 3-29 無居住化する恐れがある集落に対する住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の実施状況	20
図表 3-30 事業対象別でみた住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の内容	20
図表 3-31 ①無居住化する恐れがある集落の住民に対する生活維持対策事業	21
図表 3-32 ②全ての集落住民を対象とした生活維持対策事業	21
図表 3-33 無居住化する恐れがある集落の保全活動の実施状況	22
図表 3-34 無居住化する恐れがある集落に対する保全活動の内容	22
図表 3-35 今後の集落機能の維持・再編成の見通し	23
図表 3-36 集落移転事業の実施状況	24
図表 3-37 集落ネットワーク圏の設定状況	24
図表 3-38 形成されている(形成を予定している)集落ネットワーク圏のエリア	25
図表 3-39 集落ネットワーク圏の取組事例の概要	25
図表 3-40 集落ネットワーク圏の取組に対する課題	26
図表 3-41 集落ネットワーク圏の取組に対する課題解決のために国等に求めること(記述回答より整理)	26
図表 3-42 集落の維持・活性化に向け国に期待する役割	27
3-4. 調査結果(都道府県)	
図表 3-43 都道府県における集落対策の実施体制	28
図表 3-44 都道府県における集落対策に係る専任職員の所属と活動内容	28
図表 3-45 都道府県における集落対策の兼務状況(記述回答より整理)	29

図表タイトル	頁
図表 3-46 都道府県における集落支援員制度の活用状況	29
図表 3-47 都道府県として実施した集落支援員制度の活用内容(記述回答より整理)	30
図表 3-48 集落支援員制度の課題や国への要望等(記述回答より整理)	31
図表 3-49 都道府県における外部サポート人材の活用状況	31
図表 3-50 都道府県が外部サポート人材に期待する活動内容	32
図表 3-51 都道府県による集落の現状把握調査の実施状況	33
図表 3-52 都道府県が集落に対して直接支援している対策分野	33
図表 3-53 都道府県が集落に対して直接実施している対策の内容(記述回答より整理)	33
図表 3-54 都道府県が市町村に補助を行っている施策	34
図表 3-55 都道府県が市町村に補助を行っている施策の内容(記述回答より整理)	34
図表 3-56 都道府県が NPO や住民団体を通じて支援している施策	35
図表 3-57 都道府県が NPO や住民団体を通じて支援している施策の内容(記述回答より整理)	35
図表 3-58 集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割や施策(記述回答より整理)	36
図表 3-59 都道府県が国に期待する集落対策	36

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1-1. 調査の趣旨

総務省と国土交通省ではこれまで、過疎地域等の集落の状況を把握するため、平成18年度に「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」を、平成22年度、平成27年度、令和元年度には「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」（以下、令和元年度調査を「前回調査」という。）を両省の合同調査として実施してきた。前回調査によると、過疎地域等の条件不利地域においては、人口減少や少子・高齢化の進展により小規模の集落や高齢者割合の高い集落が増える傾向にあり、約5%の集落が今後10年以内又はいずれかの時期に無居住化する可能性があることが認識されていることが明らかとなっている。

また、前回調査時点における過疎地域関連法であった「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で期限を迎え、新たに令和3年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行される等の法改正が行われ、今後も引き続き過疎地域等に対する総合的かつ計画的な対策の実施が求められている。

こうしたことを踏まえ、本調査では、過疎地域をはじめとする条件不利地域において、前回調査から5年が経過した時点における集落の最新状況を把握し、持続可能な過疎地域等の集落のあり方等の検討に資することを目的として、全国の過疎地域市町村等に対してアンケート調査を実施した。

また、令和2年4月に過疎問題懇談会がとりまとめた提言において、過疎地域については、食料・水・エネルギーの供給、心のふるさと、多様な生態系保全などの他、「先進的な少数社会（多自然型低密度居住地域）として国土の価値を發揮」、「食、生活、芸能、文化などの多様な価値の発展」、「都市部の被災の低下、災害リスクへの備えの役割」等の価値・役割が存在し、これらの価値・役割はSDGsで示されている考え方と親和性が極めて高く、過疎地域と都市が共生の関係になるよう国民的合意形成が重要であることが示されている。

このため、本調査は、過疎地域をはじめとする条件不利地域を対象として集落の現況を総合的に把握し、前回調査で把握された集落の状況との比較や地域指定別の分析を行うとともに、将来的に無人化が危惧されている集落において集落住民の生活の質（QOL）の維持に向けた課題等を把握し、持続可能な過疎地域等の集落対策のあり方や今後の施策の方向性の検討に資することを目的として実施したものである。

1-2. 本調査の対象と用語等について

(1) 本調査における対象市町村

本調査は、前回調査における各集落の現状についてフォローアップするとともに、過疎地域のみならず条件不利地域における集落の全国的な実態を明らかにすることを目的としている。

このため、令和6（2024）年4月1日現在の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（以下「持続的発展支援特措法」という。）に基づく過疎地域市町村のほか、以下の関係各法により指定される地域を有する全市町村を対象とした。

図表1-1 調査対象市町村の種類

地域指定	調査対象市町村		調査対象区域
過疎地域等	持続的発展支援	過疎地域市町村	市町村全域
	特措法による	過疎地域とみなされる市町村	
	過疎地域市町村	過疎地域とみなされる区域を有する市町村	過疎地域とみなされる区域
振興山村	山村振興法に基づく 振興山村 を有する市町村		それぞれの地域に指定されている区域 全域指定＝市町村全域 一部指定＝当該指定区域
離島振興対策実施地域	離島振興法に基づく 離島振興対策実施地域 を有する市町村		
半島振興対策実施地域	半島振興法に基づく 半島振興対策実施地域 を有する市町村		
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく 特別豪雪地帯 を有する市町村		

図表1-2 集落実態調査の対象区域

市町村の過疎指定状況	区域単位の過疎指定状況	集落実態調査の対象区域	
		他の4法による地域指定区域あり	他の4法による地域指定区域なし
過疎	(過疎)	全域	全域
みなし過疎	(みなし過疎)	全域	全域
一部過疎	過疎区域	全域	全域
	非過疎区域	他の地域指定区域	(調査対象外)
非過疎	(非過疎)	他の地域指定区域	(調査対象外)

調査対象市町村は 1,085 市町村*であり、このうち 882 市町村は過疎地域市町村、203 市町村は非過疎地域市町村である。

本調査では、前回調査同様、過疎地域以外の地域振興関連 4 法の指定地域も対象としたが、全対象市町村のうち過疎地域のみ指定されており、他の 4 法の指定は受けていない市町村は 167 市町村 (15.4%) であり、65.9%にあたる 715 市町村は、過疎地域に加えこれら 4 法の指定地域のいずれかの指定を受けている。このうち、過疎地域との重複率が最も高いのは振興山村であり、全過疎地域市町村の約 7 割 (583 市町村) が振興山村を有している。

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、平成 27 年 4 月 30 日現在(前々回調査時点)、全域が避難指示区域にあり、集落実態調査の実施が困難と思われたため前々回調査から対象外とされている 5 町村(檜葉町、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村)(うち 3 町村(浪江町、葛尾村、飯館村)が過疎地域市町村)は、今回調査でも対象外とした。

図表 1-3 調査対象市町村数

	調査対象市町村 合計	過疎地域			計	非過疎地域		計
		過疎	みなし過疎	一部過疎		R1過疎	R1非過疎	
調査対象 現市町村数	1,085	710	14	158	882	34	169	203
過疎のみ、他の地域指定なし	167	134	1	32	167	-	-	-
地域指定あり	918	576	13	126	715	34	169	203
振興山村	729	465	13	105	583	31	115	146
離島	111	57	0	20	77	7	27	34
半島	194	132	3	24	159	3	32	35
特別豪雪	201	157	2	17	176	5	20	25

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前々回調査時点で避難指示区域にあった 5 町村(檜葉町、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村)は前回と同様に、今回も調査対象外とした。

図表 1-4 調査対象区域(旧市町村)数

	調査対象区域 合計	過疎地域			計	非過疎地域		計
		過疎	みなし過疎	一部過疎		一部過疎の 非過疎区域	非過疎 市町村	
調査対象 区域(旧市町村)数	2,065	1,279	64	353	1,696	96	273	369
過疎のみ、他の地域指定なし	432	284	22	126	432	-	-	-
地域指定あり	1,633	995	42	227	1,264	96	273	369
振興山村	1,188	736	38	161	935	63	190	253
離島	175	104	0	22	126	13	36	49
半島	379	251	11	46	308	23	48	71
特別豪雪	280	201	6	31	238	5	37	42

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前々回調査時点で避難指示区域にあった 5 町村(檜葉町、大熊町、浪江町、葛尾村、飯館村)は前回と同様に、今回も調査対象外とした。

※甲府市と富士河口湖町に分村合併した旧上九一色村はそれぞれ 1 区域として集計した。

(2)本調査で用いた用語

本調査で用いた各用語の定義は以下のとおりである。

用 語	定 義
集 落	本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位とする。(農業センサスにおける農業集落とは異なる。)
基礎集落	「基礎集落」とは、地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落のことを指す。 概ね世帯数が少なく、中心集落までの距離が大きい集落が多い傾向がある。
基幹集落	「基幹集落」とは、基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となつて存在している集落を指す。 主として谷筋の分岐点やその他交通上の要所となるような地域に分布する傾向がある。
中心集落	「中心集落」とは、地域の中心的な集落であり、基礎・基幹集落の上位に位置づけられ、古くから地域の要所となつていた集落であり、役場等の行政機能、事業所等の集積が見られる集落を指す。
地形的末端集落	立地条件から見て地形的に行き止まりの集落を便宜上「地形的末端集落」と定義する。
地域区分	本調査では、各集落を農業地域類型に基づき、以下の4つの地域区分に分類する。
山間地	山間農業地域。林野率が80%以上の集落。
中間地	中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。
平地	平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。
都市的地域	都市的地域。DID面積のある集落。
集落機能	本調査では、象徴的な集落機能として、以下の3つの機能に整理する。
資源管理機能	水田や山林などの地域資源の維持保全に係る集落機能を指す。
生産補完機能	農林水産業等の生産に際しての草刈、道普請などの相互扶助機能を指す。
生活扶助機能	冠婚葬祭など日常生活における相互扶助機能を指す。
集落機能の維持・再編成	「集落機能の維持・再編成」とは、近隣の集落との統合・合併や全域的な行政区の変更、小学校区単位などでの新たな広域的組織の設立、中心集落への周辺基礎集落の移転など、複数の集落が集落機能の維持のために集落活動を行う枠組み(範囲)を再編成することを指す。
行政的再編	特に近隣の集落同士の統合・合併や中心集落への基礎集落の吸収、全域的な行政区の見直し・変更など、市町村行政において扱う行政区の区域を再編する場合を指す。
機能的再編	特に近小学校区単位などで複数集落が新たな広域的組織を形成し、集落機能の分担を図ったり、複数集落で自治会を統合するなど、機能面での再編成を図る場合を指す。
空間的移転	特にダム建設等の公共工事による集団移転など、集落が空間的に移転した場合を指す。
無人化集落	本調査で「無人化集落」とは、当該集落内が実態として無人化し、通年での居住者が存在せず、市町村行政においても、通常の行政サービスの提供を行う区域として取り扱わなくなった集落を指す。なお、一部の集落では、財産管理上、住所は残しているケースもあるが、実態として当該集落内に生活の拠点を持っている住民がいない場合は、「無人化集落」とみなすものとする。 また、集団移転による無人化、住民の自発的な転居等による自然な無人化のいずれも含むが、空間的な移転を伴わず集落機能の維持・再編成が行われた結果、旧来の集落名はなくなったものの実体として当該地域に居住者が存在する場合は、「無人化集落」とはみなさない。

また、第2章以降の分析においては、各地域指定について以下のように略称する。

略 称	定 義
過疎地域	持続的発展支援特措法に規定する以下の区域全体
過疎区域	持続的発展支援特措法第2条に規定する市町村の区域
みなし過疎区域	持続的発展支援特措法第42条の規定により過疎地域とみなされる市町村の区域
一部過疎区域	持続的発展支援特措法第3条の規定により過疎地域とみなされる区域
過疎地域市町村	持続的発展支援特措法に規定する過疎地域を有する市町村
過疎市町村	持続的発展支援特措法第2条に規定する市町村
みなし過疎市町村	持続的発展支援特措法第42条の規定により過疎地域とみなされる市町村
一部過疎市町村	持続的発展支援特措法第3条の規定により過疎地域とみなされる区域を有する市町村
非過疎地域市町村	本調査の対象市町村のうち、過疎地域市町村以外の市町村
非過疎地域	本調査の対象区域のうち過疎地域以外の区域全体であり、以下の合計 (1)一部過疎市町村の非過疎区域(旧法における過疎区域を含む) (2)非過疎地域市町村における調査対象区域(旧法における過疎区域又は他の4法による指定区域)
振興山村	山村振興法に基づく振興山村に指定されている区域
離島地域	離島振興法に基づく離島振興対策実施地域に指定されている区域
半島地域	半島振興法に基づく半島振興対策実施地域に指定されている区域
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯に指定されている区域

(3)集計に用いた地方ブロックについて

本調査は総務省地域力創造グループ過疎対策室と国土交通省国土政策局総合計画課の合同調査であり、総務省が令和元年度に実施した前回調査の追跡調査も兼ねて、集落の現況データの収集及び市町村・都道府県へのアンケート調査を行った。

ただし、総務省と国土交通省との間で地方ブロックを構成する都道府県の考え方が異なるため、本調査においては、これまでの調査の流れを踏まえ、国土形成計画における広域地方計画区域に基づき地方ブロック別集計を行うとともに、過年度調査時点との比較・分析等を行った。

図表1-5 本調査で用いた地方ブロック

都道府県	地方ブロック		
	「過疎対策の現況」における区分	「国土統計要覧」における区分	本調査における区分
1 北海道	1 北海道	1 北海道	1 北海道
2 青森県	2 東北	2 東北	2 東北圏
3 岩手県	2 東北	2 東北	2 東北圏
4 宮城県	2 東北	2 東北	2 東北圏
5 秋田県	2 東北	2 東北	2 東北圏
6 山形県	2 東北	2 東北	2 東北圏
7 福島県	2 東北	2 東北	2 東北圏
8 茨城県	3 関東	3 関東	3 首都圏
9 栃木県	3 関東	3 関東	3 首都圏
10 群馬県	3 関東	3 関東	3 首都圏
11 埼玉県	3 関東	3 関東	3 首都圏
12 千葉県	3 関東	3 関東	3 首都圏
13 東京都	3 関東	3 関東	3 首都圏
14 神奈川県	3 関東	3 関東	3 首都圏
15 新潟県	2 東北	2 東北	2 東北圏
16 富山県	5 北陸	4 中部	4 北陸圏
17 石川県	5 北陸	4 中部	4 北陸圏
18 福井県	5 北陸	4 中部	4 北陸圏
19 山梨県	3 関東	3 関東	3 首都圏
20 長野県	3 関東	4 中部	5 中部圏
21 岐阜県	4 東海	4 中部	5 中部圏
22 静岡県	4 東海	4 中部	5 中部圏
23 愛知県	4 東海	4 中部	5 中部圏
24 三重県	4 東海	4 中部	5 中部圏
25 滋賀県	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
26 京都府	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
27 大阪府	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
28 兵庫県	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
29 奈良県	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
30 和歌山県	6 近畿	5 近畿	6 近畿圏
31 鳥取県	7 中国	6 中国	7 中国圏
32 島根県	7 中国	6 中国	7 中国圏
33 岡山県	7 中国	6 中国	7 中国圏
34 広島県	7 中国	6 中国	7 中国圏
35 山口県	7 中国	6 中国	7 中国圏
36 徳島県	8 四国	7 四国	8 四国圏
37 香川県	8 四国	7 四国	8 四国圏
38 愛媛県	8 四国	7 四国	8 四国圏
39 高知県	8 四国	7 四国	8 四国圏
40 福岡県	9 九州	8 九州	9 九州圏
41 佐賀県	9 九州	8 九州	9 九州圏
42 長崎県	9 九州	8 九州	9 九州圏
43 熊本県	9 九州	8 九州	9 九州圏
44 大分県	9 九州	8 九州	9 九州圏
45 宮崎県	9 九州	8 九州	9 九州圏
46 鹿児島県	9 九州	8 九州	9 九州圏
47 沖縄県	10 沖縄	9 沖縄	10 沖縄圏

第2章 集落の現状把握

第2章 集落の現状把握

2-1. 調査の概要

総務省と国土交通省ではこれまで、過疎地域等の集落の状況を把握するため、平成18年度に「国土形成計画策定のための集落の状況に関する現況把握調査」を、平成22年度、平成27年度、令和元年度には「過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査」（以下、令和元年度調査を「前回調査」という。）を両省の合同調査として実施してきた。前回調査によると、過疎地域等の条件不利地域においては、人口減少や少子・高齢化の進展により小規模の集落や高齢者割合の高い集落が増える傾向にあり、約5%の集落が今後10年以内又はいずれかの時期に無居住化する可能性があることが認識されていることが明らかとなっている。

また、前回調査時点における過疎地域関連法であった「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で期限を迎え、新たに令和3年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行される等の法改正が行われ、今後も引き続き過疎地域等に対する総合的かつ計画的な対策の実施が求められている。

こうしたことを踏まえ、本調査では、過疎地域をはじめとする条件不利地域において、前回調査から5年が経過した時点における集落の最新状況を把握し、持続可能な過疎地域等の集落のあり方等の検討に資することを目的として、全国の過疎地域市町村等に対してアンケート調査を実施した。

2-2. 調査の方法

(1) 調査の対象

本調査は、令和6(2024)年4月1日現在の「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（以下「持続的発展支援特措法」という。）に基づく過疎地域市町村のほか、令和6年4月1日時点における以下の関係各法により指定される地域を含む全市町村を対象とし、集落データの収集については、それぞれの地域に指定されている区域における集落を対象とした。

図表2-1 調査対象市町村の種類

地域指定	調査対象市町村		調査対象区域
過疎地域等	持続的発展支援	過疎地域市町村	市町村全域
	特措法による	過疎地域とみなされる市町村	
	過疎地域市町村	過疎地域とみなされる区域を有する市町村	過疎地域とみなされる区域
振興山村	山村振興法に基づく 振興山村 を有する市町村		それぞれの地域に指定されている区域 全域指定＝市町村全域 一部指定＝当該指定区域
離島振興対策実施地域	離島振興法に基づく 離島振興対策実施地域 を有する市町村		
半島振興対策実施地域	半島振興法に基づく 半島振興対策実施地域 を有する市町村		
特別豪雪地帯	豪雪地帯対策特別措置法に基づく 特別豪雪地帯 を有する市町村		

調査対象市町村は1,085市町村であり、このうち882市町村は過疎地域市町村、203市町村は非過疎地域市町村である。

全対象市町村のうち過疎地域にのみ指定されており、他の4法の指定は受けていない市町村は

167 市町村（15.4%）であり、65.9%にあたる 715 市町村は、過疎地域に加えこれら 4 法の指定地域のいずれかの指定を受けている。そのなかで最も重複率が高いのが振興山村であり、全過疎地域市町村の約 7 割（583 市町村）が振興山村を有している。

図表2-2 調査対象市町村数

	調査対象市町村 合計	過疎地域			計	非過疎地域		計
		過疎	みなし過疎	一部過疎		R1過疎	R1非過疎	
調査対象 現市町村数	1,085	710	14	158	882	34	169	203
過疎のみ、他の地域指定なし	167	134	1	32	167	-	-	-
地域指定あり	918	576	13	126	715	34	169	203
振興山村	729	465	13	105	583	31	115	146
離島	111	57	0	20	77	7	27	34
半島	194	132	3	24	159	3	32	35
特別豪雪	201	157	2	17	176	5	20	25

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前々回調査時点で避難指示区域にあった 5 町村は前回と同様に、今回も調査対象外とした。

図表2-3 調査対象区域(旧市町村)数

	調査対象区域 合計	過疎地域			計	非過疎地域		計
		過疎	みなし過疎	一部過疎		一部過疎の 非過疎区域	非過疎 市町村	
調査対象 区域(旧市町村)数	2,065	1,279	64	353	1,696	96	273	369
過疎のみ、他の地域指定なし	432	284	22	126	432	-	-	-
地域指定あり	1,633	995	42	227	1,264	96	273	369
振興山村	1,188	736	38	161	935	63	190	253
離島	175	104	0	22	126	13	36	49
半島	379	251	11	46	308	23	48	71
特別豪雪	280	201	6	31	238	5	37	42

※東日本大震災に伴う原発事故被災地のうち、前々回調査時点で避難指示区域にあった 5 町村は前回と同様に、今回も調査対象外とした。

※甲府市と富士河口湖町に分村合併した旧上九一色村はそれぞれ 1 区域として集計した。

(2) 調査項目

調査対象区域の全集落を対象として、以下の調査項目について集落ごとのデータを収集した。

なお、前回調査で調査対象とされていた区域については、前回調査時に収集した集落データを記載した上で、各集落のその後の動向等について調査し、本調査で新たに調査対象となった区域については、新たに当該区域の集落の状況等について調査した。

図表2-4 調査項目(集落データ収集項目)の概要

大項目	調査項目(集落データ収集項目)
集落の属性	<input type="checkbox"/> 集落名 <input type="checkbox"/> 集落ごとの地域振興諸法の地域指定状況 <input type="checkbox"/> 津波被災地にある集落
集落構成の変遷と現在の居住状況	<input type="checkbox"/> 2024年4月時点での集落の状況 <input type="checkbox"/> 前回調査(H31.4)以降の集落の行政的再編の有無
集落の人口・世帯数と近年の転入状況	<input type="checkbox"/> R6 住民基本台帳(2024.4.1.時点)人口・世帯数 <input type="checkbox"/> 総人口 <input type="checkbox"/> 0～14歳 <input type="checkbox"/> 15～29歳 <input type="checkbox"/> 30～64歳 <input type="checkbox"/> 65～74歳 <input type="checkbox"/> 75歳以上 <input type="checkbox"/> 世帯数 <input type="checkbox"/> 当該集落における平成31年以降の転入者の有無 <input type="checkbox"/> 上記転入世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯の有無
集落類型や地域特性	<input type="checkbox"/> 集落類型 <input type="checkbox"/> 役場(本庁/支所)までの距離(km) <input checked="" type="checkbox"/> 広域交通施設までの距離(km) (新幹線駅、特急停車駅、空港、高速道路等のIC) <input type="checkbox"/> 地域区分 <input type="checkbox"/> 地形的に末端にある集落
各集落における生活サービス機能の立地状況	<input type="checkbox"/> 集落ごとの生活サービス機能の立地状況 <input type="checkbox"/> 市町村役場・支所 <input type="checkbox"/> 公民館・集会所 <input type="checkbox"/> 病院・診療所 <input type="checkbox"/> 商店・スーパー <input type="checkbox"/> 飲食店・喫茶店 <input type="checkbox"/> ガソリンスタンド <input type="checkbox"/> (簡易)郵便局 <input type="checkbox"/> ATM <input type="checkbox"/> 老人デイサービスセンター <input type="checkbox"/> 駅・バス停 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所等
サポート人材が活動する集落の状況	<input type="checkbox"/> サポート人材が活動する集落の状況 <input type="checkbox"/> 集落支援員 <input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊等 <input type="checkbox"/> その他
集落機能の維持状況	<input type="checkbox"/> 資源管理機能・生産補完機能・生活扶助機能の維持状況 <input type="checkbox"/> 集落機能の維持状況
集落の存続に対する見通し	<input type="checkbox"/> 今後の無人化の可能性 <input type="checkbox"/> 今後の人口動向
無人化が危惧される集落における住民のQOL維持に向けた取組状況	<input type="checkbox"/> 無人化が危惧される集落から最寄りの以下の各機関までの所要時間 <input type="checkbox"/> 行政窓口 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 商店 <input type="checkbox"/> 無人化が危惧される集落から市町村中心部までの移動手段の有無 <input type="checkbox"/> 鉄道・軌道 <input type="checkbox"/> 民営路線バス <input type="checkbox"/> 公営路線バス <input type="checkbox"/> デマンドバス・乗合タクシー <input type="checkbox"/> 自家用有償旅客運送 <input type="checkbox"/> 地域住民による無償運送 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 空き家の管理状況 <input type="checkbox"/> 道路・用排水路・河川等の管理状態
地域運営組織の状況	<input type="checkbox"/> 地域運営組織の有無
集落機能の再編成	<input type="checkbox"/> 集落機能の維持・再編成の見通し
無人化した集落の状況	<input type="checkbox"/> H31.4以降に無人化した集落の無人化理由 <input type="checkbox"/> H31.4以降に無人化した集落の住民の移転先 <input type="checkbox"/> H31.4以降に無人化した集落の無人化時期 <input type="checkbox"/> H31.4以降に無人化した集落にある主な資源の管理方法 <input type="checkbox"/> 無人化集落跡地の資源管理の状況

※○は前回調査からの継続調査項目、●は新規調査項目

図表2-5 集落データ調査項目(集落データ収集項目)一覧

記号	データ項目	内容
	都道府県	都道府県名
(1)	市町村コード(R06時点)	2024年4月現在の市町村コード
(2)	市町村名(R06時点)	2024年4月現在の市町村名
(3)	市町村区分(R06時点)	2024年4月現在の市・町・村の区分
(4)	過疎指定(R06時点)	2024年4月現在の過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく過疎地域指定 過疎 : 過疎地域市町村(2条1項) みなし過疎 : 過疎地域とみなされる市町村(42条) 一部過疎 : 過疎地域とみなされる区域を有する市町村(3条) (非過疎) : 過疎地域に指定されている区域を持たない市町村
(5)	山村指定(R06時点)	2024年4月現在の山村振興法に基づく振興山村の指定状況 全域山村 : 全域が振興山村に指定されている市町村 一部山村 : 振興山村に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 振興山村に指定されている区域を持たない市町村
(6)	離島指定(R06時点)	2024年4月現在の離島振興法に基づく離島振興対策実施地域(以下「離島地域」)の指定状況 全域離島 : 全域が離島地域に指定されている市町村 一部離島 : 離島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 離島地域に指定されている区域を持たない市町村
(7)	半島指定(R06時点)	2024年4月現在の半島振興法に基づく半島振興対策実施地域(以下「半島地域」)の指定状況 全域半島 : 全域が半島地域に指定されている市町村 一部半島 : 半島地域に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 半島地域に指定されている区域を持たない市町村
(8)	特別豪雪指定(R06時点)	2024年4月現在の豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯(以下「特別豪雪」)の指定状況 全域特別豪雪 : 全域が特別豪雪に指定されている市町村 一部特別豪雪 : 特別豪雪に指定されている区域を有する市町村 (空欄) : 特別豪雪に指定されている区域を持たない市町村 (豪雪地帯に指定されている区域を有する場合があります)
(9)	旧市町村コード(H11時点)	平成11年4月現在の市町村コード
(10)	旧市町村名(H11時点)	平成11年4月現在の市町村名
(11)	調査対象区域の種別	継続調査区域/新規調査区域の別 継続 : 前回調査からの継続調査区域の集落入力行 新規 : 今回新たに調査対象となる区域の集落入力行 (前回調査で無回答だった区域を含みます)

市町村の基礎情報項目(回答に応じて自動計算される調査項目)	→回答不要
前回調査(H31.4時点)で「居住者がいる」とされた集落の前回調査時点の状況(前回回答データ)	→追加・修正のみ
現在居住者がいる集落についての調査項目(★は新規調査項目)	→必須回答
前回調査(H31.4時点)以降に無人化した集落についての調査項目	→必須回答(無人化集落)

(12)	集落番号	(10)の旧市町村ごとの集落の通し番号
(13)	集落名	各集落の名称
(14)～(18)地域振興諸法の地域指定状況		各集落ごとの2024年4月1日現在の地域指定状況
(14)	過疎	各集落ごとの過疎地域の指定状況(以下の7つに分類) 1.過疎 : 2条1項の「過疎地域市町村」にある集落 2.みなし過疎 : 42条の「過疎地域とみなされる市町村」にある集落 3.一部過疎の過疎区域 : 3条の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」にある集落 4.一部過疎の非過疎区域・前法過疎 : 3条の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域自立促進特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 5.一部過疎の非過疎区域・前法非過疎 : 3条の一部過疎市町村において「過疎地域とみなされる区域」外にあり、かつ前法(過疎地域自立促進特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落 6.非過疎・前法過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域自立促進特別措置法)で過疎地域に指定されていた区域にある集落 7.非過疎・前法非過疎 : 非過疎市町村において、前法(過疎地域自立促進特別措置法)でも非過疎だった区域にある集落
(15)	山村	各集落ごとの振興山村の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 山村(全域) : 全域が振興山村に指定されている集落 山村(一部) : 振興山村に指定されている区域がある集落 (空欄) : 振興山村に指定された区域がない集落
(16)	離島	各集落ごとの離島振興対策実施地域の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 離島(全域) : 全域が離島地域に指定されている集落 離島(一部) : 離島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 離島地域に指定された区域がない集落
(17)	半島	各集落ごとの半島振興対策実施地域の指定状況(空欄を含め以下の3つに分類) 半島(全域) : 全域が半島地域に指定されている集落 半島(一部) : 半島地域に指定されている区域がある集落 (空欄) : 半島地域に指定された区域がない集落
(18)	特別豪雪・豪雪	各集落ごとの特別豪雪地帯・豪雪地帯の指定状況(空欄を含め以下の5つに分類) 特別豪雪(全域) : 全域が特別豪雪地帯に指定されている集落 特別豪雪(一部) : 特別豪雪地帯に指定されている区域がある集落 豪雪(全域) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、全域が豪雪地帯に指定されている集落 豪雪(一部) : 当該集落の中に特別豪雪地帯に指定されている区域はないが、豪雪地帯に指定されている区域がある集落 (空欄) : 当該集落内に特別豪雪・豪雪のいずれかにも指定された区域がない集落
(19)	津波被災地	平成23(2011)年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)に伴って発生した津波により被災した集落には、ブルダウンより「○」を選択してください。
(20)	集落の状況(R01時点)	前回調査で居住者がいるとされた集落(全て「1.居住者あり」)
(21)～(27) R01住民基本台帳(H31.4.1時点)		前回調査で回答された各集落の平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口・世帯数
(21)	総世帯数(世帯)	各集落の平成31年4月1日現在の住民基本台帳世帯数
(22)	総人口(人)	各集落の平成31年4月1日現在の住民基本台帳人口
(23)	0～14歳(人)	(22)のうち0～14歳人口
(24)	15～29歳(人)	(22)のうち15～29歳人口
(25)	30～64歳人口(人)	(22)のうち30～64歳人口
(26)	65～74歳人口(人)	(22)のうち65～74歳人口
(27)	75歳以上人口(人)	(22)のうち65～74歳人口
(28)	集落の状況(R06時点)	1.居住者あり : (13)の集落単位でみて居住者がいる集落 2.消滅(無人化) : (13)の集落単位でみて、現在既に消滅(無人化)した集落
(29)	(継続調査区域のみ) H31.4以降の集落の行政的再編の有無	1.他集落を統合 : 当該集落の名称はそのまま、他の集落を統合した集落 2.他集落に編入 : 他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落 3.他集落と合併 : 他の集落とともに新しい名称の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更) 4.行政的再編なし : (13)の集落が区域・名称ともそのまま残っている場合 5.新規に誕生 : 「3.他集落と合併」又は「6.分離」により新たに形成された集落、及び新たに宅地造成や施設整備等により誕生した集落 6.分離 : 複数の集落に分かれて合併した集落 7.名称変更 : (13)の集落の区域には変更ないが、集落の名称が変わった場合

(30)	再編後の集落No.	
(31)	再編後の集落名	
(32)~(38)	R06住民基本台帳(2024.4.1.時点)	各集落の2024年4月1日時点の住民基本台帳の総世帯数と人口
(32)	世帯数(世帯)	各集落の2024年4月1日時点の住民基本台帳世帯数
(33)	総人口(人)	各集落の2024年4月1日時点の住民基本台帳人口(総数)
(34)	0~14歳(人)	(33)のうち0~14歳人口
(35)	15~29歳(人)	(33)のうち15~29歳人口
(36)	30~64歳(人)	(33)のうち30~64歳人口
(37)	65~74歳(人)	(33)のうち65~74歳人口
(38)	75歳以上(人)	(33)のうち75歳以上人口
(39)	当該集落に平成27年以降に転入してきた人がいるか(R01時点)	前回調査時点で、当該集落に平成27年以降に転入してきた人がいるかについて
(40)	当該集落に平成31年以降に転入してきた人がいるか(R06時点)	<p>1.転入者がいる : 平成31年4月以降に転入し現在も当該集落に居住している人がいる集落</p> <p>2.転入者はいない : 平成31年4月以降に転入した人はいない、または転入した人が転出してしまった集落</p> <p>3.分からない : 上記については把握できない</p>
(41)	平成27年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか(R01時点)	前回調査時点で、転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるかについて
(42)	平成31年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか(R06時点)	<p>1.子育て世帯がある : 平成31年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいる世帯がある集落</p> <p>2.子育て世帯はない : 平成31年4月以降に当該集落に転入した世帯の中には、高校生以下の子どもがいる世帯はないという集落</p> <p>3.分からない : 平成31年4月以降に当該集落に転入した世帯の中に、高校生以下の子どもがいるかどうか把握していない集落</p>
(43)	集落類型(R01時点)	前回調査での当該集落の分類
(44)	集落類型(R06時点)	<p>1.基礎 : 基礎集落。地域社会を構成する最も基礎的かつ原单位的な集落。</p> <p>2.基幹 : 基幹集落。基礎集落の分布の中にあつて、住民の日常生活上、集落間の要となっている集落(主に谷筋の分岐点やその他の交通上の要所等が該当します)。</p> <p>3.中心 : 中心集落。地域の中心的な集落であり、役場等の行政機関や事業所等の集積があるなど、古くから地域の要所となっている集落。</p>
(45)~(46)	役場までの距離(km)(R01時点)	前回調査での当該集落から市町村役場までの距離(km単位)
(45)	本庁までの距離(km)(R01時点)	当該集落から市役所・町村役場(本庁)までの距離(km単位)
(46)	支所・出張所までの距離(km)(R01時点)	本庁以外に支所や出張所などがある場合、当該集落から最寄の支所・出張所までの距離(km単位)
(47)~(48)	役場までの距離(km)(R06時点)	現時点での当該集落から貴市町村の役所・役場(本庁)や支所・出張所までの距離
(47)	本庁までの距離(km)(R06時点)	当該集落から市役所・町村役場(本庁)までの距離
(48)	支所・出張所までの距離(km)(R06時点)	貴市町村に市役所・町役場(本庁)以外に支所や出張所などが設置されている場合は、当該集落から最寄の支所・出張所までの距離
(49)~(52)	広域交通施設までの距離	現時点での当該集落から広域交通施設までの距離
(49)	新幹線駅までの距離	当該集落から最寄りの新幹線駅までの距離
(50)	特急停車駅までの距離	当該集落から最寄りの特急停車駅までの距離
(51)	空港までの距離	当該集落から最寄りの空港までの距離
(52)	高速道路等のICまでの距離	当該集落から最寄りの高速道路等のICまでの距離
(53)	地域区分(R01時点)	前回調査での当該集落の農業地域類型に基づく地域区分(以下の4つに分類)
(54)	地域区分(R06時点)	<p>1.山間地 : 山間農業地域。林野率が80%以上の集落。</p> <p>2.中間地 : 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。</p> <p>3.平地 : 平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。</p> <p>4.都市 : 都市的地域。DID面積のある集落。</p>
(55)	地形的に末端にある集落(R01時点)	前回調査における地形的な行き止まり集落に○
(56)	地形的に末端にある集落(R06時点)	

(57)～(68) 生活サービス機能の立地状況(R01時点)		前回調査における生活サービス機能の立地状況
(57)	市町村役場・支所	市役所・町役場の本庁、市役所・町役場の支所・出張所、その他行政窓口
(58)	公民館・集会所	公民館 : 社会教育法上の公民館(分館も含む) 集会所 : 公民館以外で、集落住民の交流や活動拠点施設(事務所機能や集会機能を持つ施設)。 ※町内会館や自治会の集会所等は含まない。
(59)	病院・診療所	病院 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの。 診療所 : 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。
(60)	商店・スーパー	個人用又は家庭用消費のために商品を販売する店舗。 百貨店や総合スーパー、衣料品・食料品・住関連等の専門スーパーや専門店・中心店、コンビニエンスストア、その他スーパーや小売店など。
(61)	飲食店・喫茶店	食堂やレストラン、ファストフード店、喫茶店など(コンビニ等のイートインスペースを含む)。
(62)	ガソリンスタンド	自動車に揮発油を給油するための施設(給油所)。 ※灯油のみを販売する店舗は含まない。
(63)	(簡易)郵便局	日本郵便株式会社(平成17年法律第100号)第2条第1項～第3項に規定する「郵便窓口業務」、「銀行窓口業務」、「保険窓口業務」を行う会社の営業所。 ※簡易郵便局: 郵便局株式会社等からの委託を受けて、郵便・銀行・保険の各種窓口サービスを複合的に提供する事業所。
(64)	ATM	銀行や信用金庫、郵便局、農協等のATM(他の施設に併設している場合も含む)
(65)	老人デイサービスセンター	身体上又は精神上の障害があるため日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対し、日中の一定時間、入浴・食事など日常生活の介助や機能訓練を中心とした介護サービスを提供する通所介護事業所。
(66)	駅・バス停	駅 : JR(新幹線・在来線)や私鉄・公営・第3セクターの鉄道・路面電車・モノレール・地下鉄の乗降駅。 バス停 : 民営・公営の路線バスや民営・公営・NPO等運営のコミュニティバスの乗降所。(コミュニティバスの乗降場所が固定されておらず自由乗降の場合も、当該集落が運行路線に含まれていれば、バス停があるものとみなす。)
(67)	小学校	学校教育法第1条に規定する小学校(公立小学校のほか、国立・私立小学校も含む)
(68)	幼稚園・保育所等	学校教育法第1条に規定する幼稚園、児童福祉法第39条第1項に規定する保育所及び「認定こども園法」第2条第6項に規定する認定こども園。 幼稚園 : 学校教育法に基づく学校施設で、「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的」として、未就学児(3～5歳)の教育を行う施設。 保育所 : 児童福祉法に基づく児童福祉施設で、「日々保護者の委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的」とした施設。 ※ 国の設置基準を満たした認可保育所のほか、都道府県独自の基準による認証保育所も含まれます。 認定こども園 : 認定こども園法に基づく、教育と保育を一体的に行う施設。
(69)～(80) 生活サービス機能の立地状況(R06時点)		
(69)	市町村役場・支所	
(70)	公民館・集会所	
(71)	病院・診療所	
(72)	商店・スーパー	
(73)	飲食店・喫茶店	
(74)	ガソリンスタンド	
(75)	(簡易)郵便局	
(76)	ATM	
(77)	老人デイサービスセンター	
(78)	駅・バス停	
(79)	小学校	
(80)	幼稚園・保育所等	

(81)～(86) サポート人材の配置状況(R01時点)	前回調査におけるサポート人材の配置状況
(81) 集落支援員	
(82) 地域おこし協力隊等	
(83) その他	
(84)～(86) サポート人材の配置状況(R06時点)	
(84) 集落支援員	総務省が特別交付税により支援措置を講じている「集落支援員」が配置されている集落
(85) 地域おこし協力隊等	※ 総務省が特別交付税により支援措置を講じている「地域おこし協力隊」が配置されている集落 ※ 「地域おこし協力隊」は、3年を超える活動については特別交付税措置はされませんが、地方自治体が独自制度として4年目を以降も継続して配置している場合は、その協力隊員の配置先の集落 ※ 任期が終了した協力隊員が自発的に地域に残り生活を続けている場合は対象外
(86) その他	※ 地域おこし企業人(総務省)や緑のふるさと協力隊(地球緑化センター)などの国等の支援制度や地方自治体独自の制度により外部人材を配置している集落
(87)～(89) 集落の各機能の維持状況(R01時点)	前回調査での当該集落の各機能の維持状況
(87) 資源管理機能	
(88) 生産補完機能	
(89) 生活扶助機能	
(90)～(92) 集落の各機能の維持状況(R06時点)	※ 当該集落の現時点での各機能の維持状況
(90) 資源管理機能	1.集落住民により : 主に当該集落の住民によって機能が維持されている場合 維持
(91) 生産補完機能	2.他集落と合同で : 主に他集落の住民と当該集落の住民との合同によって機能が維持されている場合 維持
(92) 生活扶助機能	3.ボランティア等 : 主にボランティアなど他の団体や組織等によって機能が維持されている場合 維持 4.その他 : 上記にあてはまらない場合(行政により維持管理されている、DIDのため機能自体がない、など)
(93) 集落機能の維持の状況(R01時点)	前回調査での当該集落の集落機能の維持状況
(94) 集落機能の維持の状況(R06時点)	※ 現時点での集落機能の維持状況
	1.良好 : 全体的にみて、集落機能が良好に維持されている集落 2.機能低下 : 全体的にみて、集落機能が低下している集落 3.機能維持 : 全体的にみて、集落機能の維持が困難になっている集落 困難
(95) 今後の無人化の可能性(R01時点)	前回調査時点における当該集落の無人化可能性
(96)～(107) 無人化が危惧されている集落における住民のQOL維持に向けた取組状況(R01時点)	前回調査において消滅(無人化)する可能性がある集落について、集落住民の生活の質(QOL)の維持に向けた状況
(96) 行政窓口までの所要時間(分)	前回調査時点での、当該集落から最寄の行政窓口までの車での片道の所要時間(分)
(97) 病院までの所要時間(分)	前回調査時点での、当該集落から最寄の病院・診療所までの車での片道の所要時間(分)
(98) 商店までの所要時間(分)	前回調査時点での、当該集落から最寄の商店・スーパーまでの車での片道の所要時間(分)
(99)～(104) 都市部(市町村の中心部)への移動手段	前回調査時点での、当該集落の住民が市町村の中心部に行く際に利用できる(当該集落で提供されている)交通サービスをすべて選び、○
(99) 鉄道・軌道	JRや私鉄・公営・第3セクターの鉄道・路面電車・モノレール等
(100) 民営路線バス	民間が運営する一般乗合の路線バス(予約制ではなく固定ダイヤ制で運行するコミュニティバスを含む)
(101) 公営路線バス	公営の一般乗合の路線バス(予約制ではなく固定ダイヤ制で運行するコミュニティバスを含む)
(102) デマンドバス・乗合タクシー	予約型の運行形態の輸送サービスを指し、福祉輸送(要介護者、身体障害者等であって公共交通機関を利用することが困難な移動制約者を対象に、必要な介助等と連続して、又は一体として行われる個別的な輸送サービス)や特定施設の送迎サービス等は含まない。
(103) 自家用有償旅客運送	市町村主体によるもの、地域住民や地域運営組織等によるものいずれも含む。
(104) 地域住民による無償運送	利用者から金銭的な対価を受けない、実費相当分のみを受取るなど道路運送法上の許可又は登録を要しない運送
(105) その他	
(106) 空き家の管理状況	前回調査時点での当該集落の空き家の管理状況
(107) 道路・用排水路・河川等の管理状態	前回調査時点での当該集落の道路・用排水路・河川等の管理状態

(108)	今後の消滅の可能性(R06時点)	※ 現時点での当該集落の今後の無人化の可能性 ○ : 今後、いずれは消滅(無人化)する可能性のある集落 ◎ : 今後、10年以内に消滅(無人化)する可能性のある集落 — : 消滅(無人化)する可能性がない(当面存続すると見込まれる)集落
(109)~(120)	消滅が危惧されている集落における住民のQOL維持に向けた取組状況(R06時点)	※ 今後無人化する可能性がある集落について、集落住民の生活の質(QOL)の維持に向けた現在の状況
(109)	行政窓口までの所要時間(分)	※ 当該集落から最寄の行政窓口までの車での片道の所要時間(分)
(110)	病院までの所要時間(分)	※ 当該集落から最寄の病院・診療所までの車での片道の所要時間(分)
(111)	商店までの所要時間(分)	※ 当該集落から最寄の商店・スーパーまでの車での片道の所要時間(分)
(112)~(118)	都市部(市町村の中心部)への移手段	※ 当該集落の住民が市町村の中心部に行く際に利用できる(当該集落で提供されている)交通サービス
(112)	鉄道・軌道	
(113)	民営路線バス	
(114)	公営路線バス	
(115)	デマンドバス・乗合タクシー	
(116)	自家用有償旅客運送	
(117)	地域住民による無償運送	
(118)	その他	
(119)	空き家の管理状況	※ 当該集落内の空き家の状況 1. 空き家はない : 空き家(居住者がおらず無人の状態で放置されている住宅、以下同)はない 2. 概ね良好に管理 : 空き家はあるが、いずれも概ね良好に管理されている 3. 一部は管理が不十分 : 空き家があり、なかには管理が不十分なものも多少散見される 4. 大部分は管理が不十分 : 空き家があり、かつその大部分が管理が不十分な状態で放置されている
(120)	道路・用排水路・河川等の管理状態	※ 当該集落内の道路の草刈りや用排水路・ため池等の清掃など、道路・用排水路・河川等の管理状態 1. 良好に管理 : 集落住民等により概ね良好に管理されている 2. 管理が不十分な箇所が存在 : 管理作業の水準が低下している箇所がある 3. 管理が行き届かず荒廃 : 管理作業がほとんどされず、荒廃している
(121)	今後の人口動向(R01時点)	前回調査時点での当該集落の今後の集落の人口動向
(122)	今後の人口動向(R06時点)	※ 現時点での当該集落の今後の人口動向の見通し 1. 増加 : 今後人口が増加すると想定される集落 2. 横ばい : 今後人口が横ばいに推移すると想定される集落 3. 減少 : 今後人口が減少すると想定される集落
(124)	地域運営組織の状況(R06時点)	※ 当該集落において、生活圏の課題解決に持続的に取り組む中心的組織(法人格のない任意団体含む)が存在
(125)	集落機能の維持・再編成の見通し(R01時点)	前回調査時点での当該集落の集落機能の維持・再編成の検討状況
(126)	集落機能の維持・再編成の見通し(R06時点)	※ 現時点での当該集落の集落機能の維持・再編成の検討状況 1. 空間的移転を予定 : 既存集落への集団移転、複数集落の移転による新規集落の形成などの空間的な移転が予定されている集落 2. 行政的再編を予定 : 近隣集落との統合・合併や市町村行政において扱う行政区の見直し・再編などが予定されている集落 3. 機能的再編を予定 : 現在の集落構成は維持しつつ、複数集落による連携を通して機能面での再編成を予定している集落 4. 検討中 : 集落住民へのヒアリングの実施など、集落機能の維持・再編成について検討段階にある集落 5. 予定なし : 特に集落機能の維持・再編成について検討・予定していない集落

(127)～(139) 前回調査以降に消滅(無人化)した集落に関する調査項目		
(127)	H31.4以降に消滅した集落の消滅理由	<p>※ 当該集落が消滅した理由</p> <p>1.集落移転事業による移転 : 過疎地域集落再編整備事業など、国又は都道府県・市町村の集落移転事業による集落移転</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 豪雨災害等により「防災集団移転促進事業」等を活用して集団移転を行った場合も含まれます。</p> <p>2.公共工事による集団移転 : ダム建設や道路建設に伴う集団移転など、公共工事による集落の集団移転</p> <p>3.廃坑による廃村等 : 鉱山・炭坑などの採掘中止により廃村となったことによる集落の消滅など</p> <p>4.自然災害等による分散転居 : 自然災害の発生により居住できなくなり住民が分散転居したことによる消滅</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 集落移転事業による集団移転を検討したものの、適地がない等により集落単位でまとまった形で移転ができず、各戸が分散転居したケースも含まれます。</p> <p>5.自然消滅 : 集落住民がそれぞれ自市町村内の他集落や他市町村へ転居したり、住民が亡くなるなどによる消滅(無住化)</p> <p>6.その他 : 上記以外の理由による消滅</p>
(128)	H31.4以降に消滅した集落の住民の移転先	<p>※ 当該集落の住民の主な移転先</p> <p>1.自市町村内に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に近隣集落など自市町村内の他の集落に転居した場合</p> <p>2.他市町村に転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて主に他市町村に転居した場合</p> <p>3.各地に分散転居 : 集落が消滅した当時の市町村単位でみて自市町村内・他市町村ばらばらに分散転居した場合</p> <p>4.転居者なし : 住民が全て亡くなったことにより居住者がいなくなったため消滅した場合</p> <p>5.不明 : 転居先が分からない場合</p>
(129)	H31.4以降に消滅した集落の消滅時期	※ 当該集落が消滅した時期
(130)～(138)	H31.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(R06時点)	※ 消滅集落の跡地にある以下の各地域資源について、現在どのように管理されているか
(130)	森林・林地	1.元住民が管理 : 主に転居した元集落住民により維持管理が継続されている場合
(131)	農地・田畑	2.他集落が管理 : 主に他の集落等に維持管理を委託(依頼)している場合
(132)	集会所・小学校等	3.ボランティア等が管理 : 主にボランティアなど他の団体や組織等により維持管理が継続されている場合
(133)	住宅	4.行政が管理 : 主に行政が維持管理を行っている場合
(134)	集落道路・農道等	5.放置 : どの主体も消滅集落の跡地管理を行わない状態のまま放置されている場合
(135)	用排水路等	一.該当なし : 当該消滅集落に該当する資源や施設がない場合
(136)	神社・仏閣等	
(137)	河川・湖沼・ため池等	
(138)	伝統的祭事・伝統芸能等	
(139)	消滅集落跡地の資源管理の状況	<p>※ 当該消滅集落の跡地の現在の資源管理の状況</p> <p>1.良好 : 全体的にみて、比較的良好に資源が管理されている場合</p> <p>2.やや荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状況がやや荒廃している場合</p> <p>3.荒廃 : 全体的にみて、資源管理の状況が荒廃している場合</p>
(140)	備考(R01調査時点)	前回調査時の備考ご記入内容
(141)	備考	※ それぞれの集落の詳細な実情や、各設問に対する回答について補足説明が必要な場合などがあれば、自由にご記入

(3) 調査方法及び調査時期

調査方法：都道府県経由で対象市町村にアンケート票（エクセルファイル・市町村毎に固有のファイルを作成）をメールにて送付、都道府県経由で回収

調査時期：令和6年10月3日～令和6年12月24日（発出時の回答期限は令和6年11月27日に設定し、回答が遅れたもの等は順次回収）

(4) 回収状況

市町村・都道府県とも全調査対象から回答が得られた。

図表2-6 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 回答市町村数・区域(旧市町村)数

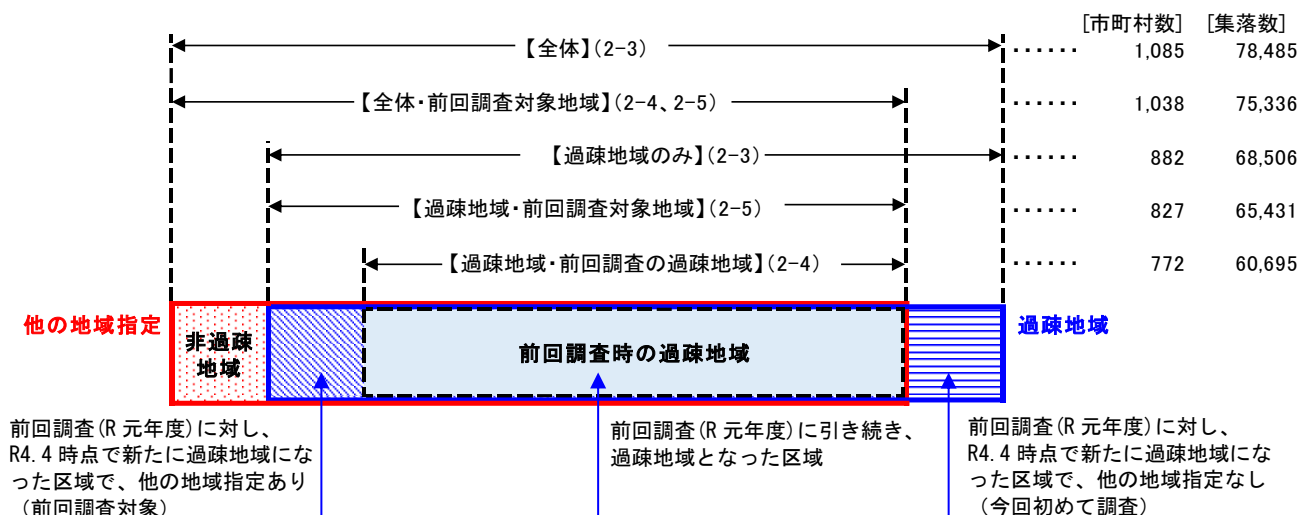
全体	現市町村の過疎区分別 現市町村数					現市町村の過疎区分別 区域(旧市町村)数					
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎 過疎区域	一部過疎 非過疎区域	非過疎	計
1 北海道	145 (89.0%)	1 (0.6%)	6 (3.7%)	11 (6.7%)	163 (100.0%)	161 (84.3%)	3 (1.6%)	13 (6.8%)	2 (1.0%)	12 (6.3%)	191 (100.0%)
2 東北圏	138 (67.6%)	3 (1.5%)	25 (12.3%)	38 (18.6%)	204 (100.0%)	253 (64.4%)	22 (5.6%)	61 (15.5%)	12 (3.1%)	45 (11.5%)	393 (100.0%)
3 首都圏	48 (46.6%)	0 (0.0%)	24 (23.3%)	31 (30.1%)	103 (100.0%)	78 (47.3%)	0 (0.0%)	44 (26.7%)	7 (4.2%)	36 (21.8%)	165 (100.0%)
4 北陸圏	15 (36.6%)	0 (0.0%)	7 (17.1%)	19 (46.3%)	41 (100.0%)	33 (43.4%)	0 (0.0%)	7 (9.2%)	5 (6.6%)	31 (40.8%)	76 (100.0%)
5 中部圏	60 (51.3%)	0 (0.0%)	18 (15.4%)	39 (33.3%)	117 (100.0%)	105 (46.5%)	0 (0.0%)	39 (17.3%)	19 (8.4%)	63 (27.9%)	226 (100.0%)
6 近畿圏	60 (63.8%)	3 (3.2%)	15 (16.0%)	16 (17.0%)	94 (100.0%)	100 (56.8%)	12 (6.8%)	29 (16.5%)	15 (8.5%)	20 (11.4%)	176 (100.0%)
7 中国圏	56 (59.6%)	2 (2.1%)	19 (20.2%)	17 (18.1%)	94 (100.0%)	163 (63.4%)	7 (2.7%)	48 (18.7%)	16 (6.2%)	23 (8.9%)	257 (100.0%)
8 四国圏	53 (67.1%)	1 (1.3%)	12 (15.2%)	13 (16.5%)	79 (100.0%)	110 (66.3%)	3 (1.8%)	27 (16.3%)	7 (4.2%)	19 (11.4%)	166 (100.0%)
9 九州圏	120 (69.4%)	3 (1.7%)	31 (17.9%)	19 (11.0%)	173 (100.0%)	257 (67.6%)	11 (2.9%)	75 (19.7%)	14 (3.7%)	23 (6.1%)	380 (100.0%)
10 沖縄県	15 (88.2%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)	16 (72.7%)	5 (22.7%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (100.0%)
合計	710 (65.4%)	14 (1.3%)	158 (14.6%)	203 (18.7%)	1,085 (100.0%)	1,276 (62.2%)	63 (3.1%)	344 (16.8%)	97 (4.7%)	272 (13.3%)	2,052 (100.0%)
参考: 前回調査	644 (61.6%)	25 (2.4%)	145 (13.9%)	231 (22.1%)	1,045 (100.0%)	1,122 (56.4%)	116 (5.8%)	283 (14.2%)	171 (8.6%)	296 (14.9%)	1,988 (100.0%)

※区域(旧市町村)数における「非過疎」には、一部過疎市町村の非過疎区域を含む。

(5)集計の範囲

2-3. 以降の集計においては、非過疎地域で他の地域指定を受けている地域を含めた条件不利地域「全体」で各項目について集計した上で、現過疎地域の集落のみ抜粋し、地方ブロック別、集落類型別、地域区分別などのクロス集計を行った。

図表2-7 調査対象地域と各節での集計範囲



過疎地域における前回調査(R元年度)からの変化

- ・ 過疎地域関連法の改正 (R3年4月)
⇒ 過疎地域の指定要件の変更に伴い過疎地域の対象区域が変化
- ・ 令和2年国勢調査結果を反映した過疎地域の対象区域の更新

※主に前回調査からの動向分析に用いる集計範囲2-4及び2-5において、過年度調査における無人化可能性別の動向を分析する項目については、過年度調査で10年後の無人化可能性を回答いただいていることを踏まえ、一部の項目については前々回調査(H27年度)の回答結果との比較を行っている。この場合の集計範囲については、上図における「前回」を「前々回」と読み替えることで差し支えない。

(6)その他

表中の構成比については、小数第2位を四捨五入しているため、集計項目の割合の合計が100%にならない場合がある。

また、本文コメント(■で始まる文章)中で複数項目を合わせた割合について言及している場合は、表中の各項目の構成比を合計した割合としてではなく、各項目の該当数から構成比を算出(小数第2位四捨五入)しているため、表中の各項目の合計値と一致しないことがある(下図参照)。

過疎地域	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
合計	19,932 (31.5%)	18,739 (29.6%)	19,678 (31.1%)	4,424 (7.0%)	464 (0.7%)	63,237 (100.0%)

「中山間地」の構成比・・・(19,932+18,739)÷63,237 = 61.15% → 61.2%

2-3. 過疎地域等における集落の現状

(1) 居住者のいる集落数

① 市町村区分別 集落数

【全体】

- 1,085 市町村の 2,065 区域において現存する(居住者のいる)全集落数は、全体で 78,485 集落であった。
- 市町村区分別で見ると、市が 50,847 集落(64.8%)、町が 24,690 集落(31.5%)、村が 2,948 集落(3.8%)となっており、6割超の集落が市に属している。

図表2-8 市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【全体】

全体	市町村別 集落数				1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計	現市町村	旧市町村
1 北海道	860 (21.3%)	2,979 (73.7%)	205 (5.1%)	4,044 (100.0%)	24.8	21.2
2 東北圏	12,943 (70.2%)	4,830 (26.2%)	661 (3.6%)	18,434 (100.0%)	90.4	46.9
3 首都圏	2,225 (54.8%)	1,575 (38.8%)	257 (6.3%)	4,057 (100.0%)	39.4	24.6
4 北陸圏	2,130 (63.1%)	1,243 (36.9%)	0 (0.0%)	3,373 (100.0%)	82.3	44.4
5 中部圏	3,032 (55.9%)	1,585 (29.2%)	810 (14.9%)	5,427 (100.0%)	46.4	24.0
6 近畿圏	2,957 (60.7%)	1,629 (33.4%)	289 (5.9%)	4,875 (100.0%)	51.9	27.7
7 中国圏	10,648 (77.1%)	3,132 (22.7%)	27 (0.2%)	13,807 (100.0%)	146.9	53.7
8 四国圏	4,192 (55.4%)	3,286 (43.4%)	85 (1.1%)	7,563 (100.0%)	95.7	45.6
9 九州圏	11,744 (70.5%)	4,370 (26.2%)	534 (3.2%)	16,648 (100.0%)	96.2	43.8
10 沖縄県	116 (45.1%)	61 (23.7%)	80 (31.1%)	257 (100.0%)	15.1	11.7
合計	50,847 (64.8%)	24,690 (31.5%)	2,948 (3.8%)	78,485 (100.0%)	72.3	38.2
参考: 前回調査	49,576 (64.6%)	24,145 (31.5%)	2,989 (3.9%)	76,710 (100.0%)	73.4	38.6

【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域における集落数について、地方ブロック別で構成比をみると、過疎地域の多い九州圏(22.2%)や東北圏(22.7%)、中国圏(18.8%)などで集落数も多くなっている。
- 市町村区分別集落割合を地方ブロック別でみると、東北圏、北陸圏、中国圏、九州圏では、市における集落が全体の70%程度を占めている一方、北海道では町における集落が73.9%と多くなっている。
- 1市町村あたり平均集落数をみると、現市町村での平均は77.7集落である。ただし、一部過疎地域の市町村もあるため、区域単位(旧市町村あたり)の平均集落数を集計すると、全体では40.7集落となっている。
- 地方ブロック別に1市町村あたり平均集落数をみると、現市町村単位では中国圏が167.2集落と最も大きく、区域単位(旧市町村単位)では北陸圏が61.8集落と最も大きくなっている。

図表2-9 地方ブロック別・市町村区分別 集落数及び1市町村あたり平均集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落数				ブロック 構成比	1市町村あたり平均集落数	
	市	町	村	計		現市町村	旧市町村
1 北海道	788 (20.8%)	2,804 (73.9%)	200 (5.3%)	3,792 (100.0%)	(5.5%)	24.9	21.4
2 東北圏	10,386 (66.7%)	4,666 (29.9%)	529 (3.4%)	15,581 (100.0%)	(22.7%)	93.9	46.4
3 首都圏	1,674 (49.9%)	1,486 (44.3%)	198 (5.9%)	3,358 (100.0%)	(4.9%)	46.6	27.5
4 北陸圏	1,681 (68.1%)	789 (31.9%)	0 (0.0%)	2,470 (100.0%)	(3.6%)	112.3	61.8
5 中部圏	1,681 (45.5%)	1,381 (37.4%)	631 (17.1%)	3,693 (100.0%)	(5.4%)	47.3	25.6
6 近畿圏	2,397 (57.4%)	1,492 (35.7%)	289 (6.9%)	4,178 (100.0%)	(6.1%)	53.6	29.6
7 中国圏	9,907 (76.9%)	2,944 (22.9%)	27 (0.2%)	12,878 (100.0%)	(18.8%)	167.2	59.1
8 四国圏	3,728 (52.6%)	3,282 (46.3%)	84 (1.2%)	7,094 (100.0%)	(10.4%)	107.5	50.7
9 九州圏	10,526 (69.2%)	4,204 (27.6%)	475 (3.1%)	15,205 (100.0%)	(22.2%)	98.7	44.3
10 沖縄県	116 (45.1%)	61 (23.7%)	80 (31.1%)	257 (100.0%)	(0.4%)	15.1	11.7
合計	42,884 (62.6%)	23,109 (33.7%)	2,513 (3.7%)	68,506 (100.0%)	(100.0%)	77.7	40.7

②現市町村の過疎区分別 集落数

【全体】

- 現市町村の過疎区分別でみると、全部過疎の市町村(以下「過疎市町村」という。)における集落が全集落の70.1%を占めており、1区域あたり平均集落数はみなし過疎市町村が57.0集落と最も大きい。
- 地域指定別でみると、1区域あたり平均集落数は離島の一部過疎区域で7.4集落と最も小さく、過疎地域のみなし過疎区域で57.0集落と最も大きい。

図表2-10 現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】

全体	現市町村の過疎区分別 集落数					現市町村の過疎区分別 区域あたり平均集落数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎
1 北海道	3,585 (88.6%)	48 (1.2%)	159 (3.9%)	252 (6.2%)	4,044 (100.0%)	22.3	16.0	12.2	18.0
2 東北圏	12,084 (65.6%)	1,171 (6.4%)	2,326 (12.6%)	2,853 (15.5%)	18,434 (100.0%)	47.8	53.2	38.1	50.1
3 首都圏	2,090 (51.5%)	0 (0.0%)	1,268 (31.3%)	699 (17.2%)	4,057 (100.0%)	26.8		28.8	16.3
4 北陸圏	2,149 (63.7%)	0 (0.0%)	321 (9.5%)	903 (26.8%)	3,373 (100.0%)	65.1		45.9	25.1
5 中部圏	2,897 (53.4%)	0 (0.0%)	796 (14.7%)	1,734 (32.0%)	5,427 (100.0%)	27.6		20.4	21.1
6 近畿圏	3,105 (63.7%)	406 (8.3%)	667 (13.7%)	697 (14.3%)	4,875 (100.0%)	31.1	33.8	23.0	19.9
7 中国圏	10,688 (77.4%)	822 (6.0%)	1,368 (9.9%)	929 (6.7%)	13,807 (100.0%)	65.6	117.4	28.5	23.8
8 四国圏	6,154 (81.4%)	257 (3.4%)	683 (9.0%)	469 (6.2%)	7,563 (100.0%)	55.9	85.7	25.3	18.0
9 九州圏	12,140 (72.9%)	779 (4.7%)	2,286 (13.7%)	1,443 (8.7%)	16,648 (100.0%)	47.2	70.8	30.5	39.0
10 沖縄県	141 (54.9%)	105 (40.9%)	11 (4.3%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	8.8	21.0	11.0	
合計	55,033 (70.1%)	3,588 (4.6%)	9,885 (12.6%)	9,979 (12.7%)	78,485 (100.0%)	43.1	57.0	28.7	27.0
参考: 前回調査	49,341 (64.3%)	5,933 (7.7%)	7,963 (10.4%)	13,473 (17.6%)	76,710 (100.0%)	44.0	51.1	28.1	28.9

図表2-11 地域指定別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数【全体】

全体	現市町村の過疎区分別 集落数					現市町村の過疎区分別 区域あたり平均集落数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎
過疎地域	55,033 (80.3%)	3,588 (5.2%)	9,885 (14.4%)	0 (0.0%)	68,506 (100.0%)	43.5	57.0	29.4	-
振興山村	19,382 (71.2%)	988 (3.6%)	3,150 (11.6%)	3,687 (13.6%)	27,207 (100.0%)	38.5	44.9	26.3	17.5
離島	2,143 (86.9%)	105 (4.3%)	74 (3.0%)	143 (5.8%)	2,465 (100.0%)	29.0	21.0	7.4	3.5
半島	10,260 (71.3%)	406 (2.8%)	922 (6.4%)	2,799 (19.5%)	14,387 (100.0%)	41.0	36.9	22.0	40.0
特別豪雪地帯	7,821 (64.8%)	284 (2.4%)	1,162 (9.6%)	2,811 (23.3%)	12,078 (100.0%)	39.5	47.3	38.7	66.9

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1区域あたり平均集落数を地方ブロック別・過疎区分別で比較すると、沖縄県の過疎区域が8.8集落と最も小さく、中国圏のみなし過疎区域が117.4集落と最も大きい。

図表2-12 地方ブロック別・現市町村の過疎区分別 集落数及び1区域あたり平均集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落数				現市町村の過疎区分別 区域あたり平均集落数		
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎
1 北海道	3,585 (94.5%)	48 (1.3%)	159 (4.2%)	3,792 (100.0%)	22.3	16.0	12.2
2 東北圏	12,084 (77.6%)	1,171 (7.5%)	2,326 (14.9%)	15,581 (100.0%)	47.8	53.2	38.1
3 首都圏	2,090 (62.2%)	0 (0.0%)	1,268 (37.8%)	3,358 (100.0%)	26.8	-	28.8
4 北陸圏	2,149 (87.0%)	0 (0.0%)	321 (13.0%)	2,470 (100.0%)	65.1	-	45.9
5 中部圏	2,897 (78.4%)	0 (0.0%)	796 (21.6%)	3,693 (100.0%)	27.6	-	20.4
6 近畿圏	3,105 (74.3%)	406 (9.7%)	667 (16.0%)	4,178 (100.0%)	31.1	33.8	23.0
7 中国圏	10,688 (83.0%)	822 (6.4%)	1,368 (10.6%)	12,878 (100.0%)	65.6	117.4	28.5
8 四国圏	6,154 (86.7%)	257 (3.6%)	683 (9.6%)	7,094 (100.0%)	55.9	85.7	25.3
9 九州圏	12,140 (79.8%)	779 (5.1%)	2,286 (15.0%)	15,205 (100.0%)	47.2	70.8	30.5
10 沖縄県	141 (54.9%)	105 (40.9%)	11 (4.3%)	257 (100.0%)	8.8	21.0	11.0
合計	55,033 (80.3%)	3,588 (5.2%)	9,885 (14.4%)	68,506 (100.0%)	43.1	57.0	28.7

③地域区分別 集落数

【全体】

- 地域区分別集落数をみると、山間地が28.7%、中間地が29.2%で、全体の57.9%が中山間地にある。
- 地域指定別でみると、振興山村では集落の84.9%が中山間地にある一方、半島地域や特別豪雪地帯では1割以上の集落が都市的地域にある。

図表2-13 地域区分別 集落数 【全体】

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	645 (15.9%)	1,023 (25.3%)	1,724 (42.6%)	519 (12.8%)	133 (3.3%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	3,794 (20.6%)	4,720 (25.6%)	7,178 (38.9%)	2,098 (11.4%)	644 (3.5%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	1,197 (29.5%)	1,270 (31.3%)	1,344 (33.1%)	235 (5.8%)	11 (0.3%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	932 (27.6%)	736 (21.8%)	1,368 (40.6%)	336 (10.0%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	2,743 (50.5%)	1,587 (29.2%)	860 (15.8%)	232 (4.3%)	5 (0.1%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	1,947 (39.9%)	1,560 (32.0%)	992 (20.3%)	370 (7.6%)	6 (0.1%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	4,819 (34.9%)	4,727 (34.2%)	3,057 (22.1%)	1,135 (8.2%)	69 (0.5%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	2,678 (35.4%)	2,076 (27.4%)	2,164 (28.6%)	508 (6.7%)	137 (1.8%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	3,751 (22.5%)	5,191 (31.2%)	5,981 (35.9%)	1,164 (7.0%)	561 (3.4%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	34 (13.2%)	46 (17.9%)	174 (67.7%)	0 (0.0%)	3 (1.2%)	257 (100.0%)
合計	22,540 (28.7%)	22,936 (29.2%)	24,842 (31.7%)	6,597 (8.4%)	1,570 (2.0%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	22,743 (29.6%)	22,135 (28.9%)	23,526 (30.7%)	6,955 (9.1%)	1,351 (1.8%)	76,710 (100.0%)

図表2-14 地域指定別・地域区分別 集落数 【全体】

全体	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
過疎地域	19,849 (29.0%)	20,528 (30.0%)	22,396 (32.7%)	5,145 (7.5%)	588 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	15,648 (57.5%)	7,458 (27.4%)	3,364 (12.4%)	388 (1.4%)	349 (1.3%)	27,207 (100.0%)
離島	531 (21.5%)	818 (33.2%)	1,023 (41.5%)	44 (1.8%)	49 (2.0%)	2,465 (100.0%)
半島	2,977 (20.7%)	4,373 (30.4%)	5,307 (36.9%)	1,591 (11.1%)	139 (1.0%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	2,588 (21.4%)	3,084 (25.5%)	4,242 (35.1%)	1,598 (13.2%)	566 (4.7%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落は、山間地が29.0%、中間地が30.0%で、全体の58.9%が中山間地にある。
- 地方ブロック別でみると、山間地集落の割合は中部圏において、中間地集落の割合は中国圏においてそれぞれ最も高くなっている。また、都市的地域における集落の割合が最も高いのは北海道である。

図表2-15 地方ブロック別・地域区分別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落数					計
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	
1 北海道	626 (16.5%)	973 (25.7%)	1,581 (41.7%)	479 (12.6%)	133 (3.5%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	3,449 (22.1%)	4,256 (27.3%)	6,318 (40.5%)	1,500 (9.6%)	58 (0.4%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	1,008 (30.0%)	916 (27.3%)	1,245 (37.1%)	180 (5.4%)	9 (0.3%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	548 (22.2%)	552 (22.3%)	1,072 (43.4%)	297 (12.0%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	1,830 (49.6%)	1,191 (32.3%)	534 (14.5%)	135 (3.7%)	3 (0.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	1,738 (41.6%)	1,366 (32.7%)	756 (18.1%)	317 (7.6%)	1 (0.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	4,608 (35.8%)	4,397 (34.1%)	2,915 (22.6%)	889 (6.9%)	69 (0.5%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	2,429 (34.2%)	1,962 (27.7%)	2,103 (29.6%)	463 (6.5%)	137 (1.9%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	3,579 (23.5%)	4,869 (32.0%)	5,698 (37.5%)	885 (5.8%)	174 (1.1%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	34 (13.2%)	46 (17.9%)	174 (67.7%)	0 (0.0%)	3 (1.2%)	257 (100.0%)
合計	19,849 (29.0%)	20,528 (30.0%)	22,396 (32.7%)	5,145 (7.5%)	588 (0.9%)	68,506 (100.0%)

④集落類型別 集落数

【全体】

- 集落類型別集落数をみると、基礎集落が80.5%、基幹集落が10.2%、中心集落が7.5%となっている。
- 地域指定別でみると、いずれの地域も基礎集落が占める割合が最も高い。

図表2-16 集落類型別 集落数 【全体】

全体	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
1 北海道	2,884 (71.3%)	605 (15.0%)	498 (12.3%)	57 (1.4%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	14,128 (76.6%)	2,206 (12.0%)	1,434 (7.8%)	666 (3.6%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	3,476 (85.7%)	380 (9.4%)	194 (4.8%)	7 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	3,006 (89.1%)	255 (7.6%)	111 (3.3%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	4,355 (80.2%)	671 (12.4%)	347 (6.4%)	54 (1.0%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	3,910 (80.2%)	547 (11.2%)	400 (8.2%)	18 (0.4%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	10,930 (79.2%)	1,221 (8.8%)	1,458 (10.6%)	198 (1.4%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	6,458 (85.4%)	539 (7.1%)	492 (6.5%)	74 (1.0%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	13,823 (83.0%)	1,537 (9.2%)	915 (5.5%)	373 (2.2%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	194 (75.5%)	35 (13.6%)	25 (9.7%)	3 (1.2%)	257 (100.0%)
合計	63,164 (80.5%)	7,996 (10.2%)	5,874 (7.5%)	1,451 (1.8%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	62,100 (81.0%)	7,967 (10.4%)	5,165 (6.7%)	1,478 (1.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-17 地域指定別・集落類型別 集落数 【全体】

全体	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
過疎地域	55,965 (81.7%)	6,849 (10.0%)	5,106 (7.5%)	586 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	22,631 (83.2%)	2,614 (9.6%)	1,503 (5.5%)	459 (1.7%)	27,207 (100.0%)
離島	1,911 (77.5%)	250 (10.1%)	301 (12.2%)	3 (0.1%)	2,465 (100.0%)
半島	11,813 (82.1%)	1,518 (10.6%)	1,022 (7.1%)	34 (0.2%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	9,296 (77.0%)	1,341 (11.1%)	790 (6.5%)	651 (5.4%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落類型別集落数をみると、基礎集落が 81.7%、基幹集落が 10.0%、中心集落が 7.5%となっている。
- 地方ブロック別でみると、基礎集落が占める割合は北陸圏において 90.3%と最も高く、基幹集落や中心集落の構成比は北海道において最も高くなっている。

図表2-18 地方ブロック別・集落類型別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
1 北海道	2,728 (71.9%)	534 (14.1%)	473 (12.5%)	57 (1.5%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	12,483 (80.1%)	1,814 (11.6%)	1,204 (7.7%)	80 (0.5%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	2,905 (86.5%)	294 (8.8%)	152 (4.5%)	7 (0.2%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	2,230 (90.3%)	163 (6.6%)	76 (3.1%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	2,939 (79.6%)	452 (12.2%)	248 (6.7%)	54 (1.5%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	3,338 (79.9%)	470 (11.2%)	352 (8.4%)	18 (0.4%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	10,166 (78.9%)	1,116 (8.7%)	1,398 (10.9%)	198 (1.5%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	6,079 (85.7%)	515 (7.3%)	429 (6.0%)	71 (1.0%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	12,903 (84.9%)	1,456 (9.6%)	749 (4.9%)	97 (0.6%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	194 (75.5%)	35 (13.6%)	25 (9.7%)	3 (1.2%)	257 (100.0%)
合計	55,965 (81.7%)	6,849 (10.0%)	5,106 (7.5%)	586 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、基礎集落の割合が最も高いのは山間地であり、88.7%を占めている。一方、基幹集落や中心集落の割合は都市的地域で最も高い。

図表2-19 地域区分別・集落類型別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落類型別 集落数				計
	基礎	基幹	中心	無回答	
山間地	17,597 (88.7%)	1,342 (6.8%)	686 (3.5%)	224 (1.1%)	19,849 (100.0%)
中間地	17,350 (84.5%)	2,037 (9.9%)	1,036 (5.0%)	105 (0.5%)	20,528 (100.0%)
平地	17,551 (78.4%)	2,648 (11.8%)	2,078 (9.3%)	119 (0.5%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	3,114 (60.5%)	805 (15.6%)	1,222 (23.8%)	4 (0.1%)	5,145 (100.0%)
無回答	353 (60.0%)	17 (2.9%)	84 (14.3%)	134 (22.8%)	588 (100.0%)
合計	55,965 (81.7%)	6,849 (10.0%)	5,106 (7.5%)	586 (0.9%)	68,506 (100.0%)

(2) 集落の人口規模

① 市町村別集落人口及び1集落あたり平均人口

【全体】

- 居住者がいる全集落(78,485 集落)のうち集落ごとの人口について回答が得られた 78,485 集落の人口を合計すると14,329,040 人であり、このうち市部が70.5%、町部が27.0%、村部が2.5%となっている。
- 1集落あたり平均人口をみると、全体平均では184.9 人/集落であり、前回調査の198.9 人/集落より約14 人減少した。市町村区分別で比較すると、市部(202.2 人/集落)と村部(123.9 人/集落)では集落あたり78.3 人の差がみられる。
- 地域指定別でみると、1集落あたり平均人口が最も多いのは半島地域で249.1 人/集落となっている。一方、1集落あたり平均人口が最も少ないのは、振興山村の113.3 人/集落である。

図表2-20 市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	市町村別 集落人口				市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
1 北海道	582,425 (46.1%)	656,096 (52.0%)	23,828 (1.9%)	1,262,349 (100.0%)	685.2	222.5	116.2	315.3
2 東北圏	3,042,927 (77.2%)	785,058 (19.9%)	113,217 (2.9%)	3,941,202 (100.0%)	235.4	162.8	171.8	214.1
3 首都圏	735,897 (69.1%)	287,743 (27.0%)	41,371 (3.9%)	1,065,011 (100.0%)	347.0	182.7	161.0	269.4
4 北陸圏	348,919 (60.8%)	224,671 (39.2%)	0 (0.0%)	573,590 (100.0%)	163.9	180.9		170.2
5 中部圏	766,258 (65.7%)	314,934 (27.0%)	84,544 (7.3%)	1,165,736 (100.0%)	253.0	198.9	104.4	215.0
6 近畿圏	826,283 (66.0%)	399,370 (31.9%)	27,218 (2.2%)	1,252,871 (100.0%)	280.9	249.6	94.2	259.3
7 中国圏	1,155,735 (80.3%)	279,952 (19.5%)	2,719 (0.2%)	1,438,406 (100.0%)	108.7	89.4	100.7	104.3
8 四国圏	540,960 (66.8%)	263,365 (32.5%)	5,826 (0.7%)	810,151 (100.0%)	131.0	80.3	68.5	108.1
9 九州圏	2,040,526 (75.1%)	632,227 (23.3%)	46,046 (1.7%)	2,718,799 (100.0%)	184.2	144.8	86.2	170.2
10 沖縄県	59,274 (58.7%)	21,732 (21.5%)	19,919 (19.7%)	100,925 (100.0%)	511.0	356.3	255.4	395.8
合計	10,099,204 (70.5%)	3,865,148 (27.0%)	364,688 (2.5%)	14,329,040 (100.0%)	202.2	157.1	123.9	184.9
参考: 前回調査	10,913,873 (71.6%)	3,943,298 (25.9%)	392,844 (2.6%)	15,250,015 (100.0%)	220.3	163.4	131.6	198.9

図表2-21 地域指定別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	市町村別 集落人口				市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
過疎地域	7,222,246 (66.8%)	3,336,210 (30.9%)	251,159 (2.3%)	10,809,615 (100.0%)	170.0	144.8	100.1	158.9
振興山村	1,664,828 (54.5%)	1,167,137 (38.2%)	225,202 (7.4%)	3,057,167 (100.0%)	118.0	108.1	108.4	113.3
離島	253,996 (63.9%)	132,290 (33.3%)	11,422 (2.9%)	397,708 (100.0%)	150.7	181.5	278.6	161.9
半島	2,566,137 (73.4%)	893,159 (25.5%)	36,705 (1.0%)	3,496,001 (100.0%)	268.3	213.0	134.0	249.1
特別豪雪地帯	1,801,515 (73.2%)	585,003 (23.8%)	74,379 (3.0%)	2,460,897 (100.0%)	236.7	153.7	119.2	204.4

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の人口を合計すると 10,809,615 人であり、このうち市部が 66.8%、町部が 30.9%、村部が 2.3%となっている。
- 地方ブロック別でみると、市部における集落人口の割合が最も高いのは中国圏であり、町部については北海道が、村部については沖縄県がそれぞれ最も高い構成比となっている。
- 過疎地域における集落の1集落あたり平均人口をみると、全体平均では 158.9 人/集落であり、市町村区分別で比較すると、市部(170.0 人/集落)と村部(100.1 人/集落)では集落あたり 69.9 人の差がみられる。
- 地方ブロック別で1集落あたり平均人口を比較すると、沖縄県が 395.8 人/集落と最も多く、次いで北海道の 303.1 人/集落となっている。これをさらに市町村区分別でみると、特に北海道及び沖縄県では、市部における1集落あたり平均人口が 688.2 人/集落、511.0 人/集落と突出して多くなっている。

図表2-22 地方ブロック別・市町村別 集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落人口				ブロック 構成比	市町村別 集落あたり平均人口			
	市	町	村	計		市	町	村	全体
1 北海道	535,384 (47.0%)	581,216 (51.0%)	22,372 (2.0%)	1,138,972 (100.0%)	(10.5%)	688.2	209.1	111.9	303.1
2 東北圏	1,809,162 (69.4%)	726,999 (27.9%)	69,671 (2.7%)	2,605,832 (100.0%)	(24.1%)	174.3	156.1	132.2	167.4
3 首都圏	514,025 (64.3%)	265,753 (33.2%)	20,207 (2.5%)	799,985 (100.0%)	(7.4%)	313.6	178.8	102.1	240.7
4 北陸圏	264,843 (71.8%)	104,143 (28.2%)	0 (0.0%)	368,986 (100.0%)	(3.4%)	157.6	132.2		149.5
5 中部圏	388,605 (61.7%)	196,581 (31.2%)	44,168 (7.0%)	629,354 (100.0%)	(5.8%)	231.2	142.6	70.0	170.5
6 近畿圏	552,093 (61.0%)	325,862 (36.0%)	27,218 (3.0%)	905,173 (100.0%)	(8.4%)	231.6	222.7	94.2	218.9
7 中国圏	921,778 (76.6%)	278,297 (23.1%)	2,719 (0.2%)	1,202,794 (100.0%)	(11.1%)	93.2	94.6	100.7	93.5
8 四国圏	474,787 (63.9%)	262,655 (35.3%)	5,824 (0.8%)	743,266 (100.0%)	(6.9%)	127.6	80.1	69.3	104.9
9 九州圏	1,702,295 (73.6%)	572,972 (24.8%)	39,061 (1.7%)	2,314,328 (100.0%)	(21.4%)	166.6	136.5	82.2	155.4
10 沖縄県	59,274 (58.7%)	21,732 (21.5%)	19,919 (19.7%)	100,925 (100.0%)	(0.9%)	511.0	356.3	255.4	395.8
合計	7,222,246 (66.8%)	3,336,210 (30.9%)	251,159 (2.3%)	10,809,615 (100.0%)	(100.0%)	170.0	144.8	100.1	158.9

②過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

【過疎地域のみ】

- 1集落あたり平均人口を現市町村の過疎区分別でみると、みなし過疎市町村が 244.4 人/集落、一部過疎市町村が 170.9 人/集落と、全体の 1 集落あたり平均人口 (158.9 人/集落) よりも多くなっている。
- 地方ブロック別でみると、過疎市町村では沖縄県が 299.6 人/集落と最も多く、中国圏が 80.8 人/集落と最も小さい。
- さらに過疎区分別でみると、みなし過疎市町村では北海道 (3,543.2 人/集落) が突出して多いほか、近畿圏で 300 人以上、沖縄県で 500 人以上と比較的規模が大きい。一部過疎市町村については、沖縄県 (394.6 人/集落) や首都圏 (237.5 人/集落) で比較的規模が大きい。

図表2-23 地方ブロック別・過疎区分別集落人口及び1集落あたり平均人口 【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落人口				現市町村の過疎区分別 集落あたり平均人口			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	全体
1 北海道	949,729 (83.4%)	155,899 (13.7%)	33,344 (2.9%)	1,138,972 (100.0%)	267.2	3,543.2	209.7	303.1
2 東北圏	1,978,391 (75.9%)	294,899 (11.3%)	332,542 (12.8%)	2,605,832 (100.0%)	163.9	251.8	143.0	167.4
3 首都圏	507,187 (63.4%)	0 (0.0%)	292,798 (36.6%)	799,985 (100.0%)	242.7	-	237.5	240.7
4 北陸圏	314,403 (85.2%)	0 (0.0%)	54,583 (14.8%)	368,986 (100.0%)	146.4	-	170.6	149.5
5 中部圏	507,477 (80.6%)	0 (0.0%)	121,877 (19.4%)	629,354 (100.0%)	175.3	-	153.1	170.5
6 近畿圏	633,074 (69.9%)	122,824 (13.6%)	149,275 (16.5%)	905,173 (100.0%)	206.7	302.5	223.8	218.9
7 中国圏	837,121 (69.6%)	85,199 (7.1%)	280,474 (23.3%)	1,202,794 (100.0%)	80.8	103.6	166.8	93.5
8 四国圏	606,201 (81.6%)	35,409 (4.8%)	101,656 (13.7%)	743,266 (100.0%)	98.6	137.8	149.7	104.9
9 九州圏	1,871,577 (80.9%)	126,840 (5.5%)	315,911 (13.7%)	2,314,328 (100.0%)	154.5	162.8	158.3	155.4
10 沖縄県	41,651 (41.3%)	54,933 (54.4%)	4,341 (4.3%)	100,925 (100.0%)	299.6	523.2	394.6	395.8
合計	8,246,811 (76.3%)	876,003 (8.1%)	1,686,801 (15.6%)	10,809,615 (100.0%)	151.1	244.4	170.9	158.9

③地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口

【全体】

- 1集落あたり平均人口を地域区分別でみると、山間地では 81.1 人/集落であるのに対して、都市的地域にある集落では 490.5 人/集落と大きな開きが見られる。
- 地域指定別でみると、地域区分別で最も小規模な山間地集落の中でも過疎地域の山間地集落は 73.4 人/集落と最も規模が小さい。

図表2-24 地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
1 北海道	58,853 (4.7%)	191,024 (15.1%)	365,210 (28.9%)	617,832 (48.9%)	29,430 (2.3%)	1,262,349 (100.0%)	93.6	188.0	212.3	1,190.4	245.3	315.3
2 東北圏	376,959 (9.6%)	792,603 (20.1%)	1,387,299 (35.2%)	1,051,983 (26.7%)	332,358 (8.4%)	3,941,202 (100.0%)	99.7	168.0	193.5	501.4	520.9	214.1
3 首都圏	168,879 (15.9%)	294,621 (27.7%)	398,799 (37.4%)	200,645 (18.8%)	2,067 (0.2%)	1,065,011 (100.0%)	142.5	238.8	308.7	853.8	295.3	269.4
4 北陸圏	66,114 (11.5%)	88,027 (15.3%)	273,410 (47.7%)	146,039 (25.5%)	0 (0.0%)	573,590 (100.0%)	71.0	119.6	199.9	434.6		170.2
5 中部圏	274,238 (23.5%)	356,256 (30.6%)	361,821 (31.0%)	166,757 (14.3%)	6,664 (0.6%)	1,165,736 (100.0%)	100.1	224.5	422.2	718.8	1,332.8	215.0
6 近畿圏	213,953 (17.1%)	402,736 (32.1%)	437,561 (34.9%)	194,305 (15.5%)	4,316 (0.3%)	1,252,871 (100.0%)	111.8	259.7	442.0	525.1	719.3	259.3
7 中国圏	267,971 (18.6%)	508,210 (35.3%)	400,496 (27.8%)	259,719 (18.1%)	2,010 (0.1%)	1,438,406 (100.0%)	55.8	107.6	131.0	229.2	30.0	104.3
8 四国圏	121,181 (15.0%)	239,524 (29.6%)	336,194 (41.5%)	98,863 (12.2%)	14,389 (1.8%)	810,151 (100.0%)	45.8	117.0	155.8	195.4	105.0	108.1
9 九州圏	254,196 (9.3%)	765,636 (28.2%)	1,186,722 (43.6%)	479,223 (17.6%)	33,022 (1.2%)	2,718,799 (100.0%)	69.8	151.9	201.1	425.6	123.2	170.2
10 沖縄県	6,374 (6.3%)	14,686 (14.6%)	79,547 (78.8%)	0 (0.0%)	318 (0.3%)	100,925 (100.0%)	187.5	319.3	457.2		318.0	395.8
合計	1,808,718 (12.6%)	3,653,323 (25.5%)	5,227,059 (36.5%)	3,215,366 (22.4%)	424,574 (3.0%)	14,329,040 (100.0%)	81.1	160.9	211.7	490.5	339.9	184.9
参考: 前回調査	2,006,565 (13.2%)	3,627,485 (23.8%)	5,256,712 (34.5%)	3,890,527 (25.5%)	468,726 (3.1%)	15,250,015 (100.0%)	88.2	163.9	223.5	559.5	347.5	198.8

図表2-25 地域指定別・地域区分別 集落人口及び1集落あたり平均人口【全体】

全体	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
過疎地域	1,445,835 (13.4%)	2,999,678 (27.8%)	4,158,101 (38.5%)	2,116,647 (19.6%)	89,354 (0.8%)	10,809,615 (100.0%)	73.4	147.3	186.6	412.5	164.9	158.9
振興山村	1,156,426 (37.8%)	970,005 (31.7%)	545,269 (17.8%)	242,014 (7.9%)	143,453 (4.7%)	3,057,167 (100.0%)	74.5	131.4	162.6	623.7	430.8	113.3
離島	62,483 (15.7%)	111,862 (28.1%)	193,826 (48.7%)	14,971 (3.8%)	14,566 (3.7%)	397,708 (100.0%)	117.7	137.8	190.0	340.3	297.3	161.9
半島	266,417 (7.6%)	915,951 (26.2%)	1,503,058 (43.0%)	767,669 (22.0%)	42,906 (1.2%)	3,496,001 (100.0%)	92.8	213.2	289.4	495.0	348.8	249.1
特別豪雪地帯	205,766 (8.4%)	426,644 (17.3%)	784,050 (31.9%)	854,622 (34.7%)	189,815 (7.7%)	2,460,897 (100.0%)	80.0	138.6	185.0	534.8	342.6	204.4

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1集落あたり平均人口を地域区分別でみると、条件不利地域全体と同様、山間地集落（72.9人/集落）と都市的地域にある集落（411.4人/集落）とでは大きな開きがみられる。
- 地方ブロック別で1集落あたり平均人口を比較すると、山間地、中間地、平地のそれぞれで集落あたりの平均人口が最も多いのは沖縄県であり、平地集落は唯一 400人/集落を超えている。また、都市的地域にある集落は北海道で1,169.5人/集落と最も集落規模が大きくなっている。
- 一方、1集落あたり平均人口が最も少ないのは、山間地集落では四国圏の 45.0人/集落であり、中間地、平地、都市的地域のそれぞれでは中国圏が最小となっている。

図表2-26 地方ブロック別・地域区分別集落人口及び1集落あたり平均人口【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落人口						地域区分別 集落あたり平均人口					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
1 北海道	55,946 (4.9%)	172,216 (15.1%)	321,178 (28.2%)	560,202 (49.2%)	29,430 (2.6%)	1,138,972 (100.0%)	91.6	177.5	203.5	1,169.5	245.3	303.1
2 東北圏	297,553 (11.4%)	632,639 (24.3%)	1,096,860 (42.1%)	550,340 (21.1%)	28,440 (1.1%)	2,605,832 (100.0%)	86.3	148.7	173.8	366.9	546.9	167.4
3 首都圏	126,573 (15.8%)	197,441 (24.7%)	346,031 (43.3%)	129,693 (16.2%)	247 (0.0%)	799,985 (100.0%)	125.9	216.0	283.9	720.5	49.4	240.7
4 北陸圏	30,219 (8.2%)	65,858 (17.8%)	197,232 (53.5%)	75,677 (20.5%)	0 (0.0%)	368,986 (100.0%)	55.1	119.3	184.0	254.8	-	149.4
5 中部圏	177,636 (28.2%)	246,084 (39.1%)	142,052 (22.6%)	60,049 (9.5%)	3,533 (0.6%)	629,354 (100.0%)	97.1	206.6	266.0	444.8	1,177.7	170.4
6 近畿圏	175,788 (19.4%)	333,504 (36.8%)	248,737 (27.5%)	146,984 (16.2%)	160 (0.0%)	905,173 (100.0%)	101.1	244.1	329.0	463.7	160.0	216.7
7 中国圏	230,688 (19.2%)	463,031 (38.5%)	352,845 (29.3%)	154,220 (12.8%)	2,010 (0.2%)	1,202,794 (100.0%)	50.1	105.3	121.0	173.5	29.1	93.4
8 四国圏	109,413 (14.7%)	215,249 (29.0%)	316,999 (42.6%)	87,216 (11.7%)	14,389 (1.9%)	743,266 (100.0%)	45.0	109.7	150.7	188.4	105.0	104.8
9 九州圏	235,645 (10.2%)	658,970 (28.5%)	1,056,620 (45.7%)	352,266 (15.2%)	10,827 (0.5%)	2,314,328 (100.0%)	65.8	135.3	185.4	398.0	62.2	152.2
10 沖縄県	6,374 (6.3%)	14,686 (14.6%)	79,547 (78.8%)	0 (0.0%)	318 (0.3%)	100,925 (100.0%)	187.5	319.3	457.2	-	106.0	392.7
合計	1,445,835 (13.4%)	2,999,678 (27.8%)	4,158,101 (38.5%)	2,116,647 (19.6%)	89,354 (0.8%)	10,809,615 (100.0%)	72.9	146.2	186.0	411.4	158.1	158.0

④人口規模別 集落数

【全体】

- 人口規模別集落数をみると、25人未満の集落が全体の16.2%を占め、100人未満の集落では56.7%と半数以上を占めている。
- 地域指定別でみると、特に振興山村において人口規模の小さな集落が多く、50人未満の集落が49.6%を占めている。一方、半島地域では比較的規模の大きい集落の割合が高く、3割近くの集落が200人以上の規模となっている。

図表2-27 人口規模別 集落数【全体】

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	208 (5.1%)	501 (12.4%)	760 (18.8%)	722 (17.9%)	752 (18.6%)	644 (15.9%)	230 (5.7%)	187 (4.6%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	560 (3.0%)	1,223 (6.6%)	2,701 (14.7%)	4,435 (24.1%)	4,609 (25.0%)	3,527 (19.1%)	906 (4.9%)	446 (2.4%)	27 (0.1%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	82 (2.0%)	242 (6.0%)	540 (13.3%)	868 (21.4%)	893 (22.0%)	887 (21.9%)	281 (6.9%)	147 (3.6%)	117 (2.9%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	192 (5.7%)	297 (8.8%)	531 (15.7%)	866 (25.7%)	775 (23.0%)	516 (15.3%)	125 (3.7%)	69 (2.0%)	2 (0.1%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	298 (5.5%)	657 (12.1%)	868 (16.0%)	1,183 (21.8%)	1,127 (20.8%)	794 (14.6%)	290 (5.3%)	203 (3.7%)	7 (0.1%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	182 (3.7%)	404 (8.3%)	631 (12.9%)	1,040 (21.3%)	1,129 (23.2%)	910 (18.7%)	301 (6.2%)	230 (4.7%)	48 (1.0%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	1,051 (7.6%)	2,669 (19.3%)	3,518 (25.5%)	3,161 (22.9%)	1,765 (12.8%)	1,031 (7.5%)	295 (2.1%)	131 (0.9%)	186 (1.3%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	714 (9.4%)	1,237 (16.4%)	1,628 (21.5%)	1,798 (23.8%)	1,240 (16.4%)	682 (9.0%)	130 (1.7%)	68 (0.9%)	66 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	547 (3.3%)	1,645 (9.9%)	2,675 (16.1%)	3,819 (22.9%)	3,591 (21.6%)	2,667 (16.0%)	767 (4.6%)	264 (1.6%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	1 (0.4%)	11 (4.3%)	26 (10.1%)	56 (21.8%)	90 (35.0%)	52 (20.2%)	18 (7.0%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	3,835 (4.9%)	8,876 (11.3%)	13,863 (17.7%)	17,918 (22.8%)	15,937 (20.3%)	11,748 (15.0%)	3,377 (4.3%)	1,763 (2.2%)	1,168 (1.5%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	2,991 (3.9%)	7,543 (9.8%)	12,786 (16.7%)	17,624 (23.0%)	16,526 (21.5%)	12,549 (16.4%)	3,690 (4.8%)	1,898 (2.5%)	1,103 (1.4%)	76,710 (100.0%)

図表2-28 地域指定別・人口規模別 集落数【全体】

全体	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
過疎地域	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)
振興山村	2,352 (8.6%)	5,004 (18.4%)	6,148 (22.6%)	6,021 (22.1%)	4,235 (15.6%)	2,405 (8.8%)	512 (1.9%)	290 (1.1%)	240 (0.9%)	27,207 (100.0%)
離島	116 (4.7%)	244 (9.9%)	448 (18.2%)	644 (26.1%)	497 (20.2%)	343 (13.9%)	112 (4.5%)	45 (1.8%)	16 (0.6%)	2,465 (100.0%)
半島	497 (3.5%)	1,176 (8.2%)	1,993 (13.9%)	3,172 (22.0%)	3,005 (20.9%)	2,520 (17.5%)	877 (6.1%)	629 (4.4%)	518 (3.6%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	566 (4.7%)	1,121 (9.3%)	2,017 (16.7%)	2,795 (23.1%)	2,713 (22.5%)	1,969 (16.3%)	542 (4.5%)	317 (2.6%)	38 (0.3%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落について人口規模別で見ると、25 人未満の集落が全体の 17.1%を占め、100 人未満の集落では 59.7%と半数以上を占めている。
- 地方ブロック別で見ると、中国圏及び四国圏において小規模な集落の割合が他のブロックより高くなっており、特に中国地方では人口 100 人未満の集落の割合が全体の 78.2%を占めている。
- 一方、人口が 200 人を超える集落の割合は沖縄県において最も高くなっている。

図表2-29 地方ブロック別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	200 (5.3%)	479 (12.6%)	731 (19.3%)	690 (18.2%)	705 (18.6%)	585 (15.4%)	201 (5.3%)	167 (4.4%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	497 (3.2%)	1,136 (7.3%)	2,510 (16.1%)	4,015 (25.8%)	3,980 (25.5%)	2,673 (17.2%)	565 (3.6%)	190 (1.2%)	15 (0.1%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	68 (2.0%)	227 (6.8%)	498 (14.8%)	756 (22.5%)	756 (22.5%)	733 (21.8%)	199 (5.9%)	86 (2.6%)	35 (1.0%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	138 (5.6%)	217 (8.8%)	383 (15.5%)	662 (26.8%)	557 (22.6%)	394 (16.0%)	87 (3.5%)	30 (1.2%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	211 (5.7%)	418 (11.3%)	572 (15.5%)	861 (23.3%)	838 (22.7%)	547 (14.8%)	176 (4.8%)	67 (1.8%)	3 (0.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	171 (4.1%)	374 (9.0%)	552 (13.2%)	926 (22.2%)	1,005 (24.1%)	776 (18.6%)	210 (5.0%)	118 (2.8%)	46 (1.1%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	1,013 (7.9%)	2,603 (20.2%)	3,427 (26.6%)	3,034 (23.6%)	1,635 (12.7%)	865 (6.7%)	196 (1.5%)	86 (0.7%)	19 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	647 (9.1%)	1,181 (16.6%)	1,567 (22.1%)	1,719 (24.2%)	1,176 (16.6%)	628 (8.9%)	104 (1.5%)	62 (0.9%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	528 (3.5%)	1,600 (10.5%)	2,597 (17.1%)	3,620 (23.8%)	3,361 (22.1%)	2,369 (15.6%)	640 (4.2%)	175 (1.2%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	1 (0.4%)	11 (4.3%)	26 (10.1%)	56 (21.8%)	90 (35.0%)	52 (20.2%)	18 (7.0%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別で見ると、基礎集落では 100 人未満の集落が 64.2%を占めているのに対して、基幹集落や中心集落では約 6 割の集落が 100 人以上の人口規模となっている。

図表2-30 集落類型別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
基礎集落	3,242 (5.8%)	7,489 (13.4%)	11,339 (20.3%)	13,883 (24.8%)	11,269 (20.1%)	6,698 (12.0%)	1,325 (2.4%)	346 (0.6%)	374 (0.7%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	53 (0.8%)	298 (4.4%)	701 (10.2%)	1,375 (20.1%)	1,758 (25.7%)	1,769 (25.8%)	584 (8.5%)	264 (3.9%)	47 (0.7%)	6,849 (100.0%)
中心集落	116 (2.3%)	334 (6.5%)	684 (13.4%)	942 (18.4%)	974 (19.1%)	1,141 (22.3%)	511 (10.0%)	387 (7.6%)	17 (0.3%)	5,106 (100.0%)
無回答	63 (10.8%)	115 (19.6%)	124 (21.2%)	109 (18.6%)	68 (11.6%)	52 (8.9%)	10 (1.7%)	2 (0.3%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 地域区別でみると、山間地集落の5割超が人口 50 人未満の集落であるのに対して、都市的地域の集落の半数近くは人口が 200 人以上の集落となっている。

図表2-31 地域区別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	2,272 (11.4%)	4,387 (22.1%)	4,941 (24.9%)	4,275 (21.5%)	2,513 (12.7%)	1,074 (5.4%)	189 (1.0%)	48 (0.2%)	150 (0.8%)	19,849 (100.0%)
中間地	682 (3.3%)	2,129 (10.4%)	3,972 (19.3%)	5,413 (26.4%)	4,544 (22.1%)	2,775 (13.5%)	595 (2.9%)	257 (1.3%)	161 (0.8%)	20,528 (100.0%)
平地	402 (1.8%)	1,383 (6.2%)	3,280 (14.6%)	5,563 (24.8%)	5,792 (25.9%)	4,375 (19.5%)	1,114 (5.0%)	377 (1.7%)	110 (0.5%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	74 (1.4%)	235 (4.6%)	551 (10.7%)	930 (18.1%)	1,144 (22.2%)	1,377 (26.8%)	516 (10.0%)	304 (5.9%)	14 (0.3%)	5,145 (100.0%)
無回答	44 (7.5%)	102 (17.3%)	104 (17.7%)	128 (21.8%)	76 (12.9%)	59 (10.0%)	16 (2.7%)	13 (2.2%)	46 (7.8%)	588 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)までの距離が遠いほど小規模な集落が占める割合が大きくなる傾向がみられ、役場(本庁)から 20 km 以上離れた集落の5割超は 50 人未満の人口規模となっている。

図表2-32 役場(本庁)までの距離別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	345 (1.5%)	1,281 (5.7%)	3,052 (13.7%)	5,037 (22.6%)	5,580 (25.0%)	4,849 (21.7%)	1,434 (6.4%)	642 (2.9%)	77 (0.3%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	577 (3.6%)	1,639 (10.3%)	3,022 (19.0%)	4,207 (26.4%)	3,565 (22.4%)	2,228 (14.0%)	446 (2.8%)	168 (1.1%)	85 (0.5%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,205 (6.7%)	2,720 (15.2%)	3,825 (21.4%)	4,401 (24.6%)	3,232 (18.1%)	1,800 (10.1%)	378 (2.1%)	120 (0.7%)	198 (1.1%)	17,879 (100.0%)
20km以上	1,328 (11.1%)	2,556 (21.3%)	2,864 (23.9%)	2,574 (21.5%)	1,604 (13.4%)	729 (6.1%)	155 (1.3%)	52 (0.4%)	117 (1.0%)	11,979 (100.0%)
無回答	19 (4.6%)	40 (9.7%)	85 (20.5%)	90 (21.7%)	88 (21.3%)	54 (13.0%)	17 (4.1%)	17 (4.1%)	4 (1.0%)	414 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、人口規模の小さい集落ほど、新幹線駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-33 新幹線駅までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	24 (2.4%)	58 (5.8%)	83 (8.3%)	162 (16.1%)	245 (24.4%)	269 (26.8%)	106 (10.5%)	39 (3.9%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	53 (2.9%)	105 (5.8%)	261 (14.4%)	462 (25.5%)	478 (26.4%)	344 (19.0%)	85 (4.7%)	21 (1.2%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	111 (2.3%)	292 (6.0%)	662 (13.5%)	1,225 (25.0%)	1,322 (27.0%)	970 (19.8%)	237 (4.8%)	72 (1.5%)	0 (0.0%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	476 (3.8%)	1,152 (9.3%)	2,036 (16.4%)	3,052 (24.6%)	3,000 (24.2%)	1,987 (16.0%)	441 (3.6%)	157 (1.3%)	115 (0.9%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	860 (5.0%)	2,296 (13.3%)	3,353 (19.4%)	3,993 (23.1%)	3,447 (19.9%)	2,391 (13.8%)	578 (3.3%)	226 (1.3%)	148 (0.9%)	17,292 (100.0%)
80km以上	1,484 (6.5%)	3,210 (14.1%)	4,757 (20.9%)	5,544 (24.4%)	4,057 (17.9%)	2,585 (11.4%)	646 (2.8%)	305 (1.3%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)
無回答	466 (5.6%)	1,123 (13.4%)	1,696 (20.3%)	1,871 (22.4%)	1,520 (18.2%)	1,114 (13.3%)	337 (4.0%)	179 (2.1%)	61 (0.7%)	8,367 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、人口規模の小さい集落ほど、特急停車駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-34 特急停車駅までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	169 (2.0%)	557 (6.5%)	1,231 (14.3%)	1,984 (23.0%)	2,095 (24.3%)	1,780 (20.6%)	499 (5.8%)	249 (2.9%)	60 (0.7%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	274 (3.9%)	649 (9.2%)	1,168 (16.5%)	1,876 (26.5%)	1,606 (22.7%)	1,077 (15.2%)	301 (4.3%)	111 (1.6%)	6 (0.1%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	617 (5.2%)	1,428 (12.0%)	2,307 (19.4%)	2,927 (24.6%)	2,465 (20.7%)	1,563 (13.1%)	398 (3.3%)	126 (1.1%)	80 (0.7%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	1,015 (5.9%)	2,436 (14.2%)	3,468 (20.2%)	3,979 (23.1%)	3,279 (19.1%)	2,137 (12.4%)	459 (2.7%)	182 (1.1%)	234 (1.4%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	814 (6.7%)	1,748 (14.3%)	2,431 (19.9%)	2,966 (24.2%)	2,402 (19.6%)	1,453 (11.9%)	286 (2.3%)	115 (0.9%)	19 (0.2%)	12,234 (100.0%)
80km以上	162 (4.7%)	375 (10.9%)	646 (18.9%)	779 (22.7%)	709 (20.7%)	490 (14.3%)	171 (5.0%)	74 (2.2%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)
無回答	423 (5.3%)	1,043 (13.0%)	1,597 (19.8%)	1,798 (22.3%)	1,513 (18.8%)	1,160 (14.4%)	316 (3.9%)	142 (1.8%)	62 (0.8%)	8,054 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、人口規模の小さい集落ほど、空港までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-35 空港までの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	6 (1.5%)	34 (8.7%)	59 (15.1%)	86 (21.9%)	76 (19.4%)	84 (21.4%)	35 (8.9%)	12 (3.1%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	15 (2.5%)	29 (4.8%)	63 (10.4%)	124 (20.5%)	145 (24.0%)	124 (20.5%)	71 (11.7%)	25 (4.1%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	77 (2.7%)	231 (8.1%)	455 (15.9%)	726 (25.3%)	659 (23.0%)	518 (18.1%)	123 (4.3%)	67 (2.3%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	505 (3.8%)	1,304 (9.8%)	2,437 (18.3%)	3,333 (25.1%)	2,898 (21.8%)	2,037 (15.3%)	531 (4.0%)	182 (1.4%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	1,632 (5.7%)	3,719 (13.0%)	5,382 (18.8%)	6,825 (23.9%)	5,714 (20.0%)	3,773 (13.2%)	865 (3.0%)	377 (1.3%)	303 (1.1%)	28,590 (100.0%)
80km以上	845 (5.4%)	1,959 (12.6%)	2,973 (19.0%)	3,606 (23.1%)	3,245 (20.8%)	2,137 (13.7%)	572 (3.7%)	229 (1.5%)	42 (0.3%)	15,608 (100.0%)
無回答	394 (5.5%)	960 (13.4%)	1,479 (20.7%)	1,609 (22.5%)	1,332 (18.6%)	987 (13.8%)	233 (3.3%)	107 (1.5%)	56 (0.8%)	7,157 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、人口規模の小さい集落ほど、高速道路等のICまでの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-36 高速道路等のICまでの距離別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
5km未満	282 (2.2%)	931 (7.2%)	1,996 (15.5%)	3,072 (23.9%)	3,127 (24.3%)	2,432 (18.9%)	691 (5.4%)	281 (2.2%)	54 (0.4%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	318 (2.9%)	958 (8.6%)	1,932 (17.4%)	2,885 (26.0%)	2,518 (22.7%)	1,779 (16.0%)	475 (4.3%)	188 (1.7%)	51 (0.5%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	832 (5.4%)	2,028 (13.1%)	3,101 (20.0%)	3,655 (23.6%)	3,047 (19.7%)	2,011 (13.0%)	432 (2.8%)	185 (1.2%)	178 (1.2%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	996 (7.2%)	2,176 (15.7%)	2,788 (20.1%)	3,229 (23.2%)	2,510 (18.1%)	1,604 (11.5%)	338 (2.4%)	127 (0.9%)	132 (0.9%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	511 (8.9%)	931 (16.2%)	1,179 (20.5%)	1,306 (22.7%)	1,068 (18.6%)	556 (9.7%)	130 (2.3%)	60 (1.0%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)
80km以上	120 (6.3%)	216 (11.3%)	336 (17.6%)	472 (24.7%)	389 (20.4%)	257 (13.5%)	83 (4.3%)	36 (1.9%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)
無回答	415 (5.5%)	996 (13.3%)	1,516 (20.2%)	1,690 (22.5%)	1,410 (18.8%)	1,021 (13.6%)	281 (3.7%)	122 (1.6%)	59 (0.8%)	7,510 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落における高齢者(65歳以上人口)の割合別でみると、10人未満の小規模集落の構成比は高齢者割合が高い集落ほど大きく、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落の約8割が10人未満の集落となっている。また、高齢者割合が75%以上100%未満の集落も、約4分の3が25人未満の小規模集落となっている。

図表2-37 65歳以上人口割合別・人口規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
50%未満	632 (1.6%)	2,214 (5.7%)	5,270 (13.6%)	9,284 (23.9%)	10,161 (26.2%)	8,113 (20.9%)	2,238 (5.8%)	933 (2.4%)	0 (0.0%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	980 (4.0%)	4,186 (17.2%)	6,849 (28.1%)	6,749 (27.7%)	3,830 (15.7%)	1,505 (6.2%)	181 (0.7%)	53 (0.2%)	0 (0.0%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	780 (23.3%)	1,683 (50.3%)	648 (19.4%)	186 (5.6%)	35 (1.0%)	11 (0.3%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,344 (100.0%)
100%	1,078 (80.4%)	141 (10.5%)	58 (4.3%)	62 (4.6%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,341 (100.0%)
無回答	4 (0.6%)	12 (1.9%)	23 (3.6%)	28 (4.4%)	41 (6.4%)	31 (4.8%)	10 (1.6%)	13 (2.0%)	481 (74.8%)	643 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 近年の転入者の有無(詳細は後述)別でみると、転入者がいるとされる集落の多くは集落人口が50人以上500人未満の中規模集落であるが、27.3%は50人未満の比較的小規模な集落である。また、10人未満の小規模集落においても近年転入がみられる集落は519集落(1.7%)存在している。
- また、転入者はいないとされる集落は、集落人口が50人未満の割合が8割を超え、転入者がいるとされる集落に比べ小規模な集落の割合が高い。

図表2-38 転入者の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模(人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
転入者がいる	519 (1.7%)	2,501 (8.4%)	5,129 (17.2%)	7,516 (25.1%)	6,934 (23.2%)	5,109 (17.1%)	1,390 (4.7%)	640 (2.1%)	151 (0.5%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	1,314 (23.3%)	1,798 (31.9%)	1,437 (25.5%)	684 (12.1%)	241 (4.3%)	91 (1.6%)	17 (0.3%)	6 (0.1%)	43 (0.8%)	5,631 (100.0%)
わからない	1,545 (4.8%)	3,755 (11.6%)	6,208 (19.1%)	8,062 (24.9%)	6,849 (21.1%)	4,431 (13.7%)	1,019 (3.1%)	353 (1.1%)	215 (0.7%)	32,437 (100.0%)
無回答	96 (1.7%)	182 (33.2%)	74 (13.5%)	47 (8.6%)	45 (8.2%)	29 (5.3%)	4 (0.7%)	0 (0.0%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落支援員等のサポート人材が活動している集落かどうか(詳細は後述)の別でみると、サポート人材が活動している集落の約4割を50人未満の比較的小規模な集落が占めている。

図表2-39 サポート人材の有無別・人口規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の人口規模(人)									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
サポート人材あり	1,878 (6.4%)	4,190 (14.3%)	6,003 (20.4%)	7,100 (24.2%)	5,561 (18.9%)	3,345 (11.4%)	696 (2.4%)	357 (1.2%)	243 (0.8%)	29,373 (100.0%)
集落支援員	1,410 (6.8%)	3,070 (14.9%)	4,296 (20.8%)	4,946 (23.9%)	3,926 (19.0%)	2,216 (10.7%)	424 (2.1%)	176 (0.9%)	205 (1.0%)	20,669 (100.0%)
地域おこし協力隊等	1,010 (6.6%)	2,378 (15.6%)	3,296 (21.7%)	3,512 (23.1%)	2,601 (17.1%)	1,677 (11.0%)	396 (2.6%)	242 (1.6%)	86 (0.6%)	15,198 (100.0%)
その他	89 (6.7%)	178 (13.4%)	234 (17.6%)	278 (20.9%)	260 (19.5%)	223 (16.7%)	58 (4.4%)	10 (0.8%)	2 (0.2%)	1,332 (100.0%)
サポート人材なし	1,596 (4.1%)	4,046 (10.3%)	6,845 (17.5%)	9,209 (23.5%)	8,508 (21.7%)	6,315 (16.1%)	1,734 (4.4%)	642 (1.6%)	238 (0.6%)	39,133 (100.0%)
合計	3,474 (5.1%)	8,236 (12.0%)	12,848 (18.8%)	16,309 (23.8%)	14,069 (20.5%)	9,660 (14.1%)	2,430 (3.5%)	999 (1.5%)	481 (0.7%)	68,506 (100.0%)

(3) 集落の世帯数規模

①市町村別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

【全体】

- 居住者がいる全集落(78,485 集落)のうち集落ごとの世帯数について回答が得られた 77,527 集落の世帯数を合計すると6,734,612 世帯であり、このうち市部が 70.5%、町部が 27.1%、村部が 2.5%となっている。
- 1集落あたり平均世帯数をみると、全体平均では 86.9 世帯/集落であり、前回調査の 88.2 世帯/集落より約 1 世帯減少した。市町村区分別で比較すると、市部(94.4 世帯/集落)と村部(56.5 世帯/集落)では、集落あたり約 38 世帯の差がみられる。
- 地域指定別でみると、1集落あたり平均世帯数が最も多いのは半島地域で 119.2 世帯/集落となっている。一方、1集落あたり平均世帯数が最も少ないのは、振興山村の 53.5 世帯/集落である。

図表2-40 市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数 【全体】

全体	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
1 北海道	328,021 (47.6%)	348,575 (50.6%)	11,877 (1.7%)	688,473 (100.0%)	385.9	118.2	57.9	171.9
2 東北圏	1,339,641 (77.8%)	333,576 (19.4%)	48,227 (2.8%)	1,721,444 (100.0%)	103.6	69.9	73.2	93.8
3 首都圏	340,581 (69.5%)	130,240 (26.6%)	19,179 (3.9%)	490,000 (100.0%)	153.3	83.2	77.0	121.4
4 北陸圏	144,654 (61.0%)	92,408 (39.0%)	0 (0.0%)	237,062 (100.0%)	68.1	74.3		70.4
5 中部圏	349,080 (66.3%)	141,533 (26.9%)	35,778 (6.8%)	526,391 (100.0%)	115.5	92.1	44.7	98.2
6 近畿圏	362,311 (64.1%)	189,345 (33.5%)	13,827 (2.4%)	565,483 (100.0%)	126.4	118.3	47.8	118.9
7 中国圏	561,122 (80.4%)	135,893 (19.5%)	1,329 (0.2%)	698,344 (100.0%)	52.8	43.4	49.2	50.6
8 四国圏	273,262 (67.2%)	130,627 (32.1%)	2,876 (0.7%)	406,765 (100.0%)	66.2	42.0	33.8	55.5
9 九州圏	1,016,494 (75.5%)	308,173 (22.9%)	21,107 (1.6%)	1,345,774 (100.0%)	89.3	70.6	39.5	82.7
10 沖縄県	31,932 (58.2%)	11,582 (21.1%)	11,362 (20.7%)	54,876 (100.0%)	275.3	189.9	142.0	213.5
合計	4,747,098 (70.5%)	1,821,952 (27.1%)	165,562 (2.5%)	6,734,612 (100.0%)	94.4	74.9	56.5	86.9
参考: 前回調査	4,831,428 (71.6%)	1,756,628 (26.0%)	162,869 (2.4%)	6,750,925 (100.0%)	97.7	73.0	54.5	88.2

図表2-41 地域指定別・市町村別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数 【全体】

全体	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
過疎地域	3,431,472 (66.9%)	1,581,617 (30.8%)	116,579 (2.3%)	5,129,668 (100.0%)	80.3	69.5	46.6	75.4
振興山村	774,474 (53.9%)	563,988 (39.2%)	99,532 (6.9%)	1,437,994 (100.0%)	54.8	52.7	48.3	53.5
離島	134,352 (62.9%)	72,932 (34.1%)	6,414 (3.0%)	213,698 (100.0%)	79.7	100.0	156.4	87.0
半島	1,236,799 (73.2%)	433,029 (25.6%)	19,071 (1.1%)	1,688,899 (100.0%)	126.7	104.6	69.6	119.2
特別豪雪地帯	806,871 (72.6%)	272,093 (24.5%)	32,740 (2.9%)	1,111,704 (100.0%)	106.0	71.5	52.5	92.3

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落について、1集落あたり平均世帯数をみると、全体平均で 75.4 世帯であり、市部(80.3 世帯/集落)と村部(46.6 世帯/集落)では約 34 世帯の差がみられる。
- 地方ブロック別でみると、沖縄県では 200 世帯/集落以上と規模が大きくなっている。一方、中国圏や四国圏では1集落あたり世帯数が少なく、特に中国圏は 45.0 世帯/集落と最も小規模である。
- なお、市町村別でみると、中国圏では市部、町部、村部を問わず1集落あたり平均世帯数が少ないが、最も1集落あたり平均世帯数が少ないのは中部圏の村部であり、30.7 世帯/集落と、過疎地域全体の平均(75.4 世帯/集落)の半分以下の規模である。

図表2-42 地方ブロック別・市町村別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数【過疎地域のみ】

過疎地域	市町村別 集落世帯数				市町村別 集落あたり平均世帯数			
	市	町	村	計	市	町	村	全体
1 北海道	303,927 (48.7%)	309,380 (49.6%)	11,016 (1.8%)	624,323 (100.0%)	390.7	111.3	55.1	166.1
2 東北圏	780,731 (69.7%)	310,077 (27.7%)	29,058 (2.6%)	1,119,866 (100.0%)	75.2	67.3	55.1	72.2
3 首都圏	233,152 (63.6%)	123,768 (33.8%)	9,657 (2.6%)	366,577 (100.0%)	139.6	83.3	50.8	109.6
4 北陸圏	109,914 (71.7%)	43,436 (28.3%)	0 (0.0%)	153,350 (100.0%)	65.4	55.1	-	62.1
5 中部圏	176,848 (62.4%)	87,366 (30.8%)	19,345 (6.8%)	283,559 (100.0%)	105.6	65.6	30.7	77.9
6 近畿圏	261,842 (60.9%)	154,501 (35.9%)	13,827 (3.2%)	430,170 (100.0%)	109.8	105.6	47.8	104.0
7 中国圏	447,896 (77.3%)	129,945 (22.4%)	1,329 (0.2%)	579,170 (100.0%)	45.3	44.2	49.2	45.0
8 四国圏	239,270 (64.3%)	130,229 (35.0%)	2,874 (0.8%)	372,373 (100.0%)	64.3	41.9	34.2	53.9
9 九州圏	845,960 (73.9%)	281,333 (24.6%)	18,111 (1.6%)	1,145,404 (100.0%)	80.9	67.0	38.1	75.7
10 沖縄県	31,932 (58.2%)	11,582 (21.1%)	11,362 (20.7%)	54,876 (100.0%)	275.3	189.9	142.0	213.5
合計	3,431,472 (66.9%)	1,581,617 (30.8%)	116,579 (2.3%)	5,129,668 (100.0%)	80.3	69.5	46.6	75.4

②過疎区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

【過疎地域のみ】

- 1集落あたり平均世帯数について現市町村の過疎区分別でみると、みなし過疎市町村において118.8世帯/集落と最も大きく、過疎市町村(72.2世帯/集落)と47世帯近く差がみられる。
- 地方ブロック別でみると、中国圏の過疎市町村(38.4世帯/集落)や四国圏の過疎市町村(51.2世帯/集落)で特に1集落あたり平均世帯数が少なくなっている。

図表2-43 地方ブロック別・過疎区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数 【過疎地域のみ】

過疎地域	現市町村の過疎区分別 集落世帯数				現市町村の過疎区分別 集落あたり平均世帯数			
	過疎	みなし過疎	一部過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	全体
1 北海道	514,285 (82.4%)	91,906 (14.7%)	18,132 (2.9%)	624,323 (100.0%)	144.7	2,088.8	114.0	166.1
2 東北圏	858,171 (76.6%)	125,806 (11.2%)	135,889 (12.1%)	1,119,866 (100.0%)	71.4	107.4	58.4	72.2
3 首都圏	231,865 (63.3%)	0 (0.0%)	134,712 (36.7%)	366,577 (100.0%)	111.4	-	106.6	109.6
4 北陸圏	130,853 (85.3%)	0 (0.0%)	22,497 (14.7%)	153,350 (100.0%)	60.9	-	70.1	62.1
5 中部圏	231,262 (81.6%)	0 (0.0%)	52,297 (18.4%)	283,559 (100.0%)	81.4	-	65.7	77.9
6 近畿圏	303,100 (70.5%)	59,788 (13.9%)	67,282 (15.6%)	430,170 (100.0%)	99.0	147.3	100.9	104.0
7 中国圏	397,611 (68.7%)	41,254 (7.1%)	140,305 (24.2%)	579,170 (100.0%)	38.4	50.2	83.4	45.0
8 四国圏	305,763 (82.1%)	16,296 (4.4%)	50,314 (13.5%)	372,373 (100.0%)	51.2	63.4	74.0	53.9
9 九州圏	923,398 (80.6%)	60,686 (5.3%)	161,320 (14.1%)	1,145,404 (100.0%)	76.2	77.9	72.1	75.7
10 沖縄県	22,944 (41.8%)	29,956 (54.6%)	1,976 (3.6%)	54,876 (100.0%)	162.7	285.3	179.6	213.5
合計	3,919,252 (76.4%)	425,692 (8.3%)	784,724 (15.3%)	5,129,668 (100.0%)	72.2	118.8	77.4	75.4

③地域区分別集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数

【全体】

- 1集落あたり平均世帯数について地域区分別でみると、山間地では 38.7 世帯/集落と、全体平均(86.9 世帯/集落)の半分以下の規模であるのに対して、都市的地域にある集落では 244.6 世帯/集落と大きな開きがみられる。
- 地域指定別でみると、地域区分別でみて最も小規模な山間地集落の中でも過疎地域の山間地集落は 35.3 世帯/集落と最も規模が小さい。

図表2-44 地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】

全体	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
1 北海道	32,180 (4.7%)	105,140 (15.3%)	188,301 (27.4%)	347,136 (50.4%)	15,716 (2.3%)	688,473 (100.0%)	51.2	103.5	109.5	668.9	131.0	171.9
2 東北圏	165,896 (9.6%)	334,609 (19.4%)	577,293 (33.5%)	495,474 (28.8%)	148,172 (8.6%)	1,721,444 (100.0%)	44.0	71.1	80.8	236.2	231.9	93.8
3 首都圏	82,804 (16.9%)	135,005 (27.6%)	173,937 (35.5%)	97,199 (19.8%)	1,055 (0.2%)	490,000 (100.0%)	69.8	106.5	130.0	413.6	150.7	121.4
4 北陸圏	28,598 (12.1%)	36,156 (15.3%)	110,910 (46.8%)	61,398 (25.9%)	0 (0.0%)	237,062 (100.0%)	30.8	49.1	81.1	182.7		70.4
5 中部圏	118,697 (22.5%)	159,092 (30.2%)	164,533 (31.3%)	81,423 (15.5%)	2,646 (0.5%)	526,391 (100.0%)	44.3	100.3	192.2	351.0	529.2	98.2
6 近畿圏	102,332 (18.1%)	182,846 (32.3%)	184,854 (32.7%)	93,319 (16.5%)	2,132 (0.4%)	565,483 (100.0%)	53.9	119.5	192.0	261.4	355.3	118.9
7 中国圏	128,985 (18.5%)	245,805 (35.2%)	189,355 (27.1%)	133,273 (19.1%)	926 (0.1%)	698,344 (100.0%)	26.8	52.0	61.9	117.6	13.8	50.6
8 四国圏	63,910 (15.7%)	120,296 (29.6%)	164,005 (40.3%)	50,171 (12.3%)	8,383 (2.1%)	406,765 (100.0%)	24.6	60.3	78.4	99.2	61.2	55.5
9 九州圏	132,314 (9.8%)	377,282 (28.0%)	570,828 (42.4%)	250,068 (18.6%)	15,282 (1.1%)	1,345,774 (100.0%)	35.7	72.9	95.6	214.8	57.0	82.7
10 沖縄県	3,533 (6.4%)	7,605 (13.9%)	43,137 (78.6%)	0 (0.0%)	601 (1.1%)	54,876 (100.0%)	103.9	165.3	247.9		200.3	213.5
合計	859,249 (12.8%)	1,703,836 (25.3%)	2,367,153 (35.1%)	1,609,461 (23.9%)	194,913 (2.9%)	6,734,612 (100.0%)	38.7	74.8	95.9	244.6	155.7	86.9
参考: 前回調査	884,192 (13.1%)	1,578,957 (23.4%)	2,240,050 (33.2%)	1,853,169 (27.5%)	194,557 (2.9%)	6,750,925 (100.0%)	39.0	71.6	95.4	267.4	144.3	88.2

図表2-45 地域指定別・地域区分別 集落世帯数及び1集落あたり平均世帯数【全体】

全体	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的地域	無回答	全体
過疎地域	693,438 (13.5%)	1,409,988 (27.5%)	1,901,136 (37.1%)	1,078,560 (21.0%)	46,546 (0.9%)	5,129,668 (100.0%)	35.3	69.0	85.4	209.7	85.4	75.4
振興山村	546,897 (38.0%)	442,871 (30.8%)	256,466 (17.8%)	126,463 (8.8%)	65,297 (4.5%)	1,437,994 (100.0%)	35.4	59.9	76.6	325.9	196.1	53.5
離島	34,058 (15.9%)	60,494 (28.3%)	103,737 (48.5%)	8,312 (3.9%)	7,097 (3.3%)	213,698 (100.0%)	64.1	74.5	101.7	188.9	144.8	87.0
半島	133,545 (7.9%)	447,991 (26.5%)	700,378 (41.5%)	386,218 (22.9%)	20,767 (1.2%)	1,688,899 (100.0%)	46.6	103.1	133.0	245.1	168.8	119.2
特別豪雪地帯	92,025 (8.3%)	187,984 (16.9%)	332,045 (29.9%)	415,521 (37.4%)	84,129 (7.6%)	1,111,704 (100.0%)	35.8	61.1	78.3	260.0	151.6	92.3

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における1集落あたり平均世帯数について地域区分別でみると、山間地集落では 35.3 世帯/集落と1集落あたり平均世帯数が最も少なく、中間地集落についても 69.0 世帯/集落と、全体平均(75.4 世帯/集落)より小規模である。
- さらに地方ブロック別でみると、四国圏及び中国圏の集落は全体平均で1集落あたり平均 50 世帯程度と小規模である。
- また、特に山間地・中間地集落についてみると、北陸圏、中国圏、四国圏、九州圏では、それぞれの地域区分別の全体平均よりも小規模である。

図表2-46 地方ブロック別・地域区分別集落世帯数及び集落あたり平均世帯数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地域区分別 集落世帯数						地域区分別 集落あたり平均世帯数					
	山間地	中間地	平地	都市的 地域	無回答	計	山間地	中間地	平地	都市的 地域	無回答	全体
1 北海道	30,253 (4.8%)	94,761 (15.2%)	166,349 (26.6%)	317,244 (50.8%)	15,716 (2.5%)	624,323 (100.0%)	49.5	97.7	105.4	662.3	131.0	166.1
2 東北圏	130,586 (11.7%)	265,941 (23.7%)	453,364 (40.5%)	255,838 (22.8%)	14,137 (1.3%)	1,119,866 (100.0%)	38.0	62.7	72.2	170.6	266.7	72.2
3 首都圏	63,089 (17.2%)	88,994 (24.3%)	150,944 (41.2%)	63,453 (17.3%)	97 (0.0%)	366,577 (100.0%)	63.1	97.2	121.2	352.5	19.4	109.6
4 北陸圏	13,266 (8.7%)	27,043 (17.6%)	80,602 (52.6%)	32,439 (21.2%)	0 (0.0%)	153,350 (100.0%)	24.2	49.0	75.2	109.2	-	62.1
5 中部圏	77,117 (27.2%)	111,958 (39.5%)	63,574 (22.4%)	29,440 (10.4%)	1,470 (0.5%)	283,559 (100.0%)	43.4	94.1	119.5	218.1	490.0	77.9
6 近畿圏	85,391 (19.9%)	155,549 (36.2%)	113,040 (26.3%)	76,114 (17.7%)	76 (0.0%)	430,170 (100.0%)	50.0	114.6	149.9	240.1	76.0	104.0
7 中国圏	110,658 (19.1%)	221,675 (38.3%)	167,346 (28.9%)	78,565 (13.6%)	926 (0.2%)	579,170 (100.0%)	24.1	50.4	57.4	88.6	13.8	45.0
8 四国圏	57,527 (15.4%)	108,279 (29.1%)	154,227 (41.4%)	43,957 (11.8%)	8,383 (2.3%)	372,373 (100.0%)	24.2	56.8	75.9	94.9	61.2	53.9
9 九州圏	122,018 (10.7%)	328,183 (28.7%)	508,553 (44.4%)	181,510 (15.8%)	5,140 (0.4%)	1,145,404 (100.0%)	34.4	67.6	89.4	205.1	32.9	75.7
10 沖縄県	3,533 (6.4%)	7,605 (13.9%)	43,137 (78.6%)	0 (0.0%)	601 (1.1%)	54,876 (100.0%)	103.9	165.3	247.9	-	200.3	213.5
合計	693,438 (13.5%)	1,409,988 (27.5%)	1,901,136 (37.1%)	1,078,560 (21.0%)	46,546 (0.9%)	5,129,668 (100.0%)	35.3	69.0	85.4	209.7	85.4	75.4

④世帯数規模別 集落数

【全体】

- 世帯規模別集落数をみると、20 世帯未満の集落が全体の 28.5%を占め、30 世帯未満の集落は 42.0%と4割弱を占める。
- 地域指定別でみると、30 世帯未満の集落の割合は振興山村において最も高く、100 世帯以上の集落の割合は半島地域において最も高い。

図表2-47 世帯数規模別 集落数【全体】

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	545 (13.5%)	698 (17.3%)	425 (10.5%)	532 (13.2%)	693 (17.1%)	520 (12.9%)	387 (9.6%)	204 (5.0%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	1,447 (7.8%)	2,677 (14.5%)	2,613 (14.2%)	3,580 (19.4%)	4,064 (22.0%)	2,400 (13.0%)	1,201 (6.5%)	372 (2.0%)	80 (0.4%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	225 (5.5%)	485 (12.0%)	475 (11.7%)	695 (17.1%)	857 (21.1%)	687 (16.9%)	362 (8.9%)	136 (3.4%)	135 (3.3%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	383 (11.4%)	536 (15.9%)	523 (15.5%)	699 (20.7%)	679 (20.1%)	342 (10.1%)	155 (4.6%)	51 (1.5%)	5 (0.1%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	696 (12.8%)	893 (16.5%)	639 (11.8%)	941 (17.3%)	1,052 (19.4%)	573 (10.6%)	383 (7.1%)	180 (3.3%)	70 (1.3%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	354 (7.3%)	574 (11.8%)	564 (11.6%)	876 (18.0%)	1,085 (22.3%)	690 (14.2%)	413 (8.5%)	195 (4.0%)	124 (2.5%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	2,713 (19.6%)	3,637 (26.3%)	2,223 (16.1%)	2,149 (15.6%)	1,653 (12.0%)	819 (5.9%)	464 (3.4%)	122 (0.9%)	27 (0.2%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	1,248 (16.5%)	1,509 (20.0%)	1,133 (15.0%)	1,298 (17.2%)	1,222 (16.2%)	635 (8.4%)	214 (2.8%)	68 (0.9%)	236 (3.1%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	1,395 (8.4%)	2,320 (13.9%)	2,026 (12.2%)	3,049 (18.3%)	3,730 (22.4%)	2,238 (13.4%)	1,135 (6.8%)	257 (1.5%)	498 (3.0%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	4 (1.6%)	7 (2.7%)	16 (6.2%)	60 (23.3%)	71 (27.6%)	74 (28.8%)	24 (9.3%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	9,007 (11.5%)	13,333 (17.0%)	10,628 (13.5%)	13,835 (17.6%)	15,095 (19.2%)	8,975 (11.4%)	4,788 (6.1%)	1,609 (2.1%)	1,215 (1.5%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	7,994 (10.4%)	13,107 (17.1%)	10,614 (13.8%)	13,676 (17.8%)	15,105 (19.7%)	8,780 (11.4%)	4,880 (6.4%)	1,562 (2.0%)	992 (1.3%)	76,710 (100.0%)

図表2-48 地域指定別・世帯数規模別 集落数【全体】

全体	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
過疎地域	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	5,349 (19.7%)	6,368 (23.4%)	3,977 (14.6%)	4,406 (16.2%)	3,867 (14.2%)	1,830 (6.7%)	777 (2.9%)	269 (1.0%)	364 (1.3%)	27,207 (100.0%)
離島	222 (9.0%)	372 (15.1%)	323 (13.1%)	463 (18.8%)	523 (21.2%)	307 (12.5%)	187 (7.6%)	53 (2.2%)	15 (0.6%)	2,465 (100.0%)
半島	1,021 (7.1%)	1,712 (11.9%)	1,725 (12.0%)	2,596 (18.0%)	3,072 (21.4%)	2,077 (14.4%)	1,290 (9.0%)	573 (4.0%)	321 (2.2%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,419 (11.7%)	2,006 (16.6%)	1,739 (14.4%)	2,185 (18.1%)	2,329 (19.3%)	1,348 (11.2%)	738 (6.1%)	276 (2.3%)	38 (0.3%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落を世帯数規模別で見ると、20 世帯未満の集落が全体の 30.0%を占め、30 世帯未満の集落は 44.2%と半数近くを占める。
- 地方ブロック別で見ると、30 世帯未満の集落の割合は中国圏及び四国圏において高く、中国圏では6割超の集落が、四国圏では5割超の集落が 30 世帯未満の小規模集落となっている。
- 一方、北海道や沖縄県では、集落の人口規模と同様に世帯数規模も大きい集落が占める割合が高い。

図表2-49 地方ブロック別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	528 (13.9%)	669 (17.6%)	400 (10.5%)	511 (13.5%)	646 (17.0%)	473 (12.5%)	350 (9.2%)	181 (4.8%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	1,327 (8.5%)	2,499 (16.0%)	2,373 (15.2%)	3,210 (20.6%)	3,441 (22.1%)	1,773 (11.4%)	736 (4.7%)	154 (1.0%)	68 (0.4%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	198 (5.9%)	455 (13.5%)	433 (12.9%)	598 (17.8%)	718 (21.4%)	574 (17.1%)	258 (7.7%)	81 (2.4%)	43 (1.3%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	280 (11.3%)	391 (15.8%)	388 (15.7%)	520 (21.1%)	494 (20.0%)	269 (10.9%)	109 (4.4%)	18 (0.7%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	454 (12.3%)	597 (16.2%)	427 (11.6%)	705 (19.1%)	782 (21.2%)	383 (10.4%)	231 (6.3%)	58 (1.6%)	56 (1.5%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	333 (8.0%)	509 (12.2%)	503 (12.0%)	788 (18.9%)	963 (23.0%)	609 (14.6%)	315 (7.5%)	112 (2.7%)	46 (1.1%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	2,634 (20.5%)	3,500 (27.2%)	2,112 (16.4%)	2,018 (15.7%)	1,503 (11.7%)	685 (5.3%)	328 (2.5%)	79 (0.6%)	19 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	1,158 (16.3%)	1,440 (20.3%)	1,091 (15.4%)	1,244 (17.5%)	1,155 (16.3%)	587 (8.3%)	176 (2.5%)	63 (0.9%)	180 (2.5%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	1,358 (8.9%)	2,243 (14.8%)	1,935 (12.7%)	2,880 (18.9%)	3,479 (22.9%)	1,990 (13.1%)	945 (6.2%)	174 (1.1%)	201 (1.3%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	4 (1.6%)	7 (2.7%)	16 (6.2%)	60 (23.3%)	71 (27.6%)	74 (28.8%)	24 (9.3%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別で見ると、基礎集落の約3分の2は 50 世帯未満の小規模集落であり、20 世帯未満の集落が約 3割を占める。一方、中心集落の4割近くは 100 世帯以上の比較的規模の大きい集落となっている。

図表2-50 集落類型別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
基礎集落	7,617 (13.6%)	11,015 (19.7%)	8,471 (15.1%)	10,563 (18.9%)	10,419 (18.6%)	5,133 (9.2%)	1,934 (3.5%)	328 (0.6%)	485 (0.9%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	183 (2.7%)	602 (8.8%)	628 (9.2%)	1,172 (17.1%)	1,776 (25.9%)	1,365 (19.9%)	839 (12.2%)	240 (3.5%)	44 (0.6%)	6,849 (100.0%)
中心集落	340 (6.7%)	586 (11.5%)	492 (9.6%)	688 (13.5%)	991 (19.4%)	875 (17.1%)	733 (14.4%)	374 (7.3%)	27 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	131 (22.4%)	104 (17.7%)	78 (13.3%)	67 (11.4%)	55 (9.4%)	41 (7.0%)	16 (2.7%)	2 (0.3%)	92 (15.7%)	586 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、世帯数規模の小さい集落の割合は特に山間地や中間地で高く、山間地集落の6割超、中間地集落の4割超は、30世帯未満の小規模集落である。

図表2-51 地域区分別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,860 (24.5%)	5,226 (26.3%)	3,014 (15.2%)	2,974 (15.0%)	2,339 (11.8%)	856 (4.3%)	296 (1.5%)	45 (0.2%)	239 (1.2%)	19,849 (100.0%)
中間地	1,884 (9.2%)	3,710 (18.1%)	3,104 (15.1%)	4,131 (20.1%)	4,221 (20.6%)	2,159 (10.5%)	872 (4.2%)	251 (1.2%)	196 (1.0%)	20,528 (100.0%)
平地	1,215 (5.4%)	2,885 (12.9%)	3,018 (13.5%)	4,540 (20.3%)	5,416 (24.2%)	3,270 (14.6%)	1,547 (6.9%)	338 (1.5%)	167 (0.7%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	185 (3.6%)	397 (7.7%)	462 (9.0%)	747 (14.5%)	1,199 (23.3%)	1,079 (21.0%)	778 (15.1%)	296 (5.8%)	2 (0.0%)	5,145 (100.0%)
無回答	127 (21.6%)	89 (15.1%)	71 (12.1%)	98 (16.7%)	66 (11.2%)	50 (8.5%)	29 (4.9%)	14 (2.4%)	44 (7.5%)	588 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)から20km以上離れた集落の約6割が30世帯未満の小規模集落であり、役場(本庁)までの距離が近い集落ほど世帯数規模が大きい集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-52 役場(本庁)までの距離別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	1,045 (4.7%)	2,547 (11.4%)	2,674 (12.0%)	4,046 (18.1%)	5,336 (23.9%)	3,743 (16.8%)	2,077 (9.3%)	607 (2.7%)	222 (1.0%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,559 (9.8%)	2,874 (18.0%)	2,435 (15.3%)	3,234 (20.3%)	3,266 (20.5%)	1,681 (10.5%)	621 (3.9%)	155 (1.0%)	112 (0.7%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,860 (16.0%)	3,807 (21.3%)	2,678 (15.0%)	3,303 (18.5%)	3,031 (17.0%)	1,344 (7.5%)	542 (3.0%)	111 (0.6%)	203 (1.1%)	17,879 (100.0%)
20km以上	2,767 (23.1%)	3,014 (25.2%)	1,814 (15.1%)	1,842 (15.4%)	1,523 (12.7%)	605 (5.1%)	254 (2.1%)	53 (0.4%)	107 (0.9%)	11,979 (100.0%)
無回答	40 (9.7%)	65 (15.7%)	68 (16.4%)	65 (15.7%)	85 (20.5%)	41 (9.9%)	28 (6.8%)	18 (4.3%)	4 (1.0%)	414 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、世帯数規模の小さい集落ほど、新幹線駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-53 新幹線駅までの距離別・世帯数規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	67 (6.7%)	82 (8.2%)	75 (7.5%)	152 (15.1%)	232 (23.1%)	207 (20.6%)	142 (14.1%)	29 (2.9%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	132 (7.3%)	238 (13.2%)	284 (15.7%)	378 (20.9%)	433 (23.9%)	224 (12.4%)	107 (5.9%)	12 (0.7%)	1 (0.1%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	297 (6.1%)	677 (13.8%)	677 (13.8%)	1,022 (20.9%)	1,204 (24.6%)	651 (13.3%)	308 (6.3%)	55 (1.1%)	0 (0.0%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	1,191 (9.6%)	1,964 (15.8%)	1,743 (14.0%)	2,460 (19.8%)	2,816 (22.7%)	1,476 (11.9%)	619 (5.0%)	145 (1.2%)	2 (0.0%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,250 (13.0%)	3,272 (18.9%)	2,386 (13.8%)	3,090 (17.9%)	3,256 (18.8%)	1,832 (10.6%)	844 (4.9%)	216 (1.2%)	146 (0.8%)	17,292 (100.0%)
80km以上	3,170 (13.9%)	4,497 (19.8%)	3,366 (14.8%)	4,033 (17.7%)	3,838 (16.9%)	2,120 (9.3%)	992 (4.4%)	298 (1.3%)	412 (1.8%)	22,726 (100.0%)
無回答	1,164 (13.6%)	1,577 (18.8%)	1,138 (13.6%)	1,355 (16.2%)	1,462 (17.5%)	904 (10.8%)	510 (6.1%)	189 (2.3%)	68 (0.8%)	8,367 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、世帯数規模の小さい集落ほど、特急停車駅から遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-54 特急停車駅までの距離別・世帯数規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	445 (5.2%)	989 (11.5%)	1,037 (12.0%)	1,589 (18.4%)	2,043 (23.7%)	1,414 (16.4%)	729 (8.5%)	229 (2.7%)	149 (1.7%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	665 (9.4%)	1,085 (15.4%)	1,039 (14.7%)	1,450 (20.5%)	1,502 (21.3%)	777 (11.0%)	419 (5.9%)	91 (1.3%)	40 (0.6%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,485 (12.5%)	2,218 (18.6%)	1,739 (14.6%)	2,260 (19.0%)	2,265 (19.0%)	1,131 (9.5%)	557 (4.7%)	118 (1.0%)	138 (1.2%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,390 (13.9%)	3,500 (20.4%)	2,559 (14.9%)	2,983 (17.4%)	3,066 (17.8%)	1,661 (9.7%)	652 (3.8%)	171 (1.0%)	207 (1.2%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	1,860 (15.2%)	2,441 (20.0%)	1,763 (14.4%)	2,258 (18.5%)	2,238 (18.3%)	1,106 (9.0%)	433 (3.5%)	110 (0.9%)	25 (0.2%)	12,234 (100.0%)
80km以上	348 (10.2%)	570 (16.6%)	461 (13.5%)	622 (18.2%)	681 (19.9%)	390 (11.4%)	255 (7.4%)	79 (2.3%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)
無回答	1,078 (13.4%)	1,504 (18.7%)	1,071 (13.3%)	1,328 (16.5%)	1,446 (18.0%)	935 (11.6%)	477 (5.9%)	146 (1.8%)	69 (0.9%)	8,054 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、世帯数規模の小さい集落ほど、空港から遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-55 空港までの距離別・世帯数規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	23 (5.9%)	53 (13.5%)	40 (10.2%)	66 (16.8%)	76 (19.4%)	66 (16.8%)	53 (13.5%)	15 (3.8%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	31 (5.1%)	56 (9.3%)	51 (8.4%)	95 (15.7%)	140 (23.1%)	99 (16.4%)	92 (15.2%)	33 (5.5%)	8 (1.3%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	209 (7.3%)	431 (15.0%)	417 (14.5%)	537 (18.7%)	657 (22.9%)	374 (13.0%)	174 (6.1%)	57 (2.0%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	1,233 (9.3%)	2,265 (17.0%)	1,949 (14.7%)	2,566 (19.3%)	2,769 (20.8%)	1,556 (11.7%)	734 (5.5%)	153 (1.2%)	61 (0.5%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	3,815 (13.3%)	5,322 (18.6%)	4,043 (14.1%)	5,239 (18.3%)	5,253 (18.4%)	2,889 (10.1%)	1,277 (4.5%)	357 (1.2%)	395 (1.4%)	28,590 (100.0%)
80km以上	1,956 (12.5%)	2,795 (17.9%)	2,152 (13.8%)	2,810 (18.0%)	3,069 (19.7%)	1,661 (10.6%)	831 (5.3%)	224 (1.4%)	110 (0.7%)	15,608 (100.0%)
無回答	1,004 (14.0%)	1,385 (19.4%)	1,017 (14.2%)	1,177 (16.4%)	1,277 (17.8%)	769 (10.7%)	361 (5.0%)	105 (1.5%)	62 (0.9%)	7,157 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、世帯数規模の小さい集落ほど、高速道路等のICから遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-56 高速道路等のICまでの距離別・世帯数規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
5km未満	800 (6.2%)	1,734 (13.5%)	1,683 (13.1%)	2,497 (19.4%)	2,914 (22.6%)	1,850 (14.4%)	956 (7.4%)	255 (2.0%)	177 (1.4%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	894 (8.1%)	1,832 (16.5%)	1,668 (15.0%)	2,162 (19.5%)	2,336 (21.0%)	1,300 (11.7%)	646 (5.8%)	164 (1.5%)	102 (0.9%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,048 (13.2%)	3,065 (19.8%)	2,235 (14.4%)	2,821 (18.2%)	2,856 (18.5%)	1,466 (9.5%)	639 (4.1%)	175 (1.1%)	164 (1.1%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,252 (16.2%)	2,782 (20.0%)	2,008 (14.4%)	2,424 (17.4%)	2,383 (17.1%)	1,274 (9.2%)	523 (3.8%)	123 (0.9%)	131 (0.9%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	1,016 (17.7%)	1,188 (20.7%)	809 (14.1%)	990 (17.2%)	1,004 (17.5%)	465 (8.1%)	209 (3.6%)	58 (1.0%)	9 (0.2%)	5,748 (100.0%)
80km以上	229 (12.0%)	304 (15.9%)	240 (12.6%)	365 (19.1%)	389 (20.4%)	220 (11.5%)	119 (6.2%)	43 (2.3%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)
無回答	1,032 (13.7%)	1,402 (18.7%)	1,026 (13.7%)	1,231 (16.4%)	1,359 (18.1%)	839 (11.2%)	430 (5.7%)	126 (1.7%)	65 (0.9%)	7,510 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど世帯数規模が小さい集落の割合が高くなる傾向がみられ、特に高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落の84.3%は10世帯未満の集落である。

図表2-57 65歳以上人口割合別・世帯数規模別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
50%未満	2,354 (6.1%)	4,891 (12.6%)	4,837 (12.5%)	7,446 (19.2%)	9,285 (23.9%)	5,958 (15.3%)	3,075 (7.9%)	868 (2.2%)	131 (0.3%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	3,204 (13.2%)	6,146 (25.3%)	4,441 (18.3%)	4,806 (19.8%)	3,736 (15.4%)	1,391 (5.7%)	412 (1.7%)	64 (0.3%)	133 (0.5%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,567 (46.9%)	1,179 (35.3%)	326 (9.7%)	154 (4.6%)	78 (2.3%)	22 (0.7%)	7 (0.2%)	0 (0.0%)	11 (0.3%)	3,344 (100.0%)
100%	1,131 (84.3%)	61 (4.5%)	35 (2.6%)	42 (3.1%)	59 (4.4%)	2 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (0.8%)	1,341 (100.0%)
無回答	15 (2.3%)	30 (4.7%)	30 (4.7%)	42 (6.5%)	83 (12.9%)	41 (6.4%)	28 (4.4%)	12 (1.9%)	362 (56.3%)	643 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の6割近くは 30 世帯以上 200 世帯未満の中規模集落となっているが、30 世帯未満の比較的世帯数規模の小さい集落も3分の1程度を占めており、10 世帯未満の小規模集落でも転入者がみられる集落が存在している。
- また、転入者はいないとされる集落は、世帯規模が 20 世帯未満の割合が7割を超え、転入者がいるとされる集落に比べ小規模な集落の割合が高い。

図表2-58 転入者の有無別・世帯数規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
転入者がいる	1,779 (6.0%)	4,478 (15.0%)	4,181 (14.0%)	5,931 (19.8%)	6,677 (22.3%)	3,977 (13.3%)	2,026 (6.8%)	607 (2.0%)	233 (0.8%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	2,455 (43.6%)	1,737 (30.8%)	648 (11.5%)	382 (6.8%)	222 (3.9%)	70 (1.2%)	27 (0.5%)	7 (0.1%)	83 (1.5%)	5,631 (100.0%)
分からない	3,824 (11.8%)	5,973 (18.4%)	4,800 (14.8%)	6,146 (18.9%)	6,297 (19.4%)	3,346 (10.3%)	1,459 (4.5%)	330 (1.0%)	262 (0.8%)	32,437 (100.0%)
無回答	213 (38.8%)	119 (21.7%)	40 (7.3%)	31 (5.6%)	45 (8.2%)	21 (3.8%)	10 (1.8%)	0 (0.0%)	70 (12.8%)	549 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 集落支援員等のサポート人材の有無（詳細は後述）別でみると、サポート人材が活動している集落の約半数を 30 世帯未満の比較的小規模な集落が占めている。

図表2-59 サポート人材の有無別・世帯規模別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
サポート人材あり	4,359 (14.8%)	5,819 (19.8%)	4,340 (14.8%)	5,389 (18.3%)	5,260 (17.9%)	2,584 (8.8%)	1,098 (3.7%)	333 (1.1%)	191 (0.7%)	29,373 (100.0%)
集落支援員	3,269 (15.8%)	4,260 (20.6%)	3,051 (14.8%)	3,825 (18.5%)	3,597 (17.4%)	1,718 (8.3%)	653 (3.2%)	164 (0.8%)	132 (0.6%)	20,669 (100.0%)
地域おこし協力隊等	2,473 (16.3%)	3,225 (21.2%)	2,191 (14.4%)	2,490 (16.4%)	2,522 (16.6%)	1,295 (8.5%)	634 (4.2%)	229 (1.5%)	139 (0.9%)	15,198 (100.0%)
その他	195 (14.6%)	207 (15.5%)	168 (12.6%)	214 (16.1%)	288 (21.6%)	168 (12.6%)	84 (6.3%)	6 (0.5%)	2 (0.2%)	1,332 (100.0%)
サポート人材なし	3,912 (10.0%)	6,488 (16.6%)	5,329 (13.6%)	7,101 (18.1%)	7,981 (20.4%)	4,830 (12.3%)	2,424 (6.2%)	611 (1.6%)	457 (1.2%)	39,133 (100.0%)
合計	8,271 (12.1%)	12,307 (18.0%)	9,669 (14.1%)	12,490 (18.2%)	13,241 (19.3%)	7,414 (10.8%)	3,522 (5.1%)	944 (1.4%)	648 (0.9%)	68,506 (100.0%)

(4) 集落の年齢構成

①0～14 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数をみると、0～14 歳が一人もない(下表の「0%」欄)集落が 19.9%あり、0～14 歳人口が 10%に満たない集落が 70.7%と全体の7割超を占めている。
- 地域指定別でみると、振興山村では 0～14 歳人口の割合が 5%未満の集落が半数近くと、最も高くなっている。

図表2-60 集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	687 (17.0%)	630 (15.6%)	1,478 (36.5%)	840 (20.8%)	264 (6.5%)	105 (2.6%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	2,524 (13.7%)	3,446 (18.7%)	7,486 (40.6%)	3,810 (20.7%)	762 (4.1%)	253 (1.4%)	153 (0.8%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	535 (13.2%)	930 (22.9%)	1,774 (43.7%)	559 (13.8%)	98 (2.4%)	41 (1.0%)	120 (3.0%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	655 (19.4%)	595 (17.6%)	1,210 (35.9%)	640 (19.0%)	161 (4.8%)	68 (2.0%)	44 (1.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	1,157 (21.3%)	982 (18.1%)	1,857 (34.2%)	1,035 (19.1%)	245 (4.5%)	108 (2.0%)	43 (0.8%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	844 (17.3%)	903 (18.5%)	1,811 (37.1%)	929 (19.1%)	256 (5.3%)	74 (1.5%)	58 (1.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	3,876 (28.1%)	2,013 (14.6%)	3,771 (27.3%)	2,528 (18.3%)	902 (6.5%)	530 (3.8%)	187 (1.4%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	2,247 (29.7%)	1,312 (17.3%)	2,169 (28.7%)	1,243 (16.4%)	360 (4.8%)	163 (2.2%)	69 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	3,062 (18.4%)	2,550 (15.3%)	4,876 (29.3%)	3,655 (22.0%)	1,244 (7.5%)	588 (3.5%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	8 (3.1%)	15 (5.8%)	72 (28.0%)	94 (36.6%)	50 (19.5%)	16 (6.2%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	15,595 (19.9%)	13,376 (17.0%)	26,504 (33.8%)	15,333 (19.5%)	4,342 (5.5%)	1,946 (2.5%)	1,389 (1.8%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	11,991 (15.6%)	10,873 (14.2%)	25,116 (32.7%)	18,233 (23.8%)	5,679 (7.4%)	2,558 (3.3%)	2,260 (2.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-61 地域指定別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	8,286 (30.5%)	5,058 (18.6%)	8,015 (29.5%)	3,829 (14.1%)	1,121 (4.1%)	636 (2.3%)	262 (1.0%)	27,207 (100.0%)
離島	507 (20.6%)	435 (17.6%)	750 (30.4%)	518 (21.0%)	169 (6.9%)	62 (2.5%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)
半島	2,352 (16.3%)	2,649 (18.4%)	4,824 (33.5%)	2,780 (19.3%)	864 (6.0%)	357 (2.5%)	561 (3.9%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	2,031 (16.8%)	1,988 (16.5%)	4,472 (37.0%)	2,593 (21.5%)	617 (5.1%)	240 (2.0%)	137 (1.1%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数をみると、0～14 歳が一人もいない（下表の「0%」欄）集落が 20.7%あり、0～14 歳人口が 10%に満たない集落が 72.1%と全体の3分の2以上を占めている。
- 地方ブロック別でみると、特に中国圏と四国圏では 0～14 歳人口割合が 0%の集落が約4分の1以上存在している。一方、沖縄県では 0～14 歳人口割合が 15%以上の集落が約4分の1を占めている。

図表2-62 地方ブロック別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	648 (17.1%)	594 (15.7%)	1,388 (36.6%)	785 (20.7%)	245 (6.5%)	98 (2.6%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	2,302 (14.8%)	3,110 (20.0%)	6,328 (40.6%)	2,957 (19.0%)	566 (3.6%)	185 (1.2%)	133 (0.9%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	491 (14.6%)	776 (23.1%)	1,493 (44.5%)	445 (13.3%)	81 (2.4%)	34 (1.0%)	38 (1.1%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	499 (20.2%)	453 (18.3%)	920 (37.2%)	454 (18.4%)	100 (4.0%)	42 (1.7%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	690 (18.7%)	724 (19.6%)	1,325 (35.9%)	670 (18.1%)	163 (4.4%)	82 (2.2%)	39 (1.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	727 (17.4%)	781 (18.7%)	1,546 (37.0%)	792 (19.0%)	221 (5.3%)	60 (1.4%)	51 (1.2%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	3,743 (29.1%)	1,885 (14.6%)	3,510 (27.3%)	2,351 (18.3%)	857 (6.7%)	513 (4.0%)	19 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	2,107 (29.7%)	1,251 (17.6%)	2,058 (29.0%)	1,175 (16.6%)	339 (4.8%)	154 (2.2%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	2,972 (19.5%)	2,442 (16.1%)	4,535 (29.8%)	3,302 (21.7%)	1,106 (7.3%)	533 (3.5%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	8 (3.1%)	15 (5.8%)	72 (28.0%)	94 (36.6%)	50 (19.5%)	16 (6.2%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落は基礎集落において最も構成比が大きくなっているが、基礎集落の中にも 0～14 歳人口割合が 20%以上と高い集落が 1,432 集落 (2.6%) みられる。
- 0～14 歳人口割合が 10%以上 20%未満の集落が占める割合は、中心・基幹・基礎の順に高くなっており、中心集落では 34.6%を占めている。

図表2-63 集落類型別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	13,008 (23.2%)	10,011 (17.9%)	18,122 (32.4%)	9,916 (17.7%)	2,957 (5.3%)	1,432 (2.6%)	519 (0.9%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	560 (8.2%)	1,274 (18.6%)	2,832 (41.3%)	1,620 (23.7%)	381 (5.6%)	126 (1.8%)	56 (0.8%)	6,849 (100.0%)
中心集落	455 (8.9%)	666 (13.0%)	2,055 (40.2%)	1,401 (27.4%)	365 (7.1%)	139 (2.7%)	25 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	164 (28.0%)	80 (13.7%)	166 (28.3%)	88 (15.0%)	25 (4.3%)	20 (3.4%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落が占める割合は山間地集落において 56.8%と最も高く、中間地集落でも約4割を占めている。
- これに対し、平地集落や都市的地域にある集落では、0～14 歳人口割合が 10%以上の集落の構成比が高く、都市的地域にある集落の約4割は 0～14 歳人口割合が 10%以上 20%未満の集落である。

図表2-64 地域区分別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	7,481 (37.7%)	3,796 (19.1%)	4,968 (25.0%)	2,277 (11.5%)	726 (3.7%)	423 (2.1%)	178 (0.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	3,687 (18.0%)	4,023 (19.6%)	7,517 (36.6%)	3,641 (17.7%)	985 (4.8%)	466 (2.3%)	209 (1.0%)	20,528 (100.0%)
平地	2,509 (11.2%)	3,474 (15.5%)	8,461 (37.8%)	5,508 (24.6%)	1,588 (7.1%)	675 (3.0%)	181 (0.8%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	363 (7.1%)	638 (12.4%)	2,070 (40.2%)	1,514 (29.4%)	404 (7.9%)	128 (2.5%)	28 (0.5%)	5,145 (100.0%)
無回答	147 (25.0%)	100 (17.0%)	159 (27.0%)	85 (14.5%)	25 (4.3%)	25 (4.3%)	47 (8.0%)	588 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落が占める割合は、役場(本庁)からの距離が遠くなるほど高くなる傾向がみられる。一方、役場(本庁)から 5km 未満と最も近い集落では、0～14 歳人口割合が 10%以上の集落が 37.4%を占めている。

図表2-65 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	2,362 (10.6%)	3,160 (14.2%)	8,367 (37.5%)	5,918 (26.5%)	1,737 (7.8%)	674 (3.0%)	79 (0.4%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	2,692 (16.9%)	2,894 (18.2%)	5,958 (37.4%)	3,083 (19.3%)	850 (5.3%)	372 (2.3%)	88 (0.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	4,653 (26.0%)	3,521 (19.7%)	5,707 (31.9%)	2,638 (14.8%)	720 (4.0%)	408 (2.3%)	232 (1.3%)	17,879 (100.0%)
20km以上	4,417 (36.9%)	2,376 (19.8%)	3,016 (25.2%)	1,310 (10.9%)	399 (3.3%)	255 (2.1%)	206 (1.7%)	11,979 (100.0%)
無回答	63 (15.2%)	80 (19.3%)	127 (30.7%)	76 (18.4%)	22 (5.3%)	8 (1.9%)	38 (9.2%)	414 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離と集落人口に占める0～14歳人口割合にそれ程明確な傾向は見受けられない。

図表2-66 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める0～14歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	74 (7.4%)	143 (14.2%)	395 (39.3%)	288 (28.7%)	74 (7.4%)	12 (1.2%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	216 (11.9%)	285 (15.8%)	782 (43.2%)	415 (22.9%)	82 (4.5%)	29 (1.6%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	598 (12.2%)	862 (17.6%)	1,950 (39.9%)	1,088 (22.2%)	243 (5.0%)	96 (2.0%)	54 (1.1%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,152 (17.3%)	2,388 (19.2%)	4,583 (36.9%)	2,269 (18.3%)	587 (4.7%)	257 (2.1%)	180 (1.4%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	3,619 (20.9%)	3,078 (17.8%)	5,887 (34.0%)	3,152 (18.2%)	948 (5.5%)	452 (2.6%)	156 (0.9%)	17,292 (100.0%)
80km以上	5,509 (24.2%)	3,908 (17.2%)	7,098 (31.2%)	4,226 (18.6%)	1,246 (5.5%)	601 (2.6%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)
無回答	2,019 (24.1%)	1,367 (16.3%)	2,480 (29.6%)	1,587 (19.0%)	548 (6.5%)	270 (3.2%)	96 (1.1%)	8,367 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離と集落人口に占める0～14歳人口割合にそれ程明確な傾向は見受けられない。

図表2-67 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める0～14歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	884 (10.3%)	1,328 (15.4%)	3,277 (38.0%)	2,221 (25.8%)	631 (7.3%)	223 (2.6%)	60 (0.7%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,120 (15.8%)	1,249 (17.7%)	2,677 (37.9%)	1,453 (20.6%)	400 (5.7%)	161 (2.3%)	8 (0.1%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,540 (21.3%)	2,218 (18.6%)	4,130 (34.7%)	2,043 (17.2%)	537 (4.5%)	307 (2.6%)	136 (1.1%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	4,123 (24.0%)	3,085 (17.9%)	5,609 (32.6%)	2,866 (16.7%)	810 (4.7%)	398 (2.3%)	298 (1.7%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,922 (23.9%)	2,134 (17.4%)	3,888 (31.8%)	2,259 (18.5%)	694 (5.7%)	313 (2.6%)	24 (0.2%)	12,234 (100.0%)
80km以上	699 (20.4%)	662 (19.3%)	1,149 (33.5%)	664 (19.4%)	165 (4.8%)	67 (2.0%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)
無回答	1,899 (23.6%)	1,355 (16.8%)	2,445 (30.4%)	1,519 (18.9%)	491 (6.1%)	248 (3.1%)	97 (1.2%)	8,054 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別にみると、集落人口に占める 0～14 歳人口割合が低い集落ほど、空港までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-68 空港までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	48 (12.2%)	50 (12.8%)	122 (31.1%)	117 (29.8%)	39 (9.9%)	16 (4.1%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	69 (11.4%)	75 (12.4%)	189 (31.2%)	186 (30.7%)	63 (10.4%)	14 (2.3%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	385 (13.4%)	466 (16.2%)	1,030 (35.9%)	682 (23.8%)	199 (6.9%)	94 (3.3%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,363 (17.8%)	2,250 (16.9%)	4,841 (36.4%)	2,701 (20.3%)	727 (5.5%)	345 (2.6%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	6,121 (21.4%)	4,970 (17.4%)	9,567 (33.5%)	5,294 (18.5%)	1,574 (5.5%)	682 (2.4%)	382 (1.3%)	28,590 (100.0%)
80km以上	3,423 (21.9%)	2,990 (19.2%)	5,239 (33.6%)	2,780 (17.8%)	736 (4.7%)	350 (2.2%)	90 (0.6%)	15,608 (100.0%)
無回答	1,778 (24.8%)	1,230 (17.2%)	2,187 (30.6%)	1,265 (17.7%)	390 (5.4%)	216 (3.0%)	91 (1.3%)	7,157 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、集落人口に占める 0～14 歳人口割合が低い集落ほど、高速道路等のICまでの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-69 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	1,464 (11.4%)	1,974 (15.3%)	4,856 (37.7%)	3,215 (25.0%)	944 (7.3%)	358 (2.8%)	55 (0.4%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,706 (15.4%)	1,885 (17.0%)	4,245 (38.2%)	2,359 (21.2%)	572 (5.2%)	273 (2.5%)	64 (0.6%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	3,394 (21.9%)	2,809 (18.2%)	5,248 (33.9%)	2,687 (17.4%)	714 (4.6%)	370 (2.4%)	247 (1.6%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	3,681 (26.5%)	2,685 (19.3%)	4,382 (31.5%)	2,046 (14.7%)	625 (4.5%)	305 (2.2%)	176 (1.3%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	1,696 (29.5%)	1,063 (18.5%)	1,687 (29.3%)	898 (15.6%)	276 (4.8%)	121 (2.1%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)
80km以上	399 (20.9%)	374 (19.6%)	568 (29.8%)	407 (21.3%)	114 (6.0%)	47 (2.5%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)
無回答	1,847 (24.6%)	1,241 (16.5%)	2,189 (29.1%)	1,413 (18.8%)	483 (6.4%)	243 (3.2%)	94 (1.3%)	7,510 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の約6割は 0～14 歳人口割合が 5%以上 15%未満の集落であるが、0～14 歳人口割合が 5%未満の集落も約3割を占めている。

図表2-70 転入者の有無別・集落人口に占める 0～14 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 0～14歳 の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
転入者が いる	4,192 (14.0%)	5,543 (18.5%)	11,208 (37.5%)	6,162 (20.6%)	1,819 (6.1%)	757 (2.5%)	208 (0.7%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	3,069 (54.5%)	663 (11.8%)	927 (16.5%)	559 (9.9%)	196 (3.5%)	168 (3.0%)	49 (0.9%)	5,631 (100.0%)
分からない	6,682 (20.6%)	5,766 (17.8%)	10,942 (33.7%)	6,250 (19.3%)	1,704 (5.3%)	779 (2.4%)	314 (1.0%)	32,437 (100.0%)
無回答	244 (44.4%)	59 (10.7%)	98 (17.9%)	54 (9.8%)	9 (1.6%)	13 (2.4%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)
合計	14,187 (20.7%)	12,031 (17.6%)	23,175 (33.8%)	13,025 (19.0%)	3,728 (5.4%)	1,717 (2.5%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)

②15～29 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数をみると、全体では、15～29 歳割合が一人もいない(下表の「0%」欄)集落が 13.5%あり、10%に満たない集落が全体の半数超を占めている。
- 地域指定別でみると、15～29 歳人口割合が低い集落の割合は振興山村や離島地域において比較的高くなっており、それぞれ 15～29 歳人口割合が 10%未満の集落が約7割を占める。

図表2-71 集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	504 (12.5%)	536 (13.3%)	1,366 (33.8%)	1,076 (26.6%)	319 (7.9%)	203 (5.0%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	1,489 (8.1%)	2,009 (10.9%)	7,328 (39.8%)	5,748 (31.2%)	1,250 (6.8%)	457 (2.5%)	153 (0.8%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	276 (6.8%)	402 (9.9%)	1,543 (38.0%)	1,316 (32.4%)	304 (7.5%)	96 (2.4%)	120 (3.0%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	404 (12.0%)	332 (9.8%)	1,033 (30.6%)	999 (29.6%)	366 (10.9%)	195 (5.8%)	44 (1.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	760 (14.0%)	565 (10.4%)	1,680 (31.0%)	1,520 (28.0%)	418 (7.7%)	166 (3.1%)	318 (5.9%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	606 (12.4%)	524 (10.7%)	1,581 (32.4%)	1,617 (33.2%)	379 (7.8%)	110 (2.3%)	58 (1.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	2,700 (19.6%)	1,693 (12.3%)	4,127 (29.9%)	3,197 (23.2%)	1,111 (8.0%)	786 (5.7%)	193 (1.4%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	1,684 (22.3%)	1,061 (14.0%)	2,398 (31.7%)	1,639 (21.7%)	501 (6.6%)	211 (2.8%)	69 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	2,205 (13.2%)	2,234 (13.4%)	5,658 (34.0%)	4,341 (26.1%)	1,133 (6.8%)	404 (2.4%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.6%)	15 (5.8%)	94 (36.6%)	103 (40.1%)	32 (12.5%)	7 (2.7%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	10,632 (13.5%)	9,371 (11.9%)	26,808 (34.2%)	21,556 (27.5%)	5,813 (7.4%)	2,635 (3.4%)	1,670 (2.1%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	7,774 (10.1%)	7,353 (9.6%)	24,686 (32.2%)	24,391 (31.8%)	7,106 (9.3%)	2,814 (3.7%)	2,586 (3.4%)	76,710 (100.0%)

図表2-72 地域指定別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数 【全体】

全体	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
過疎地域	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	5,902 (21.7%)	3,884 (14.3%)	8,771 (32.2%)	5,742 (21.1%)	1,490 (5.5%)	881 (3.2%)	537 (2.0%)	27,207 (100.0%)
離島	391 (15.9%)	444 (18.0%)	877 (35.6%)	547 (22.2%)	128 (5.2%)	54 (2.2%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)
半島	1,609 (11.2%)	1,915 (13.3%)	5,076 (35.3%)	3,858 (26.8%)	1,033 (7.2%)	335 (2.3%)	561 (3.9%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,327 (11.0%)	1,318 (10.9%)	4,170 (34.5%)	3,601 (29.8%)	1,021 (8.5%)	504 (4.2%)	137 (1.1%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数をみると、全体では、15～29 歳割合が一人もいない(下表の「0%」欄)集落が 14.2%あり、10%に満たない集落が 61.9%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、四国圏において 15～29 歳人口の割合が 10%に満たない集落が 68.1%を占めている。

図表2-73 地方ブロック別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
1 北海道	476 (12.6%)	515 (13.6%)	1,280 (33.8%)	998 (26.3%)	299 (7.9%)	190 (5.0%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	1,347 (8.6%)	1,847 (11.9%)	6,493 (41.7%)	4,546 (29.2%)	899 (5.8%)	316 (2.0%)	133 (0.9%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	251 (7.5%)	345 (10.3%)	1,287 (38.3%)	1,082 (32.2%)	271 (8.1%)	84 (2.5%)	38 (1.1%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	306 (12.4%)	256 (10.4%)	796 (32.2%)	721 (29.2%)	246 (10.0%)	143 (5.8%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	481 (13.0%)	437 (11.8%)	1,269 (34.4%)	1,047 (28.4%)	294 (8.0%)	126 (3.4%)	39 (1.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	524 (12.5%)	477 (11.4%)	1,383 (33.1%)	1,331 (31.9%)	311 (7.4%)	101 (2.4%)	51 (1.2%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	2,597 (20.2%)	1,609 (12.5%)	3,893 (30.2%)	2,956 (23.0%)	1,044 (8.1%)	754 (5.9%)	25 (0.2%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	1,563 (22.0%)	992 (14.0%)	2,277 (32.1%)	1,571 (22.1%)	477 (6.7%)	204 (2.9%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	2,146 (14.1%)	2,168 (14.3%)	5,293 (34.8%)	3,934 (25.9%)	974 (6.4%)	375 (2.5%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.6%)	15 (5.8%)	94 (36.6%)	103 (40.1%)	32 (12.5%)	7 (2.7%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、0～14 歳人口の割合別でみた傾向と同様、15～29 歳人口の割合が低い集落の構成比は基礎集落において最も高くなっている。
- 15～29 歳人口割合が 10%以上の集落が占める割合は、中心・基幹・基礎の順に高くなっており、中心集落では 51.7%と半数超を占めている。

図表2-74 集落類型別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
基礎集落	8,947 (16.0%)	7,359 (13.1%)	19,398 (34.7%)	13,959 (24.9%)	3,834 (6.9%)	1,945 (3.5%)	523 (0.9%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	340 (5.0%)	808 (11.8%)	2,760 (40.3%)	2,262 (33.0%)	482 (7.0%)	140 (2.0%)	57 (0.8%)	6,849 (100.0%)
中心集落	288 (5.6%)	430 (8.4%)	1,722 (33.7%)	1,948 (38.2%)	496 (9.7%)	196 (3.8%)	26 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	120 (20.5%)	64 (10.9%)	185 (31.6%)	120 (20.5%)	35 (6.0%)	19 (3.2%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 地域区別でみると、15～29 歳人口割合が 5%未満の集落の構成比は山間地集落では 43.6%を占めている。
- 山間地集落、中間地集落、平地集落では、15～29 歳人口割合が 5%以上 10%未満の集落の構成比が最も高いが、都市的地域にある集落では、15～29 歳人口割合が 10%以上 15%未満の集落が最も高く、4割程度を占めている。

図表2-75 地域区別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
山間地	5,475 (27.6%)	3,184 (16.0%)	6,145 (31.0%)	3,385 (17.1%)	874 (4.4%)	602 (3.0%)	184 (0.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	2,355 (11.5%)	2,887 (14.1%)	7,856 (38.3%)	5,350 (26.1%)	1,286 (6.3%)	585 (2.8%)	209 (1.0%)	20,528 (100.0%)
平地	1,576 (7.0%)	2,183 (9.7%)	8,316 (37.1%)	7,271 (32.5%)	2,030 (9.1%)	839 (3.7%)	181 (0.8%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	184 (3.6%)	317 (6.2%)	1,584 (30.8%)	2,156 (41.9%)	621 (12.1%)	255 (5.0%)	28 (0.5%)	5,145 (100.0%)
無回答	105 (17.9%)	90 (15.3%)	164 (27.9%)	127 (21.6%)	36 (6.1%)	19 (3.2%)	47 (8.0%)	588 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、15～29 歳人口割合が 10%未満の集落の割合は役場(本庁)から遠くなるほど大きくなっている。

図表2-76 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	1,470 (6.6%)	1,950 (8.7%)	7,702 (34.5%)	7,957 (35.7%)	2,261 (10.1%)	873 (3.9%)	84 (0.4%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,716 (10.8%)	2,121 (13.3%)	6,132 (38.5%)	4,324 (27.1%)	1,069 (6.7%)	486 (3.0%)	89 (0.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	3,215 (18.0%)	2,587 (14.5%)	6,356 (35.6%)	3,993 (22.3%)	947 (5.3%)	549 (3.1%)	232 (1.3%)	17,879 (100.0%)
20km以上	3,252 (27.1%)	1,971 (16.5%)	3,728 (31.1%)	1,917 (16.0%)	537 (4.5%)	368 (3.1%)	206 (1.7%)	11,979 (100.0%)
無回答	42 (10.1%)	32 (7.7%)	147 (35.5%)	98 (23.7%)	33 (8.0%)	24 (5.8%)	38 (9.2%)	414 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、集落人口に占める15～29歳人口割合が小さい集落ほど、新幹線駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-77 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める15～29歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める15～29歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	51 (5.1%)	72 (7.2%)	325 (32.3%)	408 (40.6%)	96 (9.6%)	34 (3.4%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	121 (6.7%)	162 (9.0%)	737 (40.7%)	604 (33.4%)	130 (7.2%)	55 (3.0%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	347 (7.1%)	467 (9.5%)	1,909 (39.0%)	1,622 (33.2%)	345 (7.1%)	147 (3.0%)	54 (1.1%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	1,291 (10.4%)	1,494 (12.0%)	4,569 (36.8%)	3,519 (28.3%)	933 (7.5%)	430 (3.5%)	180 (1.4%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,448 (14.2%)	2,185 (12.6%)	6,214 (35.9%)	4,474 (25.9%)	1,222 (7.1%)	587 (3.4%)	162 (0.9%)	17,292 (100.0%)
80km以上	3,948 (17.4%)	3,159 (13.9%)	7,561 (33.3%)	5,630 (24.8%)	1,540 (6.8%)	750 (3.3%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)
無回答	1,489 (17.8%)	1,122 (13.4%)	2,750 (32.9%)	2,032 (24.3%)	581 (6.9%)	297 (3.5%)	96 (1.1%)	8,367 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、集落人口に占める15～29歳人口割合が小さい集落ほど、特急停車駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-78 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める15～29歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める15～29歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	495 (5.7%)	749 (8.7%)	2,964 (34.4%)	3,027 (35.1%)	939 (10.9%)	387 (4.5%)	63 (0.7%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	734 (10.4%)	812 (11.5%)	2,637 (37.3%)	2,134 (30.2%)	518 (7.3%)	223 (3.2%)	10 (0.1%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,670 (14.0%)	1,529 (12.8%)	4,330 (36.4%)	3,153 (26.5%)	750 (6.3%)	342 (2.9%)	137 (1.2%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,819 (16.4%)	2,319 (13.5%)	5,920 (34.4%)	4,114 (23.9%)	1,131 (6.6%)	588 (3.4%)	298 (1.7%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,095 (17.1%)	1,679 (13.7%)	4,222 (34.5%)	3,025 (24.7%)	800 (6.5%)	389 (3.2%)	24 (0.2%)	12,234 (100.0%)
80km以上	487 (14.2%)	498 (14.5%)	1,315 (38.4%)	835 (24.4%)	188 (5.5%)	83 (2.4%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)
無回答	1,395 (17.3%)	1,075 (13.3%)	2,677 (33.2%)	2,001 (24.8%)	521 (6.5%)	288 (3.6%)	97 (1.2%)	8,054 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離と集落人口に占める 15～29 歳人口割合にそれ程明確な傾向は見受けられない。

図表2-79 空港までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	34 (8.7%)	37 (9.4%)	159 (40.6%)	122 (31.1%)	27 (6.9%)	13 (3.3%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	39 (6.4%)	62 (10.2%)	212 (35.0%)	202 (33.4%)	65 (10.7%)	16 (2.6%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	250 (8.7%)	289 (10.1%)	1,119 (39.0%)	875 (30.5%)	208 (7.3%)	115 (4.0%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	1,565 (11.8%)	1,550 (11.7%)	4,699 (35.4%)	3,901 (29.4%)	1,066 (8.0%)	446 (3.4%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	4,159 (14.5%)	3,564 (12.5%)	9,928 (34.7%)	7,540 (26.4%)	2,021 (7.1%)	990 (3.5%)	388 (1.4%)	28,590 (100.0%)
80km以上	2,323 (14.9%)	2,229 (14.3%)	5,597 (35.9%)	3,930 (25.2%)	974 (6.2%)	465 (3.0%)	90 (0.6%)	15,608 (100.0%)
無回答	1,325 (18.5%)	930 (13.0%)	2,351 (32.8%)	1,719 (24.0%)	486 (6.8%)	255 (3.6%)	91 (1.3%)	7,157 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める 15～29 歳人口割合が小さい集落ほど、高速道路等のICまでの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-80 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 15～29 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 15～29 歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
5km未満	859 (6.7%)	1,169 (9.1%)	4,541 (35.3%)	4,438 (34.5%)	1,266 (9.8%)	533 (4.1%)	60 (0.5%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,018 (9.2%)	1,291 (11.6%)	4,187 (37.7%)	3,347 (30.1%)	840 (7.6%)	356 (3.2%)	65 (0.6%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,292 (14.8%)	1,970 (12.7%)	5,468 (35.3%)	3,951 (25.5%)	1,030 (6.7%)	511 (3.3%)	247 (1.6%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,608 (18.8%)	1,986 (14.3%)	4,791 (34.5%)	3,124 (22.5%)	777 (5.6%)	438 (3.2%)	176 (1.3%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	1,245 (21.7%)	920 (16.0%)	1,888 (32.8%)	1,217 (21.2%)	314 (5.5%)	157 (2.7%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)
80km以上	291 (15.2%)	303 (15.9%)	731 (38.3%)	432 (22.6%)	107 (5.6%)	45 (2.4%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)
無回答	1,382 (18.4%)	1,022 (13.6%)	2,459 (32.7%)	1,780 (23.7%)	513 (6.8%)	260 (3.5%)	94 (1.3%)	7,510 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の7割近くは15～29歳人口割合が5%以上15%未満の集落である。
- また、転入者はいないとされる集落の約8割は15～29歳人口割合が10%未満であり、約4割は15～29歳人口がない(0%)集落である。

図表2-81 転入者の有無別・集落人口に占める15～29歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める15～29歳の割合							計
	0%	1～4.9%	5～9.9%	10～14.9%	15～19.9%	20%～	無回答	
転入者がいる	2,485 (8.3%)	3,882 (13.0%)	11,278 (37.7%)	8,730 (29.2%)	2,249 (7.5%)	1,051 (3.5%)	214 (0.7%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	2,473 (43.9%)	676 (12.0%)	1,231 (21.9%)	766 (13.6%)	255 (4.5%)	181 (3.2%)	49 (0.9%)	5,631 (100.0%)
分からない	4,541 (14.0%)	4,051 (12.5%)	11,434 (35.2%)	8,724 (26.9%)	2,317 (7.1%)	1,056 (3.3%)	314 (1.0%)	32,437 (100.0%)
無回答	196 (35.7%)	52 (9.5%)	122 (22.2%)	69 (12.6%)	26 (4.7%)	12 (2.2%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)
合計	9,695 (14.2%)	8,661 (12.6%)	24,065 (35.1%)	18,289 (26.7%)	4,847 (7.1%)	2,300 (3.4%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

③30～64 歳人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める30～64歳人口割合別集落数をみると、全体では30～39%の集落が46.2%で最も多く、次いで40～49%の集落が27.3%を占めている。
- 地域指定別でみると、振興山村において30～64歳人口割合が低い集落の構成比が比較的大きい。

図表2-82 集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
1 北海道	88 (2.2%)	13 (0.3%)	495 (12.2%)	1,656 (40.9%)	1,418 (35.1%)	334 (8.3%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	259 (1.4%)	47 (0.3%)	1,804 (9.8%)	8,835 (47.9%)	6,564 (35.6%)	772 (4.2%)	153 (0.8%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	32 (0.8%)	17 (0.4%)	416 (10.3%)	2,002 (49.3%)	1,348 (33.2%)	122 (3.0%)	120 (3.0%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	92 (2.7%)	31 (0.9%)	612 (18.1%)	1,582 (46.9%)	876 (26.0%)	136 (4.0%)	44 (1.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	264 (4.9%)	25 (0.5%)	790 (14.6%)	2,424 (44.7%)	1,398 (25.8%)	208 (3.8%)	318 (5.9%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	141 (2.9%)	19 (0.4%)	779 (16.0%)	2,345 (48.1%)	1,388 (28.5%)	145 (3.0%)	58 (1.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	452 (3.3%)	115 (0.8%)	3,453 (25.0%)	6,042 (43.8%)	2,901 (21.0%)	651 (4.7%)	193 (1.4%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	364 (4.8%)	81 (1.1%)	1,770 (23.4%)	3,218 (42.5%)	1,720 (22.7%)	341 (4.5%)	69 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	468 (2.8%)	77 (0.5%)	3,152 (18.9%)	8,074 (48.5%)	3,737 (22.4%)	467 (2.8%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (3.5%)	114 (44.4%)	115 (44.7%)	17 (6.6%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	2,160 (2.8%)	425 (0.5%)	13,280 (16.9%)	36,292 (46.2%)	21,465 (27.3%)	3,193 (4.1%)	1,670 (2.1%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	1,157 (1.5%)	299 (0.4%)	8,942 (11.7%)	31,425 (41.0%)	28,341 (36.9%)	3,960 (5.2%)	2,586 (3.4%)	76,710 (100.0%)

図表2-83 地域指定別・集落人口に占める30～64歳人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
過疎地域	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)
振興山村	1,103 (4.1%)	248 (0.9%)	6,625 (24.4%)	12,070 (44.4%)	5,459 (20.1%)	1,165 (4.3%)	537 (2.0%)	27,207 (100.0%)
離島	51 (2.1%)	25 (1.0%)	513 (20.8%)	1,129 (45.8%)	614 (24.9%)	109 (4.4%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)
半島	242 (1.7%)	67 (0.5%)	2,511 (17.5%)	6,723 (46.7%)	3,849 (26.8%)	434 (3.0%)	561 (3.9%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	248 (2.1%)	54 (0.4%)	1,467 (12.1%)	5,289 (43.8%)	4,192 (34.7%)	691 (5.7%)	137 (1.1%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数をみると、全体では 30～39%の集落が 47.8%で最も多く、次いで 40～49%の集落が 26.0%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、30～64 歳人口割合が 30%未満の集落の構成比は中国圏と四国圏で約3割となっている。一方、沖縄県では 30～64 歳人口割合が 40%以上の集落の割合が最も高い。

図表2-84 地方ブロック別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
1 北海道	74 (2.0%)	13 (0.3%)	478 (12.6%)	1,561 (41.2%)	1,312 (34.6%)	320 (8.4%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	225 (1.4%)	42 (0.3%)	1,662 (10.7%)	7,892 (50.7%)	5,048 (32.4%)	579 (3.7%)	133 (0.9%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	28 (0.8%)	17 (0.5%)	356 (10.6%)	1,705 (50.8%)	1,107 (33.0%)	107 (3.2%)	38 (1.1%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	64 (2.6%)	29 (1.2%)	509 (20.6%)	1,218 (49.3%)	573 (23.2%)	75 (3.0%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	73 (2.0%)	18 (0.5%)	630 (17.1%)	1,846 (50.0%)	929 (25.2%)	158 (4.3%)	39 (1.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	90 (2.2%)	19 (0.5%)	704 (16.9%)	2,072 (49.6%)	1,122 (26.9%)	120 (2.9%)	51 (1.2%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	431 (3.3%)	111 (0.9%)	3,321 (25.8%)	5,690 (44.2%)	2,679 (20.8%)	621 (4.8%)	25 (0.2%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	324 (4.6%)	78 (1.1%)	1,669 (23.5%)	3,074 (43.3%)	1,625 (22.9%)	314 (4.4%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	459 (3.0%)	75 (0.5%)	3,055 (20.1%)	7,554 (49.7%)	3,306 (21.7%)	441 (2.9%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (3.5%)	114 (44.4%)	115 (44.7%)	17 (6.6%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落では 30～64 歳人口割合が 40～49%の集落の割合が基礎・基幹集落より高く、34.6%を占めている。
- 基礎集落では、30～64 歳人口の割合が 30%未満の集落の構成比が基幹・中心集落より高くなっているが、30～64 歳人口が 50%以上を占める集落の割合も 4.3%と最も高い構成比となっている。

図表2-85 集落類型別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
基礎集落	1,652 (3.0%)	378 (0.7%)	10,835 (19.4%)	26,205 (46.8%)	13,942 (24.9%)	2,430 (4.3%)	523 (0.9%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	33 (0.5%)	10 (0.1%)	889 (13.0%)	3,750 (54.8%)	1,988 (29.0%)	122 (1.8%)	57 (0.8%)	6,849 (100.0%)
中心集落	53 (1.0%)	12 (0.2%)	530 (10.4%)	2,553 (50.0%)	1,766 (34.6%)	166 (3.3%)	26 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	30 (5.1%)	2 (0.3%)	139 (23.7%)	218 (37.2%)	120 (20.5%)	34 (5.8%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落では、30～64 歳人口が 40%以上を占める集落が5割近くを占めている。
- 一方、山間地集落では、30～64 歳人口割合が 40%未満の集落が 79.0%と8割近くを占めている。

図表2-86 地域区分別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
山間地	905 (4.6%)	236 (1.2%)	6,056 (30.5%)	8,483 (42.7%)	3,118 (15.7%)	867 (4.4%)	184 (0.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	342 (1.7%)	82 (0.4%)	3,671 (17.9%)	10,634 (51.8%)	4,903 (23.9%)	687 (3.3%)	209 (1.0%)	20,528 (100.0%)
平地	466 (2.1%)	68 (0.3%)	2,237 (10.0%)	11,080 (49.5%)	7,440 (33.2%)	924 (4.1%)	181 (0.8%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	36 (0.7%)	12 (0.2%)	317 (6.2%)	2,288 (44.5%)	2,222 (43.2%)	242 (4.7%)	28 (0.5%)	5,145 (100.0%)
無回答	19 (3.2%)	4 (0.7%)	112 (19.0%)	241 (41.0%)	133 (22.6%)	32 (5.4%)	47 (8.0%)	588 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落の構成比は、役場(本庁)からの距離が近い集落ほど大きくなっている。一方、役場(本庁)から 20 km以上と遠い集落の8割近くは 30～64 歳人口割合が 40%未満の集落である。

図表2-87 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	443 (2.0%)	52 (0.2%)	2,138 (9.6%)	10,717 (48.1%)	7,971 (35.7%)	892 (4.0%)	84 (0.4%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	246 (1.5%)	65 (0.4%)	2,602 (16.3%)	8,178 (51.3%)	4,158 (26.1%)	599 (3.8%)	89 (0.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	532 (3.0%)	118 (0.7%)	3,943 (22.1%)	8,578 (48.0%)	3,715 (20.8%)	761 (4.3%)	232 (1.3%)	17,879 (100.0%)
20km以上	543 (4.5%)	166 (1.4%)	3,651 (30.5%)	5,058 (42.2%)	1,872 (15.6%)	483 (4.0%)	206 (1.7%)	11,979 (100.0%)
無回答	4 (1.0%)	1 (0.2%)	59 (14.3%)	195 (47.1%)	100 (24.2%)	17 (4.1%)	38 (9.2%)	414 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、集落人口に占める30～64歳人口割合が低い集落ほど、新幹線駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-88 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める30～64歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	7 (0.7%)	3 (0.3%)	56 (5.6%)	422 (42.0%)	434 (43.2%)	64 (6.4%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	27 (1.5%)	5 (0.3%)	153 (8.5%)	949 (52.5%)	590 (32.6%)	85 (4.7%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	73 (1.5%)	16 (0.3%)	510 (10.4%)	2,545 (52.0%)	1,536 (31.4%)	157 (3.2%)	54 (1.1%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	209 (1.7%)	62 (0.5%)	1,817 (14.6%)	6,327 (51.0%)	3,417 (27.5%)	404 (3.3%)	180 (1.4%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	347 (2.0%)	93 (0.5%)	3,283 (19.0%)	8,419 (48.7%)	4,306 (24.9%)	682 (3.9%)	162 (0.9%)	17,292 (100.0%)
80km以上	666 (2.9%)	187 (0.8%)	4,889 (21.5%)	10,312 (45.4%)	5,542 (24.4%)	992 (4.4%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)
無回答	439 (5.2%)	36 (0.4%)	1,685 (20.1%)	3,752 (44.8%)	1,991 (23.8%)	368 (4.4%)	96 (1.1%)	8,367 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、集落人口に占める30～64歳人口割合が低い集落ほど、特急停車駅までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-89 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める30～64歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	75 (0.9%)	23 (0.3%)	850 (9.9%)	4,172 (48.4%)	3,051 (35.4%)	390 (4.5%)	63 (0.7%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	112 (1.6%)	27 (0.4%)	980 (13.9%)	3,688 (52.2%)	1,971 (27.9%)	280 (4.0%)	10 (0.1%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	280 (2.4%)	57 (0.5%)	2,166 (18.2%)	5,968 (50.1%)	2,838 (23.8%)	465 (3.9%)	137 (1.2%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	425 (2.5%)	146 (0.8%)	3,526 (20.5%)	8,095 (47.1%)	4,045 (23.5%)	654 (3.8%)	298 (1.7%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	392 (3.2%)	92 (0.8%)	2,627 (21.5%)	5,586 (45.7%)	3,021 (24.7%)	492 (4.0%)	24 (0.2%)	12,234 (100.0%)
80km以上	64 (1.9%)	26 (0.8%)	654 (19.1%)	1,567 (45.7%)	965 (28.2%)	130 (3.8%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)
無回答	420 (5.2%)	31 (0.4%)	1,590 (19.7%)	3,650 (45.3%)	1,925 (23.9%)	341 (4.2%)	97 (1.2%)	8,054 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める 30～64 歳人口割合が低い集落ほど、空港までの距離が遠い割合が高くなる傾向にある。

図表2-90 空港までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	2 (0.5%)	1 (0.3%)	40 (10.2%)	149 (38.0%)	168 (42.9%)	32 (8.2%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	3 (0.5%)	3 (0.5%)	55 (9.1%)	299 (49.4%)	204 (33.7%)	32 (5.3%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	43 (1.5%)	7 (0.2%)	343 (12.0%)	1,379 (48.1%)	953 (33.2%)	131 (4.6%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	276 (2.1%)	68 (0.5%)	2,056 (15.5%)	6,534 (49.2%)	3,765 (28.3%)	528 (4.0%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	679 (2.4%)	162 (0.6%)	5,206 (18.2%)	13,676 (47.8%)	7,328 (25.6%)	1,151 (4.0%)	388 (1.4%)	28,590 (100.0%)
80km以上	340 (2.2%)	129 (0.8%)	3,200 (20.5%)	7,422 (47.6%)	3,836 (24.6%)	591 (3.8%)	90 (0.6%)	15,608 (100.0%)
無回答	425 (5.9%)	32 (0.4%)	1,493 (20.9%)	3,267 (45.6%)	1,562 (21.8%)	287 (4.0%)	91 (1.3%)	7,157 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離と集落人口に占める 30～64 歳人口割合にそれ程明確な傾向は見受けられない。

図表2-91 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
5km未満	114 (0.9%)	35 (0.3%)	1,330 (10.3%)	6,341 (49.3%)	4,400 (34.2%)	586 (4.6%)	60 (0.5%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	174 (1.6%)	44 (0.4%)	1,529 (13.8%)	5,624 (50.6%)	3,271 (29.5%)	397 (3.6%)	65 (0.6%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	386 (2.5%)	89 (0.6%)	2,793 (18.1%)	7,524 (48.6%)	3,845 (24.9%)	585 (3.8%)	247 (1.6%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	407 (2.9%)	127 (0.9%)	3,298 (23.7%)	6,506 (46.8%)	2,852 (20.5%)	534 (3.8%)	176 (1.3%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	209 (3.6%)	59 (1.0%)	1,513 (26.3%)	2,516 (43.8%)	1,194 (20.8%)	250 (4.3%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)
80km以上	47 (2.5%)	15 (0.8%)	364 (19.1%)	843 (44.2%)	551 (28.9%)	89 (4.7%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)
無回答	431 (5.7%)	33 (0.4%)	1,566 (20.9%)	3,372 (44.9%)	1,703 (22.7%)	311 (4.1%)	94 (1.3%)	7,510 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落では、30～64 歳人口割合が 40%以上の集落が 31.6%を占めている。

図表2-92 転入者の有無別・集落人口に占める 30～64 歳人口割合別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 30～64歳 の割合							計
	0%	1～9.9%	10～29%	30～39%	40～49%	50%～	無回答	
転入者が いる	234 (0.8%)	126 (0.4%)	4,787 (16.0%)	15,092 (50.5%)	8,398 (28.1%)	1,038 (3.5%)	214 (0.7%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	555 (9.9%)	86 (1.5%)	1,885 (33.5%)	1,847 (32.8%)	835 (14.8%)	374 (6.6%)	49 (0.9%)	5,631 (100.0%)
分からない	932 (2.9%)	179 (0.6%)	5,544 (17.1%)	15,624 (48.2%)	8,529 (26.3%)	1,315 (4.1%)	314 (1.0%)	32,437 (100.0%)
無回答	47 (8.6%)	11 (2.0%)	177 (32.2%)	163 (29.7%)	54 (9.8%)	25 (4.6%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)
合計	1,768 (2.6%)	402 (0.6%)	12,393 (18.1%)	32,726 (47.8%)	17,816 (26.0%)	2,752 (4.0%)	649 (0.9%)	68,506 (100.0%)

④65歳以上人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める65歳以上人口割合別集落数をみると、住民の半数以上が65歳以上である集落が40.2%を占め、住民全員が65歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)が1,458集落(1.9%)みられる。
- 地域指定別でみると、振興山村において特に65歳以上人口割合が高い集落の割合が高くなっている。

図表2-93 集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める65歳以上の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	81 (2.0%)	95 (2.3%)	1,389 (34.3%)	1,106 (27.3%)	1,139 (28.2%)	194 (4.8%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)	2,671 (66.0%)	1,333 (33.0%)	44 (1.1%)
2 東北圏	91 (0.5%)	351 (1.9%)	5,094 (27.6%)	6,804 (36.9%)	5,086 (27.6%)	855 (4.6%)	153 (0.8%)	18,434 (100.0%)	12,340 (66.9%)	5,941 (32.2%)	215 (1.2%)
3 首都圏	7 (0.2%)	43 (1.1%)	1,067 (26.3%)	1,486 (36.6%)	1,134 (28.0%)	200 (4.9%)	120 (3.0%)	4,057 (100.0%)	2,603 (64.2%)	1,334 (32.9%)	31 (0.8%)
4 北陸圏	14 (0.4%)	78 (2.3%)	912 (27.0%)	994 (29.5%)	1,016 (30.1%)	315 (9.3%)	44 (1.3%)	3,373 (100.0%)	1,998 (59.2%)	1,331 (39.5%)	84 (2.5%)
5 中部圏	220 (4.1%)	78 (1.4%)	1,361 (25.1%)	1,649 (30.4%)	1,616 (29.8%)	460 (8.5%)	43 (0.8%)	5,427 (100.0%)	3,308 (61.0%)	2,076 (38.3%)	86 (1.6%)
6 近畿圏	87 (1.8%)	71 (1.5%)	1,257 (25.8%)	1,550 (31.8%)	1,479 (30.3%)	373 (7.7%)	58 (1.2%)	4,875 (100.0%)	2,965 (60.8%)	1,852 (38.0%)	67 (1.4%)
7 中国圏	163 (1.2%)	334 (2.4%)	2,968 (21.5%)	3,309 (24.0%)	4,979 (36.1%)	1,867 (13.5%)	187 (1.4%)	13,807 (100.0%)	6,774 (49.1%)	6,846 (49.6%)	411 (3.0%)
8 四国圏	67 (0.9%)	117 (1.5%)	1,511 (20.0%)	1,872 (24.8%)	2,706 (35.8%)	1,222 (16.2%)	68 (0.9%)	7,563 (100.0%)	3,567 (47.2%)	3,928 (51.9%)	320 (4.2%)
9 九州圏	313 (1.9%)	311 (1.9%)	4,043 (24.3%)	4,463 (26.8%)	5,412 (32.5%)	1,433 (8.6%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)	9,130 (54.8%)	6,845 (41.1%)	200 (1.2%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	15 (5.8%)	133 (51.8%)	77 (30.0%)	27 (10.5%)	2 (0.8%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)	226 (87.9%)	29 (11.3%)	0 (0.0%)
合計	1,044 (1.3%)	1,493 (1.9%)	19,735 (25.1%)	23,310 (29.7%)	24,594 (31.3%)	6,921 (8.8%)	1,388 (1.8%)	78,485 (100.0%)	45,582 (58.1%)	31,515 (40.2%)	1,458 (1.9%)
参考: 前回調査	516 (0.7%)	2,147 (2.8%)	27,084 (35.3%)	22,569 (29.4%)	17,705 (23.1%)	4,732 (6.2%)	1,957 (2.6%)	76,710 (100.0%)	52,316 (68.2%)	22,437 (29.2%)	1,072 (1.4%)

図表2-94 地域指定別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める65歳以上の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)
振興山村	371 (1.4%)	299 (1.1%)	4,449 (16.4%)	7,049 (25.9%)	10,759 (39.5%)	4,019 (14.8%)	261 (1.0%)	27,207 (100.0%)	12,168 (44.7%)	14,778 (54.3%)	857 (3.1%)
離島	14 (0.6%)	45 (1.8%)	547 (22.2%)	644 (26.1%)	903 (36.6%)	288 (11.7%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)	1,250 (50.7%)	1,191 (48.3%)	48 (1.9%)
半島	95 (0.7%)	285 (2.0%)	3,521 (24.5%)	4,019 (27.9%)	4,724 (32.8%)	1,182 (8.2%)	561 (3.9%)	14,387 (100.0%)	7,920 (55.0%)	5,906 (41.1%)	189 (1.3%)
特別豪雪地帯	107 (0.9%)	307 (2.5%)	3,714 (30.8%)	3,803 (31.5%)	3,274 (27.1%)	736 (6.1%)	137 (1.1%)	12,078 (100.0%)	7,931 (65.7%)	4,010 (33.2%)	190 (1.6%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、65歳以上人口割合をみると、住民の半数以上が65歳以上である集落が42.4%を占め、住民全員が65歳以上の集落(下表の「(うち100%)」欄)も1,341集落(2.0%)みられる。
- 地方ブロック別でみると、中国圏や四国圏で65歳以上人口の割合が50%以上の集落が半数以上を占めている一方、北海道、東北圏、首都圏、沖縄県では65歳以上人口の割合が低い集落の割合が比較的高く、特に沖縄県については、65歳以上人口の割合が50%未満である集落の割合が9割近くと突出している。

図表2-95 地方ブロック別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	67 (1.8%)	87 (2.3%)	1,289 (34.0%)	1,038 (27.4%)	1,088 (28.7%)	189 (5.0%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)	2,481 (65.4%)	1,277 (33.7%)	44 (1.2%)
2 東北圏	64 (0.4%)	192 (1.2%)	3,700 (23.7%)	5,993 (38.5%)	4,734 (30.4%)	765 (4.9%)	133 (0.9%)	15,581 (100.0%)	9,949 (63.9%)	5,499 (35.3%)	192 (1.2%)
3 首都圏	6 (0.2%)	37 (1.1%)	871 (25.9%)	1,257 (37.4%)	965 (28.7%)	184 (5.5%)	38 (1.1%)	3,358 (100.0%)	2,171 (64.7%)	1,149 (34.2%)	27 (0.8%)
4 北陸圏	9 (0.4%)	34 (1.4%)	619 (25.1%)	756 (30.6%)	800 (32.4%)	250 (10.1%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)	1,418 (57.4%)	1,050 (42.5%)	61 (2.5%)
5 中部圏	34 (0.9%)	44 (1.2%)	871 (23.6%)	1,196 (32.4%)	1,194 (32.3%)	315 (8.5%)	39 (1.1%)	3,693 (100.0%)	2,145 (58.1%)	1,509 (40.9%)	69 (1.9%)
6 近畿圏	40 (1.0%)	53 (1.3%)	1,014 (24.3%)	1,358 (32.5%)	1,312 (31.4%)	350 (8.4%)	51 (1.2%)	4,178 (100.0%)	2,465 (59.0%)	1,662 (39.8%)	62 (1.5%)
7 中国圏	147 (1.1%)	314 (2.4%)	2,726 (21.2%)	3,129 (24.3%)	4,747 (36.9%)	1,796 (13.9%)	19 (0.1%)	12,878 (100.0%)	6,316 (49.0%)	6,543 (50.8%)	401 (3.1%)
8 四国圏	47 (0.7%)	109 (1.5%)	1,436 (20.2%)	1,782 (25.1%)	2,565 (36.2%)	1,145 (16.1%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)	3,374 (47.6%)	3,710 (52.3%)	294 (4.1%)
9 九州圏	313 (2.1%)	249 (1.6%)	3,595 (23.6%)	4,143 (27.2%)	5,201 (34.2%)	1,389 (9.1%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)	8,300 (54.6%)	6,590 (43.3%)	191 (1.3%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	15 (5.8%)	133 (51.8%)	77 (30.0%)	27 (10.5%)	2 (0.8%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)	226 (87.9%)	29 (11.3%)	0 (0.0%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落の約4割は65歳以上人口割合が40%未満の集落であるのに対して、基礎集落では65歳以上人口割合が50%以上の集落が44.9%を占めている。

図表2-96 集落類型別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1~19%	20~39%	40~49%	50~69%	70%~	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	674 (1.2%)	943 (1.7%)	12,235 (21.9%)	16,482 (29.5%)	19,264 (34.4%)	5,848 (10.4%)	519 (0.9%)	55,965 (100.0%)	30,334 (54.2%)	25,112 (44.9%)	1,250 (2.2%)
基幹集落	26 (0.4%)	83 (1.2%)	1,955 (28.5%)	2,439 (35.6%)	2,011 (29.4%)	279 (4.1%)	56 (0.8%)	6,849 (100.0%)	4,503 (65.7%)	2,290 (33.4%)	18 (0.3%)
中心集落	25 (0.5%)	97 (1.9%)	1,955 (38.3%)	1,680 (32.9%)	1,144 (22.4%)	180 (3.5%)	25 (0.5%)	5,106 (100.0%)	3,757 (73.6%)	1,324 (25.9%)	43 (0.8%)
無回答	3 (0.5%)	11 (1.9%)	109 (18.6%)	128 (21.8%)	214 (36.5%)	78 (13.3%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)	251 (42.8%)	292 (49.8%)	30 (5.1%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 地域区別でみると、65歳以上人口割合が50%以上の集落の割合は山間地集落において64.5%と特に高くなっている。一方、平地や都市的地域にある集落では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が7～8割程度を占めている。

図表2-97 地域区別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	131 (0.7%)	148 (0.7%)	2,214 (11.2%)	4,368 (22.0%)	8,873 (44.7%)	3,937 (19.8%)	178 (0.9%)	19,849 (100.0%)	6,861 (34.6%)	12,810 (64.5%)	853 (4.3%)
中間地	135 (0.7%)	260 (1.3%)	4,179 (20.4%)	6,754 (32.9%)	7,482 (36.4%)	1,509 (7.4%)	209 (1.0%)	20,528 (100.0%)	11,328 (55.2%)	8,991 (43.8%)	271 (1.3%)
平地	398 (1.8%)	554 (2.5%)	7,425 (33.2%)	7,794 (34.8%)	5,263 (23.5%)	781 (3.5%)	181 (0.8%)	22,396 (100.0%)	16,171 (72.2%)	6,044 (27.0%)	175 (0.8%)
都市的地域	57 (1.1%)	156 (3.0%)	2,323 (45.2%)	1,675 (32.6%)	808 (15.7%)	98 (1.9%)	28 (0.5%)	5,145 (100.0%)	4,211 (81.8%)	906 (17.6%)	26 (0.5%)
無回答	7 (1.2%)	16 (2.7%)	113 (19.2%)	138 (23.5%)	207 (35.2%)	60 (10.2%)	47 (8.0%)	588 (100.0%)	274 (46.6%)	267 (45.4%)	16 (2.7%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、65歳以上人口割合が40%未満の集落の構成比は、役場(本庁)に近い集落ほど大きくなる傾向がみられる。一方、役場(本庁)から20km以上離れた集落では、65歳以上人口割合が50%以上を占める集落が64.4%と6割以上を占めている。

図表2-98 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	408 (1.8%)	583 (2.6%)	8,287 (37.2%)	7,298 (32.7%)	4,935 (22.1%)	707 (3.2%)	79 (0.4%)	22,297 (100.0%)	16,576 (74.3%)	5,642 (25.3%)	156 (0.7%)
5km以上 10km未満	81 (0.5%)	242 (1.5%)	3,606 (22.6%)	5,528 (34.7%)	5,307 (33.3%)	1,085 (6.8%)	88 (0.6%)	15,937 (100.0%)	9,457 (59.3%)	6,392 (40.1%)	221 (1.4%)
10km以上 20km未満	162 (0.9%)	195 (1.1%)	2,928 (16.4%)	5,241 (29.3%)	7,002 (39.2%)	2,119 (11.9%)	232 (1.3%)	17,879 (100.0%)	8,526 (47.7%)	9,121 (51.0%)	443 (2.5%)
20km以上	74 (0.6%)	103 (0.9%)	1,337 (11.2%)	2,540 (21.2%)	5,267 (44.0%)	2,452 (20.5%)	206 (1.7%)	11,979 (100.0%)	4,054 (33.8%)	7,719 (64.4%)	518 (4.3%)
無回答	3 (0.7%)	11 (2.7%)	96 (23.2%)	122 (29.5%)	122 (29.5%)	22 (5.3%)	38 (9.2%)	414 (100.0%)	232 (56.0%)	144 (34.8%)	3 (0.7%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、集落人口に占める 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の割合は、新幹線駅から遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-99 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合							計	【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	4 (0.4%)	25 (2.5%)	433 (43.1%)	328 (32.6%)	175 (17.4%)	21 (2.1%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)	790 (78.6%)	196 (19.5%)	7 (0.7%)
5km以上 10km未満	10 (0.6%)	25 (1.4%)	547 (30.2%)	717 (39.6%)	444 (24.5%)	66 (3.6%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)	1,299 (71.8%)	510 (28.2%)	25 (1.4%)
10km以上 20km未満	35 (0.7%)	63 (1.3%)	1,400 (28.6%)	1,864 (38.1%)	1,269 (25.9%)	206 (4.2%)	54 (1.1%)	4,891 (100.0%)	3,362 (68.7%)	1,475 (30.2%)	45 (0.9%)
20km以上 40km未満	85 (0.7%)	174 (1.4%)	3,004 (24.2%)	4,131 (33.3%)	3,977 (32.0%)	865 (7.0%)	180 (1.4%)	12,416 (100.0%)	7,394 (59.6%)	4,842 (39.0%)	193 (1.6%)
40km以上 80km未満	107 (0.6%)	299 (1.7%)	3,853 (22.3%)	5,331 (30.8%)	5,906 (34.2%)	1,640 (9.5%)	156 (0.9%)	17,292 (100.0%)	9,590 (55.5%)	7,546 (43.6%)	308 (1.8%)
80km以上	191 (0.8%)	388 (1.7%)	5,076 (22.3%)	6,156 (27.1%)	7,978 (35.1%)	2,799 (12.3%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)	11,811 (52.0%)	10,777 (47.4%)	593 (2.6%)
無回答	296 (3.5%)	160 (1.9%)	1,941 (23.2%)	2,202 (26.3%)	2,884 (34.5%)	788 (9.4%)	96 (1.1%)	8,367 (100.0%)	4,599 (55.0%)	3,672 (43.9%)	170 (2.0%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、集落人口に占める 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の割合は、特急停車駅から遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-100 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合							計	【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	81 (0.9%)	253 (2.9%)	3,120 (36.2%)	2,890 (33.5%)	1,930 (22.4%)	290 (3.4%)	60 (0.7%)	8,624 (100.0%)	6,344 (73.6%)	2,220 (25.7%)	61 (0.7%)
5km以上 10km未満	43 (0.6%)	118 (1.7%)	1,865 (26.4%)	2,401 (34.0%)	2,172 (30.7%)	461 (6.5%)	8 (0.1%)	7,068 (100.0%)	4,427 (62.6%)	2,633 (37.3%)	100 (1.4%)
10km以上 20km未満	86 (0.7%)	183 (1.5%)	2,416 (20.3%)	3,755 (31.5%)	4,249 (35.7%)	1,086 (9.1%)	136 (1.1%)	11,911 (100.0%)	6,440 (54.1%)	5,335 (44.8%)	239 (2.0%)
20km以上 40km未満	98 (0.6%)	227 (1.3%)	3,487 (20.3%)	4,958 (28.8%)	6,172 (35.9%)	1,949 (11.3%)	298 (1.7%)	17,189 (100.0%)	8,770 (51.0%)	8,121 (47.2%)	400 (2.3%)
40km以上 80km未満	110 (0.9%)	167 (1.4%)	2,738 (22.4%)	3,515 (28.7%)	4,173 (34.1%)	1,507 (12.3%)	24 (0.2%)	12,234 (100.0%)	6,530 (53.4%)	5,680 (46.4%)	327 (2.7%)
80km以上	14 (0.4%)	40 (1.2%)	790 (23.1%)	1,014 (29.6%)	1,207 (35.2%)	341 (10.0%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)	1,858 (54.2%)	1,548 (45.2%)	62 (1.8%)
無回答	296 (3.7%)	146 (1.8%)	1,838 (22.8%)	2,196 (27.3%)	2,730 (33.9%)	751 (9.3%)	97 (1.2%)	8,054 (100.0%)	4,476 (55.6%)	3,481 (43.2%)	152 (1.9%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 空港までの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の割合は、空港から遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-101 空港までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	2 (0.5%)	15 (3.8%)	164 (41.8%)	109 (27.8%)	89 (22.7%)	13 (3.3%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)	290 (74.0%)	102 (26.0%)	2 (0.5%)
5km以上 10km未満	2 (0.3%)	22 (3.6%)	219 (36.2%)	192 (31.7%)	135 (22.3%)	26 (4.3%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)	435 (71.9%)	161 (26.6%)	3 (0.5%)
10km以上 20km未満	40 (1.4%)	81 (2.8%)	869 (30.3%)	930 (32.4%)	807 (28.1%)	129 (4.5%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)	1,920 (66.9%)	936 (32.6%)	34 (1.2%)
20km以上 40km未満	120 (0.9%)	254 (1.9%)	3,557 (26.8%)	4,187 (31.5%)	4,108 (30.9%)	1,001 (7.5%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)	8,118 (61.1%)	5,109 (38.5%)	225 (1.7%)
40km以上 80km未満	215 (0.8%)	433 (1.5%)	6,584 (23.0%)	8,719 (30.5%)	9,505 (33.2%)	2,752 (9.6%)	382 (1.3%)	28,590 (100.0%)	15,951 (55.8%)	12,257 (42.9%)	600 (2.1%)
80km以上	57 (0.4%)	207 (1.3%)	3,346 (21.4%)	4,680 (30.0%)	5,483 (35.1%)	1,745 (11.2%)	90 (0.6%)	15,608 (100.0%)	8,290 (53.1%)	7,228 (46.3%)	321 (2.1%)
無回答	292 (4.1%)	122 (1.7%)	1,515 (21.2%)	1,912 (26.7%)	2,506 (35.0%)	719 (10.0%)	91 (1.3%)	7,157 (100.0%)	3,841 (53.7%)	3,225 (45.1%)	156 (2.2%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の割合は、高速道路等のICから遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-102 高速道路等の IC までの距離別・集落人口に占める 65 歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	82 (0.6%)	354 (2.8%)	4,447 (34.6%)	4,299 (33.4%)	3,148 (24.5%)	481 (3.7%)	55 (0.4%)	12,866 (100.0%)	9,182 (71.4%)	3,629 (28.2%)	102 (0.8%)
5km以上 10km未満	83 (0.7%)	175 (1.6%)	2,925 (26.3%)	3,897 (35.1%)	3,344 (30.1%)	616 (5.5%)	64 (0.6%)	11,104 (100.0%)	7,080 (63.8%)	3,960 (35.7%)	132 (1.2%)
10km以上 20km未満	111 (0.7%)	208 (1.3%)	3,295 (21.3%)	4,832 (31.2%)	5,270 (34.1%)	1,506 (9.7%)	247 (1.6%)	15,469 (100.0%)	8,446 (54.6%)	6,776 (43.8%)	334 (2.2%)
20km以上 40km未満	106 (0.8%)	170 (1.2%)	2,416 (17.4%)	3,786 (27.2%)	5,365 (38.6%)	1,881 (13.5%)	176 (1.3%)	13,900 (100.0%)	6,478 (46.6%)	7,246 (52.1%)	366 (2.6%)
40km以上 80km未満	31 (0.5%)	53 (0.9%)	1,058 (18.4%)	1,431 (24.9%)	2,190 (38.1%)	978 (17.0%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)	2,573 (44.8%)	3,168 (55.1%)	201 (3.5%)
80km以上	22 (1.2%)	33 (1.7%)	451 (23.6%)	525 (27.5%)	701 (36.7%)	177 (9.3%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)	1,031 (54.0%)	878 (46.0%)	43 (2.3%)
無回答	293 (3.9%)	141 (1.9%)	1,662 (22.1%)	1,959 (26.1%)	2,615 (34.8%)	746 (9.9%)	94 (1.3%)	7,510 (100.0%)	4,055 (54.0%)	3,361 (44.8%)	163 (2.2%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落では、65歳以上人口割合が50%未満の集落が6割超を占めている。
- また、転入者はいないとされる集落では、65歳以上人口割合が50%以上の集落が約7割を占める。

図表2-103 転入者の有無別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者がいる	199 (0.7%)	544 (1.8%)	7,904 (26.4%)	9,750 (32.6%)	9,550 (32.0%)	1,734 (5.8%)	208 (0.7%)	29,889 (100.0%)	18,397 (61.6%)	11,284 (37.8%)	162 (0.5%)
転入者はいない	64 (1.1%)	63 (1.1%)	566 (10.1%)	950 (16.9%)	2,209 (39.2%)	1,730 (30.7%)	49 (0.9%)	5,631 (100.0%)	1,643 (29.2%)	3,939 (70.0%)	537 (9.5%)
分からない	460 (1.4%)	524 (1.6%)	7,739 (23.9%)	9,943 (30.7%)	10,691 (33.0%)	2,766 (8.5%)	314 (1.0%)	32,437 (100.0%)	18,666 (57.5%)	13,457 (41.5%)	595 (1.8%)
無回答	5 (0.9%)	3 (0.5%)	45 (8.2%)	86 (15.7%)	183 (33.3%)	155 (28.2%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)	139 (25.3%)	338 (61.6%)	47 (8.6%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

- 地形的末端性別でみると、地形的に末端にある集落の7割近くは、65歳以上人口割合が50%を超えている集落である。

図表2-104 地形的末端性別・集落人口に占める65歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 65歳以上 の割合								【再掲】65歳以上割合		
	0%	1～19%	20～39%	40～49%	50～69%	70%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
地形的な末端である	21 (0.5%)	31 (0.8%)	389 (9.9%)	723 (18.4%)	1,694 (43.2%)	1,039 (26.5%)	27 (0.7%)	3,924 (100.0%)	1,164 (29.7%)	2,733 (69.6%)	322 (8.2%)
地形的な末端でない	707 (1.1%)	1,103 (1.7%)	15,865 (24.6%)	20,006 (31.0%)	20,939 (32.4%)	5,346 (8.3%)	616 (1.0%)	64,582 (100.0%)	37,681 (58.3%)	26,285 (40.7%)	1,019 (1.6%)
合計	728 (1.1%)	1,134 (1.7%)	16,254 (23.7%)	20,729 (30.3%)	22,633 (33.0%)	6,385 (9.3%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	38,845 (56.7%)	29,018 (42.4%)	1,341 (2.0%)

⑤65歳以上人口割合の高い集落の特性

【全体】

- 65歳以上人口割合が50%以上の集落の特性をみると、人口・世帯数ともに規模が小さく、転入者がいない、役場(本庁)から遠距離で地形的に末端にあり、山間地集落や基礎集落が多い。
- また、65歳以上人口割合が75%以上の集落では、集落機能が低下している、あるいは維持が困難である集落の割合も高くなっている。
- 65歳以上人口割合の高い集落において、地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合が高くなっている。

図表2-105 65歳以上人口割合が高い集落の主要特性【全体】

全体		65歳以上人口割合の区分別 集落数						計
		100%	75%以上 100%未満	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	1,359 (93.2%)	3,346 (92.1%)	22,534 (85.3%)	31,752 (76.6%)	3,256 (78.9%)	917 (66.1%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	22 (1.5%)	164 (4.5%)	2,292 (8.7%)	5,060 (12.2%)	350 (8.5%)	108 (7.8%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	43 (2.9%)	88 (2.4%)	1,333 (5.0%)	4,011 (9.7%)	355 (8.6%)	44 (3.2%)	5,874 (7.5%)
地域 区分	山間地	936 (64.2%)	2,327 (64.1%)	10,834 (41.0%)	7,507 (18.1%)	656 (15.9%)	280 (20.2%)	22,540 (28.7%)
	中間地	285 (19.5%)	821 (22.6%)	8,557 (32.4%)	12,105 (29.2%)	780 (18.9%)	388 (28.0%)	22,936 (29.2%)
	平地	184 (12.6%)	393 (10.8%)	5,814 (22.0%)	16,312 (39.4%)	1,878 (45.5%)	261 (18.8%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	32 (2.2%)	57 (1.6%)	934 (3.5%)	4,808 (11.6%)	634 (15.4%)	132 (9.5%)	6,597 (8.4%)
人口 規模	～9	1,180 (80.9%)	852 (23.5%)	1,052 (4.0%)	403 (1.0%)	344 (8.3%)	4 (0.3%)	3,835 (4.9%)
	10～24	153 (10.5%)	1,799 (49.5%)	4,459 (16.9%)	1,988 (4.8%)	458 (11.1%)	19 (1.4%)	8,876 (11.3%)
	25～49	59 (4.0%)	722 (19.9%)	7,315 (27.7%)	5,203 (12.6%)	536 (13.0%)	28 (2.0%)	13,863 (17.7%)
	50～99	64 (4.4%)	200 (5.5%)	7,356 (27.8%)	9,617 (23.2%)	639 (15.5%)	42 (3.0%)	17,918 (22.8%)
	100～199	2 (0.1%)	43 (1.2%)	4,223 (16.0%)	10,950 (26.4%)	665 (16.1%)	54 (3.9%)	15,937 (20.3%)
	200～499	0 (0.0%)	14 (0.4%)	1,733 (6.6%)	9,182 (22.2%)	773 (18.7%)	46 (3.3%)	11,748 (15.0%)
	500～999	0 (0.0%)	2 (0.1%)	222 (0.8%)	2,704 (6.5%)	437 (10.6%)	12 (0.9%)	3,377 (4.3%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	65 (0.2%)	1,406 (3.4%)	277 (6.7%)	15 (1.1%)	1,763 (2.2%)
世帯 数規模	～9	1,236 (84.8%)	1,683 (46.3%)	3,423 (13.0%)	1,956 (4.7%)	671 (16.3%)	38 (2.7%)	9,007 (11.5%)
	10～19	69 (4.7%)	1,280 (35.2%)	6,556 (24.8%)	4,815 (11.6%)	538 (13.0%)	75 (5.4%)	13,333 (17.0%)
	20～29	36 (2.5%)	363 (10.0%)	4,774 (18.1%)	5,004 (12.1%)	375 (9.1%)	76 (5.5%)	10,628 (13.5%)
	30～49	43 (2.9%)	167 (4.6%)	5,245 (19.8%)	7,788 (18.8%)	498 (12.1%)	94 (6.8%)	13,835 (17.6%)
	50～99	61 (4.2%)	90 (2.5%)	4,124 (15.6%)	9,989 (24.1%)	690 (16.7%)	141 (10.2%)	15,095 (19.2%)
	100～199	2 (0.1%)	26 (0.7%)	1,582 (6.0%)	6,722 (16.2%)	574 (13.9%)	69 (5.0%)	8,975 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	10 (0.3%)	490 (1.9%)	3,703 (8.9%)	535 (13.0%)	50 (3.6%)	4,788 (6.1%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	76 (0.3%)	1,280 (3.1%)	237 (5.7%)	16 (1.2%)	1,609 (2.1%)
転入 者	転入者がいる	170 (11.7%)	988 (27.2%)	10,969 (41.5%)	19,464 (47.0%)	1,668 (40.4%)	316 (22.8%)	33,575 (42.8%)
	転入者がいない	582 (39.9%)	941 (25.9%)	2,618 (9.9%)	1,577 (3.8%)	190 (4.6%)	94 (6.8%)	6,002 (7.6%)
サポ ート 人材	サポート人材あり	742 (50.9%)	1,884 (51.9%)	12,049 (45.6%)	16,078 (38.8%)	1,371 (33.2%)	651 (46.9%)	32,775 (41.8%)
	集落支援員	543 (37.2%)	1,313 (36.2%)	8,302 (31.4%)	11,074 (26.7%)	904 (21.9%)	489 (35.2%)	22,625 (28.8%)
	地域おこし協力隊	400 (27.4%)	1,048 (28.9%)	6,344 (24.0%)	8,446 (20.4%)	778 (18.8%)	235 (16.9%)	17,251 (22.0%)
	その他	30 (2.1%)	83 (2.3%)	564 (2.1%)	664 (1.6%)	56 (1.4%)	2 (0.1%)	1,399 (1.8%)
	サポート人材なし	716 (49.1%)	1,748 (48.1%)	14,376 (54.4%)	25,375 (61.2%)	2,758 (66.8%)	737 (53.1%)	45,710 (58.2%)
集落 機能	良好	380 (26.1%)	1,513 (41.7%)	18,537 (70.1%)	34,949 (84.3%)	3,478 (84.2%)	650 (46.8%)	59,507 (75.8%)
	機能低下	427 (29.3%)	1,494 (41.1%)	6,661 (25.2%)	5,870 (14.2%)	475 (11.5%)	214 (15.4%)	15,141 (19.3%)
	機能維持困難	626 (42.9%)	604 (16.6%)	1,110 (4.2%)	419 (1.0%)	142 (3.4%)	35 (2.5%)	2,936 (3.7%)
本庁 までの 距離	5 ^{キロ} 未満	169 (11.6%)	340 (9.4%)	5,459 (20.7%)	17,239 (41.6%)	2,235 (54.1%)	443 (31.9%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	238 (16.3%)	583 (16.1%)	6,056 (22.9%)	10,404 (25.1%)	684 (16.6%)	155 (11.2%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	492 (33.7%)	1,210 (33.3%)	8,222 (31.1%)	9,125 (22.0%)	674 (16.3%)	325 (23.4%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	555 (38.1%)	1,480 (40.7%)	6,544 (24.8%)	4,302 (10.4%)	488 (11.8%)	265 (19.1%)	13,634 (17.4%)
地形	地形的末端である	361 (24.8%)	583 (16.1%)	2,116 (8.0%)	1,300 (3.1%)	125 (3.0%)	74 (5.3%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	1,097 (75.2%)	3,049 (83.9%)	24,309 (92.0%)	40,153 (96.9%)	4,004 (97.0%)	1,314 (94.7%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		1,458 (100.0%)	3,632 (100.0%)	26,425 (100.0%)	41,453 (100.0%)	4,129 (100.0%)	1,388 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における 65 歳以上人口割合が 50%以上の集落の特性をみると、条件不利地域全体と同様、人口・世帯数ともに規模が小さく、転入者がいない、役場(本庁)から遠距離で地形的に末端にあり、山間地集落や基礎集落が多い。
- また、65 歳以上人口割合が 75%以上の集落では、集落機能が低下している、あるいは維持が困難である集落の割合も高くなっている。
- 地域おこし協力隊等のサポート人材が活動している集落の割合は、65 歳以上人口割合が高い集落においてより高い傾向がみられる。

図表2-106 65 歳以上人口割合が高い集落の主要特性 【過疎地域のみ】

過疎地域		65歳以上人口割合の区別 集落数						計
		100%	75%以上 100%未満	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満	無回答	
集落 類型	基礎集落	1,250 (93.2%)	3,080 (92.1%)	20,782 (85.4%)	27,776 (77.7%)	2,558 (82.9%)	519 (80.7%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	18 (1.3%)	150 (4.5%)	2,122 (8.7%)	4,266 (11.9%)	237 (7.7%)	56 (8.7%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	43 (3.2%)	83 (2.5%)	1,198 (4.9%)	3,490 (9.8%)	267 (8.7%)	25 (3.9%)	5,106 (7.5%)
地域 区分	山間地	853 (63.6%)	2,125 (63.5%)	9,832 (40.4%)	6,441 (18.0%)	420 (13.6%)	178 (27.7%)	19,849 (29.0%)
	中間地	271 (20.2%)	767 (22.9%)	7,953 (32.7%)	10,670 (29.8%)	658 (21.3%)	209 (32.5%)	20,528 (30.0%)
	平地	175 (13.0%)	373 (11.2%)	5,496 (22.6%)	14,618 (40.9%)	1,553 (50.3%)	181 (28.1%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	26 (1.9%)	47 (1.4%)	833 (3.4%)	3,786 (10.6%)	425 (13.8%)	28 (4.4%)	5,145 (7.5%)
人口 規模	～9	1,078 (80.4%)	780 (23.3%)	980 (4.0%)	357 (1.0%)	275 (8.9%)	4 (0.6%)	3,474 (5.1%)
	10～24	141 (10.5%)	1,683 (50.3%)	4,186 (17.2%)	1,844 (5.2%)	370 (12.0%)	12 (1.9%)	8,236 (12.0%)
	25～49	58 (4.3%)	648 (19.4%)	6,849 (28.1%)	4,838 (13.5%)	432 (14.0%)	23 (3.6%)	12,848 (18.8%)
	50～99	62 (4.6%)	186 (5.6%)	6,749 (27.7%)	8,731 (24.4%)	553 (17.9%)	28 (4.4%)	16,309 (23.8%)
	100～199	2 (0.1%)	35 (1.0%)	3,830 (15.7%)	9,611 (26.9%)	550 (17.8%)	41 (6.4%)	14,069 (20.5%)
	200～499	0 (0.0%)	11 (0.3%)	1,505 (6.2%)	7,554 (21.1%)	559 (18.1%)	31 (4.8%)	9,660 (14.1%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	181 (0.7%)	1,984 (5.5%)	254 (8.2%)	10 (1.6%)	2,430 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (0.2%)	840 (2.3%)	93 (3.0%)	13 (2.0%)	999 (1.5%)
世帯 数規模	～9	1,131 (84.3%)	1,567 (46.9%)	3,204 (13.2%)	1,791 (5.0%)	563 (18.2%)	15 (2.3%)	8,271 (12.1%)
	10～19	61 (4.5%)	1,179 (35.3%)	6,146 (25.3%)	4,475 (12.5%)	416 (13.5%)	30 (4.7%)	12,307 (18.0%)
	20～29	35 (2.6%)	326 (9.7%)	4,441 (18.3%)	4,525 (12.7%)	312 (10.1%)	30 (4.7%)	9,669 (14.1%)
	30～49	42 (3.1%)	154 (4.6%)	4,806 (19.8%)	7,030 (19.7%)	416 (13.5%)	42 (6.5%)	12,490 (18.2%)
	50～99	59 (4.4%)	78 (2.3%)	3,736 (15.4%)	8,709 (24.4%)	576 (18.7%)	83 (12.9%)	13,241 (19.3%)
	100～199	2 (0.1%)	22 (0.7%)	1,391 (5.7%)	5,553 (15.5%)	405 (13.1%)	41 (6.4%)	7,414 (10.8%)
	200～499	0 (0.0%)	7 (0.2%)	412 (1.7%)	2,763 (7.7%)	312 (10.1%)	28 (4.4%)	3,522 (5.1%)
	500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	64 (0.3%)	787 (2.2%)	81 (2.6%)	12 (1.9%)	944 (1.4%)
転入 者	転入者がいる	162 (12.1%)	938 (28.1%)	10,184 (41.9%)	17,045 (47.7%)	1,352 (43.8%)	208 (32.3%)	29,889 (43.6%)
	転入者がいない	537 (40.0%)	901 (26.9%)	2,501 (10.3%)	1,471 (4.1%)	172 (5.6%)	49 (7.6%)	5,631 (8.2%)
サポ ート 人材	サポート人材あり	707 (52.7%)	1,747 (52.2%)	11,246 (46.2%)	14,257 (39.9%)	1,133 (36.7%)	283 (44.0%)	29,373 (42.9%)
	集落支援員	525 (39.1%)	1,253 (37.5%)	7,882 (32.4%)	10,014 (28.0%)	752 (24.4%)	243 (37.8%)	20,669 (30.2%)
	地域おこし協力隊	375 (28.0%)	950 (28.4%)	5,844 (24.0%)	7,288 (20.4%)	653 (21.2%)	88 (13.7%)	15,198 (22.2%)
	その他	30 (2.2%)	83 (2.5%)	549 (2.3%)	617 (1.7%)	51 (1.7%)	2 (0.3%)	1,332 (1.9%)
	サポート人材なし	634 (47.3%)	1,597 (47.8%)	13,087 (53.8%)	21,502 (60.1%)	1,953 (63.3%)	360 (56.0%)	39,133 (57.1%)
集落 機能	良好	354 (26.4%)	1,412 (42.2%)	17,165 (70.5%)	30,345 (84.9%)	2,604 (84.4%)	427 (66.4%)	52,307 (76.4%)
	機能低下	397 (29.6%)	1,354 (40.5%)	6,061 (24.9%)	4,889 (13.7%)	363 (11.8%)	153 (23.8%)	13,217 (19.3%)
	機能維持困難	565 (42.1%)	562 (16.8%)	1,020 (4.2%)	387 (1.1%)	100 (3.2%)	19 (3.0%)	2,653 (3.9%)
本庁 までの 距離	5 ^{キロ} 未満	156 (11.6%)	329 (9.8%)	5,157 (21.2%)	14,862 (41.6%)	1,714 (55.5%)	79 (12.3%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	221 (16.5%)	546 (16.3%)	5,625 (23.1%)	8,920 (24.9%)	537 (17.4%)	88 (13.7%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	443 (33.0%)	1,115 (33.3%)	7,563 (31.1%)	7,990 (22.3%)	536 (17.4%)	232 (36.1%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	518 (38.6%)	1,337 (40.0%)	5,864 (24.1%)	3,779 (10.6%)	275 (8.9%)	206 (32.0%)	11,979 (17.5%)
地形	地形的末端である	322 (24.0%)	525 (15.7%)	1,886 (7.8%)	1,078 (3.0%)	86 (2.8%)	27 (4.2%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	1,019 (76.0%)	2,819 (84.3%)	22,447 (92.2%)	34,681 (97.0%)	3,000 (97.2%)	616 (95.8%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		1,341 (100.0%)	3,344 (100.0%)	24,333 (100.0%)	35,759 (100.0%)	3,086 (100.0%)	643 (100.0%)	68,506 (100.0%)

⑥75歳以上人口割合別 集落数

【全体】

- 集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数をみると、75歳以上人口割合が50%以上の集落は6.5%であり、住民全員が75歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)も475集落(0.6%)みられた。
- 地域指定別で比較すると、75歳以上人口割合が30%以上の集落の構成比は振興山村において最も高く、振興山村における集落全体の4割以上を占めている。

図表2-107 集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	148 (3.7%)	153 (3.8%)	1,016 (25.1%)	1,485 (36.7%)	1,052 (26.0%)	150 (3.7%)	40 (1.0%)	4,044 (100.0%)	3,854 (95.3%)	150 (3.7%)	21 (0.5%)
2 東北圏	216 (1.2%)	522 (2.8%)	4,572 (24.8%)	8,674 (47.1%)	3,685 (20.0%)	612 (3.3%)	153 (0.8%)	18,434 (100.0%)	17,669 (95.9%)	612 (3.3%)	56 (0.3%)
3 首都圏	29 (0.7%)	72 (1.8%)	852 (21.0%)	1,943 (47.9%)	890 (21.9%)	151 (3.7%)	120 (3.0%)	4,057 (100.0%)	3,786 (93.3%)	151 (3.7%)	12 (0.3%)
4 北陸圏	47 (1.4%)	85 (2.5%)	604 (17.9%)	1,405 (41.7%)	944 (28.0%)	244 (7.2%)	44 (1.3%)	3,373 (100.0%)	3,085 (91.5%)	244 (7.2%)	41 (1.2%)
5 中部圏	257 (4.7%)	102 (1.9%)	887 (16.3%)	2,177 (40.1%)	1,585 (29.2%)	376 (6.9%)	43 (0.8%)	5,427 (100.0%)	5,008 (92.3%)	376 (6.9%)	27 (0.5%)
6 近畿圏	111 (2.3%)	85 (1.7%)	819 (16.8%)	2,082 (42.7%)	1,417 (29.1%)	303 (6.2%)	58 (1.2%)	4,875 (100.0%)	4,514 (92.6%)	303 (6.2%)	22 (0.5%)
7 中国圏	305 (2.2%)	421 (3.0%)	2,132 (15.4%)	4,800 (34.8%)	4,598 (33.3%)	1,364 (9.9%)	187 (1.4%)	13,807 (100.0%)	12,256 (88.8%)	1,364 (9.9%)	126 (0.9%)
8 四国圏	143 (1.9%)	129 (1.7%)	1,133 (15.0%)	2,551 (33.7%)	2,547 (33.7%)	992 (13.1%)	68 (0.9%)	7,563 (100.0%)	6,503 (86.0%)	992 (13.1%)	114 (1.5%)
9 九州圏	420 (2.5%)	415 (2.5%)	3,294 (19.8%)	6,335 (38.1%)	4,617 (27.7%)	894 (5.4%)	673 (4.0%)	16,648 (100.0%)	15,081 (90.6%)	894 (5.4%)	56 (0.3%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	32 (12.5%)	139 (54.1%)	68 (26.5%)	13 (5.1%)	1 (0.4%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)	254 (98.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
合計	1,678 (2.1%)	2,016 (2.6%)	15,448 (19.7%)	31,520 (40.2%)	21,348 (27.2%)	5,087 (6.5%)	1,388 (1.8%)	78,485 (100.0%)	72,010 (91.8%)	5,087 (6.5%)	475 (0.6%)
参考: 前回調査	1,294 (1.7%)	2,983 (3.9%)	20,620 (26.9%)	30,014 (39.1%)	15,790 (20.6%)	4,052 (5.3%)	1,957 (2.6%)	76,710 (100.0%)	70,701 (92.2%)	4,052 (5.3%)	389 (0.5%)

図表2-108 地域指定別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【全体】

全体	集落人口に占める 75歳以上 の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
過疎地域	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)
振興山村	689 (2.5%)	469 (1.7%)	3,570 (13.1%)	9,818 (36.1%)	9,424 (34.6%)	2,976 (10.9%)	261 (1.0%)	27,207 (100.0%)	23,970 (88.1%)	2,976 (10.9%)	299 (1.1%)
離島	40 (1.6%)	66 (2.7%)	442 (17.9%)	919 (37.3%)	756 (30.7%)	218 (8.8%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)	2,223 (90.2%)	218 (8.8%)	16 (0.6%)
半島	175 (1.2%)	366 (2.5%)	2,718 (18.9%)	5,514 (38.3%)	4,227 (29.4%)	826 (5.7%)	561 (3.9%)	14,387 (100.0%)	13,000 (90.4%)	826 (5.7%)	57 (0.4%)
特別豪雪地帯	244 (2.0%)	446 (3.7%)	3,088 (25.6%)	5,012 (41.5%)	2,599 (21.5%)	552 (4.6%)	137 (1.1%)	12,078 (100.0%)	11,389 (94.3%)	552 (4.6%)	61 (0.5%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落について、75歳以上人口割合別でみると、75歳以上人口割合が50%以上の集落は6.8%であり、住民全員が75歳以上の集落(下表の「うち100%」欄)も430集落(0.6%)みられた。
- 地方ブロック別でみると、中国圏及び四国圏において75歳以上人口割合が30%以上の集落の割合が高く、集落人口の半数以上が75歳の集落が1割以上を占めている。一方、北海道や東北圏、沖縄県では75歳以上人口割合が比較的低い集落が占める割合が他のブロックより高くなっている。

図表2-109 地方ブロック別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
1 北海道	131 (3.5%)	142 (3.7%)	934 (24.6%)	1,402 (37.0%)	1,003 (26.5%)	146 (3.9%)	34 (0.9%)	3,792 (100.0%)	3,612 (95.3%)	146 (3.9%)	21 (0.6%)
2 東北圏	169 (1.1%)	312 (2.0%)	3,396 (21.8%)	7,605 (48.8%)	3,426 (22.0%)	540 (3.5%)	133 (0.9%)	15,581 (100.0%)	14,908 (95.7%)	540 (3.5%)	49 (0.3%)
3 首都圏	26 (0.8%)	62 (1.8%)	705 (21.0%)	1,638 (48.8%)	750 (22.3%)	139 (4.1%)	38 (1.1%)	3,358 (100.0%)	3,181 (94.7%)	139 (4.1%)	10 (0.3%)
4 北陸圏	30 (1.2%)	42 (1.7%)	409 (16.6%)	1,034 (41.9%)	762 (30.9%)	191 (7.7%)	2 (0.1%)	2,470 (100.0%)	2,277 (92.2%)	191 (7.7%)	30 (1.2%)
5 中部圏	66 (1.8%)	54 (1.5%)	547 (14.8%)	1,561 (42.3%)	1,165 (31.5%)	261 (7.1%)	39 (1.1%)	3,693 (100.0%)	3,393 (91.9%)	261 (7.1%)	20 (0.5%)
6 近畿圏	60 (1.4%)	64 (1.5%)	641 (15.3%)	1,816 (43.5%)	1,260 (30.2%)	286 (6.8%)	51 (1.2%)	4,178 (100.0%)	3,841 (91.9%)	286 (6.8%)	21 (0.5%)
7 中国圏	287 (2.2%)	395 (3.1%)	1,971 (15.3%)	4,513 (35.0%)	4,389 (34.1%)	1,304 (10.1%)	19 (0.1%)	12,878 (100.0%)	11,555 (89.7%)	1,304 (10.1%)	123 (1.0%)
8 四国圏	117 (1.6%)	122 (1.7%)	1,075 (15.2%)	2,430 (34.3%)	2,416 (34.1%)	924 (13.0%)	10 (0.1%)	7,094 (100.0%)	6,160 (86.8%)	924 (13.0%)	103 (1.5%)
9 九州圏	417 (2.7%)	348 (2.3%)	2,920 (19.2%)	5,923 (39.0%)	4,420 (29.1%)	862 (5.7%)	315 (2.1%)	15,205 (100.0%)	14,028 (92.3%)	862 (5.7%)	53 (0.3%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	32 (12.5%)	139 (54.1%)	68 (26.5%)	13 (5.1%)	1 (0.4%)	2 (0.8%)	257 (100.0%)	254 (98.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 集落類型別でみると、75歳以上人口割合が30%以上の集落の構成比は基礎集落において最も大きく、75歳以上人口割合が50%を超えている集落は基礎集落では7.7%を占めている。
- 一方、中心集落の3割近くは、75歳以上人口割合が20%未満の集落である。

図表2-110 集落類型別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める 75歳以上 の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
基礎集落	1,205 (2.2%)	1,338 (2.4%)	9,999 (17.9%)	22,132 (39.5%)	16,489 (29.5%)	4,283 (7.7%)	519 (0.9%)	55,965 (100.0%)	51,163 (91.4%)	4,283 (7.7%)	408 (0.7%)
基幹集落	35 (0.5%)	106 (1.5%)	1,422 (20.8%)	3,259 (47.6%)	1,797 (26.2%)	174 (2.5%)	56 (0.8%)	6,849 (100.0%)	6,619 (96.6%)	174 (2.5%)	5 (0.1%)
中心集落	47 (0.9%)	112 (2.2%)	1,207 (23.6%)	2,405 (47.1%)	1,163 (22.8%)	147 (2.9%)	25 (0.5%)	5,106 (100.0%)	4,934 (96.6%)	147 (2.9%)	14 (0.3%)
無回答	18 (3.1%)	17 (2.9%)	109 (18.6%)	194 (33.1%)	155 (26.5%)	50 (8.5%)	43 (7.3%)	586 (100.0%)	493 (84.1%)	50 (8.5%)	3 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 地域区別でみると、都市的地域にある集落の3割程度は75歳以上人口割合が20%未満であるのに対して、山間地の集落では75歳以上人口割合が30%以上の集落が53.6%を占めており、100%（集落住民全員が75歳以上）という集落も1.5%存在する。

図表2-111 地域区別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
山間地	402 (2.0%)	260 (1.3%)	1,981 (10.0%)	6,396 (32.2%)	7,725 (38.9%)	2,907 (14.6%)	178 (0.9%)	19,849 (100.0%)	16,764 (84.5%)	2,907 (14.6%)	291 (1.5%)
中間地	271 (1.3%)	368 (1.8%)	3,443 (16.8%)	8,987 (43.8%)	6,211 (30.3%)	1,039 (5.1%)	209 (1.0%)	20,528 (100.0%)	19,280 (93.9%)	1,039 (5.1%)	71 (0.3%)
平地	538 (2.4%)	740 (3.3%)	5,717 (25.5%)	10,104 (45.1%)	4,531 (20.2%)	585 (2.6%)	181 (0.8%)	22,396 (100.0%)	21,630 (96.6%)	585 (2.6%)	56 (0.3%)
都市的地域	77 (1.5%)	190 (3.7%)	1,515 (29.4%)	2,306 (44.8%)	954 (18.5%)	75 (1.5%)	28 (0.5%)	5,145 (100.0%)	5,042 (98.0%)	75 (1.5%)	10 (0.2%)
無回答	17 (2.9%)	15 (2.6%)	81 (13.8%)	197 (33.5%)	183 (31.1%)	48 (8.2%)	47 (8.0%)	588 (100.0%)	493 (83.8%)	48 (8.2%)	2 (0.3%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、75歳以上人口割合が30%以上の集落の構成比は、役場(本庁)から遠距離にある集落ほど大きくなっており、役場(本庁)から20km以上離れた集落では、75歳以上人口割合が50%以上を占める集落が15.0%を占めている。

図表2-112 役場(本庁)までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	518 (2.3%)	765 (3.4%)	5,975 (26.8%)	9,947 (44.6%)	4,476 (20.1%)	537 (2.4%)	79 (0.4%)	22,297 (100.0%)	21,681 (97.2%)	537 (2.4%)	45 (0.2%)
5km以上 10km未満	202 (1.3%)	332 (2.1%)	3,024 (19.0%)	7,091 (44.5%)	4,418 (27.7%)	782 (4.9%)	88 (0.6%)	15,937 (100.0%)	15,067 (94.5%)	782 (4.9%)	62 (0.4%)
10km以上 20km未満	344 (1.9%)	288 (1.6%)	2,560 (14.3%)	7,103 (39.7%)	5,841 (32.7%)	1,511 (8.5%)	232 (1.3%)	17,879 (100.0%)	16,136 (90.3%)	1,511 (8.5%)	137 (0.8%)
20km以上	234 (2.0%)	183 (1.5%)	1,117 (9.3%)	3,694 (30.8%)	4,744 (39.6%)	1,801 (15.0%)	206 (1.7%)	11,979 (100.0%)	9,972 (83.2%)	1,801 (15.0%)	184 (1.5%)
無回答	7 (1.7%)	5 (1.2%)	61 (14.7%)	155 (37.4%)	125 (30.2%)	23 (5.6%)	38 (9.2%)	414 (100.0%)	353 (85.3%)	23 (5.6%)	2 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 新幹線駅までの距離別にみると、集落人口に占める75歳以上人口割合は、新幹線駅までの距離が遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-113 新幹線駅までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	14 (1.4%)	31 (3.1%)	332 (33.0%)	459 (45.7%)	133 (13.2%)	17 (1.7%)	19 (1.9%)	1,005 (100.0%)	969 (96.4%)	17 (1.7%)	2 (0.2%)
5km以上 10km未満	28 (1.5%)	39 (2.2%)	447 (24.7%)	925 (51.1%)	320 (17.7%)	50 (2.8%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)	1,759 (97.2%)	50 (2.8%)	6 (0.3%)
10km以上 20km未満	58 (1.2%)	101 (2.1%)	1,192 (24.4%)	2,371 (48.5%)	978 (20.0%)	137 (2.8%)	54 (1.1%)	4,891 (100.0%)	4,700 (96.1%)	137 (2.8%)	5 (0.1%)
20km以上 40km未満	154 (1.2%)	248 (2.0%)	2,509 (20.2%)	5,505 (44.3%)	3,187 (25.7%)	633 (5.1%)	180 (1.4%)	12,416 (100.0%)	11,603 (93.5%)	633 (5.1%)	64 (0.5%)
40km以上 80km未満	236 (1.4%)	415 (2.4%)	2,972 (17.2%)	7,230 (41.8%)	5,133 (29.7%)	1,150 (6.7%)	156 (0.9%)	17,292 (100.0%)	15,986 (92.4%)	1,150 (6.7%)	108 (0.6%)
80km以上	422 (1.9%)	513 (2.3%)	3,722 (16.4%)	8,466 (37.3%)	7,381 (32.5%)	2,084 (9.2%)	138 (0.6%)	22,726 (100.0%)	20,504 (90.2%)	2,084 (9.2%)	202 (0.9%)
無回答	393 (4.7%)	226 (2.7%)	1,563 (18.7%)	3,034 (36.3%)	2,472 (29.5%)	583 (7.0%)	96 (1.1%)	8,367 (100.0%)	7,688 (91.9%)	583 (7.0%)	43 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 特急停車駅までの距離別にみると、新幹線駅と同様に、集落人口に占める75歳以上人口割合は、特急停車駅までの距離が遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-114 特急停車駅までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	118 (1.4%)	321 (3.7%)	2,099 (24.3%)	3,923 (45.5%)	1,888 (21.9%)	215 (2.5%)	60 (0.7%)	8,624 (100.0%)	8,349 (96.8%)	215 (2.5%)	21 (0.2%)
5km以上 10km未満	100 (1.4%)	161 (2.3%)	1,426 (20.2%)	3,272 (46.3%)	1,772 (25.1%)	329 (4.7%)	8 (0.1%)	7,068 (100.0%)	6,731 (95.2%)	329 (4.7%)	31 (0.4%)
10km以上 20km未満	202 (1.7%)	229 (1.9%)	1,985 (16.7%)	5,076 (42.6%)	3,489 (29.3%)	794 (6.7%)	136 (1.1%)	11,911 (100.0%)	10,981 (92.2%)	794 (6.7%)	71 (0.6%)
20km以上 40km未満	242 (1.4%)	345 (2.0%)	2,859 (16.6%)	6,728 (39.1%)	5,307 (30.9%)	1,410 (8.2%)	298 (1.7%)	17,189 (100.0%)	15,481 (90.1%)	1,410 (8.2%)	128 (0.7%)
40km以上 80km未満	209 (1.7%)	252 (2.1%)	2,245 (18.4%)	4,618 (37.7%)	3,786 (30.9%)	1,100 (9.0%)	24 (0.2%)	12,234 (100.0%)	11,110 (90.8%)	1,100 (9.0%)	120 (1.0%)
80km以上	51 (1.5%)	73 (2.1%)	656 (19.1%)	1,374 (40.1%)	1,004 (29.3%)	248 (7.2%)	20 (0.6%)	3,426 (100.0%)	3,158 (92.2%)	248 (7.2%)	19 (0.6%)
無回答	383 (4.8%)	192 (2.4%)	1,467 (18.2%)	2,999 (37.2%)	2,358 (29.3%)	558 (6.9%)	97 (1.2%)	8,054 (100.0%)	7,399 (91.9%)	558 (6.9%)	40 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 空港までの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める75歳以上人口割合は、空港までの距離が遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-115 空港までの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	3 (0.8%)	27 (6.9%)	132 (33.7%)	148 (37.8%)	77 (19.6%)	5 (1.3%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)	387 (98.7%)	5 (1.3%)	1 (0.3%)
5km以上 10km未満	3 (0.5%)	27 (4.5%)	189 (31.2%)	264 (43.6%)	94 (15.5%)	19 (3.1%)	9 (1.5%)	605 (100.0%)	577 (95.4%)	19 (3.1%)	2 (0.3%)
10km以上 20km未満	69 (2.4%)	102 (3.6%)	686 (23.9%)	1,263 (44.0%)	645 (22.5%)	91 (3.2%)	12 (0.4%)	2,868 (100.0%)	2,765 (96.4%)	91 (3.2%)	11 (0.4%)
20km以上 40km未満	237 (1.8%)	318 (2.4%)	2,667 (20.1%)	5,763 (43.4%)	3,539 (26.6%)	703 (5.3%)	59 (0.4%)	13,286 (100.0%)	12,524 (94.3%)	703 (5.3%)	69 (0.5%)
40km以上 80km未満	439 (1.5%)	624 (2.2%)	5,180 (18.1%)	11,688 (40.9%)	8,236 (28.8%)	2,041 (7.1%)	382 (1.3%)	28,590 (100.0%)	26,167 (91.5%)	2,041 (7.1%)	202 (0.7%)
80km以上	180 (1.2%)	318 (2.0%)	2,636 (16.9%)	6,232 (39.9%)	4,881 (31.3%)	1,271 (8.1%)	90 (0.6%)	15,608 (100.0%)	14,247 (91.3%)	1,271 (8.1%)	106 (0.7%)
無回答	374 (5.2%)	157 (2.2%)	1,247 (17.4%)	2,632 (36.8%)	2,132 (29.8%)	524 (7.3%)	91 (1.3%)	7,157 (100.0%)	6,542 (91.4%)	524 (7.3%)	39 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 高速道路等のICまでの距離別にみると、新幹線駅や特急停車駅と同様に、集落人口に占める75歳以上人口割合は、高速道路等のICまでの距離が遠いほど高くなる傾向にある。

図表2-116 高速道路等のICまでの距離別・集落人口に占める75歳以上人口割合別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合								【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答	計	50%未満	50%以上	(うち100%)
5km未満	145 (1.1%)	435 (3.4%)	3,145 (24.4%)	5,877 (45.7%)	2,851 (22.2%)	358 (2.8%)	55 (0.4%)	12,866 (100.0%)	12,453 (96.8%)	358 (2.8%)	37 (0.3%)
5km以上 10km未満	152 (1.4%)	236 (2.1%)	2,313 (20.8%)	5,190 (46.7%)	2,699 (24.3%)	450 (4.1%)	64 (0.6%)	11,104 (100.0%)	10,590 (95.4%)	450 (4.1%)	38 (0.3%)
10km以上 20km未満	252 (1.6%)	315 (2.0%)	2,680 (17.3%)	6,450 (41.7%)	4,476 (28.9%)	1,049 (6.8%)	247 (1.6%)	15,469 (100.0%)	14,173 (91.6%)	1,049 (6.8%)	115 (0.7%)
20km以上 40km未満	241 (1.7%)	249 (1.8%)	1,979 (14.2%)	5,148 (37.0%)	4,709 (33.9%)	1,398 (10.1%)	176 (1.3%)	13,900 (100.0%)	12,326 (88.7%)	1,398 (10.1%)	119 (0.9%)
40km以上 80km未満	91 (1.6%)	95 (1.7%)	869 (15.1%)	1,936 (33.7%)	2,032 (35.4%)	718 (12.5%)	7 (0.1%)	5,748 (100.0%)	5,023 (87.4%)	718 (12.5%)	69 (1.2%)
80km以上	46 (2.4%)	46 (2.4%)	390 (20.4%)	690 (36.1%)	598 (31.3%)	139 (7.3%)	0 (0.0%)	1,909 (100.0%)	1,770 (92.7%)	139 (7.3%)	12 (0.6%)
無回答	378 (5.0%)	197 (2.6%)	1,361 (18.1%)	2,699 (35.9%)	2,239 (29.8%)	542 (7.2%)	94 (1.3%)	7,510 (100.0%)	6,874 (91.5%)	542 (7.2%)	40 (0.5%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいるとされる集落の約7割は75歳以上人口割合が30%未満である。
- また、転入者はいないとされる集落では、75歳以上人口割合が50%以上の集落が約2割を占める。

図表2-117 転入者の有無別・集落人口に占める75歳以上人口割合別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落人口に占める75歳以上の割合							計	【再掲】75歳以上割合		
	0%	1～9.9%	10～19%	20～29%	30～49%	50%～	無回答		50%未満	50%以上	(うち100%)
転入者が いる	337 (1.1%)	727 (2.4%)	6,040 (20.2%)	13,113 (43.9%)	8,309 (27.8%)	1,155 (3.9%)	208 (0.7%)	29,889 (100.0%)	28,526 (95.4%)	1,155 (3.9%)	42 (0.1%)
転入者は いない	232 (4.1%)	92 (1.6%)	508 (9.0%)	1,389 (24.7%)	2,000 (35.5%)	1,361 (24.2%)	49 (0.9%)	5,631 (100.0%)	4,221 (75.0%)	1,361 (24.2%)	196 (3.5%)
分からない	718 (2.2%)	743 (2.3%)	6,146 (18.9%)	13,361 (41.2%)	9,125 (28.1%)	2,030 (6.3%)	314 (1.0%)	32,437 (100.0%)	30,093 (92.8%)	2,030 (6.3%)	183 (0.6%)
無回答	18 (3.3%)	11 (2.0%)	43 (7.8%)	127 (23.1%)	170 (31.0%)	108 (19.7%)	72 (13.1%)	549 (100.0%)	369 (67.2%)	108 (19.7%)	9 (1.6%)
合計	1,305 (1.9%)	1,573 (2.3%)	12,737 (18.6%)	27,990 (40.9%)	19,604 (28.6%)	4,654 (6.8%)	643 (0.9%)	68,506 (100.0%)	63,209 (92.3%)	4,654 (6.8%)	430 (0.6%)

⑦75歳以上人口割合の高い集落の特性

【全体】

- 75歳以上人口割合が高い集落の多くは、役場(本庁)から遠距離にある山間地の小規模な基礎集落であり、集落機能の維持が困難、もしくは低下している割合が高い。また、サポート人材が活動する集落の割合が高い。
- 75歳以上人口割合が100%(集落住民全員が75歳以上)の集落のほとんどが10人未満・10世帯未満の転入者のいない基礎集落で、約6割は集落機能の維持が困難な状況にある。

図表2-118 75歳以上人口割合の高い集落の主要特性【全体】

全体		75歳以上人口割合の区分別 集落数				
		100%	50%以上 100%未満	50%未満	無回答	計
集落 類型	基礎集落	449 (94.5%)	4,227 (91.7%)	57,571 (79.9%)	917 (66.1%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	7 (1.5%)	189 (4.1%)	7,692 (10.7%)	108 (7.8%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	14 (2.9%)	144 (3.1%)	5,672 (7.9%)	44 (3.2%)	5,874 (7.5%)
地域 区分	山間地	323 (68.0%)	2,886 (62.6%)	19,051 (26.5%)	280 (20.2%)	22,540 (28.7%)
	中間地	78 (16.4%)	1,037 (22.5%)	21,433 (29.8%)	388 (28.0%)	22,936 (29.2%)
	平地	60 (12.6%)	558 (12.1%)	23,963 (33.3%)	261 (18.8%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	10 (2.1%)	80 (1.7%)	6,375 (8.9%)	132 (9.5%)	6,597 (8.4%)
人口 規模	～9	440 (92.6%)	1,407 (30.5%)	1,984 (2.8%)	4 (0.3%)	3,835 (4.9%)
	10～24	25 (5.3%)	1,885 (40.9%)	6,947 (9.6%)	19 (1.4%)	8,876 (11.3%)
	25～49	5 (1.1%)	874 (19.0%)	12,956 (18.0%)	28 (2.0%)	13,863 (17.7%)
	50～99	5 (1.1%)	305 (6.6%)	17,566 (24.4%)	42 (3.0%)	17,918 (22.8%)
	100～199	0 (0.0%)	99 (2.1%)	15,784 (21.9%)	54 (3.9%)	15,937 (20.3%)
	200～499	0 (0.0%)	39 (0.8%)	11,663 (16.2%)	46 (3.3%)	11,748 (15.0%)
	500～999	0 (0.0%)	2 (0.0%)	3,363 (4.7%)	12 (0.9%)	3,377 (4.3%)
	1000～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1,747 (2.4%)	15 (1.1%)	1,763 (2.2%)
世帯 数規模	～9	435 (91.6%)	2,303 (49.9%)	6,231 (8.7%)	38 (2.7%)	9,007 (11.5%)
	10～19	16 (3.4%)	1,339 (29.0%)	11,903 (16.5%)	75 (5.4%)	13,333 (17.0%)
	20～29	12 (2.5%)	424 (9.2%)	10,116 (14.0%)	76 (5.5%)	10,628 (13.5%)
	30～49	3 (0.6%)	242 (5.2%)	13,496 (18.7%)	94 (6.8%)	13,835 (17.6%)
	50～99	4 (0.8%)	181 (3.9%)	14,769 (20.5%)	141 (10.2%)	15,095 (19.2%)
	100～199	0 (0.0%)	82 (1.8%)	8,824 (12.3%)	69 (5.0%)	8,975 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	14 (0.3%)	4,724 (6.6%)	50 (3.6%)	4,788 (6.1%)
	500～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1,592 (2.2%)	16 (1.2%)	1,609 (2.1%)
転入 者	転入者がいる	42 (8.8%)	1,187 (25.7%)	32,030 (44.5%)	316 (22.8%)	33,575 (42.8%)
	転入者はいない	214 (45.1%)	1,228 (26.6%)	4,466 (6.2%)	94 (6.8%)	6,002 (7.6%)
サポ ート 人材	サポート人材あり	251 (52.8%)	2,364 (51.3%)	29,509 (41.0%)	651 (46.9%)	32,775 (41.8%)
	集落支援員	183 (38.5%)	1,643 (35.6%)	20,310 (28.2%)	489 (35.2%)	22,625 (28.8%)
	地域おこし協力隊	141 (29.7%)	1,289 (27.9%)	15,586 (21.6%)	235 (16.9%)	17,251 (22.0%)
	その他	7 (1.5%)	90 (2.0%)	1,300 (1.8%)	2 (0.1%)	1,399 (1.8%)
	サポート人材なし	224 (47.2%)	2,248 (48.7%)	42,501 (59.0%)	737 (53.1%)	45,710 (58.2%)
集落 機能	良好	100 (21.1%)	1,810 (39.2%)	56,947 (79.1%)	650 (46.8%)	59,507 (75.8%)
	機能低下	104 (21.9%)	1,842 (39.9%)	12,981 (18.0%)	214 (15.4%)	15,141 (19.3%)
	機能維持困難	265 (55.8%)	925 (20.1%)	1,711 (2.4%)	35 (2.5%)	2,936 (3.7%)
本 庁 ま で の 距 離	5 ^{キロ} 未満	48 (10.1%)	516 (11.2%)	24,878 (34.5%)	443 (31.9%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	67 (14.1%)	771 (16.7%)	17,127 (23.8%)	155 (11.2%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	160 (33.7%)	1,498 (32.5%)	18,065 (25.1%)	325 (23.4%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	198 (41.7%)	1,803 (39.1%)	11,368 (15.8%)	265 (19.1%)	13,634 (17.4%)
地 形	地形的末端である	145 (30.5%)	760 (16.5%)	3,580 (5.0%)	74 (5.3%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	330 (69.5%)	3,852 (83.5%)	68,430 (95.0%)	1,314 (94.7%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		475 (100.0%)	4,612 (100.0%)	72,010 (100.0%)	1,388 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における 75 歳以上人口割合が高い集落の特性をみると、条件不利地域全体の傾向と同様、役場(本庁)から遠距離にある山間地の小規模な基礎集落が多く、集落機能が低下する傾向がある。一方で、サポート人材が活動する集落の割合が高い。
- 75 歳以上人口割合が 100% (集落住民全員が 75 歳以上)の集落のほとんどが 10 人未満・10 世帯未満の転入者のいない基礎集落で、約6割が集落機能の維持が困難な状況にある。

図表2-119 75 歳以上人口割合の高い集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域		75歳以上人口割合の区分別 集落数				
		100%	50%以上 100%未満	50%未満	無回答	計
集落 類型	基礎集落	408 (94.9%)	3,875 (91.7%)	51,163 (80.9%)	519 (80.7%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	5 (1.2%)	169 (4.0%)	6,619 (10.5%)	56 (8.7%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	14 (3.3%)	133 (3.1%)	4,934 (7.8%)	25 (3.9%)	5,106 (7.5%)
地域 区分	山間地	291 (67.7%)	2,616 (61.9%)	16,764 (26.5%)	178 (27.7%)	19,849 (29.0%)
	中間地	71 (16.5%)	968 (22.9%)	19,280 (30.5%)	209 (32.5%)	20,528 (30.0%)
	平地	56 (13.0%)	529 (12.5%)	21,630 (34.2%)	181 (28.1%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	10 (2.3%)	65 (1.5%)	5,042 (8.0%)	28 (4.4%)	5,145 (7.5%)
人口 規模	～9	399 (92.8%)	1,291 (30.6%)	1,780 (2.8%)	4 (0.6%)	3,474 (5.1%)
	10～24	21 (4.9%)	1,749 (41.4%)	6,454 (10.2%)	12 (1.9%)	8,236 (12.0%)
	25～49	5 (1.2%)	781 (18.5%)	12,039 (19.0%)	23 (3.6%)	12,848 (18.8%)
	50～99	5 (1.2%)	277 (6.6%)	15,999 (25.3%)	28 (4.4%)	16,309 (23.8%)
	100～199	0 (0.0%)	88 (2.1%)	13,940 (22.1%)	41 (6.4%)	14,069 (20.5%)
	200～499	0 (0.0%)	36 (0.9%)	9,593 (15.2%)	31 (4.8%)	9,660 (14.1%)
	500～999	0 (0.0%)	1 (0.0%)	2,419 (3.8%)	10 (1.6%)	2,430 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	985 (1.6%)	13 (2.0%)	999 (1.5%)
世帯 数規模	～9	394 (91.6%)	2,133 (50.5%)	5,729 (9.1%)	15 (2.3%)	8,271 (12.1%)
	10～19	13 (3.0%)	1,218 (28.8%)	11,046 (17.5%)	30 (4.7%)	12,307 (18.0%)
	20～29	11 (2.6%)	381 (9.0%)	9,247 (14.6%)	30 (4.7%)	9,669 (14.1%)
	30～49	3 (0.7%)	216 (5.1%)	12,229 (19.3%)	42 (6.5%)	12,490 (18.2%)
	50～99	4 (0.9%)	164 (3.9%)	12,990 (20.6%)	83 (12.9%)	13,241 (19.3%)
	100～199	0 (0.0%)	75 (1.8%)	7,298 (11.5%)	41 (6.4%)	7,414 (10.8%)
	200～499	0 (0.0%)	11 (0.3%)	3,483 (5.5%)	28 (4.4%)	3,522 (5.1%)
	500～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	931 (1.5%)	12 (1.9%)	944 (1.4%)
転入 者	転入者がいる	42 (9.8%)	1,113 (26.3%)	28,526 (45.1%)	208 (32.3%)	29,889 (43.6%)
	転入者はいない	196 (45.6%)	1,165 (27.6%)	4,221 (6.7%)	49 (7.6%)	5,631 (8.2%)
サポ ート 人材	サポート人材あり	239 (55.6%)	2,200 (52.1%)	26,651 (42.2%)	283 (44.0%)	29,373 (42.9%)
	集落支援員	177 (41.2%)	1,567 (37.1%)	18,682 (29.6%)	243 (37.8%)	20,669 (30.2%)
	地域おこし協力隊	132 (30.7%)	1,178 (27.9%)	13,800 (21.8%)	88 (13.7%)	15,198 (22.2%)
	その他	7 (1.6%)	90 (2.1%)	1,233 (2.0%)	2 (0.3%)	1,332 (1.9%)
	サポート人材なし	191 (44.4%)	2,024 (47.9%)	36,558 (57.8%)	360 (56.0%)	39,133 (57.1%)
集落 機能	良好	90 (20.9%)	1,686 (39.9%)	50,104 (79.3%)	427 (66.4%)	52,307 (76.4%)
	機能低下	96 (22.3%)	1,654 (39.2%)	11,314 (17.9%)	153 (23.8%)	13,217 (19.3%)
	機能維持困難	238 (55.3%)	854 (20.2%)	1,542 (2.4%)	19 (3.0%)	2,653 (3.9%)
本庁 距離 までの	5 ^{キロ} 未満	45 (10.5%)	492 (11.6%)	21,681 (34.3%)	79 (12.3%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	62 (14.4%)	720 (17.0%)	15,067 (23.8%)	88 (13.7%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	137 (31.9%)	1,374 (32.5%)	16,136 (25.5%)	232 (36.1%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	184 (42.8%)	1,617 (38.3%)	9,972 (15.8%)	206 (32.0%)	11,979 (17.5%)
地形	地形的末端である	127 (29.5%)	681 (16.1%)	3,089 (4.9%)	27 (4.2%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	303 (70.5%)	3,543 (83.9%)	60,120 (95.1%)	616 (95.8%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		430 (100.0%)	4,224 (100.0%)	63,209 (100.0%)	643 (100.0%)	68,506 (100.0%)

(5) 近年の転入の状況

① 転入の有無別 集落数

【全体】

- 平成 31 年以降の転入状況をみると、42.8%の集落で近年転入してきた者がいるとされている。
- 地域指定別でみると、振興山村地域では転入者はいないとされる集落の割合が最も高くなっている。

図表2-120 転入者の有無別 集落数 【全体】

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	
1 北海道	1,941 (48.0%)	254 (6.3%)	1,801 (44.5%)	48 (1.2%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	6,305 (34.2%)	860 (4.7%)	11,262 (61.1%)	7 (0.0%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	1,818 (44.8%)	159 (3.9%)	2,049 (50.5%)	31 (0.8%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	1,634 (48.4%)	236 (7.0%)	1,498 (44.4%)	5 (0.1%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	2,752 (50.7%)	416 (7.7%)	2,243 (41.3%)	16 (0.3%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	2,467 (50.6%)	358 (7.3%)	2,002 (41.1%)	48 (1.0%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	5,543 (40.1%)	1,280 (9.3%)	6,612 (47.9%)	372 (2.7%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	2,771 (36.6%)	1,294 (17.1%)	3,493 (46.2%)	5 (0.1%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	8,137 (48.9%)	1,141 (6.9%)	7,046 (42.3%)	324 (1.9%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	207 (80.5%)	4 (1.6%)	38 (14.8%)	8 (3.1%)	257 (100.0%)
合計	33,575 (42.8%)	6,002 (7.6%)	38,044 (48.5%)	864 (1.1%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	30,276 (39.5%)	6,156 (8.0%)	38,034 (49.6%)	2,244 (2.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-121 地域指定別・転入者の有無別 集落数 【全体】

全体	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	
過疎地域	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)
振興山村	11,634 (42.8%)	3,254 (12.0%)	12,030 (44.2%)	289 (1.1%)	27,207 (100.0%)
離島	1,168 (47.4%)	103 (4.2%)	1,186 (48.1%)	8 (0.3%)	2,465 (100.0%)
半島	6,774 (47.1%)	779 (5.4%)	6,737 (46.8%)	97 (0.7%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	3,949 (32.7%)	687 (5.7%)	7,423 (61.5%)	19 (0.2%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の43.6%には近年転入してきた者がいるとされている。
- 地方ブロック別でみると、転入者がいる集落の割合は、中部圏、近畿圏、沖縄県で高くなっている。

図表2-122 地方ブロック別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者が いる	転入者は いない	わからない	無回答	
1 北海道	1,766 (46.6%)	246 (6.5%)	1,736 (45.8%)	44 (1.2%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	5,527 (35.5%)	813 (5.2%)	9,234 (59.3%)	7 (0.0%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	1,488 (44.3%)	155 (4.6%)	1,709 (50.9%)	6 (0.2%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	1,137 (46.0%)	187 (7.6%)	1,142 (46.2%)	4 (0.2%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	2,231 (60.4%)	361 (9.8%)	1,087 (29.4%)	14 (0.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	2,138 (51.2%)	328 (7.9%)	1,664 (39.8%)	48 (1.1%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	5,399 (41.9%)	1,273 (9.9%)	5,834 (45.3%)	372 (2.9%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	2,610 (36.8%)	1,156 (16.3%)	3,328 (46.9%)	0 (0.0%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	7,386 (48.6%)	1,108 (7.3%)	6,665 (43.8%)	46 (0.3%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	207 (80.5%)	4 (1.6%)	38 (14.8%)	8 (3.1%)	257 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、転入者がいるとされる集落の割合は基幹集落で最も高くなっているが、基礎集落や中心集落との間で大きな差はみられない。

図表2-123 集落類型別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
基礎集落	24,247 (43.3%)	5,181 (9.3%)	26,131 (46.7%)	406 (0.7%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	3,348 (48.9%)	282 (4.1%)	3,204 (46.8%)	15 (0.2%)	6,849 (100.0%)
中心集落	2,097 (41.1%)	95 (1.9%)	2,893 (56.7%)	21 (0.4%)	5,106 (100.0%)
無回答	197 (33.6%)	73 (12.5%)	209 (35.7%)	107 (18.3%)	586 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、転入者がいるとされる集落の割合は、都市的地域の集落において 46.1%と最も高くなっており、平地や中山間地の集落でも4割を超えている。

図表2-124 地域区分別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
山間地	8,217 (41.4%)	2,835 (14.3%)	8,529 (43.0%)	268 (1.4%)	19,849 (100.0%)
中間地	9,054 (44.1%)	1,425 (6.9%)	9,917 (48.3%)	132 (0.6%)	20,528 (100.0%)
平地	10,111 (45.1%)	1,131 (5.1%)	11,086 (49.5%)	68 (0.3%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	2,372 (46.1%)	192 (3.7%)	2,545 (49.5%)	36 (0.7%)	5,145 (100.0%)
無回答	135 (23.0%)	48 (8.2%)	360 (61.2%)	45 (7.7%)	588 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、1,000人以上の集落では転入者がいるとされる集落の割合が64.1%と最も高くなっている。
- 一方、人口9人以下の小規模集落においても約1割で近年転入がみられている。

図表2-125 集落の人口規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9人	519 (14.9%)	1,314 (37.8%)	1,545 (44.5%)	96 (2.8%)	3,474 (100.0%)
10～24人	2,501 (30.4%)	1,798 (21.8%)	3,755 (45.6%)	182 (2.2%)	8,236 (100.0%)
25～49人	5,129 (39.9%)	1,437 (11.2%)	6,208 (48.3%)	74 (0.6%)	12,848 (100.0%)
50～99人	7,516 (46.1%)	684 (4.2%)	8,062 (49.4%)	47 (0.3%)	16,309 (100.0%)
100～199人	6,934 (49.3%)	241 (1.7%)	6,849 (48.7%)	45 (0.3%)	14,069 (100.0%)
200～499人	5,109 (52.9%)	91 (0.9%)	4,431 (45.9%)	29 (0.3%)	9,660 (100.0%)
500～999人	1,390 (57.2%)	17 (0.7%)	1,019 (41.9%)	4 (0.2%)	2,430 (100.0%)
1000人～	640 (64.1%)	6 (0.6%)	353 (35.3%)	0 (0.0%)	999 (100.0%)
無回答	151 (31.4%)	43 (8.9%)	215 (44.7%)	72 (15.0%)	481 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、500世帯以上の集落では、転入者がいるとされる集落の割合が64.3%と最も高くなっている。
- 一方、世帯数が9世帯以下の集落においても、21.5%の集落で近年転入がみられている。

図表2-126 集落の世帯数規模別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
～9世帯	1,779 (21.5%)	2,455 (29.7%)	3,824 (46.2%)	213 (2.6%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	4,478 (36.4%)	1,737 (14.1%)	5,973 (48.5%)	119 (1.0%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	4,181 (43.2%)	648 (6.7%)	4,800 (49.6%)	40 (0.4%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	5,931 (47.5%)	382 (3.1%)	6,146 (49.2%)	31 (0.2%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	6,677 (50.4%)	222 (1.7%)	6,297 (47.6%)	45 (0.3%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	3,977 (53.6%)	70 (0.9%)	3,346 (45.1%)	21 (0.3%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	2,026 (57.5%)	27 (0.8%)	1,459 (41.4%)	10 (0.3%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	607 (64.3%)	7 (0.7%)	330 (35.0%)	0 (0.0%)	944 (100.0%)
無回答	233 (36.0%)	83 (12.8%)	262 (40.4%)	70 (10.8%)	648 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者(65歳以上人口)の割合別で見ると、高齢者割合が低いほど転入者がいるとされる集落の割合は高く、高齢者割合が50%未満の集落では半数近くの集落で近年転入がみられるとされている。
- 一方、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落においても、162集落(12.1%)で転入者がいるとされている。

図表2-127 65歳以上人口割合別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
50%未満	18,397 (47.4%)	1,643 (4.2%)	18,666 (48.1%)	139 (0.4%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	10,184 (41.9%)	2,501 (10.3%)	11,436 (47.0%)	212 (0.9%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	938 (28.1%)	901 (26.9%)	1,426 (42.6%)	79 (2.4%)	3,344 (100.0%)
100%	162 (12.1%)	537 (40.0%)	595 (44.4%)	47 (3.5%)	1,341 (100.0%)
無回答	208 (32.3%)	49 (7.6%)	314 (48.8%)	72 (11.2%)	643 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別で見ると、役場(本庁)から5km未満の集落では、近年転入がみられる集落の割合が50.4%と最も高くなっている。
- 一方、役場(本庁)から20km以上と遠距離にある集落においても、30.5%の集落では転入者がいるとされている。

図表2-128 役場(本庁)までの距離別・転入者の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	11,244 (50.4%)	965 (4.3%)	9,957 (44.7%)	131 (0.6%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	7,292 (45.8%)	1,323 (8.3%)	7,234 (45.4%)	88 (0.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	7,497 (41.9%)	1,844 (10.3%)	8,369 (46.8%)	169 (0.9%)	17,879 (100.0%)
20km以上	3,652 (30.5%)	1,475 (12.3%)	6,694 (55.9%)	158 (1.3%)	11,979 (100.0%)
無回答	204 (49.3%)	24 (5.8%)	183 (44.2%)	3 (0.7%)	414 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別で見ると、新幹線駅まで 10km 以上 20km 未満の集落で転入者がいるとされる集落の割合が 52.6%と最も高くなっているが、他の距離帯でも4割以上の集落で転入者がいるとされており、それ程の差はない。

図表2-129 新幹線駅までの距離別・転入者の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	500 (49.8%)	22 (2.2%)	483 (48.1%)	0 (0.0%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	850 (47.0%)	86 (4.8%)	873 (48.3%)	0 (0.0%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,575 (52.6%)	282 (5.8%)	2,033 (41.6%)	1 (0.0%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	5,813 (46.8%)	670 (5.4%)	5,828 (46.9%)	105 (0.8%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	7,224 (41.8%)	1,340 (7.7%)	8,506 (49.2%)	222 (1.3%)	17,292 (100.0%)
80km以上	9,501 (41.8%)	2,224 (9.8%)	10,886 (47.9%)	115 (0.5%)	22,726 (100.0%)
無回答	3,426 (40.9%)	1,007 (12.0%)	3,828 (45.8%)	106 (1.3%)	8,367 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別で見ると、特急停車駅まで 40km 以上 80km 未満の集落で転入者がいるとされる集落の割合が 47.2%と最も高くなっているが、他の距離帯でも4割以上の集落で転入者がいるとされており、それ程の差はない。

図表2-130 特急停車駅までの距離別・転入者の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	3,477 (40.3%)	407 (4.7%)	4,712 (54.6%)	28 (0.3%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	3,050 (43.2%)	527 (7.5%)	3,435 (48.6%)	56 (0.8%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	5,108 (42.9%)	979 (8.2%)	5,679 (47.7%)	145 (1.2%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	7,633 (44.4%)	1,474 (8.6%)	7,864 (45.8%)	218 (1.3%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	5,779 (47.2%)	1,087 (8.9%)	5,328 (43.6%)	40 (0.3%)	12,234 (100.0%)
80km以上	1,467 (42.8%)	182 (5.3%)	1,775 (51.8%)	2 (0.1%)	3,426 (100.0%)
無回答	3,375 (41.9%)	975 (12.1%)	3,644 (45.2%)	60 (0.7%)	8,054 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別で見ると、転入者がいるとされる集落の割合は、空港までの距離が近い集落ほど高い傾向にある。

図表2-131 空港までの距離別・転入者の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	237 (60.5%)	9 (2.3%)	146 (37.2%)	0 (0.0%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	344 (56.9%)	32 (5.3%)	229 (37.9%)	0 (0.0%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,328 (46.3%)	202 (7.0%)	1,338 (46.7%)	0 (0.0%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	5,651 (42.5%)	902 (6.8%)	6,657 (50.1%)	76 (0.6%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	13,021 (45.5%)	2,331 (8.2%)	12,893 (45.1%)	345 (1.2%)	28,590 (100.0%)
80km以上	6,414 (41.1%)	1,215 (7.8%)	7,951 (50.9%)	28 (0.2%)	15,608 (100.0%)
無回答	2,894 (40.4%)	940 (13.1%)	3,223 (45.0%)	100 (1.4%)	7,157 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別で見ると、高速道路等のICまで 20km 以上 40km 未満の集落で転入者がいるとされる集落の割合が 48.0%と最も高くなっているが、他の距離帯でも4割程度の集落で転入者がいるとされており、それ程明確な傾向はない。

図表2-132 高速道路等の IC までの距離別・転入者の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入者の有無別 集落数				計
	転入者がいる	転入者がいない	わからない	無回答	
5km未満	5,312 (41.3%)	599 (4.7%)	6,951 (54.0%)	4 (0.0%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	4,593 (41.4%)	648 (5.8%)	5,838 (52.6%)	25 (0.2%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	6,948 (44.9%)	1,212 (7.8%)	7,225 (46.7%)	84 (0.5%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	6,667 (48.0%)	1,347 (9.7%)	5,672 (40.8%)	214 (1.5%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,268 (39.5%)	727 (12.6%)	2,647 (46.1%)	106 (1.8%)	5,748 (100.0%)
80km以上	914 (47.9%)	134 (7.0%)	845 (44.3%)	16 (0.8%)	1,909 (100.0%)
無回答	3,187 (42.4%)	964 (12.8%)	3,259 (43.4%)	100 (1.3%)	7,510 (100.0%)
合計	29,889 (43.6%)	5,631 (8.2%)	32,437 (47.3%)	549 (0.8%)	68,506 (100.0%)

②近年転入がみられる集落の特性

【全体】

- 転入者がいるとされる集落の特性をみると、約8割は基礎集落であり、地域的には山間地から平地にかけて広く転入がみられる。また人口規模が100人以上、世帯規模が50世帯以上の集落が半数程度を占めているが、2割程度は人口規模が50人未満、世帯規模が20世帯未満の比較的小規模な集落であり、高齢化率が比較的低い(50%未満)集落である。

図表2-133 近年転入がみられる集落の主要特性【全体】

全体		転入者の有無別 集落数				
		転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	計
集落 類型	基礎集落	27,034 (80.5%)	5,504 (91.7%)	30,191 (79.4%)	435 (50.3%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	3,778 (11.3%)	308 (5.1%)	3,888 (10.2%)	22 (2.5%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	2,566 (7.6%)	117 (1.9%)	3,170 (8.3%)	21 (2.4%)	5,874 (7.5%)
地域 区分	山間地	9,192 (27.4%)	3,076 (51.2%)	9,984 (26.2%)	288 (33.3%)	22,540 (28.7%)
	中間地	10,104 (30.1%)	1,501 (25.0%)	11,185 (29.4%)	146 (16.9%)	22,936 (29.2%)
	平地	11,211 (33.4%)	1,159 (19.3%)	12,400 (32.6%)	72 (8.3%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	2,824 (8.4%)	210 (3.5%)	3,526 (9.3%)	37 (4.3%)	6,597 (8.4%)
人口 規模	～9	556 (1.7%)	1,417 (23.6%)	1,755 (4.6%)	107 (12.4%)	3,835 (4.9%)
	10～24	2,620 (7.8%)	1,877 (31.3%)	4,188 (11.0%)	191 (22.1%)	8,876 (11.3%)
	25～49	5,434 (16.2%)	1,519 (25.3%)	6,828 (17.9%)	82 (9.5%)	13,863 (17.7%)
	50～99	8,246 (24.6%)	719 (12.0%)	8,901 (23.4%)	52 (6.0%)	17,918 (22.8%)
	100～199	7,868 (23.4%)	259 (4.3%)	7,763 (20.4%)	47 (5.4%)	15,937 (20.3%)
	200～499	5,956 (17.7%)	107 (1.8%)	5,655 (14.9%)	30 (3.5%)	11,748 (15.0%)
	500～999	1,733 (5.2%)	18 (0.3%)	1,621 (4.3%)	5 (0.6%)	3,377 (4.3%)
	1000～	938 (2.8%)	6 (0.1%)	819 (2.2%)	0 (0.0%)	1,763 (2.2%)
世帯 数規模	～9	1,865 (5.6%)	2,609 (43.5%)	4,302 (11.3%)	231 (26.7%)	9,007 (11.5%)
	10～19	4,765 (14.2%)	1,831 (30.5%)	6,610 (17.4%)	127 (14.7%)	13,333 (17.0%)
	20～29	4,569 (13.6%)	688 (11.5%)	5,328 (14.0%)	43 (5.0%)	10,628 (13.5%)
	30～49	6,566 (19.6%)	398 (6.6%)	6,836 (18.0%)	35 (4.1%)	13,835 (17.6%)
	50～99	7,587 (22.6%)	239 (4.0%)	7,222 (19.0%)	47 (5.4%)	15,095 (19.2%)
	100～199	4,596 (13.7%)	80 (1.3%)	4,277 (11.2%)	22 (2.5%)	8,975 (11.4%)
	200～499	2,489 (7.4%)	30 (0.5%)	2,258 (5.9%)	11 (1.3%)	4,788 (6.1%)
	500～	880 (2.6%)	7 (0.1%)	722 (1.9%)	0 (0.0%)	1,609 (2.1%)
65 歳 以上 割合	100%	170 (0.5%)	582 (9.7%)	655 (1.7%)	51 (5.9%)	1,458 (1.9%)
	75%以上100%未満	988 (2.9%)	941 (15.7%)	1,616 (4.2%)	87 (10.1%)	3,632 (4.6%)
	50%以上75%未満	10,969 (32.7%)	2,618 (43.6%)	12,613 (33.2%)	225 (26.0%)	26,425 (33.7%)
	25%以上50%未満	19,464 (58.0%)	1,577 (26.3%)	20,276 (53.3%)	136 (15.7%)	41,453 (52.8%)
	25%未満	1,668 (5.0%)	190 (3.2%)	2,256 (5.9%)	15 (1.7%)	4,129 (5.3%)
75 歳 以上	100%	42 (0.1%)	214 (3.6%)	208 (0.5%)	11 (1.3%)	475 (0.6%)
	50%以上100%未満	1,187 (3.5%)	1,228 (20.5%)	2,089 (5.5%)	108 (12.5%)	4,612 (5.9%)
	50%未満	32,030 (95.4%)	4,466 (74.4%)	35,119 (92.3%)	395 (45.7%)	72,010 (91.8%)
本 庁 ま で の 距 離	5 ^{キロ} 未満	12,706 (37.8%)	1,017 (16.9%)	11,741 (30.9%)	421 (48.7%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	8,268 (24.6%)	1,390 (23.2%)	8,357 (22.0%)	105 (12.2%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	8,333 (24.8%)	1,978 (33.0%)	9,565 (25.1%)	172 (19.9%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	4,049 (12.1%)	1,593 (26.5%)	7,832 (20.6%)	160 (18.5%)	13,634 (17.4%)
地 形	地形的末端である	1,555 (4.6%)	786 (13.1%)	2,153 (5.7%)	65 (7.5%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	32,020 (95.4%)	5,216 (86.9%)	35,891 (94.3%)	799 (92.5%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		33,575 (100.0%)	6,002 (100.0%)	38,044 (100.0%)	864 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の中で、転入者がいるとされる集落の特性をみると、高齢者割合が50%未満の集落の構成比が全体構成より高い。

図表2-134 近年転入がみられる集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域		転入者の有無別 集落数				計
		転入者がいる	転入者はいない	わからない	無回答	
集落類型	基礎集落	24,247 (81.1%)	5,181 (92.0%)	26,131 (80.6%)	406 (74.0%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	3,348 (11.2%)	282 (5.0%)	3,204 (9.9%)	15 (2.7%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	2,097 (7.0%)	95 (1.7%)	2,893 (8.9%)	21 (3.8%)	5,106 (7.5%)
地域区分	山間地	8,217 (27.5%)	2,835 (50.3%)	8,529 (26.3%)	268 (48.8%)	19,849 (29.0%)
	中間地	9,054 (30.3%)	1,425 (25.3%)	9,917 (30.6%)	132 (24.0%)	20,528 (30.0%)
	平地	10,111 (33.8%)	1,131 (20.1%)	11,086 (34.2%)	68 (12.4%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	2,372 (7.9%)	192 (3.4%)	2,545 (7.8%)	36 (6.6%)	5,145 (7.5%)
人口規模	～9	519 (1.7%)	1,314 (23.3%)	1,545 (4.8%)	96 (17.5%)	3,474 (5.1%)
	10～24	2,501 (8.4%)	1,798 (31.9%)	3,755 (11.6%)	182 (33.2%)	8,236 (12.0%)
	25～49	5,129 (17.2%)	1,437 (25.5%)	6,208 (19.1%)	74 (13.5%)	12,848 (18.8%)
	50～99	7,516 (25.1%)	684 (12.1%)	8,062 (24.9%)	47 (8.6%)	16,309 (23.8%)
	100～199	6,934 (23.2%)	241 (4.3%)	6,849 (21.1%)	45 (8.2%)	14,069 (20.5%)
	200～499	5,109 (17.1%)	91 (1.6%)	4,431 (13.7%)	29 (5.3%)	9,660 (14.1%)
	500～999	1,390 (4.7%)	17 (0.3%)	1,019 (3.1%)	4 (0.7%)	2,430 (3.5%)
	1000～	640 (2.1%)	6 (0.1%)	353 (1.1%)	0 (0.0%)	999 (1.5%)
世帯数規模	～9	1,779 (6.0%)	2,455 (43.6%)	3,824 (11.8%)	213 (38.8%)	8,271 (12.1%)
	10～19	4,478 (15.0%)	1,737 (30.8%)	5,973 (18.4%)	119 (21.7%)	12,307 (18.0%)
	20～29	4,181 (14.0%)	648 (11.5%)	4,800 (14.8%)	40 (7.3%)	9,669 (14.1%)
	30～49	5,931 (19.8%)	382 (6.8%)	6,146 (18.9%)	31 (5.6%)	12,490 (18.2%)
	50～99	6,677 (22.3%)	222 (3.9%)	6,297 (19.4%)	45 (8.2%)	13,241 (19.3%)
	100～199	3,977 (13.3%)	70 (1.2%)	3,346 (10.3%)	21 (3.8%)	7,414 (10.8%)
	200～499	2,026 (6.8%)	27 (0.5%)	1,459 (4.5%)	10 (1.8%)	3,522 (5.1%)
	500～	607 (2.0%)	7 (0.1%)	330 (1.0%)	0 (0.0%)	944 (1.4%)
65歳以上割合	100%	162 (0.5%)	537 (9.5%)	595 (1.8%)	47 (8.6%)	1,341 (2.0%)
	75%以上100%未満	938 (3.1%)	901 (16.0%)	1,426 (4.4%)	79 (14.4%)	3,344 (4.9%)
	50%以上75%未満	10,184 (34.1%)	2,501 (44.4%)	11,436 (35.3%)	212 (38.6%)	24,333 (35.5%)
	25%以上50%未満	17,045 (57.0%)	1,471 (26.1%)	17,118 (52.8%)	125 (22.8%)	35,759 (52.2%)
	25%未満	1,352 (4.5%)	172 (3.1%)	1,548 (4.8%)	14 (2.6%)	3,086 (4.5%)
75歳以上	100%	42 (0.1%)	196 (3.5%)	183 (0.6%)	9 (1.6%)	430 (0.6%)
	50%以上100%未満	1,113 (3.7%)	1,165 (20.7%)	1,847 (5.7%)	99 (18.0%)	4,224 (6.2%)
	50%未満	28,526 (95.4%)	4,221 (75.0%)	30,093 (92.8%)	369 (67.2%)	63,209 (92.3%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	11,244 (37.6%)	965 (17.1%)	9,957 (30.7%)	131 (23.9%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	7,292 (24.4%)	1,323 (23.5%)	7,234 (22.3%)	88 (16.0%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	7,497 (25.1%)	1,844 (32.7%)	8,369 (25.8%)	169 (30.8%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	3,652 (12.2%)	1,475 (26.2%)	6,694 (20.6%)	158 (28.8%)	11,979 (17.5%)
地形	地形的末端である	1,321 (4.4%)	698 (12.4%)	1,856 (5.7%)	49 (8.9%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	28,568 (95.6%)	4,933 (87.6%)	30,581 (94.3%)	500 (91.1%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		29,889 (100.0%)	5,631 (100.0%)	32,437 (100.0%)	549 (100.0%)	68,506 (100.0%)

③子育て世帯の転入の有無別 集落数

【全体】

- 平成 31 年以降に転入してきた世帯のうち、子育て世帯（高校生までの子どもがいる世帯）の転入についてみると、全体の 20.4%の集落では近年子育て世帯の転入があるとされている。
- 地域指定別でみると、子育て世帯の転入がみられる集落の割合は半島地域が 27.1%と最も高くなっている。

図表2-135 子育て世帯の転入の有無別 集落数 【全体】

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	31 (0.8%)	5 (0.1%)	4,008 (99.1%)	0 (0.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	3,170 (17.2%)	3,067 (16.6%)	11,425 (62.0%)	772 (4.2%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	1,154 (28.4%)	720 (17.7%)	2,126 (52.4%)	57 (1.4%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	918 (27.2%)	776 (23.0%)	1,674 (49.6%)	5 (0.1%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	1,430 (26.3%)	1,284 (23.7%)	2,470 (45.5%)	243 (4.5%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	1,388 (28.5%)	1,213 (24.9%)	2,167 (44.5%)	107 (2.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	1,845 (13.4%)	2,729 (19.8%)	8,395 (60.8%)	838 (6.1%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	1,330 (17.6%)	2,460 (32.5%)	3,500 (46.3%)	273 (3.6%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	4,700 (28.2%)	4,068 (24.4%)	6,900 (41.4%)	980 (5.9%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	59 (23.0%)	10 (3.9%)	180 (70.0%)	8 (3.1%)	257 (100.0%)
合計	16,025 (20.4%)	16,332 (20.8%)	42,845 (54.6%)	3,283 (4.2%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	16,929 (22.1%)	15,296 (19.9%)	38,891 (50.7%)	5,594 (7.3%)	76,710 (100.0%)

図表2-136 地域指定別・子育て世帯の転入の有無別 集落数 【全体】

全体	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
過疎地域	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)
振興山村	4,703 (17.3%)	7,448 (27.4%)	13,759 (50.6%)	1,297 (4.8%)	27,207 (100.0%)
離島	538 (21.8%)	486 (19.7%)	1,417 (57.5%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)
半島	3,904 (27.1%)	2,885 (20.1%)	7,234 (50.3%)	364 (2.5%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	1,518 (12.6%)	1,363 (11.3%)	8,895 (73.6%)	302 (2.5%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における子育て世帯の転入の有無をみると、全体の 20.4%の集落では近年子育て世帯の転入があるとされている。
- 地方ブロック別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、九州圏で25%を超えており、特に中部圏では31.6%と高くなっている。

図表2-137 地方ブロック別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
1 北海道	31 (0.8%)	5 (0.1%)	3,756 (99.1%)	0 (0.0%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	2,797 (18.0%)	2,861 (18.4%)	9,169 (58.8%)	754 (4.8%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	936 (27.9%)	651 (19.4%)	1,742 (51.9%)	29 (0.9%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	688 (27.9%)	634 (25.7%)	1,143 (46.3%)	5 (0.2%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	1,168 (31.6%)	1,114 (30.2%)	1,262 (34.2%)	149 (4.0%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	1,188 (28.4%)	1,070 (25.6%)	1,813 (43.4%)	107 (2.6%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	1,744 (13.5%)	2,687 (20.9%)	7,661 (59.5%)	786 (6.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	1,233 (17.4%)	2,252 (31.7%)	3,349 (47.2%)	260 (3.7%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	4,158 (27.3%)	3,921 (25.8%)	6,424 (42.2%)	702 (4.6%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	59 (23.0%)	10 (3.9%)	180 (70.0%)	8 (3.1%)	257 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、基幹集落において 27.2%と最も高くなっているが、基礎集落においても約2割の集落では子育て世帯の転入がみられている。

図表2-138 集落類型別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
基礎集落	10,786 (19.3%)	13,645 (24.4%)	29,133 (52.1%)	2,401 (4.3%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	1,863 (27.2%)	957 (14.0%)	3,840 (56.1%)	189 (2.8%)	6,849 (100.0%)
中心集落	1,296 (25.4%)	416 (8.1%)	3,262 (63.9%)	132 (2.6%)	5,106 (100.0%)
無回答	57 (9.7%)	187 (31.9%)	264 (45.1%)	78 (13.3%)	586 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、都市的地域にある集落で 24.2%と最も高くなっている。

図表2-139 地域区分別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
山間地	3,043 (15.3%)	6,353 (32.0%)	9,481 (47.8%)	972 (4.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	4,292 (20.9%)	4,335 (21.1%)	11,157 (54.4%)	744 (3.6%)	20,528 (100.0%)
平地	5,363 (23.9%)	3,817 (17.0%)	12,427 (55.5%)	789 (3.5%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	1,246 (24.2%)	619 (12.0%)	3,017 (58.6%)	263 (5.1%)	5,145 (100.0%)
無回答	58 (9.9%)	81 (13.8%)	417 (70.9%)	32 (5.4%)	588 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)に近くなるほど子育て世帯の転入がみられるとされる集落の割合が高くなっているが、役場(本庁)から 20 km以上離れた集落においても 10.2%で子育て世帯の転入があるとされている。

図表2-140 役場(本庁)までの距離別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
5km未満	6,388 (28.6%)	3,979 (17.8%)	11,018 (49.4%)	912 (4.1%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	3,359 (21.1%)	3,793 (23.8%)	8,206 (51.5%)	579 (3.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,999 (16.8%)	4,705 (26.3%)	9,405 (52.6%)	770 (4.3%)	17,879 (100.0%)
20km以上	1,216 (10.2%)	2,721 (22.7%)	7,525 (62.8%)	517 (4.3%)	11,979 (100.0%)
無回答	40 (9.7%)	7 (1.7%)	345 (83.3%)	22 (5.3%)	414 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別でみると、新幹線駅まで 5km 未満の集落で子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が 31.1%と最も高くなっているが、20km 以上 40km 未満の集落においても2割程度の集落で子育て世帯の転入があるとされている。

図表2-141 新幹線駅までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
5km未満	313 (31.1%)	154 (15.3%)	533 (53.0%)	5 (0.5%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	464 (25.6%)	419 (23.2%)	917 (50.7%)	9 (0.5%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,421 (29.1%)	1,116 (22.8%)	2,293 (46.9%)	61 (1.2%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	3,036 (24.5%)	2,725 (21.9%)	6,263 (50.4%)	392 (3.2%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	3,370 (19.5%)	3,829 (22.1%)	8,902 (51.5%)	1,191 (6.9%)	17,292 (100.0%)
80km以上	4,015 (17.7%)	5,786 (25.5%)	12,279 (54.0%)	646 (2.8%)	22,726 (100.0%)
無回答	1,383 (16.5%)	1,176 (14.1%)	5,312 (63.5%)	496 (5.9%)	8,367 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別でみると、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、特急停車駅までの距離が近いほど高くなる傾向にある。

図表2-142 特急停車駅までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
5km未満	2,065 (23.9%)	1,451 (16.8%)	4,665 (54.1%)	443 (5.1%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,630 (23.1%)	1,595 (22.6%)	3,581 (50.7%)	262 (3.7%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,428 (20.4%)	2,889 (24.3%)	5,911 (49.6%)	683 (5.7%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	3,528 (20.5%)	4,366 (25.4%)	8,665 (50.4%)	630 (3.7%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,319 (19.0%)	3,005 (24.6%)	6,587 (53.8%)	323 (2.6%)	12,234 (100.0%)
80km以上	599 (17.5%)	715 (20.9%)	2,103 (61.4%)	9 (0.3%)	3,426 (100.0%)
無回答	1,433 (17.8%)	1,184 (14.7%)	4,987 (61.9%)	450 (5.6%)	8,054 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別で見ると、特急停車駅と同様に、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合は、空港までの距離が近いほど高くなる傾向にある。

図表2-143 空港までの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
5km未満	118 (30.1%)	72 (18.4%)	201 (51.3%)	1 (0.3%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	183 (30.2%)	108 (17.9%)	311 (51.4%)	3 (0.5%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	688 (24.0%)	669 (23.3%)	1,507 (52.5%)	4 (0.1%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,864 (21.6%)	2,914 (21.9%)	6,948 (52.3%)	560 (4.2%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	5,944 (20.8%)	6,799 (23.8%)	14,630 (51.2%)	1,217 (4.3%)	28,590 (100.0%)
80km以上	3,036 (19.5%)	3,514 (22.5%)	8,533 (54.7%)	525 (3.4%)	15,608 (100.0%)
無回答	1,169 (16.3%)	1,129 (15.8%)	4,369 (61.0%)	490 (6.8%)	7,157 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別で見ると、高速道路等のICまで40km以上80km未満の集落で子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が12.4%と低くなっているが、距離帯に関わらず全体的に2割程度の集落で子育て世帯の転入があるとされている。

図表2-144 高速道路等のICまでの距離別・子育て世帯の転入の有無別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
5km未満	2,948 (22.9%)	2,498 (19.4%)	7,047 (54.8%)	373 (2.9%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	2,417 (21.8%)	2,258 (20.3%)	6,251 (56.3%)	178 (1.6%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	3,187 (20.6%)	3,805 (24.6%)	7,908 (51.1%)	569 (3.7%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	2,975 (21.4%)	3,669 (26.4%)	6,514 (46.9%)	742 (5.3%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	712 (12.4%)	1,370 (23.8%)	3,249 (56.5%)	417 (7.3%)	5,748 (100.0%)
80km以上	397 (20.8%)	432 (22.6%)	1,050 (55.0%)	30 (1.6%)	1,909 (100.0%)
無回答	1,366 (18.2%)	1,173 (15.6%)	4,480 (59.7%)	491 (6.5%)	7,510 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が大きくなるほど、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が高くなる傾向にあるが、100人未満の人口規模の集落においても子育て世帯の転入がみられる集落は一定程度存在する。

図表2-145 集落の人口規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
～9人	50 (1.4%)	1,273 (36.6%)	1,766 (50.8%)	385 (11.1%)	3,474 (100.0%)
10～24人	455 (5.5%)	2,847 (34.6%)	4,286 (52.0%)	648 (7.9%)	8,236 (100.0%)
25～49人	1,378 (10.7%)	3,898 (30.3%)	7,030 (54.7%)	542 (4.2%)	12,848 (100.0%)
50～99人	2,974 (18.2%)	4,074 (25.0%)	8,827 (54.1%)	434 (2.7%)	16,309 (100.0%)
100～199人	3,815 (27.1%)	2,290 (16.3%)	7,573 (53.8%)	391 (2.8%)	14,069 (100.0%)
200～499人	3,732 (38.6%)	684 (7.1%)	4,972 (51.5%)	272 (2.8%)	9,660 (100.0%)
500～999人	1,057 (43.5%)	35 (1.4%)	1,280 (52.7%)	58 (2.4%)	2,430 (100.0%)
1000人～	448 (44.8%)	4 (0.4%)	538 (53.9%)	9 (0.9%)	999 (100.0%)
無回答	93 (19.3%)	100 (20.8%)	227 (47.2%)	61 (12.7%)	481 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、世帯規模が大きくなるほど、子育て世帯の転入があるとされる集落の割合が高くなる傾向にある。特に200世帯以上の集落では4割以上の集落において子育て世帯の転入がみられるとされている。

図表2-146 集落の世帯数規模別・子育て世帯の転入の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	転入した世帯のうち高校生までの子どもがいる世帯別 集落数				計
	子育て世帯の転入がある	子育て世帯の転入はない	わからない	無回答	
～9世帯	309 (3.7%)	2,754 (33.3%)	4,413 (53.4%)	795 (9.6%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	1,101 (8.9%)	3,822 (31.1%)	6,742 (54.8%)	642 (5.2%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	1,368 (14.1%)	2,733 (28.3%)	5,255 (54.3%)	313 (3.2%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	2,507 (20.1%)	2,977 (23.8%)	6,684 (53.5%)	322 (2.6%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	3,832 (28.9%)	2,083 (15.7%)	6,964 (52.6%)	362 (2.7%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	2,882 (38.9%)	524 (7.1%)	3,795 (51.2%)	213 (2.9%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	1,511 (42.9%)	84 (2.4%)	1,846 (52.4%)	81 (2.3%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	402 (42.6%)	4 (0.4%)	526 (55.7%)	12 (1.3%)	944 (100.0%)
無回答	90 (13.9%)	224 (34.6%)	274 (42.3%)	60 (9.3%)	648 (100.0%)
合計	14,002 (20.4%)	15,205 (22.2%)	36,499 (53.3%)	2,800 (4.1%)	68,506 (100.0%)

④近年子育て世帯の転入がみられる集落の特性

【全体】

- 近年子育て世帯の転入があるとされる集落の 76.6%は基礎集落であり、地域的には平地集落の割合が最も高くなっている。また、人口規模が 100 人以上、世帯規模が 50 世帯以上の比較的規模が大きく、65 歳以上の高齢者割合が 50%未満の集落が過半を占めるものの、世帯規模が 20 世帯未満と比較的小規模な集落も1割程度を占めている。
- また、役場(本庁)からの距離別構成比をみると、役場(本庁)から 20 km以上の集落も約1割を占めており、地理的・地形的条件の悪い集落においても一定程度子育て世帯の転入がみられる。

図表2-147 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性【全体】

全体		子育て世帯の転入の有無別 集落数				計
		子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
集落 類型	基礎集落	12,281 (76.6%)	14,631 (89.6%)	33,685 (78.6%)	2,567 (78.2%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	2,133 (13.3%)	1,022 (6.3%)	4,622 (10.8%)	219 (6.7%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	1,554 (9.7%)	489 (3.0%)	3,688 (8.6%)	143 (4.4%)	5,874 (7.5%)
地域 区分	山間地	3,477 (21.7%)	6,937 (42.5%)	10,991 (25.7%)	1,135 (34.6%)	22,540 (28.7%)
	中間地	4,933 (30.8%)	4,631 (28.4%)	12,600 (29.4%)	772 (23.5%)	22,936 (29.2%)
	平地	6,018 (37.6%)	3,974 (24.3%)	14,052 (32.8%)	798 (24.3%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	1,470 (9.2%)	663 (4.1%)	4,194 (9.8%)	270 (8.2%)	6,597 (8.4%)
人口 規模	～9	53 (0.3%)	1,379 (8.4%)	1,972 (4.6%)	431 (13.1%)	3,835 (4.9%)
	10～24	476 (3.0%)	2,974 (18.2%)	4,727 (11.0%)	699 (21.3%)	8,876 (11.3%)
	25～49	1,455 (9.1%)	4,111 (25.2%)	7,715 (18.0%)	582 (17.7%)	13,863 (17.7%)
	50～99	3,267 (20.4%)	4,359 (26.7%)	9,821 (22.9%)	471 (14.3%)	17,918 (22.8%)
	100～199	4,311 (26.9%)	2,533 (15.5%)	8,690 (20.3%)	403 (12.3%)	15,937 (20.3%)
	200～499	4,296 (26.8%)	776 (4.8%)	6,390 (14.9%)	286 (8.7%)	11,748 (15.0%)
	500～999	1,323 (8.3%)	40 (0.2%)	1,952 (4.6%)	62 (1.9%)	3,377 (4.3%)
	1000～	690 (4.3%)	4 (0.0%)	1,058 (2.5%)	11 (0.3%)	1,763 (2.2%)
世帯 数 規模	～9	325 (2.0%)	2,919 (17.9%)	4,892 (11.4%)	871 (26.5%)	9,007 (11.5%)
	10～19	1,170 (7.3%)	4,037 (24.7%)	7,439 (17.4%)	687 (20.9%)	13,333 (17.0%)
	20～29	1,501 (9.4%)	2,914 (17.8%)	5,869 (13.7%)	344 (10.5%)	10,628 (13.5%)
	30～49	2,783 (17.4%)	3,197 (19.6%)	7,510 (17.5%)	345 (10.5%)	13,835 (17.6%)
	50～99	4,350 (27.1%)	2,309 (14.1%)	8,062 (18.8%)	374 (11.4%)	15,095 (19.2%)
	100～199	3,298 (20.6%)	580 (3.6%)	4,871 (11.4%)	226 (6.9%)	8,975 (11.4%)
	200～499	1,872 (11.7%)	93 (0.6%)	2,737 (6.4%)	86 (2.6%)	4,788 (6.1%)
	500～	622 (3.9%)	4 (0.0%)	970 (2.3%)	13 (0.4%)	1,609 (2.1%)
65 歳 以上 割合	100%	2 (0.0%)	572 (3.5%)	718 (1.7%)	166 (5.1%)	1,458 (1.9%)
	75%以上100%未満	90 (0.6%)	1,434 (8.8%)	1,773 (4.1%)	335 (10.2%)	3,632 (4.6%)
	50%以上75%未満	3,803 (23.7%)	7,447 (45.6%)	14,063 (32.8%)	1,112 (33.9%)	26,425 (33.7%)
	25%以上50%未満	10,924 (68.2%)	6,278 (38.4%)	23,326 (54.4%)	925 (28.2%)	41,453 (52.8%)
	25%未満	982 (6.1%)	422 (2.6%)	2,324 (5.4%)	401 (12.2%)	4,129 (5.3%)
75 歳 以上	100%	2 (0.0%)	190 (1.2%)	230 (0.5%)	53 (1.6%)	475 (0.6%)
	50%以上100%未満	120 (0.7%)	1,745 (10.7%)	2,327 (5.4%)	420 (12.8%)	4,612 (5.9%)
	50%未満	15,679 (97.8%)	14,218 (87.1%)	39,647 (92.5%)	2,466 (75.1%)	72,010 (91.8%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 ^{キロ} 未満	7,231 (45.1%)	4,166 (25.5%)	13,277 (31.0%)	1,211 (36.9%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	3,896 (24.3%)	4,075 (25.0%)	9,552 (22.3%)	597 (18.2%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	3,480 (21.7%)	5,115 (31.3%)	10,659 (24.9%)	794 (24.2%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	1,376 (8.6%)	2,969 (18.2%)	8,631 (20.1%)	658 (20.0%)	13,634 (17.4%)
地 形	地形的末端である	523 (3.3%)	1,318 (8.1%)	2,450 (5.7%)	268 (8.2%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	15,502 (96.7%)	15,014 (91.9%)	40,395 (94.3%)	3,015 (91.8%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		16,025 (100.0%)	16,332 (100.0%)	42,845 (100.0%)	3,283 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において近年子育て世帯の転入があるとされる集落の特性をみると、平地や中間地の集落が多くを占めているが、地理的・地形的条件の悪い集落においても一定程度子育て世帯の転入がみられる。

図表2-148 近年子育て世帯の転入がみられる集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域		子育て世帯の転入の有無別 集落数				計
		子育て世帯の 転入がある	子育て世帯の 転入はない	わからない	無回答	
集落 類型	基礎集落	10,786 (77.0%)	13,645 (89.7%)	29,133 (79.8%)	2,401 (85.8%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	1,863 (13.3%)	957 (6.3%)	3,840 (10.5%)	189 (6.8%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	1,296 (9.3%)	416 (2.7%)	3,262 (8.9%)	132 (4.7%)	5,106 (7.5%)
地域 区分	山間地	3,043 (21.7%)	6,353 (41.8%)	9,481 (26.0%)	972 (34.7%)	19,849 (29.0%)
	中間地	4,292 (30.7%)	4,335 (28.5%)	11,157 (30.6%)	744 (26.6%)	20,528 (30.0%)
	平地	5,363 (38.3%)	3,817 (25.1%)	12,427 (34.0%)	789 (28.2%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	1,246 (8.9%)	619 (4.1%)	3,017 (8.3%)	263 (9.4%)	5,145 (7.5%)
人口 規模	～9	50 (0.4%)	1,273 (8.4%)	1,766 (4.8%)	385 (13.8%)	3,474 (5.1%)
	10～24	455 (3.2%)	2,847 (18.7%)	4,286 (11.7%)	648 (23.1%)	8,236 (12.0%)
	25～49	1,378 (9.8%)	3,898 (25.6%)	7,030 (19.3%)	542 (19.4%)	12,848 (18.8%)
	50～99	2,974 (21.2%)	4,074 (26.8%)	8,827 (24.2%)	434 (15.5%)	16,309 (23.8%)
	100～199	3,815 (27.2%)	2,290 (15.1%)	7,573 (20.7%)	391 (14.0%)	14,069 (20.5%)
	200～499	3,732 (26.7%)	684 (4.5%)	4,972 (13.6%)	272 (9.7%)	9,660 (14.1%)
	500～999	1,057 (7.5%)	35 (0.2%)	1,280 (3.5%)	58 (2.1%)	2,430 (3.5%)
	1000～	448 (3.2%)	4 (0.0%)	538 (1.5%)	9 (0.3%)	999 (1.5%)
世帯 数規模	～9	309 (2.2%)	2,754 (18.1%)	4,413 (12.1%)	795 (28.4%)	8,271 (12.1%)
	10～19	1,101 (7.9%)	3,822 (25.1%)	6,742 (18.5%)	642 (22.9%)	12,307 (18.0%)
	20～29	1,368 (9.8%)	2,733 (18.0%)	5,255 (14.4%)	313 (11.2%)	9,669 (14.1%)
	30～49	2,507 (17.9%)	2,977 (19.6%)	6,684 (18.3%)	322 (11.5%)	12,490 (18.2%)
	50～99	3,832 (27.4%)	2,083 (13.7%)	6,964 (19.1%)	362 (12.9%)	13,241 (19.3%)
	100～199	2,882 (20.6%)	524 (3.4%)	3,795 (10.4%)	213 (7.6%)	7,414 (10.8%)
	200～499	1,511 (10.8%)	84 (0.6%)	1,846 (5.1%)	81 (2.9%)	3,522 (5.1%)
	500～	402 (2.9%)	4 (0.0%)	526 (1.4%)	12 (0.4%)	944 (1.4%)
65 歳 以上 割合	100%	2 (0.0%)	528 (3.5%)	657 (1.8%)	154 (5.5%)	1,341 (2.0%)
	75%以上100%未満	83 (0.6%)	1,359 (8.9%)	1,597 (4.4%)	305 (10.9%)	3,344 (4.9%)
	50%以上75%未満	3,473 (24.8%)	7,038 (46.3%)	12,784 (35.0%)	1,038 (37.1%)	24,333 (35.5%)
	25%以上50%未満	9,523 (68.0%)	5,780 (38.0%)	19,565 (53.6%)	891 (31.8%)	35,759 (52.2%)
	25%未満	783 (5.6%)	388 (2.6%)	1,564 (4.3%)	351 (12.5%)	3,086 (4.5%)
75 歳 以上	100%	2 (0.0%)	175 (1.2%)	206 (0.6%)	47 (1.7%)	430 (0.6%)
	50%以上100%未満	110 (0.8%)	1,632 (10.7%)	2,095 (5.7%)	387 (13.8%)	4,224 (6.2%)
	50%未満	13,752 (98.2%)	13,286 (87.4%)	33,866 (92.8%)	2,305 (82.3%)	63,209 (92.3%)
本 庁 ま だ の 距 離	5 ^{キロ} 未満	6,388 (45.6%)	3,979 (26.2%)	11,018 (30.2%)	912 (32.6%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	3,359 (24.0%)	3,793 (24.9%)	8,206 (22.5%)	579 (20.7%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	2,999 (21.4%)	4,705 (30.9%)	9,405 (25.8%)	770 (27.5%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	1,216 (8.7%)	2,721 (17.9%)	7,525 (20.6%)	517 (18.5%)	11,979 (17.5%)
地 形	地形的末端である	421 (3.0%)	1,153 (7.6%)	2,126 (5.8%)	224 (8.0%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	13,581 (97.0%)	14,052 (92.4%)	34,373 (94.2%)	2,576 (92.0%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		14,002 (100.0%)	15,205 (100.0%)	36,499 (100.0%)	2,800 (100.0%)	68,506 (100.0%)

(6) 集落の立地特性

① 地形的な末端集落

【全体】

- 地形的に末端にある集落は全体の5.8%である。
- 地域指定別でみると、地形的な末端集落の割合は、離島地域で9.8%と最も高くなっている。

図表2-149 地形的末端性別 集落数 【全体】

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
1 北海道	211 (5.2%)	3,833 (94.8%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	742 (4.0%)	17,692 (96.0%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	181 (4.5%)	3,876 (95.5%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	192 (5.7%)	3,181 (94.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	412 (7.6%)	5,015 (92.4%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	375 (7.7%)	4,500 (92.3%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	943 (6.8%)	12,864 (93.2%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	742 (9.8%)	6,821 (90.2%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	759 (4.6%)	15,889 (95.4%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	255 (99.2%)	257 (100.0%)
合計	4,559 (5.8%)	73,926 (94.2%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	4,675 (6.1%)	72,035 (93.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-150 地域指定別・地形的末端性別 集落数 【全体】

全体	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
過疎地域	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)
振興山村	2,570 (9.4%)	24,637 (90.6%)	27,207 (100.0%)
離島	242 (9.8%)	2,223 (90.2%)	2,465 (100.0%)
半島	747 (5.2%)	13,640 (94.8%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	704 (5.8%)	11,374 (94.2%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において地形的に末端にある集落は全体の 5.7%である。
- 地方ブロック別でみると、地形的な末端集落の割合は四国圏が最も高い。

図表2-151 地方ブロック別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
1 北海道	198 (5.2%)	3,594 (94.8%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	631 (4.0%)	14,950 (96.0%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	148 (4.4%)	3,210 (95.6%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	119 (4.8%)	2,351 (95.2%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	277 (7.5%)	3,416 (92.5%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	294 (7.0%)	3,884 (93.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	858 (6.7%)	12,020 (93.3%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	664 (9.4%)	6,430 (90.6%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	733 (4.8%)	14,472 (95.2%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	255 (99.2%)	257 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、地形的に末端にある集落の割合は基礎集落で最も高く、5.7%となっている。
- 一方、中心集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表2-152 集落類型別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
基礎集落	3,641 (6.5%)	52,324 (93.5%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	168 (2.5%)	6,681 (97.5%)	6,849 (100.0%)
中心集落	57 (1.1%)	5,049 (98.9%)	5,106 (100.0%)
無回答	58 (9.9%)	528 (90.1%)	586 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、地形的に末端にある集落の割合は山間地集落において13.3%と特に高い。
- 一方、都市的地域にある集落においては、地形的な末端集落はほぼみられない。

図表2-153 地域区分別・地形的末端集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		計
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	
山間地	2,647 (13.3%)	17,202 (86.7%)	19,849 (100.0%)
中間地	964 (4.7%)	19,564 (95.3%)	20,528 (100.0%)
平地	269 (1.2%)	22,127 (98.8%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	19 (0.4%)	5,126 (99.6%)	5,145 (100.0%)
無回答	25 (4.3%)	563 (95.7%)	588 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模が小さい集落ほど地形的な末端集落の割合が高くなっており、10人未満の小規模集落の約5分の1は地形的末端集落である。

図表2-154 集落の人口規模別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
～9人	773 (22.3%)	2,701 (77.7%)	3,474 (100.0%)
10～24人	948 (11.5%)	7,288 (88.5%)	8,236 (100.0%)
25～49人	823 (6.4%)	12,025 (93.6%)	12,848 (100.0%)
50～99人	701 (4.3%)	15,608 (95.7%)	16,309 (100.0%)
100～199人	425 (3.0%)	13,644 (97.0%)	14,069 (100.0%)
200～499人	175 (1.8%)	9,485 (98.2%)	9,660 (100.0%)
500～999人	33 (1.4%)	2,397 (98.6%)	2,430 (100.0%)
1000人～	22 (2.2%)	977 (97.8%)	999 (100.0%)
無回答	24 (5.0%)	457 (95.0%)	481 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、世帯数規模が小さくなるほど地形的に末端にある集落の割合が高くなる傾向がみられ、10世帯未満の小規模集落では2割近くが地形的末端集落である。

図表2-155 集落の世帯数規模別・地形的末端性別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
～9世帯	1,350 (16.3%)	6,921 (83.7%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	919 (7.5%)	11,388 (92.5%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	502 (5.2%)	9,167 (94.8%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	496 (4.0%)	11,994 (96.0%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	397 (3.0%)	12,844 (97.0%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	147 (2.0%)	7,267 (98.0%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	55 (1.6%)	3,467 (98.4%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	21 (2.2%)	923 (97.8%)	944 (100.0%)
無回答	37 (5.7%)	611 (94.3%)	648 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど地形的に末端にある集落の割合が高くなり、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落の24.0%は地形的な末端集落である。

図表2-156 65歳以上人口割合別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
50%未満	1,164 (3.0%)	37,681 (97.0%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	1,886 (7.8%)	22,447 (92.2%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	525 (15.7%)	2,819 (84.3%)	3,344 (100.0%)
100%	322 (24.0%)	1,019 (76.0%)	1,341 (100.0%)
無回答	27 (4.2%)	616 (95.8%)	643 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者はいないとされる集落において、地形的に末端にある集落の割合が比較的高くなっている。

図表2-157 転入者の有無別・地形的末端性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地形的末端性別 集落数		
	地形的な 末端集落である	地形的な 末端集落ではない	計
転入者が いる	1,321 (4.4%)	28,568 (95.6%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	698 (12.4%)	4,933 (87.6%)	5,631 (100.0%)
分からない	1,856 (5.7%)	30,581 (94.3%)	32,437 (100.0%)
無回答	49 (8.9%)	500 (91.1%)	549 (100.0%)
合計	3,924 (5.7%)	64,582 (94.3%)	68,506 (100.0%)

②役場（本庁・支所）までの距離別 集落数

【全体】

- 集落の立地条件をみると、本庁まで 5 km未満の集落が 33.0%と最も多く、10 km未満の集落で全体の半数以上を占める。
- 地域指定別でみると、本庁まで遠距離にある集落の割合が特に高いのは振興山村であり、3割以上の集落が 20 km以上の遠隔地にある。一方、支所までの距離をみると、5 km未満と最も近距離にある集落の割合は離島地域において 74.2%と最も高くなっている。

図表2-158 役場（本庁・支所）までの距離別 集落数【全体】

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
1 北海道	1,707 (42.2%)	949 (23.5%)	820 (20.3%)	544 (13.5%)	24 (0.6%)	4,044 (100.0%)	2,814 (69.6%)	382 (7.7%)	312 (7.7%)	142 (3.5%)	394 (9.7%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	5,823 (31.6%)	4,789 (26.0%)	4,903 (26.6%)	2,884 (15.6%)	35 (0.2%)	18,434 (100.0%)	10,360 (56.2%)	2,888 (15.7%)	1,033 (5.6%)	229 (1.2%)	3,924 (21.3%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	1,440 (35.5%)	1,291 (31.8%)	1,072 (26.4%)	252 (6.2%)	2 (0.0%)	4,057 (100.0%)	2,602 (64.1%)	687 (16.9%)	175 (4.3%)	5 (0.1%)	588 (14.5%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	1,267 (37.6%)	1,000 (29.6%)	675 (20.0%)	430 (12.7%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)	1,796 (53.2%)	534 (15.8%)	294 (8.7%)	63 (1.9%)	686 (20.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	1,537 (28.3%)	928 (17.1%)	1,240 (22.8%)	1,495 (27.5%)	227 (4.2%)	5,427 (100.0%)	3,207 (59.1%)	982 (18.1%)	404 (7.4%)	38 (0.7%)	796 (14.7%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	1,549 (31.8%)	1,073 (22.0%)	1,177 (24.1%)	914 (18.7%)	162 (3.3%)	4,875 (100.0%)	2,623 (53.8%)	1,025 (21.0%)	365 (7.5%)	35 (0.7%)	827 (17.0%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	3,257 (23.6%)	2,798 (20.3%)	3,999 (29.0%)	3,591 (26.0%)	162 (1.2%)	13,807 (100.0%)	9,398 (68.1%)	2,585 (18.7%)	908 (6.6%)	106 (0.8%)	810 (5.9%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	2,622 (34.7%)	1,442 (19.1%)	1,939 (25.6%)	1,382 (18.3%)	178 (2.4%)	7,563 (100.0%)	4,885 (64.6%)	1,580 (20.9%)	553 (7.3%)	217 (2.9%)	328 (4.3%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	6,550 (39.3%)	3,768 (22.6%)	4,186 (25.1%)	2,137 (12.8%)	7 (0.0%)	16,648 (100.0%)	10,781 (64.8%)	2,779 (16.7%)	1,240 (7.4%)	207 (1.2%)	1,641 (9.9%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	133 (51.8%)	82 (31.9%)	37 (14.4%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	199 (77.4%)	31 (12.1%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	23 (8.9%)	257 (100.0%)
合計	25,885 (33.0%)	18,120 (23.1%)	20,048 (25.5%)	13,634 (17.4%)	798 (1.0%)	78,485 (100.0%)	48,665 (62.0%)	13,473 (17.2%)	5,288 (6.7%)	1,042 (1.3%)	10,017 (12.8%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	24,299 (31.7%)	17,561 (22.9%)	19,842 (25.9%)	13,872 (18.1%)	1,136 (1.5%)	76,710 (100.0%)	46,615 (60.8%)	12,757 (16.6%)	5,006 (6.5%)	988 (1.3%)	11,344 (14.8%)	76,710 (100.0%)

図表2-159 地域指定別・役場（本庁・支所）までの距離別 集落数【全体】

全体	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
過疎地域	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)
振興山村	4,735 (17.4%)	5,146 (18.9%)	8,661 (31.8%)	8,619 (31.7%)	46 (0.2%)	27,207 (100.0%)	14,835 (54.5%)	6,237 (22.9%)	2,898 (10.7%)	478 (1.8%)	2,759 (10.1%)	27,207 (100.0%)
離島	549 (22.3%)	607 (24.6%)	679 (27.5%)	626 (25.4%)	4 (0.2%)	2,465 (100.0%)	1,828 (74.2%)	387 (15.7%)	178 (7.2%)	58 (2.4%)	14 (0.6%)	2,465 (100.0%)
半島	5,539 (38.5%)	3,270 (22.7%)	3,437 (23.9%)	1,748 (12.1%)	393 (2.7%)	14,387 (100.0%)	8,588 (59.7%)	2,375 (16.5%)	993 (6.9%)	280 (1.9%)	2,151 (15.0%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	4,641 (38.4%)	2,885 (23.9%)	2,764 (22.9%)	1,762 (14.6%)	26 (0.2%)	12,078 (100.0%)	6,505 (53.9%)	1,500 (12.4%)	654 (5.4%)	168 (1.4%)	3,251 (26.9%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の立地条件をみると、本庁まで 5 km未満の集落が 32.5%と最も多く、10 km未満の集落で全体の半数以上を占める。
- 地方ブロック別でみると、中国圏では本庁までの距離が 20 km以上と遠距離にある集落の割合が高くなって一方、北海道や沖縄県では、本庁や支所までの距離が近い集落の割合が高い。

図表2-160 地方ブロック別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答 (支所なし)	計
1 北海道	1,596 (42.1%)	878 (23.2%)	775 (20.4%)	533 (14.1%)	10 (0.3%)	3,792 (100.0%)	2,666 (70.3%)	330 (8.7%)	304 (8.0%)	139 (3.7%)	353 (9.3%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	4,456 (28.6%)	4,016 (25.8%)	4,348 (27.9%)	2,756 (17.7%)	5 (0.0%)	15,581 (100.0%)	9,516 (61.1%)	2,534 (16.3%)	847 (5.4%)	119 (0.8%)	2,565 (16.5%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	1,232 (36.7%)	1,046 (31.1%)	869 (25.9%)	210 (6.3%)	1 (0.0%)	3,358 (100.0%)	2,199 (65.5%)	598 (17.8%)	158 (4.7%)	5 (0.1%)	398 (11.9%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	943 (38.2%)	787 (31.9%)	459 (18.6%)	280 (11.3%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)	1,453 (58.8%)	410 (16.6%)	253 (10.2%)	56 (2.3%)	298 (12.1%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	1,260 (34.1%)	728 (19.7%)	961 (26.0%)	696 (18.8%)	48 (1.3%)	3,693 (100.0%)	2,387 (64.6%)	630 (17.1%)	261 (7.1%)	32 (0.9%)	383 (10.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	1,242 (29.7%)	921 (22.0%)	1,066 (25.5%)	787 (18.8%)	162 (3.9%)	4,178 (100.0%)	2,394 (57.3%)	899 (21.5%)	319 (7.6%)	32 (0.8%)	534 (12.8%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	3,166 (24.6%)	2,654 (20.6%)	3,692 (28.7%)	3,363 (26.1%)	3 (0.0%)	12,878 (100.0%)	8,869 (68.9%)	2,430 (18.9%)	854 (6.6%)	103 (0.8%)	622 (4.8%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	2,548 (35.9%)	1,344 (18.9%)	1,761 (24.8%)	1,264 (17.8%)	177 (2.5%)	7,094 (100.0%)	4,698 (66.2%)	1,486 (20.9%)	513 (7.2%)	72 (1.0%)	325 (4.6%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	5,721 (37.6%)	3,481 (22.9%)	3,911 (25.7%)	2,085 (13.7%)	7 (0.0%)	15,205 (100.0%)	9,884 (65.0%)	2,451 (16.1%)	1,180 (7.8%)	204 (1.3%)	1,486 (9.8%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	133 (51.8%)	82 (31.9%)	37 (14.4%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	199 (77.4%)	31 (12.1%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	23 (8.9%)	257 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落では本庁までの距離が 5 km未満の集落が約5割を占めており、また支所までの距離も 5 km未満と近距離にある集落が約8割を占めている。
- これに対して、基礎集落では、本庁までの距離が 10 km以上と比較的遠距離にある集落が半数近くを占めており、さらに約2割は 20 km以上と最も遠距離にある集落である。

図表2-161 集落類型別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
基礎集落	16,800 (30.0%)	13,605 (24.3%)	15,122 (27.0%)	10,111 (18.1%)	327 (0.6%)	55,965 (100.0%)	35,334 (63.1%)	10,227 (18.3%)	4,129 (7.4%)	616 (1.1%)	5,659 (10.1%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	2,548 (37.2%)	1,542 (22.5%)	1,663 (24.3%)	1,031 (15.1%)	65 (0.9%)	6,849 (100.0%)	4,522 (66.0%)	1,068 (15.6%)	389 (5.7%)	71 (1.0%)	799 (11.7%)	6,849 (100.0%)
中心集落	2,718 (53.2%)	654 (12.8%)	942 (18.4%)	776 (15.2%)	16 (0.3%)	5,106 (100.0%)	3,928 (76.9%)	455 (8.9%)	155 (3.0%)	62 (1.2%)	506 (9.9%)	5,106 (100.0%)
無回答	231 (39.4%)	136 (23.2%)	152 (25.9%)	61 (10.4%)	6 (1.0%)	586 (100.0%)	481 (82.1%)	49 (8.4%)	20 (3.4%)	13 (2.2%)	23 (3.9%)	586 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、本庁や支所まで遠い集落の割合は、山間地集落において特に高くなっている。
- 特に本庁まで20 km以上の遠距離にある集落の割合は山間地集落において33.4%と3分の1以上を占めており、都市的地域にある集落(3.3%)との差が大きくなっている。

図表2-162 地域区分別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
山間地	2,352 (11.8%)	3,942 (19.9%)	6,910 (34.8%)	6,632 (33.4%)	13 (0.1%)	19,849 (100.0%)	9,813 (49.4%)	5,382 (27.1%)	2,769 (14.0%)	428 (2.2%)	1,457 (7.3%)	19,849 (100.0%)
中間地	5,676 (27.7%)	5,355 (26.1%)	6,158 (30.0%)	3,194 (15.6%)	145 (0.7%)	20,528 (100.0%)	13,508 (65.8%)	3,714 (18.1%)	1,127 (5.5%)	141 (0.7%)	2,038 (9.9%)	20,528 (100.0%)
平地	9,836 (43.9%)	6,069 (27.1%)	4,388 (19.6%)	1,888 (8.4%)	215 (1.0%)	22,396 (100.0%)	16,373 (73.1%)	2,415 (10.8%)	703 (3.1%)	125 (0.6%)	2,780 (12.4%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	4,181 (81.3%)	479 (9.3%)	281 (5.5%)	171 (3.3%)	33 (0.6%)	5,145 (100.0%)	4,110 (79.9%)	240 (4.7%)	62 (1.2%)	59 (1.1%)	674 (13.1%)	5,145 (100.0%)
無回答	252 (42.9%)	92 (15.6%)	142 (24.1%)	94 (16.0%)	8 (1.4%)	588 (100.0%)	461 (78.4%)	48 (8.2%)	32 (5.4%)	9 (1.5%)	38 (6.5%)	588 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、人口規模の小さな集落ほど本庁や支所から遠い集落の割合が大きくなる傾向がみられ、10人未満の小規模集落の約4割は本庁まで20km以上と遠距離にある集落である。

図表2-163 集落の人口規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
～9人	345 (9.9%)	577 (16.6%)	1,205 (34.7%)	1,328 (38.2%)	19 (0.5%)	3,474 (100.0%)	1,616 (46.5%)	938 (27.0%)	553 (15.9%)	104 (3.0%)	263 (7.6%)	3,474 (100.0%)
10～24人	1,281 (15.6%)	1,639 (19.9%)	2,720 (33.0%)	2,556 (31.0%)	40 (0.5%)	8,236 (100.0%)	4,460 (54.2%)	2,070 (25.1%)	983 (11.9%)	141 (1.7%)	582 (7.1%)	8,236 (100.0%)
25～49人	3,052 (23.8%)	3,022 (23.5%)	3,825 (29.8%)	2,864 (22.3%)	85 (0.7%)	12,848 (100.0%)	7,880 (61.3%)	2,646 (20.6%)	1,077 (8.4%)	140 (1.1%)	1,105 (8.6%)	12,848 (100.0%)
50～99人	5,037 (30.2%)	4,207 (25.8%)	4,401 (27.0%)	2,574 (15.8%)	90 (0.6%)	16,309 (100.0%)	10,768 (66.0%)	2,787 (17.1%)	1,022 (6.3%)	145 (0.9%)	1,587 (9.7%)	16,309 (100.0%)
100～199人	5,580 (39.7%)	3,565 (25.3%)	3,232 (23.0%)	1,604 (11.4%)	88 (0.6%)	14,069 (100.0%)	9,710 (69.0%)	1,903 (13.5%)	647 (4.6%)	102 (0.7%)	1,707 (12.1%)	14,069 (100.0%)
200～499人	4,849 (50.2%)	2,228 (23.1%)	1,800 (18.6%)	729 (7.5%)	54 (0.6%)	9,660 (100.0%)	6,915 (71.6%)	1,098 (11.4%)	294 (3.0%)	76 (0.8%)	1,277 (13.2%)	9,660 (100.0%)
500～999人	1,434 (59.0%)	446 (18.4%)	378 (15.6%)	155 (6.4%)	17 (0.7%)	2,430 (100.0%)	1,840 (75.7%)	194 (8.0%)	48 (2.0%)	26 (1.1%)	322 (13.3%)	2,430 (100.0%)
1000人～	642 (64.3%)	168 (16.8%)	120 (12.0%)	52 (5.2%)	17 (1.7%)	999 (100.0%)	742 (74.3%)	60 (6.0%)	35 (3.5%)	25 (2.5%)	137 (13.7%)	999 (100.0%)
無回答	77 (16.0%)	85 (17.7%)	198 (41.2%)	117 (24.3%)	4 (0.8%)	481 (100.0%)	334 (69.4%)	103 (21.4%)	34 (7.1%)	3 (0.6%)	7 (1.5%)	481 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様に世帯数規模が小さな集落ほど本庁や支所までの距離が遠い集落の割合が高くなっている。

図表2-164 集落の世帯数規模別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
～9世帯	1,045 (12.6%)	1,559 (18.8%)	2,860 (34.6%)	2,767 (33.5%)	40 (0.5%)	8,271 (100.0%)	4,199 (50.8%)	2,142 (25.9%)	1,099 (13.3%)	165 (2.0%)	666 (8.1%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	2,547 (20.7%)	2,874 (23.4%)	3,807 (30.9%)	3,014 (24.5%)	65 (0.5%)	12,307 (100.0%)	7,263 (59.0%)	2,738 (22.2%)	1,116 (9.1%)	157 (1.3%)	1,033 (8.4%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	2,674 (27.7%)	2,435 (25.2%)	2,678 (27.7%)	1,814 (18.8%)	68 (0.7%)	9,669 (100.0%)	6,131 (63.4%)	1,744 (18.0%)	741 (7.7%)	103 (1.1%)	950 (9.8%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	4,046 (32.4%)	3,234 (25.9%)	3,303 (26.4%)	1,842 (14.7%)	65 (0.5%)	12,490 (100.0%)	8,286 (66.3%)	2,052 (16.4%)	778 (6.2%)	103 (0.8%)	1,271 (10.2%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	5,336 (40.3%)	3,266 (24.7%)	3,031 (22.9%)	1,523 (11.5%)	85 (0.6%)	13,241 (100.0%)	9,273 (70.0%)	1,766 (13.3%)	577 (4.4%)	101 (0.8%)	1,524 (11.5%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	3,743 (50.5%)	1,681 (22.7%)	1,344 (18.1%)	605 (8.2%)	41 (0.6%)	7,414 (100.0%)	5,369 (72.4%)	814 (11.0%)	235 (3.2%)	61 (0.8%)	935 (12.6%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	2,077 (59.0%)	621 (17.6%)	542 (15.4%)	254 (7.2%)	28 (0.8%)	3,522 (100.0%)	2,631 (74.7%)	302 (8.6%)	75 (2.1%)	37 (1.1%)	477 (13.5%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	607 (64.3%)	155 (16.4%)	111 (11.8%)	53 (5.6%)	18 (1.9%)	944 (100.0%)	704 (74.6%)	58 (6.1%)	33 (3.5%)	25 (2.6%)	124 (13.1%)	944 (100.0%)
無回答	222 (34.3%)	112 (17.3%)	203 (31.3%)	107 (16.5%)	4 (0.6%)	648 (100.0%)	409 (63.1%)	183 (28.2%)	39 (6.0%)	10 (1.5%)	7 (1.1%)	648 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、総じて高齢者割合の低い集落ほど本庁や支所に近い集落の割合が大きい傾向がみられ、高齢者割合が75%以上の集落の約4割は本庁から20km以上の遠距離にある集落である。

図表2-165 65歳以上人口割合別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
50%未満	16,576 (42.7%)	9,457 (24.3%)	8,526 (21.9%)	4,054 (10.4%)	232 (0.6%)	38,845 (100.0%)	27,027 (69.6%)	5,166 (13.3%)	1,635 (4.2%)	339 (0.9%)	4,678 (12.0%)	38,845 (100.0%)
50%以上	5,157 (21.2%)	5,625 (23.1%)	7,563 (31.1%)	5,864 (24.1%)	124 (0.5%)	24,333 (100.0%)	14,578 (59.9%)	5,213 (21.4%)	2,261 (9.3%)	289 (1.2%)	1,992 (8.2%)	24,333 (100.0%)
75%未満	329 (9.8%)	546 (16.3%)	1,115 (33.3%)	1,337 (40.0%)	17 (0.5%)	3,344 (100.0%)	1,623 (48.5%)	902 (27.0%)	543 (16.2%)	84 (2.5%)	192 (5.7%)	3,344 (100.0%)
100%未満	156 (11.6%)	221 (16.5%)	443 (33.0%)	518 (38.6%)	3 (0.2%)	1,341 (100.0%)	602 (44.9%)	394 (29.4%)	215 (16.0%)	47 (3.5%)	83 (6.2%)	1,341 (100.0%)
100%	79 (12.3%)	88 (13.7%)	232 (36.1%)	206 (32.0%)	38 (5.9%)	643 (100.0%)	435 (67.7%)	124 (19.3%)	39 (6.1%)	3 (0.5%)	42 (6.5%)	643 (100.0%)
無回答	79 (12.3%)	88 (13.7%)	232 (36.1%)	206 (32.0%)	38 (5.9%)	643 (100.0%)	435 (67.7%)	124 (19.3%)	39 (6.1%)	3 (0.5%)	42 (6.5%)	643 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも本庁や支所までの距離が近い集落の割合が高くなっている。

図表2-166 転入者の有無別・役場(本庁・支所)までの距離別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	本庁までの距離別 集落数						支所までの距離別 集落数					
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上	無回答	計
転入者がいる	11,244 (37.6%)	7,292 (24.4%)	7,497 (25.1%)	3,652 (12.2%)	204 (0.7%)	29,889 (100.0%)	19,397 (64.9%)	4,930 (16.5%)	1,865 (6.2%)	368 (1.2%)	3,329 (11.1%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	965 (17.1%)	1,323 (23.5%)	1,844 (32.7%)	1,475 (26.2%)	24 (0.4%)	5,631 (100.0%)	3,130 (55.6%)	1,318 (23.4%)	601 (10.7%)	95 (1.7%)	487 (8.6%)	5,631 (100.0%)
分からない	9,957 (30.7%)	7,234 (22.3%)	8,369 (25.8%)	6,694 (20.6%)	183 (0.6%)	32,437 (100.0%)	21,342 (65.8%)	5,499 (17.0%)	2,176 (6.7%)	281 (0.9%)	3,139 (9.7%)	32,437 (100.0%)
無回答	131 (23.9%)	88 (16.0%)	169 (30.8%)	158 (28.8%)	3 (0.5%)	549 (100.0%)	396 (72.1%)	52 (9.5%)	51 (9.3%)	18 (3.3%)	32 (5.8%)	549 (100.0%)
合計	22,297 (32.5%)	15,937 (23.3%)	17,879 (26.1%)	11,979 (17.5%)	414 (0.6%)	68,506 (100.0%)	44,265 (64.6%)	11,799 (17.2%)	4,693 (6.9%)	762 (1.1%)	6,987 (10.2%)	68,506 (100.0%)

③新幹線駅、特急停車駅までの距離別 集落数

【全体】

- 集落の立地条件をみると、新幹線駅までの距離が遠い集落が多い傾向にあり、半数以上が新幹線駅から40km 以上離れている。特急停車駅までの距離については 20km 以上 40km 未満の位置に立地する集落が 23.9%と最も多い。
- 地域指定別でみると、いずれの地域区分においても新幹線駅までの距離が遠い集落の割合が高い傾向にあり、特急停車駅から 80km 以上離れた場所に位置する集落の割合は、離島地域が 33.7%と、他の地域に比べ突出している。

図表2-167 新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【全体】

全体	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
1 北海道	82 (2.0%)	29 (0.7%)	51 (1.3%)	59 (1.5%)	227 (5.6%)	2,210 (54.6%)	1,386 (34.3%)	4,044 (100.0%)	377 (9.3%)	280 (6.9%)	540 (13.4%)	622 (15.4%)	1,013 (25.0%)	382 (9.4%)	830 (20.5%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	1,302 (7.1%)	1,853 (10.1%)	3,034 (16.5%)	4,976 (27.0%)	4,408 (23.9%)	1,749 (9.5%)	1,112 (6.0%)	18,434 (100.0%)	2,191 (11.9%)	2,436 (13.2%)	3,218 (17.5%)	3,628 (19.7%)	3,230 (17.5%)	1,713 (9.3%)	2,018 (10.9%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.4%)	22 (0.5%)	175 (4.3%)	1,009 (24.9%)	1,234 (30.4%)	1,182 (29.1%)	419 (10.3%)	4,057 (100.0%)	445 (11.0%)	464 (11.4%)	930 (22.9%)	1,444 (35.6%)	328 (8.1%)	17 (0.4%)	429 (10.6%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	29 (0.9%)	123 (3.6%)	689 (20.4%)	1,031 (30.6%)	592 (17.6%)	727 (21.6%)	182 (5.4%)	3,373 (100.0%)	313 (9.3%)	248 (7.4%)	431 (12.8%)	984 (29.2%)	1,086 (32.2%)	100 (3.0%)	211 (6.3%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	69 (1.3%)	100 (1.8%)	430 (7.9%)	1,213 (22.4%)	1,467 (27.0%)	1,648 (30.4%)	500 (9.2%)	5,427 (100.0%)	686 (12.6%)	547 (10.1%)	1,041 (19.2%)	1,591 (29.3%)	678 (12.5%)	48 (0.9%)	836 (15.4%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	84 (1.7%)	667 (13.7%)	1,490 (30.6%)	2,529 (51.9%)	105 (2.2%)	4,875 (100.0%)	1,088 (22.3%)	737 (15.1%)	1,172 (24.0%)	1,275 (26.2%)	492 (10.1%)	6 (0.1%)	105 (2.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	10 (0.1%)	169 (1.2%)	673 (4.9%)	2,495 (18.1%)	4,367 (31.6%)	4,605 (33.4%)	1,488 (10.8%)	13,807 (100.0%)	1,197 (8.7%)	1,125 (8.1%)	2,686 (19.5%)	3,908 (28.3%)	3,048 (22.1%)	555 (4.0%)	1,288 (9.3%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	22 (0.3%)	41 (0.5%)	63 (0.8%)	762 (10.1%)	6,296 (83.2%)	379 (5.0%)	7,563 (100.0%)	2,268 (30.0%)	1,002 (13.2%)	1,439 (19.0%)	1,484 (19.6%)	933 (12.3%)	104 (1.4%)	333 (4.4%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	166 (1.0%)	444 (2.7%)	1,349 (8.1%)	2,800 (16.8%)	4,613 (27.7%)	3,689 (22.2%)	3,587 (21.5%)	16,648 (100.0%)	1,337 (8.0%)	1,653 (9.9%)	2,908 (17.5%)	3,859 (23.2%)	2,532 (15.2%)	946 (5.7%)	3,413 (20.5%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	257 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	257 (100.0%)
合計	1,674 (2.1%)	2,762 (3.5%)	6,526 (8.3%)	14,313 (18.2%)	19,160 (24.4%)	24,635 (31.4%)	9,415 (12.0%)	78,485 (100.0%)	9,902 (12.6%)	8,492 (10.8%)	14,365 (18.3%)	18,795 (23.9%)	13,340 (17.0%)	3,871 (4.9%)	9,720 (12.4%)	78,485 (100.0%)

図表2-168 地域指定別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【全体】

全体	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答 (支所なし)	計
過疎地域	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)
振興山村	287 (1.1%)	440 (1.6%)	1,587 (5.8%)	4,263 (15.7%)	7,139 (26.2%)	10,802 (39.7%)	2,689 (9.9%)	27,207 (100.0%)	1,872 (6.9%)	2,237 (8.2%)	5,195 (19.1%)	7,620 (28.0%)	6,155 (22.6%)	1,397 (5.1%)	2,731 (10.0%)	27,207 (100.0%)
離島	36 (1.5%)	3 (0.1%)	24 (1.0%)	102 (4.1%)	174 (7.1%)	980 (39.8%)	1,146 (46.5%)	2,465 (100.0%)	72 (2.9%)	20 (0.8%)	66 (2.7%)	149 (6.0%)	180 (7.3%)	830 (33.7%)	1,148 (46.6%)	2,465 (100.0%)
半島	46 (0.3%)	67 (0.5%)	689 (4.8%)	2,126 (14.8%)	4,087 (28.4%)	5,423 (37.7%)	1,949 (13.5%)	14,387 (100.0%)	1,757 (12.2%)	1,321 (9.2%)	2,438 (16.9%)	3,372 (23.4%)	2,792 (19.4%)	680 (4.7%)	2,027 (14.1%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	890 (7.4%)	1,198 (9.9%)	1,886 (15.6%)	3,077 (25.5%)	2,031 (16.8%)	1,703 (14.1%)	1,293 (10.7%)	12,078 (100.0%)	1,361 (11.3%)	1,607 (13.3%)	2,024 (16.8%)	2,873 (23.8%)	2,542 (21.0%)	300 (2.5%)	1,371 (11.4%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 全体の集計と同様に、新幹線駅までの距離が遠い集落が多い傾向にあり、特に北海道、近畿圏、四国圏では新幹線駅までの距離が80km以上となる集落の割合が半数以上を占めている。
- 特急停車駅までの距離を見ると、北陸圏や中国圏において特急停車駅まで20km以上離れている集落の割合が比較的高い。

図表2-169 地方ブロック別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
1 北海道	72 (1.9%)	6 (0.2%)	19 (0.5%)	44 (1.2%)	227 (6.0%)	2,094 (55.2%)	1,330 (35.1%)	3,792 (100.0%)	357 (9.4%)	240 (6.3%)	496 (13.1%)	579 (15.3%)	1,010 (26.6%)	341 (9.0%)	769 (20.3%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	664 (4.3%)	1,181 (7.6%)	2,527 (16.2%)	4,483 (28.8%)	4,005 (25.7%)	1,685 (10.8%)	1,036 (6.6%)	15,581 (100.0%)	1,615 (10.4%)	1,684 (10.8%)	2,729 (17.5%)	3,471 (22.3%)	2,886 (18.5%)	1,529 (9.8%)	1,667 (10.7%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.5%)	18 (0.5%)	77 (2.3%)	910 (27.1%)	990 (29.5%)	944 (28.1%)	403 (12.0%)	3,358 (100.0%)	291 (8.7%)	314 (9.4%)	712 (21.2%)	1,371 (40.8%)	250 (7.4%)	17 (0.5%)	403 (12.0%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	27 (1.1%)	64 (2.6%)	268 (10.9%)	797 (32.3%)	443 (17.9%)	726 (29.4%)	145 (5.9%)	2,470 (100.0%)	214 (8.7%)	169 (6.8%)	97 (3.9%)	782 (31.7%)	964 (39.0%)	99 (4.0%)	145 (5.9%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	61 (1.7%)	73 (2.0%)	344 (9.3%)	828 (22.4%)	994 (26.9%)	1,225 (33.2%)	168 (4.5%)	3,693 (100.0%)	584 (15.8%)	441 (11.9%)	752 (20.4%)	1,140 (30.9%)	547 (14.8%)	48 (1.3%)	181 (4.9%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	65 (1.6%)	543 (13.0%)	1,280 (30.6%)	2,185 (52.3%)	105 (2.5%)	4,178 (100.0%)	846 (20.2%)	620 (14.8%)	939 (22.5%)	1,179 (28.2%)	483 (11.6%)	6 (0.1%)	105 (2.5%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	13 (0.1%)	444 (3.4%)	2,312 (18.0%)	4,359 (33.8%)	4,451 (34.6%)	1,299 (10.1%)	12,878 (100.0%)	1,196 (9.3%)	1,047 (8.1%)	2,529 (19.6%)	3,725 (28.9%)	2,949 (22.9%)	336 (2.6%)	1,096 (8.5%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	22 (0.3%)	41 (0.6%)	62 (0.9%)	756 (10.7%)	5,873 (82.8%)	340 (4.8%)	7,094 (100.0%)	2,186 (30.8%)	923 (13.0%)	1,255 (17.7%)	1,378 (19.4%)	927 (13.1%)	104 (1.5%)	321 (4.5%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	165 (1.1%)	432 (2.8%)	1,106 (7.3%)	2,437 (16.0%)	4,238 (27.9%)	3,543 (23.3%)	3,284 (21.6%)	15,205 (100.0%)	1,335 (8.8%)	1,630 (10.7%)	2,402 (15.8%)	3,564 (23.4%)	2,218 (14.6%)	946 (6.2%)	3,110 (20.5%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)	257 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、新幹線駅及び特急停車駅までの距離による大きな差は見受けられない。

図表2-170 集落類型別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
基礎集落	788 (1.4%)	1,540 (2.8%)	4,053 (7.2%)	10,396 (18.6%)	13,850 (24.7%)	18,568 (33.2%)	6,770 (12.1%)	55,965 (100.0%)	6,515 (11.6%)	5,990 (10.7%)	10,193 (18.2%)	14,266 (25.5%)	9,613 (17.2%)	2,597 (4.6%)	6,791 (12.1%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	99 (1.4%)	155 (2.3%)	537 (7.8%)	1,301 (19.0%)	1,900 (27.7%)	2,027 (29.6%)	830 (12.1%)	6,849 (100.0%)	962 (14.0%)	704 (10.3%)	1,121 (16.4%)	1,681 (24.5%)	1,355 (19.8%)	321 (4.7%)	705 (10.3%)	6,849 (100.0%)
中心集落	118 (2.3%)	113 (2.2%)	290 (5.7%)	658 (12.9%)	1,473 (28.8%)	1,957 (38.3%)	497 (9.7%)	5,106 (100.0%)	1,124 (22.0%)	313 (6.1%)	532 (10.4%)	1,151 (22.5%)	1,129 (22.1%)	435 (8.5%)	422 (8.3%)	5,106 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.2%)	11 (1.9%)	61 (10.4%)	69 (11.8%)	174 (29.7%)	270 (46.1%)	586 (100.0%)	23 (3.9%)	61 (10.4%)	65 (11.1%)	91 (15.5%)	137 (23.4%)	73 (12.5%)	136 (23.2%)	586 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、新幹線駅や特急停車駅までの距離が5km未満の集落の割合は、都市的地域、次いで平地で高くなっている。

図表2-171 地域区分別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数								
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	
山間地	68 (0.3%)	166 (0.8%)	821 (4.1%)	2,977 (15.0%)	5,422 (27.3%)	8,375 (42.2%)	2,020 (10.2%)	19,849 (100.0%)	771 (3.9%)	1,583 (8.0%)	3,894 (19.6%)	5,957 (30.0%)	4,476 (22.6%)	1,238 (6.2%)	1,930 (9.7%)	19,849 (100.0%)	
中間地	120 (0.6%)	504 (2.5%)	1,720 (8.4%)	4,170 (20.3%)	5,193 (25.3%)	6,347 (30.9%)	2,474 (12.1%)	20,528 (100.0%)	2,002 (9.8%)	2,224 (10.8%)	4,264 (20.8%)	5,616 (27.4%)	3,211 (15.6%)	830 (4.0%)	2,381 (11.6%)	20,528 (100.0%)	
平地	556 (2.5%)	993 (4.4%)	2,079 (9.3%)	4,073 (18.2%)	5,485 (24.5%)	6,064 (27.1%)	3,146 (14.0%)	22,396 (100.0%)	3,965 (17.7%)	2,965 (13.2%)	3,322 (14.8%)	4,603 (20.6%)	3,430 (15.3%)	1,015 (4.5%)	3,096 (13.8%)	22,396 (100.0%)	
都市的地域	258 (5.0%)	118 (2.3%)	219 (4.3%)	1,149 (22.3%)	1,182 (23.0%)	1,701 (33.1%)	518 (10.1%)	5,145 (100.0%)	1,874 (36.4%)	258 (5.0%)	331 (6.4%)	989 (19.2%)	896 (17.4%)	896 (17.4%)	324 (6.3%)	473 (9.2%)	5,145 (100.0%)
無回答	3 (0.5%)	28 (4.8%)	52 (8.8%)	47 (8.0%)	10 (1.7%)	239 (40.6%)	209 (35.5%)	588 (100.0%)	12 (2.0%)	38 (6.5%)	100 (17.0%)	24 (4.1%)	221 (37.6%)	19 (3.2%)	174 (29.6%)	588 (100.0%)	
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)	

- 集落の人口規模別でみると、新幹線駅までの距離については20km未満、特急停車駅までの距離については10km未満である集落の割合は、人口規模が大きい集落ほど高くなる傾向にある。

図表2-172 集落の人口規模別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
～9人	24 (0.7%)	53 (1.5%)	111 (3.2%)	476 (13.7%)	860 (24.8%)	1,484 (42.7%)	466 (13.4%)	3,474 (100.0%)	169 (4.9%)	274 (7.9%)	617 (17.8%)	1,015 (29.2%)	814 (23.4%)	162 (4.7%)	423 (12.2%)	3,474 (100.0%)
10～24人	58 (0.7%)	105 (1.3%)	292 (3.5%)	1,152 (14.0%)	2,296 (27.9%)	3,210 (39.0%)	1,123 (13.6%)	8,236 (100.0%)	557 (6.8%)	649 (7.9%)	1,428 (17.3%)	2,436 (29.6%)	1,748 (21.2%)	375 (4.6%)	1,043 (12.7%)	8,236 (100.0%)
25～49人	83 (0.6%)	261 (2.0%)	662 (5.2%)	2,036 (15.8%)	3,353 (26.1%)	4,757 (37.0%)	1,896 (13.2%)	12,848 (100.0%)	1,231 (9.6%)	1,168 (9.1%)	2,307 (18.0%)	3,468 (27.0%)	2,431 (18.9%)	646 (5.0%)	1,597 (12.4%)	12,848 (100.0%)
50～99人	162 (1.0%)	462 (2.8%)	1,225 (7.5%)	3,052 (18.7%)	3,993 (24.5%)	5,544 (34.0%)	1,871 (11.5%)	16,309 (100.0%)	1,984 (12.2%)	1,876 (11.5%)	2,927 (17.9%)	3,979 (24.4%)	2,966 (18.2%)	779 (4.8%)	1,798 (11.0%)	16,309 (100.0%)
100～199人	245 (1.7%)	478 (3.4%)	1,322 (9.4%)	3,000 (21.3%)	3,447 (24.5%)	4,057 (28.8%)	1,520 (10.8%)	14,069 (100.0%)	2,095 (14.9%)	1,606 (11.4%)	2,465 (17.5%)	3,279 (23.3%)	2,402 (17.1%)	709 (5.0%)	1,513 (10.8%)	14,069 (100.0%)
200～499人	269 (2.8%)	344 (3.6%)	970 (10.0%)	1,987 (20.6%)	2,391 (24.8%)	2,585 (26.8%)	1,114 (11.5%)	9,660 (100.0%)	1,780 (18.4%)	1,077 (11.1%)	1,563 (16.2%)	2,137 (22.1%)	1,453 (15.0%)	490 (5.1%)	1,160 (12.0%)	9,660 (100.0%)
500～999人	106 (4.4%)	85 (3.5%)	237 (9.8%)	441 (18.1%)	578 (23.8%)	646 (26.6%)	337 (13.9%)	2,430 (100.0%)	499 (20.5%)	301 (12.4%)	398 (16.4%)	459 (18.9%)	286 (11.8%)	171 (7.0%)	316 (13.0%)	2,430 (100.0%)
1000人～	39 (3.9%)	21 (2.1%)	72 (7.2%)	157 (15.7%)	226 (22.6%)	305 (30.5%)	179 (17.9%)	999 (100.0%)	249 (24.9%)	111 (11.1%)	126 (12.6%)	182 (18.2%)	115 (11.5%)	74 (7.4%)	142 (14.2%)	999 (100.0%)
無回答	19 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	115 (23.9%)	148 (30.8%)	138 (28.7%)	61 (12.7%)	481 (100.0%)	60 (12.5%)	6 (1.2%)	80 (16.6%)	234 (48.6%)	19 (4.0%)	20 (4.2%)	62 (12.9%)	481 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯規模別で見ると、新幹線駅までの距離については5km未満、特急停車駅までの距離については10km未満である集落の割合は、人口規模が大きい集落ほど高くなる傾向にある。

図表2-173 集落の世帯数規模別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
～9世帯	67 (0.8%)	132 (1.6%)	297 (3.6%)	1,191 (14.4%)	2,250 (27.2%)	3,170 (38.3%)	1,164 (14.1%)	8,271 (100.0%)	445 (5.4%)	665 (8.0%)	1,485 (18.0%)	2,390 (28.9%)	1,860 (22.5%)	348 (4.2%)	1,078 (13.0%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	82 (0.7%)	238 (1.9%)	677 (5.5%)	1,964 (16.0%)	3,272 (26.6%)	4,497 (36.5%)	1,577 (12.8%)	12,307 (100.0%)	989 (8.0%)	1,085 (8.8%)	2,218 (18.0%)	3,500 (28.4%)	2,441 (19.8%)	570 (4.6%)	1,504 (12.2%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	75 (0.8%)	284 (2.9%)	677 (7.0%)	1,743 (18.0%)	2,386 (24.7%)	3,366 (34.8%)	1,138 (11.8%)	9,669 (100.0%)	1,037 (10.7%)	1,039 (10.7%)	1,739 (18.0%)	2,559 (26.5%)	1,763 (18.2%)	461 (4.8%)	1,071 (11.1%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	152 (1.2%)	378 (3.0%)	1,022 (8.2%)	2,460 (19.7%)	3,090 (24.7%)	4,033 (32.3%)	1,355 (10.8%)	12,490 (100.0%)	1,589 (12.7%)	1,450 (11.6%)	2,260 (18.1%)	2,983 (23.9%)	2,258 (18.1%)	622 (5.0%)	1,328 (10.6%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	232 (1.8%)	433 (3.3%)	1,204 (9.1%)	2,816 (21.3%)	3,256 (24.6%)	3,838 (29.0%)	1,462 (11.0%)	13,241 (100.0%)	2,043 (15.4%)	1,502 (11.3%)	2,265 (17.1%)	3,066 (23.2%)	2,238 (16.9%)	681 (5.1%)	1,446 (10.9%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	207 (2.8%)	224 (3.0%)	651 (8.8%)	1,476 (19.9%)	1,832 (24.7%)	2,120 (28.6%)	904 (12.2%)	7,414 (100.0%)	1,414 (19.1%)	777 (10.5%)	1,131 (15.3%)	1,661 (22.4%)	1,106 (14.9%)	390 (5.3%)	935 (12.6%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	142 (4.0%)	107 (3.0%)	308 (8.7%)	619 (17.6%)	844 (24.0%)	992 (28.2%)	510 (14.5%)	3,522 (100.0%)	729 (20.7%)	419 (11.9%)	557 (15.8%)	652 (18.5%)	433 (12.3%)	255 (7.2%)	477 (13.5%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	29 (3.1%)	12 (1.3%)	55 (5.8%)	145 (15.4%)	216 (22.9%)	298 (31.6%)	189 (20.0%)	944 (100.0%)	229 (24.3%)	91 (9.6%)	118 (12.5%)	171 (18.1%)	110 (11.7%)	79 (8.4%)	146 (15.5%)	944 (100.0%)
無回答	19 (2.9%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	146 (22.5%)	412 (63.6%)	68 (10.5%)	648 (100.0%)	149 (23.0%)	40 (6.2%)	138 (21.3%)	207 (31.9%)	25 (3.9%)	20 (3.1%)	69 (10.6%)	648 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、新幹線駅や特急駅までの距離の違いによる明確な傾向は見受けられないが、特急停車駅までの距離については、10km未満の比較的近い場所に位置する集落については、高齢者割合が高い集落ほど比較的少ない傾向にある。

図表2-174 65歳以上人口割合別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
50%未満	790 (2.0%)	1,299 (3.3%)	3,362 (8.7%)	7,394 (19.0%)	9,590 (24.7%)	11,811 (30.4%)	4,599 (11.8%)	38,845 (100.0%)	6,344 (16.3%)	4,427 (11.4%)	6,440 (16.6%)	8,770 (22.6%)	6,530 (16.8%)	1,858 (4.8%)	4,476 (11.5%)	38,845 (100.0%)
50%以上	180 (0.7%)	453 (1.9%)	1,330 (5.5%)	4,211 (17.3%)	6,364 (26.2%)	8,703 (35.8%)	3,092 (12.7%)	24,333 (100.0%)	2,028 (8.3%)	2,285 (9.4%)	4,539 (18.7%)	6,682 (27.5%)	4,558 (18.7%)	1,300 (5.3%)	2,941 (12.1%)	24,333 (100.0%)
75%以上	9 (0.3%)	32 (1.0%)	100 (3.0%)	438 (13.1%)	874 (26.1%)	1,481 (44.3%)	410 (12.3%)	3,344 (100.0%)	131 (3.9%)	248 (7.4%)	557 (16.7%)	1,039 (31.1%)	795 (23.8%)	186 (5.6%)	388 (11.6%)	3,344 (100.0%)
100%	7 (0.5%)	25 (1.9%)	45 (3.4%)	193 (14.4%)	308 (23.0%)	593 (44.2%)	170 (12.7%)	1,341 (100.0%)	61 (4.5%)	100 (7.5%)	239 (17.8%)	400 (29.8%)	327 (24.4%)	62 (4.6%)	152 (11.3%)	1,341 (100.0%)
無回答	19 (3.0%)	0 (0.0%)	54 (8.4%)	180 (28.0%)	156 (24.3%)	138 (21.5%)	96 (14.9%)	643 (100.0%)	60 (9.3%)	8 (1.2%)	136 (21.2%)	298 (46.3%)	24 (3.7%)	20 (3.1%)	97 (15.1%)	643 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、新幹線駅までの距離については80km未満、特急停車駅までの距離については10km未満である集落の割合は、転入者がいるとされる集落で比較的高くなる。

図表2-175 転入者の有無別・新幹線駅、特急停車駅までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	新幹線駅までの距離別 集落数								特急停車駅までの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
転入者が いる	500 (1.7%)	850 (2.8%)	2,575 (8.6%)	5,813 (19.4%)	7,224 (24.2%)	9,501 (31.8%)	3,426 (11.5%)	29,889 (100.0%)	3,477 (11.6%)	3,050 (10.2%)	5,108 (17.1%)	7,633 (25.5%)	5,779 (19.3%)	1,467 (4.9%)	3,375 (11.3%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	22 (0.4%)	86 (1.5%)	282 (5.0%)	670 (11.9%)	1,340 (23.8%)	2,224 (39.5%)	1,007 (17.9%)	5,631 (100.0%)	407 (7.2%)	527 (9.4%)	979 (17.4%)	1,474 (26.2%)	1,087 (19.3%)	182 (3.2%)	975 (17.3%)	5,631 (100.0%)
分からない	483 (1.5%)	873 (2.7%)	2,033 (6.3%)	5,828 (18.0%)	8,506 (26.2%)	10,886 (33.6%)	3,828 (11.8%)	32,437 (100.0%)	4,712 (14.5%)	3,435 (10.6%)	5,679 (17.5%)	7,864 (24.2%)	5,328 (16.4%)	1,775 (5.5%)	3,644 (11.2%)	32,437 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	105 (1.9%)	222 (4.0%)	115 (20.9%)	106 (19.3%)	549 (100.0%)	28 (5.1%)	56 (10.2%)	145 (26.4%)	218 (39.7%)	40 (7.3%)	2 (0.4%)	60 (10.9%)	549 (100.0%)
合計	1,005 (1.5%)	1,809 (2.6%)	4,891 (7.1%)	12,416 (18.1%)	17,292 (25.2%)	22,726 (33.2%)	8,367 (12.2%)	68,506 (100.0%)	8,624 (12.6%)	7,068 (10.3%)	11,911 (17.4%)	17,189 (25.1%)	12,234 (17.9%)	3,426 (5.0%)	8,054 (11.8%)	68,506 (100.0%)

④空港、高速道路等のICまでの距離別 集落数

【全体】

- 集落の立地条件をみると、空港まで40km以上80km未満の集落が40.8%と最も多く、比較的空港から離れた場所に位置する集落が多い。また、高速道路等のICまでの距離については、全体の約6割が20km未満の場所に位置しており、約1割の集落は40km以上離れた場所に位置している。
- 地域指定別でみると、離島地域では空港まで5km未満の場所に位置する集落の割合が他の地域に比べて高く、一方で振興山村や離島地域では高速道路等のICまでの距離が5m未満の場所に位置する集落の割合が他の地域に比べて低い。

図表2-176 空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【全体】

全体	空港までの距離別 集落数								高速道路等のICまでの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
1 北海道	51 (1.3%)	33 (0.8%)	151 (3.7%)	603 (14.9%)	1,391 (34.4%)	1,056 (26.1%)	759 (18.8%)	4,044 (100.0%)	480 (11.9%)	452 (11.2%)	628 (15.5%)	681 (16.8%)	741 (18.3%)	302 (7.5%)	760 (18.8%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	66 (0.4%)	172 (0.9%)	1,028 (5.6%)	3,057 (16.6%)	7,688 (41.7%)	5,069 (27.5%)	1,354 (7.3%)	18,434 (100.0%)	4,400 (23.9%)	3,905 (21.2%)	4,359 (23.6%)	3,035 (16.5%)	948 (5.1%)	675 (3.7%)	1,112 (6.0%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	12 (0.3%)	41 (1.0%)	198 (4.9%)	396 (9.8%)	1,143 (28.2%)	1,854 (45.7%)	413 (10.2%)	4,057 (100.0%)	491 (12.1%)	567 (14.0%)	1,149 (28.3%)	1,054 (26.0%)	292 (7.2%)	108 (2.7%)	396 (9.8%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	3 (0.1%)	59 (1.7%)	384 (11.4%)	1,114 (33.0%)	1,275 (37.8%)	300 (8.9%)	238 (7.1%)	3,373 (100.0%)	1,066 (31.6%)	765 (22.7%)	576 (17.1%)	494 (14.6%)	259 (7.7%)	31 (0.9%)	182 (5.4%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	24 (0.4%)	17 (0.3%)	312 (5.7%)	1,806 (33.3%)	2,460 (45.3%)	808 (14.9%)	5,427 (100.0%)	498 (9.2%)	650 (12.0%)	1,333 (24.6%)	1,371 (25.3%)	679 (12.5%)	192 (3.5%)	704 (13.0%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	12 (0.2%)	34 (0.7%)	203 (4.2%)	777 (15.9%)	2,496 (51.2%)	1,248 (25.6%)	105 (2.2%)	4,875 (100.0%)	1,295 (26.6%)	1,028 (21.1%)	1,080 (22.2%)	1,112 (22.8%)	240 (4.9%)	15 (0.3%)	105 (2.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	103 (0.7%)	96 (0.7%)	636 (4.6%)	3,203 (23.2%)	7,313 (53.0%)	1,052 (7.6%)	1,404 (10.2%)	13,807 (100.0%)	2,835 (20.5%)	2,363 (17.1%)	3,551 (25.7%)	2,746 (19.9%)	780 (5.6%)	40 (0.3%)	1,492 (10.8%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	59 (0.8%)	150 (2.0%)	436 (5.8%)	1,618 (21.4%)	2,955 (39.1%)	2,009 (26.6%)	336 (4.4%)	7,563 (100.0%)	1,959 (25.9%)	1,155 (15.3%)	1,543 (20.4%)	1,571 (20.8%)	885 (11.7%)	117 (1.5%)	333 (4.4%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	186 (1.1%)	236 (1.4%)	691 (4.2%)	3,598 (21.8%)	5,922 (35.6%)	2,988 (17.9%)	3,027 (18.2%)	16,648 (100.0%)	2,178 (13.1%)	2,599 (15.6%)	3,385 (20.3%)	2,980 (17.9%)	1,387 (8.3%)	648 (3.9%)	3,471 (20.8%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	36 (14.0%)	61 (23.7%)	21 (8.2%)	12 (4.7%)	1 (0.4%)	49 (19.1%)	77 (30.0%)	257 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (4.3%)	44 (17.1%)	6 (2.3%)	0 (0.0%)	196 (76.3%)	257 (100.0%)
合計	528 (0.7%)	906 (1.2%)	3,765 (4.8%)	14,690 (18.7%)	31,990 (40.8%)	18,085 (23.0%)	8,521 (10.9%)	78,485 (100.0%)	15,202 (19.4%)	13,484 (17.2%)	17,615 (22.4%)	15,088 (19.2%)	6,217 (7.9%)	2,128 (2.7%)	8,751 (11.1%)	78,485 (100.0%)

図表2-177 地域指定別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【全体】

全体	空港までの距離別 集落数								高速道路等のICまでの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答 (支所なし)	計
過疎地域	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)
振興山村	60 (0.2%)	218 (0.8%)	772 (2.8%)	3,714 (13.7%)	11,203 (41.2%)	8,569 (31.5%)	2,671 (9.8%)	27,207 (100.0%)	2,698 (9.9%)	3,491 (12.8%)	6,982 (25.7%)	7,410 (27.2%)	3,488 (12.8%)	730 (2.7%)	2,408 (8.9%)	27,207 (100.0%)
離島	204 (8.3%)	235 (9.5%)	510 (20.7%)	527 (21.4%)	327 (13.3%)	124 (5.0%)	538 (21.8%)	2,465 (100.0%)	39 (1.6%)	56 (2.3%)	86 (3.5%)	132 (5.4%)	157 (6.4%)	849 (34.4%)	1,146 (46.5%)	2,465 (100.0%)
半島	17 (0.1%)	79 (0.9%)	438 (3.0%)	2,594 (18.0%)	6,017 (41.8%)	3,310 (23.0%)	1,932 (13.4%)	14,387 (100.0%)	2,318 (16.1%)	1,871 (13.0%)	2,484 (17.3%)	3,332 (23.2%)	2,085 (14.5%)	348 (2.4%)	1,949 (13.5%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	20 (0.2%)	101 (0.8%)	713 (5.9%)	1,393 (11.5%)	4,360 (36.1%)	4,400 (36.4%)	1,091 (9.0%)	12,078 (100.0%)	3,026 (25.1%)	2,254 (18.7%)	2,595 (21.5%)	2,078 (17.2%)	869 (7.2%)	219 (1.8%)	1,037 (8.6%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 全体の集計と同様に、空港まで40km以上80km未満の集落が多い傾向にあるが、首都圏と中部圏については空港から80km以上離れた場所に位置する集落が半数程度を占めている。
- 高速道路等のICまでの距離を見ると、北陸圏、近畿圏、中国圏、四国圏、において高速道路等のICまでの距離に近い集落の割合が比較的高い。

図表2-178 地方ブロック別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数							計	高速道路等のICまでの距離別 集落数							計
	5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答		5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答	
1 北海道	49 (1.3%)	30 (0.8%)	131 (3.5%)	552 (14.6%)	1,305 (34.4%)	1,022 (27.0%)	703 (18.5%)	3,792 (100.0%)	475 (12.5%)	433 (11.4%)	558 (14.7%)	628 (16.6%)	701 (18.5%)	293 (7.7%)	704 (18.6%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	57 (0.4%)	131 (0.8%)	762 (4.9%)	2,808 (18.0%)	6,625 (42.5%)	3,928 (25.2%)	1,270 (8.2%)	15,581 (100.0%)	3,082 (19.8%)	2,983 (19.1%)	4,078 (26.2%)	2,885 (18.5%)	869 (5.6%)	648 (4.2%)	1,036 (6.6%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	4 (0.1%)	12 (0.4%)	160 (4.8%)	396 (11.8%)	823 (24.5%)	1,565 (46.6%)	398 (11.9%)	3,358 (100.0%)	459 (13.7%)	428 (12.7%)	977 (29.1%)	880 (26.2%)	182 (5.4%)	52 (1.5%)	380 (11.3%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	3 (0.1%)	24 (1.0%)	161 (6.5%)	920 (37.2%)	1,070 (43.3%)	147 (6.0%)	145 (5.9%)	2,470 (100.0%)	873 (35.3%)	552 (22.3%)	275 (11.1%)	344 (13.9%)	250 (10.1%)	31 (1.3%)	145 (5.9%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.1%)	109 (3.0%)	1,404 (38.0%)	1,978 (53.6%)	199 (5.4%)	3,693 (100.0%)	387 (10.5%)	500 (13.5%)	878 (23.8%)	1,099 (29.8%)	612 (16.6%)	65 (1.8%)	152 (4.1%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (0.0%)	147 (3.5%)	693 (16.6%)	2,103 (50.3%)	1,129 (27.0%)	105 (2.5%)	4,178 (100.0%)	1,065 (25.5%)	839 (20.1%)	925 (22.1%)	996 (23.8%)	233 (5.6%)	15 (0.4%)	105 (2.5%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	14 (0.1%)	32 (0.2%)	452 (3.5%)	2,943 (22.9%)	7,175 (55.7%)	1,047 (8.1%)	1,215 (9.4%)	12,878 (100.0%)	2,725 (21.2%)	2,145 (16.7%)	3,279 (25.5%)	2,611 (20.3%)	775 (6.0%)	40 (0.3%)	1,303 (10.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	59 (0.8%)	119 (1.7%)	352 (5.0%)	1,561 (22.0%)	2,825 (39.8%)	1,857 (26.2%)	321 (4.5%)	7,094 (100.0%)	1,879 (26.5%)	1,090 (15.4%)	1,447 (20.4%)	1,505 (21.2%)	735 (10.4%)	117 (1.6%)	321 (4.5%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	170 (1.1%)	194 (1.3%)	680 (4.5%)	3,292 (21.7%)	5,259 (34.6%)	2,886 (19.0%)	2,724 (17.9%)	15,205 (100.0%)	1,921 (12.6%)	2,134 (14.0%)	3,041 (20.0%)	2,908 (19.1%)	1,385 (9.1%)	648 (4.3%)	3,168 (20.8%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	36 (14.0%)	61 (23.7%)	21 (8.2%)	12 (4.7%)	1 (0.4%)	49 (19.1%)	77 (30.0%)	257 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (4.3%)	44 (17.1%)	6 (2.3%)	0 (0.0%)	196 (76.3%)	257 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、空港までの距離による大きな差は見受けられないが、高速道路等のICまでの距離が5km未満の集落の割合は、中心集落、基幹集落、基礎集落の順に高くなっている。

図表2-179 集落類型別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数							計	高速道路等のICまでの距離別 集落数							計
	5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答		5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答	
基礎集落	319 (0.6%)	502 (0.9%)	2,389 (4.3%)	11,105 (19.8%)	23,133 (41.3%)	12,689 (22.7%)	5,828 (10.4%)	55,965 (100.0%)	9,782 (17.5%)	9,187 (16.4%)	12,786 (22.8%)	11,842 (21.2%)	4,736 (8.5%)	1,495 (2.7%)	6,137 (11.0%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	28 (0.4%)	84 (1.2%)	265 (3.9%)	1,216 (17.8%)	2,909 (42.5%)	1,631 (23.8%)	716 (10.5%)	6,849 (100.0%)	1,321 (19.3%)	1,139 (16.6%)	1,620 (23.7%)	1,255 (18.3%)	619 (9.0%)	164 (2.4%)	731 (10.7%)	6,849 (100.0%)
中心集落	45 (0.9%)	19 (0.4%)	213 (4.2%)	962 (18.8%)	2,414 (47.3%)	1,110 (21.7%)	343 (6.7%)	5,106 (100.0%)	1,681 (32.9%)	728 (14.3%)	975 (19.1%)	754 (14.8%)	346 (6.8%)	250 (4.9%)	372 (7.3%)	5,106 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	3 (0.5%)	134 (2.9%)	178 (3.4%)	270 (46.1%)	586 (100.0%)	82 (14.0%)	50 (8.5%)	88 (15.0%)	49 (8.4%)	47 (8.0%)	0 (0.0%)	270 (46.1%)	586 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

- 地域区別でみると、空港までの距離が40km未満である集落の割合は、平地で他の地域に比べわずかに高くなっている。また、中山間地では、空港から80km以上離れた場所に位置する集落の割合が平地及び都市的地域に比べて高くなっている。
- 高速道路等のICまでの距離については、都市的地域では5km未満の場所に約4割が存在する一方で、山間地に位置する集落では4割以上の集落が高速道路等のICから20km以上離れている。

図表2-180 地域区別・空港、高速道路等のICまでの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数							計	高速道路等のICまでの距離別 集落数							計
	5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答		5km未満	5km以上10km未満	10km以上20km未満	20km以上40km未満	40km以上80km未満	80km以上	無回答	
山間地	48 (0.2%)	71 (0.4%)	416 (2.1%)	2,825 (14.2%)	8,330 (42.0%)	6,446 (32.5%)	1,713 (8.6%)	19,849 (100.0%)	1,512 (7.6%)	2,529 (12.7%)	4,967 (25.0%)	5,792 (29.2%)	2,503 (12.6%)	730 (3.7%)	1,816 (9.1%)	19,849 (100.0%)
中間地	111 (0.5%)	151 (0.7%)	932 (4.5%)	3,986 (19.4%)	8,563 (41.7%)	4,638 (22.6%)	2,147 (10.5%)	20,528 (100.0%)	3,455 (16.8%)	3,518 (17.1%)	4,879 (23.8%)	4,107 (20.0%)	1,762 (8.6%)	576 (2.8%)	2,231 (10.9%)	20,528 (100.0%)
平地	219 (1.0%)	313 (1.4%)	1,325 (5.9%)	5,310 (23.7%)	9,053 (40.4%)	3,522 (15.7%)	2,654 (11.9%)	22,396 (100.0%)	5,624 (25.1%)	4,265 (19.0%)	4,616 (20.6%)	3,206 (14.3%)	1,344 (6.0%)	517 (2.3%)	2,824 (12.6%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	14 (0.3%)	69 (1.3%)	188 (3.7%)	1,128 (21.9%)	2,283 (44.4%)	994 (19.3%)	469 (9.1%)	5,145 (100.0%)	2,170 (42.2%)	699 (13.6%)	952 (18.5%)	681 (13.2%)	91 (1.8%)	86 (1.7%)	466 (9.1%)	5,145 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	1 (0.2%)	7 (1.2%)	37 (6.3%)	361 (61.4%)	8 (1.4%)	174 (29.6%)	588 (100.0%)	105 (17.9%)	93 (15.8%)	55 (9.4%)	114 (19.4%)	48 (8.2%)	0 (0.0%)	173 (29.4%)	588 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、空港までの距離が 40km 未満、高速道路等の IC までの距離が 10km 未満の場所に位置する集落の割合は、人口規模の大きい集落ほど高くなる傾向にある。

図表2-181 集落の人口規模別・空港、高速道路等の IC までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数								高速道路等のICまでの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
～9人	61 (0.2%)	15 (0.4%)	77 (2.2%)	505 (14.5%)	1,632 (47.0%)	845 (24.3%)	394 (11.3%)	3,474 (100.0%)	282 (8.1%)	318 (9.2%)	832 (23.9%)	996 (28.7%)	511 (14.7%)	120 (3.5%)	415 (11.9%)	3,474 (100.0%)
10～24人	34 (0.4%)	29 (0.4%)	231 (2.8%)	1,304 (15.8%)	3,719 (45.2%)	1,959 (23.8%)	960 (11.7%)	8,236 (100.0%)	931 (11.3%)	958 (11.6%)	2,028 (24.6%)	2,176 (26.4%)	931 (11.3%)	216 (2.6%)	996 (12.1%)	8,236 (100.0%)
25～49人	59 (0.5%)	63 (0.5%)	455 (3.5%)	2,437 (19.0%)	5,382 (41.9%)	2,973 (23.1%)	1,479 (11.5%)	12,848 (100.0%)	1,996 (15.5%)	1,932 (15.0%)	3,101 (24.1%)	2,788 (21.7%)	1,179 (9.2%)	336 (2.6%)	1,516 (11.8%)	12,848 (100.0%)
50～99人	86 (0.5%)	124 (0.8%)	726 (4.5%)	3,333 (20.4%)	6,825 (41.8%)	3,606 (22.1%)	1,609 (9.9%)	16,309 (100.0%)	3,072 (18.8%)	2,885 (17.7%)	3,655 (22.4%)	3,229 (19.8%)	1,306 (8.0%)	472 (2.9%)	1,690 (10.4%)	16,309 (100.0%)
100～199人	76 (0.5%)	145 (1.0%)	659 (4.7%)	2,898 (20.6%)	5,714 (40.6%)	3,245 (23.1%)	1,332 (9.5%)	14,069 (100.0%)	3,127 (22.2%)	2,518 (17.9%)	3,047 (21.7%)	2,510 (17.8%)	1,068 (7.6%)	389 (2.8%)	1,410 (10.0%)	14,069 (100.0%)
200～499人	84 (0.9%)	124 (1.3%)	518 (5.4%)	2,037 (21.1%)	3,773 (39.1%)	2,137 (22.1%)	987 (10.2%)	9,660 (100.0%)	2,432 (25.2%)	1,779 (18.4%)	2,011 (20.8%)	1,604 (16.6%)	556 (5.8%)	257 (2.7%)	1,021 (10.6%)	9,660 (100.0%)
500～999人	35 (1.4%)	71 (2.9%)	123 (5.1%)	531 (21.9%)	865 (35.6%)	572 (23.5%)	233 (9.6%)	2,430 (100.0%)	691 (28.4%)	475 (19.5%)	432 (17.8%)	338 (13.9%)	130 (5.3%)	83 (3.4%)	281 (11.6%)	2,430 (100.0%)
1000人～	12 (1.2%)	25 (2.5%)	67 (6.7%)	182 (18.2%)	377 (37.7%)	229 (22.9%)	107 (10.7%)	999 (100.0%)	281 (28.1%)	188 (18.8%)	185 (18.5%)	127 (12.7%)	60 (6.0%)	36 (3.6%)	122 (12.2%)	999 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	9 (1.9%)	12 (2.5%)	59 (12.3%)	303 (63.0%)	42 (8.7%)	56 (11.6%)	481 (100.0%)	54 (11.2%)	51 (10.6%)	178 (37.0%)	132 (27.4%)	7 (1.5%)	0 (0.0%)	59 (12.3%)	481 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、空港までの距離が 10km 未満、高速道路等の IC までの距離が 5km 未満の場所に位置する集落の割合は、世帯数規模の大きい集落ほど高くなる傾向にある。

図表2-182 集落の世帯数規模別・空港、高速道路等の IC までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数								高速道路等のICまでの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
～9世帯	23 (0.3%)	31 (0.4%)	209 (2.5%)	1,233 (14.9%)	3,815 (46.1%)	1,956 (23.6%)	1,004 (12.1%)	8,271 (100.0%)	800 (9.7%)	894 (10.8%)	2,048 (24.8%)	2,252 (27.2%)	1,016 (12.3%)	229 (2.8%)	1,032 (12.5%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	53 (0.4%)	56 (0.5%)	431 (3.5%)	2,265 (18.4%)	5,322 (43.2%)	2,795 (22.7%)	1,385 (11.3%)	12,307 (100.0%)	1,734 (14.1%)	1,832 (14.9%)	3,065 (24.9%)	2,782 (22.6%)	1,188 (9.7%)	304 (2.5%)	1,402 (11.4%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	40 (0.4%)	51 (0.5%)	417 (4.3%)	1,949 (20.2%)	4,043 (41.8%)	2,152 (22.3%)	1,017 (10.5%)	9,669 (100.0%)	1,683 (17.4%)	1,668 (17.3%)	2,235 (23.1%)	2,008 (20.8%)	809 (8.4%)	240 (2.5%)	1,026 (10.6%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	66 (0.5%)	95 (0.8%)	537 (4.3%)	2,566 (20.5%)	5,239 (41.9%)	2,810 (22.5%)	1,177 (9.4%)	12,490 (100.0%)	2,497 (20.0%)	2,162 (17.3%)	2,821 (22.6%)	2,424 (19.4%)	990 (7.9%)	365 (2.9%)	1,231 (9.9%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	76 (0.6%)	140 (1.1%)	657 (5.0%)	2,769 (20.9%)	5,253 (39.7%)	3,069 (23.2%)	1,277 (9.6%)	13,241 (100.0%)	2,914 (22.0%)	2,336 (17.6%)	2,856 (21.6%)	2,383 (18.0%)	1,004 (7.6%)	389 (2.9%)	1,359 (10.3%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	66 (0.9%)	99 (1.3%)	374 (5.0%)	1,556 (21.0%)	2,889 (39.0%)	1,661 (22.4%)	769 (10.4%)	7,414 (100.0%)	1,850 (25.0%)	1,300 (17.5%)	1,466 (19.8%)	1,274 (17.2%)	465 (6.3%)	220 (3.0%)	839 (11.3%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	53 (1.5%)	92 (2.8%)	174 (4.9%)	734 (20.8%)	1,277 (36.3%)	831 (23.6%)	361 (10.2%)	3,522 (100.0%)	956 (27.1%)	646 (18.3%)	639 (18.1%)	523 (14.8%)	209 (5.9%)	119 (3.4%)	430 (12.2%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	15 (1.8%)	33 (3.9%)	57 (6.0%)	153 (16.2%)	357 (37.8%)	224 (23.7%)	105 (11.1%)	944 (100.0%)	255 (27.0%)	164 (17.4%)	175 (18.5%)	123 (13.0%)	58 (6.1%)	43 (4.6%)	126 (13.3%)	944 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	8 (1.2%)	12 (1.9%)	61 (9.4%)	395 (61.0%)	110 (17.0%)	62 (9.6%)	648 (100.0%)	177 (27.3%)	102 (15.7%)	164 (25.3%)	131 (20.2%)	9 (1.4%)	0 (0.0%)	65 (10.0%)	648 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、空港及び高速道路等のICまでの距離が 10km 未満の場所に位置する集落の割合は、65 歳以上人口割合が低い集落ほど高くなる傾向にある。

図表2-183 65 歳以上人口割合別・空港、高速道路等の IC までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数								高速道路等のICまでの距離別 集落数							
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	計
50%未満	290 (0.7%)	435 (1.1%)	1,920 (4.9%)	8,118 (20.9%)	15,951 (41.1%)	8,290 (21.3%)	3,841 (9.9%)	38,845 (100.0%)	9,182 (23.6%)	7,080 (18.2%)	8,446 (21.7%)	6,478 (16.7%)	2,573 (6.6%)	1,031 (2.7%)	4,055 (10.4%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	90 (0.4%)	146 (0.6%)	840 (3.5%)	4,387 (18.0%)	10,210 (42.0%)	5,961 (24.5%)	2,699 (11.1%)	24,333 (100.0%)	3,293 (13.5%)	3,522 (14.5%)	5,664 (23.3%)	5,860 (24.1%)	2,441 (10.0%)	740 (3.0%)	2,813 (11.6%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	10 (0.3%)	12 (0.4%)	62 (1.9%)	497 (14.9%)	1,447 (43.3%)	946 (28.3%)	370 (11.1%)	3,344 (100.0%)	234 (7.0%)	306 (9.2%)	778 (23.3%)	1,020 (30.5%)	526 (15.7%)	95 (2.8%)	385 (11.5%)	3,344 (100.0%)
100%	2 (0.1%)	3 (0.2%)	34 (2.5%)	225 (16.8%)	600 (44.7%)	321 (23.9%)	156 (11.6%)	1,341 (100.0%)	102 (7.6%)	132 (9.8%)	334 (24.9%)	366 (27.3%)	201 (15.0%)	43 (3.2%)	163 (12.2%)	1,341 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	9 (1.4%)	12 (1.9%)	59 (9.2%)	382 (59.4%)	90 (14.0%)	91 (14.2%)	643 (100.0%)	55 (8.6%)	64 (10.0%)	247 (38.4%)	176 (27.4%)	7 (1.1%)	0 (0.0%)	94 (14.6%)	643 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

■ 転入者の有無別でみると、空港や高速道路等の IC までの距離の違いによる明確な傾向は見受けられない。

図表2-184 転入者の有無別・空港、高速道路等の IC までの距離別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	空港までの距離別 集落数							高速道路等のICまでの距離別 集落数							計	
	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答	5km未満	5km以上 10km未満	10km以上 20km未満	20km以上 40km未満	40km以上 80km未満	80km以上	無回答		
転入者が いる	237 (0.8%)	344 (1.2%)	1,328 (4.4%)	5,651 (18.9%)	13,021 (43.6%)	6,414 (21.5%)	2,894 (9.7%)	29,889 (100.0%)	5,312 (17.8%)	4,593 (15.4%)	6,948 (23.2%)	6,667 (22.3%)	2,268 (7.6%)	914 (3.1%)	3,187 (10.7%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	9 (0.2%)	32 (0.6%)	202 (3.6%)	902 (16.0%)	2,331 (41.4%)	1,215 (21.6%)	940 (16.7%)	5,631 (100.0%)	599 (10.6%)	648 (11.5%)	1,212 (21.5%)	1,347 (23.9%)	727 (12.9%)	134 (2.4%)	964 (17.1%)	5,631 (100.0%)
分からない	146 (0.5%)	229 (0.7%)	1,338 (4.1%)	6,657 (20.5%)	12,893 (39.7%)	7,951 (24.5%)	3,223 (9.9%)	32,437 (100.0%)	6,951 (21.4%)	5,838 (18.0%)	7,225 (22.3%)	5,672 (17.5%)	2,647 (8.2%)	845 (2.6%)	3,259 (10.0%)	32,437 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	76 (1.3%)	345 (6.2%)	28 (5.1%)	100 (18.2%)	549 (100.0%)	4 (0.7%)	25 (4.6%)	84 (15.3%)	214 (39.0%)	106 (19.3%)	16 (2.9%)	100 (18.2%)	549 (100.0%)
合計	392 (0.6%)	605 (0.9%)	2,868 (4.2%)	13,286 (19.4%)	28,590 (41.7%)	15,608 (22.8%)	7,157 (10.4%)	68,506 (100.0%)	12,866 (18.8%)	11,104 (16.2%)	15,469 (22.6%)	13,900 (20.3%)	5,748 (8.4%)	1,909 (2.8%)	7,510 (11.0%)	68,506 (100.0%)

(7)生活サービス機能の立地状況

【全体】

- 生活サービス機能の立地状況をみると、全体の 34.1%の集落には公民館・集会所があり、21.9%の集落には商店・スーパーが、また 56.2%の集落には駅やバス停がある。一方、病院・診療所やガソリンスタンド、(簡易)郵便局、デイサービスセンター、小学校、幼稚園・保育所等がある集落はそれぞれ1割に満たない。
- 地域指定別でみると、離島地域の集落では多くの生活サービス機能の立地割合が高くなっている。

図表2-185 生活サービス機能が立地している集落数【全体】

全体	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
1 北海道	284 (7.0%)	1,516 (37.5%)	387 (9.6%)	953 (23.6%)	1,024 (25.3%)	550 (13.6%)	699 (17.3%)	704 (17.4%)	333 (8.2%)	2,537 (62.7%)	418 (10.3%)	406 (10.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	643 (3.5%)	5,744 (31.2%)	1,487 (8.1%)	4,431 (24.0%)	3,487 (18.9%)	1,505 (8.2%)	1,652 (9.0%)	2,162 (11.7%)	1,478 (8.0%)	10,367 (56.2%)	963 (5.2%)	1,279 (6.9%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	200 (4.9%)	1,527 (37.6%)	462 (11.4%)	1,189 (29.3%)	1,417 (34.9%)	457 (11.3%)	498 (12.3%)	650 (16.0%)	415 (10.2%)	2,372 (58.5%)	286 (7.0%)	330 (8.1%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	76 (2.3%)	931 (27.6%)	257 (7.6%)	788 (23.4%)	796 (23.6%)	209 (6.2%)	276 (8.2%)	407 (12.1%)	247 (7.3%)	2,358 (69.9%)	178 (5.3%)	215 (6.4%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	314 (5.8%)	2,822 (52.0%)	581 (10.7%)	1,197 (22.1%)	1,588 (29.3%)	514 (9.5%)	577 (10.6%)	798 (14.7%)	517 (9.5%)	3,990 (73.5%)	403 (7.4%)	449 (8.3%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	212 (4.3%)	2,209 (45.3%)	660 (13.5%)	1,198 (24.6%)	1,474 (30.2%)	474 (9.7%)	628 (12.9%)	727 (14.9%)	507 (10.4%)	3,453 (70.8%)	416 (8.5%)	405 (8.3%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	371 (2.7%)	2,327 (16.9%)	1,001 (7.2%)	1,933 (14.0%)	1,658 (12.0%)	637 (4.6%)	942 (6.8%)	1,123 (8.1%)	830 (6.0%)	5,687 (41.2%)	562 (4.1%)	630 (4.6%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	469 (6.2%)	2,311 (30.6%)	585 (7.7%)	1,424 (18.8%)	1,082 (14.3%)	494 (6.5%)	545 (7.2%)	633 (8.4%)	400 (5.3%)	3,668 (48.5%)	334 (4.4%)	379 (5.0%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	498 (3.0%)	7,207 (43.3%)	1,658 (10.0%)	3,950 (23.7%)	3,150 (18.9%)	1,366 (8.2%)	1,557 (9.4%)	1,770 (10.6%)	1,385 (8.3%)	9,455 (56.8%)	1,124 (6.8%)	1,433 (8.6%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	23 (8.9%)	204 (79.4%)	41 (16.0%)	138 (53.7%)	158 (61.5%)	35 (13.6%)	34 (13.2%)	54 (21.0%)	64 (24.9%)	191 (74.3%)	52 (20.2%)	65 (25.3%)	257 (100.0%)
合計	3,090 (3.9%)	26,798 (34.1%)	7,119 (9.1%)	17,201 (21.9%)	15,834 (20.2%)	6,241 (8.0%)	7,408 (9.4%)	9,028 (11.5%)	6,176 (7.9%)	44,078 (56.2%)	4,736 (6.0%)	5,591 (7.1%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	2,867 (3.7%)	25,459 (33.2%)	6,876 (9.0%)	17,283 (22.5%)	14,156 (18.5%)	6,347 (8.3%)	6,986 (9.1%)	8,190 (10.7%)	5,623 (7.3%)	41,717 (54.4%)	4,933 (6.4%)	5,677 (7.4%)	76,710 (100.0%)

※調査項目は図表 2-5(P2-6) 参照。

図表2-186 地域指定別 生活サービス機能が立地している集落数【全体】

全体	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
過疎地域	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)
振興山村	1,085 (4.0%)	10,045 (36.9%)	1,477 (5.4%)	4,077 (15.0%)	4,275 (15.7%)	1,722 (6.3%)	2,578 (9.5%)	2,505 (9.2%)	1,561 (5.7%)	16,198 (59.5%)	1,395 (5.1%)	1,337 (4.9%)	27,207 (100.0%)
離島	196 (8.0%)	1,190 (48.3%)	317 (12.9%)	837 (34.0%)	652 (26.5%)	301 (12.2%)	404 (16.4%)	383 (15.5%)	279 (11.3%)	1,370 (55.6%)	261 (10.6%)	262 (10.6%)	2,465 (100.0%)
半島	612 (4.3%)	5,942 (41.3%)	1,797 (12.5%)	4,162 (28.9%)	3,542 (24.6%)	1,472 (10.2%)	1,719 (11.9%)	2,145 (14.9%)	1,385 (9.6%)	9,018 (62.7%)	1,123 (7.8%)	1,399 (9.7%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	473 (3.9%)	3,564 (29.5%)	956 (7.9%)	2,575 (21.3%)	2,523 (20.9%)	936 (7.7%)	1,132 (9.4%)	1,410 (11.7%)	925 (7.7%)	6,838 (56.6%)	678 (5.6%)	828 (6.9%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生活サービス機能の立地状況をみると、全体の 34.4%の集落には公民館・集会所があり、21.7%の集落には商店・スーパーが、また 55.2%の集落には駅やバス停がある。一方、病院・診療所やガソリンスタンド、(簡易)郵便局、デイサービスセンター、小学校、幼稚園・保育所等がある集落はそれぞれ1割に満たない。
- 地方ブロック別でみると、北海道、首都圏、中部圏、近畿圏、沖縄県では、全ての生活サービス機能の立地割合が全国を上回っている。

図表2-187 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
1 北海道	267 (7.0%)	1,443 (38.1%)	351 (9.3%)	884 (23.3%)	925 (24.4%)	516 (13.6%)	657 (17.3%)	660 (17.4%)	306 (8.1%)	2,339 (61.7%)	383 (10.1%)	375 (9.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	558 (3.6%)	5,017 (32.2%)	1,117 (7.2%)	3,780 (24.3%)	2,862 (18.4%)	1,210 (7.8%)	1,352 (8.7%)	1,735 (11.1%)	1,154 (7.4%)	8,838 (56.7%)	732 (4.7%)	942 (6.0%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	150 (4.5%)	1,251 (37.3%)	348 (10.4%)	952 (28.4%)	1,068 (31.8%)	354 (10.5%)	382 (11.4%)	482 (14.4%)	302 (9.0%)	1,885 (56.1%)	203 (6.0%)	240 (7.1%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	44 (1.8%)	661 (26.8%)	192 (7.8%)	655 (26.5%)	611 (24.7%)	158 (6.4%)	207 (8.4%)	312 (12.6%)	169 (6.8%)	1,695 (68.6%)	108 (4.4%)	134 (5.4%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	224 (6.1%)	1,966 (53.2%)	352 (9.5%)	832 (22.5%)	1,077 (29.2%)	333 (9.0%)	391 (10.6%)	525 (14.2%)	332 (9.0%)	2,702 (73.2%)	225 (6.1%)	252 (6.8%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	183 (4.4%)	1,921 (46.0%)	514 (12.3%)	993 (23.8%)	1,236 (29.6%)	375 (9.0%)	519 (12.4%)	585 (14.0%)	377 (9.0%)	2,908 (69.6%)	323 (7.7%)	309 (7.4%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	325 (2.5%)	2,052 (15.9%)	867 (6.7%)	1,701 (13.2%)	1,447 (11.2%)	562 (4.4%)	850 (6.6%)	1,002 (7.8%)	711 (5.5%)	5,171 (40.2%)	481 (3.7%)	544 (4.2%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	434 (6.1%)	2,202 (31.0%)	548 (7.7%)	1,338 (18.9%)	984 (13.9%)	452 (6.4%)	490 (6.9%)	570 (8.0%)	375 (5.3%)	3,360 (47.4%)	295 (4.2%)	343 (4.8%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	444 (2.9%)	6,840 (45.0%)	1,487 (9.8%)	3,593 (23.6%)	2,781 (18.3%)	1,247 (8.2%)	1,406 (9.2%)	1,571 (10.3%)	1,225 (8.1%)	8,734 (57.4%)	999 (6.6%)	1,248 (8.2%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	23 (8.9%)	204 (79.4%)	41 (16.0%)	138 (53.7%)	158 (61.5%)	35 (13.6%)	34 (13.2%)	54 (21.0%)	64 (24.9%)	191 (74.3%)	52 (20.2%)	65 (25.3%)	257 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、各種生活サービス機能が立地している集落の割合は中心集落において特に高く、また基礎集落との開きが大きい。
- 基礎集落と中心集落の各種生活サービス機能の立地状況を比較すると、商店・スーパーが最も差が大きい。

図表2-188 集落類型別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
基礎集落	859 (1.5%)	17,885 (32.0%)	2,983 (5.3%)	9,286 (16.6%)	8,327 (14.9%)	2,867 (5.1%)	3,123 (5.6%)	3,659 (6.5%)	3,036 (5.4%)	30,093 (53.8%)	1,820 (3.3%)	2,334 (4.2%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	438 (6.4%)	3,426 (50.0%)	1,156 (16.9%)	2,813 (41.1%)	2,229 (32.5%)	1,136 (16.6%)	1,794 (26.2%)	1,791 (26.1%)	918 (13.4%)	4,689 (68.5%)	1,021 (14.9%)	1,043 (15.2%)	6,849 (100.0%)
中心集落	1,338 (26.2%)	1,907 (37.3%)	1,636 (32.0%)	2,682 (52.5%)	2,497 (48.9%)	1,203 (23.6%)	1,320 (25.9%)	1,993 (39.0%)	1,031 (20.2%)	2,868 (56.2%)	925 (18.1%)	1,037 (20.3%)	5,106 (100.0%)
無回答	17 (2.9%)	339 (57.8%)	42 (7.2%)	85 (14.5%)	96 (16.4%)	36 (6.1%)	51 (8.7%)	53 (9.0%)	30 (5.1%)	173 (29.5%)	35 (6.0%)	38 (6.5%)	586 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落では、駅・バス停や公民館・集会所を除く生活サービス機能について立地している集落の割合が最も高くなっている。
- 一方、山間地集落では、各種生活サービス機能の立地集落の割合は総じて低く、特に商店・スーパーが立地している集落の割合は10.8%と全体(21.7%)より10ポイント以上低くなっている。

図表2-189 地域区分別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											総集落数	
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カ/コンビニ	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校		幼稚園・保育所等
山間地	444 (2.2%)	7,217 (36.4%)	672 (3.4%)	2,135 (10.8%)	2,325 (11.7%)	795 (4.0%)	1,450 (7.3%)	1,142 (5.8%)	712 (3.6%)	11,314 (57.0%)	599 (3.0%)	557 (2.8%)	19,849 (100.0%)
中間地	936 (4.6%)	7,752 (37.8%)	1,411 (6.9%)	3,977 (19.4%)	3,515 (17.1%)	1,532 (7.5%)	2,054 (10.0%)	2,077 (10.1%)	1,633 (8.0%)	12,147 (59.2%)	1,242 (6.1%)	1,258 (6.1%)	20,528 (100.0%)
平地	1,000 (4.5%)	7,120 (31.8%)	2,423 (10.8%)	6,004 (26.8%)	4,907 (21.9%)	2,205 (9.8%)	2,155 (9.6%)	3,015 (13.5%)	1,997 (8.9%)	11,462 (51.2%)	1,562 (7.0%)	1,909 (8.5%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	238 (4.6%)	1,247 (24.2%)	1,274 (24.8%)	2,630 (51.1%)	2,301 (44.7%)	656 (12.8%)	568 (11.0%)	1,201 (23.3%)	643 (12.5%)	2,633 (51.2%)	359 (7.0%)	691 (13.4%)	5,145 (100.0%)
無回答	34 (5.8%)	221 (37.8%)	37 (6.3%)	120 (20.4%)	101 (17.2%)	54 (9.2%)	61 (10.4%)	61 (10.4%)	30 (5.1%)	267 (45.4%)	39 (6.6%)	37 (6.3%)	588 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)に近い集落の方が多くの生活サービス機能の立地割合が高いが、(簡易)郵便局と駅・バス停については、役場(本庁)から20km以上離れた集落で最も立地割合が高い。
- また、公民館・集会所は、役場(本庁)までの距離に関わらず3割程度の集落で立地がみられる。

図表2-190 役場(本庁)までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											総集落数	
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カ/コンビニ	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校		幼稚園・保育所等
5km未満	897 (4.0%)	7,865 (35.3%)	3,141 (14.1%)	6,915 (31.0%)	6,200 (27.8%)	2,316 (10.4%)	2,035 (9.1%)	3,336 (15.0%)	2,302 (10.3%)	12,051 (54.0%)	1,477 (6.6%)	2,128 (9.5%)	22,297 (100.0%)
5km以上	402 (2.5%)	5,710 (35.8%)	902 (5.7%)	3,024 (19.0%)	2,595 (16.3%)	1,058 (6.6%)	1,412 (8.9%)	1,518 (9.5%)	1,018 (6.4%)	8,892 (55.8%)	889 (5.6%)	908 (5.7%)	15,937 (100.0%)
10km未満	730 (4.1%)	5,976 (33.4%)	1,041 (5.8%)	3,052 (17.1%)	2,655 (14.8%)	1,122 (6.3%)	1,647 (9.2%)	1,605 (9.0%)	1,085 (6.1%)	9,908 (55.4%)	897 (5.0%)	904 (5.1%)	17,879 (100.0%)
20km以上	610 (5.1%)	3,819 (31.9%)	687 (5.7%)	1,777 (14.8%)	1,577 (13.2%)	714 (6.0%)	1,153 (9.6%)	990 (8.3%)	573 (4.8%)	6,855 (57.2%)	517 (4.3%)	489 (4.1%)	11,979 (100.0%)
無回答	13 (3.1%)	187 (45.2%)	46 (11.1%)	98 (23.7%)	122 (29.5%)	32 (7.7%)	41 (9.9%)	47 (11.4%)	37 (8.9%)	117 (28.3%)	21 (5.1%)	23 (5.6%)	414 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別でみると、特に「病院・診療所」、「商店・スーパー」、「飲食店・喫茶店」、「幼稚園・保育所等」については、新幹線駅までの距離が5km未満の集落で立地割合が高くなっている。

図表2-191 新幹線駅までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
5km未満	40 (4.0%)	340 (33.8%)	164 (16.3%)	365 (36.3%)	286 (28.5%)	108 (10.7%)	92 (9.2%)	182 (18.1%)	121 (12.0%)	544 (54.1%)	62 (6.2%)	122 (12.1%)	1,005 (100.0%)
5km以上	52 (2.9%)	551 (30.5%)	161 (8.9%)	381 (21.1%)	260 (14.4%)	140 (7.7%)	139 (7.7%)	210 (11.6%)	168 (9.3%)	755 (41.7%)	102 (5.6%)	120 (6.6%)	1,809 (100.0%)
10km未満	177 (3.6%)	2,007 (41.0%)	410 (8.4%)	1,194 (24.4%)	960 (19.6%)	351 (8.5%)	414 (8.5%)	593 (12.1%)	438 (9.0%)	2,742 (56.1%)	264 (5.4%)	337 (6.9%)	4,891 (100.0%)
10km以上	426 (3.4%)	4,407 (35.5%)	1,082 (8.7%)	2,819 (22.7%)	2,613 (21.0%)	898 (7.2%)	1,053 (8.9%)	1,355 (10.9%)	932 (7.5%)	7,218 (58.1%)	630 (5.1%)	802 (6.5%)	12,416 (100.0%)
20km未満	566 (3.3%)	5,609 (32.4%)	1,453 (8.4%)	3,683 (21.3%)	3,464 (20.0%)	1,255 (7.3%)	1,549 (9.0%)	1,855 (10.7%)	1,178 (6.8%)	9,539 (55.2%)	904 (5.2%)	1,062 (6.1%)	17,292 (100.0%)
20km以上	866 (3.8%)	7,673 (33.8%)	1,877 (8.3%)	4,677 (20.6%)	4,125 (18.2%)	1,734 (7.6%)	2,163 (9.5%)	2,436 (10.7%)	1,554 (6.8%)	12,850 (56.5%)	1,266 (5.6%)	1,346 (5.9%)	22,726 (100.0%)
40km未満	525 (6.3%)	2,970 (35.5%)	670 (8.0%)	1,747 (20.9%)	1,441 (17.2%)	756 (9.0%)	878 (10.3%)	865 (10.3%)	624 (7.5%)	4,175 (49.9%)	573 (6.8%)	663 (7.9%)	8,367 (100.0%)
40km以上	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別でみると、特に「病院・診療所」、「商店・スーパー」、「飲食店・喫茶店」については、特急停車駅までの距離が5km未満の集落で立地割合が高くなっている。

図表2-192 特急停車駅までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
5km未満	277 (3.2%)	2,371 (27.5%)	1,207 (14.0%)	2,538 (29.4%)	2,372 (27.5%)	790 (9.2%)	713 (8.3%)	1,230 (14.3%)	850 (9.9%)	4,296 (49.8%)	494 (5.7%)	743 (8.6%)	8,624 (100.0%)
5km以上	231 (3.3%)	2,564 (36.3%)	575 (8.1%)	1,393 (19.7%)	1,239 (17.5%)	512 (7.2%)	632 (8.9%)	762 (10.8%)	553 (7.8%)	3,902 (55.2%)	419 (5.9%)	473 (6.7%)	7,068 (100.0%)
10km未満	464 (3.9%)	4,827 (40.5%)	877 (7.4%)	2,253 (18.9%)	2,041 (17.1%)	805 (6.8%)	1,070 (9.0%)	1,224 (10.3%)	891 (7.5%)	6,990 (58.7%)	644 (5.4%)	688 (5.8%)	11,911 (100.0%)
10km以上	587 (3.4%)	5,931 (34.5%)	1,318 (7.7%)	3,353 (19.5%)	3,162 (18.4%)	1,211 (7.0%)	1,521 (8.8%)	1,755 (10.2%)	1,139 (6.6%)	9,927 (57.8%)	814 (4.7%)	937 (5.5%)	17,189 (100.0%)
20km未満	422 (3.4%)	3,845 (31.4%)	913 (7.5%)	2,541 (20.8%)	2,243 (18.3%)	883 (7.2%)	1,100 (9.0%)	1,284 (10.5%)	699 (5.7%)	6,446 (52.7%)	650 (5.3%)	710 (5.8%)	12,234 (100.0%)
20km以上	170 (5.0%)	1,212 (35.4%)	303 (8.8%)	1,047 (30.6%)	732 (21.4%)	335 (9.8%)	466 (13.6%)	458 (13.4%)	282 (8.2%)	2,195 (64.1%)	248 (7.2%)	292 (8.5%)	3,426 (100.0%)
40km未満	501 (6.2%)	2,807 (34.9%)	624 (7.7%)	1,741 (21.6%)	1,360 (16.9%)	706 (8.8%)	786 (9.7%)	783 (9.7%)	601 (7.5%)	4,067 (50.5%)	532 (6.6%)	609 (7.6%)	8,054 (100.0%)
40km以上	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別でみると、「病院・診療所」、「商店・スーパー」、「ガソリンスタンド」、「ATM」については、概ね空港までの距離が近い集落ほど、立地割合が高くなっている。

図表2-193 空港までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
5km未満	27 (6.9%)	133 (33.9%)	55 (14.0%)	154 (39.3%)	123 (31.4%)	60 (15.3%)	48 (12.2%)	68 (17.3%)	50 (12.8%)	236 (60.2%)	34 (8.7%)	46 (11.7%)	392 (100.0%)
5km以上	24 (4.0%)	257 (42.5%)	65 (10.7%)	182 (30.1%)	170 (28.1%)	67 (11.1%)	79 (13.1%)	99 (16.4%)	82 (13.6%)	353 (58.3%)	54 (8.9%)	87 (14.4%)	605 (100.0%)
10km未満	103 (3.6%)	973 (33.9%)	259 (9.0%)	702 (24.5%)	614 (21.4%)	274 (9.6%)	312 (10.9%)	348 (12.1%)	264 (9.2%)	1,519 (53.0%)	202 (7.0%)	229 (8.0%)	2,868 (100.0%)
10km以上	416 (3.1%)	4,329 (32.6%)	1,194 (9.0%)	2,975 (22.4%)	2,464 (18.5%)	964 (7.3%)	1,125 (8.5%)	1,482 (11.2%)	1,025 (7.7%)	6,929 (52.2%)	707 (5.3%)	858 (6.5%)	13,286 (100.0%)
20km未満	976 (3.4%)	9,137 (32.0%)	2,354 (8.2%)	6,119 (21.4%)	5,486 (19.2%)	2,035 (7.1%)	2,431 (8.5%)	3,038 (10.6%)	1,975 (6.9%)	15,641 (54.7%)	1,465 (5.1%)	1,719 (6.0%)	28,590 (100.0%)
20km以上	648 (4.2%)	6,357 (40.7%)	1,317 (8.4%)	3,379 (21.6%)	3,277 (21.0%)	1,262 (8.1%)	1,626 (10.4%)	1,788 (11.5%)	1,118 (7.2%)	9,781 (62.1%)	949 (6.1%)	1,034 (6.6%)	15,608 (100.0%)
40km未満	458 (6.4%)	2,371 (33.1%)	573 (8.0%)	1,355 (18.9%)	1,015 (14.2%)	580 (8.1%)	667 (9.3%)	673 (9.4%)	501 (7.0%)	3,364 (47.0%)	390 (5.4%)	479 (6.7%)	7,157 (100.0%)
40km以上	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等の IC までの距離別でみると、特に「病院・診療所」、「商店・スーパー」、「飲食店・喫茶店」については、高速道路等の IC までの距離が 5km 未満の集落で立地割合が高くなっている。

図表2-194 高速道路等の IC までの距離別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	コンビニストア	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
5km未満	428 (3.3%)	3,681 (28.6%)	1,621 (12.6%)	3,620 (28.1%)	3,294 (25.6%)	1,130 (8.8%)	1,070 (8.3%)	1,798 (14.0%)	1,171 (9.1%)	6,471 (50.3%)	746 (5.8%)	1,014 (7.9%)	12,866 (100.0%)
5km以上	295 (2.7%)	3,892 (35.1%)	870 (7.8%)	2,223 (20.0%)	1,935 (17.4%)	745 (6.7%)	969 (8.7%)	1,130 (10.2%)	868 (7.8%)	6,232 (56.1%)	640 (5.8%)	740 (6.7%)	11,104 (100.0%)
10km未満	499 (3.2%)	5,355 (34.6%)	1,109 (7.2%)	2,893 (18.7%)	2,580 (16.7%)	1,042 (6.7%)	1,296 (8.4%)	1,514 (9.8%)	983 (6.4%)	8,623 (55.7%)	754 (4.9%)	821 (5.3%)	15,469 (100.0%)
20km以上	553 (4.0%)	4,891 (35.2%)	1,019 (7.3%)	2,707 (19.5%)	2,631 (18.9%)	997 (7.2%)	1,301 (9.4%)	1,448 (10.4%)	889 (6.4%)	8,473 (61.0%)	684 (4.9%)	778 (5.6%)	13,900 (100.0%)
40km以上	286 (5.0%)	2,258 (39.3%)	425 (7.4%)	1,271 (22.1%)	1,060 (18.4%)	462 (8.0%)	612 (10.6%)	612 (10.6%)	375 (6.5%)	3,150 (54.8%)	335 (5.8%)	354 (6.2%)	5,748 (100.0%)
80km以上	116 (6.1%)	787 (41.2%)	180 (9.4%)	572 (30.0%)	423 (22.2%)	227 (11.9%)	292 (15.3%)	260 (13.6%)	189 (9.9%)	1,252 (65.6%)	159 (8.3%)	180 (9.4%)	1,909 (100.0%)
無回答	475 (6.3%)	2,693 (35.9%)	593 (7.9%)	1,580 (21.0%)	1,226 (16.3%)	639 (8.5%)	748 (10.0%)	734 (9.8%)	540 (7.2%)	3,622 (48.2%)	483 (6.4%)	565 (7.5%)	7,510 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が小さくなるほど、生活サービス機能の立地割合が低くなる傾向がみられる。
- このうち、25 人未満の集落では、駅・バス停と公民館・集会所を除く生活サービス機能の立地割合が全て 7%未満となっている。

図表2-195 集落の人口規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	コンビニストア	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9人	33 (0.9%)	531 (15.3%)	35 (1.0%)	50 (1.4%)	75 (2.2%)	15 (0.4%)	26 (0.7%)	19 (0.5%)	34 (1.0%)	1,141 (32.8%)	19 (0.5%)	11 (0.3%)	3,474 (100.0%)
10～24人	93 (1.1%)	1,772 (21.5%)	105 (1.3%)	325 (3.9%)	381 (4.6%)	98 (1.2%)	183 (2.2%)	139 (1.7%)	94 (1.1%)	3,379 (41.0%)	68 (0.8%)	58 (0.7%)	8,236 (100.0%)
25～49人	209 (1.6%)	3,276 (25.5%)	348 (2.7%)	1,166 (9.1%)	995 (7.7%)	272 (2.1%)	467 (3.6%)	455 (3.5%)	271 (2.1%)	5,881 (45.8%)	201 (1.6%)	182 (1.4%)	12,848 (100.0%)
50～99人	431 (2.6%)	5,322 (32.6%)	773 (4.7%)	2,643 (16.2%)	2,202 (13.5%)	681 (4.2%)	1,009 (6.2%)	1,100 (6.7%)	657 (4.0%)	8,609 (52.8%)	504 (3.1%)	496 (3.0%)	16,309 (100.0%)
100～199人	506 (3.6%)	5,599 (39.8%)	1,155 (8.2%)	3,732 (26.5%)	3,139 (22.3%)	1,127 (8.0%)	1,417 (10.1%)	1,631 (11.6%)	1,034 (7.3%)	8,710 (61.9%)	850 (6.0%)	960 (6.8%)	14,069 (100.0%)
200～499人	674 (7.0%)	4,696 (48.6%)	1,789 (18.5%)	4,317 (44.7%)	3,830 (39.6%)	1,603 (16.6%)	1,742 (18.0%)	2,313 (23.9%)	1,550 (16.0%)	6,868 (71.1%)	1,068 (11.1%)	1,370 (14.2%)	9,660 (100.0%)
500～999人	366 (15.1%)	1,390 (57.2%)	901 (37.1%)	1,631 (67.1%)	1,566 (64.4%)	812 (33.4%)	774 (31.9%)	1,054 (43.4%)	724 (29.8%)	2,013 (82.8%)	543 (22.3%)	729 (30.0%)	2,430 (100.0%)
1000人～	323 (32.3%)	723 (72.4%)	675 (67.6%)	865 (86.6%)	860 (86.1%)	583 (58.4%)	625 (62.6%)	732 (73.3%)	604 (60.5%)	916 (91.7%)	509 (51.0%)	603 (60.4%)	999 (100.0%)
無回答	17 (3.5%)	248 (51.6%)	36 (7.5%)	137 (28.5%)	101 (21.0%)	51 (10.6%)	45 (9.4%)	53 (11.0%)	47 (9.8%)	306 (63.6%)	39 (8.1%)	43 (8.9%)	481 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、人口規模と同様、世帯数規模が小さい集落ほど各種生活サービス機能が立地している集落の割合が低くなっている。
- 一方、10世帯未満の集落でも約3分の1には駅・バス停がある。

図表2-196 集落の世帯数規模別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリスト	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
～9世帯	67 (0.8%)	1,383 (16.7%)	76 (0.9%)	198 (2.4%)	269 (3.3%)	56 (0.7%)	102 (1.2%)	84 (1.0%)	68 (0.8%)	2,959 (35.8%)	49 (0.6%)	36 (0.4%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	163 (1.3%)	2,939 (23.9%)	238 (1.9%)	826 (6.7%)	750 (6.1%)	215 (1.7%)	342 (2.8%)	310 (2.5%)	202 (1.6%)	5,332 (43.3%)	155 (1.3%)	131 (1.1%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	183 (1.9%)	2,819 (29.2%)	308 (3.2%)	1,147 (11.9%)	956 (9.9%)	264 (2.7%)	444 (4.6%)	468 (4.8%)	254 (2.6%)	4,714 (48.8%)	200 (2.1%)	194 (2.0%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	353 (2.8%)	4,326 (34.6%)	666 (5.3%)	2,297 (18.4%)	1,870 (15.0%)	617 (4.9%)	849 (6.8%)	926 (7.4%)	525 (4.2%)	6,909 (55.3%)	454 (3.6%)	477 (3.8%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	514 (3.9%)	5,492 (41.5%)	1,215 (9.2%)	3,775 (28.5%)	3,212 (24.3%)	1,138 (8.6%)	1,427 (10.8%)	1,676 (12.7%)	1,075 (8.1%)	8,393 (63.4%)	871 (6.6%)	956 (7.2%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	530 (7.1%)	3,639 (49.1%)	1,351 (18.2%)	3,330 (44.9%)	2,962 (40.0%)	1,249 (16.8%)	1,383 (18.7%)	1,801 (24.3%)	1,229 (16.6%)	5,354 (72.2%)	818 (11.0%)	1,059 (14.3%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	487 (13.8%)	1,992 (56.6%)	1,281 (36.4%)	2,321 (65.9%)	2,181 (61.9%)	1,079 (30.6%)	1,080 (30.7%)	1,470 (41.7%)	1,027 (29.2%)	2,888 (81.4%)	727 (20.6%)	977 (27.7%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	326 (34.5%)	696 (73.7%)	645 (68.3%)	823 (87.2%)	814 (86.2%)	569 (60.3%)	614 (65.0%)	697 (73.8%)	587 (62.2%)	867 (91.8%)	489 (51.8%)	584 (61.9%)	944 (100.0%)
無回答	29 (4.5%)	271 (41.8%)	37 (5.7%)	149 (23.0%)	135 (20.8%)	55 (8.5%)	47 (7.3%)	64 (9.9%)	48 (7.4%)	427 (65.9%)	38 (5.9%)	38 (5.9%)	648 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、総じて高齢者割合が高い集落において、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が低い。

図表2-197 65歳以上人口割合別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリスト	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
50%未満	1,772 (4.6%)	13,609 (35.0%)	4,499 (11.6%)	10,626 (27.4%)	9,644 (24.8%)	3,987 (10.3%)	3,957 (10.2%)	5,409 (13.9%)	3,581 (9.2%)	21,574 (55.5%)	2,934 (7.6%)	3,573 (9.2%)	38,845 (100.0%)
50%以上	790 (3.2%)	8,508 (35.0%)	1,201 (4.9%)	3,868 (15.9%)	3,172 (13.0%)	1,135 (4.7%)	2,122 (8.7%)	1,916 (7.9%)	1,200 (4.9%)	13,884 (57.0%)	786 (3.2%)	795 (3.3%)	24,333 (100.0%)
75%以上	55 (1.6%)	908 (27.2%)	54 (1.6%)	167 (5.0%)	164 (4.9%)	43 (1.3%)	125 (3.7%)	78 (2.3%)	93 (2.8%)	1,574 (47.1%)	24 (0.7%)	23 (0.7%)	3,344 (100.0%)
100%	11 (0.8%)	193 (14.4%)	10 (0.7%)	11 (0.8%)	17 (1.3%)	5 (0.4%)	8 (0.6%)	5 (0.4%)	75 (5.6%)	406 (30.3%)	5 (0.4%)	2 (0.1%)	1,341 (100.0%)
無回答	24 (3.7%)	339 (52.7%)	53 (8.2%)	194 (30.2%)	152 (23.6%)	72 (11.2%)	76 (11.8%)	88 (13.7%)	66 (10.3%)	405 (63.0%)	52 (8.1%)	59 (9.2%)	643 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいないとされる集落よりも、各種生活サービス機能が立地している集落の割合が高く、特に商店・スーパーや飲食店・喫茶店においてその差が大きい。

図表2-198 転入者の有無別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	カソリスト	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
転入者がいる	1,390 (4.7%)	12,981 (43.4%)	3,134 (10.5%)	7,892 (26.4%)	6,998 (23.4%)	2,905 (9.7%)	3,450 (11.5%)	4,160 (13.9%)	2,672 (8.9%)	18,841 (63.0%)	2,142 (7.2%)	2,450 (8.2%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	240 (4.3%)	1,437 (25.5%)	132 (2.3%)	498 (8.8%)	384 (6.8%)	120 (2.1%)	162 (2.9%)	170 (3.0%)	89 (1.6%)	2,603 (46.2%)	74 (1.3%)	70 (1.2%)	5,631 (100.0%)
分からない	1,012 (3.1%)	8,961 (27.6%)	2,528 (7.8%)	6,415 (19.8%)	5,702 (17.6%)	2,193 (6.8%)	2,641 (8.1%)	3,127 (9.6%)	2,232 (6.9%)	16,269 (50.2%)	1,565 (4.8%)	1,911 (5.9%)	32,437 (100.0%)
無回答	10 (1.8%)	178 (32.4%)	23 (4.2%)	61 (11.1%)	65 (11.8%)	24 (4.4%)	35 (6.4%)	39 (7.1%)	22 (4.0%)	110 (20.0%)	20 (3.6%)	21 (3.8%)	549 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.5%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、全体では約2割の集落に立地している商店・スーパーが、地形的に末端にある集落では6.8%にしか立地していない。

図表2-199 地形的末端性別・生活サービス機能が立地している集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活サービス機能の立地状況（各サービスが立地している集落数）												総集落数
	市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	コンビニストア	（簡易）郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等	
地形的な末端である	63 (1.6%)	1,386 (35.3%)	93 (2.4%)	265 (6.8%)	355 (9.0%)	77 (2.0%)	184 (4.7%)	121 (3.1%)	110 (2.8%)	1,867 (47.6%)	74 (1.9%)	61 (1.6%)	3,924 (100.0%)
地形的な末端でない	2,589 (4.0%)	22,171 (34.3%)	5,724 (8.9%)	14,601 (22.6%)	12,794 (19.8%)	5,165 (8.0%)	6,104 (9.5%)	7,375 (11.4%)	4,905 (7.6%)	35,956 (55.7%)	3,727 (5.8%)	4,391 (6.8%)	64,582 (100.0%)
合計	2,652 (3.9%)	23,557 (34.4%)	5,817 (8.9%)	14,866 (21.7%)	13,149 (19.2%)	5,242 (7.7%)	6,288 (9.2%)	7,496 (10.9%)	5,015 (7.3%)	37,823 (55.2%)	3,801 (5.5%)	4,452 (6.5%)	68,506 (100.0%)

(8) サポート人材が活動する集落の状況

【全体】

- 集落支援員や地域おこし協力隊などのサポート人材が活動する集落の状況をみると、条件不利地域の集落の41.8%では何らかのサポート人材が活動しており、前回調査時点より8.9ポイント増加している。具体的には28.8%の集落で集落支援員が、22.0%の集落で地域おこし協力隊等が活動している。

図表2-200 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】

全体	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
1 北海道	897 (22.2%)	515 (12.7%)	566 (14.0%)	37 (0.9%)	3,147 (77.8%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	6,258 (33.9%)	5,048 (27.4%)	2,385 (12.9%)	89 (0.5%)	12,176 (66.1%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	1,159 (28.6%)	594 (14.6%)	680 (16.8%)	101 (2.5%)	2,898 (71.4%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	1,281 (38.0%)	430 (12.7%)	889 (26.4%)	9 (0.3%)	2,092 (62.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	2,341 (43.1%)	1,784 (32.9%)	1,229 (22.6%)	56 (1.0%)	3,086 (56.9%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	1,883 (38.6%)	1,568 (32.2%)	946 (19.4%)	5 (0.1%)	2,992 (61.4%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	8,368 (60.6%)	6,182 (44.8%)	4,884 (35.4%)	378 (2.7%)	5,439 (39.4%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	4,104 (54.3%)	1,798 (23.8%)	2,761 (36.5%)	259 (3.4%)	3,459 (45.7%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	6,445 (38.7%)	4,680 (28.1%)	2,898 (17.4%)	464 (2.8%)	10,203 (61.3%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	39 (15.2%)	26 (10.1%)	13 (5.1%)	1 (0.4%)	218 (84.8%)	257 (100.0%)
合計	32,775 (41.8%)	22,625 (28.8%)	17,251 (22.0%)	1,399 (1.8%)	45,710 (58.2%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	25,213 (32.9%)	14,825 (19.3%)	15,302 (19.9%)	1,491 (1.9%)	51,497 (67.1%)	76,710 (100.0%)

※同一集落に複数の種類のサポート人材が活動している場合がある。

図表2-201 地域指定別 サポート人材の活動状況別 集落数【全体】

全体	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
過疎地域	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)
振興山村	12,413 (45.6%)	8,467 (31.1%)	7,225 (26.6%)	598 (2.2%)	14,794 (54.4%)	27,207 (100.0%)
離島	1,001 (40.6%)	620 (25.2%)	452 (18.3%)	29 (1.2%)	1,464 (59.4%)	2,465 (100.0%)
半島	5,967 (41.5%)	3,701 (25.7%)	2,810 (19.5%)	164 (1.1%)	8,420 (58.5%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	4,407 (36.5%)	3,549 (29.4%)	1,934 (16.0%)	28 (0.2%)	7,671 (63.5%)	12,078 (100.0%)

図表2-202 地域区分別・サポート人材の活動状況別集落数【全体】

全体	サポート人材が活動している			サポート人材 は活動してい ない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし 協力隊等	その他			
山間地	11,117 (49.3%)	7,949 (35.3%)	6,066 (26.9%)	547 (2.4%)	11,423 (50.7%)	22,540 (100.0%)
中間地	9,479 (41.3%)	6,480 (28.3%)	5,012 (21.9%)	350 (1.5%)	13,457 (58.7%)	22,936 (100.0%)
平地	9,660 (38.9%)	6,687 (26.9%)	4,873 (19.6%)	283 (1.1%)	15,182 (61.1%)	24,842 (100.0%)
都市的地域	2,272 (34.4%)	1,388 (21.0%)	1,072 (16.2%)	219 (3.3%)	4,325 (65.6%)	6,597 (100.0%)
無回答	247 (15.7%)	121 (7.7%)	228 (14.5%)	0 (0.0%)	1,323 (84.3%)	1,570 (100.0%)
合計	32,775 (41.8%)	22,625 (28.8%)	17,251 (22.0%)	1,399 (1.8%)	45,710 (58.2%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の42.9%では何らかのサポート人材が活動している。
- 地方ブロック別でみると、サポート人材の活動が多く集落で見られるのは、北陸圏や中国圏、四国圏であり、特に中国圏や四国圏では半数以上の集落で何らかのサポート人材が活動している。

図表2-203 地方ブロック別・サポート人材の活動状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
1 北海道	838 (22.1%)	458 (12.1%)	563 (14.8%)	37 (1.0%)	2,954 (77.9%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	5,590 (35.9%)	4,637 (29.8%)	1,853 (11.9%)	89 (0.6%)	9,991 (64.1%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	940 (28.0%)	507 (15.1%)	545 (16.2%)	87 (2.6%)	2,418 (72.0%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	1,142 (46.2%)	377 (15.3%)	781 (31.6%)	4 (0.2%)	1,328 (53.8%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	1,594 (43.2%)	1,304 (35.3%)	687 (18.6%)	48 (1.3%)	2,099 (56.8%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	1,678 (40.2%)	1,467 (35.1%)	838 (20.1%)	5 (0.1%)	2,500 (59.8%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	7,946 (61.7%)	5,830 (45.3%)	4,842 (37.6%)	338 (2.6%)	4,932 (38.3%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	3,880 (54.7%)	1,782 (25.1%)	2,548 (35.9%)	259 (3.7%)	3,214 (45.3%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	5,726 (37.7%)	4,281 (28.2%)	2,528 (16.6%)	464 (3.1%)	9,479 (62.3%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	39 (15.2%)	26 (10.1%)	13 (5.1%)	1 (0.4%)	218 (84.8%)	257 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、何らかのサポート人材が活動する集落の割合は中心集落において46.8%と最も高く、基礎集落でも42.9%の集落でサポート人材の活動がみられる。

図表2-204 集落類型別・サポート人材の活動状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
基礎集落	24,015 (42.9%)	16,853 (30.1%)	12,036 (21.5%)	960 (1.7%)	31,950 (57.1%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	2,747 (40.1%)	1,825 (26.6%)	1,350 (19.7%)	155 (2.3%)	4,102 (59.9%)	6,849 (100.0%)
中心集落	2,392 (46.8%)	1,782 (34.9%)	1,750 (34.3%)	83 (1.6%)	2,714 (53.2%)	5,106 (100.0%)
無回答	219 (37.4%)	209 (35.7%)	62 (10.6%)	134 (22.9%)	367 (62.6%)	586 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落においてサポート人材が活動する集落が 50.6%と特に多くみられ、集落支援員は 36.9%、地域おこし協力隊等は 27.2%の集落で活動がみられる。また、中間地集落においても4割以上の集落で何らかのサポート人材が活動している。
- これに対し、都市的地域では、サポート人材が活動していない集落が約7割を占めている。

図表2-205 地域区分別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
山間地	10,046 (50.6%)	7,322 (36.9%)	5,396 (27.2%)	527 (2.7%)	9,803 (49.4%)	19,849 (100.0%)
中間地	8,502 (41.4%)	5,891 (28.7%)	4,455 (21.7%)	338 (1.6%)	12,026 (58.6%)	20,528 (100.0%)
平地	8,966 (40.0%)	6,221 (27.8%)	4,492 (20.1%)	248 (1.1%)	13,430 (60.0%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	1,726 (33.5%)	1,114 (21.7%)	741 (14.4%)	219 (4.3%)	3,419 (66.5%)	5,145 (100.0%)
無回答	133 (22.6%)	121 (20.6%)	114 (19.4%)	0 (0.0%)	455 (77.4%)	588 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、サポート人材が活動する集落の割合は、役場(本庁)から遠くなるにつれて高くなり、役場(本庁)から 20 km以上と遠距離にある集落では 53.8%と半数以上の集落でサポート人材が活動している。

図表2-206 役場(本庁)までの距離別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	8,113 (36.4%)	5,216 (23.4%)	4,291 (19.2%)	428 (1.9%)	14,184 (63.6%)	22,297 (100.0%)
5km以上 10km未満	6,590 (41.4%)	4,849 (30.4%)	3,103 (19.5%)	200 (1.3%)	9,347 (58.6%)	15,937 (100.0%)
10km以上 20km未満	8,220 (46.0%)	6,199 (34.7%)	3,898 (21.8%)	331 (1.9%)	9,659 (54.0%)	17,879 (100.0%)
20km以上	6,440 (53.8%)	4,403 (36.8%)	3,898 (32.5%)	373 (3.1%)	5,539 (46.2%)	11,979 (100.0%)
無回答	10 (2.4%)	2 (0.5%)	8 (1.9%)	0 (0.0%)	404 (97.6%)	414 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 新幹線駅までの距離別でみると、サポート人材が活動する集落の割合は、新幹線駅から遠くなるにつれて高くなる傾向がある。

図表2-207 新幹線駅までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	177 (17.6%)	118 (11.7%)	68 (6.8%)	0 (0.0%)	828 (82.4%)	1,005 (100.0%)
5km以上 10km未満	378 (20.9%)	330 (18.2%)	92 (5.1%)	0 (0.0%)	1,431 (79.1%)	1,809 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,744 (35.7%)	1,403 (28.7%)	732 (15.0%)	57 (1.2%)	3,147 (64.3%)	4,891 (100.0%)
20km以上 40km未満	4,549 (36.6%)	3,537 (28.5%)	1,762 (14.2%)	86 (0.7%)	7,867 (63.4%)	12,416 (100.0%)
40km以上 80km未満	8,208 (47.5%)	5,559 (32.1%)	4,754 (27.5%)	215 (1.2%)	9,084 (52.5%)	17,292 (100.0%)
80km以上	11,236 (49.4%)	7,588 (33.4%)	6,000 (26.4%)	552 (2.4%)	11,490 (50.6%)	22,726 (100.0%)
無回答	3,081 (36.8%)	2,134 (25.5%)	1,790 (21.4%)	422 (5.0%)	5,286 (63.2%)	8,367 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 特急停車駅までの距離別でみると、特急停車駅からの距離に関わらず、4割～5割程度の集落でサポート人材が活動している。

図表2-208 特急停車駅までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	3,537 (41.0%)	2,458 (28.5%)	1,709 (19.8%)	272 (3.2%)	5,087 (59.0%)	8,624 (100.0%)
5km以上 10km未満	2,868 (40.6%)	2,168 (30.7%)	1,298 (18.4%)	144 (2.0%)	4,200 (59.4%)	7,068 (100.0%)
10km以上 20km未満	5,174 (43.4%)	3,903 (32.8%)	2,419 (20.3%)	279 (2.3%)	6,737 (56.6%)	11,911 (100.0%)
20km以上 40km未満	7,518 (43.7%)	5,656 (32.9%)	3,407 (19.8%)	300 (1.7%)	9,671 (56.3%)	17,189 (100.0%)
40km以上 80km未満	6,189 (50.6%)	3,810 (31.1%)	3,742 (30.6%)	142 (1.2%)	6,045 (49.4%)	12,234 (100.0%)
80km以上	1,341 (39.1%)	774 (22.6%)	950 (27.7%)	25 (0.7%)	2,085 (60.9%)	3,426 (100.0%)
無回答	2,746 (34.1%)	1,900 (23.6%)	1,673 (20.8%)	170 (2.1%)	5,308 (65.9%)	8,054 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 空港までの距離別で見ると、サポート人材が活動する集落の割合に特に明確な傾向はない。

図表2-209 空港までの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	213 (54.3%)	150 (38.3%)	64 (16.3%)	0 (0.0%)	179 (45.7%)	392 (100.0%)
5km以上 10km未満	290 (47.9%)	203 (33.6%)	169 (27.9%)	23 (3.8%)	315 (52.1%)	605 (100.0%)
10km以上 20km未満	1,224 (42.7%)	756 (26.4%)	642 (22.4%)	176 (6.1%)	1,644 (57.3%)	2,868 (100.0%)
20km以上 40km未満	4,433 (33.4%)	3,031 (22.8%)	2,177 (16.4%)	172 (1.3%)	8,853 (66.6%)	13,286 (100.0%)
40km以上 80km未満	13,120 (45.9%)	9,666 (33.8%)	6,411 (22.4%)	374 (1.3%)	15,470 (54.1%)	28,590 (100.0%)
80km以上	7,463 (47.8%)	5,072 (32.5%)	4,096 (26.2%)	166 (1.1%)	8,145 (52.2%)	15,608 (100.0%)
無回答	2,630 (36.7%)	1,791 (25.0%)	1,639 (22.9%)	421 (5.9%)	4,527 (63.3%)	7,157 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 高速道路等のICまでの距離別で見ると、サポート人材が活動する集落の割合は、高速道路等のICまでの距離が40km以上離れた集落でわずかに高くなる。

図表2-210 高速道路等のICまでの距離別・サポート人材の活動状況別集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している			サポート人材は活動していない	総集落数	
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
5km未満	5,399 (42.0%)	4,195 (32.6%)	2,432 (18.9%)	221 (1.7%)	7,467 (58.0%)	12,866 (100.0%)
5km以上 10km未満	4,778 (43.0%)	3,625 (32.6%)	2,200 (19.8%)	200 (1.8%)	6,326 (57.0%)	11,104 (100.0%)
10km以上 20km未満	6,791 (43.9%)	4,680 (30.3%)	3,644 (23.6%)	289 (1.9%)	8,678 (56.1%)	15,469 (100.0%)
20km以上 40km未満	5,716 (41.1%)	3,616 (26.0%)	3,148 (22.6%)	136 (1.0%)	8,184 (58.9%)	13,900 (100.0%)
40km以上 80km未満	2,818 (49.0%)	1,766 (30.7%)	1,539 (26.8%)	48 (0.8%)	2,930 (51.0%)	5,748 (100.0%)
80km以上	959 (50.2%)	724 (37.9%)	592 (31.0%)	17 (0.9%)	950 (49.8%)	1,909 (100.0%)
無回答	2,912 (38.8%)	2,063 (27.5%)	1,643 (21.9%)	421 (5.6%)	4,598 (61.2%)	7,510 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、サポート人材が活動する集落の割合は、10 人未満の集落が最も高く、10 人以上 25 人未満の集落がこれに次いでいる。

図表2-211 集落の人口規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
～9人	1,878 (54.1%)	1,410 (40.6%)	1,010 (29.1%)	89 (2.6%)	1,596 (45.9%)	3,474 (100.0%)
10～24人	4,190 (50.9%)	3,070 (37.3%)	2,378 (28.9%)	178 (2.2%)	4,046 (49.1%)	8,236 (100.0%)
25～49人	6,003 (46.7%)	4,296 (33.4%)	3,296 (25.7%)	234 (1.8%)	6,845 (53.3%)	12,848 (100.0%)
50～99人	7,100 (43.5%)	4,946 (30.3%)	3,512 (21.5%)	278 (1.7%)	9,209 (56.5%)	16,309 (100.0%)
100～199人	5,561 (39.5%)	3,926 (27.9%)	2,601 (18.5%)	260 (1.8%)	8,508 (60.5%)	14,069 (100.0%)
200～499人	3,345 (34.6%)	2,216 (22.9%)	1,677 (17.4%)	223 (2.3%)	6,315 (65.4%)	9,660 (100.0%)
500～999人	696 (28.6%)	424 (17.4%)	396 (16.3%)	58 (2.4%)	1,734 (71.4%)	2,430 (100.0%)
1000人～	357 (35.7%)	176 (17.6%)	242 (24.2%)	10 (1.0%)	642 (64.3%)	999 (100.0%)
無回答	243 (50.5%)	205 (42.6%)	86 (17.9%)	2 (0.4%)	238 (49.5%)	481 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、10 世帯未満の集落では半数以上で何らかのサポート人材が活動している。

図表2-212 集落の世帯数規模別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
～9世帯	4,359 (52.7%)	3,269 (39.5%)	2,473 (29.9%)	195 (2.4%)	3,912 (47.3%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	5,819 (47.3%)	4,260 (34.6%)	3,225 (26.2%)	207 (1.7%)	6,488 (52.7%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	4,340 (44.9%)	3,051 (31.6%)	2,191 (22.7%)	168 (1.7%)	5,329 (55.1%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	5,389 (43.1%)	3,825 (30.6%)	2,490 (19.9%)	214 (1.7%)	7,101 (56.9%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	5,260 (39.7%)	3,597 (27.2%)	2,522 (19.0%)	288 (2.2%)	7,981 (60.3%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	2,584 (34.9%)	1,718 (23.2%)	1,295 (17.5%)	168 (2.3%)	4,830 (65.1%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	1,098 (31.2%)	653 (18.5%)	634 (18.0%)	84 (2.4%)	2,424 (68.8%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	333 (35.3%)	164 (17.4%)	229 (24.3%)	6 (0.6%)	611 (64.7%)	944 (100.0%)
無回答	191 (29.5%)	132 (20.4%)	139 (21.5%)	2 (0.3%)	457 (70.5%)	648 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が75%を超える集落においてサポート人材が活動する集落の割合が半数以上と高くなっている。

図表2-213 65歳以上人口割合別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
50%未満	15,390 (39.6%)	10,766 (27.7%)	7,941 (20.4%)	668 (1.7%)	23,455 (60.4%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	11,246 (46.2%)	7,882 (32.4%)	5,844 (24.0%)	549 (2.3%)	13,087 (53.8%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,747 (52.2%)	1,253 (37.5%)	950 (28.4%)	83 (2.5%)	1,597 (47.8%)	3,344 (100.0%)
100%	707 (52.7%)	525 (39.1%)	375 (28.0%)	30 (2.2%)	634 (47.3%)	1,341 (100.0%)
無回答	283 (44.0%)	243 (37.8%)	88 (13.7%)	2 (0.3%)	360 (56.0%)	643 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落の方が、サポート人材が活動する集落の割合が高くなっている。

図表2-214 転入者の有無別・サポート人材の活動状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	サポート人材が活動している				サポート人材は活動していない	総集落数
	集落支援員	地域おこし協力隊等	その他			
転入者がいる	13,308 (44.5%)	9,119 (30.5%)	6,466 (21.6%)	464 (1.6%)	16,581 (55.5%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	2,994 (53.2%)	2,119 (37.6%)	1,682 (29.9%)	146 (2.6%)	2,637 (46.8%)	5,631 (100.0%)
分からない	12,849 (39.6%)	9,320 (28.7%)	6,937 (21.4%)	675 (2.1%)	19,588 (60.4%)	32,437 (100.0%)
無回答	222 (40.4%)	111 (20.2%)	113 (20.6%)	47 (8.6%)	327 (59.6%)	549 (100.0%)
合計	29,373 (42.9%)	20,669 (30.2%)	15,198 (22.2%)	1,332 (1.9%)	39,133 (57.1%)	68,506 (100.0%)

(9) 集落機能の維持状況

① 資源管理機能の維持状況

【全体】

■ 資源管理機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が 92.6%と大半を占める。

図表2-215 資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,356 (83.0%)	191 (4.7%)	0 (0.0%)	404 (10.0%)	93 (2.3%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	17,238 (93.5%)	349 (1.9%)	0 (0.0%)	541 (2.9%)	306 (1.7%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	3,828 (94.4%)	93 (2.3%)	0 (0.0%)	127 (3.1%)	9 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	3,213 (95.3%)	8 (0.2%)	1 (0.0%)	150 (4.4%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	5,151 (94.9%)	137 (2.5%)	5 (0.1%)	118 (2.2%)	16 (0.3%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	4,643 (95.2%)	13 (0.3%)	0 (0.0%)	126 (2.6%)	93 (1.9%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	12,784 (92.6%)	338 (2.4%)	5 (0.0%)	511 (3.7%)	169 (1.2%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	7,148 (94.5%)	204 (2.7%)	1 (0.0%)	143 (1.9%)	67 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	15,097 (90.7%)	463 (2.8%)	15 (0.1%)	620 (3.7%)	453 (2.7%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	238 (92.6%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	16 (6.2%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	72,696 (92.6%)	1,799 (2.3%)	27 (0.0%)	2,756 (3.5%)	1,207 (1.5%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	71,622 (93.4%)	1,689 (2.2%)	27 (0.0%)	2,641 (3.4%)	731 (1.0%)	76,710 (100.0%)

図表2-216 地域指定別・資源管理機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)
振興山村	25,551 (93.9%)	781 (2.9%)	10 (0.0%)	613 (2.3%)	252 (0.9%)	27,207 (100.0%)
離島	2,181 (88.5%)	55 (2.2%)	1 (0.0%)	222 (9.0%)	6 (0.2%)	2,465 (100.0%)
半島	13,541 (94.1%)	167 (1.2%)	7 (0.0%)	352 (2.4%)	320 (2.2%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	11,065 (91.6%)	337 (2.8%)	2 (0.0%)	487 (4.0%)	187 (1.5%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落では、資源管理機能が集落住民により維持されている集落が93.3%と大半を占める。

図表2-217 地方ブロック別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,186 (84.0%)	189 (5.0%)	0 (0.0%)	348 (9.2%)	69 (1.8%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	14,601 (93.7%)	316 (2.0%)	0 (0.0%)	540 (3.5%)	124 (0.8%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	3,233 (96.3%)	69 (2.1%)	0 (0.0%)	47 (1.4%)	9 (0.3%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	2,460 (99.6%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	5 (0.2%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	3,445 (93.3%)	121 (3.3%)	5 (0.1%)	107 (2.9%)	15 (0.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	4,036 (96.6%)	13 (0.3%)	0 (0.0%)	87 (2.1%)	42 (1.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	12,033 (93.4%)	330 (2.6%)	5 (0.0%)	500 (3.9%)	10 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	6,691 (94.3%)	192 (2.7%)	1 (0.0%)	143 (2.0%)	67 (0.9%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	14,003 (92.1%)	446 (2.9%)	15 (0.1%)	611 (4.0%)	130 (0.9%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	238 (92.6%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	16 (6.2%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 資源管理機能の維持状況について、集落類型別では大きな差はみられない。

図表2-218 集落類型別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	52,344 (93.5%)	1,383 (2.5%)	27 (0.0%)	1,871 (3.3%)	340 (0.6%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	6,401 (93.5%)	166 (2.4%)	0 (0.0%)	273 (4.0%)	9 (0.1%)	6,849 (100.0%)
中心集落	4,724 (92.5%)	106 (2.1%)	0 (0.0%)	239 (4.7%)	37 (0.7%)	5,106 (100.0%)
無回答	457 (78.0%)	27 (4.6%)	0 (0.0%)	21 (3.6%)	81 (13.8%)	586 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、資源管理機能について集落住民により維持されている集落の割合は、山間地、中間地、平地の集落ではそれぞれ94～95%程度とほとんど差がみられない。

図表2-219 地域区分別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,567 (93.5%)	694 (3.5%)	13 (0.1%)	548 (2.8%)	27 (0.1%)	19,849 (100.0%)
中間地	19,257 (93.8%)	522 (2.5%)	6 (0.0%)	616 (3.0%)	127 (0.6%)	20,528 (100.0%)
平地	21,328 (95.2%)	349 (1.6%)	7 (0.0%)	474 (2.1%)	238 (1.1%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	4,265 (82.9%)	117 (2.3%)	1 (0.0%)	760 (14.8%)	2 (0.0%)	5,145 (100.0%)
無回答	509 (86.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (1.0%)	73 (12.4%)	588 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が10人未満の小規模な集落では、1割近くが資源管理機能について他集落と合同で維持されている。

図表2-220 集落の人口規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,954 (85.0%)	281 (8.1%)	10 (0.3%)	218 (6.3%)	11 (0.3%)	3,474 (100.0%)
10～24人	7,594 (92.2%)	337 (4.1%)	5 (0.1%)	258 (3.1%)	42 (0.5%)	8,236 (100.0%)
25～49人	12,022 (93.6%)	332 (2.6%)	8 (0.1%)	380 (3.0%)	106 (0.8%)	12,848 (100.0%)
50～99人	15,377 (94.3%)	355 (2.2%)	2 (0.0%)	474 (2.9%)	101 (0.6%)	16,309 (100.0%)
100～199人	13,331 (94.8%)	218 (1.5%)	1 (0.0%)	442 (3.1%)	77 (0.5%)	14,069 (100.0%)
200～499人	9,115 (94.4%)	124 (1.3%)	0 (0.0%)	360 (3.7%)	61 (0.6%)	9,660 (100.0%)
500～999人	2,249 (92.6%)	27 (1.1%)	0 (0.0%)	137 (5.6%)	17 (0.7%)	2,430 (100.0%)
1000人～	887 (88.8%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	98 (9.8%)	9 (0.9%)	999 (100.0%)
無回答	397 (82.5%)	3 (0.6%)	1 (0.2%)	37 (7.7%)	43 (8.9%)	481 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、世帯数が 10 世帯未満の集落では、資源管理機能について他集落と合同で維持されているとする集落の割合がやや高い。

図表2-221 集落の世帯数規模別・資源管理機能の維持状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	7,413 (89.6%)	484 (5.9%)	11 (0.1%)	339 (4.1%)	24 (0.3%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	11,606 (94.3%)	324 (2.6%)	7 (0.1%)	319 (2.6%)	51 (0.4%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	9,183 (95.0%)	211 (2.2%)	0 (0.0%)	222 (2.3%)	53 (0.5%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	11,810 (94.6%)	237 (1.9%)	5 (0.0%)	360 (2.9%)	78 (0.6%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	12,445 (94.0%)	225 (1.7%)	3 (0.0%)	496 (3.7%)	72 (0.5%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	6,955 (93.8%)	107 (1.4%)	0 (0.0%)	308 (4.2%)	44 (0.6%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	3,263 (92.6%)	35 (1.0%)	0 (0.0%)	198 (5.6%)	26 (0.7%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	832 (88.1%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	100 (10.6%)	9 (1.0%)	944 (100.0%)
無回答	419 (64.7%)	56 (8.6%)	1 (0.2%)	62 (9.6%)	110 (17.0%)	648 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別でみると、高齢者割合が 100% (集落住民全員が 65 歳以上) の集落では、集落住民により資源管理機能が維持されている集落の割合は 76.8% と低く、他集落と合同で維持されている、あるいはボランティア等により維持されているとする集落の割合が他よりも高くなっている。

図表2-222 65 歳以上人口割合別・資源管理機能の維持状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	36,356 (93.6%)	708 (1.8%)	5 (0.0%)	1,526 (3.9%)	250 (0.6%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	22,906 (94.1%)	705 (2.9%)	5 (0.0%)	562 (2.3%)	155 (0.6%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	3,089 (92.4%)	142 (4.2%)	3 (0.1%)	94 (2.8%)	16 (0.5%)	3,344 (100.0%)
100%	1,030 (76.8%)	124 (9.2%)	13 (1.0%)	171 (12.8%)	3 (0.2%)	1,341 (100.0%)
無回答	545 (84.8%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)	51 (7.9%)	43 (6.7%)	643 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいないとされる集落では、集落住民により資源管理機能が維持されている集落の割合がわずかに低く、他集落と合同で維持されているとする集落の割合が高い。

図表2-223 転入者の有無別・資源管理機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	資源管理機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	27,428 (91.8%)	751 (2.5%)	8 (0.0%)	1,444 (4.8%)	258 (0.9%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	4,993 (88.7%)	317 (5.6%)	5 (0.1%)	284 (5.0%)	32 (0.6%)	5,631 (100.0%)
分からない	31,025 (95.6%)	591 (1.8%)	13 (0.0%)	672 (2.1%)	136 (0.4%)	32,437 (100.0%)
無回答	480 (87.4%)	23 (4.2%)	1 (0.2%)	4 (0.7%)	41 (7.5%)	549 (100.0%)
合計	63,926 (93.3%)	1,682 (2.5%)	27 (0.0%)	2,404 (3.5%)	467 (0.7%)	68,506 (100.0%)

②生産補完機能の維持状況

【全体】

- 生産補完機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が92.6%と大半を占める。
- 地域指定別では大きな差はみられない。

図表2-224 生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,385 (83.7%)	216 (5.3%)	0 (0.0%)	368 (9.1%)	75 (1.9%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	17,174 (93.2%)	355 (1.9%)	14 (0.1%)	585 (3.2%)	306 (1.7%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	3,878 (95.6%)	46 (1.1%)	0 (0.0%)	121 (3.0%)	12 (0.3%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	3,216 (95.3%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	152 (4.5%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	5,217 (96.1%)	84 (1.5%)	4 (0.1%)	65 (1.2%)	57 (1.1%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	4,586 (94.1%)	18 (0.4%)	1 (0.0%)	177 (3.6%)	93 (1.9%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	12,772 (92.5%)	388 (2.8%)	6 (0.0%)	472 (3.4%)	169 (1.2%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	7,088 (93.7%)	172 (2.3%)	0 (0.0%)	236 (3.1%)	67 (0.9%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	15,155 (91.0%)	507 (3.0%)	14 (0.1%)	557 (3.3%)	415 (2.5%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	238 (92.6%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	16 (6.2%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	72,709 (92.6%)	1,792 (2.3%)	40 (0.1%)	2,749 (3.5%)	1,195 (1.5%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	71,671 (93.4%)	1,689 (2.2%)	24 (0.0%)	2,631 (3.4%)	695 (0.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-225 地域指定別・生産補完機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)
振興山村	25,515 (93.8%)	849 (3.1%)	21 (0.1%)	546 (2.0%)	276 (1.0%)	27,207 (100.0%)
離島	2,170 (88.0%)	64 (2.6%)	1 (0.0%)	222 (9.0%)	8 (0.3%)	2,465 (100.0%)
半島	13,499 (93.8%)	161 (1.1%)	7 (0.0%)	385 (2.7%)	335 (2.3%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	10,961 (90.8%)	368 (3.0%)	16 (0.1%)	520 (4.3%)	213 (1.8%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生産補完機能の維持状況をみると、集落住民により維持されている集落が93.4%と大半を占める。

図表2-226 地方ブロック別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,215 (84.8%)	214 (5.6%)	0 (0.0%)	312 (8.2%)	51 (1.3%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	14,536 (93.3%)	323 (2.1%)	14 (0.1%)	584 (3.7%)	124 (0.8%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	3,292 (98.0%)	15 (0.4%)	0 (0.0%)	39 (1.2%)	12 (0.4%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	2,448 (99.1%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	17 (0.7%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	3,550 (96.1%)	55 (1.5%)	4 (0.1%)	54 (1.5%)	30 (0.8%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	4,024 (96.3%)	18 (0.4%)	0 (0.0%)	94 (2.2%)	42 (1.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	12,022 (93.4%)	379 (2.9%)	6 (0.0%)	461 (3.6%)	10 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	6,631 (93.5%)	160 (2.3%)	0 (0.0%)	236 (3.3%)	67 (0.9%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	14,060 (92.5%)	490 (3.2%)	14 (0.1%)	548 (3.6%)	93 (0.6%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	238 (92.6%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	16 (6.2%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、生産補完機能の維持状況に特に差はみられない。

図表2-227 集落類型別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	52,351 (93.5%)	1,433 (2.6%)	37 (0.1%)	1,838 (3.3%)	306 (0.5%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	6,461 (94.3%)	111 (1.6%)	2 (0.0%)	269 (3.9%)	6 (0.1%)	6,849 (100.0%)
中心集落	4,746 (92.9%)	92 (1.8%)	0 (0.0%)	231 (4.5%)	37 (0.7%)	5,106 (100.0%)
無回答	458 (78.2%)	24 (4.1%)	0 (0.0%)	23 (3.9%)	81 (13.8%)	586 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、都市的領域にある集落は、生産補完機能について集落住民により維持されている割合が最も低い。

図表2-228 地域区分別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,584 (93.6%)	664 (3.3%)	24 (0.1%)	536 (2.7%)	41 (0.2%)	19,849 (100.0%)
中間地	19,297 (94.0%)	553 (2.7%)	7 (0.0%)	566 (2.8%)	105 (0.5%)	20,528 (100.0%)
平地	21,388 (95.5%)	317 (1.4%)	7 (0.0%)	457 (2.0%)	227 (1.0%)	22,396 (100.0%)
都市的領域	4,247 (82.5%)	126 (2.4%)	1 (0.0%)	769 (14.9%)	2 (0.0%)	5,145 (100.0%)
無回答	500 (85.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (5.6%)	55 (9.4%)	588 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が 10 人未満の集落では、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-229 集落の人口規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,973 (85.6%)	279 (8.0%)	10 (0.3%)	201 (5.8%)	11 (0.3%)	3,474 (100.0%)
10～24人	7,614 (92.4%)	330 (4.0%)	12 (0.1%)	237 (2.9%)	43 (0.5%)	8,236 (100.0%)
25～49人	12,059 (93.9%)	335 (2.6%)	13 (0.1%)	353 (2.7%)	88 (0.7%)	12,848 (100.0%)
50～99人	15,421 (94.6%)	343 (2.1%)	2 (0.0%)	452 (2.8%)	91 (0.6%)	16,309 (100.0%)
100～199人	13,346 (94.9%)	203 (1.4%)	1 (0.0%)	444 (3.2%)	75 (0.5%)	14,069 (100.0%)
200～499人	9,088 (94.1%)	128 (1.3%)	0 (0.0%)	389 (4.0%)	55 (0.6%)	9,660 (100.0%)
500～999人	2,238 (92.1%)	31 (1.3%)	0 (0.0%)	145 (6.0%)	16 (0.7%)	2,430 (100.0%)
1000人～	881 (88.2%)	7 (0.7%)	0 (0.0%)	103 (10.3%)	8 (0.8%)	999 (100.0%)
無回答	396 (82.3%)	4 (0.8%)	1 (0.2%)	37 (7.7%)	43 (8.9%)	481 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、10世帯未満の小規模集落において、生産補完機能が他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高い。

図表2-230 集落の世帯数規模別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	7,447 (90.0%)	484 (5.9%)	14 (0.2%)	305 (3.7%)	21 (0.3%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	11,639 (94.6%)	319 (2.6%)	13 (0.1%)	293 (2.4%)	43 (0.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	9,199 (95.1%)	204 (2.1%)	3 (0.0%)	217 (2.2%)	46 (0.5%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	11,835 (94.8%)	234 (1.9%)	5 (0.0%)	346 (2.8%)	70 (0.6%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	12,454 (94.1%)	214 (1.6%)	3 (0.0%)	500 (3.8%)	70 (0.5%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	6,946 (93.7%)	101 (1.4%)	0 (0.0%)	327 (4.4%)	40 (0.5%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	3,250 (92.3%)	42 (1.2%)	0 (0.0%)	208 (5.9%)	22 (0.6%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	827 (87.6%)	5 (0.5%)	0 (0.0%)	104 (11.0%)	8 (0.8%)	944 (100.0%)
無回答	419 (64.7%)	57 (8.8%)	1 (0.2%)	61 (9.4%)	110 (17.0%)	648 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合は高齢者割合が高い集落ほど高く、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では9.0%と1割程度を占めている。

図表2-231 65歳以上人口割合別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	36,454 (93.8%)	677 (1.7%)	5 (0.0%)	1,481 (3.8%)	228 (0.6%)	38,845 (100.0%)
50%以上	22,881 (94.0%)	734 (3.0%)	13 (0.1%)	567 (2.3%)	138 (0.6%)	24,333 (100.0%)
75%未満	3,108 (92.9%)	124 (3.7%)	7 (0.2%)	89 (2.7%)	16 (0.5%)	3,344 (100.0%)
100%未満	1,029 (76.7%)	121 (9.0%)	13 (1.0%)	173 (12.9%)	5 (0.4%)	1,341 (100.0%)
無回答	544 (84.6%)	4 (0.6%)	1 (0.2%)	51 (7.9%)	43 (6.7%)	643 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいないとされる集落では、生産補完機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が5.5%とやや高くなっている。

図表2-232 転入者の有無別・生産補完機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生産補完機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	27,615 (92.4%)	706 (2.4%)	17 (0.1%)	1,318 (4.4%)	233 (0.8%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	4,974 (88.3%)	309 (5.5%)	9 (0.2%)	316 (5.6%)	23 (0.4%)	5,631 (100.0%)
分からない	30,947 (95.4%)	622 (1.9%)	12 (0.0%)	723 (2.2%)	133 (0.4%)	32,437 (100.0%)
無回答	480 (87.4%)	23 (4.2%)	1 (0.2%)	4 (0.7%)	41 (7.5%)	549 (100.0%)
合計	64,016 (93.4%)	1,660 (2.4%)	39 (0.1%)	2,361 (3.4%)	430 (0.6%)	68,506 (100.0%)

③生活扶助機能の維持状況

【全体】

- 生活扶助機能の維持状況をみると、全体では集落住民により維持されている集落が94.0%を占める。
- 地域指定別でみると、離島地域においては、生活扶助機能についてボランティア等により維持されている集落の割合が5.1%とやや高い。

図表2-233 生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,502 (86.6%)	298 (7.4%)	25 (0.6%)	168 (4.2%)	51 (1.3%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	17,341 (94.1%)	154 (0.8%)	8 (0.0%)	583 (3.2%)	348 (1.9%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	4,001 (98.6%)	9 (0.2%)	0 (0.0%)	40 (1.0%)	7 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	3,224 (95.6%)	4 (0.1%)	16 (0.5%)	128 (3.8%)	1 (0.0%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	5,163 (95.1%)	146 (2.7%)	3 (0.1%)	72 (1.3%)	43 (0.8%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	4,515 (92.6%)	25 (0.5%)	1 (0.0%)	241 (4.9%)	93 (1.9%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	13,033 (94.4%)	385 (2.8%)	12 (0.1%)	208 (1.5%)	169 (1.2%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	7,312 (96.7%)	170 (2.2%)	0 (0.0%)	81 (1.1%)	0 (0.0%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	15,444 (92.8%)	444 (2.7%)	132 (0.8%)	276 (1.7%)	352 (2.1%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	253 (98.4%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	73,788 (94.0%)	1,639 (2.1%)	197 (0.3%)	1,797 (2.3%)	1,064 (1.4%)	78,485 (100.0%)
参考： 前回調査	72,529 (94.5%)	1,675 (2.2%)	188 (0.2%)	1,741 (2.3%)	577 (0.8%)	76,710 (100.0%)

図表2-234 地域指定別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【全体】

全体	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
過疎地域	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)
振興山村	25,694 (94.4%)	805 (3.0%)	37 (0.1%)	401 (1.5%)	270 (1.0%)	27,207 (100.0%)
離島	2,249 (91.2%)	60 (2.4%)	126 (5.1%)	27 (1.1%)	3 (0.1%)	2,465 (100.0%)
半島	13,468 (93.6%)	197 (1.4%)	27 (0.2%)	360 (2.5%)	335 (2.3%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	11,020 (91.2%)	345 (2.9%)	16 (0.1%)	465 (3.8%)	232 (1.9%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における生活扶助機能の維持状況をみると、全体では集落住民により維持されている集落が94.9%を占める。
- 地方ブロック別にみると、北海道では他集落と合同で維持されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-235 地方ブロック別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
1 北海道	3,306 (87.2%)	291 (7.7%)	25 (0.7%)	119 (3.1%)	51 (1.3%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	14,737 (94.6%)	139 (0.9%)	0 (0.0%)	582 (3.7%)	123 (0.8%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	3,313 (98.7%)	9 (0.3%)	0 (0.0%)	29 (0.9%)	7 (0.2%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	2,447 (99.1%)	3 (0.1%)	16 (0.6%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	3,493 (94.6%)	127 (3.4%)	3 (0.1%)	54 (1.5%)	16 (0.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	3,980 (95.3%)	13 (0.3%)	1 (0.0%)	142 (3.4%)	42 (1.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	12,273 (95.3%)	377 (2.9%)	12 (0.1%)	206 (1.6%)	10 (0.1%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	6,855 (96.6%)	158 (2.2%)	0 (0.0%)	81 (1.1%)	0 (0.0%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	14,331 (94.3%)	444 (2.9%)	132 (0.9%)	268 (1.8%)	30 (0.2%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	253 (98.4%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、生活扶助機能の維持状況については、基礎集落、基幹集落、中心集落ともに大きな差はみられない。

図表2-236 集落類型別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
基礎集落	53,012 (94.7%)	1,335 (2.4%)	166 (0.3%)	1,280 (2.3%)	172 (0.3%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	6,603 (96.4%)	124 (1.8%)	18 (0.3%)	101 (1.5%)	3 (0.0%)	6,849 (100.0%)
中心集落	4,877 (95.5%)	98 (1.9%)	5 (0.1%)	102 (2.0%)	24 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	496 (84.6%)	8 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	81 (13.8%)	586 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でも大きな差はみられないが、都市的領域にある集落では生活扶助機能が集落住民により維持されている集落の割合は89.8%と他の地域区分より低くなっている。

図表2-237 地域区分別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
山間地	18,748 (94.5%)	679 (3.4%)	89 (0.4%)	305 (1.5%)	28 (0.1%)	19,849 (100.0%)
中間地	19,556 (95.3%)	449 (2.2%)	78 (0.4%)	369 (1.8%)	76 (0.4%)	20,528 (100.0%)
平地	21,532 (96.1%)	221 (1.0%)	21 (0.1%)	503 (2.2%)	119 (0.5%)	22,396 (100.0%)
都市的領域	4,619 (89.8%)	216 (4.2%)	1 (0.0%)	307 (6.0%)	2 (0.0%)	5,145 (100.0%)
無回答	533 (90.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (9.4%)	588 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別で見ると、10人未満の小規模集落では、生活扶助機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が9.2%と高くなっている。

図表2-238 集落の人口規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と 合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9人	2,950 (84.9%)	320 (9.2%)	11 (0.3%)	182 (5.2%)	11 (0.3%)	3,474 (100.0%)
10～24人	7,705 (93.6%)	337 (4.1%)	16 (0.2%)	162 (2.0%)	16 (0.2%)	8,236 (100.0%)
25～49人	12,195 (94.9%)	328 (2.6%)	38 (0.3%)	252 (2.0%)	35 (0.3%)	12,848 (100.0%)
50～99人	15,600 (95.7%)	313 (1.9%)	51 (0.3%)	293 (1.8%)	52 (0.3%)	16,309 (100.0%)
100～199人	13,556 (96.4%)	173 (1.2%)	40 (0.3%)	244 (1.7%)	56 (0.4%)	14,069 (100.0%)
200～499人	9,329 (96.6%)	70 (0.7%)	23 (0.2%)	192 (2.0%)	46 (0.5%)	9,660 (100.0%)
500～999人	2,319 (95.4%)	12 (0.5%)	9 (0.4%)	75 (3.1%)	15 (0.6%)	2,430 (100.0%)
1000人～	923 (92.4%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	67 (6.7%)	6 (0.6%)	999 (100.0%)
無回答	411 (85.4%)	9 (1.9%)	1 (0.2%)	17 (3.5%)	43 (8.9%)	481 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、世帯数が 10 世帯未満の小規模集落において、生活扶助機能が他集落と合同で維持されている集落の割合が 6.5%とやや高くなっている。

図表2-239 集落の世帯数規模別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
～9世帯	7,439 (89.9%)	534 (6.5%)	18 (0.2%)	260 (3.1%)	20 (0.2%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	11,725 (95.3%)	316 (2.6%)	27 (0.2%)	207 (1.7%)	32 (0.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	9,256 (95.7%)	187 (1.9%)	24 (0.2%)	173 (1.8%)	29 (0.3%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	11,944 (95.6%)	225 (1.8%)	42 (0.3%)	234 (1.9%)	45 (0.4%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	12,687 (95.8%)	185 (1.4%)	43 (0.3%)	274 (2.1%)	52 (0.4%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	7,152 (96.5%)	57 (0.8%)	22 (0.3%)	148 (2.0%)	35 (0.5%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	3,373 (95.8%)	20 (0.6%)	12 (0.3%)	99 (2.8%)	18 (0.5%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	865 (91.6%)	3 (0.3%)	0 (0.0%)	70 (7.4%)	6 (0.6%)	944 (100.0%)
無回答	547 (84.4%)	38 (5.9%)	1 (0.2%)	19 (2.9%)	43 (6.6%)	648 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が 100% (集落住民全員が 65 歳以上) の集落では、生活扶助機能について集落住民により維持されている集落の割合は 76.6%と低くなっており、一方、他集落と合同で維持されている割合が 9.8%と高くなっている。

図表2-240 65 歳以上人口割合別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
50%未満	37,073 (95.4%)	658 (1.7%)	84 (0.2%)	878 (2.3%)	152 (0.4%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	23,202 (95.4%)	650 (2.7%)	81 (0.3%)	330 (1.4%)	70 (0.3%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	3,132 (93.7%)	117 (3.5%)	10 (0.3%)	75 (2.2%)	10 (0.3%)	3,344 (100.0%)
100%	1,027 (76.6%)	131 (9.8%)	13 (1.0%)	165 (12.3%)	5 (0.4%)	1,341 (100.0%)
無回答	554 (86.2%)	9 (1.4%)	1 (0.2%)	36 (5.6%)	43 (6.7%)	643 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落では生活扶助機能について他集落と合同で維持されている集落の割合が6.5%とやや高くなっている。
- また、ボランティア等により維持されている集落の大半は、転入者がいるとされる集落である。

図表2-241 転入者の有無別・生活扶助機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	生活扶助機能の維持状況					計
	集落住民により維持	他集落と合同で維持	ボランティア等により維持	その他	無回答	
転入者がいる	28,071 (93.9%)	810 (2.7%)	146 (0.5%)	749 (2.5%)	113 (0.4%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	4,976 (88.4%)	368 (6.5%)	15 (0.3%)	265 (4.7%)	7 (0.1%)	5,631 (100.0%)
分からない	31,456 (97.0%)	368 (1.1%)	27 (0.1%)	467 (1.4%)	119 (0.4%)	32,437 (100.0%)
無回答	485 (88.3%)	19 (3.5%)	1 (0.2%)	3 (0.5%)	41 (7.5%)	549 (100.0%)
合計	64,988 (94.9%)	1,565 (2.3%)	189 (0.3%)	1,484 (2.2%)	280 (0.4%)	68,506 (100.0%)

④集落機能の維持状況

【全体】

- 集落機能全体の維持状況をみると、全体では 75.8%の集落で良好に維持されているが、23.0%の集落では集落機能が低下もしくは維持が困難となっている。
- 地域指定別でみると、半島地域や特別豪雪地帯では集落機能が良好に維持されている集落の割合が8割近くと高いが、振興山村では、集落機能が低下もしくは維持が困難な集落の割合が比較的高い。

図表2-242 集落機能の維持状況別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,305 (81.7%)	532 (13.2%)	125 (3.1%)	82 (2.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	15,275 (82.9%)	2,732 (14.8%)	255 (1.4%)	172 (0.9%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	2,928 (72.2%)	1,057 (26.1%)	65 (1.6%)	7 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	2,765 (82.0%)	490 (14.5%)	110 (3.3%)	8 (0.2%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	3,714 (68.4%)	1,468 (27.0%)	228 (4.2%)	17 (0.3%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	3,476 (71.3%)	1,049 (21.5%)	281 (5.8%)	69 (1.4%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	9,890 (71.6%)	3,133 (22.7%)	574 (4.2%)	210 (1.5%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	4,951 (65.5%)	1,810 (23.9%)	778 (10.3%)	24 (0.3%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	12,992 (78.0%)	2,824 (17.0%)	520 (3.1%)	312 (1.9%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	211 (82.1%)	46 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	59,507 (75.8%)	15,141 (19.3%)	2,936 (3.7%)	901 (1.1%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	60,077 (78.3%)	13,132 (17.1%)	2,861 (3.7%)	640 (0.8%)	76,710 (100.0%)

図表2-243 地域指定別・集落機能の維持状況別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
過疎地域	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)
振興山村	17,718 (65.1%)	7,337 (27.0%)	1,912 (7.0%)	240 (0.9%)	27,207 (100.0%)
離島	1,820 (73.8%)	548 (22.2%)	73 (3.0%)	24 (1.0%)	2,465 (100.0%)
半島	11,235 (78.1%)	2,465 (17.1%)	444 (3.1%)	243 (1.7%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	9,603 (79.5%)	2,101 (17.4%)	319 (2.6%)	55 (0.5%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落についてみると、23.2%の集落では集落機能が低下もしくは維持が困難となっている。
- 地方ブロック別でみると、北海道、東北圏、北陸圏、沖縄県では機能維持が良好とされている集落の割合が8割以上と高く、四国圏では「機能維持困難」という集落の割合が1割近くと高くなっている。

図表2-244 地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,091 (81.5%)	495 (13.1%)	124 (3.3%)	82 (2.2%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	13,019 (83.6%)	2,242 (14.4%)	216 (1.4%)	104 (0.7%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	2,474 (73.7%)	819 (24.4%)	58 (1.7%)	7 (0.2%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	2,155 (87.2%)	228 (9.2%)	86 (3.5%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	2,315 (62.7%)	1,180 (32.0%)	182 (4.9%)	16 (0.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	2,938 (70.3%)	920 (22.0%)	270 (6.5%)	50 (1.2%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	9,304 (72.2%)	3,001 (23.3%)	537 (4.2%)	36 (0.3%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	4,849 (68.4%)	1,565 (22.1%)	680 (9.6%)	0 (0.0%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	11,951 (78.6%)	2,721 (17.9%)	500 (3.3%)	33 (0.2%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	211 (82.1%)	46 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、中心集落や基幹集落では集落機能が良好に維持されている集落の割合が9割近くを占めているのに対して、基礎集落では集落機能が低下している集落及び機能維持が困難になっている集落を合わせると2割を超えている。

図表2-245 集落類型別・集落機能の維持状況別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
基礎集落	41,740 (74.6%)	11,488 (20.5%)	2,525 (4.5%)	212 (0.4%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	5,891 (86.0%)	871 (12.7%)	75 (1.1%)	12 (0.2%)	6,849 (100.0%)
中心集落	4,373 (85.6%)	685 (13.4%)	24 (0.5%)	24 (0.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	303 (51.7%)	173 (29.5%)	29 (4.9%)	81 (13.8%)	586 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、平地集落や都市的地域にある集落の約9割は集落機能が良好に維持されているのに対して、山間地集落では29.4%が機能低下、10.0%が機能維持困難となっている。

図表2-246 地域区分別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	11,969 (60.3%)	5,843 (29.4%)	1,981 (10.0%)	56 (0.3%)	19,849 (100.0%)
中間地	15,789 (76.9%)	4,132 (20.1%)	523 (2.5%)	84 (0.4%)	20,528 (100.0%)
平地	19,472 (86.9%)	2,662 (11.9%)	132 (0.6%)	130 (0.6%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	4,688 (91.1%)	444 (8.6%)	10 (0.2%)	3 (0.1%)	5,145 (100.0%)
無回答	389 (66.2%)	136 (23.1%)	7 (1.2%)	56 (9.5%)	588 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、人口規模が小さくなるほど、集落機能の維持状況が良好な集落の割合が低くなる傾向がみられ、10人未満の小規模集落では、36.9%の集落が集落機能の維持が困難な状態になっている。

図表2-247 集落の人口規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9人	882 (25.4%)	1,288 (37.1%)	1,281 (36.9%)	23 (0.7%)	3,474 (100.0%)
10～24人	4,337 (52.7%)	3,052 (37.1%)	814 (9.9%)	33 (0.4%)	8,236 (100.0%)
25～49人	9,485 (73.8%)	2,950 (23.0%)	357 (2.8%)	56 (0.4%)	12,848 (100.0%)
50～99人	13,559 (83.1%)	2,584 (15.8%)	112 (0.7%)	54 (0.3%)	16,309 (100.0%)
100～199人	12,203 (86.7%)	1,764 (12.5%)	50 (0.4%)	52 (0.4%)	14,069 (100.0%)
200～499人	8,532 (88.3%)	1,063 (11.0%)	20 (0.2%)	45 (0.5%)	9,660 (100.0%)
500～999人	2,128 (87.6%)	283 (11.6%)	2 (0.1%)	17 (0.7%)	2,430 (100.0%)
1000人～	835 (83.6%)	159 (15.9%)	0 (0.0%)	5 (0.5%)	999 (100.0%)
無回答	346 (71.9%)	74 (15.4%)	17 (3.5%)	44 (9.1%)	481 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、集落機能が低下、あるいは機能維持が困難となっている集落の割合は、世帯数が10世帯未満の集落において特に高くなっている。

図表2-248 集落の世帯数規模別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
～9世帯	3,280 (39.7%)	3,182 (38.5%)	1,773 (21.4%)	36 (0.4%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	8,456 (68.7%)	3,278 (26.6%)	521 (4.2%)	52 (0.4%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	7,714 (79.8%)	1,760 (18.2%)	157 (1.6%)	38 (0.4%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	10,491 (84.0%)	1,867 (14.9%)	88 (0.7%)	44 (0.4%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	11,500 (86.9%)	1,631 (12.3%)	57 (0.4%)	53 (0.4%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	6,507 (87.8%)	852 (11.5%)	18 (0.2%)	37 (0.5%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	3,083 (87.5%)	418 (11.9%)	3 (0.1%)	18 (0.5%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	781 (82.7%)	156 (16.5%)	0 (0.0%)	7 (0.7%)	944 (100.0%)
無回答	495 (76.4%)	73 (11.3%)	36 (5.6%)	44 (6.8%)	648 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が高くなるほど、集落機能が良好に維持されている集落の割合が低くなる傾向にあり、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落では、4割程度の集落で集落機能の維持が困難となっている。

図表2-249 65歳以上人口割合別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
50%未満	32,949 (84.8%)	5,252 (13.5%)	487 (1.3%)	157 (0.4%)	38,845 (100.0%)
50%以上	17,165 (70.5%)	6,061 (24.9%)	1,020 (4.2%)	87 (0.4%)	24,333 (100.0%)
75%未満	1,412 (42.2%)	1,354 (40.5%)	562 (16.8%)	16 (0.5%)	3,344 (100.0%)
100%以上	354 (26.4%)	397 (29.6%)	565 (42.1%)	25 (1.9%)	1,341 (100.0%)
無回答	427 (66.4%)	153 (23.8%)	19 (3.0%)	44 (6.8%)	643 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいるとされる集落の方が、転入者がいない集落よりも、集落機能が良好に維持されている。

図表2-250 転入者の有無別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
転入者がいる	24,213 (81.0%)	4,821 (16.1%)	776 (2.6%)	79 (0.3%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	2,989 (53.1%)	1,703 (30.2%)	930 (16.5%)	9 (0.2%)	5,631 (100.0%)
分からない	24,792 (76.4%)	6,517 (20.1%)	928 (2.9%)	200 (0.6%)	32,437 (100.0%)
無回答	313 (57.0%)	176 (32.1%)	19 (3.5%)	41 (7.5%)	549 (100.0%)
合計	52,307 (76.4%)	13,217 (19.3%)	2,653 (3.9%)	329 (0.5%)	68,506 (100.0%)

⑤集落機能の維持が困難になっている集落の特性

【全体】

- 集落機能の維持が困難な集落は、10人未満、10世帯未満の小規模集落が多くを占めており、役場(本庁)から遠距離にあり、山間地の基礎集落において多くみられる。

図表2-251 集落機能の維持状況別にみた集落特性【全体】

全体		集落機能の維持状況				計
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	
集落類型	基礎集落	46,903 (78.8%)	13,036 (86.1%)	2,799 (95.3%)	426 (47.3%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	6,766 (11.4%)	1,112 (7.3%)	80 (2.7%)	38 (4.2%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	4,997 (8.4%)	813 (5.4%)	25 (0.9%)	39 (4.3%)	5,874 (7.5%)
地域区分	山間地	13,629 (22.9%)	6,630 (43.8%)	2,211 (75.3%)	70 (7.8%)	22,540 (28.7%)
	中間地	17,492 (29.4%)	4,674 (30.9%)	565 (19.2%)	205 (22.8%)	22,936 (29.2%)
	平地	21,531 (36.2%)	2,999 (19.8%)	140 (4.8%)	172 (19.1%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	5,813 (9.8%)	694 (4.6%)	11 (0.4%)	79 (8.8%)	6,597 (8.4%)
人口規模	～9	962 (1.6%)	1,399 (9.2%)	1,450 (49.4%)	24 (2.7%)	3,835 (4.9%)
	10～24	4,678 (7.9%)	3,305 (21.8%)	859 (29.3%)	34 (3.8%)	8,876 (11.3%)
	25～49	10,200 (17.1%)	3,225 (21.3%)	380 (12.9%)	58 (6.4%)	13,863 (17.7%)
	50～99	14,814 (24.9%)	2,912 (19.2%)	124 (4.2%)	68 (7.5%)	17,918 (22.8%)
	100～199	13,723 (23.1%)	2,088 (13.8%)	57 (1.9%)	69 (7.7%)	15,937 (20.3%)
	200～499	10,262 (17.2%)	1,375 (9.1%)	30 (1.0%)	81 (9.0%)	11,748 (15.0%)
	500～999	2,929 (4.9%)	401 (2.6%)	4 (0.1%)	43 (4.8%)	3,377 (4.3%)
世帯数規模	～9	3,558 (6.0%)	3,421 (22.6%)	1,970 (67.1%)	58 (6.4%)	9,007 (11.5%)
	10～19	9,122 (15.3%)	3,571 (23.6%)	550 (18.7%)	90 (10.0%)	13,333 (17.0%)
	20～29	8,401 (14.1%)	1,978 (13.1%)	167 (5.7%)	82 (9.1%)	10,628 (13.5%)
	30～49	11,542 (19.4%)	2,105 (13.9%)	100 (3.4%)	88 (9.8%)	13,835 (17.6%)
	50～99	12,976 (21.8%)	1,963 (13.0%)	65 (2.2%)	91 (10.1%)	15,095 (19.2%)
	100～199	7,782 (13.1%)	1,093 (7.2%)	27 (0.9%)	73 (8.1%)	8,975 (11.4%)
	200～499	4,159 (7.0%)	569 (3.8%)	6 (0.2%)	54 (6.0%)	4,788 (6.1%)
65歳以上割合	100%	380 (0.6%)	427 (2.8%)	626 (21.3%)	25 (2.8%)	1,458 (1.9%)
	75%以上100%未満	1,513 (2.5%)	1,494 (9.9%)	604 (20.6%)	21 (2.3%)	3,632 (4.6%)
	50%以上75%未満	18,537 (31.2%)	6,661 (44.0%)	1,110 (37.8%)	117 (13.0%)	26,425 (33.7%)
	25%以上50%未満	34,949 (58.7%)	5,870 (38.8%)	419 (14.3%)	215 (23.9%)	41,453 (52.8%)
	25%未満	3,478 (5.8%)	475 (3.1%)	142 (4.8%)	34 (3.8%)	4,129 (5.3%)
75歳以上	100%	100 (0.2%)	104 (0.7%)	265 (9.0%)	6 (0.7%)	475 (0.6%)
	50%以上100%未満	1,810 (3.0%)	1,842 (12.2%)	925 (31.5%)	35 (3.9%)	4,612 (5.9%)
	50%未満	56,947 (95.7%)	12,981 (85.7%)	1,711 (58.3%)	371 (41.2%)	72,010 (91.8%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	21,682 (36.4%)	3,464 (22.9%)	237 (8.1%)	502 (55.7%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	14,524 (24.4%)	3,068 (20.3%)	471 (16.0%)	57 (6.3%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	14,502 (24.4%)	4,471 (29.5%)	1,018 (34.7%)	57 (6.3%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	8,255 (13.9%)	4,083 (27.0%)	1,206 (41.1%)	90 (10.0%)	13,634 (17.4%)
地形	地形的末端である	2,287 (3.8%)	1,464 (9.7%)	776 (26.4%)	32 (3.6%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	57,220 (96.2%)	13,677 (90.3%)	2,160 (73.6%)	869 (96.4%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		59,507 (100.0%)	15,141 (100.0%)	2,936 (100.0%)	901 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において集落機能の維持が困難になっている集落をみると、10 人未満、10 世帯未満の小規模集落が多くを占めているほか、4割超が役場(本庁)から 20 km以上の遠距離にあり、山間地の基礎集落において多くみられる。

図表2-252 集落機能の維持状況別にみた集落特性【過疎地域のみ】

過疎地域		集落機能の維持状況				
		良好	機能低下	機能維持困難	無回答	計
集落類型	基礎集落	41,740 (79.8%)	11,488 (86.9%)	2,525 (95.2%)	212 (64.4%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	5,891 (11.3%)	871 (6.6%)	75 (2.8%)	12 (3.6%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	4,373 (8.4%)	685 (5.2%)	24 (0.9%)	24 (7.3%)	5,106 (7.5%)
地域区分	山間地	11,969 (22.9%)	5,843 (44.2%)	1,981 (74.7%)	56 (17.0%)	19,849 (29.0%)
	中間地	15,789 (30.2%)	4,132 (31.3%)	523 (19.7%)	84 (25.5%)	20,528 (30.0%)
	平地	19,472 (37.2%)	2,662 (20.1%)	132 (5.0%)	130 (39.5%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	4,688 (9.0%)	444 (3.4%)	10 (0.4%)	3 (0.9%)	5,145 (7.5%)
人口規模	～9	882 (1.7%)	1,288 (9.7%)	1,281 (48.3%)	23 (7.0%)	3,474 (5.1%)
	10～24	4,337 (8.3%)	3,052 (23.1%)	814 (30.7%)	33 (10.0%)	8,236 (12.0%)
	25～49	9,485 (18.1%)	2,950 (22.3%)	357 (13.5%)	56 (17.0%)	12,848 (18.8%)
	50～99	13,559 (25.9%)	2,584 (19.6%)	112 (4.2%)	54 (16.4%)	16,309 (23.8%)
	100～199	12,203 (23.3%)	1,764 (13.3%)	50 (1.9%)	52 (15.8%)	14,069 (20.5%)
	200～499	8,532 (16.3%)	1,063 (8.0%)	20 (0.8%)	45 (13.7%)	9,660 (14.1%)
	500～999	2,128 (4.1%)	283 (2.1%)	2 (0.1%)	17 (5.2%)	2,430 (3.5%)
世帯数規模	～9	3,280 (6.3%)	3,182 (24.1%)	1,773 (66.8%)	36 (10.9%)	8,271 (12.1%)
	10～19	8,456 (16.2%)	3,278 (24.8%)	521 (19.6%)	52 (15.8%)	12,307 (18.0%)
	20～29	7,714 (14.7%)	1,760 (13.3%)	157 (5.9%)	38 (11.6%)	9,669 (14.1%)
	30～49	10,491 (20.1%)	1,867 (14.1%)	88 (3.3%)	44 (13.4%)	12,490 (18.2%)
	50～99	11,500 (22.0%)	1,631 (12.3%)	57 (2.1%)	53 (16.1%)	13,241 (19.3%)
	100～199	6,507 (12.4%)	852 (6.4%)	18 (0.7%)	37 (11.2%)	7,414 (10.8%)
	200～499	3,083 (5.9%)	418 (3.2%)	3 (0.1%)	18 (5.5%)	3,522 (5.1%)
	500～	781 (1.5%)	156 (1.2%)	0 (0.0%)	7 (2.1%)	944 (1.4%)
65歳以上割合	100%	354 (0.7%)	397 (3.0%)	565 (21.3%)	25 (7.6%)	1,341 (2.0%)
	75%以上100%未満	1,412 (2.7%)	1,354 (10.2%)	562 (21.2%)	16 (4.9%)	3,344 (4.9%)
	50%以上75%未満	17,165 (32.8%)	6,061 (45.9%)	1,020 (38.4%)	87 (26.4%)	24,333 (35.5%)
	25%以上50%未満	30,345 (58.0%)	4,889 (37.0%)	387 (14.6%)	138 (41.9%)	35,759 (52.2%)
	25%未満	2,604 (5.0%)	363 (2.7%)	100 (3.8%)	19 (5.8%)	3,086 (4.5%)
75歳以上	100%	90 (0.2%)	96 (0.7%)	238 (9.0%)	6 (1.8%)	430 (0.6%)
	50%以上100%未満	1,686 (3.2%)	1,654 (12.5%)	854 (32.2%)	30 (9.1%)	4,224 (6.2%)
	50%未満	50,104 (95.8%)	11,314 (85.6%)	1,542 (58.1%)	249 (75.7%)	63,209 (92.3%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	19,026 (36.4%)	2,873 (21.7%)	221 (8.3%)	177 (53.8%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	12,842 (24.6%)	2,612 (19.8%)	444 (16.7%)	39 (11.9%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	12,914 (24.7%)	4,018 (30.4%)	910 (34.3%)	37 (11.2%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	7,176 (13.7%)	3,661 (27.7%)	1,075 (40.5%)	67 (20.4%)	11,979 (17.5%)
地形	地形的末端である	1,967 (3.8%)	1,272 (9.6%)	675 (25.4%)	10 (3.0%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	50,340 (96.2%)	11,945 (90.4%)	1,978 (74.6%)	319 (97.0%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		52,307 (100.0%)	13,217 (100.0%)	2,653 (100.0%)	329 (100.0%)	68,506 (100.0%)

⑥地域運営組織の設置状況

【全体】

- 地域運営組織の設置状況をみると、全体では約3割の集落に地域運営組織があるとされている。

図表2-253 地域運営組織の有無別 集落数 【全体】

全体	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
1 北海道	323 (8.0%)	3,721 (92.0%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	4,355 (23.6%)	14,079 (76.4%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	611 (15.1%)	3,446 (84.9%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	952 (28.2%)	2,421 (71.8%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	1,182 (21.8%)	4,245 (78.2%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	1,728 (35.4%)	3,147 (64.6%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	5,433 (39.3%)	8,374 (60.7%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	1,580 (20.9%)	5,983 (79.1%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	5,360 (32.2%)	11,288 (67.8%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	3 (1.2%)	254 (98.8%)	257 (100.0%)
合計	21,527 (27.4%)	56,958 (72.6%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	15,273 (19.9%)	61,437 (80.1%)	76,710 (100.0%)

図表2-254 地域指定別・地域運営組織の有無別 集落数 【全体】

全体	地域運営組織の有無別 集落数		
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	計
過疎地域	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)
振興山村	8,022 (29.5%)	19,185 (70.5%)	27,207 (100.0%)
離島	620 (25.2%)	1,845 (74.8%)	2,465 (100.0%)
半島	4,016 (27.9%)	10,371 (72.1%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	2,690 (22.3%)	9,388 (77.7%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における地域運営組織の設置状況をみると、全体では 27.3%の集落に地域運営組織があるとされている。
- 地方ブロック別でみると、地域運営組織がある集落の割合は中国圏で 39.6%と最も高く、近畿圏や九州圏でも3割を超えているが、北海道や沖縄県では1割に満たないなど、地域差がみられる。

図表2-255 地方ブロック別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
1 北海道	314 (8.3%)	3,478 (91.7%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	3,576 (23.0%)	12,005 (77.0%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	484 (14.4%)	2,874 (85.6%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	725 (29.4%)	1,745 (70.6%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	687 (18.6%)	3,006 (81.4%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	1,575 (37.7%)	2,603 (62.3%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	5,099 (39.6%)	7,779 (60.4%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	1,461 (20.6%)	5,633 (79.4%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	4,751 (31.2%)	10,454 (68.8%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	3 (1.2%)	254 (98.8%)	257 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、地域運営組織がある集落の割合は基幹集落で 29.2%と最も高くなっている。

図表2-256 集落類型別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
基礎集落	15,512 (27.7%)	40,453 (72.3%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	2,000 (29.2%)	4,849 (70.8%)	6,849 (100.0%)
中心集落	995 (19.5%)	4,111 (80.5%)	5,106 (100.0%)
無回答	168 (28.7%)	418 (71.3%)	586 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、地域運営組織がある集落の割合は山間地集落で32.1%と最も高くなっている。

図表2-257 地域区分別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
山間地	6,370 (32.1%)	13,479 (67.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	5,868 (28.6%)	14,660 (71.4%)	20,528 (100.0%)
平地	5,232 (23.4%)	17,164 (76.6%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	1,204 (23.4%)	3,941 (76.6%)	5,145 (100.0%)
無回答	1 (0.2%)	587 (99.8%)	588 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、200人未満の集落では地域運営組織がある集落の割合が4分の1を超えている。

図表2-258 集落の人口規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
～9人	983 (28.3%)	2,491 (71.7%)	3,474 (100.0%)
10～24人	2,376 (28.8%)	5,860 (71.2%)	8,236 (100.0%)
25～49人	3,621 (28.2%)	9,227 (71.8%)	12,848 (100.0%)
50～99人	4,553 (27.9%)	11,756 (72.1%)	16,309 (100.0%)
100～199人	3,758 (26.7%)	10,311 (73.3%)	14,069 (100.0%)
200～499人	2,322 (24.0%)	7,338 (76.0%)	9,660 (100.0%)
500～999人	561 (23.1%)	1,869 (76.9%)	2,430 (100.0%)
1000人～	240 (24.0%)	759 (76.0%)	999 (100.0%)
無回答	261 (54.3%)	220 (45.7%)	481 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、100 世帯未満の集落では地域運営組織がある集落の割合が4分の1を超えている。

図表2-259 集落の世帯数規模別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
～9世帯	2,330 (28.2%)	5,941 (71.8%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	3,527 (28.7%)	8,780 (71.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	2,751 (28.5%)	6,918 (71.5%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	3,452 (27.6%)	9,038 (72.4%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	3,537 (26.7%)	9,704 (73.3%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	1,813 (24.5%)	5,601 (75.5%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	863 (24.5%)	2,659 (75.5%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	215 (22.8%)	729 (77.2%)	944 (100.0%)
無回答	187 (28.9%)	461 (71.1%)	648 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、地域運営組織がある集落の割合は、高齢者割合が75%以上100%未満の集落が最も高い。

図表2-260 65歳以上人口割合別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
50%未満	9,904 (25.5%)	28,941 (74.5%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	7,133 (29.3%)	17,200 (70.7%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	1,031 (30.8%)	2,313 (69.2%)	3,344 (100.0%)
100%	344 (25.7%)	997 (74.3%)	1,341 (100.0%)
無回答	263 (40.9%)	380 (59.1%)	643 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別では大きな差はみられず転入者の有無に関わらず、4分の1以上の集落に地域運営組織がある。

図表2-261 転入者の有無別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
転入者がいる	8,196 (27.4%)	21,693 (72.6%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	1,409 (25.0%)	4,222 (75.0%)	5,631 (100.0%)
分からない	8,724 (26.9%)	23,713 (73.1%)	32,437 (100.0%)
無回答	346 (63.0%)	203 (37.0%)	549 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

- サポート人材の活動状況別でみると、サポート人材が活動している集落の方が地域運営組織がある割合が高くなっている。

図表2-262 サポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	地域運営組織の有無別 集落数		計
	地域運営組織がある	地域運営組織はない	
サポート人材あり	10,493 (35.7%)	18,880 (64.3%)	29,373 (100.0%)
集落支援員	8,441 (40.8%)	12,228 (59.2%)	20,669 (100.0%)
地域おこし協力隊等	3,838 (25.3%)	11,360 (74.7%)	15,198 (100.0%)
その他	409 (30.7%)	923 (69.3%)	1,332 (100.0%)
サポート人材なし	8,182 (20.9%)	30,951 (79.1%)	39,133 (100.0%)
合計	18,675 (27.3%)	49,831 (72.7%)	68,506 (100.0%)

(10) 今後の集落の見通し

① 今後の集落の人口動向

【全体】

■ 今後の人口動向をみると、83.5%の集落では人口が減少するとみられている。

図表2-263 今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	45 (1.1%)	755 (18.7%)	3,212 (79.4%)	32 (0.8%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	339 (1.8%)	1,661 (9.0%)	16,270 (88.3%)	164 (0.9%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	30 (0.7%)	320 (7.9%)	3,699 (91.2%)	8 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	58 (1.7%)	310 (9.2%)	3,003 (89.0%)	2 (0.1%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	41 (0.8%)	326 (6.0%)	4,899 (90.3%)	161 (3.0%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	97 (2.0%)	493 (10.1%)	4,203 (86.2%)	82 (1.7%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	547 (4.0%)	2,469 (17.9%)	10,721 (77.6%)	70 (0.5%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	141 (1.9%)	722 (9.5%)	6,655 (88.0%)	45 (0.6%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	248 (1.5%)	2,606 (15.7%)	12,757 (76.6%)	1,037 (6.2%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	29 (11.3%)	84 (32.7%)	144 (56.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	1,575 (2.0%)	9,746 (12.4%)	65,563 (83.5%)	1,601 (2.0%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	1,799 (2.3%)	12,707 (16.6%)	61,350 (80.0%)	854 (1.1%)	76,710 (100.0%)

図表2-264 地域指定別・今後の人口動向の見通し別 集落数【全体】

全体	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
過疎地域	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)
振興山村	273 (1.0%)	2,144 (7.9%)	24,359 (89.5%)	431 (1.6%)	27,207 (100.0%)
離島	41 (1.7%)	309 (12.5%)	2,067 (83.9%)	48 (1.9%)	2,465 (100.0%)
半島	272 (1.9%)	1,951 (13.6%)	11,997 (83.4%)	167 (1.2%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	294 (2.4%)	1,587 (13.1%)	10,124 (83.8%)	73 (0.6%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落における今後の人口動向をみると、85.0%の集落では人口が減少するとみられている。
- 地方ブロック別でみると、沖縄県では人口増加が見込まれる集落が 11.3%と高くなっている一方、人口減少が見込まれる集落の割合は北陸圏で 93.6%と最も高くなっている。

図表2-265 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				
	増加	横ばい	減少	無回答	計
1 北海道	35 (0.9%)	664 (17.5%)	3,061 (80.7%)	32 (0.8%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	102 (0.7%)	1,119 (7.2%)	14,326 (91.9%)	34 (0.2%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	26 (0.8%)	274 (8.2%)	3,054 (90.9%)	4 (0.1%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	42 (1.7%)	116 (4.7%)	2,311 (93.6%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	25 (0.7%)	204 (5.5%)	3,440 (93.1%)	24 (0.6%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	73 (1.7%)	363 (8.7%)	3,664 (87.7%)	78 (1.9%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	496 (3.9%)	2,316 (18.0%)	9,996 (77.6%)	70 (0.5%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	139 (2.0%)	682 (9.6%)	6,228 (87.8%)	45 (0.6%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	184 (1.2%)	2,280 (15.0%)	11,990 (78.9%)	751 (4.9%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	29 (11.3%)	84 (32.7%)	144 (56.0%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、人口が減少すると予測されている集落の割合は、基礎集落及び基幹集落で 85.6%と、中心集落より高くなっている。

図表2-266 集落類型別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				
	増加	横ばい	減少	無回答	計
基礎集落	900 (1.6%)	6,266 (11.2%)	47,918 (85.6%)	881 (1.6%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	140 (2.0%)	779 (11.4%)	5,860 (85.6%)	70 (1.0%)	6,849 (100.0%)
中心集落	101 (2.0%)	987 (19.3%)	3,959 (77.5%)	59 (1.2%)	5,106 (100.0%)
無回答	10 (1.7%)	70 (11.9%)	477 (81.4%)	29 (4.9%)	586 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、今後人口の減少が予測されている集落の割合が最も高いのは山間地集落であり、90.8%の集落において人口減少が見込まれている。

図表2-267 地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	171 (0.9%)	1,482 (7.5%)	18,013 (90.8%)	183 (0.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	286 (1.4%)	2,250 (11.0%)	17,758 (86.5%)	234 (1.1%)	20,528 (100.0%)
平地	512 (2.3%)	3,199 (14.3%)	18,173 (81.1%)	512 (2.3%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	181 (3.5%)	1,145 (22.3%)	3,737 (72.6%)	82 (1.6%)	5,145 (100.0%)
無回答	1 (0.2%)	26 (4.4%)	533 (90.6%)	28 (4.8%)	588 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 地形的に末端にある集落では、今後人口が増加すると見込まれる集落はほとんどなく、9割以上は人口減少が予測されている。

図表2-268 地形的末端性別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
地形的な末端である	27 (0.7%)	282 (7.2%)	3,590 (91.5%)	25 (0.6%)	3,924 (100.0%)
地形的な末端でない	1,124 (1.7%)	7,820 (12.1%)	54,624 (84.6%)	1,014 (1.6%)	64,582 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、今後人口が増加又は横ばいと予測されている集落の割合は500人以上の比較的規模の大きい集落において高くなっている。
- これに対し、500人未満の集落では、人口減少が予測されている集落の割合が8割超と高くなっている。

図表2-269 集落の人口規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
～9人	27 (0.8%)	420 (12.1%)	2,997 (86.3%)	30 (0.9%)	3,474 (100.0%)
10～24人	107 (1.3%)	1,041 (12.6%)	6,997 (85.0%)	91 (1.1%)	8,236 (100.0%)
25～49人	153 (1.2%)	1,574 (12.3%)	10,947 (85.2%)	174 (1.4%)	12,848 (100.0%)
50～99人	220 (1.3%)	1,806 (11.1%)	14,030 (86.0%)	253 (1.6%)	16,309 (100.0%)
100～199人	215 (1.5%)	1,463 (10.4%)	12,166 (86.5%)	225 (1.6%)	14,069 (100.0%)
200～499人	246 (2.5%)	1,191 (12.3%)	8,029 (83.1%)	194 (2.0%)	9,660 (100.0%)
500～999人	123 (5.1%)	432 (17.8%)	1,839 (75.7%)	36 (1.5%)	2,430 (100.0%)
1000人～	56 (5.6%)	150 (15.0%)	786 (78.7%)	7 (0.7%)	999 (100.0%)
無回答	4 (0.8%)	25 (5.2%)	423 (87.9%)	29 (6.0%)	481 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口が増加又は横ばいと見込まれている集落の割合が最も高いのは 200～499 世帯の集落であるのに対して、200 世帯未満の集落では8割以上の集落で人口が減少すると見込まれている。

図表2-270 集落の世帯数規模別・今後の人口動向の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				
	増加	横ばい	減少	無回答	計
～9世帯	91 (1.1%)	1,048 (12.7%)	7,056 (85.3%)	76 (0.9%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	145 (1.2%)	1,508 (12.3%)	10,500 (85.3%)	154 (1.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	132 (1.4%)	1,079 (11.2%)	8,315 (86.0%)	143 (1.5%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	174 (1.4%)	1,348 (10.8%)	10,763 (86.2%)	205 (1.6%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	219 (1.7%)	1,433 (10.8%)	11,370 (85.9%)	219 (1.7%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	180 (2.4%)	923 (12.4%)	6,156 (83.0%)	155 (2.1%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	155 (4.4%)	596 (16.9%)	2,720 (77.2%)	51 (1.4%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	51 (5.4%)	136 (14.4%)	750 (79.4%)	7 (0.7%)	944 (100.0%)
無回答	4 (0.6%)	31 (4.8%)	584 (90.1%)	29 (4.5%)	648 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、特に高齢者割合が50%以上100%未満の集落では、今後の人口減少が予測されている集落の割合が高くなっている。

図表2-271 65歳以上人口割合別・今後の人口動向の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				
	増加	横ばい	減少	無回答	計
50%未満	975 (2.5%)	5,592 (14.4%)	31,569 (81.3%)	709 (1.8%)	38,845 (100.0%)
50%以上	142 (0.6%)	1,890 (7.8%)	22,053 (90.6%)	248 (1.0%)	24,333 (100.0%)
75%未満	20 (0.6%)	317 (9.5%)	2,969 (88.8%)	38 (1.1%)	3,344 (100.0%)
100%未満	8 (0.6%)	199 (14.8%)	1,119 (83.4%)	15 (1.1%)	1,341 (100.0%)
100%	6 (0.9%)	104 (16.2%)	504 (78.4%)	29 (4.5%)	643 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落では、今後の人口減少が予測される集落の割合が88.8%と高くなっている。

図表2-272 転入者の有無別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
転入者がいる	551 (1.8%)	4,026 (13.5%)	25,042 (83.8%)	270 (0.9%)	29,889 (100.0%)
転入者がいない	23 (0.4%)	586 (10.4%)	4,998 (88.8%)	24 (0.4%)	5,631 (100.0%)
分からない	571 (1.8%)	3,302 (10.2%)	27,833 (85.8%)	731 (2.3%)	32,437 (100.0%)
無回答	6 (1.1%)	188 (34.2%)	341 (62.1%)	14 (2.6%)	549 (100.0%)
合計	1,151 (1.7%)	8,102 (11.8%)	58,214 (85.0%)	1,039 (1.5%)	68,506 (100.0%)

②集落の無人化可能性

【全体】

- 今後 10 年以内に無人化の可能性のある集落は 488 集落(0.6%)であり、いずれ無人化すると予測されている集落は 3,324 集落(4.2%)である。

図表2-273 集落の無人化可能性別 集落数 【全体】

全体	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
1 北海道	18 (0.4%)	203 (5.0%)	3,197 (79.1%)	626 (15.5%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	73 (0.4%)	536 (2.9%)	15,195 (82.4%)	2,630 (14.3%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	11 (0.3%)	127 (3.1%)	3,450 (85.0%)	469 (11.6%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	29 (0.9%)	107 (3.2%)	2,909 (86.2%)	328 (9.7%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	30 (0.6%)	359 (6.6%)	3,814 (70.3%)	1,224 (22.6%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	37 (0.8%)	236 (4.8%)	3,324 (68.2%)	1,278 (26.2%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	70 (0.5%)	427 (3.1%)	9,783 (70.9%)	3,527 (25.5%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	157 (2.1%)	633 (8.4%)	4,337 (57.3%)	2,436 (32.2%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	63 (0.4%)	696 (4.2%)	11,648 (70.0%)	4,241 (25.5%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (95.7%)	11 (4.3%)	257 (100.0%)
合計	488 (0.6%)	3,324 (4.2%)	57,903 (73.8%)	16,770 (21.4%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	505 (0.7%)	3,117 (4.1%)	66,237 (86.3%)	6,851 (8.9%)	76,710 (100.0%)

図表2-274 地域指定別・集落の無人化可能性別 集落数 【全体】

全体	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
過疎地域	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)
振興山村	303 (1.1%)	1,896 (7.0%)	19,390 (71.3%)	5,618 (20.6%)	27,207 (100.0%)
離島	9 (0.4%)	128 (5.2%)	1,904 (77.2%)	424 (17.2%)	2,465 (100.0%)
半島	85 (0.6%)	648 (4.5%)	9,945 (69.1%)	3,709 (25.8%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	85 (0.7%)	547 (4.5%)	9,577 (79.3%)	1,869 (15.5%)	12,078 (100.0%)

図表2-275 サポート人材の活動状況別・集落の無人化可能性別 集落数【全体】

全体	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
サポート人材 あり	267 (0.8%)	1,540 (4.7%)	23,636 (72.1%)	7,332 (22.4%)	32,775 (100.0%)
集落	194 (0.9%)	1,113 (4.9%)	16,060 (71.0%)	5,258 (23.2%)	22,625 (100.0%)
支援員	127 (0.7%)	781 (4.5%)	12,376 (71.7%)	3,967 (23.0%)	17,251 (100.0%)
地域おこし 協力隊等	4 (0.3%)	71 (5.1%)	1,140 (81.5%)	184 (13.2%)	1,399 (100.0%)
サポート人材 なし	221 (0.5%)	1,784 (3.9%)	34,267 (75.0%)	9,438 (20.6%)	45,710 (100.0%)
合計	488 (0.6%)	3,324 (4.2%)	57,903 (73.8%)	16,770 (21.4%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 今後 10 年以内に無人化の可能性がある集落は 430 集落(0.6%)であり、いずれ無人化すると予測されている集落は 2,915 集落(4.3%)である。
- 地方ブロック別でみると、今後「10年以内に無人化」あるいは「いずれ無人化」と予測されている集落の割合が最も高いのは四国圏である。

図表2-276 地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
1 北海道	18 (0.5%)	184 (4.9%)	2,996 (79.0%)	594 (15.7%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	50 (0.3%)	483 (3.1%)	12,668 (81.3%)	2,380 (15.3%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	11 (0.3%)	119 (3.5%)	2,859 (85.1%)	369 (11.0%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	19 (0.8%)	75 (3.0%)	2,198 (89.0%)	178 (7.2%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	20 (0.5%)	257 (7.0%)	2,656 (71.9%)	760 (20.6%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	36 (0.9%)	202 (4.8%)	2,877 (68.9%)	1,063 (25.4%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	69 (0.5%)	391 (3.0%)	9,252 (71.8%)	3,166 (24.6%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	144 (2.0%)	525 (7.4%)	4,156 (58.6%)	2,269 (32.0%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	63 (0.4%)	679 (4.5%)	10,548 (69.4%)	3,915 (25.7%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (95.7%)	11 (4.3%)	257 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、「10年以内に無人化」の可能性があるとされた集落、又は「いずれ無人化」とされた集落の大部分が基礎集落である。

図表2-277 集落類型別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
基礎集落	423 (0.8%)	2,789 (5.0%)	41,035 (73.3%)	11,718 (20.9%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	5 (0.1%)	84 (1.2%)	5,530 (80.7%)	1,230 (18.0%)	6,849 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	22 (0.4%)	3,541 (69.3%)	1,543 (30.2%)	5,106 (100.0%)
無回答	2 (0.3%)	20 (3.4%)	350 (59.7%)	214 (36.5%)	586 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落では「10年以内に無人化」、又は「いずれ無人化」と予測されている集落の割合が最も高くなっている。

図表2-278 地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
山間地	322 (1.6%)	1,920 (9.7%)	13,657 (68.8%)	3,950 (19.9%)	19,849 (100.0%)
中間地	66 (0.3%)	715 (3.5%)	14,711 (71.7%)	5,036 (24.5%)	20,528 (100.0%)
平地	34 (0.2%)	224 (1.0%)	17,610 (78.6%)	4,528 (20.2%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	8 (0.2%)	48 (0.9%)	4,173 (81.1%)	916 (17.8%)	5,145 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	8 (1.4%)	305 (51.9%)	275 (46.8%)	588 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 「10年以内に無人化」、あるいは「いずれ無人化」と予測されている集落の割合は地形的に末端にある集落においてより高くなっている。

図表2-279 地形的末端性別・無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
地形的な末端である	154 (3.9%)	642 (16.4%)	2,309 (58.8%)	819 (20.9%)	3,924 (100.0%)
地形的な末端でない	276 (0.4%)	2,273 (3.5%)	48,147 (74.6%)	13,886 (21.5%)	64,582 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、「10年以内に無人化」、あるいは「いずれ無人化」と予測されている集落の割合が最も高いのは人口10人未満の小規模集落である。

図表2-280 集落の人口規模別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
～9人	369 (10.6%)	1,202 (34.6%)	1,429 (41.1%)	474 (13.6%)	3,474 (100.0%)
10～24人	43 (0.5%)	964 (11.7%)	5,433 (66.0%)	1,796 (21.8%)	8,236 (100.0%)
25～49人	9 (0.1%)	375 (2.9%)	9,285 (72.3%)	3,179 (24.7%)	12,848 (100.0%)
50～99人	2 (0.0%)	196 (1.2%)	12,231 (75.0%)	3,880 (23.8%)	16,309 (100.0%)
100～199人	1 (0.0%)	89 (0.6%)	11,071 (78.7%)	2,908 (20.7%)	14,069 (100.0%)
200～499人	0 (0.0%)	55 (0.6%)	7,816 (80.9%)	1,789 (18.5%)	9,660 (100.0%)
500～999人	0 (0.0%)	6 (0.2%)	1,998 (82.2%)	426 (17.5%)	2,430 (100.0%)
1000人～	0 (0.0%)	15 (1.5%)	842 (84.3%)	142 (14.2%)	999 (100.0%)
無回答	6 (1.2%)	13 (2.7%)	351 (73.0%)	111 (23.1%)	481 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別でみると、「10年以内に無人化」、あるいは「いずれ無人化」と予測されている集落の割合は10世帯未満の集落において最も高くなっている。

図表2-281 集落の世帯数規模別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
～9世帯	395 (4.8%)	1,788 (21.6%)	4,622 (55.9%)	1,466 (17.7%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	20 (0.2%)	591 (4.8%)	8,824 (71.7%)	2,872 (23.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	3 (0.0%)	193 (2.0%)	7,142 (73.9%)	2,331 (24.1%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	2 (0.0%)	146 (1.2%)	9,473 (75.8%)	2,869 (23.0%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	1 (0.0%)	94 (0.7%)	10,391 (78.5%)	2,755 (20.8%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	0 (0.0%)	43 (0.6%)	5,888 (79.4%)	1,483 (20.0%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	0 (0.0%)	16 (0.5%)	2,880 (81.8%)	626 (17.8%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	0 (0.0%)	14 (1.5%)	791 (83.8%)	139 (14.7%)	944 (100.0%)
無回答	9 (1.4%)	30 (4.6%)	445 (68.7%)	164 (25.3%)	648 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落の16.6%は10年以内に無人化すると予測されており、いずれ無人化するとみられる集落も36.2%にのぼっている。
- 高齢者割合が75%以上100%未満の集落でも、2割程度の集落が「10年以内に無人化」又は「いずれ無人化」と予測されている。

図表2-282 65歳以上人口割合別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
50%未満	43 (0.1%)	512 (1.3%)	30,095 (77.5%)	8,195 (21.1%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	86 (0.4%)	1,217 (5.0%)	17,446 (71.7%)	5,584 (22.9%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	73 (2.2%)	642 (19.2%)	1,968 (58.9%)	661 (19.8%)	3,344 (100.0%)
100%	222 (16.6%)	486 (36.2%)	479 (35.7%)	154 (11.5%)	1,341 (100.0%)
無回答	6 (0.9%)	58 (9.0%)	468 (72.8%)	111 (17.3%)	643 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別で見ると、転入者がいないとされる集落において今後無人化する可能性のある集落の割合が高くなっている。

図表2-283 転入者の有無別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
転入者がいる	59 (0.2%)	784 (2.6%)	23,110 (77.3%)	5,936 (19.9%)	29,889 (100.0%)
転入者はいない	186 (3.3%)	859 (15.3%)	3,279 (58.2%)	1,307 (23.2%)	5,631 (100.0%)
分からない	173 (0.5%)	1,247 (3.8%)	23,641 (72.9%)	7,376 (22.7%)	32,437 (100.0%)
無回答	12 (2.2%)	25 (4.6%)	426 (77.6%)	86 (15.7%)	549 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

- サポート人材の活動状況別で見ると、今後無人化する可能性のある集落で、サポート人材が活動する割合が高くなっている。

図表2-284 サポート人材の活動状況別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に無人化	いずれ無人化	当面存続	無回答	
サポート人材あり	250 (0.9%)	1,393 (4.7%)	20,890 (71.1%)	6,840 (23.3%)	29,373 (100.0%)
集落 支援員	183 (0.9%)	1,056 (5.1%)	14,406 (69.7%)	5,024 (24.3%)	20,669 (100.0%)
地域おこし 協力隊等	121 (0.8%)	677 (4.5%)	10,695 (70.4%)	3,705 (24.4%)	15,198 (100.0%)
その他	4 (0.3%)	71 (5.3%)	1,081 (81.2%)	176 (13.2%)	1,332 (100.0%)
サポート人材なし	180 (0.5%)	1,522 (3.9%)	29,566 (75.6%)	7,865 (20.1%)	39,133 (100.0%)
合計	430 (0.6%)	2,915 (4.3%)	50,456 (73.7%)	14,705 (21.5%)	68,506 (100.0%)

③無人化が予測されている集落の特性

【全体】

- 無人化が予測されている集落の多くは、役場(本庁)から遠距離にある山間地の基礎集落であり、「10年以内に無人化」の可能性のある集落は人口規模が10人未満、世帯規模が10世帯未満の小規模集落が大部分を占めている。
- 「いずれ無人化」と予測されている集落の特性をみると、人口規模が25人未満、世帯規模が20世帯未満の集落が大部分を占めている。

図表2-285 今後の無人化可能性別にみた集落特性【全体】

全体		今後の無人化の可能性				
		10年以内に無人化の可能性あり	いずれ無人化の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	481 (98.6%)	3,162 (95.1%)	46,438 (80.2%)	13,083 (78.0%)	63,164 (80.5%)
	基幹集落	5 (1.0%)	101 (3.0%)	6,413 (11.1%)	1,477 (8.8%)	7,996 (10.2%)
	中心集落	0 (0.0%)	31 (0.9%)	4,164 (7.2%)	1,679 (10.0%)	5,874 (7.5%)
地域区分	山間地	372 (76.2%)	2,218 (66.7%)	15,449 (26.7%)	4,501 (26.8%)	22,540 (28.7%)
	中間地	69 (14.1%)	770 (23.2%)	16,538 (28.6%)	5,559 (33.1%)	22,936 (29.2%)
	平地	38 (7.8%)	270 (8.1%)	19,665 (34.0%)	4,869 (29.0%)	24,842 (31.7%)
	都市的地域	9 (1.8%)	51 (1.5%)	5,290 (9.1%)	1,247 (7.4%)	6,597 (8.4%)
人口規模	～9	420 (86.1%)	1,359 (40.9%)	1,556 (2.7%)	500 (3.0%)	3,835 (4.9%)
	10～24	47 (9.6%)	1,096 (33.0%)	5,829 (10.1%)	1,904 (11.4%)	8,876 (11.3%)
	25～49	9 (1.8%)	427 (12.8%)	10,028 (17.3%)	3,399 (20.3%)	13,863 (17.7%)
	50～99	2 (0.4%)	221 (6.6%)	13,552 (23.4%)	4,143 (24.7%)	17,918 (22.8%)
	100～199	1 (0.2%)	99 (3.0%)	12,634 (21.8%)	3,203 (19.1%)	15,937 (20.3%)
	200～499	0 (0.0%)	68 (2.0%)	9,550 (16.5%)	2,130 (12.7%)	11,748 (15.0%)
	500～999	0 (0.0%)	7 (0.2%)	2,747 (4.7%)	623 (3.7%)	3,377 (4.3%)
	1000～	0 (0.0%)	16 (0.5%)	1,461 (2.5%)	286 (1.7%)	1,763 (2.2%)
世帯数規模	～9	450 (92.2%)	2,018 (60.7%)	4,988 (8.6%)	1,551 (9.2%)	9,007 (11.5%)
	10～19	20 (4.1%)	675 (20.3%)	9,531 (16.5%)	3,107 (18.5%)	13,333 (17.0%)
	20～29	3 (0.6%)	221 (6.6%)	7,883 (13.6%)	2,521 (15.0%)	10,628 (13.5%)
	30～49	2 (0.4%)	166 (5.0%)	10,562 (18.2%)	3,105 (18.5%)	13,835 (17.6%)
	50～99	1 (0.2%)	108 (3.2%)	11,914 (20.6%)	3,072 (18.3%)	15,095 (19.2%)
	100～199	0 (0.0%)	51 (1.5%)	7,182 (12.4%)	1,742 (10.4%)	8,975 (11.4%)
	200～499	0 (0.0%)	18 (0.5%)	3,906 (6.7%)	864 (5.2%)	4,788 (6.1%)
	500～	0 (0.0%)	15 (0.5%)	1,335 (2.3%)	259 (1.5%)	1,609 (2.1%)
65歳以上割合	100%	251 (51.4%)	530 (15.9%)	515 (0.9%)	162 (1.0%)	1,458 (1.9%)
	75%以上100%未満	79 (16.2%)	732 (22.0%)	2,125 (3.7%)	696 (4.2%)	3,632 (4.6%)
	50%以上75%未満	96 (19.7%)	1,365 (41.1%)	18,987 (32.8%)	5,977 (35.6%)	26,425 (33.7%)
	25%以上50%未満	27 (5.5%)	507 (15.3%)	32,448 (56.0%)	8,471 (50.5%)	41,453 (52.8%)
	25%未満	26 (5.3%)	109 (3.3%)	3,114 (5.4%)	880 (5.2%)	4,129 (5.3%)
75歳以上	100%	148 (30.3%)	155 (4.7%)	132 (0.2%)	40 (0.2%)	475 (0.6%)
	50%以上100%未満	169 (34.6%)	1,030 (31.0%)	2,572 (4.4%)	841 (5.0%)	4,612 (5.9%)
	50%未満	162 (33.2%)	2,058 (61.9%)	54,485 (94.1%)	15,305 (91.3%)	72,010 (91.8%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	35 (7.2%)	274 (8.2%)	19,834 (34.3%)	5,742 (34.2%)	25,885 (33.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	63 (12.9%)	594 (17.9%)	13,725 (23.7%)	3,738 (22.3%)	18,120 (23.1%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	179 (36.7%)	1,194 (35.9%)	14,715 (25.4%)	3,960 (23.6%)	20,048 (25.5%)
	20 ^{キロ} 以上	209 (42.8%)	1,209 (36.4%)	9,229 (15.9%)	2,987 (17.8%)	13,634 (17.4%)
地形	地形的末端である	179 (36.7%)	768 (23.1%)	2,685 (4.6%)	927 (5.5%)	4,559 (5.8%)
	地形的末端でない	309 (63.3%)	2,556 (76.9%)	55,218 (95.4%)	15,843 (94.5%)	73,926 (94.2%)
全体(割合の基数)		488 (100.0%)	3,324 (100.0%)	57,903 (100.0%)	16,770 (100.0%)	78,485 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において「10年以内に無人化」の可能性のある集落は山間地の基礎集落で65歳以上の高齢者割合が50%以上の集落が大部分を占めている。
- 「いずれ無人化」と予測されている集落も、人口規模が25人未満、世帯規模が20世帯未満の比較的小規模な集落が7～8割を占めている。

図表2-286 今後の無人化可能性別にみた集落特性【過疎地域のみ】

過疎地域		今後の無人化の可能性				
		10年以内に無人化の可能性あり	いずれ無人化の可能性あり	存続	無回答	計
集落類型	基礎集落	423 (98.4%)	2,789 (95.7%)	41,035 (81.3%)	11,718 (79.7%)	55,965 (81.7%)
	基幹集落	5 (1.2%)	84 (2.9%)	5,530 (11.0%)	1,230 (8.4%)	6,849 (10.0%)
	中心集落	0 (0.0%)	22 (0.8%)	3,541 (7.0%)	1,543 (10.5%)	5,106 (7.5%)
地域区分	山間地	322 (74.9%)	1,920 (65.9%)	13,657 (27.1%)	3,950 (26.9%)	19,849 (29.0%)
	中間地	66 (15.3%)	715 (24.5%)	14,711 (29.2%)	5,036 (34.2%)	20,528 (30.0%)
	平地	34 (7.9%)	224 (7.7%)	17,610 (34.9%)	4,528 (30.8%)	22,396 (32.7%)
	都市的地域	8 (1.9%)	48 (1.6%)	4,173 (8.3%)	916 (6.2%)	5,145 (7.5%)
人口規模	～9	369 (85.8%)	1,202 (41.2%)	1,429 (2.8%)	474 (3.2%)	3,474 (5.1%)
	10～24	43 (10.0%)	964 (33.1%)	5,433 (10.8%)	1,796 (12.2%)	8,236 (12.0%)
	25～49	9 (2.1%)	375 (12.9%)	9,285 (18.4%)	3,179 (21.6%)	12,848 (18.8%)
	50～99	2 (0.5%)	196 (6.7%)	12,231 (24.2%)	3,880 (26.4%)	16,309 (23.8%)
	100～199	1 (0.2%)	89 (3.1%)	11,071 (21.9%)	2,908 (19.8%)	14,069 (20.5%)
	200～499	0 (0.0%)	55 (1.9%)	7,816 (15.5%)	1,789 (12.2%)	9,660 (14.1%)
	500～999	0 (0.0%)	6 (0.2%)	1,998 (4.0%)	426 (2.9%)	2,430 (3.5%)
	1000～	0 (0.0%)	15 (0.5%)	842 (1.7%)	142 (1.0%)	999 (1.5%)
世帯数規模	～9	395 (91.9%)	1,788 (61.3%)	4,622 (9.2%)	1,466 (10.0%)	8,271 (12.1%)
	10～19	20 (4.7%)	591 (20.3%)	8,824 (17.5%)	2,872 (19.5%)	12,307 (18.0%)
	20～29	3 (0.7%)	193 (6.6%)	7,142 (14.2%)	2,331 (15.9%)	9,669 (14.1%)
	30～49	2 (0.5%)	146 (5.0%)	9,473 (18.8%)	2,869 (19.5%)	12,490 (18.2%)
	50～99	1 (0.2%)	94 (3.2%)	10,391 (20.6%)	2,755 (18.7%)	13,241 (19.3%)
	100～199	0 (0.0%)	43 (1.5%)	5,888 (11.7%)	1,483 (10.1%)	7,414 (10.8%)
	200～499	0 (0.0%)	16 (0.5%)	2,880 (5.7%)	626 (4.3%)	3,522 (5.1%)
	500～	0 (0.0%)	14 (0.5%)	791 (1.6%)	139 (0.9%)	944 (1.4%)
65歳以上割合	100%	222 (51.6%)	486 (16.7%)	479 (0.9%)	154 (1.0%)	1,341 (2.0%)
	75%以上100%未満	73 (17.0%)	642 (22.0%)	1,968 (3.9%)	661 (4.5%)	3,344 (4.9%)
	50%以上75%未満	86 (20.0%)	1,217 (41.7%)	17,446 (34.6%)	5,584 (38.0%)	24,333 (35.5%)
	25%以上50%未満	23 (5.3%)	438 (15.0%)	27,761 (55.0%)	7,537 (51.3%)	35,759 (52.2%)
	25%未満	20 (4.7%)	74 (2.5%)	2,334 (4.6%)	658 (4.5%)	3,086 (4.5%)
75歳以上	100%	134 (31.2%)	138 (4.7%)	120 (0.2%)	38 (0.3%)	430 (0.6%)
	50%以上100%未満	149 (34.7%)	908 (31.1%)	2,376 (4.7%)	791 (5.4%)	4,224 (6.2%)
	50%未満	141 (32.8%)	1,811 (62.1%)	47,492 (94.1%)	13,765 (93.6%)	63,209 (92.3%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	32 (7.4%)	254 (8.7%)	16,992 (33.7%)	5,019 (34.1%)	22,297 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	58 (13.5%)	548 (18.8%)	11,898 (23.6%)	3,433 (23.3%)	15,937 (23.3%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	157 (36.5%)	1,058 (36.3%)	12,957 (25.7%)	3,707 (25.2%)	17,879 (26.1%)
	20 ^{キロ} 以上	181 (42.1%)	1,006 (34.5%)	8,256 (16.4%)	2,536 (17.2%)	11,979 (17.5%)
地形	地形的末端である	154 (35.8%)	642 (22.0%)	2,309 (4.6%)	819 (5.6%)	3,924 (5.7%)
	地形的末端でない	276 (64.2%)	2,273 (78.0%)	48,147 (95.4%)	13,886 (94.4%)	64,582 (94.3%)
全体(割合の基数)		430 (100.0%)	2,915 (100.0%)	50,456 (100.0%)	14,705 (100.0%)	68,506 (100.0%)

④集落機能の維持・再編成の見通し

【全体】

- 今後の集落機能の維持・再編成の見通しをみると、92.6%と大部分の集落では「予定なし」としている。
- 地域指定別でみると離島地域では機能的再編を予定している集落の割合が高い。

図表2-287 集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	4 (0.1%)	8 (0.2%)	117 (2.9%)	3,883 (96.0%)	32 (0.8%)	4,044 (100.0%)
2 東北圏	2 (0.0%)	8 (0.0%)	101 (0.5%)	555 (3.0%)	17,620 (95.6%)	148 (0.8%)	18,434 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)	113 (2.8%)	3,931 (96.9%)	10 (0.2%)	4,057 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,317 (98.3%)	56 (1.7%)	3,373 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	1 (0.0%)	130 (2.4%)	322 (5.9%)	4,953 (91.3%)	21 (0.4%)	5,427 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	261 (5.4%)	110 (2.3%)	4,460 (91.5%)	44 (0.9%)	4,875 (100.0%)
7 中国圏	1 (0.0%)	20 (0.1%)	195 (1.4%)	723 (5.2%)	12,071 (87.4%)	797 (5.8%)	13,807 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	8 (0.1%)	3 (0.0%)	244 (3.2%)	7,231 (95.6%)	77 (1.0%)	7,563 (100.0%)
9 九州圏	1 (0.0%)	76 (0.5%)	111 (0.7%)	1,160 (7.0%)	14,956 (89.8%)	344 (2.1%)	16,648 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	252 (98.1%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	120 (0.2%)	814 (1.0%)	3,344 (4.3%)	72,674 (92.6%)	1,529 (1.9%)	78,485 (100.0%)
参考: 前回調査	4 (0.0%)	269 (0.4%)	685 (0.9%)	3,405 (4.4%)	70,611 (92.0%)	1,736 (2.3%)	76,710 (100.0%)

図表2-288 地域指定別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【全体】

全体	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
過疎地域	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)
振興山村	0 (0.0%)	20 (0.1%)	443 (1.6%)	1,401 (5.1%)	24,777 (91.1%)	566 (2.1%)	27,207 (100.0%)
離島	0 (0.0%)	2 (0.1%)	115 (4.7%)	45 (1.8%)	2,255 (91.5%)	48 (1.9%)	2,465 (100.0%)
半島	0 (0.0%)	5 (0.0%)	135 (0.9%)	841 (5.8%)	13,348 (92.8%)	58 (0.4%)	14,387 (100.0%)
特別豪雪地帯	0 (0.0%)	4 (0.0%)	15 (0.1%)	345 (2.9%)	11,661 (96.5%)	53 (0.4%)	12,078 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落機能の維持・再編成の見通しをみると、大部分の集落では「予定なし」としている。
- 地方ブロック別でみると、行政的再編については中国圏と九州圏で、また集落機能の再編成については中部圏や近畿圏で比較的多くみられる。

図表2-289 地方ブロック別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	4 (0.1%)	8 (0.2%)	117 (3.1%)	3,631 (95.8%)	32 (0.8%)	3,792 (100.0%)
2 東北圏	2 (0.0%)	8 (0.1%)	101 (0.6%)	517 (3.3%)	14,904 (95.7%)	49 (0.3%)	15,581 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)	103 (3.1%)	3,246 (96.7%)	6 (0.2%)	3,358 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,469 (100.0%)	1 (0.0%)	2,470 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	130 (3.5%)	288 (7.8%)	3,255 (88.1%)	20 (0.5%)	3,693 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	177 (4.2%)	95 (2.3%)	3,866 (92.5%)	40 (1.0%)	4,178 (100.0%)
7 中国圏	1 (0.0%)	20 (0.2%)	135 (1.0%)	556 (4.3%)	11,369 (88.3%)	797 (6.2%)	12,878 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	8 (0.1%)	3 (0.0%)	206 (2.9%)	6,801 (95.9%)	76 (1.1%)	7,094 (100.0%)
9 九州圏	1 (0.0%)	75 (0.5%)	111 (0.7%)	1,099 (7.2%)	13,853 (91.1%)	66 (0.4%)	15,205 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.9%)	0 (0.0%)	252 (98.1%)	0 (0.0%)	257 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落類型別でみると、集落機能の再編成が予定されている集落のほとんどは基礎集落である。

図表2-290 集落類型別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
基礎集落	4 (0.0%)	103 (0.2%)	583 (1.0%)	2,468 (4.4%)	52,562 (93.9%)	245 (0.4%)	55,965 (100.0%)
基幹集落	0 (0.0%)	12 (0.2%)	50 (0.7%)	290 (4.2%)	6,452 (94.2%)	45 (0.7%)	6,849 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	3 (0.1%)	36 (0.7%)	160 (3.1%)	4,145 (81.2%)	762 (14.9%)	5,106 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	63 (10.8%)	487 (83.1%)	35 (6.0%)	586 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 地域区分別でみると、行政的再編が予定されている集落は山間地から平地にまで広く分布している。
- 機能的再編についても、山間地から平地にかけて予定されている集落がみられるが、都市的地域にある集落でも1.6%は集落機能の再編成が予定されている。

図表2-291 地域区分別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
山間地	1 (0.0%)	51 (0.3%)	222 (1.1%)	1,102 (5.6%)	18,110 (91.2%)	363 (1.8%)	19,849 (100.0%)
中間地	2 (0.0%)	46 (0.2%)	182 (0.9%)	820 (4.0%)	19,175 (93.4%)	303 (1.5%)	20,528 (100.0%)
平地	1 (0.0%)	18 (0.1%)	183 (0.8%)	936 (4.2%)	20,978 (93.7%)	280 (1.3%)	22,396 (100.0%)
都市的地域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	82 (1.6%)	123 (2.4%)	4,901 (95.3%)	39 (0.8%)	5,145 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	3 (0.5%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	482 (82.0%)	102 (17.3%)	588 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落の人口規模別でみると、行政的再編や機能的再編など何らかの集落再編が予定されている集落は、人口規模に関わらずみられる。

図表2-292 集落の人口規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9人	0 (0.0%)	20 (0.6%)	25 (0.7%)	190 (5.5%)	3,161 (91.0%)	78 (2.2%)	3,474 (100.0%)
10～24人	2 (0.0%)	13 (0.2%)	43 (0.5%)	426 (5.2%)	7,560 (91.8%)	192 (2.3%)	8,236 (100.0%)
25～49人	0 (0.0%)	11 (0.1%)	80 (0.6%)	662 (5.2%)	11,819 (92.0%)	276 (2.1%)	12,848 (100.0%)
50～99人	1 (0.0%)	26 (0.2%)	170 (1.0%)	648 (4.0%)	15,221 (93.3%)	243 (1.5%)	16,309 (100.0%)
100～199人	0 (0.0%)	34 (0.2%)	165 (1.2%)	568 (4.0%)	13,162 (93.6%)	140 (1.0%)	14,069 (100.0%)
200～499人	1 (0.0%)	11 (0.1%)	130 (1.3%)	355 (3.7%)	9,079 (94.0%)	84 (0.9%)	9,660 (100.0%)
500～999人	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (1.8%)	97 (4.0%)	2,258 (92.9%)	32 (1.3%)	2,430 (100.0%)
1000人～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (1.4%)	29 (2.9%)	940 (94.1%)	16 (1.6%)	999 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	3 (0.6%)	0 (0.0%)	6 (1.2%)	446 (92.7%)	26 (5.4%)	481 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、機能的再編が予定されている集落はいずれの世帯数規模区分においても一定程度存在しており、世帯数規模による差はあまりみられないが、行政的再編については、100 世帯未満の集落で予定されている割合が高くなっている。

図表2-293 集落の世帯数規模別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
～9世帯	2 (0.0%)	30 (0.4%)	49 (0.6%)	414 (5.0%)	7,550 (91.3%)	226 (2.7%)	8,271 (100.0%)
10～19世帯	0 (0.0%)	12 (0.1%)	63 (0.5%)	628 (5.1%)	11,315 (91.9%)	289 (2.3%)	12,307 (100.0%)
20～29世帯	0 (0.0%)	11 (0.1%)	82 (0.8%)	414 (4.3%)	9,007 (93.2%)	155 (1.6%)	9,669 (100.0%)
30～49世帯	1 (0.0%)	20 (0.2%)	142 (1.1%)	501 (4.0%)	11,678 (93.5%)	148 (1.2%)	12,490 (100.0%)
50～99世帯	0 (0.0%)	37 (0.3%)	164 (1.2%)	542 (4.1%)	12,380 (93.5%)	118 (0.9%)	13,241 (100.0%)
100～199世帯	0 (0.0%)	5 (0.1%)	100 (1.3%)	299 (4.0%)	6,945 (93.7%)	65 (0.9%)	7,414 (100.0%)
200～499世帯	1 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (1.6%)	150 (4.3%)	3,270 (92.8%)	46 (1.3%)	3,522 (100.0%)
500世帯～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (1.6%)	25 (2.6%)	890 (94.3%)	14 (1.5%)	944 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	8 (1.2%)	611 (94.3%)	26 (4.0%)	648 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が100% (集落住民全員が65歳以上)の集落では、行政的再編が予定されている集落の割合がやや高くなっている。

図表2-294 65歳以上人口割合別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転を予定	行政的再編を予定	機能の再編成を予定	検討中	予定なし	無回答	
50%未満	2 (0.0%)	54 (0.1%)	413 (1.1%)	1,362 (3.5%)	36,362 (93.6%)	652 (1.7%)	38,845 (100.0%)
50%以上 75%未満	2 (0.0%)	45 (0.2%)	225 (0.9%)	1,328 (5.5%)	22,409 (92.1%)	324 (1.3%)	24,333 (100.0%)
75%以上 100%未満	0 (0.0%)	8 (0.2%)	22 (0.7%)	215 (6.4%)	3,044 (91.0%)	55 (1.6%)	3,344 (100.0%)
100%	0 (0.0%)	8 (0.6%)	10 (0.7%)	70 (5.2%)	1,223 (91.2%)	30 (2.2%)	1,341 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	6 (0.9%)	608 (94.6%)	26 (4.0%)	643 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

- 転入者の有無別でみると、行政的再編や機能的再編を予定している集落の割合にあまり大きな差はないが、転入者はいないとされる集落の方がわずかに行政的再編を予定している集落の割合が高い。

図表2-295 転入者の有無別・集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	集落機能の維持・再編成の見通し別 集落数						計
	空間的移転 を予定	行政的再編 を予定	機能の再編 成を予定	検討中	予定なし	無回答	
転入者が いる	2 (0.0%)	13 (0.0%)	373 (1.2%)	1,114 (3.7%)	28,198 (94.3%)	189 (0.6%)	29,889 (100.0%)
転入者は いない	1 (0.0%)	12 (0.2%)	44 (0.8%)	315 (5.6%)	5,245 (93.1%)	14 (0.2%)	5,631 (100.0%)
分からない	1 (0.0%)	88 (0.3%)	253 (0.8%)	1,522 (4.7%)	29,713 (91.6%)	860 (2.7%)	32,437 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	5 (0.9%)	0 (0.0%)	30 (5.5%)	490 (89.3%)	24 (4.4%)	549 (100.0%)
合計	4 (0.0%)	118 (0.2%)	670 (1.0%)	2,981 (4.4%)	63,646 (92.9%)	1,087 (1.6%)	68,506 (100.0%)

(11)無人化が危惧されている集落における住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組状況

①交通利便性

【全体】

- 今後の集落の無人化可能性について、「10年以内に無人化」又は「いずれ無人化」とされた3,812集落(以下「無人化が危惧されている集落」という。)について、各集落から最寄りの行政窓口、病院、商店までの車での所要時間をみると、全体平均ではいずれも15～16分程度でアクセスできるとされており、10分以内でアクセスできる集落の割合が最も高いが、21分以上かかる集落も一定程度みられる。
- 地域指定別でみると、離島地域や半島地域では無人化が危惧されていても比較的交通便利性が高い集落の割合が高い。

図表2-296 地域指定別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【全体】

全体	無人化が危惧される集落	行政窓口までの車での所要時間			病院までの車での所要時間			商店までの車での所要時間			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
1 北海道	221 (100.0%)	127 (57.5%)	64 (29.0%)	30 (13.6%)	93 (42.1%)	82 (37.1%)	46 (20.8%)	111 (50.2%)	90 (40.7%)	20 (9.0%)	2,787 (12.6)	3,452 (15.6)	2,864 (13.0)
2 東北圏	609 (100.0%)	216 (35.5%)	207 (34.0%)	186 (30.5%)	247 (40.6%)	197 (32.3%)	165 (27.1%)	320 (52.5%)	175 (28.7%)	114 (18.7%)	10,518 (17.3)	9,953 (16.3)	8,296 (13.6)
3 首都圏	138 (100.0%)	58 (42.0%)	57 (41.3%)	23 (16.7%)	57 (41.3%)	53 (38.4%)	28 (20.3%)	46 (33.3%)	62 (44.9%)	30 (21.7%)	2,125 (15.4)	2,172 (15.7)	2,637 (19.1)
4 北陸圏	136 (100.0%)	43 (31.6%)	56 (41.2%)	37 (27.2%)	33 (24.3%)	62 (45.6%)	41 (30.1%)	47 (34.6%)	60 (44.1%)	29 (21.3%)	2,306 (17.0)	2,509 (18.4)	2,198 (16.2)
5 中部圏	389 (100.0%)	161 (41.4%)	151 (38.8%)	77 (19.8%)	178 (45.8%)	127 (32.6%)	84 (21.6%)	184 (47.3%)	112 (28.8%)	93 (23.9%)	6,512 (16.7)	6,054 (15.6)	5,906 (15.2)
6 近畿圏	273 (100.0%)	95 (34.8%)	103 (37.7%)	75 (27.5%)	88 (32.2%)	104 (38.1%)	81 (29.7%)	84 (30.8%)	83 (30.4%)	106 (38.8%)	4,767 (17.5)	4,998 (18.3)	5,873 (21.5)
7 中国圏	497 (100.0%)	206 (41.4%)	209 (42.1%)	82 (16.5%)	199 (40.0%)	205 (41.2%)	93 (18.7%)	225 (45.3%)	208 (41.9%)	64 (12.9%)	6,984 (14.1)	7,326 (14.7)	6,637 (13.4)
8 四国圏	790 (100.0%)	263 (33.3%)	264 (33.4%)	263 (33.3%)	242 (30.6%)	297 (37.6%)	251 (31.8%)	315 (39.9%)	300 (38.0%)	175 (22.2%)	14,828 (18.8)	14,925 (18.9)	12,563 (15.9)
9 九州圏	759 (100.0%)	311 (41.0%)	307 (40.4%)	141 (18.6%)	340 (44.8%)	297 (39.1%)	122 (16.1%)	379 (49.9%)	272 (35.8%)	108 (14.2%)	11,688 (15.4)	11,281 (14.9)	10,445 (13.8)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,812 (100.0%)	1,480 (38.8%)	1,418 (37.2%)	914 (24.0%)	1,477 (38.7%)	1,424 (37.4%)	911 (23.9%)	1,711 (44.9%)	1,362 (35.7%)	739 (19.4%)	62,515 (16.4)	62,670 (16.4)	57,419 (15.1)
過疎地域	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)
振興山村	2,199 (100.0%)	769 (35.0%)	830 (37.7%)	600 (27.3%)	743 (33.8%)	831 (37.8%)	625 (28.4%)	860 (39.1%)	809 (36.8%)	530 (24.1%)	38,636 (17.6)	39,410 (17.9)	36,574 (16.6)
離島	137 (100.0%)	64 (46.7%)	39 (28.5%)	34 (24.8%)	61 (44.5%)	31 (22.6%)	45 (32.8%)	71 (51.8%)	35 (25.5%)	31 (22.6%)	2,245 (16.4)	2,559 (18.7)	2,032 (14.8)
半島	733 (100.0%)	317 (43.2%)	309 (42.2%)	107 (14.6%)	327 (44.6%)	285 (38.9%)	121 (16.5%)	394 (53.8%)	217 (29.6%)	122 (16.6%)	10,283 (14.0)	10,302 (14.1)	10,167 (13.9)
特別豪雪地帯	632 (100.0%)	239 (37.8%)	215 (34.0%)	178 (28.2%)	243 (38.4%)	232 (36.7%)	157 (24.8%)	286 (45.3%)	225 (35.6%)	121 (19.1%)	10,547 (16.7)	10,260 (16.2)	9,299 (14.7)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において無人化が危惧されている 3,345 集落の交通利便性をみると、全体では最寄りの行政窓口まで車で 10 分以内が 39.3%、最寄りの病院まで 10 分以内が 39.5%、最寄りの商店まで 10 分以内が 45.6%とそれぞれ最も多いが、各施設に 21 分以上かかる集落も2割前後みられる。
- 地方ブロック別でみると、東北圏、北陸圏、近畿圏、四国圏では無人化が危惧されている集落の3割程度は行政窓口や病院まで 21 分以上かかる。また近畿圏では商店まで 21 分以上かかる集落が約4割を占めている。

図表2-297 地方ブロック別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの車での所要時間			病院までの車での所要時間			商店までの車での所要時間			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
1 北海道	202 (100.0%)	116 (57.4%)	61 (30.2%)	25 (12.4%)	92 (45.5%)	80 (39.6%)	30 (14.9%)	98 (48.5%)	85 (42.1%)	19 (9.4%)	2,560 (12.7)	2,980 (14.8)	2,707 (13.4)
2 東北圏	533 (100.0%)	194 (36.4%)	197 (37.0%)	142 (26.6%)	208 (39.0%)	183 (34.3%)	142 (26.6%)	291 (54.6%)	147 (27.6%)	95 (17.8%)	8,780 (16.5)	8,684 (16.3)	7,033 (13.2)
3 首都圏	130 (100.0%)	54 (41.5%)	54 (41.5%)	22 (16.9%)	56 (43.1%)	49 (37.7%)	25 (19.2%)	41 (31.5%)	59 (45.4%)	30 (23.1%)	1,999 (15.4)	1,992 (15.3)	2,532 (19.5)
4 北陸圏	94 (100.0%)	27 (28.7%)	39 (41.5%)	28 (29.8%)	26 (27.7%)	42 (44.7%)	26 (27.7%)	35 (37.2%)	41 (43.6%)	18 (19.1%)	1,667 (17.7)	1,645 (17.5)	1,478 (15.7)
5 中部圏	277 (100.0%)	119 (43.0%)	109 (39.4%)	49 (17.7%)	135 (48.7%)	91 (32.9%)	51 (18.4%)	134 (48.4%)	83 (30.0%)	60 (21.7%)	4,182 (15.1)	4,059 (14.7)	4,095 (14.8)
6 近畿圏	238 (100.0%)	86 (36.1%)	84 (35.3%)	68 (28.6%)	72 (30.3%)	91 (38.2%)	75 (31.5%)	67 (28.2%)	67 (28.2%)	104 (43.7%)	4,168 (17.5)	4,432 (18.6)	5,407 (22.7)
7 中国圏	460 (100.0%)	191 (41.5%)	191 (41.5%)	78 (17.0%)	186 (40.4%)	188 (40.9%)	86 (18.7%)	210 (45.7%)	192 (41.7%)	58 (12.6%)	6,506 (14.1)	6,793 (14.8)	6,126 (13.3)
8 四国圏	669 (100.0%)	221 (33.0%)	221 (33.0%)	227 (33.9%)	207 (30.9%)	242 (36.2%)	220 (32.9%)	271 (40.5%)	250 (37.4%)	148 (22.1%)	12,667 (18.9)	12,689 (19.0)	10,631 (15.9)
9 九州圏	742 (100.0%)	308 (41.5%)	302 (40.7%)	132 (17.8%)	338 (45.6%)	290 (39.1%)	114 (15.4%)	378 (50.9%)	264 (35.6%)	100 (13.5%)	11,273 (15.2)	10,857 (14.6)	10,035 (13.5)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 集落類型別でみると、中心集落の場合は各施設に 10 分以内でアクセスできる集落が大部分を占めている。
- 一方、基礎集落では、各施設に 21 分以上かかる集落が2割前後みられる。

図表2-298 集落類型別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
基礎集落	3,212 (100.0%)	1,234 (38.4%)	1,227 (38.2%)	751 (23.4%)	1,243 (38.7%)	1,226 (38.2%)	743 (23.1%)	1,440 (44.8%)	1,160 (36.1%)	612 (19.1%)	52,249 (16.3)	52,390 (16.3)	48,533 (15.1)
基幹集落	89 (100.0%)	57 (64.0%)	18 (20.2%)	14 (15.7%)	51 (57.3%)	17 (19.1%)	21 (23.6%)	58 (65.2%)	17 (19.1%)	14 (15.7%)	1,068 (12.0)	1,271 (14.3)	988 (11.1)
中心集落	22 (100.0%)	21 (95.5%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	22 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (95.5%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	80 (3.6)	75 (3.4)	87 (4.0)
無回答	22 (100.0%)	4 (18.2%)	12 (54.5%)	6 (27.3%)	4 (18.2%)	13 (59.1%)	5 (22.7%)	6 (27.3%)	10 (45.5%)	6 (27.3%)	405 (18.4)	395 (18.0)	436 (19.8)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 地域区分別でみると、行政窓口に 10 分以内でアクセスできる集落の割合は都市的地域にある集落において最も高くなっており、平地、中間地、山間地となるにつれて各施設へのアクセス時間が長くなる傾向がみられる。

図表2-299 地域区分別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
山間地	2,242 (100.0%)	707 (31.5%)	883 (39.4%)	652 (29.1%)	704 (31.4%)	882 (39.3%)	656 (29.3%)	820 (36.6%)	868 (38.7%)	554 (24.7%)	40,468 (18.0)	40,551 (18.1)	38,339 (17.1)
中間地	781 (100.0%)	387 (49.6%)	298 (38.2%)	96 (12.3%)	416 (53.3%)	287 (36.7%)	78 (10.0%)	474 (60.7%)	247 (31.6%)	60 (7.7%)	10,068 (12.9)	9,744 (12.5)	8,636 (11.1)
平地	258 (100.0%)	172 (66.7%)	64 (24.8%)	22 (8.5%)	158 (61.2%)	72 (27.9%)	28 (10.9%)	186 (72.1%)	57 (22.1%)	15 (5.8%)	2,675 (10.4)	3,008 (8.2)	2,367 (9.2)
都市的地域	56 (100.0%)	49 (87.5%)	7 (12.5%)	0 (0.0%)	41 (73.2%)	15 (26.8%)	0 (0.0%)	43 (76.8%)	13 (23.2%)	0 (0.0%)	321 (5.7)	458 (8.2)	422 (7.5)
無回答	8 (100.0%)	1 (12.5%)	6 (75.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	7 (87.5%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	270 (33.8)	370 (46.3)	280 (35.0)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 地形的に末端にある集落では、地形的に末端にない集落よりも、各施設へのアクセス時間が長くなる傾向がみられる。

図表2-300 地形的末端性別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【無人化が危惧される集落】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
地形的な末端である	796 (100.0%)	214 (26.9%)	334 (42.0%)	248 (31.2%)	209 (26.3%)	328 (41.2%)	259 (32.5%)	262 (32.9%)	328 (41.2%)	206 (25.9%)	15,142 (19.0)	15,448 (19.4)	14,374 (18.1)
地形的な末端でない	2,549 (100.0%)	1,102 (43.2%)	924 (36.2%)	523 (20.5%)	1,111 (43.6%)	928 (36.4%)	510 (20.0%)	1,263 (49.5%)	860 (33.7%)	426 (16.7%)	38,660 (15.2)	38,683 (15.2)	35,670 (14.0)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 集落の人口規模別でみると、いずれの施設に対しても、人口規模が小さい集落の方が 10 分以内でアクセスできる割合が低く、21 分以上かかる集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-301 集落の人口規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
～9人	1,571 (100.0%)	521 (33.2%)	585 (37.2%)	465 (29.6%)	516 (32.8%)	606 (38.6%)	449 (28.6%)	612 (39.0%)	578 (36.8%)	381 (24.3%)	28,629 (18.2)	28,624 (18.2)	26,748 (17.0)
10～24人	1,007 (100.0%)	420 (41.7%)	373 (37.0%)	214 (21.3%)	402 (39.9%)	379 (37.6%)	226 (22.4%)	459 (45.6%)	374 (37.1%)	174 (17.3%)	15,300 (15.2)	15,695 (15.6)	14,432 (14.3)
25～49人	384 (100.0%)	179 (46.6%)	145 (37.8%)	60 (15.6%)	180 (46.9%)	143 (37.2%)	61 (15.9%)	194 (50.5%)	140 (36.5%)	50 (13.0%)	5,240 (13.6)	5,376 (14.0)	5,087 (13.2)
50～99人	198 (100.0%)	95 (48.0%)	84 (42.4%)	19 (9.6%)	98 (49.5%)	79 (39.9%)	21 (10.6%)	113 (57.1%)	68 (34.3%)	17 (8.6%)	2,458 (12.4)	2,496 (12.6)	2,215 (11.2)
100～199人	90 (100.0%)	56 (62.2%)	28 (31.1%)	6 (6.7%)	63 (70.0%)	20 (22.2%)	7 (7.8%)	70 (77.8%)	13 (14.4%)	7 (7.8%)	940 (10.4)	876 (9.7)	753 (8.4)
200～499人	55 (100.0%)	26 (47.3%)	26 (47.3%)	3 (5.5%)	36 (65.5%)	17 (30.9%)	2 (3.6%)	47 (85.5%)	8 (14.5%)	0 (0.0%)	649 (11.8)	538 (9.8)	346 (6.3)
500～999人	6 (100.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	80 (13.3)	55 (9.2)	42 (7.0)
1000人～	15 (100.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	151 (10.1)	105 (7.0)	87 (5.8)
無回答	19 (100.0%)	8 (42.1%)	8 (42.1%)	3 (15.8%)	7 (36.8%)	9 (47.4%)	3 (15.8%)	10 (52.6%)	6 (31.6%)	3 (15.8%)	355 (18.7)	366 (19.3)	334 (17.6)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 集落の世帯数規模別でみると、いずれの施設に対しても、世帯規模が小さい集落の方が、21分以上かかる集落の割合が高くなる傾向がみられる。

図表2-302 集落の世帯数規模別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
～9世帯	2,183 (100.0%)	805 (36.9%)	800 (36.6%)	578 (26.5%)	784 (35.9%)	830 (38.0%)	569 (26.1%)	921 (42.2%)	791 (36.2%)	471 (21.6%)	37,211 (17.0)	37,483 (17.2)	34,783 (15.9)
10～19世帯	611 (100.0%)	243 (39.8%)	238 (39.0%)	130 (21.3%)	242 (39.6%)	233 (38.1%)	136 (22.3%)	269 (44.0%)	234 (38.3%)	108 (17.7%)	9,518 (15.6)	9,702 (15.9)	9,001 (14.7)
20～29世帯	196 (100.0%)	97 (49.5%)	72 (36.7%)	27 (13.8%)	90 (45.9%)	81 (41.3%)	25 (12.8%)	95 (48.5%)	78 (39.8%)	23 (11.7%)	2,584 (13.2)	2,692 (13.7)	2,617 (13.4)
30～49世帯	148 (100.0%)	67 (45.3%)	66 (44.6%)	15 (10.1%)	75 (50.7%)	57 (38.5%)	16 (10.8%)	88 (59.5%)	47 (31.8%)	13 (8.8%)	1,812 (12.2)	1,796 (12.1)	1,597 (10.8)
50～99世帯	95 (100.0%)	56 (58.9%)	34 (35.8%)	5 (5.3%)	67 (70.5%)	21 (22.1%)	7 (7.4%)	73 (76.8%)	15 (15.8%)	7 (7.4%)	1,031 (10.9)	944 (9.9)	843 (8.9)
100～199世帯	43 (100.0%)	22 (51.2%)	19 (44.2%)	2 (4.7%)	27 (62.8%)	15 (34.9%)	1 (2.3%)	37 (86.0%)	6 (14.0%)	0 (0.0%)	488 (11.3)	433 (10.1)	278 (6.5)
200～499世帯	16 (100.0%)	8 (50.0%)	7 (43.8%)	1 (6.3%)	12 (75.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	14 (87.5%)	2 (12.5%)	0 (0.0%)	195 (12.2)	146 (9.1)	100 (6.3)
500世帯～	14 (100.0%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)	13 (92.9%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	141 (10.1)	97 (6.9)	82 (5.9)
無回答	39 (100.0%)	10 (25.5%)	16 (41.0%)	13 (33.3%)	10 (25.6%)	15 (38.5%)	14 (35.9%)	14 (35.9%)	15 (38.5%)	10 (25.6%)	822 (21.1)	838 (21.5)	743 (19.1)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 集落の高齢者割合別でみると、いずれの施設も、高齢者割合が高くなるにつれて、10分以内でアクセスできる集落の割合が低くなっている。

図表2-303 65歳以上人口割合別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
50%未満	555 (100.0%)	296 (53.3%)	171 (30.8%)	88 (15.9%)	297 (53.5%)	171 (30.8%)	87 (15.7%)	323 (58.2%)	166 (29.9%)	66 (11.9%)	7,537 (13.6)	7,642 (13.8)	6,993 (12.6)
50%以上	1,303 (100.0%)	503 (38.6%)	523 (40.1%)	277 (21.3%)	525 (40.3%)	487 (37.4%)	291 (22.3%)	597 (45.8%)	462 (35.5%)	244 (18.7%)	20,276 (15.6)	20,516 (15.7)	18,903 (14.5)
75%以上	715 (100.0%)	258 (36.1%)	269 (37.6%)	188 (26.3%)	244 (34.1%)	288 (40.3%)	183 (25.6%)	291 (40.7%)	277 (38.7%)	147 (20.6%)	12,033 (16.8)	12,041 (16.8)	11,350 (15.9)
100%未満	708 (100.0%)	226 (31.9%)	267 (37.7%)	215 (30.4%)	208 (29.4%)	295 (41.7%)	205 (29.0%)	263 (37.1%)	273 (38.6%)	172 (24.3%)	13,164 (18.6)	13,210 (18.7)	12,140 (17.1)
100%	64 (100.0%)	33 (51.6%)	28 (43.8%)	3 (4.7%)	46 (71.9%)	15 (23.4%)	3 (4.7%)	51 (79.7%)	10 (15.6%)	3 (4.7%)	792 (12.4)	722 (11.3)	658 (10.3)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいる集落の方が、総じて交通利便性が高い集落の割合が高くなっている。

図表2-304 転入者の有無別・最寄りの行政窓口、病院、商店までの所要時間別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	行政窓口までの所要時間			病院までの所要時間(分)			商店までの所要時間(分)			[上段]合計時間 [下段]平均時間(分)		
		～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	～10分	11～20分	21分～	行政窓口	病院	商店
転入者がいる	843 (100.0%)	357 (42.3%)	334 (39.6%)	152 (18.0%)	378 (44.8%)	309 (36.7%)	156 (18.5%)	412 (48.9%)	309 (36.7%)	122 (14.5%)	12,514 (14.8)	12,430 (14.7)	11,432 (13.6)
転入者がいない	1,045 (100.0%)	347 (33.2%)	413 (39.5%)	285 (27.3%)	331 (31.7%)	424 (40.6%)	290 (27.8%)	393 (37.6%)	415 (39.7%)	237 (22.7%)	18,542 (17.7)	19,046 (18.2)	17,386 (16.6)
分からない	1,420 (100.0%)	596 (42.0%)	500 (35.2%)	324 (22.8%)	597 (42.0%)	520 (36.6%)	303 (21.3%)	707 (49.8%)	451 (31.8%)	262 (18.5%)	22,136 (15.6)	21,788 (15.3)	20,517 (14.4)
無回答	37 (100.0%)	16 (43.2%)	11 (29.7%)	10 (27.0%)	14 (37.8%)	3 (8.1%)	20 (54.1%)	13 (35.1%)	13 (35.1%)	11 (29.7%)	610 (16.5)	867 (23.4)	709 (19.2)
合計	3,345 (100.0%)	1,316 (39.3%)	1,258 (37.6%)	771 (23.0%)	1,320 (39.5%)	1,256 (37.5%)	769 (23.0%)	1,525 (45.6%)	1,188 (35.5%)	632 (18.9%)	53,802 (16.1)	54,131 (16.2)	50,044 (15.0)

②移動利便性

【全体】

- 無人化が危惧されている集落から市町村の中心部にアクセスするための移動手段をみると、84.7%の集落には何らかの移動手段が提供されており、特にデマンドバス・乗合タクシーが運行している集落が 35.5%と最も多い。

図表2-305 地域指定別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【全体】

全体	無人化 が危惧さ れる集 落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線 バス	公営路線 バス	デマンド バス・乗合 タクシー	自家用有償 旅客運送	地域住民に よる無償 運送	その他	移動手段 あり	移動手段 なし
1 北海道	221 (100.0%)	15 (6.8%)	63 (28.5%)	74 (33.5%)	69 (31.2%)	28 (12.7%)	11 (5.0%)	9 (4.1%)	196 (88.7%)	25 (11.3%)
2 東北圏	609 (100.0%)	11 (1.8%)	95 (15.6%)	118 (19.4%)	218 (35.8%)	88 (14.4%)	16 (2.6%)	19 (3.1%)	435 (71.4%)	174 (28.6%)
3 首都圏	138 (100.0%)	14 (10.1%)	43 (31.2%)	57 (41.3%)	64 (46.4%)	10 (7.2%)	4 (2.9%)	7 (5.1%)	116 (84.1%)	22 (15.9%)
4 北陸圏	136 (100.0%)	2 (1.5%)	7 (5.1%)	39 (28.7%)	26 (19.1%)	19 (14.0%)	1 (0.7%)	2 (1.5%)	81 (59.6%)	55 (40.4%)
5 中部圏	389 (100.0%)	40 (10.3%)	98 (25.2%)	148 (38.0%)	177 (45.5%)	44 (11.3%)	54 (13.9%)	2 (0.5%)	334 (85.9%)	55 (14.1%)
6 近畿圏	273 (100.0%)	4 (1.5%)	59 (21.6%)	111 (40.7%)	62 (22.7%)	69 (25.3%)	10 (3.7%)	28 (10.3%)	236 (86.4%)	37 (13.6%)
7 中国圏	497 (100.0%)	18 (3.6%)	117 (23.5%)	90 (18.1%)	224 (45.1%)	70 (14.1%)	65 (13.1%)	75 (15.1%)	423 (85.1%)	74 (14.9%)
8 四国圏	790 (100.0%)	5 (0.6%)	141 (17.8%)	136 (17.2%)	261 (33.0%)	216 (27.3%)	37 (4.7%)	162 (20.5%)	728 (92.2%)	62 (7.8%)
9 九州圏	759 (100.0%)	12 (1.6%)	201 (26.5%)	318 (41.9%)	253 (33.3%)	73 (9.6%)	136 (17.9%)	46 (6.1%)	681 (89.7%)	78 (10.3%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,812 (100.0%)	121 (3.2%)	824 (21.6%)	1,091 (28.6%)	1,354 (35.5%)	617 (16.2%)	334 (8.8%)	350 (9.2%)	3,230 (84.7%)	582 (15.3%)
過疎地域	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	96 (2.9%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)
振興山村	2,199 (100.0%)	78 (3.5%)	450 (20.5%)	78 (3.5%)	752 (34.2%)	443 (20.1%)	204 (9.3%)	186 (8.5%)	1,875 (85.3%)	324 (14.7%)
離島	137 (100.0%)	1 (0.7%)	29 (21.2%)	1 (0.7%)	37 (27.0%)	5 (3.6%)	15 (10.9%)	53 (38.7%)	120 (87.6%)	17 (12.4%)
半島	733 (100.0%)	11 (1.5%)	175 (23.9%)	23 (3.1%)	210 (28.6%)	107 (14.6%)	27 (3.7%)	49 (6.7%)	615 (83.9%)	118 (16.1%)
特別豪雪地帯	632 (100.0%)	19 (3.0%)	84 (13.3%)	10 (1.6%)	255 (40.3%)	89 (14.1%)	16 (2.5%)	21 (3.3%)	483 (76.4%)	149 (23.6%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において無人化が危惧されている集落から市町村の中心部にアクセスするための移動手段をみると、85.4%の集落には何らかの移動手段が提供されており、特にデマンドバス・乗合タクシー(35.6%)や公営路線バス(29.7%)が多い。
- 地方ブロック別でみると、北陸圏では移動手段がない集落の割合が最も高くなっている。

図表2-306 地方ブロック別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
1 北海道	202 (100.0%)	15 (7.4%)	63 (31.2%)	66 (32.7%)	68 (33.7%)	28 (13.9%)	10 (5.0%)	9 (4.5%)	187 (92.6%)	15 (7.4%)
2 東北圏	533 (100.0%)	10 (1.9%)	79 (14.8%)	115 (21.6%)	194 (36.4%)	88 (16.5%)	11 (2.1%)	12 (2.3%)	390 (73.2%)	143 (26.8%)
3 首都圏	130 (100.0%)	14 (10.8%)	42 (32.3%)	54 (41.5%)	57 (43.8%)	6 (4.6%)	4 (3.1%)	7 (5.4%)	108 (83.1%)	22 (16.9%)
4 北陸圏	94 (100.0%)	1 (1.1%)	3 (3.2%)	19 (20.2%)	13 (13.8%)	14 (14.9%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	49 (52.1%)	45 (47.9%)
5 中部圏	277 (100.0%)	11 (4.0%)	55 (19.9%)	108 (39.0%)	133 (48.0%)	15 (5.4%)	22 (7.9%)	2 (0.7%)	234 (84.5%)	43 (15.5%)
6 近畿圏	238 (100.0%)	4 (1.7%)	44 (18.5%)	104 (43.7%)	50 (21.0%)	69 (29.0%)	9 (3.8%)	25 (10.5%)	211 (88.7%)	27 (11.3%)
7 中国圏	460 (100.0%)	17 (3.7%)	106 (23.0%)	86 (18.7%)	215 (46.7%)	68 (14.8%)	65 (14.1%)	66 (14.3%)	400 (87.0%)	60 (13.0%)
8 四国圏	669 (100.0%)	5 (0.7%)	79 (11.8%)	123 (18.4%)	222 (33.2%)	191 (28.6%)	37 (5.5%)	127 (19.0%)	610 (91.2%)	59 (8.8%)
9 九州圏	742 (100.0%)	12 (1.6%)	199 (26.8%)	317 (42.7%)	240 (32.3%)	66 (8.9%)	136 (18.3%)	45 (6.1%)	666 (89.8%)	76 (10.2%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 集落類型別でみると、無人化が危惧されていても、集落類型に関わらず何らかの移動手段が提供されているが、移動手段がない集落が全体では14.6%みられる。
- 民間路線バスは中心集落では約4割が提供されているのに対して、基礎集落では2割に満たない。一方、基礎集落や基幹集落では、自家用有償旅客運送が1割程度みられる。

図表2-307 集落類型別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
基礎集落	3,212 (100.0%)	82 (2.6%)	624 (19.4%)	943 (29.4%)	1,137 (35.4%)	534 (16.6%)	284 (8.8%)	283 (8.8%)	2,736 (85.2%)	476 (14.8%)
基幹集落	89 (100.0%)	4 (4.5%)	34 (38.2%)	33 (37.1%)	29 (32.6%)	10 (11.2%)	8 (9.0%)	9 (10.1%)	79 (88.8%)	10 (11.2%)
中心集落	22 (100.0%)	3 (13.6%)	10 (45.5%)	7 (31.8%)	8 (36.4%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	3 (13.6%)	19 (86.4%)	3 (13.6%)
無回答	22 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	9 (40.9%)	18 (81.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (95.5%)	1 (4.5%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 地域区分別でみると、何らかの移動手段が提供されている集落の割合は、中山間地にある無人化危惧集落において比較的高くなっている。
- デマンドバス・乗合タクシーは山間地や中間地にある集落の3～4割程度で提供されている。

図表2-308 地域区分別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
山間地	2,242 (100.0%)	48 (2.1%)	395 (17.6%)	672 (30.0%)	781 (34.8%)	395 (17.6%)	182 (8.1%)	216 (9.6%)	1,905 (85.0%)	337 (15.0%)
中間地	781 (100.0%)	20 (2.6%)	188 (24.1%)	203 (26.0%)	339 (43.4%)	123 (15.7%)	70 (9.0%)	50 (6.4%)	698 (89.4%)	83 (10.6%)
平地	258 (100.0%)	9 (3.5%)	65 (25.2%)	91 (35.3%)	70 (27.1%)	14 (5.4%)	37 (14.3%)	26 (10.1%)	200 (77.5%)	58 (22.5%)
都市的地域	56 (100.0%)	12 (21.4%)	19 (33.9%)	24 (42.9%)	2 (3.6%)	13 (23.2%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	44 (78.6%)	12 (21.4%)
無回答	8 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 地形的に末端にある集落では、移動手段がない集落が16.2%を占めており、提供されている移動手段としては、デマンドバス・乗合タクシーの割合が高い。

図表2-309 地形的末端性別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【無人化が危惧される集落】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
地形的な末端である	796 (100.0%)	19 (2.4%)	106 (13.3%)	187 (23.5%)	307 (38.6%)	134 (16.8%)	46 (5.8%)	75 (9.4%)	667 (83.8%)	129 (16.2%)
地形的な末端でない	2,549 (100.0%)	70 (2.7%)	564 (22.1%)	805 (31.6%)	885 (34.7%)	411 (16.1%)	248 (9.7%)	220 (8.6%)	2,188 (85.8%)	361 (14.2%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 集落の人口規模別で見ると、10人未満の小規模集落では移動手段がない集落が18.6%を占めている。
- また、自家用有償旅客運送が提供されている集落の割合は、200人未満の集落で比較的高くなっている。

図表2-310 集落の人口規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
～9人	1,571 (100.0%)	35 (2.2%)	265 (16.9%)	318 (20.2%)	569 (36.2%)	284 (18.1%)	81 (5.2%)	157 (10.0%)	1,279 (81.4%)	292 (18.6%)
10～24人	1,007 (100.0%)	23 (2.3%)	188 (18.7%)	344 (34.2%)	350 (34.8%)	155 (15.4%)	87 (8.6%)	85 (8.4%)	848 (84.2%)	159 (15.8%)
25～49人	384 (100.0%)	9 (2.3%)	81 (21.1%)	157 (40.9%)	152 (39.6%)	54 (14.1%)	72 (18.8%)	39 (10.2%)	360 (93.8%)	24 (6.3%)
50～99人	198 (100.0%)	2 (1.0%)	62 (31.3%)	102 (51.5%)	60 (30.3%)	31 (15.7%)	34 (17.2%)	11 (5.6%)	194 (98.0%)	4 (2.0%)
100～199人	90 (100.0%)	6 (6.7%)	26 (28.9%)	47 (52.2%)	22 (24.4%)	16 (17.8%)	14 (15.6%)	0 (0.0%)	84 (93.3%)	6 (6.7%)
200～499人	55 (100.0%)	9 (16.4%)	27 (49.1%)	14 (25.5%)	26 (47.3%)	2 (3.6%)	4 (7.3%)	0 (0.0%)	54 (98.2%)	1 (1.8%)
500～999人	6 (100.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)
1000人～	15 (100.0%)	3 (20.0%)	14 (93.3%)	6 (40.0%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	15 (100.0%)	0 (0.0%)
無回答	19 (100.0%)	1 (5.3%)	5 (26.3%)	3 (15.8%)	7 (36.8%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	15 (78.9%)	4 (21.1%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、10世帯未満の小規模集落では移動手段がない集落が18.6%を占めている。
- また、自家用有償旅客運送が提供されている集落の割合は、100世帯未満の集落で比較的高くなっている。

図表2-311 集落の世帯数規模別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
～9世帯	2,183 (100.0%)	50 (2.3%)	386 (17.7%)	504 (23.1%)	769 (35.2%)	371 (17.0%)	122 (5.6%)	198 (9.1%)	1,776 (81.4%)	407 (18.6%)
10～19世帯	611 (100.0%)	10 (1.6%)	105 (17.2%)	258 (42.2%)	235 (38.5%)	98 (16.0%)	91 (14.9%)	71 (11.6%)	555 (90.8%)	56 (9.2%)
20～29世帯	196 (100.0%)	8 (4.1%)	57 (29.1%)	70 (35.7%)	75 (38.3%)	31 (15.8%)	33 (16.8%)	18 (9.2%)	188 (95.9%)	8 (4.1%)
30～49世帯	148 (100.0%)	2 (1.4%)	40 (27.0%)	81 (54.7%)	50 (33.8%)	25 (16.9%)	25 (16.9%)	4 (2.7%)	145 (98.0%)	3 (2.0%)
50～99世帯	95 (100.0%)	7 (7.4%)	31 (32.6%)	52 (54.7%)	22 (23.2%)	15 (15.8%)	15 (15.8%)	1 (1.1%)	90 (94.7%)	5 (5.3%)
100～199世帯	43 (100.0%)	6 (14.0%)	19 (44.2%)	12 (27.9%)	18 (41.9%)	1 (2.3%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	42 (97.7%)	1 (2.3%)
200～499世帯	16 (100.0%)	3 (18.8%)	8 (50.0%)	3 (18.8%)	9 (56.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)	0 (0.0%)
500世帯～	14 (100.0%)	2 (14.3%)	13 (92.9%)	6 (42.9%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)
無回答	39 (100.0%)	1 (2.6%)	11 (28.2%)	6 (15.4%)	12 (30.8%)	3 (7.7%)	0 (0.0%)	3 (7.7%)	29 (74.4%)	10 (25.6%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 集落の高齢者割合別でみると、高齢者割合が75%以上の集落では、自家用有償旅客運送が運行している集落の割合が比較的高くなっている。

図表2-312 65歳以上人口割合別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
50%未満	555 (100.0%)	23 (4.1%)	144 (25.9%)	166 (29.9%)	198 (35.7%)	64 (11.5%)	38 (6.8%)	29 (5.2%)	473 (85.2%)	82 (14.8%)
50%以上 75%未満	1,303 (100.0%)	31 (2.4%)	281 (21.6%)	472 (36.2%)	446 (34.2%)	197 (15.1%)	153 (11.7%)	125 (9.6%)	1,153 (88.5%)	150 (11.5%)
75%以上 100%未満	715 (100.0%)	15 (2.1%)	116 (16.2%)	208 (29.1%)	258 (36.1%)	141 (19.7%)	65 (9.1%)	67 (9.4%)	598 (83.6%)	117 (16.4%)
100%	708 (100.0%)	15 (2.1%)	98 (13.8%)	134 (18.9%)	273 (38.6%)	140 (19.8%)	37 (5.2%)	71 (10.0%)	581 (82.1%)	127 (17.9%)
無回答	64 (100.0%)	5 (7.8%)	31 (48.4%)	12 (18.8%)	17 (26.6%)	3 (4.7%)	1 (1.6%)	3 (4.7%)	50 (78.1%)	14 (21.9%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

- 転入者の有無別でみると、転入者がいる集落の約9割には何らかの移動手段が提供されている。

図表2-313 転入者の有無別・当該集落から市町村の中心部への移動手段別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	当該集落から市町村の中心部への移動手段							移動手段の有無	
		鉄道・軌道	民営路線バス	公営路線バス	デマンドバス・乗合タクシー	自家用有償旅客運送	地域住民による無償運送	その他	移動手段あり	移動手段なし
転入者がいる	843 (100.0%)	28 (3.3%)	197 (23.4%)	322 (38.2%)	297 (35.2%)	81 (9.6%)	141 (16.7%)	56 (6.6%)	763 (90.5%)	80 (9.5%)
転入者はいない	1,045 (100.0%)	20 (1.9%)	161 (15.4%)	253 (24.2%)	445 (42.6%)	188 (18.0%)	77 (7.4%)	122 (11.7%)	896 (85.7%)	149 (14.3%)
分からない	1,420 (100.0%)	40 (2.8%)	300 (21.1%)	405 (28.5%)	437 (30.8%)	276 (19.4%)	67 (4.7%)	114 (8.0%)	1,161 (81.8%)	259 (18.2%)
無回答	37 (100.0%)	1 (2.7%)	12 (32.4%)	12 (32.4%)	13 (35.1%)	0 (0.0%)	9 (24.3%)	3 (8.1%)	35 (94.6%)	2 (5.4%)
合計	3,345 (100.0%)	89 (2.7%)	670 (20.0%)	992 (29.7%)	1,192 (35.6%)	545 (16.3%)	294 (8.8%)	295 (8.8%)	2,855 (85.4%)	490 (14.6%)

③居住快適性

【全体】

- 集落の居住快適性をみると、6割超の集落では空き家の管理が不十分であり、4割超の集落では道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している状態となっている。
- 地域指定別でみると、特別豪雪地帯以外のいずれの地域においても、空き家の管理状態が悪い集落の割合が6割超えとなっている。

図表2-314 地域指定別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【全体】

全体	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好 に管理	一部は 管理 不十分	大部分は 管理 不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
1 北海道	221 (100.0%)	11 (5.0%)	57 (25.8%)	120 (54.3%)	22 (10.0%)	11 (5.0%)	193 (87.3%)	28 (12.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 東北圏	609 (100.0%)	58 (9.5%)	238 (39.1%)	204 (33.5%)	23 (3.8%)	86 (14.1%)	401 (65.8%)	120 (19.7%)	4 (0.7%)	84 (13.8%)
3 首都圏	138 (100.0%)	12 (8.7%)	33 (23.9%)	85 (61.6%)	6 (4.3%)	2 (1.4%)	89 (64.5%)	44 (31.9%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)
4 北陸圏	136 (100.0%)	20 (14.7%)	34 (25.0%)	71 (52.2%)	8 (5.9%)	3 (2.2%)	79 (58.1%)	47 (34.6%)	7 (5.1%)	3 (2.2%)
5 中部圏	389 (100.0%)	16 (4.1%)	59 (15.2%)	248 (63.8%)	13 (3.3%)	53 (13.6%)	171 (44.0%)	204 (52.4%)	2 (0.5%)	12 (3.1%)
6 近畿圏	273 (100.0%)	6 (2.2%)	45 (16.5%)	179 (65.6%)	35 (12.8%)	8 (2.9%)	137 (50.2%)	127 (46.5%)	1 (0.4%)	8 (2.9%)
7 中国圏	497 (100.0%)	11 (2.2%)	116 (23.3%)	296 (59.6%)	39 (7.8%)	35 (7.0%)	167 (33.6%)	289 (58.1%)	6 (1.2%)	35 (7.0%)
8 四国圏	790 (100.0%)	10 (1.3%)	170 (21.5%)	426 (53.9%)	151 (19.1%)	33 (4.2%)	235 (29.7%)	504 (63.8%)	12 (1.5%)	39 (4.9%)
9 九州圏	759 (100.0%)	10 (1.3%)	151 (19.9%)	326 (43.0%)	208 (27.4%)	64 (8.4%)	291 (38.3%)	393 (51.8%)	5 (0.7%)	70 (9.2%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,812 (100.0%)	154 (4.0%)	903 (23.7%)	1,955 (51.3%)	505 (13.2%)	295 (7.7%)	1,763 (46.2%)	1,756 (46.1%)	40 (1.0%)	253 (6.6%)
過疎地域	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)
振興山村	2,199 (100.0%)	85 (3.9%)	507 (23.1%)	1,195 (54.3%)	254 (11.6%)	158 (7.2%)	963 (43.8%)	1,095 (49.8%)	32 (1.5%)	109 (5.0%)
離島	137 (100.0%)	8 (5.8%)	25 (18.2%)	73 (53.3%)	28 (20.4%)	3 (2.2%)	57 (41.6%)	75 (54.7%)	3 (2.2%)	2 (1.5%)
半島	733 (100.0%)	6 (0.8%)	123 (16.8%)	429 (58.5%)	120 (16.4%)	55 (7.5%)	417 (56.9%)	254 (34.7%)	2 (0.3%)	60 (8.2%)
特別豪雪地帯	632 (100.0%)	71 (11.2%)	196 (31.0%)	245 (38.8%)	39 (6.2%)	81 (12.8%)	396 (62.7%)	148 (23.4%)	10 (1.6%)	78 (12.3%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域の集落の居住快適性をみると、6割以上の集落では空き家の管理が不十分であり、4割超の集落では道路や用排水路等の管理が不十分である。
- 地方ブロック別でみると、四国圏や九州圏では空き家の管理状態について「大部分は管理不十分」である集落の割合が高い。また四国圏では、道路や用排水路等の管理が不十分あるいは荒廃している集落の割合も高くなっている。

図表2-315 地方ブロック別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は管理 不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
1 北海道	202 (100.0%)	10 (5.0%)	50 (24.8%)	120 (59.4%)	22 (10.9%)	0 (0.0%)	174 (86.1%)	28 (13.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 東北圏	533 (100.0%)	58 (10.9%)	204 (38.3%)	195 (36.6%)	20 (3.8%)	56 (10.5%)	361 (67.7%)	114 (21.4%)	4 (0.8%)	54 (10.1%)
3 首都圏	130 (100.0%)	10 (7.7%)	33 (25.4%)	80 (61.5%)	5 (3.8%)	2 (1.5%)	86 (66.2%)	39 (30.0%)	3 (2.3%)	2 (1.5%)
4 北陸圏	94 (100.0%)	17 (18.1%)	16 (17.0%)	55 (58.5%)	3 (3.2%)	3 (3.2%)	59 (62.8%)	25 (26.6%)	7 (7.4%)	3 (3.2%)
5 中部圏	277 (100.0%)	14 (5.1%)	44 (15.9%)	201 (72.6%)	12 (4.3%)	6 (2.2%)	138 (49.8%)	130 (46.9%)	2 (0.7%)	7 (2.5%)
6 近畿圏	238 (100.0%)	6 (2.5%)	38 (16.0%)	154 (64.7%)	32 (13.4%)	8 (3.4%)	120 (50.4%)	109 (45.8%)	1 (0.4%)	8 (3.4%)
7 中国圏	460 (100.0%)	10 (2.2%)	106 (23.0%)	282 (61.3%)	27 (5.9%)	35 (7.6%)	153 (33.3%)	271 (58.9%)	1 (0.2%)	35 (7.6%)
8 四国圏	669 (100.0%)	9 (1.3%)	161 (24.1%)	334 (49.9%)	132 (19.7%)	33 (4.9%)	186 (27.8%)	435 (65.0%)	9 (1.3%)	39 (5.8%)
9 九州圏	742 (100.0%)	8 (1.1%)	150 (20.2%)	315 (42.5%)	207 (27.9%)	62 (8.4%)	284 (38.3%)	385 (51.9%)	5 (0.7%)	68 (9.2%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 集落類型別でみると、集落類型によらず1割程度の集落で大部分は管理不十分となっている。
- 基礎集落では、道路や用排水路等の管理が不十分あるいは荒廃している集落の割合も比較的高い。

図表2-316 集落類型別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は管理 不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
基礎集落	3,212 (100.0%)	137 (4.3%)	786 (24.5%)	1,642 (51.1%)	449 (14.0%)	198 (6.2%)	1,502 (46.8%)	1,468 (45.7%)	32 (1.0%)	210 (6.5%)
基幹集落	89 (100.0%)	2 (2.2%)	15 (16.9%)	59 (66.3%)	8 (9.0%)	5 (5.6%)	44 (49.4%)	40 (44.9%)	0 (0.0%)	5 (5.6%)
中心集落	22 (100.0%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	14 (63.6%)	3 (13.6%)	1 (4.5%)	13 (59.1%)	8 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)
無回答	22 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (95.5%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	2 (9.1%)	20 (90.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 地域区分別でみると、山間地、中間地、平地の集落では、大部分の空き家の管理が不十分という割合が1割を超えており、「一部は管理不十分」と合わせると、山間地の無人化危惧集落の7割近くで空き家の管理が不十分な状態となっている。
- 山間地集落では、道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している集落の割合も高い。

図表2-317 地域区分別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
山間地	2,242 (100.0%)	70 (3.1%)	507 (22.6%)	1,237 (55.2%)	304 (13.6%)	124 (5.5%)	957 (42.7%)	1,126 (50.2%)	25 (1.1%)	134 (6.0%)
中間地	781 (100.0%)	39 (5.0%)	213 (27.3%)	383 (49.0%)	103 (13.2%)	43 (5.5%)	425 (54.4%)	306 (39.2%)	4 (0.5%)	46 (5.9%)
平地	258 (100.0%)	29 (11.2%)	63 (24.4%)	85 (32.9%)	51 (19.8%)	30 (11.6%)	135 (52.3%)	92 (35.7%)	3 (1.2%)	28 (10.9%)
都市的地域	56 (100.0%)	4 (7.1%)	19 (33.9%)	23 (41.1%)	2 (3.6%)	8 (14.3%)	41 (73.2%)	7 (12.5%)	0 (0.0%)	8 (14.3%)
無回答	8 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 地形的に末端にある集落では、7割超で空き家の管理が不十分となっており、半数以上では道路や用排水路等の管理が不十分又は荒廃している。

図表2-318 地形的末端性別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
地形的な末端である	796 (100.0%)	27 (3.4%)	146 (18.3%)	485 (60.9%)	109 (13.7%)	29 (3.6%)	311 (39.1%)	434 (54.5%)	16 (2.0%)	35 (4.4%)
地形的な末端でない	2,549 (100.0%)	115 (4.5%)	656 (25.7%)	1,251 (49.1%)	351 (13.8%)	176 (6.9%)	1,250 (49.0%)	1,102 (43.2%)	16 (0.6%)	181 (7.1%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 集落の人口規模別でみると、空き家の管理状況については人口規模に応じた変化はあまりみられないが、道路や用排水路等の管理状態については、50人未満の小規模集落では管理が不十分又は荒廃している集落の割合が高くなっている。

図表2-319 集落の人口規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
～9人	1,571 (100.0%)	90 (5.7%)	388 (24.7%)	782 (49.8%)	225 (14.3%)	86 (5.5%)	663 (42.2%)	793 (50.5%)	28 (1.8%)	87 (5.5%)
10～24人	1,007 (100.0%)	38 (3.8%)	242 (24.0%)	497 (49.4%)	127 (12.6%)	103 (10.2%)	453 (45.0%)	444 (44.1%)	3 (0.3%)	107 (10.6%)
25～49人	384 (100.0%)	8 (2.1%)	82 (21.4%)	218 (56.8%)	61 (15.9%)	15 (3.9%)	196 (51.0%)	168 (43.8%)	0 (0.0%)	20 (5.2%)
50～99人	198 (100.0%)	4 (2.0%)	45 (22.7%)	124 (62.6%)	24 (12.1%)	1 (0.5%)	127 (64.1%)	69 (34.8%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)
100～199人	90 (100.0%)	0 (0.0%)	20 (22.2%)	56 (62.2%)	14 (15.6%)	0 (0.0%)	57 (63.3%)	33 (36.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
200～499人	55 (100.0%)	0 (0.0%)	17 (30.9%)	32 (58.2%)	6 (10.9%)	0 (0.0%)	34 (61.8%)	21 (38.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
500～999人	6 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
1000人～	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	19 (100.0%)	2 (10.5%)	6 (31.6%)	9 (47.4%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	12 (63.2%)	6 (31.6%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 集落の世帯数規模別で見ると、人口規模と同様、空き家の管理状況については世帯規模に応じた変化はあまりみられないが、道路や用排水路等の管理状態については、200 世帯未満の幅広い規模の集落で管理不十分又は荒廃している集落の割合が高くなっている。

図表2-320 集落の世帯数規模別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が 危惧される 集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
～9世帯	2,183 (100.0%)	117 (5.4%)	554 (25.4%)	1,057 (48.4%)	288 (13.2%)	167 (7.7%)	940 (43.1%)	1,042 (47.7%)	30 (1.4%)	171 (7.8%)
10～19世帯	611 (100.0%)	19 (3.1%)	127 (20.8%)	331 (54.2%)	101 (16.5%)	33 (5.4%)	287 (47.0%)	284 (46.5%)	2 (0.3%)	38 (6.2%)
20～29世帯	196 (100.0%)	2 (1.0%)	43 (21.9%)	119 (60.7%)	28 (14.3%)	4 (2.0%)	110 (56.1%)	80 (40.8%)	0 (0.0%)	6 (3.1%)
30～49世帯	148 (100.0%)	1 (0.7%)	29 (19.6%)	99 (66.9%)	18 (12.2%)	1 (0.7%)	91 (61.5%)	56 (37.8%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)
50～99世帯	95 (100.0%)	1 (1.1%)	20 (21.1%)	58 (61.1%)	16 (16.8%)	0 (0.0%)	60 (63.2%)	35 (36.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
100～199世帯	43 (100.0%)	0 (0.0%)	13 (30.2%)	24 (55.8%)	6 (14.0%)	0 (0.0%)	26 (60.5%)	17 (39.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
200～499世帯	16 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (18.8%)	13 (81.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (81.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
500世帯～	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (92.9%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	13 (92.9%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
無回答	39 (100.0%)	2 (5.1%)	13 (33.3%)	22 (56.4%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	21 (53.8%)	18 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 集落の高齢者割合別で見ると、高齢者割合が 50%以上になると、大部分の空き家が管理不十分という集落の割合が1割を超える。
- 道路や用排水路等の管理状態も、高齢者割合が 50%以上の集落において管理不十分な集落の割合が高くなっている。

図表2-321 65歳以上人口割合別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が 危惧される 集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
50%未満	555 (100.0%)	27 (4.9%)	153 (27.6%)	282 (50.8%)	55 (9.9%)	38 (6.8%)	299 (53.9%)	214 (38.6%)	1 (0.2%)	41 (7.4%)
50%以上	1,303 (100.0%)	47 (3.6%)	303 (23.3%)	679 (52.1%)	209 (16.0%)	65 (5.0%)	611 (46.9%)	613 (47.0%)	5 (0.4%)	74 (5.7%)
75%未満	715 (100.0%)	23 (3.2%)	153 (21.4%)	391 (54.7%)	90 (12.6%)	58 (8.1%)	298 (41.7%)	352 (49.2%)	4 (0.6%)	61 (8.5%)
75%以上	715 (100.0%)	23 (3.2%)	153 (21.4%)	391 (54.7%)	90 (12.6%)	58 (8.1%)	298 (41.7%)	352 (49.2%)	4 (0.6%)	61 (8.5%)
100%未満	708 (100.0%)	43 (6.1%)	184 (26.0%)	340 (48.0%)	101 (14.3%)	40 (5.6%)	303 (42.8%)	348 (49.2%)	21 (3.0%)	36 (5.1%)
100%	64 (100.0%)	2 (3.1%)	9 (14.1%)	44 (68.8%)	5 (7.8%)	4 (6.3%)	50 (78.1%)	9 (14.1%)	1 (1.6%)	4 (6.3%)
無回答	64 (100.0%)	2 (3.1%)	9 (14.1%)	44 (68.8%)	5 (7.8%)	4 (6.3%)	50 (78.1%)	9 (14.1%)	1 (1.6%)	4 (6.3%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

- 転入者の有無別で見ると、空き家及び道路・用排水路・河川等の管理状況に大きな差はない。

図表2-322 転入者の有無別・空き家や道路等の管理状態別 集落数【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が 危惧される 集落	空き家の管理状況					道路・用排水路・河川等の管理状態			
		空き家は ない	概ね良好に 管理	一部は 管理不十分	大部分は 管理不十分	無回答	良好に 管理	管理 不十分	荒廃	無回答
転入者が いる	843 (100.0%)	17 (2.0%)	170 (20.2%)	441 (52.3%)	178 (21.1%)	37 (4.4%)	367 (43.5%)	431 (51.1%)	3 (0.4%)	42 (5.0%)
転入者は いない	1,045 (100.0%)	30 (2.9%)	231 (22.1%)	523 (50.0%)	205 (19.6%)	56 (5.4%)	442 (42.3%)	522 (50.0%)	18 (1.7%)	63 (6.0%)
分からない	1,420 (100.0%)	95 (6.7%)	399 (28.1%)	740 (52.1%)	76 (5.4%)	110 (7.7%)	748 (52.7%)	552 (38.9%)	11 (0.8%)	109 (7.7%)
無回答	37 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)	32 (86.5%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)	4 (10.8%)	31 (83.8%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)
合計	3,345 (100.0%)	142 (4.2%)	802 (24.0%)	1,736 (51.9%)	460 (13.8%)	205 (6.1%)	1,561 (46.7%)	1,536 (45.9%)	32 (1.0%)	216 (6.5%)

④生活サービス機能の立地状況

【全体】

- 無人化が危惧される対象地域の集落においては、当面存続するとみられる集落と比べて、すべての生活サービス機能の立地状況の割合が低い、とりわけ「商店・スーパー」及び「飲食店・喫茶店」の立地状況の割合は10ポイント以上低くなっている。

図表2-323 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(無人化が危惧される集落)【全体】

全体	無人化が危惧される集落	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	221 (100.0%)	6 (2.7%)	66 (29.9%)	2 (0.9%)	7 (3.2%)	6 (2.7%)	7 (3.2%)	12 (5.4%)	9 (4.1%)	1 (0.5%)	120 (54.3%)	4 (1.8%)	4 (1.8%)
2 東北圏	609 (100.0%)	4 (0.7%)	138 (22.7%)	5 (0.8%)	18 (3.0%)	27 (4.4%)	7 (1.1%)	12 (2.0%)	5 (0.8%)	17 (2.8%)	301 (49.4%)	4 (0.7%)	5 (0.8%)
3 首都圏	138 (100.0%)	1 (0.7%)	52 (37.7%)	3 (2.2%)	6 (4.3%)	19 (13.8%)	3 (2.2%)	7 (5.1%)	7 (5.1%)	1 (0.7%)	81 (58.7%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)
4 北陸圏	136 (100.0%)	2 (1.5%)	20 (14.7%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	4 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	69 (50.7%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)
5 中部圏	389 (100.0%)	9 (2.3%)	180 (46.3%)	18 (4.6%)	28 (7.2%)	67 (17.2%)	16 (4.1%)	29 (7.5%)	33 (8.5%)	28 (7.2%)	225 (57.8%)	12 (3.1%)	16 (4.1%)
6 近畿圏	273 (100.0%)	6 (2.2%)	87 (31.9%)	7 (2.6%)	10 (3.7%)	21 (7.7%)	4 (1.5%)	17 (6.2%)	10 (3.7%)	5 (1.8%)	179 (65.6%)	4 (1.5%)	2 (0.7%)
7 中国圏	497 (100.0%)	4 (0.8%)	89 (17.9%)	11 (2.2%)	14 (2.8%)	28 (5.6%)	4 (0.8%)	15 (3.0%)	12 (2.4%)	7 (1.4%)	190 (38.2%)	4 (0.8%)	5 (1.0%)
8 四国圏	790 (100.0%)	38 (4.8%)	264 (33.4%)	13 (1.6%)	22 (2.8%)	23 (2.9%)	12 (1.5%)	12 (1.5%)	5 (0.6%)	3 (0.4%)	312 (39.5%)	5 (0.6%)	4 (0.5%)
9 九州圏	759 (100.0%)	4 (0.5%)	181 (23.8%)	7 (0.9%)	32 (4.2%)	26 (3.4%)	7 (0.9%)	17 (2.2%)	13 (1.7%)	8 (1.1%)	424 (55.9%)	8 (1.1%)	7 (0.9%)
10 沖縄県	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,812 (100.0%)	74 (1.9%)	1,077 (28.3%)	66 (1.7%)	138 (3.6%)	221 (5.8%)	60 (1.6%)	121 (3.2%)	94 (2.5%)	72 (1.9%)	1,901 (49.9%)	45 (1.2%)	44 (1.2%)

図表2-324 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(当面存続するとみられる集落)【全体】

全体	当面存続するとみられる集落	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	3,823 (100.0%)	278 (7.3%)	1,450 (37.9%)	385 (10.1%)	946 (24.7%)	1,018 (26.6%)	543 (14.2%)	687 (18.0%)	695 (18.2%)	332 (8.7%)	2,417 (63.2%)	414 (10.8%)	402 (10.5%)
2 東北圏	17,825 (100.0%)	639 (3.6%)	5,606 (31.5%)	1,482 (8.3%)	4,413 (24.8%)	3,460 (19.4%)	1,498 (8.4%)	1,640 (9.2%)	2,157 (12.1%)	1,461 (8.2%)	10,066 (56.5%)	959 (5.4%)	1,274 (7.1%)
3 首都圏	3,919 (100.0%)	199 (5.1%)	1,475 (37.6%)	459 (11.7%)	1,183 (30.2%)	1,398 (35.7%)	454 (11.6%)	491 (12.5%)	643 (16.4%)	414 (10.6%)	2,291 (58.5%)	283 (7.2%)	329 (8.4%)
4 北陸圏	3,237 (100.0%)	74 (2.3%)	911 (28.1%)	257 (7.9%)	787 (24.3%)	792 (24.5%)	209 (6.5%)	276 (8.5%)	407 (12.6%)	245 (7.6%)	2,289 (70.7%)	177 (5.5%)	215 (6.6%)
5 中部圏	5,038 (100.0%)	305 (6.1%)	2,642 (52.4%)	563 (11.2%)	1,169 (23.2%)	1,521 (30.2%)	498 (9.9%)	548 (10.9%)	765 (15.2%)	489 (9.7%)	3,765 (74.7%)	391 (7.8%)	433 (8.6%)
6 近畿圏	4,602 (100.0%)	206 (4.5%)	2,122 (46.1%)	653 (14.2%)	1,188 (25.8%)	1,453 (31.6%)	470 (10.2%)	611 (13.3%)	717 (15.6%)	502 (10.9%)	3,274 (71.1%)	412 (9.0%)	403 (8.8%)
7 中国圏	13,310 (100.0%)	367 (2.8%)	2,238 (16.8%)	990 (7.4%)	1,919 (14.4%)	1,630 (12.2%)	633 (4.8%)	927 (7.0%)	1,111 (8.3%)	823 (6.2%)	5,497 (41.3%)	558 (4.2%)	625 (4.7%)
8 四国圏	6,773 (100.0%)	431 (6.4%)	2,047 (30.2%)	572 (8.4%)	1,402 (20.7%)	1,059 (15.6%)	482 (7.1%)	533 (7.9%)	628 (9.3%)	397 (5.9%)	3,356 (49.5%)	329 (4.9%)	375 (5.5%)
9 九州圏	15,889 (100.0%)	494 (3.1%)	7,026 (44.2%)	1,651 (10.4%)	3,918 (24.7%)	3,124 (19.7%)	1,359 (8.6%)	1,540 (9.7%)	1,757 (11.1%)	1,377 (8.7%)	9,031 (56.8%)	1,116 (7.0%)	1,426 (9.0%)
10 沖縄県	257 (100.0%)	23 (8.9%)	204 (79.4%)	41 (16.0%)	138 (53.7%)	158 (61.5%)	35 (13.6%)	34 (13.2%)	54 (21.0%)	64 (24.9%)	191 (74.3%)	52 (20.2%)	65 (25.3%)
合計	74,673 (100.0%)	3,016 (4.0%)	25,721 (34.4%)	7,053 (9.4%)	17,063 (22.9%)	15,613 (20.9%)	6,181 (8.3%)	7,287 (9.8%)	8,934 (12.0%)	6,104 (8.2%)	42,177 (56.5%)	4,691 (6.3%)	5,547 (7.4%)

※「当面存続するとみられる集落」には集落の無人化予測が空欄の集落も含む。

【過疎地域】

■ 無人化が危惧される過疎地域の集落においては、当面存続するとみられる集落と比べて、すべての生活サービス機能の立地状況の割合が低いが、とりわけ「商店・スーパー」の立地状況の割合は10ポイント以上低くなっている。

図表2-325 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(無人化が危惧される集落)【過疎地域のみ】

過疎地域	無人化が危惧される集落	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	202 (100.0%)	5 (2.5%)	66 (32.7%)	2 (1.0%)	6 (3.0%)	5 (2.5%)	6 (3.0%)	11 (5.4%)	7 (3.5%)	1 (0.5%)	112 (55.4%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)
2 東北圏	533 (100.0%)	3 (0.6%)	123 (23.1%)	4 (0.8%)	16 (3.0%)	24 (4.5%)	5 (0.9%)	9 (1.7%)	4 (0.8%)	14 (2.6%)	268 (50.3%)	3 (0.6%)	3 (0.6%)
3 首都圏	130 (100.0%)	1 (0.8%)	52 (40.0%)	3 (2.3%)	6 (4.6%)	16 (12.3%)	3 (2.3%)	6 (4.6%)	6 (4.6%)	1 (0.8%)	73 (56.2%)	2 (1.5%)	1 (0.8%)
4 北陸圏	94 (100.0%)	0 (0.0%)	11 (11.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	43 (45.7%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)
5 中部圏	277 (100.0%)	9 (3.2%)	136 (49.1%)	18 (6.5%)	28 (10.1%)	59 (21.3%)	16 (5.8%)	28 (10.1%)	33 (11.9%)	25 (9.0%)	135 (48.7%)	12 (4.3%)	16 (5.8%)
6 近畿圏	238 (100.0%)	5 (2.1%)	81 (34.0%)	5 (2.1%)	4 (1.7%)	17 (7.1%)	2 (0.8%)	12 (5.0%)	8 (3.4%)	2 (0.8%)	162 (68.1%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)
7 中国圏	460 (100.0%)	1 (0.2%)	76 (16.5%)	5 (1.1%)	11 (2.4%)	21 (4.6%)	2 (0.4%)	12 (2.6%)	9 (2.0%)	4 (0.9%)	182 (39.6%)	1 (0.2%)	3 (0.7%)
8 四国圏	669 (100.0%)	27 (4.0%)	241 (36.0%)	6 (0.9%)	13 (1.9%)	17 (2.5%)	9 (1.3%)	5 (0.7%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)	265 (39.6%)	2 (0.3%)	3 (0.4%)
9 九州圏	742 (100.0%)	4 (0.5%)	170 (22.9%)	7 (0.9%)	32 (4.3%)	25 (3.4%)	7 (0.9%)	17 (2.3%)	13 (1.8%)	7 (0.9%)	418 (56.3%)	7 (0.9%)	7 (0.9%)
10 沖縄県	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	3,345 (100.0%)	55 (1.6%)	956 (28.6%)	50 (1.5%)	116 (3.5%)	187 (5.6%)	50 (1.5%)	100 (3.0%)	80 (2.4%)	58 (1.7%)	1,658 (49.6%)	32 (1.0%)	35 (1.0%)

図表2-326 地方ブロック別・生活サービス機能が立地している集落数(当面存続するとみられる集落)【過疎地域のみ】

過疎地域	当面存続するとみられる集落	生活サービス機能の立地状況 (各サービスが立地している集落数)											
		市町村役場・支所	公民館・集会所	病院・診療所	商店・スーパー	飲食店・喫茶店	ガソリンスタンド	(簡易)郵便局	ATM	老人デイサービスセンター	駅・バス停	小学校	幼稚園・保育所等
1 北海道	3,590 (100.0%)	262 (7.3%)	1,377 (38.4%)	349 (9.7%)	878 (24.5%)	920 (25.6%)	510 (14.2%)	646 (18.0%)	653 (18.2%)	305 (8.5%)	2,227 (62.0%)	381 (10.6%)	373 (10.4%)
2 東北圏	15,048 (100.0%)	555 (3.7%)	4,894 (32.5%)	1,113 (7.4%)	3,764 (25.0%)	2,838 (18.9%)	1,205 (8.0%)	1,343 (8.9%)	1,731 (11.5%)	1,140 (7.6%)	8,570 (57.0%)	729 (4.8%)	939 (6.2%)
3 首都圏	3,228 (100.0%)	149 (4.6%)	1,199 (37.1%)	345 (10.7%)	946 (29.3%)	1,052 (32.6%)	351 (10.9%)	376 (11.6%)	476 (14.7%)	301 (9.3%)	1,812 (56.1%)	201 (6.2%)	239 (7.4%)
4 北陸圏	2,376 (100.0%)	44 (1.9%)	650 (27.4%)	192 (8.1%)	655 (27.6%)	608 (25.6%)	158 (6.6%)	207 (8.7%)	312 (13.1%)	167 (7.0%)	1,652 (69.5%)	107 (4.5%)	134 (5.6%)
5 中部圏	3,416 (100.0%)	215 (6.3%)	1,830 (53.6%)	334 (9.8%)	804 (23.5%)	1,018 (29.8%)	317 (9.3%)	363 (10.6%)	492 (14.4%)	307 (9.0%)	2,567 (75.1%)	213 (6.2%)	236 (6.9%)
6 近畿圏	3,940 (100.0%)	178 (4.5%)	1,840 (46.7%)	509 (12.9%)	989 (25.1%)	1,219 (30.9%)	373 (9.5%)	507 (12.9%)	577 (14.6%)	375 (9.5%)	2,746 (69.7%)	321 (8.1%)	309 (7.8%)
7 中国圏	12,418 (100.0%)	324 (2.6%)	1,976 (15.9%)	862 (6.9%)	1,690 (13.6%)	1,426 (11.5%)	560 (4.5%)	838 (6.7%)	993 (8.0%)	707 (5.7%)	4,989 (40.2%)	480 (3.9%)	541 (4.4%)
8 四国圏	6,425 (100.0%)	407 (6.3%)	1,961 (30.5%)	542 (8.4%)	1,325 (20.6%)	967 (15.1%)	443 (6.9%)	485 (7.5%)	570 (8.9%)	373 (5.8%)	3,095 (48.2%)	293 (4.6%)	340 (5.3%)
9 九州圏	14,463 (100.0%)	440 (3.0%)	6,670 (46.1%)	1,480 (10.2%)	3,561 (24.6%)	2,756 (19.1%)	1,240 (8.6%)	1,389 (9.6%)	1,558 (10.8%)	1,218 (8.4%)	8,316 (57.5%)	992 (6.9%)	1,241 (8.6%)
10 沖縄県	257 (100.0%)	23 (8.9%)	204 (79.4%)	41 (16.0%)	138 (53.7%)	158 (61.5%)	35 (13.6%)	34 (13.2%)	54 (21.0%)	64 (24.9%)	191 (74.3%)	52 (20.2%)	65 (25.3%)
合計	65,161 (100.0%)	2,597 (4.0%)	22,601 (34.7%)	5,767 (8.9%)	14,750 (22.6%)	12,962 (19.9%)	5,192 (8.0%)	6,188 (9.5%)	7,416 (11.4%)	4,957 (7.6%)	36,165 (55.5%)	3,769 (5.8%)	4,417 (6.8%)

※「当面存続するとみられる集落」には集落の無人化予測が空欄の集落も含む。

2-4. 前回調査との比較による集落の経年変化

(1) 集落数及び集落の人口・世帯数の動向

① 集落数の推移

【全体】

- 居住者がいる集落のうち、前回調査で回答のあった集落(以下「前回調査対象集落」という。)について経年変化をみると、条件不利地域全体では集落数は0.9%(694集落)減少した。

図表2-327 地域指定別 前回調査対象地域における集落数の推移【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査の 対象地域	前回調査 対象集落 (A)	無人化集落 (B)	集落再編により減少した集落			新たに 誕生 (D)	前回 回答漏れ等 (E)	現集落数 (A+B- C+D+E)	5年間 増減率
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)				
1 北海道	4,013 (100.0%)	10 (0.2%)	4 (0.1%)	9 (0.2%)	13 (0.3%)	5 (0.1%)	0 (0.0%)	3,995 (99.6%)	-0.4%
2 東北圏	17,799 (100.0%)	93 (0.5%)	42 (0.2%)	13 (0.1%)	55 (0.3%)	42 (0.2%)	0 (0.0%)	17,693 (99.4%)	-0.6%
3 首都圏	3,171 (100.0%)	8 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	6 (0.2%)	0 (0.0%)	3,165 (99.8%)	-0.2%
4 北陸圏	3,289 (100.0%)	26 (0.8%)	1 (0.0%)	4 (0.1%)	5 (0.2%)	3 (0.1%)	0 (0.0%)	3,261 (99.1%)	-0.9%
5 中部圏	5,276 (100.0%)	13 (0.2%)	5 (0.1%)	38 (0.7%)	43 (0.8%)	13 (0.2%)	0 (0.0%)	5,233 (99.2%)	-0.8%
6 近畿圏	4,665 (100.0%)	12 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	9 (0.2%)	0 (0.0%)	4,658 (99.8%)	-0.2%
7 中国圏	13,724 (100.0%)	48 (0.3%)	13 (0.1%)	140 (1.0%)	153 (1.1%)	51 (0.4%)	0 (0.0%)	13,574 (98.9%)	-1.1%
8 四国圏	7,586 (100.0%)	46 (0.6%)	2 (0.0%)	12 (0.2%)	14 (0.2%)	6 (0.1%)	0 (0.0%)	7,532 (99.3%)	-0.7%
9 九州圏	16,245 (100.0%)	39 (0.2%)	185 (1.1%)	141 (0.9%)	326 (2.0%)	84 (0.5%)	0 (0.0%)	15,964 (98.3%)	-1.7%
10 沖縄県	247 (100.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (99.6%)	-0.4%
合計	76,015 (100.0%)	296 (0.4%)	252 (0.3%)	365 (0.5%)	617 (0.8%)	219 (0.3%)	0 (0.0%)	75,321 (99.1%)	-0.9%
過疎地域	66,058 (100.0%)	250 (0.4%)	244 (0.4%)	342 (0.5%)	586 (0.9%)	202 (0.3%)	0 (0.0%)	65,424 (98.6%)	-1.0%
振興山村	27,428 (100.0%)	179 (0.7%)	44 (0.2%)	119 (0.4%)	163 (0.6%)	67 (0.2%)	0 (0.0%)	27,153 (98.5%)	-1.0%
離島	2,475 (100.0%)	8 (0.3%)	4 (0.2%)	3 (0.1%)	7 (0.3%)	5 (0.2%)	0 (0.0%)	2,465 (99.4%)	-0.4%
半島	14,601 (100.0%)	32 (0.2%)	173 (1.2%)	65 (0.4%)	238 (1.6%)	55 (0.4%)	0 (0.0%)	14,386 (98.1%)	-1.5%
特別豪雪地帯	12,139 (100.0%)	47 (0.4%)	10 (0.1%)	16 (0.1%)	26 (0.2%)	10 (0.1%)	0 (0.0%)	12,076 (99.4%)	-0.5%

※「他に編入」…他の集落に統合され、当該集落の名称がなくなった集落

「他と合併」…他の集落とともに新しい名前の集落を形成した集落(当該集落の名称も変更)

「分離」…複数の集落に分かれて合併した集落

【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域の集落のうち、前回調査時点においても過疎地域であった集落を抽出して経年変化をみると、集落数は1.3%(793集落)減少している。この内訳は、無人化した集落(238集落)や集落再編により減少した集落(555集落)である。
- 地方ブロック別で見ると、全てのブロックで集落数が減少しており、特に中国圏と九州圏の減少が大きい。

図表2-328 地方ブロック別 前回調査対象地域における集落の推移【前回調査時の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査 対象集落 (A)	無人化集落 (B)	集落再編により減少した集落			新たに 誕生 (D)	前回 回答漏れ等 (E)	現集落数 (A-B- C+D+E)	5年間 増減率
			他に編入	他と合併 又は分離	計 (C)				
1 北海道	3,732 (100.0%)	10 (0.3%)	4 (0.1%)	9 (0.2%)	13 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,709 (99.4%)	-0.6%
2 東北圏	13,899 (100.0%)	86 (0.6%)	39 (0.3%)	14 (0.1%)	53 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13,760 (99.0%)	-1.0%
3 首都圏	1,947 (100.0%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)	4 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,938 (99.5%)	-0.5%
4 北陸圏	1,921 (100.0%)	11 (0.6%)	0 (0.0%)	5 (0.3%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1,905 (99.2%)	-0.8%
5 中部圏	2,974 (100.0%)	9 (0.3%)	4 (0.1%)	24 (0.8%)	28 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2,937 (98.8%)	-1.2%
6 近畿圏	3,523 (100.0%)	11 (0.3%)	0 (0.0%)	6 (0.2%)	6 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3,506 (99.5%)	-0.5%
7 中国圏	12,140 (100.0%)	39 (0.3%)	7 (0.1%)	122 (1.0%)	129 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11,972 (98.6%)	-1.4%
8 四国圏	6,742 (100.0%)	35 (0.5%)	2 (0.0%)	12 (0.2%)	14 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6,693 (99.3%)	-0.7%
9 九州圏	14,356 (100.0%)	31 (0.2%)	174 (1.2%)	129 (0.9%)	303 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14,022 (97.7%)	-2.3%
10 沖縄県	247 (100.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (99.6%)	-0.4%
合計	61,481 (100.0%)	238 (0.4%)	230 (0.4%)	325 (0.5%)	555 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	60,688 (98.7%)	-1.3%

②集落人口の推移

【全体】

- 前回調査対象地域における集落人口の推移をみると、全体では5年間増減率は-7.5%である。
- 集落あたり平均人口をみると、条件不利地域全体では 180.2 人/集落であり、前回調査時の平均人口(194.8 人/集落)より約 15 人減少している。
- 地域指定別でみると、集落人口の減少率が最も大きいのは振興山村地域(-10.0%)である。

図表2-329 地域指定別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落人口			集落あたり平均人口		
	今回調査 R6(2024)年	前回調査 R1(2019)年	5年間 増減率	今回調査	前回調査	5年間 増減(人)
1 北海道	1,250,114	1,384,370	-9.7%	313.5	347.2	-33.7
2 東北圏	3,765,204	4,110,759	-8.4%	214.2	233.9	-19.7
3 首都圏	792,898	725,870	9.2%	257.4	235.6	21.8
4 北陸圏	553,361	602,172	-8.1%	171.1	186.1	-15.1
5 中部圏	1,104,064	1,189,801	-7.2%	220.1	237.2	-17.1
6 近畿圏	1,147,173	1,209,443	-5.1%	249.0	262.5	-13.5
7 中国圏	1,350,080	1,440,837	-6.3%	100.5	107.3	-6.8
8 四国圏	782,525	791,072	-1.1%	106.8	108.0	-1.2
9 九州圏	2,554,864	2,925,340	-12.7%	161.4	184.8	-23.4
10 沖縄県	96,584	98,766	-2.2%	392.6	401.5	-8.9
合計	13,396,867	14,478,430	-7.5%	180.2	194.8	-14.6
過疎地域	9,895,506	10,622,948	-6.8%	151.2	162.4	-11.1
振興山村	3,042,872	3,379,093	-10.0%	112.0	124.4	-12.4
離島	397,708	423,917	-6.2%	161.3	172.0	-10.6
半島	3,496,001	3,839,540	-8.9%	243.0	266.9	-23.9
特別豪雪地帯	2,460,897	2,679,935	-8.2%	203.8	221.9	-18.1

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落人口の推移をみると、全体では5年間増減率は－10.3%であり、特に北陸圏（－11.1%）や九州圏（－11.0%）で減少率が比較的高くなっている。
- 集落あたり平均人口をみると、全体では 144.7 人/集落であり、前回調査時の平均人口（161.4 人/集落）より約 17 人減少している。
- 地方ブロック別でみると、集落の人口規模が最も縮小しているのは北海道であり、前回調査時の平均人口より約 35 人減少している。

図表2-330 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落人口及び集落あたり平均人口の推移【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落人口			集落あたり平均人口		
	今回調査 R6(2024)年	前回調査 R1(2019)年	5年間 増減率	今回調査	前回調査	5年間 増減(人)
1 北海道	1,107,623 (12.6%)	1,236,642 (12.6%)	-10.4%	298.3	333.1	-34.7
2 東北圏	2,238,045 (25.5%)	2,502,308 (25.5%)	-10.6%	162.6	181.8	-19.2
3 首都圏	331,606 (3.8%)	371,630 (3.8%)	-10.8%	171.1	191.8	-20.7
4 北陸圏	252,963 (2.9%)	284,417 (2.9%)	-11.1%	132.7	149.2	-16.5
5 中部圏	412,674 (4.7%)	463,271 (4.7%)	-10.9%	140.5	157.7	-17.2
6 近畿圏	643,866 (7.3%)	711,516 (7.3%)	-9.5%	183.6	202.9	-19.3
7 中国圏	1,011,085 (11.5%)	1,121,802 (11.4%)	-9.9%	84.5	93.7	-9.2
8 四国圏	642,145 (7.3%)	706,505 (7.2%)	-9.1%	95.9	105.6	-9.6
9 九州圏	2,047,583 (23.3%)	2,300,917 (23.5%)	-11.0%	146.0	164.1	-18.1
10 沖縄県	96,584 (1.1%)	98,766 (1.0%)	-2.2%	392.6	401.5	-8.9
合計	8,784,174 (100.0%)	9,797,774 (100.0%)	-10.3%	144.7	161.4	-16.7

③集落世帯数の推移

【全体】

- 前回調査対象地域における集落世帯数の推移をみると、全体では5年間増減率は-3.4%である。
- 地域指定別でみると、集落世帯数の減少率が最も大きいのは半島地域(-1.7%)である。
- 集落あたり平均世帯数をみると、全体では 82.8 世帯/集落であり、前回調査時の平均世帯数(85.7 世帯/集落)から約 3 世帯減少している。
- 地域指定別でみると、集落の世帯数の規模が最も縮小しているのは半島地域であり、前回調査時の平均世帯数より 2.0 世帯減少している。

図表2-331 地域指定別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落世帯数			集落あたり平均世帯数		
	今回調査 R6(2024)年	前回調査 R1(2019)年	5年間 増減率	今回調査	前回調査	5年間増減 (世帯)
1 北海道	681,460	715,046	-4.7%	170.9	179.3	-8.4
2 東北圏	1,642,594	1,676,626	-2.0%	93.5	95.4	-1.9
3 首都圏	311,794	317,851	-1.9%	101.2	103.2	-2.0
4 北陸圏	228,045	231,358	-1.4%	70.5	71.5	-1.0
5 中部圏	486,878	504,914	-3.6%	97.1	100.7	-3.6
6 近畿圏	496,657	501,647	-1.0%	107.8	108.9	-1.1
7 中国圏	631,616	655,926	-3.7%	47.0	48.8	-1.8
8 四国圏	372,404	378,850	-1.7%	50.8	51.7	-0.9
9 九州圏	1,250,415	1,337,632	-6.5%	79.0	84.5	-5.5
10 沖縄県	52,900	49,346	7.2%	215.0	200.6	14.4
合計	6,154,763	6,369,196	-3.4%	82.8	85.7	-2.9
過疎地域	4,732,911	4,731,685	0.0%	72.3	72.3	0.0
振興山村	1,431,324	1,429,842	0.1%	52.7	52.6	0.1
離島	213,698	206,751	3.4%	86.7	83.9	2.8
半島	1,688,899	1,717,597	-1.7%	117.4	119.4	-2.0
特別豪雪地帯	1,111,704	1,126,573	-1.3%	92.0	93.3	-1.2

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落世帯数の推移をみると、全体では5年間増減率は-3.8%であり、地方ブロック別では、北海道(-5.5%)、北陸圏(-4.1%)、中部圏(-5.8%)、中国圏(-4.1%)、四国圏(-4.2%)で減少率がやや高くなっている。
- 集落あたり平均世帯数をみると、全体では 69.5 世帯/集落であり、前回調査時の平均世帯数(72.3 世帯/集落)から約 3 世帯減少している。地方ブロック別でみると、集落の世帯数が最も縮小しているのは北海道であり、前回調査時の平均世帯数より約 10 世帯減少している。

図表2-332 地方ブロック別 前回調査対象地域の集落世帯数及び集落あたり平均世帯数の推移 【前回調査の過疎地域のみ】

前回調査の 過疎地域	集落世帯数			集落あたり平均世帯数		
	今回調査 R6(2024)年	前回調査 R1(2019)年	5年間 増減率	今回調査	前回調査	5年間増減 (世帯)
1 北海道	608,678 (14.4%)	644,020 (14.7%)	-5.5%	163.9	173.5	-9.5
2 東北圏	972,490 (23.0%)	1,009,413 (23.0%)	-3.7%	70.7	73.4	-2.7
3 首都圏	156,608 (3.7%)	162,058 (3.7%)	-3.4%	80.8	83.6	-2.8
4 北陸圏	105,976 (2.5%)	110,475 (2.5%)	-4.1%	55.6	58.0	-2.4
5 中部圏	187,023 (4.4%)	198,468 (4.5%)	-5.8%	63.7	67.6	-3.9
6 近畿圏	309,744 (7.3%)	316,572 (7.2%)	-2.2%	88.3	90.3	-1.9
7 中国圏	483,581 (11.5%)	504,282 (11.5%)	-4.1%	40.4	42.1	-1.7
8 四国圏	323,589 (7.7%)	337,796 (7.7%)	-4.2%	48.3	50.5	-2.1
9 九州圏	1,019,913 (24.2%)	1,054,303 (24.0%)	-3.3%	72.7	75.2	-2.5
10 沖縄県	52,900 (1.3%)	49,346 (1.1%)	7.2%	215.0	200.6	14.4
合計	4,220,502 (100.0%)	4,386,733 (100.0%)	-3.8%	69.5	72.3	-2.7

④集落の人口規模別集落数の推移

【全体】

- 人口規模別集落数について、前回調査の結果と今回調査における前回調査対象地域の集計結果を比較すると、25人未満の小規模集落は前回調査時の13.9%から今回調査では16.8%と拡大している。50人未満でも、今回調査では34.9%と初めて30%を超えた前回調査から拡大している。

図表2-333 前回調査対象地域における集落の人口規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	207 (5.2%)	497 (12.4%)	757 (18.9%)	711 (17.8%)	741 (18.5%)	635 (15.9%)	227 (5.7%)	184 (4.6%)	40 (1.0%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	557 (3.1%)	1,206 (6.8%)	2,641 (14.9%)	4,270 (24.1%)	4,389 (24.8%)	3,305 (18.7%)	867 (4.9%)	432 (2.4%)	27 (0.2%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	81 (2.6%)	233 (7.4%)	470 (14.8%)	696 (22.0%)	652 (20.6%)	587 (18.5%)	205 (6.5%)	124 (3.9%)	117 (3.7%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	192 (5.9%)	295 (9.0%)	515 (15.8%)	844 (25.9%)	737 (22.6%)	490 (15.0%)	119 (3.6%)	68 (2.1%)	2 (0.1%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	297 (5.7%)	650 (12.4%)	860 (16.4%)	1,150 (21.9%)	1,078 (20.6%)	741 (14.1%)	265 (5.1%)	193 (3.7%)	7 (0.1%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	181 (3.9%)	403 (8.6%)	628 (13.5%)	1,012 (21.7%)	1,070 (23.0%)	823 (17.7%)	279 (6.0%)	215 (4.6%)	48 (1.0%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	1,050 (7.7%)	2,662 (19.6%)	3,503 (25.8%)	3,116 (23.0%)	1,695 (12.5%)	963 (7.1%)	276 (2.0%)	123 (0.9%)	186 (1.4%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	713 (9.5%)	1,237 (16.4%)	1,627 (21.6%)	1,798 (23.9%)	1,233 (16.4%)	677 (9.0%)	124 (1.6%)	57 (0.8%)	66 (0.9%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	545 (3.4%)	1,632 (10.2%)	2,624 (16.4%)	3,682 (23.1%)	3,396 (21.3%)	2,464 (15.4%)	719 (4.5%)	250 (1.6%)	652 (4.1%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	1 (0.4%)	11 (4.5%)	26 (10.6%)	54 (22.0%)	86 (35.0%)	47 (19.1%)	18 (7.3%)	2 (0.8%)	246 (100.0%)
合計	3,824 (5.1%)	8,816 (11.7%)	13,636 (18.1%)	17,305 (23.0%)	15,045 (20.0%)	10,771 (14.3%)	3,128 (4.2%)	1,664 (2.2%)	1,147 (1.5%)	75,336 (100.0%)
参考： 前回調査	2,963 (3.9%)	7,459 (9.9%)	12,626 (16.8%)	17,369 (23.1%)	16,117 (21.5%)	12,103 (16.1%)	3,536 (4.7%)	1,781 (2.4%)	1,101 (1.5%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における人口規模別集落数を前回調査時と比較すると、前回調査では 25 人未満の小規模集落が 15.4%を占めていたが、今回調査ではその比率は 18.3%と拡大している。50 人未満でも、前回調査の 34.0%から今回調査では 38.0%と拡大している。
- 地域区別でみると、25 人未満の集落の割合は山間地集落において前回調査時(29.2%)から 5.1 ポイント拡大して 34.3%となっている。

図表2-334 前回調査対象地域における地域区別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	2,181 (11.7%)	4,229 (22.7%)	4,737 (25.4%)	4,001 (21.4%)	2,281 (12.2%)	914 (4.9%)	157 (0.8%)	31 (0.2%)	140 (0.7%)	18,671 (100.0%)
中間地	651 (3.6%)	2,011 (11.2%)	3,683 (20.5%)	4,849 (27.0%)	3,860 (21.5%)	2,213 (12.3%)	439 (2.4%)	172 (1.0%)	86 (0.5%)	17,964 (100.0%)
平地	365 (1.9%)	1,261 (6.6%)	2,970 (15.5%)	4,916 (25.7%)	4,933 (25.8%)	3,435 (18.0%)	858 (4.5%)	285 (1.5%)	102 (0.5%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	71 (1.6%)	199 (4.6%)	464 (10.6%)	780 (17.9%)	955 (21.9%)	1,177 (27.0%)	448 (10.3%)	252 (5.8%)	14 (0.3%)	4,360 (100.0%)
無回答	44 (7.7%)	99 (17.2%)	103 (17.9%)	125 (21.7%)	75 (13.0%)	58 (10.1%)	15 (2.6%)	11 (1.9%)	45 (7.8%)	575 (100.0%)
合計	3,312 (5.5%)	7,799 (12.8%)	11,957 (19.7%)	14,671 (24.2%)	12,104 (19.9%)	7,797 (12.8%)	1,917 (3.2%)	751 (1.2%)	387 (0.6%)	60,695 (100.0%)

図表2-335 <参考: 前回調査> 地域区別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
山間地	1,802 (9.2%)	3,909 (20.0%)	5,011 (25.6%)	4,523 (23.1%)	2,724 (13.9%)	1,152 (5.9%)	185 (0.9%)	44 (0.2%)	193 (1.0%)	19,543 (100.0%)
中間地	484 (2.7%)	1,643 (9.0%)	3,360 (18.5%)	4,954 (27.2%)	4,222 (23.2%)	2,605 (14.3%)	489 (2.7%)	207 (1.1%)	233 (1.3%)	18,197 (100.0%)
平地	303 (1.6%)	1,050 (5.5%)	2,581 (13.5%)	4,822 (25.2%)	5,189 (27.1%)	3,833 (20.0%)	914 (4.8%)	316 (1.7%)	127 (0.7%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	43 (1.0%)	185 (4.4%)	392 (9.4%)	735 (17.6%)	917 (22.0%)	1,146 (27.5%)	464 (11.1%)	276 (6.6%)	14 (0.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	13 (2.8%)	43 (9.3%)	76 (16.4%)	102 (22.0%)	106 (22.8%)	80 (17.2%)	26 (5.6%)	7 (1.5%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	2,645 (4.3%)	6,830 (11.1%)	11,420 (18.6%)	15,136 (24.6%)	13,158 (21.4%)	8,816 (14.3%)	2,078 (3.4%)	850 (1.4%)	578 (0.9%)	61,511 (100.0%)

※前回調査では、調査時点の過疎地域に加え、調査時点では非過疎地域であり活性化法において過疎地域であった区域を含めて「過疎地域等」として集計している。以下、表題に<参考: 前回調査>とある表において同じ。

- 前回調査の過疎地域における人口規模別集落数について、地方ブロック別でみると、人口規模が10人未満の集落が占める割合は前回調査と同じく四国圏で特に高いが、沖縄県以外の全てのブロックで前回調査より拡大している。

図表2-336 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	196 (5.3%)	474 (12.8%)	728 (19.6%)	676 (18.2%)	686 (18.5%)	569 (15.3%)	193 (5.2%)	157 (4.2%)	34 (0.9%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	453 (3.3%)	1,034 (7.5%)	2,276 (16.5%)	3,610 (26.2%)	3,493 (25.4%)	2,238 (16.3%)	477 (3.5%)	166 (1.2%)	14 (0.1%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	57 (2.9%)	168 (8.7%)	300 (15.5%)	480 (24.8%)	436 (22.5%)	345 (17.8%)	85 (4.4%)	32 (1.7%)	35 (1.8%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	122 (6.4%)	192 (10.1%)	324 (17.0%)	544 (28.5%)	397 (20.8%)	253 (13.3%)	53 (2.8%)	19 (1.0%)	2 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	201 (6.8%)	391 (13.3%)	521 (17.7%)	694 (23.6%)	618 (21.0%)	373 (12.7%)	104 (3.5%)	33 (1.1%)	2 (0.1%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	163 (4.6%)	342 (9.8%)	506 (14.4%)	821 (23.4%)	843 (24.0%)	572 (16.3%)	148 (4.2%)	68 (1.9%)	44 (1.3%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	979 (8.2%)	2,494 (20.8%)	3,277 (27.4%)	2,811 (23.5%)	1,443 (12.1%)	720 (6.0%)	159 (1.3%)	70 (0.6%)	19 (0.2%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	626 (9.4%)	1,151 (17.2%)	1,518 (22.7%)	1,625 (24.3%)	1,087 (16.2%)	546 (8.2%)	88 (1.3%)	43 (0.6%)	9 (0.1%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	514 (3.7%)	1,552 (11.1%)	2,496 (17.8%)	3,384 (24.1%)	3,047 (21.7%)	2,095 (14.9%)	563 (4.0%)	145 (1.0%)	226 (1.6%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	1 (0.4%)	11 (4.5%)	26 (10.6%)	54 (22.0%)	86 (35.0%)	47 (19.1%)	18 (7.3%)	2 (0.8%)	246 (100.0%)
合計	3,312 (5.5%)	7,799 (12.8%)	11,957 (19.7%)	14,671 (24.2%)	12,104 (19.9%)	7,797 (12.8%)	1,917 (3.2%)	751 (1.2%)	387 (0.6%)	60,695 (100.0%)

図表2-337 <参考：前回調査>地方ブロック別・集落の人口規模別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の人口規模（人）									計
	～9	10～24	25～49	50～99	100～199	200～499	500～999	1000～	無回答	
1 北海道	163 (4.4%)	405 (10.8%)	694 (18.5%)	738 (19.7%)	724 (19.3%)	618 (16.5%)	221 (5.9%)	181 (4.8%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	358 (2.6%)	823 (6.0%)	1,897 (13.8%)	3,472 (25.3%)	3,698 (27.0%)	2,574 (18.8%)	519 (3.8%)	192 (1.4%)	165 (1.2%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	41 (2.2%)	154 (8.2%)	266 (14.2%)	424 (22.6%)	451 (24.0%)	382 (20.4%)	91 (4.9%)	33 (1.8%)	34 (1.8%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	102 (6.0%)	164 (9.6%)	270 (15.9%)	508 (29.9%)	400 (23.5%)	208 (12.2%)	41 (2.4%)	7 (0.4%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	203 (5.7%)	447 (12.6%)	695 (19.6%)	799 (22.5%)	752 (21.2%)	492 (13.9%)	126 (3.5%)	37 (1.0%)	0 (0.0%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	124 (4.0%)	276 (9.0%)	454 (14.8%)	741 (24.1%)	780 (25.4%)	503 (16.4%)	113 (3.7%)	64 (2.1%)	17 (0.6%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	741 (6.0%)	2,221 (18.0%)	3,287 (26.6%)	3,178 (25.7%)	1,683 (13.6%)	847 (6.8%)	192 (1.6%)	82 (0.7%)	137 (1.1%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	516 (7.4%)	1,041 (15.0%)	1,520 (21.9%)	1,733 (25.0%)	1,234 (17.8%)	618 (8.9%)	110 (1.6%)	46 (0.7%)	127 (1.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	395 (2.8%)	1,297 (9.1%)	2,325 (16.3%)	3,521 (24.6%)	3,376 (23.6%)	2,473 (17.3%)	620 (4.3%)	188 (1.3%)	97 (0.7%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	2 (0.8%)	12 (4.5%)	22 (8.3%)	60 (22.7%)	101 (38.3%)	45 (17.0%)	20 (7.6%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	2,645 (4.3%)	6,830 (11.1%)	11,420 (18.6%)	15,136 (24.6%)	13,158 (21.4%)	8,816 (14.3%)	2,078 (3.4%)	850 (1.4%)	578 (0.9%)	61,511 (100.0%)

⑤集落の世帯数規模別集落数の推移

【全体】

- 世帯規模別集落数について、前回調査の結果と今回調査における前回調査対象地域の集計結果を比較すると、20世帯未満の集落は前回調査時の27.7%から今回調査では29.3%とやや拡大している。

図表2-338 前回調査対象地域における集落の世帯規模別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	541 (13.5%)	694 (17.4%)	419 (10.5%)	524 (13.1%)	684 (17.1%)	513 (12.8%)	383 (9.6%)	201 (5.0%)	40 (1.0%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	1,429 (8.1%)	2,613 (14.8%)	2,520 (14.2%)	3,418 (19.3%)	3,849 (21.8%)	2,262 (12.8%)	1,162 (6.6%)	361 (2.0%)	80 (0.5%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	218 (6.9%)	400 (12.6%)	393 (12.4%)	537 (17.0%)	627 (19.8%)	469 (14.8%)	272 (8.6%)	114 (3.6%)	135 (4.3%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	381 (11.7%)	516 (15.8%)	512 (15.7%)	671 (20.6%)	649 (19.9%)	328 (10.1%)	150 (4.6%)	50 (1.5%)	5 (0.2%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	692 (13.2%)	883 (16.8%)	635 (12.1%)	907 (17.3%)	999 (19.1%)	525 (10.0%)	358 (6.8%)	172 (3.3%)	70 (1.3%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	353 (7.6%)	570 (12.2%)	558 (12.0%)	847 (18.2%)	1,020 (21.9%)	627 (13.5%)	380 (8.2%)	180 (3.9%)	124 (2.7%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	2,710 (20.0%)	3,618 (26.7%)	2,199 (16.2%)	2,121 (15.6%)	1,588 (11.7%)	760 (5.6%)	437 (3.2%)	114 (0.8%)	27 (0.2%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	1,247 (16.6%)	1,509 (20.0%)	1,132 (15.0%)	1,298 (17.2%)	1,216 (16.1%)	630 (8.4%)	206 (2.7%)	58 (0.8%)	236 (3.1%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	1,387 (8.7%)	2,284 (14.3%)	1,958 (12.3%)	2,922 (18.3%)	3,540 (22.2%)	2,083 (13.0%)	1,071 (6.7%)	242 (1.5%)	477 (3.0%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	4 (1.6%)	7 (2.8%)	16 (6.5%)	58 (23.6%)	67 (27.2%)	69 (28.0%)	24 (9.8%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	8,959 (11.9%)	13,091 (17.4%)	10,333 (13.7%)	13,261 (17.6%)	14,230 (18.9%)	8,264 (11.0%)	4,488 (6.0%)	1,516 (2.0%)	1,194 (1.6%)	75,336 (100.0%)
参考： 前回調査	7,909 (10.5%)	12,945 (17.2%)	10,451 (13.9%)	13,456 (17.9%)	14,659 (19.5%)	8,485 (11.3%)	4,686 (6.2%)	1,473 (2.0%)	991 (1.3%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における世帯数規模別集落数を、前回調査における過疎地域等と比較すると、20世帯未満の集落の割合は今回調査では31.8%と前回調査時(30.6%)より拡大している。
- 地域区分別でみると、いずれの地域区分でも10世帯未満の集落の割合は拡大しており、特に山間地集落において10世帯未満の小規模集落の割合が2.7ポイント拡大している。

図表2-339 前回調査対象地域における地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,687 (25.1%)	5,005 (26.8%)	2,845 (15.2%)	2,767 (14.8%)	2,124 (11.4%)	735 (3.9%)	250 (1.3%)	29 (0.2%)	229 (1.2%)	18,671 (100.0%)
中間地	1,782 (9.9%)	3,461 (19.3%)	2,820 (15.7%)	3,631 (20.2%)	3,541 (19.7%)	1,765 (9.8%)	676 (3.8%)	167 (0.9%)	121 (0.7%)	17,964 (100.0%)
平地	1,102 (5.8%)	2,550 (13.3%)	2,691 (14.1%)	3,945 (20.6%)	4,612 (24.1%)	2,576 (13.5%)	1,228 (6.4%)	262 (1.4%)	159 (0.8%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	164 (3.8%)	323 (7.4%)	392 (9.0%)	623 (14.3%)	1,007 (23.1%)	917 (21.0%)	687 (15.8%)	245 (5.6%)	2 (0.0%)	4,360 (100.0%)
無回答	125 (21.7%)	86 (15.0%)	70 (12.2%)	97 (16.9%)	65 (11.3%)	49 (8.5%)	28 (4.9%)	12 (2.1%)	43 (7.5%)	575 (100.0%)
合計	7,860 (12.9%)	11,425 (18.8%)	8,818 (14.5%)	11,063 (18.2%)	11,349 (18.7%)	6,042 (10.0%)	2,869 (4.7%)	715 (1.2%)	554 (0.9%)	60,695 (100.0%)

図表2-340 <参考: 前回調査>地域区分別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
山間地	4,372 (22.4%)	5,397 (27.6%)	3,078 (15.7%)	3,035 (15.5%)	2,365 (12.1%)	782 (4.0%)	259 (1.3%)	38 (0.2%)	217 (1.1%)	19,543 (100.0%)
中間地	1,561 (8.6%)	3,388 (18.6%)	2,943 (16.2%)	3,722 (20.5%)	3,693 (20.3%)	1,829 (10.1%)	711 (3.9%)	178 (1.0%)	172 (0.9%)	18,197 (100.0%)
平地	1,036 (5.4%)	2,492 (13.0%)	2,693 (14.1%)	3,976 (20.8%)	4,694 (24.5%)	2,642 (13.8%)	1,198 (6.3%)	258 (1.3%)	146 (0.8%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	123 (2.9%)	323 (7.7%)	367 (8.8%)	600 (14.4%)	969 (23.2%)	845 (20.3%)	665 (15.9%)	266 (6.4%)	14 (0.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	47 (10.1%)	82 (17.7%)	73 (15.7%)	87 (18.8%)	77 (16.6%)	49 (10.6%)	32 (6.9%)	7 (1.5%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	7,139 (11.6%)	11,682 (19.0%)	9,154 (14.9%)	11,420 (18.6%)	11,798 (19.2%)	6,147 (10.0%)	2,865 (4.7%)	747 (1.2%)	559 (0.9%)	61,511 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における世帯数規模別集落数について、地方ブロック別でみると、沖縄県以外の全てのブロックで10世帯未満の集落が占める割合が拡大している。

図表2-341 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	520 (14.0%)	665 (17.9%)	394 (10.6%)	498 (13.4%)	629 (16.9%)	461 (12.4%)	341 (9.2%)	171 (4.6%)	34 (0.9%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	1,207 (8.8%)	2,241 (16.3%)	2,139 (15.5%)	2,861 (20.8%)	2,970 (21.6%)	1,499 (10.9%)	641 (4.7%)	136 (1.0%)	67 (0.5%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	152 (7.8%)	254 (13.1%)	273 (14.1%)	371 (19.1%)	418 (21.6%)	280 (14.4%)	117 (6.0%)	30 (1.5%)	43 (2.2%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	243 (12.7%)	323 (16.9%)	337 (17.7%)	404 (21.2%)	347 (18.2%)	172 (9.0%)	69 (3.6%)	10 (0.5%)	1 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	433 (14.7%)	544 (18.5%)	359 (12.2%)	550 (18.7%)	568 (19.3%)	254 (8.6%)	147 (5.0%)	27 (0.9%)	55 (1.9%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	314 (9.0%)	460 (13.1%)	461 (13.1%)	684 (19.5%)	788 (22.5%)	461 (13.1%)	230 (6.6%)	65 (1.9%)	44 (1.3%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	2,546 (21.3%)	3,365 (28.1%)	1,975 (16.5%)	1,844 (15.4%)	1,327 (11.1%)	567 (4.7%)	266 (2.2%)	63 (0.5%)	19 (0.2%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	1,125 (16.8%)	1,403 (21.0%)	1,044 (15.6%)	1,170 (17.5%)	1,065 (15.9%)	509 (7.6%)	154 (2.3%)	44 (0.7%)	179 (2.7%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	1,319 (9.4%)	2,166 (15.4%)	1,829 (13.0%)	2,665 (19.0%)	3,179 (22.7%)	1,772 (12.6%)	835 (6.0%)	145 (1.0%)	112 (0.8%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	1 (0.4%)	4 (1.6%)	7 (2.8%)	16 (6.5%)	58 (23.6%)	67 (27.2%)	69 (28.0%)	24 (9.8%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	7,860 (12.9%)	11,425 (18.8%)	8,818 (14.5%)	11,063 (18.2%)	11,349 (18.7%)	6,042 (10.0%)	2,869 (4.7%)	715 (1.2%)	554 (0.9%)	60,695 (100.0%)

図表2-342 <参考: 前回調査>地方ブロック別・集落の世帯数規模別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の世帯数規模（世帯）									計
	～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200～499	500～	無回答	
1 北海道	461 (12.3%)	688 (18.4%)	428 (11.4%)	492 (13.1%)	656 (17.5%)	467 (12.5%)	359 (9.6%)	193 (5.2%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	1,089 (8.0%)	2,122 (15.5%)	2,125 (15.5%)	2,817 (20.6%)	3,000 (21.9%)	1,522 (11.1%)	637 (4.7%)	148 (1.1%)	238 (1.7%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	134 (7.1%)	265 (14.1%)	231 (12.3%)	381 (20.3%)	401 (21.4%)	283 (15.1%)	119 (6.3%)	28 (1.5%)	34 (1.8%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	211 (12.4%)	322 (18.9%)	292 (17.2%)	399 (23.5%)	300 (17.6%)	132 (7.8%)	39 (2.3%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	506 (14.2%)	696 (19.6%)	514 (14.5%)	659 (18.6%)	693 (19.5%)	304 (8.6%)	157 (4.4%)	22 (0.6%)	0 (0.0%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	259 (8.4%)	436 (14.2%)	431 (14.0%)	619 (20.1%)	716 (23.3%)	365 (11.9%)	179 (5.8%)	50 (1.6%)	17 (0.6%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	2,207 (17.8%)	3,557 (28.8%)	2,148 (17.4%)	2,001 (16.2%)	1,447 (11.7%)	608 (4.9%)	285 (2.3%)	70 (0.6%)	45 (0.4%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	1,051 (15.1%)	1,493 (21.5%)	1,149 (16.5%)	1,230 (17.7%)	1,158 (16.7%)	531 (7.6%)	165 (2.4%)	43 (0.6%)	125 (1.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	1,219 (8.5%)	2,098 (14.7%)	1,828 (12.8%)	2,803 (19.6%)	3,364 (23.5%)	1,862 (13.0%)	850 (5.9%)	169 (1.2%)	99 (0.7%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	2 (0.8%)	5 (1.9%)	8 (3.0%)	19 (7.2%)	63 (23.9%)	73 (27.7%)	75 (28.4%)	19 (7.2%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	7,139 (11.6%)	11,682 (19.0%)	9,154 (14.9%)	11,420 (18.6%)	11,798 (19.2%)	6,147 (10.0%)	2,865 (4.7%)	747 (1.2%)	559 (0.9%)	61,511 (100.0%)

(2)集落の人口・世帯数の推移

①人口増減率（R01/H27）別集落数

【全体】

■ 前回調査対象地域にある集落について、前回調査時からの5年間の人口増減率をみると、全集落の83.8%で人口が減少しており、なかでも人口減少率が10%超20%以下の集落が36.9%を占めている。

図表2-343 前回調査対象地域における人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	856 (21.4%)	1,461 (36.5%)	716 (17.9%)	331 (8.3%)	149 (3.7%)	141 (3.5%)	109 (2.7%)	80 (2.0%)	105 (2.6%)	51 (1.3%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	3,005 (17.0%)	7,534 (42.6%)	3,502 (19.8%)	1,593 (9.0%)	375 (2.1%)	599 (3.4%)	315 (1.8%)	233 (1.3%)	248 (1.4%)	290 (1.6%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	497 (15.7%)	1,353 (42.7%)	599 (18.9%)	243 (7.7%)	60 (1.9%)	92 (2.9%)	48 (1.5%)	36 (1.1%)	22 (0.7%)	215 (6.8%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	652 (20.0%)	1,290 (39.5%)	678 (20.8%)	288 (8.8%)	100 (3.1%)	92 (2.8%)	50 (1.5%)	41 (1.3%)	42 (1.3%)	29 (0.9%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	964 (18.4%)	1,936 (36.9%)	1,028 (19.6%)	467 (8.9%)	175 (3.3%)	167 (3.2%)	109 (2.1%)	76 (1.5%)	87 (1.7%)	232 (4.4%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	782 (16.8%)	1,869 (40.1%)	996 (21.4%)	419 (9.0%)	85 (1.8%)	152 (3.3%)	104 (2.2%)	92 (2.0%)	54 (1.2%)	106 (2.3%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	3,389 (25.0%)	4,367 (32.2%)	2,104 (15.5%)	1,090 (8.0%)	581 (4.3%)	491 (3.6%)	369 (2.7%)	329 (2.4%)	451 (3.3%)	403 (3.0%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	1,850 (24.6%)	2,445 (32.5%)	1,169 (15.5%)	586 (7.8%)	313 (4.2%)	258 (3.4%)	181 (2.4%)	140 (1.9%)	138 (1.8%)	452 (6.0%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	3,098 (19.4%)	5,472 (34.3%)	2,819 (17.7%)	1,495 (9.4%)	538 (3.4%)	678 (4.2%)	427 (2.7%)	322 (2.0%)	323 (2.0%)	792 (5.0%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	15 (6.1%)	51 (20.7%)	57 (23.2%)	41 (16.7%)	4 (1.6%)	26 (10.6%)	18 (7.3%)	20 (8.1%)	12 (4.9%)	2 (0.8%)	246 (100.0%)
合計	15,108 (20.1%)	27,778 (36.9%)	13,668 (18.1%)	6,553 (8.7%)	2,380 (3.2%)	2,696 (3.6%)	1,730 (2.3%)	1,369 (1.8%)	1,482 (2.0%)	2,572 (3.4%)	75,336 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、前回調査時からの5年間の人口増減率をみると、全集落の86.1%で人口が減少しており、なかでも人口減少率が10%超20%以下の集落が38.4%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、人口減少率が10%を超える集落は、沖縄県以外の全てのブロックで6割前後を占めているが、特に中国圏や四国圏では20%を超える人口減少がみられた集落の割合が25.0%以上と高くなっている。一方、沖縄県では、人口が増加した集落の占める割合が3割程度にのぼる。

図表2-344 前回調査対象地域における地方ブロック別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	818 (22.0%)	1,383 (37.2%)	664 (17.9%)	289 (7.8%)	139 (3.7%)	126 (3.4%)	101 (2.7%)	64 (1.7%)	95 (2.6%)	34 (0.9%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	2,548 (18.5%)	6,236 (45.3%)	2,577 (18.7%)	1,061 (7.7%)	291 (2.1%)	372 (2.7%)	198 (1.4%)	158 (1.1%)	166 (1.2%)	154 (1.1%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	350 (18.1%)	915 (47.2%)	356 (18.4%)	139 (7.2%)	38 (2.0%)	45 (2.3%)	23 (1.2%)	23 (1.2%)	14 (0.7%)	35 (1.8%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	439 (23.0%)	818 (42.9%)	355 (18.6%)	136 (7.1%)	54 (2.8%)	35 (1.8%)	25 (1.3%)	21 (1.1%)	21 (1.1%)	2 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	590 (20.1%)	1,182 (40.2%)	537 (18.3%)	251 (8.5%)	118 (4.0%)	82 (2.8%)	70 (2.4%)	45 (1.5%)	60 (2.0%)	2 (0.1%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	654 (18.6%)	1,430 (40.8%)	690 (19.7%)	311 (8.9%)	75 (2.1%)	106 (3.0%)	83 (2.4%)	69 (2.0%)	45 (1.3%)	44 (1.3%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	3,171 (26.5%)	3,939 (32.9%)	1,810 (15.1%)	944 (7.9%)	533 (4.5%)	444 (3.7%)	342 (2.9%)	303 (2.5%)	427 (3.6%)	59 (0.5%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	1,701 (25.4%)	2,298 (34.3%)	1,113 (16.6%)	549 (8.2%)	297 (4.4%)	239 (3.6%)	170 (2.5%)	132 (2.0%)	127 (1.9%)	67 (1.0%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	2,922 (20.8%)	5,044 (36.0%)	2,555 (18.2%)	1,324 (9.4%)	382 (2.7%)	607 (4.3%)	383 (2.7%)	282 (2.0%)	294 (2.1%)	229 (1.6%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	15 (6.1%)	51 (20.7%)	57 (23.2%)	41 (16.7%)	4 (1.6%)	26 (10.6%)	18 (7.3%)	20 (8.1%)	12 (4.9%)	2 (0.8%)	246 (100.0%)
合計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により人口増減が比較できない集落も含む。

- 集落類型別でみると、人口減少率が20%を超える減少幅の大きい集落の割合は、基礎集落において23.2%と、基幹・中心集落と比べて特に大きくなっている。

図表2-345 前回調査対象地域における集落類型別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
基礎集落	11,494 (23.2%)	18,887 (38.2%)	8,379 (16.9%)	3,845 (7.8%)	1,703 (3.4%)	1,617 (3.3%)	1,116 (2.3%)	913 (1.8%)	1,061 (2.1%)	488 (1.0%)	49,503 (100.0%)
基幹集落	919 (15.2%)	2,540 (41.9%)	1,272 (21.0%)	632 (10.4%)	94 (1.6%)	244 (4.0%)	128 (2.1%)	75 (1.2%)	77 (1.3%)	74 (1.2%)	6,055 (100.0%)
中心集落	648 (14.1%)	1,700 (37.0%)	991 (21.6%)	537 (11.7%)	108 (2.4%)	206 (4.5%)	159 (3.5%)	115 (2.5%)	106 (2.3%)	23 (0.5%)	4,593 (100.0%)
無回答	147 (27.0%)	169 (31.1%)	72 (13.2%)	31 (5.7%)	26 (4.8%)	15 (2.8%)	10 (1.8%)	14 (2.6%)	17 (3.1%)	43 (7.9%)	544 (100.0%)
合計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落では、人口減少率が20%を超える減少幅の大きい集落の割合が32.5%と3割を超える一方、5年間で人口の変動がない集落の割合も4.6%と最も高い。
- 人口が増加している集落については、平地集落と都市的地域にある集落において比較的高い。

図表2-346 前回調査対象地域における地域区分別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
山間地	6,069 (32.5%)	6,850 (36.7%)	2,326 (12.5%)	932 (5.0%)	866 (4.6%)	337 (1.8%)	345 (1.8%)	263 (1.4%)	444 (2.4%)	239 (1.3%)	18,671 (100.0%)
中間地	3,667 (20.4%)	7,463 (41.5%)	3,237 (18.0%)	1,403 (7.8%)	483 (2.7%)	515 (2.9%)	349 (1.9%)	316 (1.8%)	339 (1.9%)	192 (1.1%)	17,964 (100.0%)
平地	2,735 (14.3%)	7,332 (38.3%)	4,107 (21.5%)	2,107 (11.0%)	455 (2.4%)	940 (4.9%)	541 (2.8%)	399 (2.1%)	379 (2.0%)	130 (0.7%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	600 (13.8%)	1,451 (33.3%)	956 (21.9%)	567 (13.0%)	105 (2.4%)	277 (6.4%)	167 (3.8%)	128 (2.9%)	88 (2.0%)	21 (0.5%)	4,360 (100.0%)
無回答	137 (23.8%)	200 (34.8%)	88 (15.3%)	36 (6.3%)	22 (3.8%)	13 (2.3%)	11 (1.9%)	11 (1.9%)	11 (1.9%)	46 (8.0%)	575 (100.0%)
合計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)まで20km以上と遠い集落では、人口減少集落の割合が87.1%と高く、特に人口減少率が20%を超える人口減少が著しい集落の割合が34.3%と3割を超えている。
- 一方、役場(本庁)まで5km未満と近い集落では、人口が増加している集落の割合が比較的高い。

図表2-347 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
5km未満	2,650 (13.7%)	6,943 (35.8%)	4,232 (21.8%)	2,366 (12.2%)	451 (2.3%)	1,059 (5.5%)	652 (3.4%)	497 (2.6%)	394 (2.0%)	149 (0.8%)	19,393 (100.0%)
5km以上	2,581 (18.6%)	5,707 (41.2%)	2,690 (19.4%)	1,145 (8.3%)	391 (2.8%)	474 (3.4%)	282 (2.0%)	214 (1.5%)	237 (1.7%)	130 (0.9%)	13,851 (100.0%)
10km未満	4,105 (25.8%)	6,390 (40.2%)	2,429 (15.3%)	993 (6.2%)	552 (3.5%)	354 (2.2%)	279 (1.8%)	248 (1.6%)	357 (2.2%)	202 (1.3%)	15,909 (100.0%)
10km以上	3,832 (34.3%)	4,114 (36.8%)	1,285 (11.5%)	508 (4.5%)	521 (4.7%)	178 (1.6%)	186 (1.7%)	147 (1.3%)	265 (2.4%)	143 (1.3%)	11,179 (100.0%)
20km未満	40 (11.0%)	142 (39.1%)	78 (21.5%)	33 (9.1%)	16 (4.4%)	17 (4.7%)	14 (3.9%)	11 (3.0%)	8 (2.2%)	4 (1.1%)	363 (100.0%)
20km以上	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)
合計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、大きく人口減少している集落の割合は地形的に末端にある集落の方が高く、人口減少率が10%を超える集落が約7割を占めている。

図表2-348 前回調査対象地域における地形的末端性別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
地形的な末端 である	1,325 (37.2%)	1,212 (34.0%)	385 (10.8%)	123 (3.4%)	248 (7.0%)	51 (1.4%)	45 (1.3%)	49 (1.4%)	78 (2.2%)	50 (1.4%)	3,566 (100.0%)
地形的な末端 でない	11,883 (20.8%)	22,084 (38.7%)	10,329 (18.1%)	4,922 (8.6%)	1,683 (2.9%)	2,031 (3.6%)	1,368 (2.4%)	1,068 (1.9%)	1,183 (2.1%)	578 (1.0%)	57,129 (100.0%)
合計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

- 集落の高齢者割合別でみると、高齢者割合が高い集落ほど人口減少率が20%を超える集落の割合が高くなっている。

図表2-349 前回調査対象地域における65歳以上人口割合別・人口増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
50%未満	3,967 (12.0%)	12,274 (37.1%)	7,445 (22.5%)	3,908 (11.8%)	883 (2.7%)	1,714 (5.2%)	1,102 (3.3%)	857 (2.6%)	873 (2.6%)	82 (0.2%)	33,105 (100.0%)
50%以上	6,675 (29.5%)	10,074 (44.5%)	3,009 (13.3%)	1,061 (4.7%)	591 (2.6%)	330 (1.5%)	276 (1.2%)	220 (1.0%)	299 (1.3%)	119 (0.5%)	22,654 (100.0%)
75%未満	1,756 (55.1%)	806 (25.3%)	220 (6.9%)	54 (1.7%)	187 (5.9%)	22 (0.7%)	29 (0.9%)	35 (1.1%)	56 (1.8%)	22 (0.7%)	3,187 (100.0%)
75%以上	789 (62.2%)	102 (8.0%)	26 (2.1%)	18 (1.4%)	270 (21.3%)	14 (1.1%)	6 (0.5%)	5 (0.4%)	33 (2.6%)	5 (0.4%)	1,268 (100.0%)
100%未満	21 (4.4%)	40 (8.3%)	14 (2.9%)	4 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	400 (83.2%)	481 (100.0%)
100%	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)
無回答											
合計											

②世帯増減率（R01/H27）別集落数

【全体】

- 前回調査対象地域にある集落について、前回調査時からの5年間の世帯増減率をみると、全集落の57.4%で世帯数が減少しており、減少率が5%から20%である集落が多い。

図表2-350 前回調査対象地域における世帯増減率(R06/R01)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	509 (12.7%)	846 (21.2%)	660 (16.5%)	503 (12.6%)	444 (11.1%)	298 (7.5%)	229 (5.7%)	248 (6.2%)	211 (5.3%)	51 (1.3%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	1,265 (7.1%)	2,517 (14.2%)	3,028 (17.1%)	3,022 (17.1%)	2,387 (13.5%)	2,123 (12.0%)	1,501 (8.5%)	921 (5.2%)	519 (2.9%)	411 (2.3%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	229 (7.2%)	491 (15.5%)	576 (18.2%)	524 (16.6%)	319 (10.1%)	354 (11.2%)	218 (6.9%)	155 (4.9%)	76 (2.4%)	223 (7.0%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	294 (9.0%)	551 (16.9%)	569 (17.4%)	477 (14.6%)	470 (14.4%)	362 (11.1%)	264 (8.1%)	144 (4.4%)	99 (3.0%)	32 (1.0%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	503 (9.6%)	798 (15.2%)	850 (16.2%)	733 (14.0%)	645 (12.3%)	572 (10.9%)	403 (7.7%)	264 (5.0%)	178 (3.4%)	295 (5.6%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	377 (8.1%)	689 (14.8%)	787 (16.9%)	784 (16.8%)	476 (10.2%)	569 (12.2%)	392 (8.4%)	261 (5.6%)	143 (3.1%)	181 (3.9%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	1,981 (14.6%)	2,562 (18.9%)	2,043 (15.1%)	1,320 (9.7%)	2,205 (16.2%)	916 (6.7%)	978 (7.2%)	780 (5.7%)	572 (4.2%)	217 (1.6%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	1,114 (14.8%)	1,374 (18.2%)	1,129 (15.0%)	762 (10.1%)	914 (12.1%)	512 (6.8%)	471 (6.3%)	400 (5.3%)	235 (3.1%)	621 (8.2%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	1,529 (9.6%)	2,745 (17.2%)	2,724 (17.1%)	2,308 (14.5%)	1,581 (9.9%)	1,592 (10.0%)	1,238 (7.8%)	899 (5.6%)	731 (4.6%)	617 (3.9%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.6%)	12 (4.9%)	31 (12.6%)	45 (18.3%)	10 (4.1%)	46 (18.7%)	32 (13.0%)	40 (16.3%)	26 (10.6%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	7,805 (10.4%)	12,585 (16.7%)	12,397 (16.5%)	10,478 (13.9%)	9,451 (12.5%)	7,344 (9.7%)	5,726 (7.6%)	4,112 (5.5%)	2,790 (3.7%)	2,648 (3.5%)	75,336 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落について、前回調査時からの世帯増減率をみると、世帯数が減少している集落は59.8%であり、25.5%の集落は世帯数が増加している。
- 地方ブロック別でみると、世帯数の減少幅が大きい集落は四国圏や中国圏、北海道などで比較的高い割合となっている。一方、沖縄県では世帯数が増加している集落の割合が総じて高くなっている。

図表2-351 前回調査対象地域における地方ブロック別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
1 北海道	486 (13.1%)	819 (22.1%)	620 (16.7%)	463 (12.5%)	419 (11.3%)	262 (7.1%)	201 (5.4%)	218 (5.9%)	191 (5.1%)	34 (0.9%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	966 (7.0%)	2,124 (15.4%)	2,515 (18.3%)	2,326 (16.9%)	1,999 (14.5%)	1,488 (10.8%)	1,099 (8.0%)	620 (4.5%)	347 (2.5%)	277 (2.0%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	165 (8.5%)	351 (18.1%)	390 (20.1%)	352 (18.2%)	199 (10.3%)	200 (10.3%)	119 (6.1%)	79 (4.1%)	40 (2.1%)	43 (2.2%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	202 (10.6%)	381 (20.0%)	341 (17.9%)	275 (14.4%)	287 (15.1%)	188 (9.9%)	121 (6.3%)	62 (3.3%)	48 (2.5%)	1 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	311 (10.6%)	499 (17.0%)	507 (17.3%)	401 (13.7%)	411 (14.0%)	278 (9.5%)	209 (7.1%)	159 (5.4%)	107 (3.6%)	55 (1.9%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	333 (9.5%)	561 (16.0%)	596 (17.0%)	578 (16.5%)	398 (11.3%)	392 (11.2%)	281 (8.0%)	199 (5.7%)	125 (3.6%)	44 (1.3%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	1,840 (15.4%)	2,328 (19.4%)	1,796 (15.0%)	1,085 (9.1%)	2,031 (17.0%)	755 (6.3%)	863 (7.2%)	714 (6.0%)	528 (4.4%)	32 (0.3%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	997 (14.9%)	1,296 (19.4%)	1,065 (15.9%)	715 (10.7%)	869 (13.0%)	477 (7.1%)	444 (6.6%)	381 (5.7%)	213 (3.2%)	236 (3.5%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	1,441 (10.3%)	2,561 (18.3%)	2,475 (17.7%)	2,029 (14.5%)	1,469 (10.5%)	1,394 (9.9%)	1,079 (7.7%)	790 (5.6%)	668 (4.8%)	116 (0.8%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	4 (1.6%)	12 (4.9%)	31 (12.6%)	45 (18.3%)	10 (4.1%)	46 (18.7%)	32 (13.0%)	40 (16.3%)	26 (10.6%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

※「無回答ほか」には、前回調査以降の集落再編成により人口増減が比較できない集落も含む。

- 集落類型別でみると、世帯減少率が10%を超える減少幅の大きい集落の割合は、基礎集落において特に高くなっているが、世帯数が減少している集落の割合は、基礎集落(59.5%)よりも基幹集落(62.7%)や中心集落(60.3%)の方が高い。

図表2-352 前回調査対象地域における集落類型別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
基礎集落	5,927 (12.0%)	9,104 (18.4%)	8,234 (16.6%)	6,186 (12.5%)	7,116 (14.4%)	4,129 (8.3%)	3,576 (7.2%)	2,677 (5.4%)	1,912 (3.9%)	642 (1.3%)	49,503 (100.0%)
基幹集落	395 (6.5%)	1,019 (16.8%)	1,162 (19.2%)	1,219 (20.1%)	453 (7.5%)	786 (13.0%)	485 (8.0%)	305 (5.0%)	160 (2.6%)	71 (1.2%)	6,055 (100.0%)
中心集落	355 (7.7%)	713 (15.5%)	873 (19.0%)	828 (18.0%)	444 (9.7%)	532 (11.6%)	365 (7.9%)	249 (5.4%)	201 (4.4%)	33 (0.7%)	4,593 (100.0%)
無回答	68 (12.5%)	96 (17.6%)	67 (12.3%)	36 (6.6%)	79 (14.5%)	33 (6.1%)	22 (4.0%)	31 (5.7%)	20 (3.7%)	92 (16.9%)	544 (100.0%)
合計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

- 地域区別でみると、世帯数が減少している集落の割合はいずれの地域区分でも 50%を超えており、特に世帯減少率が 10%超と減少幅の大きい集落の割合は山間地集落において 39.2%と最も高くなっている。
- 平地及び都市的地域にある集落では、世帯数が増加している集落の割合が約3分の1を占めている。

図表2-353 前回調査対象地域における地域区別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
山間地	3,341 (17.9%)	3,969 (21.3%)	2,872 (15.4%)	1,631 (8.7%)	3,149 (16.9%)	835 (4.5%)	960 (5.1%)	849 (4.5%)	713 (3.8%)	352 (1.9%)	18,671 (100.0%)
中間地	1,713 (9.5%)	3,343 (18.6%)	3,315 (18.5%)	2,585 (14.4%)	2,361 (13.1%)	1,597 (8.9%)	1,341 (7.5%)	889 (4.9%)	589 (3.3%)	231 (1.3%)	17,964 (100.0%)
平地	1,277 (6.7%)	2,848 (14.9%)	3,250 (17.0%)	3,146 (16.4%)	2,203 (11.5%)	2,428 (12.7%)	1,748 (9.1%)	1,220 (6.4%)	803 (4.2%)	202 (1.1%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	352 (8.1%)	654 (15.0%)	809 (18.6%)	846 (19.4%)	285 (6.5%)	588 (13.5%)	372 (8.5%)	277 (6.4%)	168 (3.9%)	9 (0.2%)	4,360 (100.0%)
無回答	62 (10.8%)	118 (20.5%)	90 (15.7%)	61 (10.6%)	94 (16.3%)	32 (5.6%)	27 (4.7%)	27 (4.7%)	20 (3.5%)	44 (7.7%)	575 (100.0%)
合計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

- 役場(本庁)までの距離別でみると、役場(本庁)まで 20 km以上の集落では、世帯数が減少している集落の割合が 65.6%と高く、特に世帯減少率が 10%を超える減少幅が大きい集落の割合は4割以上と高くなっている。
- 役場(本庁)までの距離が近くなるほど、世帯数が増加している集落の割合が高くなる傾向がみられ、役場(本庁)まで 5 km未満の集落では 32.6%で世帯数が増加している。

図表2-354 前回調査対象地域における役場(本庁)までの距離別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
5km未満	1,334 (6.9%)	2,902 (15.0%)	3,274 (16.9%)	3,318 (17.1%)	1,932 (10.0%)	2,456 (12.7%)	1,746 (9.0%)	1,277 (6.6%)	852 (4.4%)	302 (1.6%)	19,393 (100.0%)
5km以上 10km未満	1,218 (8.8%)	2,320 (16.7%)	2,468 (17.8%)	2,096 (15.1%)	1,979 (14.3%)	1,341 (9.7%)	1,138 (8.2%)	685 (4.9%)	440 (3.2%)	166 (1.2%)	13,851 (100.0%)
10km以上 20km未満	2,090 (13.1%)	3,149 (19.8%)	2,778 (17.5%)	1,819 (11.4%)	2,371 (14.9%)	1,129 (7.1%)	965 (6.1%)	773 (4.9%)	602 (3.8%)	233 (1.5%)	15,909 (100.0%)
20km以上	2,079 (18.6%)	2,514 (22.5%)	1,753 (15.7%)	982 (8.8%)	1,764 (15.8%)	516 (4.6%)	566 (5.1%)	494 (4.4%)	378 (3.4%)	133 (1.2%)	11,179 (100.0%)
無回答	24 (6.6%)	47 (12.9%)	63 (17.4%)	54 (14.9%)	46 (12.7%)	38 (10.5%)	33 (9.1%)	33 (9.1%)	21 (5.8%)	4 (1.1%)	363 (100.0%)
合計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

- 地形的末端性別でみると、世帯数が大きく減少している集落の割合は地形的に末端にある集落の方が高く、世帯減少率が 10%を超える集落が 43.2%を占めている。

図表2-355 前回調査対象地域における地形的末端性別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
地形的な末端 である	819 (23.0%)	723 (20.3%)	475 (13.3%)	253 (7.1%)	665 (18.6%)	130 (3.6%)	147 (4.1%)	159 (4.5%)	132 (3.7%)	63 (1.8%)	3,566 (100.0%)
地形的な末端 でない	5,926 (10.4%)	10,209 (17.9%)	9,861 (17.3%)	8,016 (14.0%)	7,427 (13.0%)	5,350 (9.4%)	4,301 (7.5%)	3,103 (5.4%)	2,161 (3.8%)	775 (1.4%)	57,129 (100.0%)
合計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

- 高齢者割合別で見ると、高齢者割合が高い集落ほど世帯数が大きく(20%超)減少している集落の割合が高くなる傾向がみられる。
- また、高齢者割合が100%(集落住民全員が65歳以上)の集落の30.4%は、5年前の前回調査時から世帯数が変化していない。

図表2-356 前回調査対象地域における高齢者割合別・世帯増減率(R06/R01)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
50%未満	2,103 (6.4%)	4,347 (13.1%)	5,548 (16.8%)	5,642 (17.0%)	3,891 (11.8%)	4,283 (12.9%)	3,180 (9.6%)	2,279 (6.9%)	1,577 (4.8%)	255 (0.8%)	33,105 (100.0%)
50%以上	2,867 (12.7%)	5,689 (25.1%)	4,417 (19.5%)	2,505 (11.1%)	3,180 (14.0%)	1,146 (5.1%)	1,183 (5.2%)	865 (3.8%)	555 (2.4%)	247 (1.1%)	22,654 (100.0%)
75%未満	1,092 (34.3%)	769 (24.1%)	306 (9.6%)	69 (2.2%)	619 (19.4%)	14 (0.4%)	70 (2.2%)	103 (3.2%)	110 (3.5%)	35 (1.1%)	3,187 (100.0%)
75%以上	662 (52.2%)	85 (6.7%)	20 (1.6%)	19 (1.5%)	386 (30.4%)	12 (0.9%)	6 (0.5%)	10 (0.8%)	48 (3.8%)	20 (1.6%)	1,268 (100.0%)
100%	21 (4.4%)	42 (8.7%)	45 (9.4%)	34 (7.1%)	16 (3.3%)	25 (5.2%)	9 (1.9%)	5 (1.0%)	3 (0.6%)	281 (58.4%)	481 (100.0%)
無回答	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)
合計											

(3) 集落の高齢化の状況

【全体】

- 前回調査対象地域にある集落の高齢者（65歳以上人口）割合をみると、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合は、前回調査時は29.5%であったが、今回調査では41.3%と11.8ポイント拡大している。

図表2-357 前回調査対象地域における高齢者割合別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	65歳以上割合別 集落数				計	【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				計
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答		50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	
合計	42,913 (57.0%)	29,637 (39.3%)	1,448 (1.9%)	1,338 (1.8%)	75,336 (100.0%)	50,916 (67.8%)	21,125 (28.1%)	1,059 (1.4%)	1,955 (2.6%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落の高齢者割合をみると、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合は、前回調査時の32.7%から今回調査では44.7%と12ポイント拡大している。
- 地方ブロック別でみると、特に東北圏・首都圏・中国圏・四国圏・九州圏では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回より10ポイント以上拡大している。

図表2-358 前回調査対象地域における地方ブロック別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数				計	【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				計
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答		50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	
1 北海道	2,417 (65.1%)	1,220 (32.9%)	42 (1.1%)	34 (0.9%)	3,713 (100.0%)	2,722 (72.7%)	964 (25.7%)	35 (0.9%)	24 (0.6%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	8,560 (62.2%)	4,927 (35.8%)	171 (1.2%)	103 (0.7%)	13,761 (100.0%)	10,681 (78.0%)	2,715 (19.8%)	103 (0.8%)	199 (1.5%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	1,021 (52.7%)	857 (44.2%)	25 (1.3%)	35 (1.8%)	1,938 (100.0%)	1,271 (67.8%)	533 (28.4%)	18 (1.0%)	54 (2.9%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	978 (51.3%)	873 (45.8%)	53 (2.8%)	2 (0.1%)	1,906 (100.0%)	1,019 (59.9%)	638 (37.5%)	43 (2.5%)	0 (0.0%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	1,597 (54.4%)	1,272 (43.3%)	66 (2.2%)	2 (0.1%)	2,937 (100.0%)	2,123 (59.8%)	1,238 (34.9%)	62 (1.7%)	128 (3.6%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	1,974 (56.3%)	1,425 (40.6%)	59 (1.7%)	49 (1.4%)	3,507 (100.0%)	1,942 (63.2%)	999 (32.5%)	47 (1.5%)	84 (2.7%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	5,786 (48.3%)	5,787 (48.3%)	380 (3.2%)	19 (0.2%)	11,972 (100.0%)	7,133 (57.7%)	4,795 (38.8%)	277 (2.2%)	163 (1.3%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	3,102 (46.3%)	3,297 (49.3%)	285 (4.3%)	9 (0.1%)	6,693 (100.0%)	3,818 (55.0%)	2,767 (39.8%)	216 (3.1%)	144 (2.1%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	7,455 (53.2%)	6,154 (43.9%)	187 (1.3%)	226 (1.6%)	14,022 (100.0%)	9,540 (66.8%)	4,487 (31.4%)	136 (1.0%)	129 (0.9%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	215 (87.4%)	29 (11.8%)	0 (0.0%)	2 (0.8%)	246 (100.0%)	251 (95.1%)	13 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	33,105 (54.5%)	25,841 (42.6%)	1,268 (2.1%)	481 (0.8%)	60,695 (100.0%)	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)

- 地域区分別でみると、特に山間地集落では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回調査より14ポイント拡大しており、また高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落が占める割合が4.4%と他の地域区分と比較しても高く、前回調査時（3.2%）より拡大している。

図表2-359 前回調査対象地域における地域区分別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数					【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計
山間地	6,263 (33.5%)	11,427 (61.2%)	816 (4.4%)	165 (0.9%)	18,671 (100.0%)	9,118 (46.7%)	9,457 (48.4%)	624 (3.2%)	344 (1.8%)	19,543 (100.0%)
中間地	9,628 (53.6%)	7,980 (44.4%)	258 (1.4%)	98 (0.5%)	17,964 (100.0%)	12,207 (67.1%)	5,499 (30.2%)	161 (0.9%)	330 (1.8%)	18,197 (100.0%)
平地	13,404 (70.1%)	5,422 (28.4%)	155 (0.8%)	144 (0.8%)	19,125 (100.0%)	15,300 (80.0%)	3,484 (18.2%)	133 (0.7%)	218 (1.1%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	3,546 (81.3%)	763 (17.5%)	23 (0.5%)	28 (0.6%)	4,360 (100.0%)	3,562 (85.4%)	575 (13.8%)	13 (0.3%)	22 (0.5%)	4,172 (100.0%)
無回答	264 (45.9%)	249 (43.3%)	16 (2.8%)	46 (8.0%)	575 (100.0%)	313 (67.5%)	134 (28.9%)	6 (1.3%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	33,105 (54.5%)	25,841 (42.6%)	1,268 (2.1%)	481 (0.8%)	60,695 (100.0%)	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)

- 集落の立地条件でみると、役場（本庁）まで5km以上の集落では、高齢者割合が50%以上の集落が占める割合が前回調査より1割以上拡大しており、特に役場（本庁）まで20km以上と遠い集落では、高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）の集落が占める割合が4.4%と、前回調査時（3.1%）より1.3ポイント拡大している。

図表2-360 前回調査対象地域における役場（本庁）からの距離別・高齢者割合別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	65歳以上割合別 集落数					【参考：前回調査】65歳以上割合別 集落数				
	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計	50%未満	50%以上 100%未満	100%	無回答	計
5km未満	14,054 (72.5%)	5,114 (26.4%)	147 (0.8%)	78 (0.4%)	19,393 (100.0%)	14,947 (81.3%)	3,202 (17.4%)	101 (0.5%)	132 (0.7%)	18,382 (100.0%)
5km以上 10km未満	7,920 (57.2%)	5,654 (40.8%)	202 (1.5%)	75 (0.5%)	13,851 (100.0%)	9,450 (69.7%)	3,840 (28.3%)	145 (1.1%)	124 (0.9%)	13,559 (100.0%)
10km以上 20km未満	7,237 (45.5%)	8,090 (50.9%)	423 (2.7%)	159 (1.0%)	15,909 (100.0%)	9,955 (60.8%)	5,917 (36.1%)	290 (1.8%)	211 (1.3%)	16,373 (100.0%)
20km以上	3,673 (32.9%)	6,847 (61.2%)	493 (4.4%)	166 (1.5%)	11,179 (100.0%)	5,766 (45.5%)	6,081 (47.9%)	392 (3.1%)	444 (3.5%)	12,683 (100.0%)
無回答	221 (60.9%)	136 (37.5%)	3 (0.8%)	3 (0.8%)	363 (100.0%)	382 (74.3%)	109 (21.2%)	9 (1.8%)	14 (2.7%)	514 (100.0%)
合計	33,105 (54.5%)	25,841 (42.6%)	1,268 (2.1%)	481 (0.8%)	60,695 (100.0%)	40,500 (65.8%)	19,149 (31.1%)	937 (1.5%)	925 (1.5%)	61,511 (100.0%)

(4) 集落機能の維持状況や今後の集落の見通し

① 集落機能の維持状況

【全体】

- 前回調査対象地域における集落機能の維持状況をみると、前回調査では集落機能の維持状況が「良好」とされた集落が全体の78.4%を占めていたが、今回調査ではその割合は75.5%に減少しており、「機能低下」や「維持困難」とされた集落の割合が拡大している。

図表2-361 前回調査対象地域における集落機能の維持状況別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,260 (81.5%)	532 (13.3%)	125 (3.1%)	82 (2.1%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	14,737 (83.3%)	2,530 (14.3%)	255 (1.4%)	172 (1.0%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	2,201 (69.5%)	892 (28.2%)	65 (2.1%)	7 (0.2%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	2,654 (81.4%)	490 (15.0%)	110 (3.4%)	8 (0.2%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	3,605 (68.8%)	1,393 (26.6%)	226 (4.3%)	17 (0.3%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	3,329 (71.5%)	981 (21.1%)	280 (6.0%)	69 (1.5%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	9,672 (71.3%)	3,123 (23.0%)	569 (4.2%)	210 (1.5%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	4,924 (65.4%)	1,806 (24.0%)	778 (10.3%)	24 (0.3%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	12,322 (77.2%)	2,810 (17.6%)	520 (3.3%)	312 (2.0%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	200 (81.3%)	46 (18.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	56,904 (75.5%)	14,603 (19.4%)	2,928 (3.9%)	901 (1.2%)	75,336 (100.0%)
参考: 前回調査	58,855 (78.4%)	12,754 (17.0%)	2,852 (3.8%)	594 (0.8%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落機能の維持状況をみると、前回調査では集落機能の維持状況が「良好」とされた集落が全体の 78.3%を占めていたが、今回調査ではその割合は 76.2%に減少し、「機能低下」とされた集落の割合が拡大している。
- 地域区別でみると、前回調査と同様、山間地集落において集落機能が低下している、あるいは機能維持が困難となっている集落の割合が特に高く、さらに両者を合わせた割合は 39.5%と、前回調査(37.9%)から増加している。

図表2-362 前回調査対象地域における地域区別・集落機能の維持状況別 集落数 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	11,251 (60.3%)	5,457 (29.2%)	1,910 (10.2%)	53 (0.3%)	18,671 (100.0%)
中間地	13,934 (77.6%)	3,438 (19.1%)	511 (2.8%)	81 (0.5%)	17,964 (100.0%)
平地	16,708 (87.4%)	2,165 (11.3%)	126 (0.7%)	126 (0.7%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	3,991 (91.5%)	359 (8.2%)	9 (0.2%)	1 (0.0%)	4,360 (100.0%)
無回答	379 (65.9%)	134 (23.3%)	7 (1.2%)	55 (9.6%)	575 (100.0%)
合計	46,263 (76.2%)	11,553 (19.0%)	2,563 (4.2%)	316 (0.5%)	60,695 (100.0%)

図表2-363 <参考:前回調査>地域区別・集落機能の維持状況別 集落数 【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
山間地	12,095 (61.9%)	5,460 (27.9%)	1,946 (10.0%)	42 (0.2%)	19,543 (100.0%)
中間地	14,600 (80.2%)	3,093 (17.0%)	486 (2.7%)	18 (0.1%)	18,197 (100.0%)
平地	17,227 (90.0%)	1,725 (9.0%)	132 (0.7%)	51 (0.3%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	3,855 (92.4%)	309 (7.4%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	4,172 (100.0%)
無回答	369 (79.5%)	75 (16.2%)	9 (1.9%)	11 (2.4%)	464 (100.0%)
合計	48,146 (78.3%)	10,662 (17.3%)	2,580 (4.2%)	123 (0.2%)	61,511 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落機能の維持状況について地方ブロック別で見ると、前回調査時と同様、近畿圏や四国圏において「機能維持が困難」な集落の割合が高く、かつ四国圏については前回調査より拡大している。

図表2-364 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,013 (81.1%)	494 (13.3%)	124 (3.3%)	82 (2.2%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	11,506 (83.6%)	1,965 (14.3%)	188 (1.4%)	102 (0.7%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	1,290 (66.6%)	588 (30.3%)	55 (2.8%)	5 (0.3%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	1,611 (84.5%)	214 (11.2%)	80 (4.2%)	1 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	1,905 (64.9%)	850 (28.9%)	166 (5.7%)	16 (0.5%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	2,531 (72.2%)	663 (18.9%)	263 (7.5%)	50 (1.4%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	8,768 (73.2%)	2,659 (22.2%)	516 (4.3%)	29 (0.2%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	4,592 (68.6%)	1,426 (21.3%)	675 (10.1%)	0 (0.0%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	10,847 (77.4%)	2,648 (18.9%)	496 (3.5%)	31 (0.2%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	200 (81.3%)	46 (18.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	46,263 (76.2%)	11,553 (19.0%)	2,563 (4.2%)	316 (0.5%)	60,695 (100.0%)

図表2-365 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落機能の維持状況別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落機能の維持状況別 集落数				計
	良好	機能低下	維持困難	無回答	
1 北海道	3,126 (83.5%)	483 (12.9%)	135 (3.6%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	11,951 (87.2%)	1,524 (11.1%)	209 (1.5%)	14 (0.1%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	1,299 (69.2%)	526 (28.0%)	51 (2.7%)	0 (0.0%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	1,442 (84.8%)	177 (10.4%)	80 (4.7%)	1 (0.1%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	2,386 (67.2%)	941 (26.5%)	200 (5.6%)	24 (0.7%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	2,259 (73.5%)	538 (17.5%)	249 (8.1%)	26 (0.8%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	9,153 (74.0%)	2,710 (21.9%)	479 (3.9%)	26 (0.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	4,907 (70.7%)	1,336 (19.2%)	682 (9.8%)	20 (0.3%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	11,402 (79.8%)	2,387 (16.7%)	492 (3.4%)	11 (0.1%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	221 (83.7%)	40 (15.2%)	3 (1.1%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	48,146 (78.3%)	10,662 (17.3%)	2,580 (4.2%)	123 (0.2%)	61,511 (100.0%)

②今後の集落の人口動向

【全体】

- 前回調査対象地域における集落の今後の人口動向の見通しをみると、人口が増加するとみられる集落の割合は2.0%で前回調査に対し微減であるが、「横ばい」と予測された集落の割合は12.5%で前回調査より4.2ポイント低下、人口が減少するとみられる集落は83.7%と前回調査より3.8ポイント拡大している。

図表2-366 前回調査対象地域における今後の人口動向の見通し別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	45 (1.1%)	755 (18.9%)	3,167 (79.2%)	32 (0.8%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	335 (1.9%)	1,644 (9.3%)	15,579 (88.0%)	136 (0.8%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	11 (0.3%)	199 (6.3%)	2,947 (93.1%)	8 (0.3%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	58 (1.8%)	310 (9.5%)	2,892 (88.7%)	2 (0.1%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	40 (0.8%)	307 (5.9%)	4,733 (90.3%)	161 (3.1%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	97 (2.1%)	493 (10.6%)	3,987 (85.6%)	82 (1.8%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	543 (4.0%)	2,396 (17.7%)	10,565 (77.8%)	70 (0.5%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	141 (1.9%)	722 (9.6%)	6,624 (87.9%)	45 (0.6%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	240 (1.5%)	2,486 (15.6%)	12,461 (78.1%)	777 (4.9%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	29 (11.8%)	82 (33.3%)	135 (54.9%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	1,539 (2.0%)	9,394 (12.5%)	63,090 (83.7%)	1,313 (1.7%)	75,336 (100.0%)
参考: 前回調査	1,791 (2.4%)	12,508 (16.7%)	59,957 (79.9%)	799 (1.1%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落の今後の人口動向の見通しをみると、人口が増加するとみられる集落の割合は 1.7%で前回調査より 0.2 ポイント低下、「横ばい」と予測された集落の割合は 12.3%で前回調査より 3.8 ポイント低下しており、逆に人口が減少するとみられる集落は 84.9%と前回調査より 3.9 ポイント拡大している。
- 地域区分別でみると、前回調査と同様、山間地集落において人口が減少するとみられる集落の割合が 90.5%と最も高いが、その割合を前回調査と比較すると、都市的地域集落が 6 ポイント差と最も拡大している。

図表2-367 前回調査対象地域における地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	171 (0.9%)	1,442 (7.7%)	16,892 (90.5%)	166 (0.9%)	18,671 (100.0%)
中間地	266 (1.5%)	1,965 (10.9%)	15,529 (86.4%)	204 (1.1%)	17,964 (100.0%)
平地	458 (2.4%)	3,008 (15.7%)	15,470 (80.9%)	189 (1.0%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	155 (3.6%)	1,025 (23.5%)	3,100 (71.1%)	80 (1.8%)	4,360 (100.0%)
無回答	1 (0.2%)	25 (4.3%)	522 (90.8%)	27 (4.7%)	575 (100.0%)
合計	1,051 (1.7%)	7,465 (12.3%)	51,513 (84.9%)	666 (1.1%)	60,695 (100.0%)

図表2-368 <参考: 前回調査>地域区分別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
山間地	183 (0.9%)	1,937 (9.9%)	17,236 (88.2%)	187 (1.0%)	19,543 (100.0%)
中間地	289 (1.6%)	2,654 (14.6%)	14,985 (82.3%)	269 (1.5%)	18,197 (100.0%)
平地	481 (2.5%)	4,081 (21.3%)	14,435 (75.4%)	138 (0.7%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	232 (5.6%)	1,223 (29.3%)	2,716 (65.1%)	1 (0.0%)	4,172 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	27 (5.8%)	425 (91.6%)	10 (2.2%)	464 (100.0%)
合計	1,187 (1.9%)	9,922 (16.1%)	49,797 (81.0%)	605 (1.0%)	61,511 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落の今後の人口動向の見通しについて地方ブロック別で見ると、前回調査時と同様、沖縄県では「増加」又は「横ばい」と予測された集落の割合が最も高くなっている。
- 人口減少が見込まれている集落の割合が高いのは東北圏や首都圏、北陸圏、中部圏であり、特に東北圏は前回調査より7.9ポイントと最も拡大している。

図表2-369 前回調査対象地域における地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	35 (0.9%)	663 (17.9%)	2,983 (80.3%)	32 (0.9%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	92 (0.7%)	1,043 (7.6%)	12,621 (91.7%)	5 (0.0%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	6 (0.3%)	104 (5.4%)	1,824 (94.1%)	4 (0.2%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	21 (1.1%)	98 (5.1%)	1,786 (93.7%)	1 (0.1%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	24 (0.8%)	164 (5.6%)	2,725 (92.8%)	24 (0.8%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	69 (2.0%)	329 (9.4%)	3,070 (87.5%)	39 (1.1%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	487 (4.1%)	2,192 (18.3%)	9,227 (77.1%)	66 (0.6%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	124 (1.9%)	674 (10.1%)	5,851 (87.4%)	44 (0.7%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	164 (1.2%)	2,116 (15.1%)	11,291 (80.5%)	451 (3.2%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	29 (11.8%)	82 (33.3%)	135 (54.9%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)
合計	1,051 (1.7%)	7,465 (12.3%)	51,513 (84.9%)	666 (1.1%)	60,695 (100.0%)

図表2-370 <参考: 前回調査> 地方ブロック別・今後の人口動向の見通し別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	今後の人口動向の見通し別 集落数				計
	増加	横ばい	減少	無回答	
1 北海道	30 (0.8%)	650 (17.4%)	3,064 (81.8%)	1 (0.0%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	208 (1.5%)	1,839 (13.4%)	11,485 (83.8%)	166 (1.2%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	16 (0.9%)	161 (8.6%)	1,699 (90.6%)	0 (0.0%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	38 (2.2%)	112 (6.6%)	1,495 (87.9%)	55 (3.2%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	24 (0.7%)	280 (7.9%)	3,111 (87.6%)	136 (3.8%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	53 (1.7%)	290 (9.4%)	2,656 (86.5%)	73 (2.4%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	474 (3.8%)	2,742 (22.2%)	9,039 (73.1%)	113 (0.9%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	84 (1.2%)	1,284 (18.5%)	5,575 (80.3%)	2 (0.0%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	227 (1.6%)	2,459 (17.2%)	11,547 (80.8%)	59 (0.4%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	33 (12.5%)	105 (39.8%)	126 (47.7%)	0 (0.0%)	264 (100.0%)
合計	1,187 (1.9%)	9,922 (16.1%)	49,797 (81.0%)	605 (1.0%)	61,511 (100.0%)

③集落の無人化可能性

【全体】

- 前回調査対象地域における集落の無人化可能性をみると、「10年以内に無人化」と予測された集落は前回調査では500集落で全体の0.7%であり、今回調査では486集落(0.6%)とわずかに減少し、「いずれ無人化」と予測された集落の割合も今回調査(4.4%)と前回調査(4.1%)でほぼ変わらない。

図表2-371 前回調査対象地域における集落の無人化可能性別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
1 北海道	18 (0.5%)	203 (5.1%)	3,152 (78.8%)	626 (15.7%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	73 (0.4%)	525 (3.0%)	14,494 (81.9%)	2,602 (14.7%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	11 (0.3%)	122 (3.9%)	2,563 (81.0%)	469 (14.8%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	29 (0.9%)	107 (3.3%)	2,798 (85.8%)	328 (10.1%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	30 (0.6%)	358 (6.8%)	3,629 (69.2%)	1,224 (23.4%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	36 (0.8%)	235 (5.0%)	3,132 (67.2%)	1,256 (27.0%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	69 (0.5%)	421 (3.1%)	9,575 (70.5%)	3,509 (25.9%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	157 (2.1%)	633 (8.4%)	4,326 (57.4%)	2,416 (32.1%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	63 (0.4%)	694 (4.3%)	11,055 (69.2%)	4,152 (26.0%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	235 (95.5%)	11 (4.5%)	246 (100.0%)
合計	486 (0.6%)	3,298 (4.4%)	54,959 (73.0%)	16,593 (22.0%)	75,336 (100.0%)
参考: 前回調査	500 (0.7%)	3,112 (4.1%)	64,668 (86.2%)	6,775 (9.0%)	75,055 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落の無人化可能性をみると、「10年以内に無人化」と予測された集落は419集落(0.7%)と、前回調査より集落数は減少したが構成比はほぼ変わらない。
- 地域区分別でみると、前回調査と同様、山間地集落において「10年以内に無人化」あるいは「いずれ無人化」と予測された集落の割合が高くなっている。

図表2-372 前回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
山間地	316 (1.7%)	1,828 (9.8%)	12,714 (68.1%)	3,813 (20.4%)	18,671 (100.0%)
中間地	64 (0.4%)	626 (3.5%)	12,648 (70.4%)	4,626 (25.8%)	17,964 (100.0%)
平地	31 (0.2%)	211 (1.1%)	14,797 (77.4%)	4,086 (21.4%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	8 (0.2%)	46 (1.1%)	3,544 (81.3%)	762 (17.5%)	4,360 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	6 (1.0%)	299 (52.0%)	270 (47.0%)	575 (100.0%)
合計	419 (0.7%)	2,717 (4.5%)	44,002 (72.5%)	13,557 (22.3%)	60,695 (100.0%)

図表2-373 <参考: 前回調査>地域区分別・集落の無人化可能性別 集落数 【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
山間地	366 (1.9%)	1,889 (9.7%)	15,571 (79.7%)	1,717 (8.8%)	19,543 (100.0%)
中間地	57 (0.3%)	547 (3.0%)	15,918 (87.5%)	1,675 (9.2%)	18,197 (100.0%)
平地	22 (0.1%)	233 (1.2%)	17,313 (90.5%)	1,567 (8.2%)	19,135 (100.0%)
都市的地域	1 (0.0%)	40 (1.0%)	3,576 (85.7%)	555 (13.3%)	4,172 (100.0%)
無回答	2 (0.4%)	17 (3.7%)	414 (89.2%)	31 (6.7%)	464 (100.0%)
合計	448 (0.7%)	2,726 (4.4%)	52,792 (85.8%)	5,545 (9.0%)	61,511 (100.0%)

- 前回調査の過疎地域における集落の無人化可能性について地方ブロック別で見ると、「10年以内に無人化」と予測された集落の割合は前回調査時と同じく四国圏で最も高い。
- 一方、「いずれ無人化」と予測された集落の割合をみると、東北圏、首都圏、九州圏では前回調査より拡大している。

図表2-374 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
1 北海道	18 (0.5%)	182 (4.9%)	2,940 (79.2%)	573 (15.4%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	47 (0.3%)	438 (3.2%)	11,415 (83.0%)	1,861 (13.5%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	9 (0.5%)	97 (5.0%)	1,463 (75.5%)	369 (19.0%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	17 (0.9%)	67 (3.5%)	1,644 (86.3%)	178 (9.3%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	20 (0.7%)	195 (6.6%)	1,985 (67.6%)	737 (25.1%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	35 (1.0%)	187 (5.3%)	2,304 (65.7%)	981 (28.0%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	67 (0.6%)	371 (3.1%)	8,509 (71.1%)	3,025 (25.3%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	143 (2.1%)	515 (7.7%)	3,938 (58.8%)	2,097 (31.3%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	63 (0.4%)	665 (4.7%)	9,569 (68.2%)	3,725 (26.6%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	235 (95.5%)	11 (4.5%)	246 (100.0%)
合計	419 (0.7%)	2,717 (4.5%)	44,002 (72.5%)	13,557 (22.3%)	60,695 (100.0%)

図表2-375 <参考:前回調査>地方ブロック別・集落の無人化可能性別 集落数【過疎地域等】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	集落の無人化可能性別 集落数				計
	10年以内に 無人化	いずれ 無人化	当面存続	無回答	
1 北海道	14 (0.4%)	219 (5.8%)	3,130 (83.6%)	382 (10.2%)	3,745 (100.0%)
2 東北圏	54 (0.4%)	383 (2.8%)	12,492 (91.2%)	769 (5.6%)	13,698 (100.0%)
3 首都圏	7 (0.4%)	88 (4.7%)	1,602 (85.4%)	179 (9.5%)	1,876 (100.0%)
4 北陸圏	18 (1.1%)	65 (3.8%)	1,558 (91.6%)	59 (3.5%)	1,700 (100.0%)
5 中部圏	36 (1.0%)	265 (7.5%)	2,769 (78.0%)	481 (13.5%)	3,551 (100.0%)
6 近畿圏	28 (0.9%)	195 (6.3%)	2,692 (87.6%)	157 (5.1%)	3,072 (100.0%)
7 中国圏	60 (0.5%)	380 (3.1%)	11,159 (90.2%)	769 (6.2%)	12,368 (100.0%)
8 四国圏	162 (2.3%)	570 (8.2%)	5,183 (74.6%)	1,030 (14.8%)	6,945 (100.0%)
9 九州圏	69 (0.5%)	560 (3.9%)	11,950 (83.6%)	1,713 (12.0%)	14,292 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	1 (0.4%)	257 (97.3%)	6 (2.3%)	264 (100.0%)
合計	448 (0.7%)	2,726 (4.4%)	52,792 (85.8%)	5,545 (9.0%)	61,511 (100.0%)

④集落の無人化可能性の予測の変化

【全体】

- 前回調査対象地域にある集落において、前回調査からの5年間で集落の無人化可能性の予測がどう変化したかをみると、ほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- 前回調査時に無人化可能性が予測されていたが今回調査ではその予測が改善したという集落は 512 集落 (0.7%) みられる。一方で、前回調査よりも予測が悪化した集落も 927 集落 (1.2%) あり、前は当面存続するとみられていながら、今回調査では「10 年以内に無人化」と予測された集落は 56 集落であった。

図表2-376 前回調査対象地域における集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数 【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	無人化可能性の予測が改善			無人化可能性の予測が悪化				変化なし				計	
	10年以内 に無人化 →存続	10年以内 に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続	存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内 に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続			
1 北海道	58 (1.5%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	56 (1.4%)	43 (1.1%)	34 (0.9%)	4 (0.1%)	5 (0.1%)	3,898 (97.5%)	9 (0.2%)	168 (4.2%)	3,721 (93.0%)	3,999 (100.0%)
2 東北圏	63 (0.4%)	4 (0.0%)	7 (0.0%)	52 (0.3%)	174 (1.0%)	151 (0.9%)	6 (0.0%)	17 (0.1%)	17,457 (98.7%)	50 (0.3%)	367 (2.1%)	17,040 (96.3%)	17,694 (100.0%)
3 首都圏	13 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.4%)	43 (1.4%)	41 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	3,109 (98.2%)	9 (0.3%)	81 (2.6%)	3,019 (95.4%)	3,165 (100.0%)
4 北陸圏	22 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	19 (0.6%)	23 (0.7%)	15 (0.5%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	3,217 (98.6%)	21 (0.6%)	89 (2.7%)	3,107 (95.2%)	3,262 (100.0%)
5 中部圏	41 (0.8%)	1 (0.0%)	6 (0.1%)	34 (0.6%)	105 (2.0%)	100 (1.9%)	3 (0.1%)	2 (0.0%)	5,095 (97.2%)	25 (0.5%)	252 (4.8%)	4,818 (91.9%)	5,241 (100.0%)
6 近畿圏	27 (0.6%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	19 (0.4%)	55 (1.2%)	37 (0.8%)	3 (0.1%)	15 (0.3%)	4,577 (98.2%)	18 (0.4%)	194 (4.2%)	4,365 (93.7%)	4,659 (100.0%)
7 中国圏	97 (0.7%)	9 (0.1%)	5 (0.0%)	83 (0.6%)	150 (1.1%)	120 (0.9%)	21 (0.2%)	9 (0.1%)	13,327 (98.2%)	39 (0.3%)	296 (2.2%)	12,992 (95.7%)	13,574 (100.0%)
8 四国圏	82 (1.1%)	10 (0.1%)	19 (0.3%)	53 (0.7%)	115 (1.5%)	73 (1.0%)	5 (0.1%)	37 (0.5%)	7,335 (97.4%)	115 (1.5%)	541 (7.2%)	6,679 (88.7%)	7,532 (100.0%)
9 九州圏	109 (0.7%)	7 (0.0%)	14 (0.1%)	88 (0.6%)	219 (1.4%)	198 (1.2%)	10 (0.1%)	11 (0.1%)	15,636 (97.9%)	42 (0.3%)	482 (3.0%)	15,112 (94.7%)	15,964 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	246 (100.0%)
合計	512 (0.7%)	36 (0.0%)	59 (0.1%)	417 (0.6%)	927 (1.2%)	769 (1.0%)	56 (0.1%)	102 (0.1%)	73,897 (98.1%)	328 (0.4%)	2,470 (3.3%)	71,099 (94.4%)	75,336 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査対象地域にある集落において、前々回調査からの9年間で集落の無人化可能性の予測がどう変化したかをみると、前回調査との比較と同様に、ほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- また、前回調査時との比較に比べ、予測が改善または悪化したという集落ともに2倍程度の集落数となっている。

図表2-377 前々回調査対象地域における集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【全体・前々回調査対象地域】

全体 前々回調査 対象地域	無人化可能性の予測が改善			無人化可能性の予測が悪化			変化なし				計		
	10年以内に無人化 →存続	10年以内に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続	存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内 に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続			
1 北海道	97 (2.4%)	6 (0.2%)	5 (0.1%)	86 (2.2%)	72 (1.8%)	60 (1.5%)	5 (0.1%)	7 (0.2%)	3,813 (95.8%)	6 (0.2%)	135 (3.4%)	3,672 (92.2%)	3,982 (100.0%)
2 東北圏	157 (0.9%)	7 (0.0%)	14 (0.1%)	136 (0.8%)	335 (1.9%)	282 (1.6%)	14 (0.1%)	39 (0.2%)	16,917 (97.2%)	20 (0.1%)	225 (1.3%)	16,672 (95.8%)	17,409 (100.0%)
3 首都圏	40 (1.3%)	1 (0.0%)	5 (0.2%)	34 (1.1%)	80 (2.6%)	77 (2.5%)	1 (0.0%)	2 (0.1%)	2,938 (96.1%)	8 (0.3%)	32 (1.0%)	2,898 (94.8%)	3,058 (100.0%)
4 北陸圏	31 (1.0%)	0 (0.0%)	7 (0.2%)	24 (0.7%)	54 (1.7%)	35 (1.1%)	9 (0.3%)	10 (0.3%)	3,142 (97.4%)	10 (0.3%)	65 (2.0%)	3,067 (95.0%)	3,227 (100.0%)
5 中部圏	131 (2.6%)	11 (0.2%)	12 (0.2%)	108 (2.2%)	178 (3.6%)	162 (3.2%)	4 (0.1%)	12 (0.2%)	4,698 (93.8%)	11 (0.2%)	169 (3.4%)	4,518 (90.2%)	5,007 (100.0%)
6 近畿圏	77 (1.7%)	7 (0.2%)	7 (0.2%)	63 (1.4%)	90 (2.0%)	67 (1.5%)	0 (0.0%)	23 (0.5%)	4,365 (96.3%)	13 (0.3%)	158 (3.5%)	4,194 (92.5%)	4,532 (100.0%)
7 中国圏	224 (1.7%)	12 (0.1%)	19 (0.1%)	193 (1.4%)	230 (1.7%)	193 (1.4%)	22 (0.2%)	15 (0.1%)	12,930 (96.6%)	31 (0.2%)	203 (1.5%)	12,696 (94.9%)	13,384 (100.0%)
8 四国圏	227 (3.1%)	24 (0.3%)	42 (0.6%)	161 (2.2%)	226 (3.1%)	160 (2.2%)	10 (0.1%)	56 (0.8%)	6,767 (93.7%)	90 (1.2%)	428 (5.9%)	6,249 (86.6%)	7,220 (100.0%)
9 九州圏	184 (1.2%)	8 (0.1%)	24 (0.2%)	152 (1.0%)	477 (3.0%)	427 (2.7%)	30 (0.2%)	20 (0.1%)	15,029 (95.8%)	13 (0.1%)	236 (1.5%)	14,780 (94.2%)	15,690 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	246 (100.0%)
合計	1,168 (1.6%)	76 (0.1%)	135 (0.2%)	957 (1.3%)	1,742 (2.4%)	1,463 (2.0%)	95 (0.1%)	184 (0.2%)	70,845 (96.1%)	202 (0.3%)	1,651 (2.2%)	68,992 (93.5%)	73,755 (100.0%)

※「存続」には空欄(無回答)の集落も含まれる。

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域にある集落において、前回調査からの5年間で集落の無人化可能性の予測がどう変化したかをみると、過疎地域においてもほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- 地方ブロック別でみると、北海道では前回調査よりも無人化可能性の予測が改善した集落の割合が 1.5%と最も高い。
- 一方、前回調査時よりも今回調査の方が無人化可能性の予測が悪化した集落の割合は、首都圏(1.4%)や九州圏(1.5%)で比較的高くなっている。

図表2-378 前回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	無人化可能性の予測が改善			無人化可能性の予測が悪化			変化なし				計		
	10年以内 に無人化 →存続	10年以内 に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続	存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内 に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続			
1 北海道	57 (1.5%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	56 (1.5%)	41 (1.1%)	32 (0.9%)	4 (0.1%)	5 (0.1%)	3,615 (97.4%)	9 (0.2%)	150 (4.0%)	3,456 (93.1%)	3,713 (100.0%)
2 東北圏	44 (0.3%)	4 (0.0%)	5 (0.0%)	35 (0.3%)	141 (1.0%)	126 (0.9%)	6 (0.0%)	9 (0.1%)	13,576 (98.7%)	32 (0.2%)	307 (2.2%)	13,237 (96.2%)	13,761 (100.0%)
3 首都圏	13 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (0.7%)	27 (1.4%)	25 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1,898 (97.9%)	7 (0.4%)	72 (3.7%)	1,819 (93.9%)	1,938 (100.0%)
4 北陸圏	4 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)	9 (0.5%)	8 (0.4%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1,893 (99.3%)	16 (0.8%)	59 (3.1%)	1,818 (95.4%)	1,906 (100.0%)
5 中部圏	21 (0.7%)	1 (0.0%)	3 (0.1%)	17 (0.6%)	30 (1.0%)	27 (0.9%)	1 (0.0%)	2 (0.1%)	2,886 (98.3%)	17 (0.6%)	165 (5.6%)	2,704 (92.1%)	2,937 (100.0%)
6 近畿圏	27 (0.8%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	19 (0.5%)	44 (1.3%)	27 (0.8%)	2 (0.1%)	15 (0.4%)	3,436 (98.0%)	18 (0.5%)	156 (4.4%)	3,262 (93.0%)	3,507 (100.0%)
7 中国圏	85 (0.7%)	9 (0.1%)	5 (0.0%)	71 (0.6%)	136 (1.1%)	107 (0.9%)	21 (0.2%)	8 (0.1%)	11,751 (98.2%)	38 (0.3%)	259 (2.2%)	11,454 (95.7%)	11,972 (100.0%)
8 四国圏	54 (0.8%)	8 (0.1%)	10 (0.1%)	36 (0.5%)	88 (1.3%)	54 (0.8%)	4 (0.1%)	30 (0.4%)	6,551 (97.9%)	109 (1.6%)	451 (6.7%)	5,991 (89.5%)	6,693 (100.0%)
9 九州圏	107 (0.8%)	6 (0.0%)	14 (0.1%)	87 (0.6%)	213 (1.5%)	192 (1.4%)	10 (0.1%)	11 (0.1%)	13,702 (97.7%)	42 (0.3%)	459 (3.3%)	13,201 (94.1%)	14,022 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	246 (100.0%)
合計	412 (0.7%)	33 (0.1%)	41 (0.1%)	338 (0.6%)	729 (1.2%)	598 (1.0%)	49 (0.1%)	82 (0.1%)	59,554 (98.1%)	288 (0.5%)	2,078 (3.4%)	57,188 (94.2%)	60,695 (100.0%)

※「存続」には空欄(無回答)の集落も含まれる。

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査の過疎地域にある集落において、前々回調査からの9年間で集落の無人化可能性の予測がどう変化したかをみると、過疎地域においてもほとんどの集落は予測に変化がみられない。
- 地方ブロック別でみると、北海道(2.6%)、中部圏(2.6%)、四国圏(3.0%)では前々回調査よりも無人化可能性の予測が改善した集落の割合が比較的高い。
- 一方、前々回調査時よりも今回調査の方が無人化可能性の予測が悪化した集落の割合は、首都圏(3.4%)、中部圏(3.5%)、九州圏(3.3%)で比較的高くなっている。

図表2-379 前々回調査対象地域における地方ブロック別・集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 過疎地域	無人化可能性の予測が改善			無人化可能性の予測が悪化				変化なし				計	
	10年以内に無人化 →存続	10年以内に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続	存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続			
1 北海道	96 (2.6%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	86 (2.3%)	72 (1.9%)	60 (1.6%)	5 (0.1%)	7 (0.2%)	3,540 (95.5%)	6 (0.2%)	117 (3.2%)	3,417 (92.2%)	3,708 (100.0%)
2 東北圏	138 (1.0%)	7 (0.1%)	14 (0.1%)	117 (0.9%)	285 (2.1%)	247 (1.8%)	14 (0.1%)	24 (0.2%)	13,287 (96.9%)	9 (0.1%)	176 (1.3%)	13,102 (95.6%)	13,710 (100.0%)
3 首都圏	39 (2.0%)	1 (0.1%)	5 (0.3%)	33 (1.7%)	65 (3.4%)	63 (3.3%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	1,821 (94.6%)	7 (0.4%)	27 (1.4%)	1,787 (92.8%)	1,925 (100.0%)
4 北陸圏	18 (0.9%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	16 (0.8%)	31 (1.6%)	22 (1.2%)	4 (0.2%)	5 (0.3%)	1,851 (97.4%)	8 (0.4%)	43 (2.3%)	1,800 (94.7%)	1,900 (100.0%)
5 中部圏	75 (2.6%)	5 (0.2%)	9 (0.3%)	61 (2.1%)	102 (3.5%)	89 (3.0%)	4 (0.1%)	9 (0.3%)	2,754 (94.0%)	6 (0.2%)	97 (3.3%)	2,651 (90.4%)	2,931 (100.0%)
6 近畿圏	66 (1.9%)	6 (0.2%)	7 (0.2%)	53 (1.5%)	77 (2.2%)	54 (1.6%)	0 (0.0%)	23 (0.7%)	3,337 (95.9%)	12 (0.3%)	124 (3.6%)	3,201 (92.0%)	3,480 (100.0%)
7 中国圏	209 (1.7%)	12 (0.1%)	18 (0.2%)	179 (1.5%)	214 (1.8%)	179 (1.5%)	22 (0.2%)	13 (0.1%)	11,537 (96.5%)	31 (0.3%)	174 (1.5%)	11,332 (94.7%)	11,960 (100.0%)
8 四国圏	197 (3.0%)	18 (0.3%)	30 (0.5%)	149 (2.3%)	189 (2.9%)	130 (2.0%)	8 (0.1%)	51 (0.8%)	6,205 (94.1%)	83 (1.3%)	354 (5.4%)	5,768 (87.5%)	6,591 (100.0%)
9 九州圏	164 (1.2%)	8 (0.1%)	24 (0.2%)	132 (1.0%)	462 (3.3%)	412 (3.0%)	30 (0.2%)	20 (0.1%)	13,263 (95.5%)	13 (0.1%)	224 (1.6%)	13,026 (93.8%)	13,889 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	246 (100.0%)	246 (100.0%)
合計	1,002 (1.7%)	63 (0.1%)	113 (0.2%)	826 (1.4%)	1,497 (2.5%)	1,256 (2.1%)	88 (0.1%)	153 (0.3%)	57,841 (95.9%)	175 (0.3%)	1,336 (2.2%)	56,330 (93.4%)	60,340 (100.0%)

※「存続」には空欄(無回答)の集落も含まれる。

- 地域区分別でみると、都市的地域にある集落はほとんどが無人化可能性の予測に変化がみられなかったのに対して、山間地集落では無人化可能性の予測が改善した集落が 1.3%、悪化した集落が 2.4%と、約 4%の集落で予測に変化がみられた。

図表2-380 前回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性の予測の変化別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	無人化可能性の予測が改善				無人化可能性の予測が悪化				変化なし				計
	10年以内 に無人化 →存続	10年以内 に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続		存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内 に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続		
山間地	247 (1.3%)	29 (0.2%)	35 (0.2%)	183 (1.0%)	441 (2.4%)	356 (1.9%)	22 (0.1%)	63 (0.3%)	17,983 (96.3%)	231 (1.2%)	1,437 (7.7%)	16,315 (87.4%)	18,671 (100.0%)
中間地	67 (0.4%)	2 (0.0%)	5 (0.0%)	60 (0.3%)	183 (1.0%)	159 (0.9%)	12 (0.1%)	12 (0.1%)	17,714 (98.6%)	40 (0.2%)	462 (2.6%)	17,212 (95.8%)	17,964 (100.0%)
平地	83 (0.4%)	2 (0.0%)	1 (0.0%)	80 (0.4%)	86 (0.4%)	72 (0.4%)	8 (0.0%)	6 (0.0%)	18,956 (99.1%)	17 (0.1%)	138 (0.7%)	18,801 (98.3%)	19,125 (100.0%)
都市的地域	1 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	19 (0.4%)	11 (0.3%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	4,340 (99.5%)	0 (0.0%)	35 (0.8%)	4,305 (98.7%)	4,360 (100.0%)
無回答	14 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	561 (97.6%)	0 (0.0%)	6 (1.0%)	555 (96.5%)	575 (100.0%)
合計	412 (0.7%)	33 (0.1%)	41 (0.1%)	338 (0.6%)	729 (1.2%)	598 (1.0%)	49 (0.1%)	82 (0.1%)	59,554 (98.1%)	288 (0.5%)	2,078 (3.4%)	57,188 (94.2%)	60,695 (100.0%)

- 前々回調査との比較についても地域区分別でみると、前回調査との比較と同様、都市的地域にある集落はほとんどが無人化可能性の予測に変化がみられないものの、いずれの地域区分においても予測が改善または悪化とされる集落ともに、前回調査との比較と比べて2倍程度の割合となっている。

図表2-381 前々回調査対象地域における地域区分別・集落の無人化可能性の予測の変化別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 過疎地域	無人化可能性の予測が改善				無人化可能性の予測が悪化				変化なし				計
	10年以内 に無人化 →存続	10年以内 に無人化 →いずれ 無人化	いずれ 無人化 →存続		存続 →いずれ 無人化	存続 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →10年以 内に無人 化		10年以内 に無人化 →10年以 内に無人 化	いずれ 無人化 →いずれ 無人化	存続 →存続		
山間地	701 (3.8%)	50 (0.3%)	89 (0.5%)	562 (3.0%)	883 (4.8%)	727 (3.9%)	45 (0.2%)	111 (0.6%)	17,001 (91.5%)	158 (0.9%)	1,006 (5.4%)	15,837 (85.2%)	18,585 (100.0%)
中間地	169 (0.9%)	4 (0.0%)	14 (0.1%)	151 (0.8%)	401 (2.2%)	351 (2.0%)	20 (0.1%)	30 (0.2%)	17,295 (96.8%)	13 (0.1%)	257 (1.4%)	17,025 (95.3%)	17,865 (100.0%)
平地	106 (0.6%)	3 (0.0%)	9 (0.0%)	94 (0.5%)	172 (0.9%)	145 (0.8%)	16 (0.1%)	11 (0.1%)	18,734 (98.5%)	4 (0.0%)	55 (0.3%)	18,675 (98.2%)	19,012 (100.0%)
都市的地域	8 (0.2%)	2 (0.0%)	1 (0.0%)	5 (0.1%)	37 (0.9%)	29 (0.7%)	7 (0.2%)	1 (0.0%)	4,265 (99.0%)	0 (0.0%)	16 (0.4%)	4,249 (98.6%)	4,310 (100.0%)
無回答	18 (3.2%)	4 (0.7%)	0 (0.0%)	14 (2.5%)	4 (0.7%)	4 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	546 (96.1%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)	544 (95.8%)	568 (100.0%)
合計	1,002 (1.7%)	63 (0.1%)	113 (0.2%)	826 (1.4%)	1,497 (2.5%)	1,256 (2.1%)	88 (0.1%)	153 (0.3%)	57,841 (95.9%)	175 (0.3%)	1,336 (2.2%)	56,330 (93.4%)	60,340 (100.0%)

(5) 前回調査時に無人化が予測されていた集落の動向

①10年以内に無人化すると予測されていた集落の存続状況

【全体】

- 前回調査時に「10年以内に無人化する可能性がある」と予測されていた499集落について、今回調査までの5年間の変遷をみると、実際に無人化したのは63集落(12.6%)であり、大部分は存続している。
- 無人化していない集落のうち13集落(2.6%)は、他の集落に編入されたり、他の集落と合併するなどの集落再編が行われており、前回調査時の集落単独としては存続していない。

図表2-382 前回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	10年以内 に無人化 と予測	無人化 集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前回調査から集落再編なし			現存して いる集落 (A+B)	
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計 (A)	再編なし	名称変更	計 (B)		
1 北海道	14 (100.0%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (78.6%)	0 (0.0%)	11 (78.6%)	11 (78.6%)
2 東北圏	71 (100.0%)	8 (11.3%)	1 (1.4%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (85.9%)	0 (0.0%)	61 (85.9%)	61 (85.9%)
3 首都圏	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	9 (100.0%)
4 北陸圏	30 (100.0%)	6 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (80.0%)	0 (0.0%)	24 (80.0%)	24 (80.0%)
5 中部圏	37 (100.0%)	4 (10.8%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (83.8%)	1 (2.7%)	32 (86.5%)	32 (86.5%)
6 近畿圏	29 (100.0%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (89.7%)	0 (0.0%)	26 (89.7%)	26 (89.7%)
7 中国圏	63 (100.0%)	8 (12.7%)	1 (1.6%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (84.1%)	0 (0.0%)	53 (84.1%)	53 (84.1%)
8 四国圏	171 (100.0%)	27 (15.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	143 (83.6%)	1 (0.6%)	144 (84.2%)	144 (84.2%)
9 九州圏	75 (100.0%)	4 (5.3%)	2 (2.7%)	6 (8.0%)	0 (0.0%)	8 (10.7%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	61 (81.3%)	1 (1.3%)	62 (82.7%)	63 (84.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	499 (100.0%)	63 (12.6%)	5 (1.0%)	8 (1.6%)	0 (0.0%)	13 (2.6%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)	419 (84.0%)	3 (0.6%)	422 (84.6%)	423 (84.8%)
参考: 前回調査	558 (100.0%)	53 (9.5%)	5 (0.9%)	2 (0.4%)	0 (0.0%)	7 (1.3%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	1 (0.2%)	494 (88.5%)	3 (0.5%)	497 (89.1%)	498 (89.2%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時に「10年以内に無人化する可能性がある」と予測されていた491集落について、今回調査までの9年間の変遷をみると、今回調査で実際に無人化したのは63集落(12.8%)であり、前回調査との比較と同様に大部分は存続している。

図表2-383 前々回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【全体・前々回調査対象地域】

前々回調査対象地域	10年以内に無人化と予測	無人化集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前々回調査から集落再編なし			現存している集落(A+B)
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計(A)	再編なし	名称変更	計(B)	
1 北海道	19 (100.0%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)	14 (73.7%)	0 (0.0%)	14 (73.7%)	17 (89.5%)
2 東北圏	45 (100.0%)	3 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (91.1%)	0 (0.0%)	41 (91.1%)	41 (91.1%)
3 首都圏	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)	14 (100.0%)
4 北陸圏	26 (100.0%)	9 (34.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (65.4%)	0 (0.0%)	17 (65.4%)	17 (65.4%)
5 中部圏	40 (100.0%)	5 (12.5%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (85.0%)	0 (0.0%)	34 (85.0%)	34 (85.0%)
6 近畿圏	29 (100.0%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (93.1%)	0 (0.0%)	27 (93.1%)	27 (93.1%)
7 中国圏	76 (100.0%)	9 (11.8%)	2 (2.6%)	3 (3.9%)	0 (0.0%)	5 (6.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	62 (81.6%)	0 (0.0%)	62 (81.6%)	62 (81.6%)
8 四国圏	183 (100.0%)	27 (14.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	155 (84.7%)	1 (0.5%)	156 (85.2%)	156 (85.2%)
9 九州圏	59 (100.0%)	6 (10.2%)	6 (10.2%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	8 (13.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	44 (74.6%)	1 (1.7%)	45 (76.3%)	45 (76.3%)
10 沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	491 (100.0%)	63 (12.8%)	9 (1.8%)	6 (1.2%)	0 (0.0%)	15 (3.1%)	0 (0.0%)	3 (0.6%)	0 (0.0%)	3 (0.6%)	408 (83.1%)	2 (0.4%)	410 (83.5%)	413 (84.1%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に「10年以内に無人化する可能性がある」と予測されていた419集落のうち、今回調査までの5年間で実際に無人化したのは49集落(11.7%)であった。
- 地方ブロック別でみると、北海道では10年以内に無人化すると予測された集落の2割程度が無人化しており、四国圏では無居住化した集落数が21と最も多くなっている。

図表2-384 地方ブロック別・前回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	10年以内 に無人化 と予測	無人化 集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前回調査から集落再編なし		現存して いる集落 (A+B)	
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計 (A)	再編なし	名称変更		計 (B)
1 北海道	13 (100.0%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	10 (76.9%)	10 (76.9%)
2 東北圏	49 (100.0%)	6 (12.2%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	2 (4.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (83.7%)	0 (0.0%)	41 (83.7%)	41 (83.7%)
3 首都圏	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	7 (100.0%)
4 北陸圏	17 (100.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (94.1%)	0 (0.0%)	16 (94.1%)	16 (94.1%)
5 中部圏	26 (100.0%)	4 (15.4%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (76.9%)	1 (3.8%)	21 (80.8%)	21 (80.8%)
6 近畿圏	29 (100.0%)	3 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (89.7%)	0 (0.0%)	26 (89.7%)	26 (89.7%)
7 中国圏	61 (100.0%)	7 (11.5%)	1 (1.6%)	1 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (3.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	52 (85.2%)	0 (0.0%)	52 (85.2%)	52 (85.2%)
8 四国圏	148 (100.0%)	21 (14.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	126 (85.1%)	1 (0.7%)	127 (85.8%)	127 (85.8%)
9 九州圏	69 (100.0%)	4 (5.8%)	1 (1.4%)	2 (2.9%)	0 (0.0%)	3 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (88.4%)	1 (1.4%)	62 (89.9%)	62 (89.9%)
10 沖縄県	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	419 (100.0%)	49 (11.7%)	4 (1.0%)	4 (1.0%)	0 (0.0%)	8 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	359 (85.7%)	3 (0.7%)	362 (86.4%)	362 (86.4%)

- 前々回調査の過疎地域において、前々回調査時に「10年以内に無人化する可能性がある」と予測されていた418集落のうち、今回調査で実際に無人化したのは54集落(12.9%)であった。
- 地方ブロック別でみると、北陸圏では10年以内に無人化すると予測された集落の3割程度が今回調査で無人化しており、四国圏では今回調査で無居住化した集落数が23と最も多くなっている。

図表2-385 地方ブロック別・前々回調査時に「10年以内に無人化」と予測されていた集落の変遷【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 過疎地域	10年以内 に無人化 と予測	無人化 集落	集落再編によりなくなった集落				集落再編した集落(存続集落)				前々回調査から集落再編なし		現存して いる集落 (A+B)	
			他に編入	他と合併	分離	計	他を統合	他と合併	分離	計 (A)	再編なし	名称変更		計 (B)
1 北海道	18 (100.0%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	13 (72.2%)	0 (0.0%)	13 (72.2%)	16 (88.9%)
2 東北圏	34 (100.0%)	3 (8.8%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30 (88.2%)	0 (0.0%)	30 (88.2%)	30 (88.2%)
3 首都圏	13 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	0 (0.0%)	13 (100.0%)	13 (100.0%)
4 北陸圏	14 (100.0%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (71.4%)	0 (0.0%)	10 (71.4%)	10 (71.4%)
5 中部圏	26 (100.0%)	5 (19.2%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (76.9%)	0 (0.0%)	20 (76.9%)	20 (76.9%)
6 近畿圏	27 (100.0%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (92.6%)	0 (0.0%)	25 (92.6%)	25 (92.6%)
7 中国圏	74 (100.0%)	9 (12.2%)	1 (1.4%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	4 (5.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (82.4%)	0 (0.0%)	61 (82.4%)	61 (82.4%)
8 四国圏	154 (100.0%)	23 (14.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	131 (85.1%)	0 (0.0%)	131 (85.1%)	131 (85.1%)
9 九州圏	58 (100.0%)	6 (10.3%)	5 (8.6%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	7 (12.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	44 (75.9%)	1 (1.7%)	45 (77.6%)	45 (77.6%)
10 沖縄県	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	418 (100.0%)	54 (12.9%)	7 (1.7%)	6 (1.4%)	0 (0.0%)	13 (3.1%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	347 (83.0%)	1 (0.2%)	348 (83.3%)	351 (84.0%)

②無人化が予測されていた集落の現在までの人口の変遷

【全体】

- 前回調査対象地域における居住者がいる集落について、前回調査時の無人化可能性の予測別にこの5年間の人口増減率をみると、前回「10年以内に無人化」と予測されつつ現存している423集落のうち58.9%は前回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は48.5%と最も高い。また、この5年間で人口の増減がない集落も30.5%と3分の1近くを占めている。
- なお、前回調査で10年以内に無人化すると予測された集落の中で、20%超の人口増がみられる集落も24集落(5.7%)ある。

図表2-386 前回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	205 (48.5%)	35 (8.3%)	6 (1.4%)	3 (0.7%)	129 (30.5%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)	8 (1.9%)	24 (5.7%)	9 (2.1%)	423 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1,389 (46.5%)	677 (22.6%)	220 (7.4%)	63 (2.1%)	359 (12.0%)	22 (0.7%)	51 (1.7%)	48 (1.6%)	116 (3.9%)	44 (1.5%)	2,989 (100.0%)
当面存続	12,201 (18.9%)	24,781 (38.4%)	12,259 (19.0%)	5,913 (9.2%)	1,719 (2.7%)	2,420 (3.7%)	1,501 (2.3%)	1,190 (1.8%)	1,216 (1.9%)	1,402 (2.2%)	64,602 (100.0%)
無回答	1,313 (17.9%)	2,285 (31.2%)	1,183 (16.2%)	574 (7.8%)	173 (2.4%)	254 (3.5%)	174 (2.4%)	123 (1.7%)	126 (1.7%)	1,117 (15.3%)	7,322 (100.0%)
計	15,108 (20.1%)	27,778 (36.9%)	13,668 (18.1%)	6,553 (8.7%)	2,380 (3.2%)	2,696 (3.6%)	1,730 (2.3%)	1,369 (1.8%)	1,482 (2.0%)	2,572 (3.4%)	75,336 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査対象地域における居住者がいる集落について、前々回調査時の無人化可能性の予測別にこの9年間の人口増減率をみると、前回「10年以内に無人化」と予測されつつ現存している413集落のうち69.2%は前々回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は64.9%と最も高く、人口減少が進展している様子が見受けられる。
- また、前回調査との比較に比べ、前々回調査と比較した場合は、「いずれ無人化」や「当面存続」と予測された集落においても20%超の人口減少がみられる集落の割合が高くなっている。

図表2-387 前々回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R06/H27)別集落数【全体・前々回調査対象地域】

前々回調査 対象地域	前々回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前々回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	268 (64.9%)	16 (3.9%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	74 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (1.9%)	15 (3.6%)	30 (7.3%)	413 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1,969 (70.5%)	308 (11.0%)	81 (2.9%)	24 (0.9%)	155 (5.6%)	12 (0.4%)	25 (0.9%)	32 (1.1%)	131 (4.7%)	55 (2.0%)	2,792 (100.0%)
当面存続	29,909 (47.7%)	18,276 (29.2%)	4,965 (7.9%)	2,521 (4.0%)	718 (1.1%)	1,457 (2.3%)	962 (1.5%)	1,052 (1.7%)	1,464 (2.3%)	1,358 (2.2%)	62,682 (100.0%)
無回答	2,919 (37.1%)	1,714 (21.8%)	487 (6.2%)	227 (2.9%)	80 (1.0%)	134 (1.7%)	84 (1.1%)	112 (1.4%)	259 (3.3%)	1,852 (23.5%)	7,868 (100.0%)
計	35,065 (47.5%)	20,314 (27.5%)	5,535 (7.5%)	2,772 (3.8%)	1,027 (1.4%)	1,603 (2.2%)	1,071 (1.5%)	1,204 (1.6%)	1,869 (2.5%)	3,295 (4.5%)	73,755 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、前回調査時の無人化可能性の予測別にこの5年間の人口増減率をみると、10年以内の無人化が予測されつつ現存している362集落のうち59.4%は前回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は48.6%と最も高い。また、この5年間で人口の増減がない集落も29.3%を占めている。
- なお、前回調査時に10年以内に無人化すると予測された集落の中で、20%超の人口増がみられる集落も22集落(6.1%)ある。

図表2-388 前回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より人口減少				人口増減 なし	前回調査(R01)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	176 (48.6%)	31 (8.6%)	5 (1.4%)	3 (0.8%)	106 (29.3%)	0 (0.0%)	4 (1.1%)	8 (2.2%)	22 (6.1%)	7 (1.9%)	362 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1,154 (46.2%)	576 (23.1%)	178 (7.1%)	54 (2.2%)	302 (12.1%)	17 (0.7%)	46 (1.8%)	45 (1.8%)	102 (4.1%)	24 (1.0%)	2,498 (100.0%)
当面存続	10,775 (20.4%)	20,882 (39.5%)	9,660 (18.3%)	4,560 (8.6%)	1,375 (2.6%)	1,888 (3.6%)	1,229 (2.3%)	965 (1.8%)	1,024 (1.9%)	522 (1.0%)	52,880 (100.0%)
無回答	1,103 (22.3%)	1,807 (36.5%)	871 (17.6%)	428 (8.6%)	148 (3.0%)	177 (3.6%)	134 (2.7%)	99 (2.0%)	113 (2.3%)	75 (1.5%)	4,955 (100.0%)
計	13,208 (21.8%)	23,296 (38.4%)	10,714 (17.7%)	5,045 (8.3%)	1,931 (3.2%)	2,082 (3.4%)	1,413 (2.3%)	1,117 (1.8%)	1,261 (2.1%)	628 (1.0%)	60,695 (100.0%)

- 前々回調査の過疎地域における集落について、前々回調査時の無人化可能性の予測別にこの9年間の人口増減率をみると、10年以内の無人化が予測されつつ現存している351集落のうち71.8%は前々回調査時より人口が減少しており、特に20%超の減少がみられる集落の割合は67.2%と最も高い。
- また、前回調査との比較に比べ、前々回調査と比較した場合は、「いずれ無人化」や「当面存続」と予測された集落においても20%超の人口減少がみられる集落の割合が高くなっている。

図表2-389 前々回調査時の無人化可能性の予測別・人口増減率(R06/H27)別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 過疎地域	前々回調査(H27)より人口減少				人口増減 なし	前々回調査(H27)より人口増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	236 (67.2%)	14 (4.0%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	64 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.0%)	14 (4.0%)	14 (4.0%)	351 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1,626 (70.2%)	255 (11.0%)	65 (2.8%)	20 (0.9%)	126 (5.4%)	11 (0.5%)	24 (1.0%)	29 (1.3%)	125 (5.4%)	34 (1.5%)	2,315 (100.0%)
当面存続	26,186 (50.3%)	14,934 (28.7%)	3,876 (7.4%)	1,980 (3.8%)	622 (1.2%)	1,139 (2.2%)	749 (1.4%)	827 (1.6%)	1,178 (2.3%)	601 (1.2%)	52,092 (100.0%)
無回答	2,266 (40.6%)	1,240 (22.2%)	320 (5.7%)	150 (2.7%)	66 (1.2%)	98 (1.8%)	62 (1.1%)	91 (1.6%)	230 (4.1%)	1,059 (19.0%)	5,582 (100.0%)
計	30,314 (50.2%)	16,443 (27.3%)	4,263 (7.1%)	2,150 (3.6%)	878 (1.5%)	1,248 (2.1%)	835 (1.4%)	954 (1.6%)	1,547 (2.6%)	1,708 (2.8%)	60,340 (100.0%)

③無人化が予測されていた集落の現在までの世帯数の変遷

【全体】

- 前回調査対象地域にある各集落の5年間の世帯増減率について、前回調査時の無人化可能性の予測別でみると、人口増減率と同様、20%以上世帯数が減少している集落の割合は、10年以内の無人化が予測されていた集落において38.5%と最も高くなっている。

図表2-390 前回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【全体・前回調査対象地域】

前回調査対象地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に無人化と予測	163 (38.5%)	22 (5.2%)	3 (0.7%)	1 (0.2%)	186 (44.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (1.2%)	28 (6.6%)	15 (3.5%)	423 (100.0%)
いずれ無人化と予測	1,021 (34.2%)	517 (17.3%)	230 (7.7%)	67 (2.2%)	696 (23.3%)	41 (1.4%)	68 (2.3%)	109 (3.6%)	170 (5.7%)	70 (2.3%)	2,989 (100.0%)
当面存続	5,976 (9.3%)	10,895 (16.9%)	11,096 (17.2%)	9,599 (14.9%)	7,892 (12.2%)	6,681 (10.3%)	5,176 (8.0%)	3,609 (5.6%)	2,240 (3.5%)	1,438 (2.2%)	64,602 (100.0%)
無回答	645 (8.8%)	1,151 (15.7%)	1,068 (14.6%)	811 (11.1%)	677 (9.2%)	622 (8.5%)	482 (6.6%)	389 (5.3%)	352 (4.8%)	1,125 (15.4%)	7,322 (100.0%)
計	7,805 (10.4%)	12,585 (16.7%)	12,397 (16.5%)	10,478 (13.9%)	9,451 (12.5%)	7,344 (9.7%)	5,726 (7.6%)	4,112 (5.5%)	2,790 (3.7%)	2,648 (3.5%)	75,336 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査対象地域にある各集落の9年間の世帯増減率について、前々回調査時の無人化可能性の予測別でみると、人口増減率と同様、20%以上世帯数が減少している集落の割合は、10年以内の無人化が予測されていた集落において52.3%と最も高く、前回調査との比較と比べても割合が高くなっている。
- また、前回調査との比較に比べ、前々回調査と比較した場合は、「いずれ無人化」や「当面存続」と予測された集落においても20%超の世帯数減少がみられる集落の割合が高くなっている。

図表2-391 前々回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R06/H27)別集落数【全体・前々回調査対象地域】

前々回調査対象地域	前々回調査(H27)より世帯数減少				世帯数増減なし	前々回調査(H27)より世帯数増加				無回答ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に無人化と予測	216 (52.3%)	14 (3.4%)	2 (0.5%)	0 (0.0%)	117 (28.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.7%)	25 (6.1%)	36 (8.7%)	413 (100.0%)
いずれ無人化と予測	1,403 (50.3%)	397 (14.2%)	106 (3.8%)	31 (1.1%)	412 (14.8%)	16 (0.6%)	45 (1.6%)	84 (3.0%)	175 (6.3%)	123 (4.4%)	2,792 (100.0%)
当面存続	11,012 (17.6%)	13,106 (20.9%)	9,180 (14.6%)	6,400 (10.2%)	5,045 (8.0%)	4,572 (7.3%)	4,258 (6.8%)	3,838 (6.1%)	3,168 (5.1%)	2,103 (3.4%)	62,682 (100.0%)
無回答	1,077 (13.7%)	1,193 (15.2%)	803 (10.2%)	549 (7.0%)	564 (7.2%)	446 (5.7%)	399 (5.1%)	391 (5.0%)	437 (5.6%)	2,009 (25.5%)	7,868 (100.0%)
計	13,708 (18.6%)	14,710 (19.9%)	10,091 (13.7%)	6,980 (9.5%)	6,138 (8.3%)	5,034 (6.8%)	4,702 (6.4%)	4,316 (5.9%)	3,805 (5.2%)	4,271 (5.8%)	73,755 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落について、5年間の世帯増減率を前回調査時の無人化可能性の予測別でみると、人口増減率と同様、20%以上世帯数が減少している集落の割合は、10年以内の無人化が予測されていた集落において37.8%と最も高くなっている。

図表2-392 前回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R01/H27)別 集落数【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査の 過疎地域	前回調査(R01)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前回調査(R01)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	137 (37.8%)	20 (5.5%)	3 (0.8%)	1 (0.3%)	158 (43.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.1%)	26 (7.2%)	13 (3.6%)	362 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	846 (33.9%)	442 (17.7%)	185 (7.4%)	52 (2.1%)	598 (23.9%)	30 (1.2%)	55 (2.2%)	93 (3.7%)	148 (5.9%)	49 (2.0%)	2,498 (100.0%)
当面存続	5,213 (9.9%)	9,509 (18.0%)	9,282 (17.6%)	7,656 (14.5%)	6,786 (12.8%)	5,033 (9.5%)	4,028 (7.6%)	2,875 (5.4%)	1,806 (3.4%)	692 (1.3%)	52,880 (100.0%)
無回答	549 (11.1%)	961 (19.4%)	866 (17.5%)	560 (11.3%)	550 (11.1%)	417 (8.4%)	365 (7.4%)	290 (5.9%)	313 (6.3%)	84 (1.7%)	4,955 (100.0%)
計	6,745 (11.1%)	10,932 (18.0%)	10,336 (17.0%)	8,269 (13.6%)	8,092 (13.3%)	5,480 (9.0%)	4,448 (7.3%)	3,262 (5.4%)	2,293 (3.8%)	838 (1.4%)	60,695 (100.0%)

図表2-393 前々回調査時の無人化可能性の予測別・世帯増減率(R06/H27)別集落数【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 過疎地域	前々回調査(H27)より世帯数減少				世帯数 増減なし	前々回調査(H27)より世帯数増加				無回答 ほか	計
	20%超	10%超	5%超	5%以下		5%以下	5%超	10%超	20%超		
10年以内に 無人化と予測	189 (53.8%)	12 (3.4%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	103 (29.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.9%)	22 (6.3%)	20 (5.7%)	351 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1,161 (50.2%)	319 (13.8%)	83 (3.6%)	26 (1.1%)	351 (15.2%)	12 (0.5%)	40 (1.7%)	68 (2.9%)	159 (6.9%)	96 (4.1%)	2,315 (100.0%)
当面存続	9,657 (18.5%)	11,446 (22.0%)	7,758 (14.9%)	5,159 (9.9%)	4,396 (8.4%)	3,533 (6.8%)	3,335 (6.4%)	3,059 (5.9%)	2,516 (4.8%)	1,233 (2.4%)	52,092 (100.0%)
無回答	836 (15.0%)	926 (16.6%)	611 (10.9%)	385 (6.9%)	421 (7.5%)	286 (5.1%)	274 (4.9%)	264 (4.7%)	363 (6.5%)	1,216 (21.8%)	5,582 (100.0%)
計	11,843 (19.6%)	12,703 (21.1%)	8,454 (14.0%)	5,570 (9.2%)	5,271 (8.7%)	3,831 (6.3%)	3,649 (6.0%)	3,394 (5.6%)	3,060 (5.1%)	2,565 (4.3%)	60,340 (100.0%)

④無人化が予測されながら存続している集落の特性

【全体】

- 前回調査時に、10年以内に無人化、あるいはいずれ無人化する可能性があると言われていた集落のうち、現在も居住者がいる3,412集落について、その特性を他の集落と比較した。
- 10年以内に無人化する可能性があるが予測されながら現在も存続している集落は、10人未満・10世帯未満の小規模集落が多く、大部分が山間地集落で、地形的末端集落も4割近くにのぼる。高齢者割合が高い集落の構成比も相対的に大きく、全住民が65歳以上である集落が48.2%を占めている。

図表2-394 前回調査対象地域における前回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査対象地域		前回調査(R01調査)時における集落の無人化可能性の予測別 集落数			
		10年以内に無人化と予測(現在存続)	いずれ無人化と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	417 (98.6%)	2,811 (94.0%)	57,268 (79.6%)	60,496 (80.3%)
	基幹集落	4 (0.9%)	90 (3.0%)	7,609 (10.6%)	7,703 (10.2%)
	中心集落	0 (0.0%)	40 (1.3%)	5,668 (7.9%)	5,708 (7.6%)
地域区分	山間地	348 (82.3%)	2,020 (67.6%)	20,023 (27.8%)	22,391 (29.7%)
	中間地	49 (11.6%)	619 (20.7%)	21,422 (29.8%)	22,090 (29.3%)
	平地	26 (6.1%)	276 (9.2%)	22,686 (31.5%)	22,988 (30.5%)
	都市的地域	0 (0.0%)	39 (1.3%)	6,261 (8.7%)	6,300 (8.4%)
人口規模	～9	355 (83.9%)	1,231 (41.2%)	2,238 (3.1%)	3,824 (5.1%)
	10～24	47 (11.1%)	967 (32.4%)	7,802 (10.8%)	8,816 (11.7%)
	25～49	10 (2.4%)	390 (13.0%)	13,236 (18.4%)	13,636 (18.1%)
	50～99	1 (0.2%)	205 (6.9%)	17,099 (23.8%)	17,305 (23.0%)
	100～199	1 (0.2%)	89 (3.0%)	14,955 (20.8%)	15,045 (20.0%)
	200～499	0 (0.0%)	63 (2.1%)	10,708 (14.9%)	10,771 (14.3%)
	500～999	0 (0.0%)	4 (0.1%)	3,124 (4.3%)	3,128 (4.2%)
	1000～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1,662 (2.3%)	1,664 (2.2%)
世帯数規模	～9	382 (90.3%)	1,781 (59.6%)	6,796 (9.4%)	8,959 (11.9%)
	10～19	21 (5.0%)	656 (21.9%)	12,414 (17.3%)	13,091 (17.4%)
	20～29	5 (1.2%)	184 (6.2%)	10,144 (14.1%)	10,333 (13.7%)
	30～49	1 (0.2%)	151 (5.1%)	13,109 (18.2%)	13,261 (17.6%)
	50～99	1 (0.2%)	107 (3.6%)	14,122 (19.6%)	14,230 (18.9%)
	100～199	0 (0.0%)	40 (1.3%)	8,224 (11.4%)	8,264 (11.0%)
	200～499	0 (0.0%)	9 (0.3%)	4,479 (6.2%)	4,488 (6.0%)
	500～	0 (0.0%)	2 (0.1%)	1,514 (2.1%)	1,516 (2.0%)
65歳以上割合	100%	204 (48.2%)	480 (16.1%)	764 (1.1%)	1,448 (1.9%)
	75%以上100%未満	72 (17.0%)	664 (22.2%)	2,880 (4.0%)	3,616 (4.8%)
	50%以上75%未満	90 (21.3%)	1,213 (40.6%)	24,718 (34.4%)	26,021 (34.5%)
	25%以上50%未満	22 (5.2%)	476 (15.9%)	38,640 (53.7%)	39,138 (52.0%)
	25%未満	26 (6.1%)	99 (3.3%)	3,650 (5.1%)	3,775 (5.0%)
75歳以上	100%	120 (28.4%)	164 (5.5%)	191 (0.3%)	475 (0.6%)
	50%以上100%未満	146 (34.5%)	918 (30.7%)	3,525 (4.9%)	4,589 (6.1%)
	50%未満	148 (35.0%)	1,850 (61.9%)	66,936 (93.1%)	68,934 (91.5%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	22 (5.2%)	276 (9.2%)	24,158 (33.6%)	24,456 (32.5%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	59 (13.9%)	544 (18.2%)	16,529 (23.0%)	17,132 (22.7%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	149 (35.2%)	1,121 (37.5%)	18,243 (25.4%)	19,513 (25.9%)
	20 ^{キロ} 以上	193 (45.6%)	1,044 (34.9%)	12,201 (17.0%)	13,438 (17.8%)
地形	地形的末端である	168 (39.7%)	727 (24.3%)	3,600 (5.0%)	4,495 (6.0%)
	地形的末端でない	255 (60.3%)	2,262 (75.7%)	68,324 (95.0%)	70,841 (94.0%)
全体(割合の基数)		423 (100.0%)	2,989 (100.0%)	71,924 (100.0%)	75,336 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時に、10年以内に無人化、あるいはいずれ無人化する可能性があるとしていた集落のうち、現在も居住者がいる3,205集落について、その特性を他の集落と比較した。
- 10年以内に無人化する可能性があるとして予測されながら現在も存続している集落は、前回調査との比較と同様に、10人未満・10世帯未満の小規模集落が多く、大部分が山間地集落で、地形的末端集落も4割近くにのぼる。高齢者割合が高い集落の構成比も相対的に大きく、全住民が65歳以上である集落が48.9%を占めている。

図表2-395 前々回調査対象地域における前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【全体・前々回調査対象地域】

全体 前々回調査対象地域		前々回調査(H27調査)時における集落の無人化可能性の予測別 集落数			
		10年以内に無人化と予測(現在存続)	いずれ無人化と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	400 (96.9%)	2,653 (95.0%)	56,271 (79.8%)	59,324 (80.4%)
	基幹集落	5 (1.2%)	62 (2.2%)	7,411 (10.5%)	7,478 (10.1%)
	中心集落	1 (0.2%)	36 (1.3%)	5,514 (7.8%)	5,551 (7.5%)
地域区分	山間地	347 (84.0%)	2,018 (72.3%)	19,685 (27.9%)	22,050 (29.9%)
	中間地	35 (8.5%)	521 (18.7%)	21,065 (29.9%)	21,621 (29.3%)
	平地	24 (5.8%)	214 (7.7%)	22,244 (31.5%)	22,482 (30.5%)
	都市的地域	3 (0.7%)	23 (0.8%)	6,028 (8.5%)	6,054 (8.2%)
人口規模	～9	347 (84.0%)	1,246 (44.6%)	2,163 (3.1%)	3,756 (5.1%)
	10～24	25 (6.1%)	898 (32.2%)	7,738 (11.0%)	8,661 (11.7%)
	25～49	14 (3.4%)	316 (11.3%)	13,023 (18.5%)	13,353 (18.1%)
	50～99	5 (1.2%)	163 (5.8%)	16,760 (23.8%)	16,928 (23.0%)
	100～199	3 (0.7%)	69 (2.5%)	14,667 (20.8%)	14,739 (20.0%)
	200～499	1 (0.2%)	51 (1.8%)	10,486 (14.9%)	10,538 (14.3%)
	500～999	0 (0.0%)	13 (0.5%)	3,034 (4.3%)	3,047 (4.1%)
	1000～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1,589 (2.3%)	1,590 (2.2%)
世帯数規模	～9	363 (87.9%)	1,811 (64.9%)	6,630 (9.4%)	8,804 (11.9%)
	10～19	16 (3.9%)	540 (19.3%)	12,291 (17.4%)	12,847 (17.4%)
	20～29	4 (1.0%)	144 (5.2%)	9,952 (14.1%)	10,100 (13.7%)
	30～49	2 (0.5%)	118 (4.2%)	12,862 (18.2%)	12,982 (17.6%)
	50～99	6 (1.5%)	76 (2.7%)	13,855 (19.6%)	13,937 (18.9%)
	100～199	1 (0.2%)	42 (1.5%)	8,034 (11.4%)	8,077 (11.0%)
	200～499	0 (0.0%)	16 (0.6%)	4,359 (6.2%)	4,375 (5.9%)
	500～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1,445 (2.0%)	1,446 (2.0%)
65歳以上割合	100%	202 (48.9%)	491 (17.6%)	729 (1.0%)	1,422 (1.9%)
	75%以上100%未満	43 (10.4%)	631 (22.6%)	2,883 (4.1%)	3,557 (4.8%)
	50%以上75%未満	89 (21.5%)	1,054 (37.8%)	24,452 (34.7%)	25,595 (34.7%)
	25%以上50%未満	25 (6.1%)	460 (16.5%)	37,769 (53.5%)	38,254 (51.9%)
	25%未満	34 (8.2%)	107 (3.8%)	3,455 (4.9%)	3,596 (4.9%)
75歳以上	100%	113 (27.4%)	170 (6.1%)	181 (0.3%)	464 (0.6%)
	50%以上100%未満	110 (26.6%)	894 (32.0%)	3,503 (5.0%)	4,507 (6.1%)
	50%未満	170 (41.2%)	1,679 (60.1%)	65,604 (93.0%)	67,453 (91.5%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	18 (4.4%)	238 (8.5%)	23,574 (33.4%)	23,830 (32.3%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	59 (14.3%)	521 (18.7%)	16,262 (23.1%)	16,842 (22.8%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	152 (36.8%)	1,036 (37.1%)	17,933 (25.4%)	19,121 (25.9%)
	20 ^{キロ} 以上	183 (44.3%)	994 (35.6%)	11,990 (17.0%)	13,167 (17.9%)
地形	地形的末端である	159 (38.5%)	767 (27.5%)	3,486 (4.9%)	4,412 (6.0%)
	地形的末端でない	254 (61.5%)	2,025 (72.5%)	67,064 (95.1%)	69,343 (94.0%)
全体(割合の基数)		413 (100.0%)	2,792 (100.0%)	70,550 (100.0%)	73,755 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域において、前回調査時に、10年以内に無人化する可能性があるとしていた集落のうち、現在も居住者がいる362集落の特性をその他の集落と比較した。
- 前回調査で10年以内に無人化する可能性があるとして予測されながら現在も存続している集落の8割以上は10人未満、9割以上は10世帯未満の小規模集落で、山間地にある集落であり、地形的末端集落も4割近くにのぼる。また高齢者割合が100%（集落住民全員が65歳以上）である集落が半数近くを占めている。

図表2-396 前回調査対象地域における前回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域		前回調査(R01調査)時における集落の無人化可能性の予測別 集落数			
		10年以内に無人化と予測(現在存続)	いずれ無人化と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	357 (98.6%)	2,366 (94.7%)	46,780 (80.9%)	49,503 (81.6%)
	基幹集落	3 (0.8%)	71 (2.8%)	5,981 (10.3%)	6,055 (10.0%)
	中心集落	0 (0.0%)	30 (1.2%)	4,563 (7.9%)	4,593 (7.6%)
地域区分	山間地	295 (81.5%)	1,683 (67.4%)	16,693 (28.9%)	18,671 (30.8%)
	中間地	47 (13.0%)	534 (21.4%)	17,383 (30.1%)	17,964 (29.6%)
	平地	20 (5.5%)	224 (9.0%)	18,881 (32.6%)	19,125 (31.5%)
	都市的地域	0 (0.0%)	37 (1.5%)	4,323 (7.5%)	4,360 (7.2%)
人口規模	～9	303 (83.7%)	1,041 (41.7%)	1,968 (3.4%)	3,312 (5.5%)
	10～24	41 (11.3%)	825 (33.0%)	6,933 (12.0%)	7,799 (12.8%)
	25～49	9 (2.5%)	329 (13.2%)	11,619 (20.1%)	11,957 (19.7%)
	50～99	1 (0.3%)	171 (6.8%)	14,499 (25.1%)	14,671 (24.2%)
	100～199	1 (0.3%)	69 (2.8%)	12,034 (20.8%)	12,104 (19.9%)
	200～499	0 (0.0%)	38 (1.5%)	7,759 (13.4%)	7,797 (12.8%)
	500～999	0 (0.0%)	3 (0.1%)	1,914 (3.3%)	1,917 (3.2%)
1000～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	751 (1.3%)	751 (1.2%)	
世帯数規模	～9	326 (90.1%)	1,514 (60.6%)	6,020 (10.4%)	7,860 (12.9%)
	10～19	19 (5.2%)	559 (22.4%)	10,847 (18.8%)	11,425 (18.8%)
	20～29	4 (1.1%)	150 (6.0%)	8,664 (15.0%)	8,818 (14.5%)
	30～49	1 (0.3%)	126 (5.0%)	10,936 (18.9%)	11,063 (18.2%)
	50～99	1 (0.3%)	74 (3.0%)	11,274 (19.5%)	11,349 (18.7%)
	100～199	0 (0.0%)	30 (1.2%)	6,012 (10.4%)	6,042 (10.0%)
	200～499	0 (0.0%)	6 (0.2%)	2,863 (5.0%)	2,869 (4.7%)
500～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	715 (1.2%)	715 (1.2%)	
65歳以上割合	100%	180 (49.7%)	411 (16.5%)	677 (1.2%)	1,268 (2.1%)
	75%以上100%未満	60 (16.6%)	556 (22.3%)	2,571 (4.4%)	3,187 (5.3%)
	50%以上75%未満	78 (21.5%)	1,051 (42.1%)	21,525 (37.2%)	22,654 (37.3%)
	25%以上50%未満	21 (5.8%)	388 (15.5%)	30,187 (52.2%)	30,596 (50.4%)
	25%未満	16 (4.4%)	70 (2.8%)	2,423 (4.2%)	2,509 (4.1%)
75歳以上	100%	104 (28.7%)	133 (5.3%)	163 (0.3%)	400 (0.7%)
	50%以上100%未満	125 (34.5%)	770 (30.8%)	3,104 (5.4%)	3,999 (6.6%)
	50%未満	126 (34.8%)	1,573 (63.0%)	54,116 (93.6%)	55,815 (92.0%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	20 (5.5%)	250 (10.0%)	19,123 (33.1%)	19,393 (32.0%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	56 (15.5%)	470 (18.8%)	13,325 (23.0%)	13,851 (22.8%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	125 (34.5%)	954 (38.2%)	14,830 (25.6%)	15,909 (26.2%)
	20 ^{キロ} 以上	161 (44.5%)	824 (33.0%)	10,194 (17.6%)	11,179 (18.4%)
地形	地形的末端である	142 (39.2%)	573 (22.9%)	2,851 (4.9%)	3,566 (5.9%)
	地形的末端でない	220 (60.8%)	1,925 (77.1%)	54,984 (95.1%)	57,129 (94.1%)
全体(割合の基数)		362 (100.0%)	2,498 (100.0%)	57,835 (100.0%)	60,695 (100.0%)

- 調査においては 10 年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査の過疎地域において、前々回調査時に、10 年以内に無人化する可能性があると言われていた集落のうち、現在も居住者がいる 351 集落の特性をその他の集落と比較した。
- 前々回調査で 10 年以内に無人化する可能性があると言われながら現在も存続している集落の9割近くは 10 人未満、9割以上は 10 世帯未満の小規模集落で、山間地にある集落であり、地形的末端集落も4割近くにのぼる。また高齢者割合が 100% (集落住民全員が 65 歳以上) である集落が半数以上を占めている。

図表2-397 前々回調査対象地域における前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた集落特性【前々回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査対象地域		前々回調査(H27調査)時における集落の無人化可能性の予測別 集落数			
		10年以内に無人化と予測(現在存続)	いずれ無人化と予測(現在存続)	その他の集落	計
集落類型	基礎集落	342 (97.4%)	2,195 (94.8%)	46,664 (80.9%)	49,201 (81.5%)
	基幹集落	2 (0.6%)	54 (2.3%)	5,973 (10.4%)	6,029 (10.0%)
	中心集落	0 (0.0%)	28 (1.2%)	4,545 (7.9%)	4,573 (7.6%)
地域区分	山間地	297 (84.6%)	1,679 (72.5%)	16,609 (28.8%)	18,585 (30.8%)
	中間地	31 (8.8%)	438 (18.9%)	17,396 (30.2%)	17,865 (29.6%)
	平地	16 (4.6%)	160 (6.9%)	18,836 (32.7%)	19,012 (31.5%)
	都市的地域	3 (0.9%)	22 (1.0%)	4,285 (7.4%)	4,310 (7.1%)
人口規模	～9	306 (87.2%)	1,054 (45.5%)	1,936 (3.4%)	3,296 (5.5%)
	10～24	21 (6.0%)	765 (33.0%)	6,964 (12.1%)	7,750 (12.8%)
	25～49	11 (3.1%)	245 (10.6%)	11,595 (20.1%)	11,851 (19.6%)
	50～99	4 (1.1%)	121 (5.2%)	14,442 (25.0%)	14,567 (24.1%)
	100～199	0 (0.0%)	53 (2.3%)	12,004 (20.8%)	12,057 (20.0%)
	200～499	0 (0.0%)	41 (1.8%)	7,729 (13.4%)	7,770 (12.9%)
	500～999	0 (0.0%)	12 (0.5%)	1,902 (3.3%)	1,914 (3.2%)
1000～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	747 (1.3%)	748 (1.2%)	
世帯数規模	～9	320 (91.2%)	1,539 (66.5%)	5,958 (10.3%)	7,817 (13.0%)
	10～19	12 (3.4%)	443 (19.1%)	10,884 (18.9%)	11,339 (18.8%)
	20～29	3 (0.9%)	111 (4.8%)	8,630 (15.0%)	8,744 (14.5%)
	30～49	2 (0.6%)	85 (3.7%)	10,909 (18.9%)	10,996 (18.2%)
	50～99	2 (0.6%)	58 (2.5%)	11,240 (19.5%)	11,300 (18.7%)
	100～199	0 (0.0%)	33 (1.4%)	5,984 (10.4%)	6,017 (10.0%)
	200～499	0 (0.0%)	14 (0.6%)	2,849 (4.9%)	2,863 (4.7%)
500～	0 (0.0%)	1 (0.0%)	712 (1.2%)	713 (1.2%)	
65歳以上割合	100%	187 (53.3%)	421 (18.2%)	657 (1.1%)	1,265 (2.1%)
	75%以上100%未満	38 (10.8%)	515 (22.2%)	2,608 (4.5%)	3,161 (5.2%)
	50%以上75%未満	75 (21.4%)	891 (38.5%)	21,545 (37.4%)	22,511 (37.3%)
	25%以上50%未満	21 (6.0%)	374 (16.2%)	30,038 (52.1%)	30,433 (50.4%)
	25%未満	21 (6.0%)	85 (3.7%)	2,385 (4.1%)	2,491 (4.1%)
75歳以上	100%	102 (29.1%)	138 (6.0%)	159 (0.3%)	399 (0.7%)
	50%以上100%未満	100 (28.5%)	739 (31.9%)	3,131 (5.4%)	3,970 (6.6%)
	50%未満	140 (39.9%)	1,409 (60.9%)	53,943 (93.5%)	55,492 (92.0%)
本庁までの距離	5 ^{キロ} 未満	18 (5.1%)	226 (9.8%)	18,954 (32.9%)	19,198 (31.8%)
	5 ^{キロ} 以上10 ^{キロ} 未満	55 (15.7%)	445 (19.2%)	13,310 (23.1%)	13,810 (22.9%)
	10 ^{キロ} 以上20 ^{キロ} 未満	125 (35.6%)	857 (37.0%)	14,874 (25.8%)	15,856 (26.3%)
	20 ^{キロ} 以上	152 (43.3%)	785 (33.9%)	10,178 (17.6%)	11,115 (18.4%)
地形	地形的末端である	133 (37.9%)	600 (25.9%)	2,812 (4.9%)	3,545 (5.9%)
	地形的末端でない	218 (62.1%)	1,715 (74.1%)	54,862 (95.1%)	56,795 (94.1%)
全体(割合の基数)		351 (100.0%)	2,315 (100.0%)	57,674 (100.0%)	60,340 (100.0%)

(6) 前回調査時にサポート人材が活動していた集落のその後の動向

①サポート人材の活動集落の変化

【全体】

- 前回調査時ににおいていずれかのサポート人材が活動していた集落のうち 67.3%は今回調査時においてもサポート人材の活動がみられる。一方、前回調査時にサポート人材が活動していなかった集落のうち約2割には今回調査時に何らかのサポート人材が活動しており、最も多いのは集落支援員(16.1%)である。
- サポート人材の種類別でみると、地域おこし協力隊等については、前回調査時に活動がみられた集落の約6割で今回調査時においても活動がみられ、その他の人材も含めると、前回調査時に地域おこし協力隊等が活動していた集落の約7割には今回調査時においても何らかの人材が活動している。

図表2-398 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数 【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域		サポート人材が活動している			サポート人 材は活動し ていない	総集落数	
		集落支援員	地域おこし 協力隊等	その他			
前回 調査時	サポート人材 あり	21,539 (67.3%)	15,099 (47.2%)	12,071 (37.7%)	906 (2.8%)	3,247 (10.1%)	32,003 (100.0%)
	集落 支援員	13,882 (62.9%)	13,080 (59.2%)	5,866 (26.6%)	298 (1.3%)	782 (3.5%)	22,079 (100.0%)
	地域おこし 協力隊等	12,640 (74.3%)	6,685 (39.3%)	10,519 (61.8%)	506 (3.0%)	2,383 (14.0%)	17,019 (100.0%)
	その他	1,274 (93.7%)	806 (59.3%)	464 (34.1%)	729 (53.6%)	131 (9.6%)	1,359 (100.0%)
	サポート人材 なし	10,464 (24.1%)	6,980 (16.1%)	4,948 (11.4%)	453 (1.0%)	40,086 (92.5%)	43,333 (100.0%)
合計		32,003 (42.5%)	22,079 (29.3%)	17,019 (22.6%)	1,359 (1.8%)	43,333 (57.5%)	75,336 (100.0%)

※前回調査での回答漏れなど、前回調査対象地域において前回調査で回答のなかった集落を除く。

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域では、前回調査時ににおいていずれかのサポート人材が活動していた集落のうち 67.9%は今回調査時においてもサポート人材の活動がみられる。また、前回調査時にサポート人材が活動していなかった集落の 26.1%にも今回調査時に何らかのサポート人材が活動しており、最も多いのは集落支援員(18.5%)である。
- サポート人材の種類別でみると、地域おこし協力隊等については、前回調査時に活動がみられた集落の約7割で今回調査時においても活動がみられ、その他の人材も含めると、前回調査時に地域おこし協力隊等が活動していた集落の 77.2%には今回調査時においても何らかの人材が活動している。

図表2-399 前回調査時×今回調査時のサポート人材の活動状況別 集落数 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 過疎地域		サポート人材が活動している			サポート人 材は活動し ていない	総集落数	
		集落支援員	地域おこし 協力隊等	その他			
前回 調査時	サポート人材 あり	18,501 (67.9%)	12,875 (47.3%)	10,715 (39.3%)	875 (3.2%)	2,668 (9.8%)	27,241 (100.0%)
	集落 支援員	11,865 (62.2%)	11,068 (58.1%)	5,335 (28.0%)	294 (1.5%)	739 (3.9%)	19,066 (100.0%)
	地域おこし 協力隊等	11,210 (77.2%)	6,051 (41.7%)	9,464 (65.2%)	488 (3.4%)	1,887 (13.0%)	14,516 (100.0%)
	その他	1,250 (95.1%)	798 (60.7%)	454 (34.5%)	712 (54.1%)	91 (6.9%)	1,315 (100.0%)
	サポート人材 なし	8,740 (26.1%)	6,191 (18.5%)	3,801 (11.4%)	440 (1.3%)	30,786 (92.0%)	33,454 (100.0%)
合計		27,241 (44.9%)	19,066 (31.4%)	14,516 (23.9%)	1,315 (2.2%)	33,454 (55.1%)	60,695 (100.0%)

②前回調査時のサポート人材の活動状況と地域運営組織の設立状況の関係

【全体】

- 前回調査時にサポート人材が活動していた集落の 35.9%には地域運営組織が設立されている。

図表2-400 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数 【全体・前回調査対象地域】

全体 前回調査 対象地域		地域運営組織の有無別		集落数 計
		地域運営組織が ある	地域運営組織は ない	
前回 調査 時	サポート人材 あり	8,899 (35.9%)	15,887 (64.1%)	24,786 (100.0%)
	集落 支援員	5,676 (38.7%)	8,988 (61.3%)	14,664 (100.0%)
	地域おこし 協力隊等	4,151 (27.6%)	10,872 (72.4%)	15,023 (100.0%)
	その他	629 (44.8%)	776 (55.2%)	1,405 (100.0%)
	サポート人材 なし	11,985 (23.7%)	38,565 (76.3%)	50,550 (100.0%)
合計		20,884 (27.7%)	54,452 (72.3%)	75,336 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 前回調査の過疎地域における集落のうち、前回調査時にサポート人材が活動していた集落の 34.3%には地域運営組織が設立されている。

図表2-401 前回調査時のサポート人材の活動状況別・地域運営組織の有無別 集落数 【前回調査の過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 過疎地域		地域運営組織の有無別		集落数 計
		地域運営組織が ある	地域運営組織は ない	
前回 調査 時	サポート人材 あり	7,251 (34.3%)	13,918 (65.7%)	21,169 (100.0%)
	集落 支援員	4,536 (36.0%)	8,068 (64.0%)	12,604 (100.0%)
	地域おこし 協力隊等	3,547 (27.1%)	9,550 (72.9%)	13,097 (100.0%)
	その他	610 (45.5%)	731 (54.5%)	1,341 (100.0%)
	サポート人材 なし	9,019 (22.8%)	30,507 (77.2%)	39,526 (100.0%)
合計		16,270 (26.8%)	44,425 (73.2%)	60,695 (100.0%)

2-5. その他

(1)平成 31 年以降に無人化した集落数

【全体】

■ 条件不利地域全体では、平成 31 年以降無人化した集落は 141 市町村において 296 集落みられた。

図表2-402 集落が無人化した市町村数及び過疎区分別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 集落が無人化した市町村数				計	現市町村の過疎区分別 無人化集落数				計
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎		過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	
1 北海道	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	15 (68.2%)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	2 (9.1%)	22 (100.0%)	65 (69.9%)	5 (5.4%)	21 (22.6%)	2 (2.2%)	93 (100.0%)
3 首都圏	3 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
4 北陸圏	6 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (57.1%)	14 (100.0%)	12 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (53.8%)	26 (100.0%)
5 中部圏	7 (63.6%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	11 (100.0%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	2 (15.4%)	13 (100.0%)
6 近畿圏	9 (81.8%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
7 中国圏	16 (64.0%)	2 (8.0%)	3 (12.0%)	4 (16.0%)	25 (100.0%)	29 (60.4%)	8 (16.7%)	6 (12.5%)	5 (10.4%)	48 (100.0%)
8 四国圏	17 (77.3%)	0 (0.0%)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	22 (100.0%)	37 (80.4%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	8 (17.4%)	46 (100.0%)
9 九州圏	13 (65.0%)	0 (0.0%)	5 (25.0%)	2 (10.0%)	20 (100.0%)	21 (53.8%)	0 (0.0%)	13 (33.3%)	5 (12.8%)	39 (100.0%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
合計	96 (68.1%)	4 (2.8%)	20 (14.2%)	21 (14.9%)	141 (100.0%)	195 (65.9%)	15 (5.1%)	50 (16.9%)	36 (12.2%)	296 (100.0%)

図表2-403 地域指定別・過疎区分別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 無人化集落数				計
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	
過疎地域	195 (78.0%)	15 (6.0%)	40 (16.0%)	0 (0.0%)	250 (100.0%)
振興山村	128 (71.5%)	6 (3.4%)	19 (10.6%)	26 (14.5%)	179 (100.0%)
離島	8 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
半島	22 (68.8%)	2 (6.3%)	2 (6.3%)	6 (18.8%)	32 (100.0%)
特別豪雪地帯	24 (51.1%)	3 (6.4%)	9 (19.1%)	11 (23.4%)	47 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 現在の過疎地域において平成 31 年以降無人化した集落は、116 市町村において 250 集落みられる。
- 地方ブロック別でみると、無人化集落数は東北圏、中国圏、四国圏、九州圏に比較的多く分布しているほか、北海道、北陸圏、中部圏、近畿圏、でも二桁以上の無人化集落がみられている。

図表2-404 地方ブロック別・集落が無人化した市町村数及び過疎区分別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	現市町村の過疎区分別 集落が無人化した市町村数					現市町村の過疎区分別 無人化集落数				
	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計	過疎	みなし過疎	一部過疎	非過疎	計
1 北海道	9 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	15 (75.0%)	1 (5.0%)	4 (20.0%)	0 (0.0%)	20 (100.0%)	65 (74.7%)	5 (5.7%)	17 (19.5%)	0 (0.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	3 (60.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	12 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
5 中部圏	7 (77.8%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	9 (100.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	9 (90.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (100.0%)
7 中国圏	16 (76.2%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	21 (100.0%)	29 (67.4%)	8 (18.6%)	6 (14.0%)	0 (0.0%)	43 (100.0%)
8 四国圏	17 (94.4%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	18 (100.0%)	37 (97.4%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	38 (100.0%)
9 九州圏	13 (76.5%)	0 (0.0%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	17 (100.0%)	21 (65.6%)	0 (0.0%)	11 (34.4%)	0 (0.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
合計	96 (82.8%)	4 (3.4%)	16 (13.8%)	0 (0.0%)	116 (100.0%)	195 (78.0%)	15 (6.0%)	40 (16.0%)	0 (0.0%)	250 (100.0%)

- 過疎地域において無人化した 250 集落について、前回調査時における無人化可能性の予測別に主要特性をみると、無人化が予測されていた無人化集落のほぼ全てが基礎集落であり、基幹集落や中心集落の一部にも無人化集落が発生している。また、前回調査時点で人口や世帯数規模が極めて小さな集落を中心に無人化している割合が高くなっている。

図表2-405 前回調査時の無人化可能性の予測別にみた無人化集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査対象地域		前回調査(R01調査)時における集落の無人化可能性の予測別 集落数				
		10年以内に無人化と予測	いずれ無人化と予測	存続と予測	無回答	計
集落類型	基礎集落	48 (96.0%)	54 (98.2%)	74 (68.5%)	19 (51.4%)	195 (78.0%)
	基幹集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	27 (25.0%)	0 (0.0%)	27 (10.8%)
	中心集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.6%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)
地域区分	山間地	39 (78.0%)	45 (81.8%)	28 (25.9%)	7 (18.9%)	119 (47.6%)
	中間地	8 (16.0%)	6 (10.9%)	23 (21.3%)	8 (21.6%)	45 (18.0%)
	平地	2 (4.0%)	2 (3.6%)	51 (47.2%)	3 (8.1%)	58 (23.2%)
	都市的地域	0 (0.0%)	1 (1.8%)	3 (2.8%)	1 (2.7%)	5 (2.0%)
の 前 回 調 査 時 の 人 口 規 模	～9	47 (94.0%)	52 (94.5%)	48 (44.4%)	16 (43.2%)	163 (65.2%)
	10～49	2 (4.0%)	3 (5.5%)	25 (23.1%)	5 (13.5%)	35 (14.0%)
	50～99	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.6%)	7 (18.9%)	13 (5.2%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (22.2%)	4 (10.8%)	28 (11.2%)
世 帯 数 規 模 の 前 回 調 査 時 の	～9	47 (94.0%)	54 (98.2%)	54 (50.0%)	19 (51.4%)	174 (69.6%)
	10～29	2 (4.0%)	1 (1.8%)	16 (14.8%)	6 (16.2%)	25 (10.0%)
	30～99	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (17.6%)	6 (16.2%)	25 (10.0%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (12.0%)	1 (2.7%)	14 (5.6%)
本 庁 ま で の 距 離	5 ^{世帯} 未満	3 (6.0%)	3 (5.5%)	42 (38.9%)	20 (54.1%)	68 (27.2%)
	5 ^{世帯} 以上10 ^{世帯} 未満	8 (16.0%)	7 (12.7%)	24 (22.2%)	3 (8.1%)	42 (16.8%)
	10 ^{世帯} 以上20 ^{世帯} 未満	16 (32.0%)	26 (47.3%)	23 (21.3%)	9 (24.3%)	74 (29.6%)
	20 ^{世帯} 以上	21 (42.0%)	19 (34.5%)	18 (16.7%)	5 (13.5%)	63 (25.2%)
地 形	地形的末端である	20 (40.0%)	25 (45.5%)	20 (18.5%)	3 (8.1%)	68 (27.2%)
	地形的末端でない	30 (60.0%)	30 (54.5%)	88 (81.5%)	34 (91.9%)	182 (72.8%)
機 能 維 持 状 況	良好	2 (4.0%)	2 (3.6%)	76 (70.4%)	3 (8.1%)	83 (33.2%)
	機能低下	5 (10.0%)	14 (25.5%)	18 (16.7%)	3 (8.1%)	40 (16.0%)
	機能維持困難	42 (84.0%)	39 (70.9%)	12 (11.1%)	10 (27.0%)	103 (41.2%)
全体(割合の基数)		50 (100.0%)	55 (100.0%)	108 (100.0%)	37 (100.0%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、過疎地域において無人化した245集落について、前々回調査時における無人化可能性の予測別に主要特性をみると、無人化が予測されていた無人化集落のほぼ全てが基礎集落であり、基幹集落や中心集落の一部にも無人化集落が発生している。また、前々回調査時点で人口や世帯数規模が極めて小さな集落を中心に無人化している割合が高くなっている。

図表2-406 前々回調査時の無人化可能性の予測別にみた無人化集落の主要特性【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査対象地域		前々回調査(H27調査)時における集落の無人化可能性の予測別				集落数 計
		10年以内に無人化と予測	いずれ無人化と予測	存続と予測	無回答	
集落類型	基礎集落	53 (98.1%)	50 (100.0%)	71 (87.7%)	10 (16.7%)	184 (75.1%)
	基幹集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (8.6%)	0 (0.0%)	7 (2.9%)
	中心集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)
地域区分	山間地	47 (87.0%)	37 (74.0%)	27 (33.3%)	8 (13.3%)	119 (48.6%)
	中間地	5 (9.3%)	7 (14.0%)	17 (21.0%)	15 (25.0%)	44 (18.0%)
	平地	1 (1.9%)	2 (4.0%)	21 (25.9%)	34 (56.7%)	58 (23.7%)
	都市的地域	0 (0.0%)	1 (2.0%)	4 (4.9%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)
の 前 人 口 調 査 時 の 規 模	～9	53 (98.1%)	44 (88.0%)	39 (48.1%)	6 (10.0%)	142 (58.0%)
	10～49	1 (1.9%)	4 (8.0%)	21 (25.9%)	1 (1.7%)	27 (11.0%)
	50～99	0 (0.0%)	1 (2.0%)	12 (14.8%)	2 (3.3%)	15 (6.1%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (6.2%)	1 (1.7%)	6 (2.4%)
世 帯 数 規 模 の 前 回 調 査 時 の 規 模	～9	54 (100.0%)	46 (92.0%)	45 (55.6%)	6 (10.0%)	151 (61.6%)
	10～29	0 (0.0%)	3 (6.0%)	18 (22.2%)	1 (1.7%)	22 (9.0%)
	30～99	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (11.1%)	2 (3.3%)	11 (4.5%)
	100～	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	1 (1.7%)	3 (1.2%)
本 庁 ま で の 距 離	5 [㊦] 未満	4 (7.4%)	4 (8.0%)	23 (28.4%)	33 (55.0%)	64 (26.1%)
	5 [㊦] 以上10 [㊦] 未満	8 (14.8%)	7 (14.0%)	13 (16.0%)	14 (23.3%)	42 (17.1%)
	10 [㊦] 以上20 [㊦] 未満	21 (38.9%)	17 (34.0%)	26 (32.1%)	10 (16.7%)	74 (30.2%)
	20 [㊦] 以上	19 (35.2%)	22 (44.0%)	18 (22.2%)	3 (5.0%)	62 (25.3%)
地 形	地形的末端である	26 (48.1%)	21 (42.0%)	14 (17.3%)	7 (11.7%)	68 (27.8%)
	地形的末端でない	28 (51.9%)	29 (58.0%)	67 (82.7%)	53 (88.3%)	177 (72.2%)
機 能 維 持 の 状 況	良好	0 (0.0%)	3 (6.0%)	30 (37.0%)	50 (83.3%)	83 (33.9%)
	機能低下	5 (9.3%)	11 (22.0%)	21 (25.9%)	3 (5.0%)	40 (16.3%)
	機能維持困難	47 (87.0%)	33 (66.0%)	19 (23.5%)	3 (5.0%)	102 (41.6%)
全体(割合の基数)		54 (100.0%)	50 (100.0%)	81 (100.0%)	60 (100.0%)	245 (100.0%)

(2) 集落の無人化理由

【全体】

- 無人化した集落について、無人化理由をみると、全体で最も多いのは「自然に無人化」であり、48.6%を占めている。

図表2-407 無人化理由別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	16 (17.2%)	51 (54.8%)	24 (25.8%)	93 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	3 (37.5%)	8 (100.0%)
4 北陸圏	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (80.8%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	26 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	13 (100.0%)
6 近畿圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	12 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (70.8%)	3 (6.3%)	11 (22.9%)	48 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	39 (84.8%)	5 (10.9%)	2 (4.3%)	46 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	15 (38.5%)	13 (33.3%)	9 (23.1%)	39 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	3 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)	144 (48.6%)	80 (27.0%)	65 (22.0%)	296 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域において無人化した集落の無人化理由でも最も多いのは「自然に無人化」であり、46.4%を占めている。
- 地方ブロック別でみると、「自然に無人化」は北海道、北陸圏、中部圏、中国圏、四国圏で6割を超えている。

図表2-408 地方ブロック別・無人化理由別 無人化集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	14 (16.1%)	51 (58.6%)	20 (23.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	7 (63.6%)	11 (100.0%)
7 中国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (72.1%)	3 (7.0%)	9 (20.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (81.6%)	5 (13.2%)	2 (5.3%)	38 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	15 (46.9%)	8 (25.0%)	7 (21.9%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	116 (46.4%)	72 (28.8%)	55 (22.0%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、前回調査で無人化が予測されていなかったにもかかわらず無人化した集落も、3割程度は「自然に無人化」している。

図表2-409 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化理由別 無人化集落数 【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
10年以内に 無人化と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	38 (76.0%)	1 (2.0%)	9 (18.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (61.8%)	5 (9.1%)	16 (29.1%)	55 (100.0%)
当面存続	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	30 (27.8%)	61 (56.5%)	12 (11.1%)	108 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (37.8%)	5 (13.5%)	18 (48.6%)	37 (100.0%)
計	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	116 (46.4%)	72 (28.8%)	55 (22.0%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、前々回調査で無人化が予測されていなかったにもかかわらず無人化した集落も、4割程度は「自然に無人化」している。

図表2-410 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化理由別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
10年以内に 無人化と予測	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	50 (92.6%)	1 (1.9%)	3 (5.6%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	24 (48.0%)	3 (6.0%)	21 (42.0%)	50 (100.0%)
当面存続	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.7%)	33 (40.7%)	20 (24.7%)	24 (29.6%)	81 (100.0%)
無回答	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (13.8%)	48 (73.8%)	7 (10.8%)	65 (100.0%)
計	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	116 (46.4%)	72 (28.8%)	55 (22.0%)	250 (100.0%)

- 集落類型別でみると、基幹集落や中心集落の無人化理由で最も多いのは「その他」である。
- 無人化集落が最も多い基礎集落では、無人化理由は「自然に無人化」が6割近くと多い。

図表2-411 集落類型別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
基礎集落	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (2.1%)	110 (56.4%)	44 (22.6%)	35 (17.9%)	195 (100.0%)
基幹集落	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (7.4%)	22 (81.5%)	2 (7.4%)	27 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (17.4%)	2 (8.7%)	17 (73.9%)	23 (100.0%)
合計	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	116 (46.4%)	72 (28.8%)	55 (22.0%)	250 (100.0%)

- 地域区分別でみると、山間地集落と平地集落では「集団移転事業による移転」が若干みられる。

図表2-412 地域区分別・無人化理由別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化理由別 無人化集落数							計
	集団移転事業による移転	公共工事による 集団移転	廃坑による 廃村等	自然災害による 分散転居	自然に無人化	その他	無回答	
山間地	1 (0.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	79 (66.4%)	13 (10.9%)	25 (21.0%)	119 (100.0%)
中間地	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	18 (40.0%)	17 (37.8%)	9 (20.0%)	45 (100.0%)
平地	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	7 (12.1%)	42 (72.4%)	6 (10.3%)	58 (100.0%)
都市的地域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)
無回答	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	15 (71.4%)	21 (100.0%)
合計	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.6%)	116 (46.4%)	72 (28.8%)	55 (22.0%)	250 (100.0%)

(3) 無人化集落住民の転居先

【全体】

- 無人化集落の住民の転居先をみると、40 集落(13.5%)は「自市町村内に転居」しているが、「他市町村に転居」とされる無人化集落も 20 集落(6.8%)みられる。

図表2-413 無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
1 北海道	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	7 (7.5%)	3 (3.2%)	1 (1.1%)	46 (49.5%)	11 (11.8%)	25 (26.9%)	93 (100.0%)
3 首都圏	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	3 (37.5%)	8 (100.0%)
4 北陸圏	6 (23.1%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	2 (7.7%)	14 (53.8%)	3 (11.5%)	26 (100.0%)
5 中部圏	1 (7.7%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	13 (100.0%)
6 近畿圏	3 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	6 (50.0%)	12 (100.0%)
7 中国圏	3 (6.3%)	2 (4.2%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	30 (62.5%)	12 (25.0%)	48 (100.0%)
8 四国圏	6 (13.0%)	9 (19.6%)	1 (2.2%)	10 (21.7%)	18 (39.1%)	2 (4.3%)	46 (100.0%)
9 九州圏	8 (20.5%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	16 (41.0%)	10 (25.6%)	39 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	40 (13.5%)	20 (6.8%)	3 (1.0%)	68 (23.0%)	97 (32.8%)	68 (23.0%)	296 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における無人化集落の住民の転居先をみると、「自市町村内に転居」が約1割を占めている。
- 地方ブロック別でみると、「自市町村内に転居」した割合が高いのは、北海道(40.0%)や首都圏(33.3%)の無人化集落であり、「他市町村に転居」した割合が高いのは中部圏(20.0%)や四国圏(23.7%)の無人化集落である。

図表2-414 地方ブロック別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
1 北海道	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	7 (8.0%)	2 (2.3%)	1 (1.1%)	46 (52.9%)	10 (11.5%)	21 (24.1%)	87 (100.0%)
3 首都圏	2 (33.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	2 (16.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	6 (50.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	2 (4.7%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	29 (67.4%)	9 (20.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	4 (10.5%)	9 (23.7%)	1 (2.6%)	10 (26.3%)	12 (31.6%)	2 (5.3%)	38 (100.0%)
9 九州圏	6 (18.8%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	3 (9.4%)	13 (40.6%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	31 (12.4%)	19 (7.6%)	3 (1.2%)	66 (26.4%)	75 (30.0%)	56 (22.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、当面存続すると予測されながら無人化した集落の1割超は住民が「自市町村内に転居」している。

図表2-415 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
10年以内に 無人化と予測	6 (12.0%)	7 (14.0%)	0 (0.0%)	10 (20.0%)	19 (38.0%)	8 (16.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	6 (10.9%)	7 (12.7%)	1 (1.8%)	6 (10.9%)	18 (32.7%)	17 (30.9%)	55 (100.0%)
当面存続	14 (13.0%)	3 (2.8%)	2 (1.9%)	49 (45.4%)	27 (25.0%)	13 (12.0%)	108 (100.0%)
無回答	5 (13.5%)	2 (5.4%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	11 (29.7%)	18 (48.6%)	37 (100.0%)
計	31 (12.4%)	19 (7.6%)	3 (1.2%)	66 (26.4%)	75 (30.0%)	56 (22.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、当面存続すると予測されながら無人化した集落の2割程度は住民が「自市町村内に転居」している。

図表2-416 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落住民の転居先別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
10年以内に 無人化と予測	8 (14.8%)	10 (18.5%)	0 (0.0%)	8 (14.8%)	25 (46.3%)	3 (5.6%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	5 (10.0%)	4 (8.0%)	1 (2.0%)	7 (14.0%)	12 (24.0%)	21 (42.0%)	50 (100.0%)
当面存続	14 (17.3%)	2 (2.5%)	1 (1.2%)	8 (9.9%)	31 (38.3%)	25 (30.9%)	81 (100.0%)
無回答	4 (6.2%)	3 (4.6%)	1 (1.5%)	43 (66.2%)	7 (10.8%)	7 (10.8%)	65 (100.0%)
計	31 (12.4%)	19 (7.6%)	3 (1.2%)	66 (26.4%)	75 (30.0%)	56 (22.4%)	250 (100.0%)

- 集落類型別でみると、基幹集落及び中心集落で無人化した集落の大半は「転居者なし」となっている。

図表2-417 集落類型別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
基礎集落	29 (14.9%)	17 (8.7%)	3 (1.5%)	39 (20.0%)	71 (36.4%)	36 (18.5%)	195 (100.0%)
基幹集落	1 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (77.8%)	3 (11.1%)	2 (7.4%)	27 (100.0%)
中心集落	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)
無回答	1 (4.3%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	2 (8.7%)	1 (4.3%)	17 (73.9%)	23 (100.0%)
合計	31 (12.4%)	19 (7.6%)	3 (1.2%)	66 (26.4%)	75 (30.0%)	56 (22.4%)	250 (100.0%)

- 地域区分別でみると、「自市町村内に転居」した割合が最も高くなっているのは山間地集落(15.1%)である。
- また、前回調査時に都市的地域にあった集落では、全ての集落に対し転居先が不明(無回答)である。

図表2-418 地域区分別・無人化集落住民の転居先別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落住民の移転先別 無人化集落数						計
	自市町村内に 転居	他市町村に 転居	各地に 分散転居	転居者なし	不明	無回答	
山間地	18 (15.1%)	13 (10.9%)	1 (0.8%)	22 (18.5%)	40 (33.6%)	25 (21.0%)	119 (100.0%)
中間地	6 (13.3%)	2 (4.4%)	2 (4.4%)	10 (22.2%)	15 (33.3%)	10 (22.2%)	45 (100.0%)
平地	6 (10.3%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	33 (56.9%)	11 (19.0%)	6 (10.3%)	58 (100.0%)
都市的地域	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)	0 (0.0%)	7 (100.0%)
無回答	1 (4.8%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	15 (71.4%)	21 (100.0%)
合計	31 (12.4%)	19 (7.6%)	3 (1.2%)	66 (26.4%)	75 (30.0%)	56 (22.4%)	250 (100.0%)

(4)無人化した時期

【全体】

- 集落の無人化時期をみると、平成31年から令和4年にかけては毎年20以上の集落が無人化し、令和4年には54集落が無人化している。

図表2-419 無人化時期別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	無人化時期別 無人化集落数							計
	H31(R1)	R1	R2	R3	R4	R5	無回答	
1 北海道	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	0 (0.0%)	6 (6.5%)	25 (26.9%)	2 (2.2%)	27 (29.0%)	1 (1.1%)	32 (34.4%)	93 (100.0%)
3 首都圏	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	4 (50.0%)	8 (100.0%)
4 北陸圏	2 (7.7%)	2 (7.7%)	3 (11.5%)	5 (19.2%)	4 (15.4%)	1 (3.8%)	9 (34.6%)	26 (100.0%)
5 中部圏	2 (15.4%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	7 (53.8%)	13 (100.0%)
6 近畿圏	1 (8.3%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	12 (100.0%)
7 中国圏	5 (10.4%)	3 (6.3%)	2 (4.2%)	4 (8.3%)	4 (8.3%)	0 (0.0%)	30 (62.5%)	48 (100.0%)
8 四国圏	5 (10.9%)	8 (17.4%)	4 (8.7%)	9 (19.6%)	8 (17.4%)	2 (4.3%)	10 (21.7%)	46 (100.0%)
9 九州圏	3 (7.7%)	3 (7.7%)	2 (5.1%)	8 (20.5%)	5 (12.8%)	3 (7.7%)	15 (38.5%)	39 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	20 (6.8%)	27 (9.1%)	38 (12.8%)	29 (9.8%)	54 (18.2%)	9 (3.0%)	119 (40.2%)	296 (100.0%)

※無回答には不明、H31より前の回答を含む

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における集落の無人化時期をみると、令和元年から令和5年にかけて毎年20以上の集落が無人化し、令和4年には51集落が無人化している。
- 地方ブロック別でみると、東北圏では令和2年と令和4年において25以上の集落が無人化している。

図表2-420 地方ブロック別・無人化時期別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化時期別 無人化集落数							計
	H31(R1)	R1	R2	R3	R4	R5	無回答	
1 北海道	1 (10.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	0 (0.0%)	4 (4.6%)	25 (28.7%)	2 (2.3%)	27 (31.0%)	1 (1.1%)	28 (32.2%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	12 (100.0%)
5 中部圏	2 (20.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	4 (9.3%)	2 (4.7%)	2 (4.7%)	4 (9.3%)	3 (7.0%)	0 (0.0%)	28 (65.1%)	43 (100.0%)
8 四国圏	2 (5.3%)	8 (21.1%)	4 (10.5%)	9 (23.7%)	7 (18.4%)	2 (5.3%)	6 (15.8%)	38 (100.0%)
9 九州圏	1 (3.1%)	1 (3.1%)	1 (3.1%)	8 (25.0%)	5 (15.6%)	3 (9.4%)	13 (40.6%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	13 (5.2%)	20 (8.0%)	35 (14.0%)	26 (10.4%)	51 (20.4%)	9 (3.6%)	96 (38.4%)	250 (100.0%)

(5)無人化集落跡地の主な地域資源の管理状況

【全体】

- 無人化集落跡地における地域資源の管理状況をみると、森林・林地や農地・田畑、住宅については「元住民が管理」している割合が比較的高いものの、それ以上の割合で「放置」されている無人化集落がみられる。
- 集落道路・農道等や用排水路等については、「行政が管理」している割合が比較的高い。

図表2-421 地域資源別・無人化集落の管理状況別 無人化集落数【全体】

全体 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
森林・林地	22 (7.4%)	2 (0.7%)	1 (0.3%)	9 (3.0%)	87 (29.4%)	92 (31.1%)	83 (28.0%)	296 (100.0%)
農地・田畑	31 (10.5%)	6 (2.0%)	2 (0.7%)	1 (0.3%)	75 (25.3%)	95 (32.1%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
集会所 ・小学校等	6 (2.0%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	6 (2.0%)	22 (7.4%)	174 (58.8%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
住宅	51 (17.2%)	3 (1.0%)	0 (0.0%)	9 (3.0%)	79 (26.7%)	69 (23.3%)	85 (28.7%)	296 (100.0%)
集落道路 ・農道等	15 (5.1%)	5 (1.7%)	0 (0.0%)	66 (22.3%)	47 (15.9%)	77 (26.0%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
用排水路等	17 (5.7%)	8 (2.7%)	1 (0.3%)	34 (11.5%)	69 (23.3%)	81 (27.4%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
神社・仏閣等	20 (6.8%)	5 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36 (12.2%)	149 (50.3%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
河川・湖沼 ・ため池等	7 (2.4%)	7 (2.4%)	1 (0.3%)	16 (5.4%)	59 (19.9%)	120 (40.5%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)
伝統的祭事 ・伝統芸能等	13 (4.4%)	1 (0.3%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)	20 (6.8%)	175 (59.1%)	86 (29.1%)	296 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における無人化集落跡地の地域資源の管理状況をみると、条件不利地域全体と同様、森林・林地や農地・田畑、住宅については「元住民が管理」している割合が比較的高いものの、それ以上の割合で「放置」されている無人化集落がみられる。
- 集落道路・農道等については「行政が管理」している割合が約2割を占めており、用排水路等についても約1割の無人化集落では「行政が管理」している。

図表2-422 地域資源別・無人化集落の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
森林・林地	18 (7.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	71 (28.4%)	82 (32.8%)	68 (27.2%)	250 (100.0%)
農地・田畑	27 (10.8%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	62 (24.8%)	85 (34.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
集会所 ・小学校等	6 (2.4%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	20 (8.0%)	146 (58.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
住宅	38 (15.2%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	69 (27.6%)	63 (25.2%)	70 (28.0%)	250 (100.0%)
集落道路 ・農道等	13 (5.2%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	54 (21.6%)	37 (14.8%)	72 (28.8%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
用排水路等	14 (5.6%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	29 (11.6%)	56 (22.4%)	75 (30.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
神社・仏閣等	17 (6.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (12.4%)	126 (50.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
河川・湖沼 ・ため池等	6 (2.4%)	7 (2.8%)	0 (0.0%)	13 (5.2%)	49 (19.6%)	104 (41.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)
伝統的祭事 ・伝統芸能等	12 (4.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)	149 (59.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

①森林・林地

- 過疎地域の無人化集落における森林・林地の管理状況について地方ブロック別でみると、「元住民が管理」している割合が高いのは、首都圏や中部圏、中国圏であり、「行政が管理」している割合が高いのは北海道である。また、北陸圏や四国圏では「放置」されている無人化集落の割合が半数以上となっている。

図表2-423 地方ブロック別・無人化集落の森林・林地の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の森林・林地の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	2 (20.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	2 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	8 (9.2%)	50 (57.5%)	25 (28.7%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (50.0%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	7 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (11.6%)	9 (20.9%)	7 (16.3%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	1 (2.6%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (76.3%)	4 (10.5%)	3 (7.9%)	38 (100.0%)
9 九州圏	3 (9.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (31.3%)	11 (34.4%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	18 (7.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	71 (28.4%)	82 (32.8%)	68 (27.2%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、「10年以内に無人化」と予測されていた集落では、森林・林地が「放置」されている割合が52.0%と最も高い。

図表2-424 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の森林・林地の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の森林・林地の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	3 (6.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	5 (10.0%)	26 (52.0%)	3 (6.0%)	11 (22.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	8 (14.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (40.0%)	7 (12.7%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	6 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	12 (11.1%)	68 (63.0%)	19 (17.6%)	108 (100.0%)
無回答	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	11 (29.7%)	4 (10.8%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	18 (7.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	71 (28.4%)	82 (32.8%)	68 (27.2%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、「10年以内に無人化」と予測されていた集落では、森林・林地が「放置」されている割合が63.0%と最も高く、前回調査時との比較と比べても割合が高くなっている。

図表2-425 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の森林・林地の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の森林・林地の管理状況別 無人化集落数						計	
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし		無回答
10年以内に 無人化と予測	8 (14.8%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (5.6%)	34 (63.0%)	2 (3.7%)	6 (11.1%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	4 (8.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (32.0%)	7 (14.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	5 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (6.2%)	16 (19.8%)	24 (29.6%)	31 (38.3%)	81 (100.0%)
無回答	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)	5 (7.7%)	49 (75.4%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	18 (7.2%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	71 (28.4%)	82 (32.8%)	68 (27.2%)	250 (100.0%)

②農地・田畑

- 過疎地域の無人化集落における農地・田畑の管理状況について地方ブロック別でみると、「放置」されている割合が高いのは四国圏や北陸圏であり、「元住民が管理」している割合は、中部圏や北海道で比較的高くなっている。

図表2-426 地方ブロック別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	2 (20.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	3 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	6 (6.9%)	50 (57.5%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (41.7%)	5 (41.7%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	7 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (30.2%)	8 (18.6%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	6 (15.8%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	22 (57.9%)	4 (10.5%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	5 (15.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (28.1%)	10 (31.3%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	27 (10.8%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	62 (24.8%)	85 (34.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、「10年以内に無人化」と予測されていた無人化集落の42.0%では無人化後に農地・田畑は「放置」されているが、「10年以内に無人化」あるいは「いずれ無人化」と予測されていた無人化集落でも1割～2割程度の集落では農地・田畑が「元住民によって管理」されている。

図表2-427 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	8 (16.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	21 (42.0%)	5 (10.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	8 (14.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (36.4%)	9 (16.4%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	9 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (11.1%)	66 (61.1%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	2 (5.4%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	9 (24.3%)	5 (13.5%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	27 (10.8%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	62 (24.8%)	85 (34.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、「10年以内に無人化」と予測されていた無人化集落の51.9%では無人化後に農地・田畑は「放置」されているが、「10年以内に無人化」あるいは「いずれ無人化」と予測されていた無人化集落でも1割～2割程度の集落では農地・田畑が「元住民によって管理」されている。

図表2-428 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の農地・田畑の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の農地・田畑の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	11 (20.4%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	28 (51.9%)	5 (9.3%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	6 (12.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (26.0%)	8 (16.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	6 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (21.0%)	25 (30.9%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	4 (6.2%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	4 (6.2%)	47 (72.3%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	27 (10.8%)	3 (1.2%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)	62 (24.8%)	85 (34.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

③集会所・小学校等

- 過疎地域の無人化集落における集会所・小学校等の管理状況を地方ブロック別でみると、無人化集落に該当施設がないケースが多いが、「元住民が管理」や「行政が管理」している無人化集落も一部みられる。

図表2-429 地方ブロック別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	57 (65.5%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	2 (4.7%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.0%)	22 (51.2%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (18.4%)	26 (68.4%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	6 (18.8%)	17 (53.1%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	6 (2.4%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	20 (8.0%)	146 (58.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、無人化可能性の予測の有無に限らず「放置」されている割合が最も高い。

図表2-430 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)	29 (58.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	2 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.6%)	7 (12.7%)	26 (47.3%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.9%)	4 (3.7%)	78 (72.2%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	1 (2.7%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (2.7%)	1 (2.7%)	13 (35.1%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	6 (2.4%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	20 (8.0%)	146 (58.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、無人化可能性の予測の有無に限らず「放置」されている割合が最も高い。

図表2-431 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集会所・小学校等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の集会所・小学校等の管理状況別 無人化集落数						計	
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし		無回答
10年以内に 無人化と予測	3 (5.6%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (14.8%)	35 (64.8%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)	6 (12.0%)	17 (34.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.5%)	5 (6.2%)	40 (49.4%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)	54 (83.1%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	6 (2.4%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	5 (2.0%)	20 (8.0%)	146 (58.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

④住宅

- 過疎地域の無人化集落における住宅の管理状況を地方ブロック別でみると、「放置」されている無人化集落の割合が最も高いのは四国圏の 63.2%であり、北海道、北陸圏、中国圏でも3割超が「放置」されている。
- 一方、北海道、中部圏、九州圏では「元住民が管理」しているケースが比較のみられる。

図表2-432 地方ブロック別・無人化集落の住宅の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の住宅の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	6 (6.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.3%)	8 (9.2%)	44 (50.6%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	5 (41.7%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	6 (14.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (37.2%)	6 (14.0%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	5 (13.2%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	24 (63.2%)	5 (13.2%)	3 (7.9%)	38 (100.0%)
9 九州圏	9 (28.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	8 (25.0%)	4 (12.5%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	38 (15.2%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	69 (27.6%)	63 (25.2%)	70 (28.0%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、無人化しない(当面存続する)と予測されながらも無人化した集落の 5.6%では、跡地の住宅を「行政が管理」しているとされている。

図表2-433 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の住宅の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の住宅の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	8 (16.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (56.0%)	2 (4.0%)	11 (22.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	16 (29.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	15 (27.3%)	5 (9.1%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	13 (12.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.6%)	14 (13.0%)	54 (50.0%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.4%)	12 (32.4%)	2 (5.4%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	38 (15.2%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	69 (27.6%)	63 (25.2%)	70 (28.0%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、無人化しない(当面存続する)と予測されながらも無人化した集落の7.4%では、跡地の住宅を「行政が管理」しているとされている。

図表2-434 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の住宅の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の住宅の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	12 (22.2%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (61.1%)	2 (3.7%)	6 (11.1%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	10 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	14 (28.0%)	3 (6.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	12 (14.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (7.4%)	18 (22.2%)	12 (14.8%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	4 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.1%)	4 (6.2%)	46 (70.8%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	38 (15.2%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	9 (3.6%)	69 (27.6%)	63 (25.2%)	70 (28.0%)	250 (100.0%)

⑤集落道路・農道等

- 過疎地域の無人化集落における集落道路・農道等の管理状況を地方ブロック別でみると、「行政が管理」している割合が高いのは北陸圏、中部圏、北海道である。一方、集落道路・農道等を「元住民が管理」している割合は、四国圏で15.8%と高い。

図表2-435 地方ブロック別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (11.5%)	2 (2.3%)	47 (54.0%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	3 (7.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (20.9%)	8 (18.6%)	8 (18.6%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	6 (15.8%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	6 (15.8%)	17 (44.7%)	4 (10.5%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	2 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (21.9%)	7 (21.9%)	8 (25.0%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	13 (5.2%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	54 (21.6%)	37 (14.8%)	72 (28.8%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化する、あるいはいずれ無人化すると予測されていた無人化集落の多くは、行政が集落道路や農道等の管理を行っている。

図表2-436 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	6 (12.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	20 (40.0%)	8 (16.0%)	2 (4.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	3 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (23.6%)	16 (29.1%)	5 (9.1%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	4 (3.7%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	9 (8.3%)	12 (11.1%)	61 (56.5%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (32.4%)	1 (2.7%)	4 (10.8%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	13 (5.2%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	54 (21.6%)	37 (14.8%)	72 (28.8%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化する、あるいはいずれ無人化すると予測されていた無人化集落の多くは、行政が集落道路や農道等の管理を行っている。

図表2-437 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の集落道路・農道等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の集落道路・農道等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	8 (14.8%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	22 (40.7%)	14 (25.9%)	2 (3.7%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	3 (6.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	14 (28.0%)	7 (14.0%)	3 (6.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	15 (18.5%)	11 (13.6%)	21 (25.9%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	2 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (4.6%)	5 (7.7%)	46 (70.8%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	13 (5.2%)	3 (1.2%)	0 (0.0%)	54 (21.6%)	37 (14.8%)	72 (28.8%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

⑥用排水路等

- 過疎地域の無人化集落における用排水路等の管理状況を地方ブロック別で見ると、北海道、中部圏、四国圏では「放置」されているケースが比較的多い。

図表2-438 地方ブロック別・無人化集落の用排水路等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の用排水路等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	5 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (6.9%)	4 (4.6%)	45 (51.7%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (50.0%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	2 (18.2%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	3 (7.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	7 (16.3%)	9 (20.9%)	8 (18.6%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	1 (2.6%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	2 (5.3%)	24 (63.2%)	6 (15.8%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	2 (6.3%)	1 (3.1%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	9 (28.1%)	9 (28.1%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	14 (5.6%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	29 (11.6%)	56 (22.4%)	75 (30.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別で見ると、10年以内に無人化またはいずれ無人化と予測されており既に無人化した集落の約3割～4割では、用排水路等は「放置」されている。

図表2-439 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の用排水路等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の用排水路等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	3 (6.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)	22 (44.0%)	3 (6.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	4 (7.3%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	6 (10.9%)	19 (34.5%)	7 (12.7%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	4 (3.7%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	8 (7.4%)	13 (12.0%)	61 (56.5%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	3 (8.1%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	7 (18.9%)	2 (5.4%)	4 (10.8%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	14 (5.6%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	29 (11.6%)	56 (22.4%)	75 (30.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化またはいずれ無人化と予測されており既に無人化した集落の約3割～5割では、用排水路等は「放置」されている。

図表2-440 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の用排水路等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の用排水路等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	5 (9.3%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	10 (18.5%)	26 (48.1%)	5 (9.3%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	2 (4.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	7 (14.0%)	13 (26.0%)	4 (8.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	5 (6.2%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	9 (11.1%)	12 (14.8%)	20 (24.7%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	2 (3.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (4.6%)	5 (7.7%)	46 (70.8%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	14 (5.6%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	29 (11.6%)	56 (22.4%)	75 (30.0%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

⑦神社・仏閣等

- 過疎地域の無人化集落における神社・仏閣等の管理状況を地方ブロック別でみると、「該当なし」が多くみられるが、中国圏では「他集落が管理」している無人化集落が比較的多くみられる。

図表2-441 地方ブロック別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	7 (70.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	7 (8.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (60.9%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (33.3%)	5 (41.7%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	2 (18.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	2 (4.7%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)	20 (46.5%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	1 (2.6%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (39.5%)	17 (44.7%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	3 (9.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)	17 (53.1%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	17 (6.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (12.4%)	126 (50.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、神社・仏閣等を「元住民が管理」している無人化集落は、前回調査で無人化が予測されていた集落において多くみられる。

図表2-442 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	4 (8.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (24.0%)	19 (38.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	6 (10.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (14.5%)	23 (41.8%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	4 (3.7%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.6%)	77 (71.3%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	3 (8.1%)	1 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (16.2%)	7 (18.9%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	17 (6.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (12.4%)	126 (50.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、神社・仏閣等を「元住民が管理」している無人化集落は、前々回調査で無人化が予測されていた集落において多くみられる。

図表2-443 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の神社・仏閣等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の神社・仏閣等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	7 (13.0%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (25.9%)	24 (44.4%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	5 (10.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)	14 (28.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	5 (6.2%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (6.2%)	36 (44.4%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (6.2%)	52 (80.0%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	17 (6.8%)	5 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (12.4%)	126 (50.4%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

⑧河川・湖沼・ため池等

- 過疎地域の無人化集落における河川・湖沼・ため池等の管理状況を地方ブロック別でみると、中国圏では「他集落が管理」している割合が比較的高くなっており、四国圏では6割以上が「放置」されている。

図表2-444 地方ブロック別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	3 (30.0%)	3 (30.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	2 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (5.7%)	7 (8.0%)	46 (52.9%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	0 (0.0%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	3 (27.3%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	2 (4.7%)	5 (11.6%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)	5 (11.6%)	14 (32.6%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	24 (63.2%)	8 (21.1%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (18.8%)	18 (56.3%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	6 (2.4%)	7 (2.8%)	0 (0.0%)	13 (5.2%)	49 (19.6%)	104 (41.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化すると予測されていた集落では、無人化後に河川・湖沼・ため池等を「他集落が管理」しているケースが多い。

図表2-445 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	0 (0.0%)	5 (10.0%)	0 (0.0%)	6 (12.0%)	19 (38.0%)	8 (16.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	3 (5.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (7.3%)	15 (27.3%)	15 (27.3%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	3 (2.8%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	9 (8.3%)	70 (64.8%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (16.2%)	11 (29.7%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	6 (2.4%)	7 (2.8%)	0 (0.0%)	13 (5.2%)	49 (19.6%)	104 (41.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化すると予測されていた集落では、無人化後に河川・湖沼・ため池等を「元住民が管理」または「他集落が管理」しているケースが多い。

図表2-446 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の河川・湖沼・ため池等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の河川・湖沼・ため池等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	3 (5.6%)	3 (5.6%)	0 (0.0%)	5 (9.3%)	23 (42.6%)	13 (24.1%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	4 (8.0%)	9 (18.0%)	13 (26.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	2 (2.5%)	3 (3.7%)	0 (0.0%)	4 (4.9%)	11 (13.6%)	28 (34.6%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (9.2%)	50 (76.9%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	6 (2.4%)	7 (2.8%)	0 (0.0%)	13 (5.2%)	49 (19.6%)	104 (41.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

⑨伝統的祭事・伝統芸能等

- 過疎地域の無人化集落における伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況を地方ブロック別でみると、首都圏や四国圏では「放置」の割合が高くなっている。

図表2-447 地方ブロック別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
1 北海道	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (80.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	5 (5.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (63.2%)	27 (31.0%)	87 (100.0%)
3 首都圏	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	1 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (7.0%)	23 (53.5%)	15 (34.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (21.1%)	25 (65.8%)	4 (10.5%)	38 (100.0%)
9 九州圏	2 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)	18 (56.3%)	8 (25.0%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	12 (4.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)	149 (59.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 前回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化すると予測された無人化集落の12.0%では、伝統的祭事・伝統芸能等が「放置」されているとしている。

図表2-448 前回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が 管理	他集落が 管理	ボランティア等 が管理	行政が 管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (12.0%)	30 (60.0%)	12 (24.0%)	50 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	4 (7.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (9.1%)	28 (50.9%)	18 (32.7%)	55 (100.0%)
当面存続 と予測	4 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.8%)	80 (74.1%)	21 (19.4%)	108 (100.0%)
無回答	3 (8.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (8.1%)	11 (29.7%)	20 (54.1%)	37 (100.0%)
計	12 (4.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)	149 (59.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

- 調査においては10年後の状況を回答いただいていることを踏まえ、前々回調査時における無人化可能性の予測別でみると、10年以内に無人化すると予測された無人化集落の13.0%では、伝統的祭事・伝統芸能等が「放置」されているとしている。

図表2-449 前々回調査時の無人化可能性の予測別・無人化集落の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前々回調査 対象地域	無人化集落跡地の伝統的祭事・伝統芸能等の管理状況別 無人化集落数							計
	元住民が管理	他集落が管理	ボランティア等が 管理	行政が管理	放置	該当なし	無回答	
10年以内に 無人化と予測	4 (7.4%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (13.0%)	35 (64.8%)	7 (13.0%)	54 (100.0%)
いずれ無人化 と予測	3 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (8.0%)	21 (42.0%)	22 (44.0%)	50 (100.0%)
当面存続	5 (6.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (4.9%)	39 (48.1%)	33 (40.7%)	81 (100.0%)
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.1%)	54 (83.1%)	9 (13.8%)	65 (100.0%)
計	12 (4.8%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17 (6.8%)	149 (59.6%)	71 (28.4%)	250 (100.0%)

(6)無人化集落の跡地の資源管理状況

【全体】

- 無人化集落跡地における地域資源の管理状況をみると、全体の 34.5%は「良好」に管理されているものの、「やや荒廃」又は「荒廃」している無人化集落をあわせると 35.8%と4割近くを占める。

図表2-450 無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数 【全体】

全体 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数				計
	良好	やや荒廃	荒廃	無回答	
1 北海道	4 (40.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	55 (59.1%)	8 (8.6%)	0 (0.0%)	30 (32.3%)	93 (100.0%)
3 首都圏	2 (25.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (50.0%)	8 (100.0%)
4 北陸圏	5 (19.2%)	8 (30.8%)	7 (26.9%)	6 (23.1%)	26 (100.0%)
5 中部圏	5 (38.5%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	13 (100.0%)
6 近畿圏	1 (8.3%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	7 (58.3%)	12 (100.0%)
7 中国圏	17 (35.4%)	14 (29.2%)	3 (6.3%)	14 (29.2%)	48 (100.0%)
8 四国圏	3 (6.5%)	18 (39.1%)	17 (37.0%)	8 (17.4%)	46 (100.0%)
9 九州圏	10 (25.6%)	7 (17.9%)	10 (25.6%)	12 (30.8%)	39 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	102 (34.5%)	68 (23.0%)	38 (12.8%)	88 (29.7%)	296 (100.0%)

【過疎地域のみ】

- 過疎地域における無人化集落の跡地の資源管理状況全般についてみると、「良好」に管理されているのは36.8%で、「やや荒廃」又は「荒廃」している無人化集落をあわせると35.2%を占める。
- 地方ブロック別にみると、管理状況が良好とされている集落の割合は、北海道、東北圏、首都圏で比較的高くなっており、それ以外のブロックでは「良好」よりも「やや荒廃」又は「荒廃」している無人化集落の方が多くみられる。

図表2-451 地方ブロック別・無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数【過疎地域のみ】

過疎地域 前回調査 対象地域	無人化集落跡地の資源管理の状況別 無人化集落数				計
	良好	やや荒廃	荒廃	無回答	
1 北海道	4 (40.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
2 東北圏	54 (62.1%)	7 (8.0%)	0 (0.0%)	26 (29.9%)	87 (100.0%)
3 首都圏	2 (33.3%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	6 (100.0%)
4 北陸圏	3 (25.0%)	2 (16.7%)	5 (41.7%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
5 中部圏	2 (20.0%)	4 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (40.0%)	10 (100.0%)
6 近畿圏	1 (9.1%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	6 (54.5%)	11 (100.0%)
7 中国圏	15 (34.9%)	14 (32.6%)	2 (4.7%)	12 (27.9%)	43 (100.0%)
8 四国圏	3 (7.9%)	14 (36.8%)	16 (42.1%)	5 (13.2%)	38 (100.0%)
9 九州圏	8 (25.0%)	6 (18.8%)	8 (25.0%)	10 (31.3%)	32 (100.0%)
10 沖縄県	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)
合計	92 (36.8%)	56 (22.4%)	32 (12.8%)	70 (28.0%)	250 (100.0%)

第3章 集落対策等に関する調査

第3章 集落対策等に関する調査

3-1. 調査の概要

令和2年4月に過疎問題懇談会がとりまとめた提言において、過疎地域については、食料・水・エネルギーの供給、心のふるさと、多様な生態系保全などの他、「先進的な少数社会（多自然型低密度居住地域）として国土の価値を発揮」、「食、生活、芸能、文化などの多様な価値の発展」、「都市部の被災の低下、災害リスクへの備えの役割」等の価値・役割が存在し、これらの価値・役割はSDGsで示されている考え方と親和性が極めて高く、過疎地域と都市が共生の関係になるよう国民的合意形成が重要であることが示されている。

前回調査時点における過疎地域関連法であった「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で期限を迎えたが、新たに令和3年4月に「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が施行され、今後も引き続き過疎対策を講じていくことが必要とされている。

これらを踏まえ、過年度調査に引き続き、集落の実態を把握するための現況調査（第2章）と併せ、過疎地域市町村等における集落対策の実施状況や、これまでの集落移転の実施状況、無居住化が危惧される集落に対する取組等を把握するため、全国の過疎地域市町村等及び都道府県に対してアンケート調査を実施した。

3-2. 調査の方法

(1) 調査対象

本アンケート調査は市町村調査と都道府県調査で構成される。

市町村調査の対象は、集落現況調査（第2章参照）の対象区域を有する全ての過疎地域市町村等（1,085市町村）とした（詳細は第1章参照）。

また、都道府県調査の対象は、市町村調査の対象市町村を含む全ての都道府県（47団体）とした。

(2) 調査項目

調査項目は以下のとおりであり、前回調査と同じ内容とした。

図表3-1 過疎地域等における集落対策等に関するアンケート調査 調査項目

市町村調査	都道府県調査
1.集落での問題の発生状況 <input type="radio"/> 多くの集落で発生している問題・現象 <input type="radio"/> そのうち特に深刻な問題・現象	
2.市町村の集落対策に係る体制 <input type="radio"/> 集落対策の実施体制（専任職員の人数） <input type="radio"/> 集落支援員制度の活用状況、活用上の課題 <input type="radio"/> 地域担当職員制度の有無（人数） <input type="radio"/> 外部サポート人材の活用状況、期待する活動	1.都道府県の集落対策に係る体制 <input type="radio"/> 集落対策の実施体制（専任職員の人数） <input type="radio"/> 集落支援員制度の活用状況、活用上の課題 <input type="radio"/> 外部サポート人材の活用状況、期待する活動
3.集落地域の現状把握・課題認識 <input type="radio"/> 集落の現状把握のための調査の実施状況 <input type="radio"/> 集落機能の維持・保全に係る施策例 <input type="radio"/> NPO や地域住民等が主体の取組事例 <input type="radio"/> 無居住化が危惧される集落に対する生活維持対策 <input type="radio"/> 無居住化が危惧される集落の地域資源保全方法 <input type="radio"/> 今後の集落機能の維持・再編成の見通し	2.集落地域の現状把握・課題認識 <input type="radio"/> 集落の現状把握のための調査の実施状況 <input type="radio"/> 都道府県主体の集落支援事業 <input type="radio"/> 市町村事業への補助等を通じた支援 <input type="radio"/> NPO や住民団体等を通じた支援
4.集落移転事業について <input type="radio"/> 集落の集団移転事例の有無、内容	
5.集落ネットワーク圏について <input type="radio"/> 集落ネットワーク圏の形成状況 <input type="radio"/> 集落ネットワーク圏の取組事例 <input type="radio"/> 集落ネットワーク圏の取組における課題	
6.その他 <input type="radio"/> 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割	3.その他 <input type="radio"/> 集落の維持・活性化に向けた都道府県の役割 <input type="radio"/> 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割

(3) 調査方法及び調査時期

調査方法：都道府県経由で対象市町村にアンケート票（エクセルファイル）をメールにて送付、
都道府県経由で回収

調査時期：令和6年10月3日～令和6年12月24日（発出時の回答期限は令和6年11月27日に
設定し、回答が遅れたもの等は順次回答）

(4) 回収状況

調査対象の全市町村、全都道府県から回答を得た。

3-3. 調査結果（市町村）

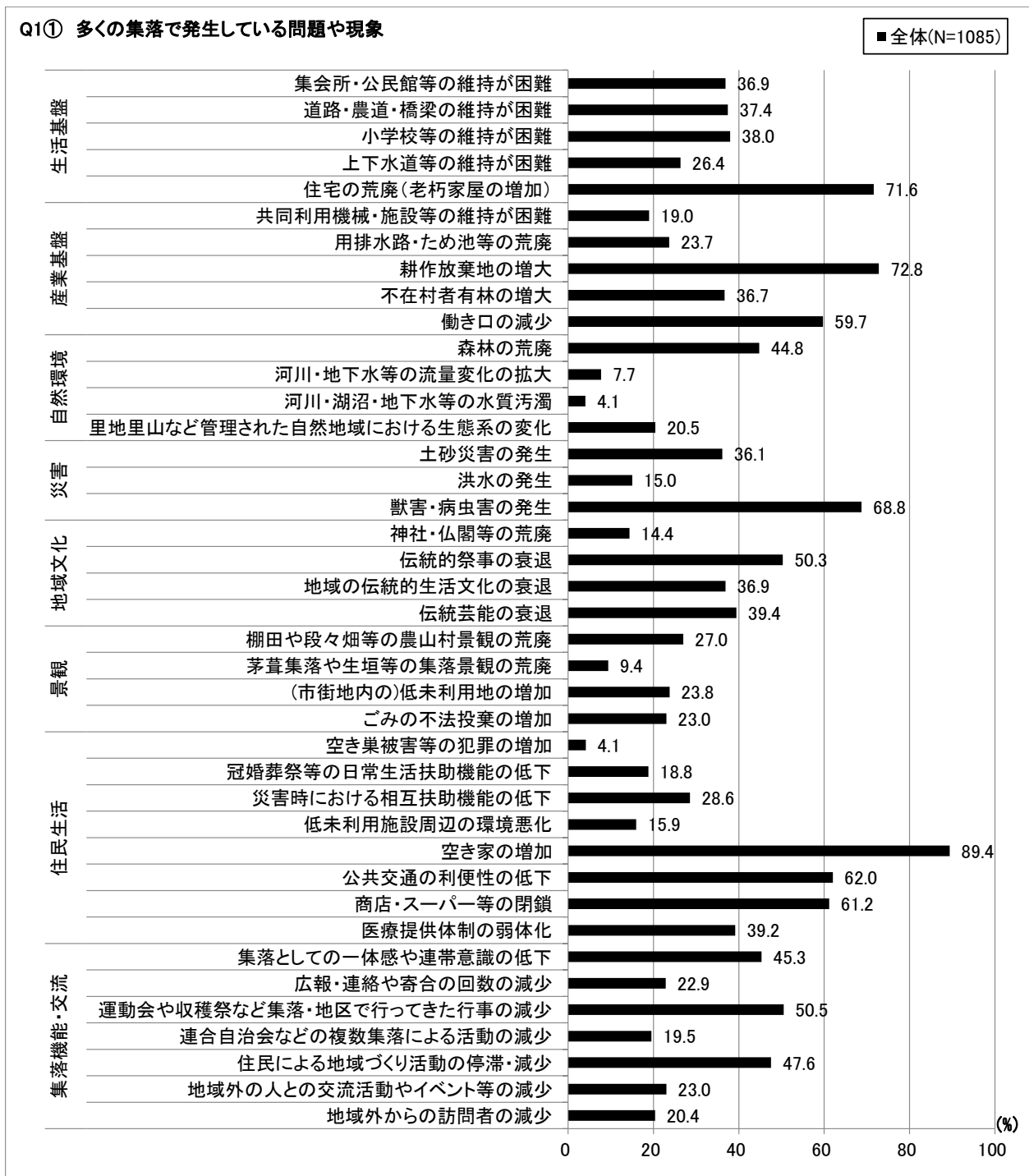
(1) 集落での問題の発生状況

問1① 貴市町村内の集落では、以下のような問題や現象が発生していますか。多くの集落で発生している問題や現象について、あてはまるものに○を入力してください。

【全体集計】

■「空き家の増加」が89.4%と最も多くの集落で発生しているほか、「住宅の荒廃(老朽家屋の増加)」(71.6%)、「耕作放棄地の増大」(72.8%)、「獣害・病虫害の発生」(68.8%)、「公共交通の利便性の低下」(62.0%)、「商店・スーパー等の閉鎖」(61.2%)が6割超の市町村から多くの集落でみられる問題として指摘されている。

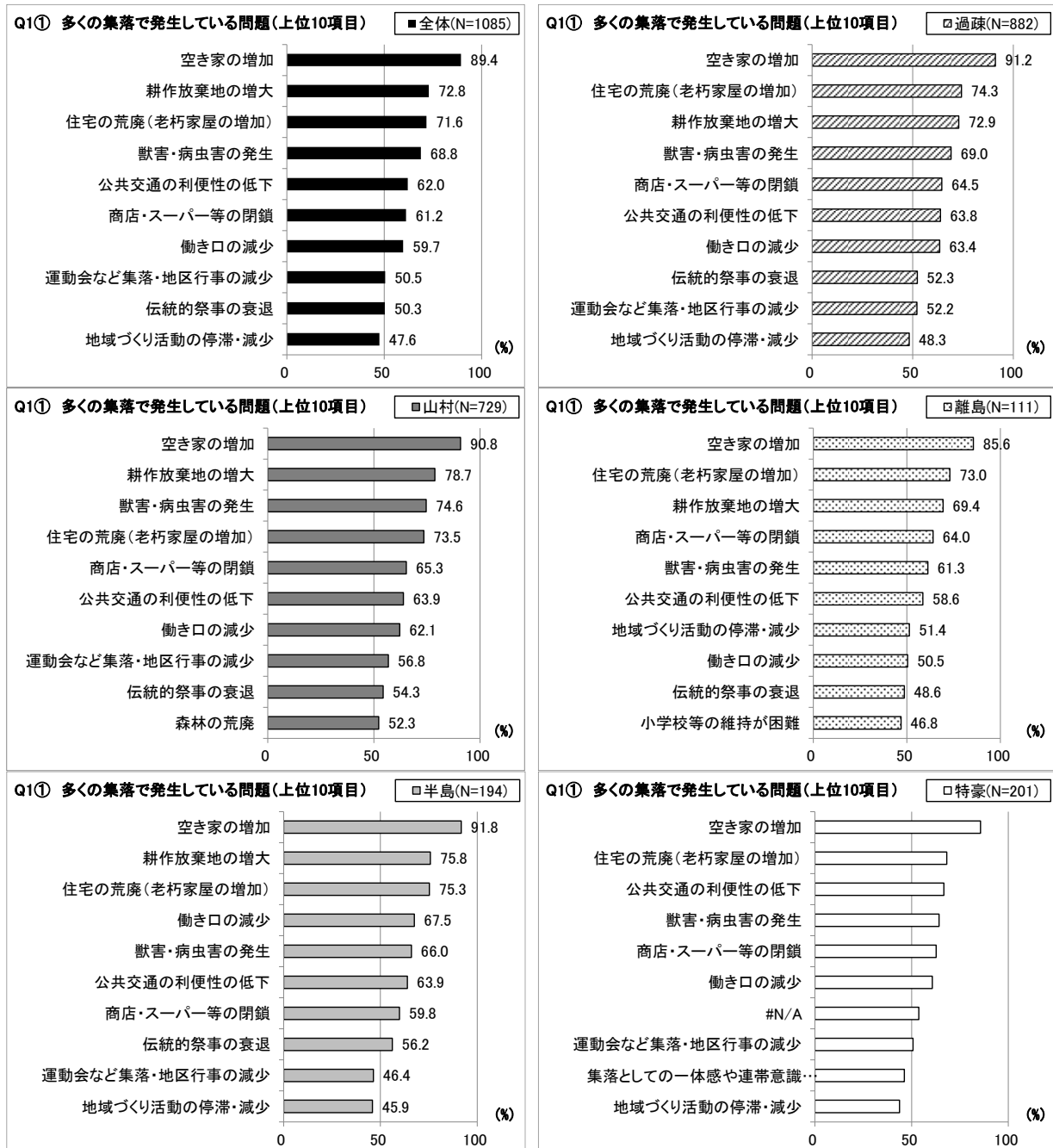
図表3-2 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)



【地域指定別集計】

- 地域指定別に多くの集落で発生している問題や現象の傾向をみると、いずれも第1位は「空き家の増加」であるが、第2位以下の項目は地域指定により異なる。
- 過疎地域、離島地域、特別豪雪地帯では、第2位に「住宅の荒廃(老朽家屋の増加)」が挙げられているのに対し、振興山村、半島地域では「耕作放棄地の増大」が第2位となっている。
- また、第3位には振興山村は「獣害・病虫害の発生」、半島地域は「住宅の荒廃(老朽家屋の増加)」、特別豪雪地帯は「公共交通の利便性の低下」が挙げられているが、過疎地域、離島地域では「耕作放棄地の増大」が第3位に挙げられている。

図表3-3 地域指定別 多くの集落で発生している問題や現象(複数回答)



【分野別集計】

- 各市町村から挙げられた集落で発生している問題や現象について、総回答数に対する分野別の回答割合をみると、選択肢の数が8つと最も多い「住民生活」に関する問題が特に多く挙げられており、次いで「産業基盤」や「生活基盤」、「集落機能・交流」等の分野で問題となっている事象が多く見られている。

図表3-4 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(%)

分野	全体	過疎	山村	離島	半島	特豪	選択肢数
生活基盤	15.1	15.2	14.6	16.8	15.5	15.0	5
産業基盤	15.2	15.2	15.4	13.9	15.6	14.4	5
自然環境	5.5	5.3	6.1	5.1	5.0	5.1	4
災害	8.6	8.5	8.8	8.2	8.7	8.2	3
地域文化	10.1	10.3	10.3	9.8	10.7	9.7	4
景観	6.0	6.1	6.0	6.1	6.1	5.7	4
住民生活	22.9	23.0	22.4	24.0	23.2	24.5	8
集落機能・交流	16.5	16.5	16.4	16.0	15.1	17.2	7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	40

【分野別集計の経年比較】

- H18 調査、H22 調査、H27 調査及び R1 調査でも同様の設問を設けているが、過疎地域等の集落を取り巻く環境変化を踏まえ、回を追うごとに選択肢が追加されている(今回調査では選択肢の追加はなし)。このため、本調査を含めた4回の調査で共通する選択肢に限り、各選択肢の回答数と合計回答数から分野別の回答割合の変化を分析すると、「自然環境」や「景観」等に係る問題から「生活基盤」、「災害」、「地域文化」に係る問題へと、集落を取り巻く問題が変容していることがわかる。
- なお、「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類されているが、産業基盤の維持・保全に関わる問題でもあるため、これを「産業基盤」として再集計すると、H22 年調査以降は集落で発生している問題全体の約4分の1が「産業基盤」に係る問題であることがわかる。

図表3-5 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合(従来の分類)

分野	回答割合 (%)				回答数				選択肢数
	R06	R01	H27	H22	R06	R01	H27	H22	
生活基盤	22.4	22.1	21.5	17.8	2,281	2,044	1,799	1,118	5
産業基盤	16.2	16.6	16.3	16.6	1,651	1,537	1,368	1,042	4
自然環境	8.2	8.4	8.6	10.7	836	776	721	670	4
災害	12.7	12.5	12.4	11.7	1,301	1,160	1,037	733	3
地域文化	15.0	14.7	15.0	14.6	1,530	1,362	1,260	915	4
景観	8.8	8.9	9.4	11.0	903	822	790	692	4
住民生活	16.7	16.9	16.7	17.7	1,702	1,564	1,400	1,110	5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	10,204	9,265	8,375	6,280	29
1市町村平均回答数					9.6	9.0	8.1	7.9	

※「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類。

図表3-6 多くの集落で発生している問題・現象の分野別回答割合の経年比較(新たな分類による再集計)

分野	回答割合 (%)				回答数				選択肢数
	R06	R01	H27	H22	R06	R01	H27	H22	
生活基盤	22.4	22.1	21.5	17.8	2,281	2,044	1,799	1,118	5
産業基盤	23.5	24.0	24.0	24.5	2,397	2,223	2,007	1,541	5
自然環境	8.2	8.4	8.6	10.7	836	776	721	670	4
災害	5.4	5.1	4.8	3.7	555	474	398	234	2
地域文化	15.0	14.7	15.0	14.6	1,530	1,362	1,260	915	4
景観	8.8	8.9	9.4	11.0	903	822	790	692	4
住民生活	16.7	16.9	16.7	17.7	1,702	1,564	1,400	1,110	5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	10,204	9,265	8,375	6,280	29
1市町村平均回答数					9.6	9.0	8.1	7.9	

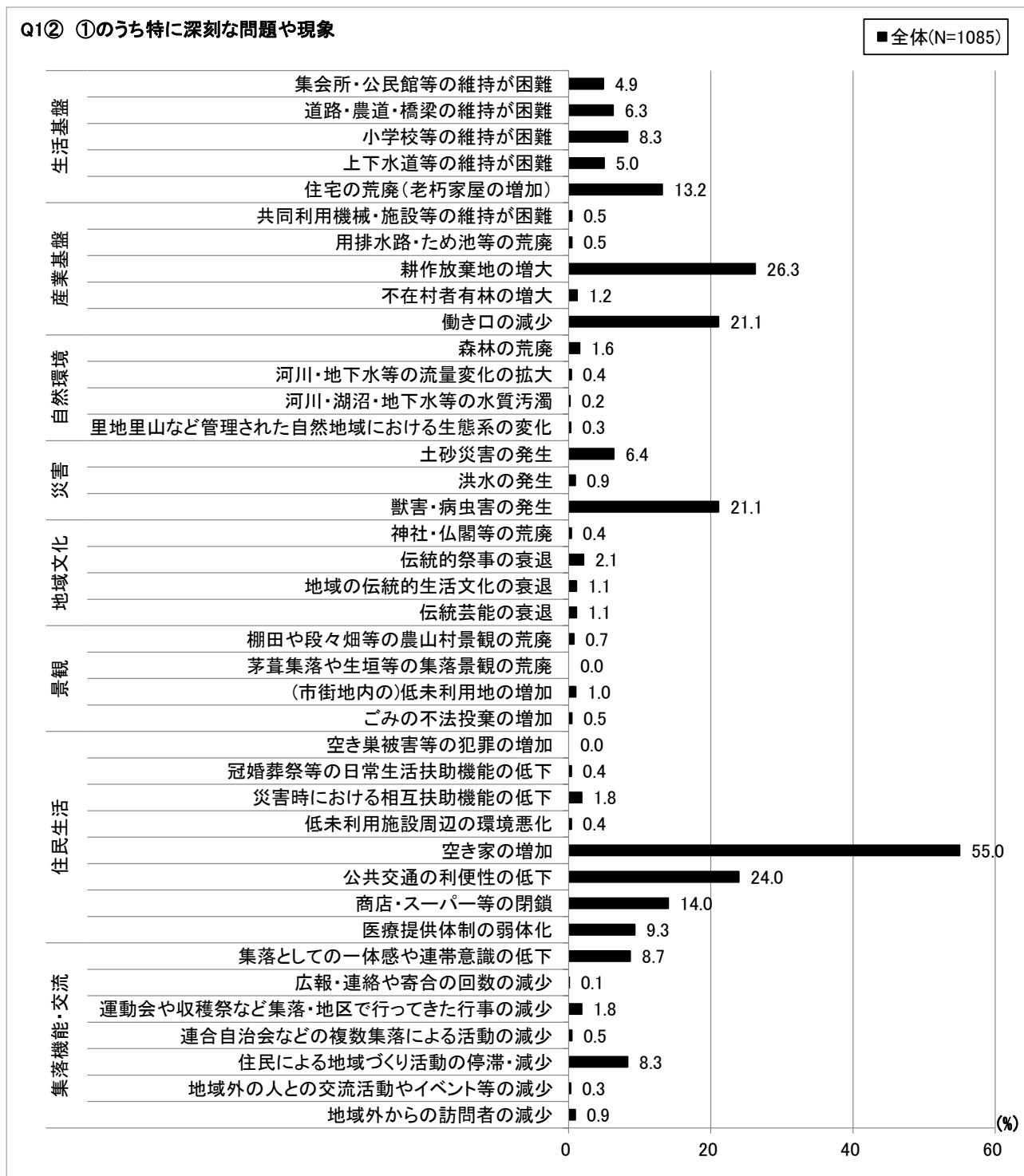
※「獣害・病虫害の発生」を「産業基盤」に分類して再集計。

問1② ①で回答いただいた貴市町村内の多くの集落で発生している問題や現象のうち、特に深刻な問題となっているものを3つまで選び、◎を入力してください。

【全体集計】

■特に深刻な問題となっているものとしては、「空き家の増加」(55.0%)が最も多くの市町村から挙げられており、次いで「耕作放棄地の増大」(26.3%)、「公共交通の利便性の低下」(24.0%)などが高い割合となっている。

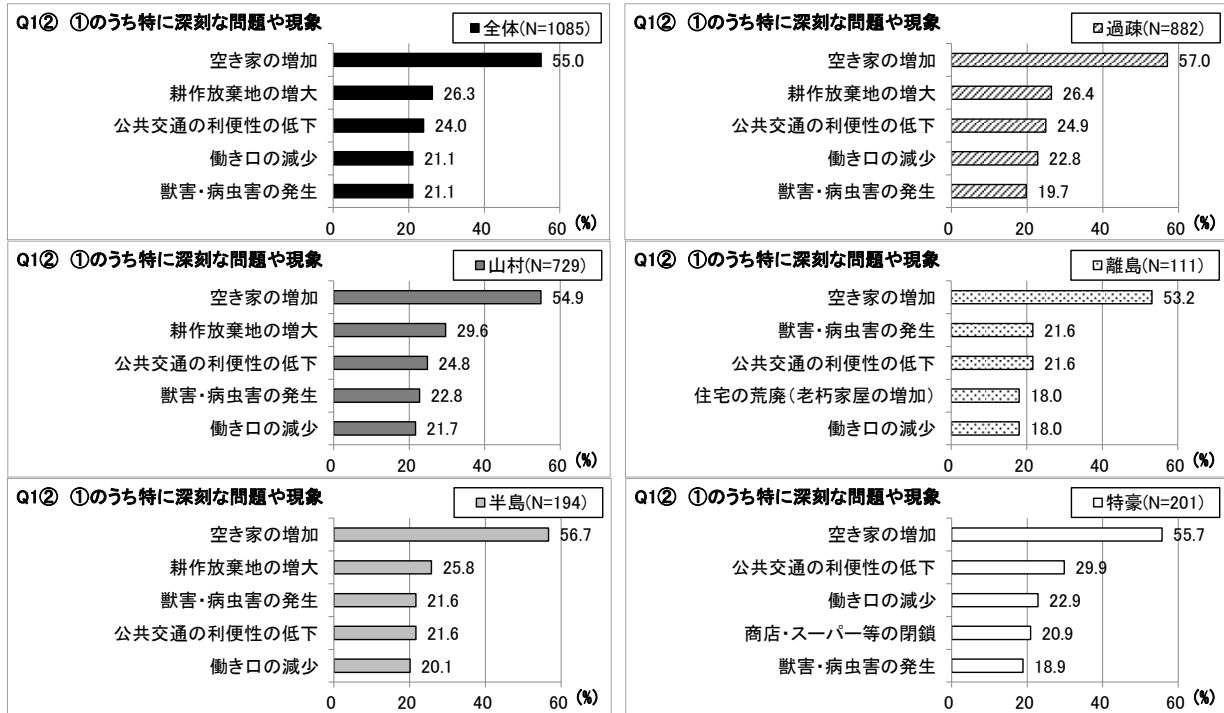
図表3-7 多くの集落で発生している問題・現象のうち特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)



【地域指定別集計】

- 地域指定別でみると、第1位は「空き家の増加」で共通しており、かつ突出している。
- 第2位以降は地域指定により異なり、過疎地域、振興山村、半島地域は「耕作放棄地の増大」が、離島地域は「獣害・病虫害の発生」、特別豪雪地帯は「公共交通の利便性の低下」が第2位に挙げられた。

図表3-8 地域指定別 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題となっているもの(3つまで回答)



【分野別集計】

- 特に問題となっていることとして各市町村から挙げられた問題・現象について、総回答数に対する分野別の回答割合をみると、「住民生活」に関する問題が特に深刻であることがわかる。
- 過去3回の調査と比べると、H22 調査までは「災害」が最も深刻であったが、H27 調査以降は「住民生活」が最も深刻な問題となっている。

図表3-9 多くの集落で発生している問題・現象のうち、特に深刻な問題・現象の分野別回答割合

分野	回答割合 (%)				回答数			
	R06	R01	H27	H22	R06	R01	H27	H22
生活基盤	23.3	24.1	20.8	17.3	408	391	322	208
産業基盤	17.6	18.4	20.2	23.7	308	298	313	285
自然環境	1.5	3.1	4.9	9.3	26	50	76	112
災害	17.6	18.3	20.6	25.6	308	296	320	308
地域文化	2.9	1.9	3.5	3.8	51	31	55	46
景観	1.4	1.5	1.8	5.1	24	24	28	61
住民生活	35.7	32.7	28.1	15.2	625	530	436	183
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	1,750	1,620	1,550	1,203
1市町村平均回答数					1.6	14.6	1.5	1.5

※「獣害・病虫害の発生」は「災害」に分類。

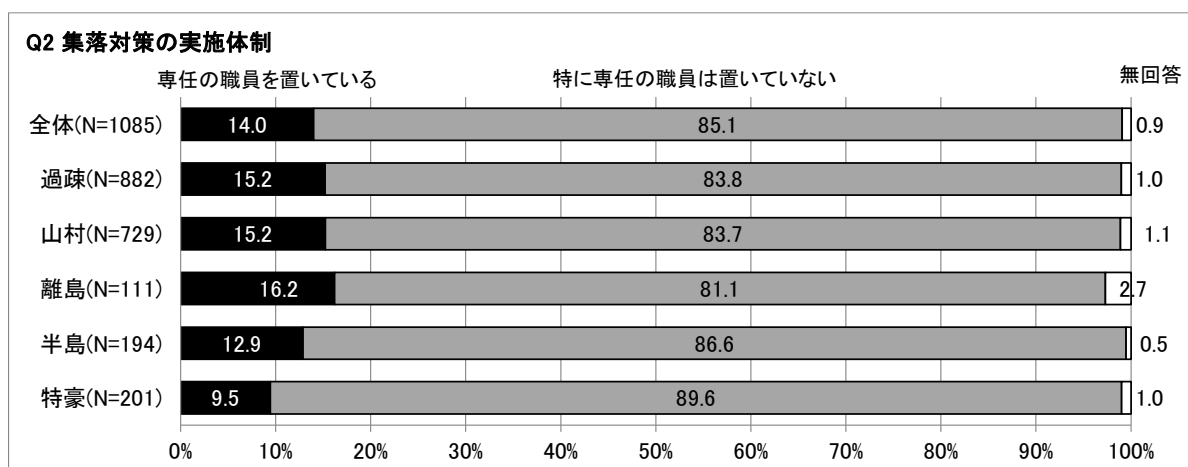
(2)市町村の集落対策に係る体制について

問2 貴市町村では、集落対策はどのような体制で行われていますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落対策に係る専任職員を配置しているのは全体の 14.0%であり、約9割の市町村は専任の職員は置いていないとしている。
- 集落対策に係る専任職員を配置している割合が最も高いのは離島地域(16.2%)であった。一方、特別豪雪地帯では、専任の職員を置いていないのは9.5%と、他の条件不利地域と比べて低くなっている。
- 専任職員を置いていない市町村ではどのような体制で集落対策を実施しているのかを記述回答より整理すると、総務・企画担当の職員や地域振興・過疎対策等の職員が集落対策を兼務しているケースが最も多くみられたほか、問題・課題に応じてそれぞれの担当課の職員が個別に対応するケースも比較的多かった。

図表3-10 集落対策の実施体制



図表3-11 集落対策に係る専任職員の平均配置人数

	全体 (N=152)	過疎 (N=134)	山村 (N=111)	離島 (N=18)	半島 (N=25)	特豪 (N=19)
専任職員数(人)	6.8	7.0	8.0	6.3	4.4	5.3

図表3-12 集落対策に係る専任職員を置いていない市町村における集落対策の実施体制(記述回答より整理)

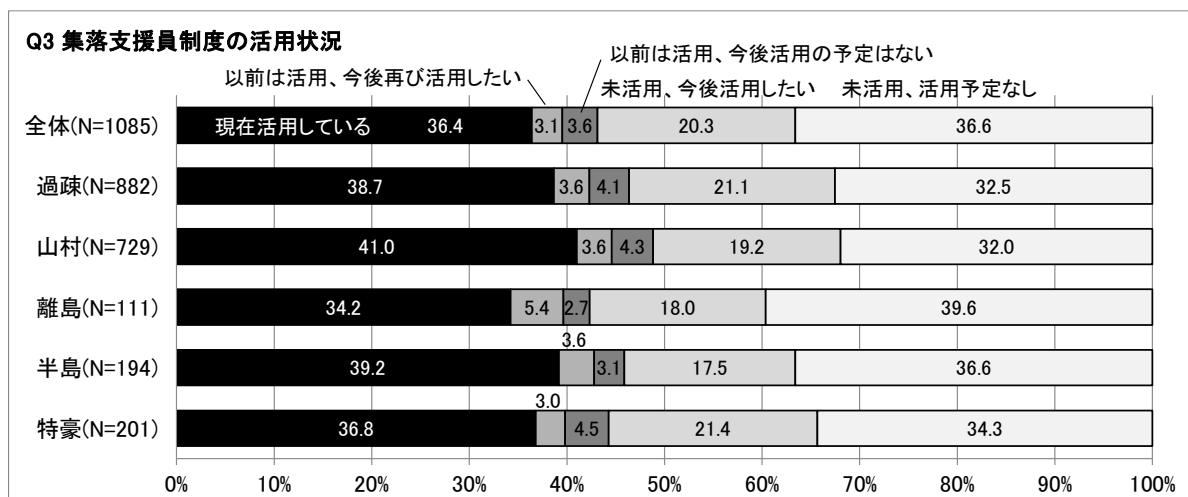
集落対策の実施体制 (複数に該当する回答あり)	回答数 (%)
総務・企画担当やまちづくり・地域振興・過疎対策等の担当が兼務	231 (31.2%)
事案・課題ごとに担当各課で個別対応	151 (20.4%)
その他の職員が他業務と兼任	111 (15.0%)
行政連絡員やまちづくり協議会・区長会等を通じて集落の現状や課題等を把握	70 (9.4%)
集落支援員・地域おこし協力隊を配置・活用	65 (8.8%)
担当職員を各地区や自治会等に配置(兼務)	47 (6.3%)
支所職員・公民館職員が担当(兼務)	44 (5.9%)
自治会や集落に補助金・交付金を交付し活動や取組を支援	16 (2.2%)
その他(プロジェクトチームを作って対応、など)	26 (3.5%)
特に対策を講じていない	56 (7.6%)
回答団体数(N)	741 (100.0%)

問3 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴市町村では当該制度を活用していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落支援員制度を「現在活用している」市町村は 36.4%で、「以前は活用していた」という市町村と合わせると、集落支援員制度の活用経験があるのは約4割である。一方、36.6%は「現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない」としている。
- 地域指定別でみると、集落支援員制度の活用が最も進んでいるのは振興山村であり、48.9%の市町村で現在活用中もしくは過去に活用したとされている。

図表3-13 集落支援員制度の活用状況



問3SQ（問3で1～3のいずれかを回答した場合）どのように活用している(していた)か、以下に具体的にご回答ください。また、「3」と回答された市町村は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。

【全体集計】

- 集落支援員制度の具体的な活動内容としては、「地域の現状把握や課題整理、課題解決方策の検討・実施」が最も多いほか、「住民の日常生活支援・高齢者等の見守り」や「集落調査・集落点検等の実施・支援」なども比較的多くみられる。

図表3-14 集落支援員の活動内容(記述回答より整理)

集落支援員の活動内容（複数に該当する回答あり）	回答数(%)
地域の現状把握や課題整理、課題解決方策の検討・実施	129 (30.1%)
住民の日常生活支援・高齢者等の見守り	123 (28.7%)
集落調査・集落点検等の実施・支援	117 (27.3%)
コミュニティ活動に対する支援	84 (19.6%)
地域運営組織等の設立・運営支援	55 (12.8%)
行政機関等との連絡・調整、集落と行政の仲介	50 (11.7%)
農林業活動等の支援	48 (11.2%)
コミュニティ施設等の運営に係る支援	34 (7.9%)
空き家調査や空き家・空き店舗対策に係る支援	29 (6.8%)
移住・定住に係る支援	28 (6.5%)
交流イベント等の情報発信等の支援	15 (3.5%)
学校などにおける子どもの活動に対する支援	2 (0.5%)
その他	42 (9.8%)
回答団体数(N)	429 (100.0%)

■集落支援員制度を「以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない」と回答した市町村において、現在活用していない理由をみると、「集落支援員のなり手がいない・人材不足」とともに、「予定していた期間が終了したため、所期の目的を達成したため」という理由が多く挙げられている。

図表3-15 集落支援員制度を活用していない理由（記述回答より整理）

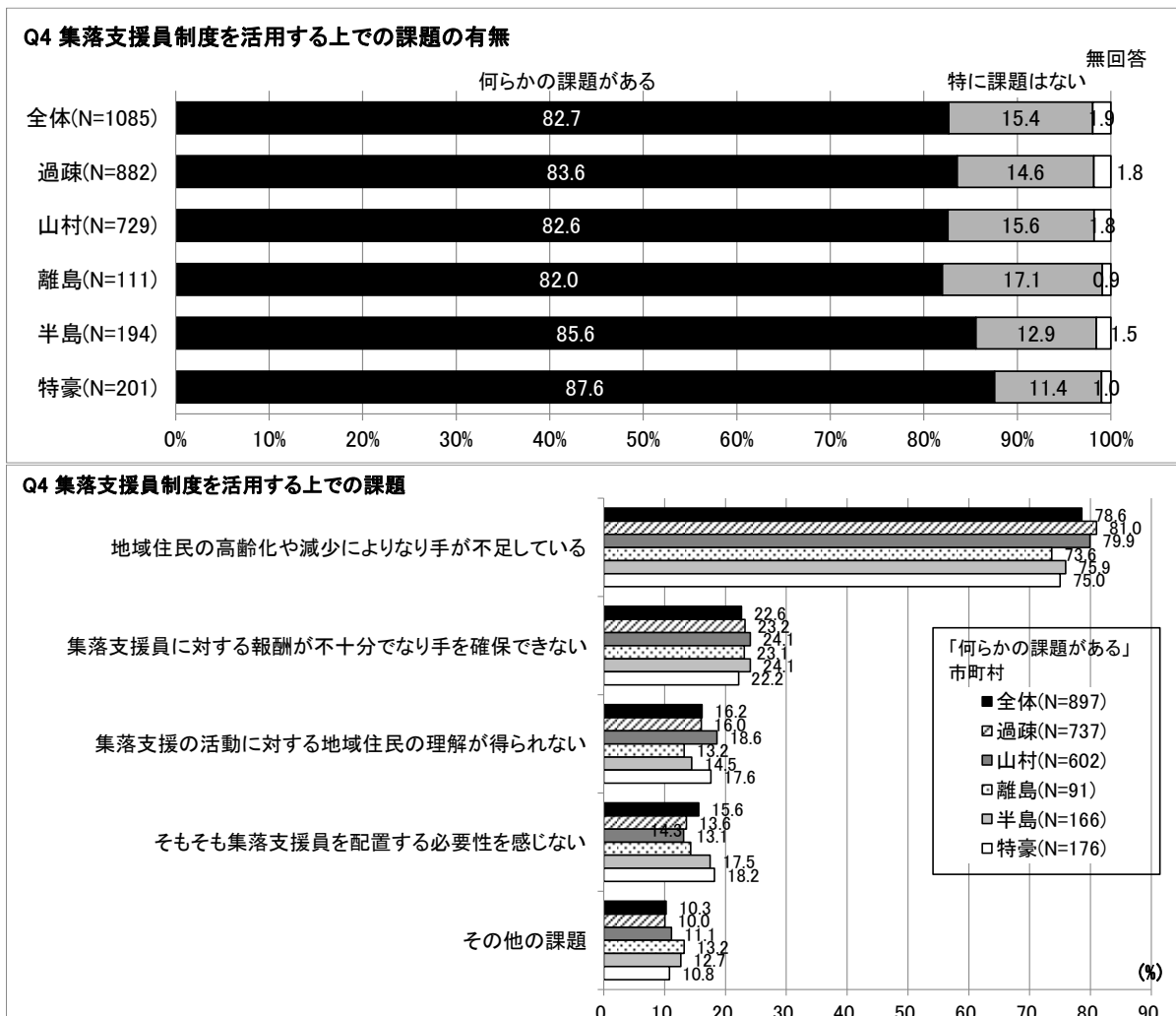
現在集落支援員制度を活用していない理由（複数に該当する回答あり）	回答数(%)
集落支援員のなり手がいない・人材不足	8 (20.5%)
予定していた期間が終了したため、所期の目的を達成したため	6 (15.4%)
地域おこし協力隊など他の類似制度・事業に統合又は変更したため	5 (12.8%)
市町村の独自制度に移行	2 (5.1%)
期待した成果が得られなかったため	2 (5.1%)
その他	10 (25.6%)
理由不明(無回答)	8 (20.5%)
回答団体数(N)	39 (100.0%)

問4 「集落支援員」制度を導入するにあたって、どのような課題がありますか。

【全体及び地域指定別集計】

■8割超の市町村は集落支援員制度の導入にあたって何らかの課題があるとしており、具体的な課題としては「地域住民の高齢化や減少によりなり手が不足している」ことが最も多くから挙げられている。

図表3-16 集落支援員制度の導入にあたっての課題



問5 「集落支援員」制度について、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。

【全体集計】

- 記述回答の内容から、集落支援員制度に対する要望等を整理すると、最も多かったのは集落支援員への報酬(特別交付税措置の上限額)の引き上げや拡充に関する要望であった。
- また、特に条件を付けず現行制度の継続を求める声や、制度の手引きやマニュアル、先進的な取組事例等の情報提供に関する意見も、比較的多く寄せられた。

図表3-17 集落支援員制度に対する要望等(記述回答より整理)

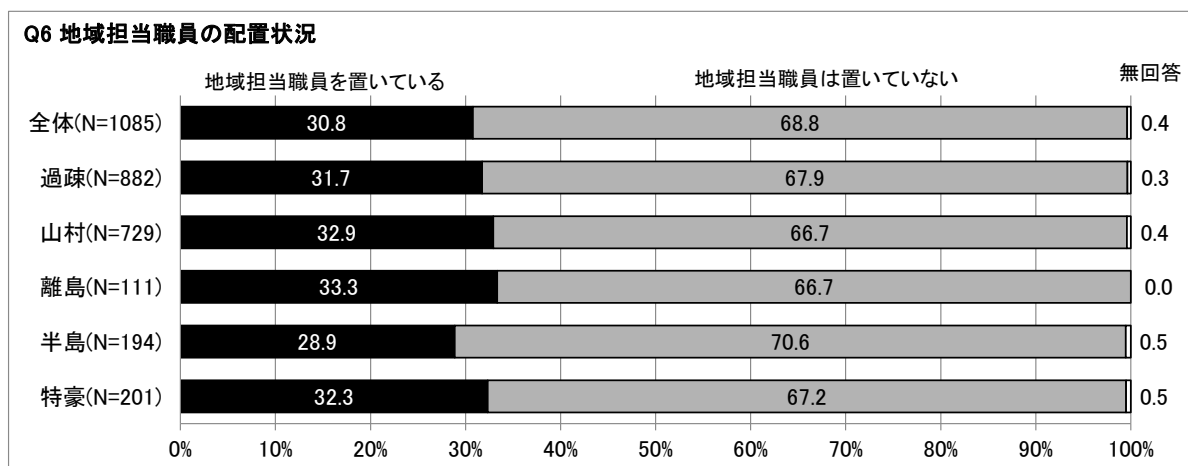
集落支援員制度に対する要望等 (複数に該当する回答あり)	回答数(%)	
集落支援員への報酬(特別交付税措置の上限額)の引き上げ・拡充	19	(18.3%)
特別交付税の確保と額の明示、継続的な財政支援	19	(18.3%)
制度の手引きやマニュアル、先進的な取組事例等の提供	15	(14.4%)
現行制度の継続	11	(10.6%)
現行制度の要件緩和や柔軟な活用を可能とする制度の見直し	8	(7.7%)
制度に関する説明会や集落支援員に対する研修会等の実施	8	(7.7%)
制度の周知・広報	8	(7.7%)
集落支援員のなり手となる人材の派遣	7	(6.7%)
特別交付税ではなく補助金・交付金又は普通交付税に移行	6	(5.8%)
他の類似制度・事業との役割分担の検討	6	(5.8%)
集落対策の抜本的な見直し	4	(3.8%)
その他	5	(4.8%)
回答団体数(N)	104	(100.0%)

問6 貴市町村では、地域を区分して各地域を担当する職員を置く制度を設けていますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 30.8%の市町村が地域担当職員制度を導入している。
- 1市町村あたりの配置人数をみると、全体平均では約59人(専任が11人、兼任が48人程度)であり、市町村あたりの人数では半島地域が最も多い。また離島地域では専任の地域担当職員は少ない。
- 配置部署別でみると、全体では本庁に37~38人程度、出先機関に12人程度配置されており、本庁への配置人数が最も多いのは半島地域である。

図表3-18 地域担当職員制度の実施状況



図表3-19 地域担当職員の平均配置人数

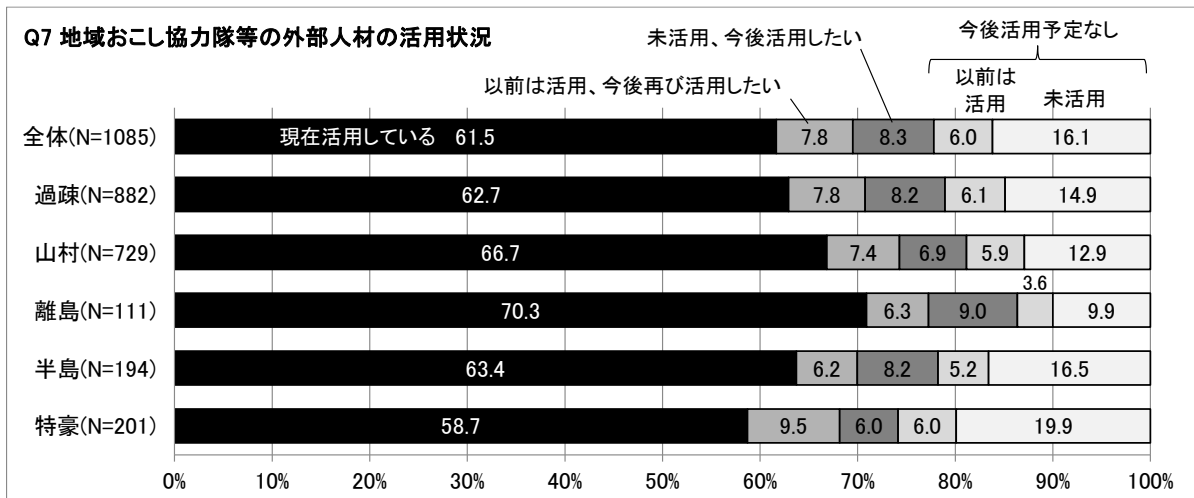
		全体 (N=334)	過疎 (N=280)	山村 (N=240)	離島 (N=37)	半島 (N=56)	特豪 (N=65)
職員数(人)		59.5	64.4	55.3	47.0	79.8	64.3
職制別	専任	11.0	12.2	10.0	3.4	19.1	7.5
	兼任	48.4	52.1	45.3	43.6	60.7	56.9
配置先	本庁	37.4	41.3	33.9	25.0	53.2	47.6
	出先機関	11.8	11.7	13.2	10.9	13.1	13.8
	その他	5.0	5.7	4.3	11.5	0.9	0.2

問7 貴市町村では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 61.5%の市町村が地域おこし協力隊等の外部サポート人材を活用しており、以前は活用していたという市町村と合わせると、約7割の市町村が外部サポート人材の活用経験がある。また、現在は未活用だが、今後活用したいという意向を8.3%の市町村が示している。
- 地域指定別にみると、現在最も活用しているのは離島地域であり、70.3%の市町村で活用がみられる。一方、現在の活用状況が最も低いのは特別豪雪地帯であり、今後活用する予定はないという市町村の割合も特別豪雪地帯では25.9%と最も高くなっている。

図表3-20 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)の活用状況

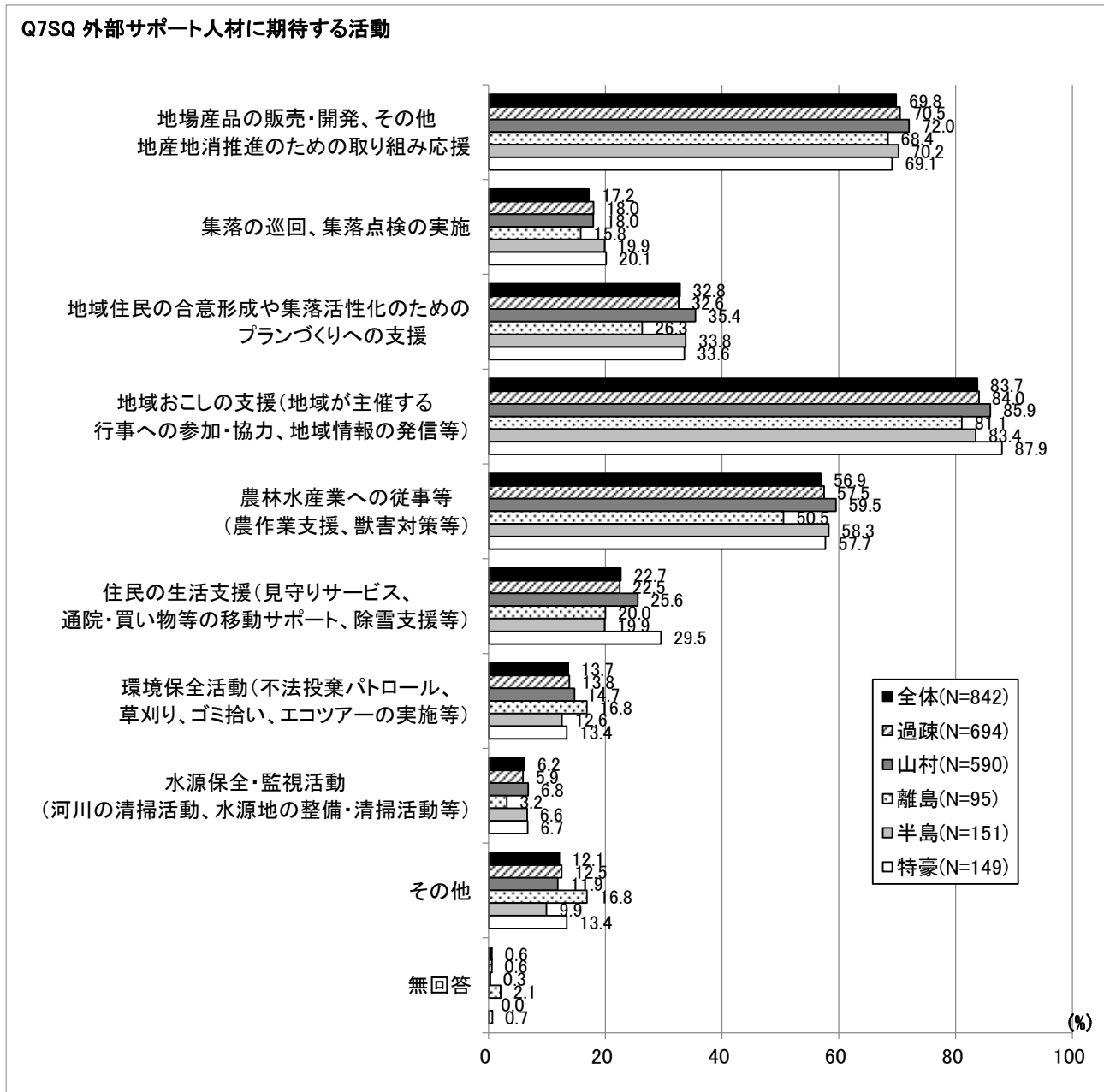


問7SQ（問7で1～3のいずれかを回答した場合）集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。

【全体及び地域指定別集計】

- 外部サポート人材を現在活用している、あるいは今後活用したいと回答した市町村に対し、外部サポート人材に期待する活動内容を聞いたところ、特に「地域おこしの支援」に係る活動と「地場製品の販売・開発、その他地産地消推進のための取組応援」についての期待が高いことが分かる。
- また、前回調査と比較すると、「農林水産業への従事等」についての期待が増加しており、外部サポート人材を現在活用している市町村の半数以上が挙げている。

図表3-21 外部サポート人材(地域おこし協力隊等)に期待する活動



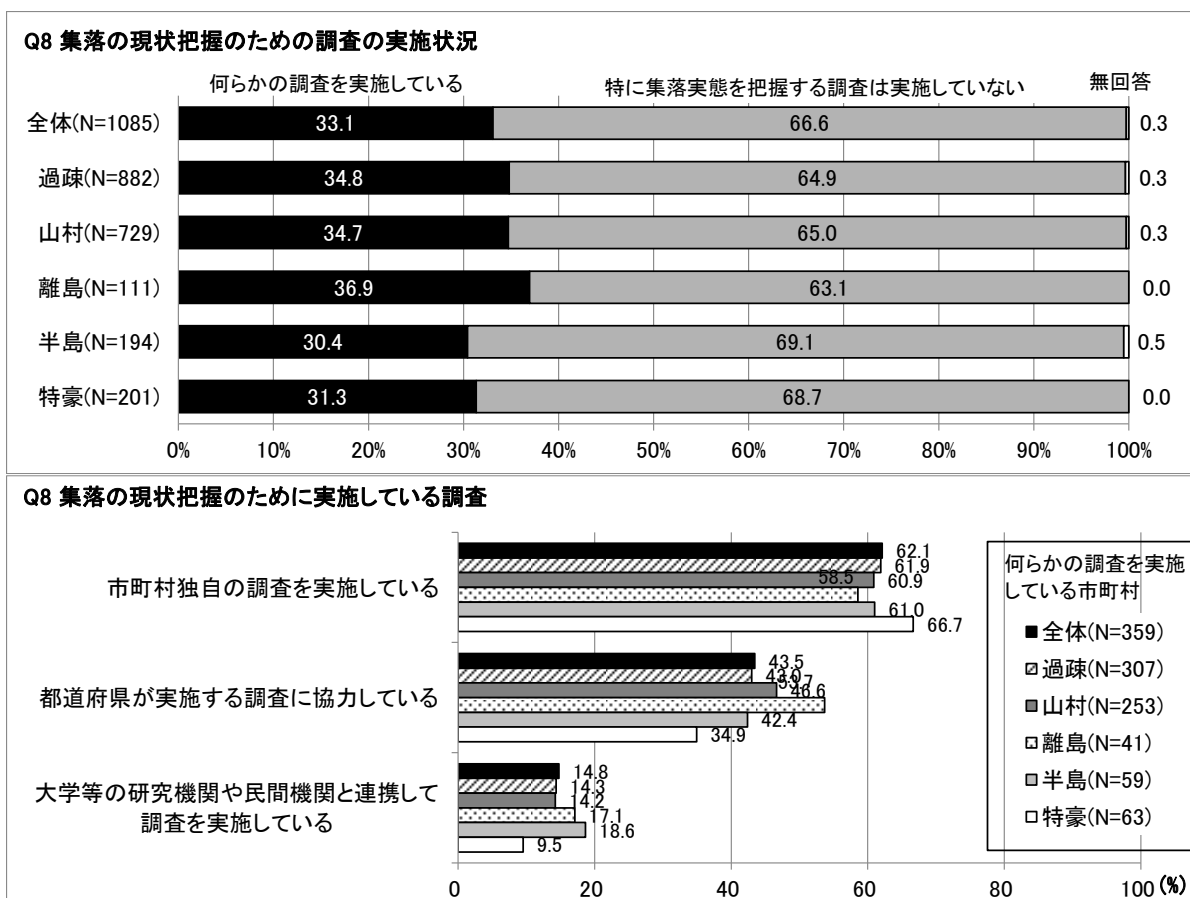
(3) 市町村における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

問8 貴市町村では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落の現状把握のための調査の実施状況をみると、全体の66.6%は特に実施しておらず、何らかの調査を実施しているのは33.1%である。過疎地域、振興山村、離島地域では、何らかの調査を実施している割合が他に比べやや高い。
- 実施されている調査の実施主体を詳しくみると、半数超では市町村独自の調査を実施しているほか、「都道府県が実施する調査に協力している」も4割程度挙げられている。

図表3-22 集落調査の実施状況

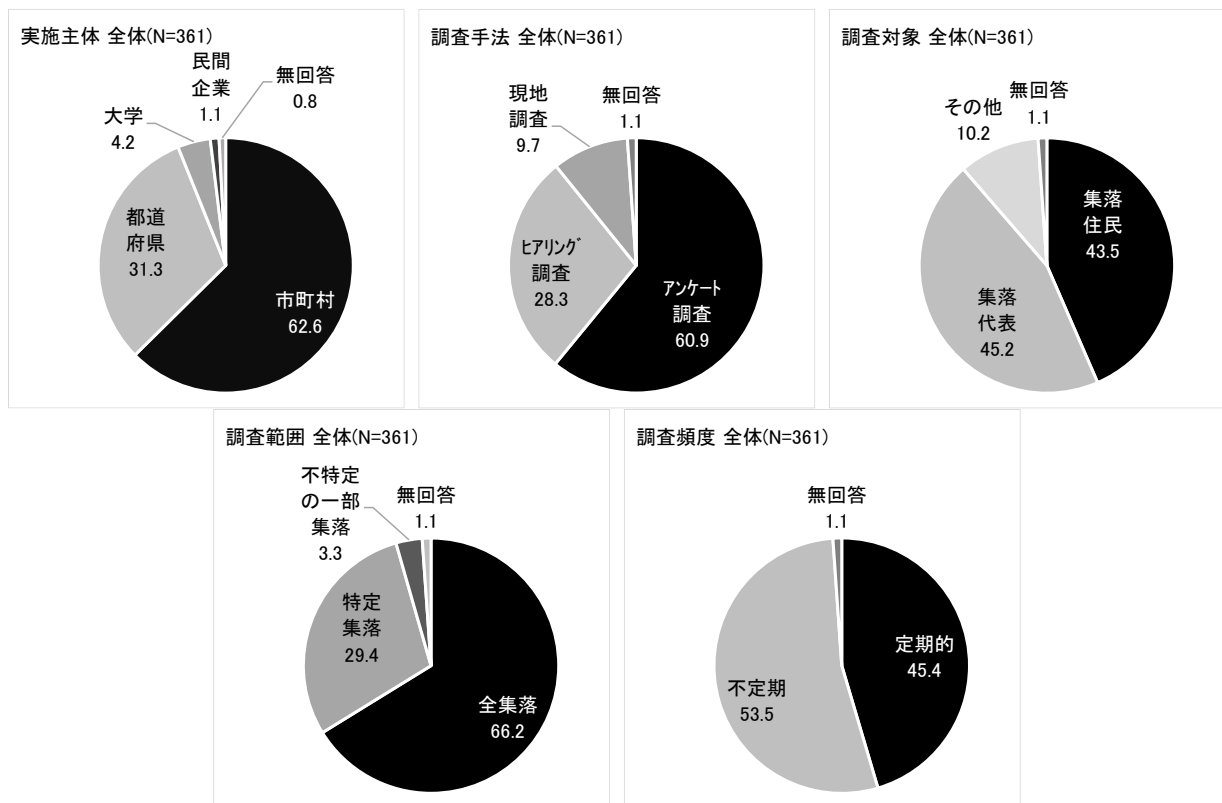


問8SQ（問8で1～3のいずれかを回答した場合）集落の実態を把握するために実施している調査（複数ある場合は代表的なもの）について、以下に具体的にご回答ください。

【全体集計】

- 集落の現状把握のために実施されている調査（複数ある場合は代表的な調査）の詳細をみると、実施主体としては「市町村」が最も多く、62.6%を占める。調査手法は「アンケート調査」が 60.9%を占めており、「ヒアリング調査」は 28.3%、「現地調査」は 9.7%である。
- 調査の対象や範囲をみると、「集落代表」を対象とした調査が半数近くを占めており、また市町村内の「全集落」を対象として実施しているものが 66.2%を占める。
- 調査の頻度としては、「定期的」に実施されているものは 45.4%で、半数以上は「不定期」で実施されている。

図表3-23 集落の実態を把握するために実施している調査の概要

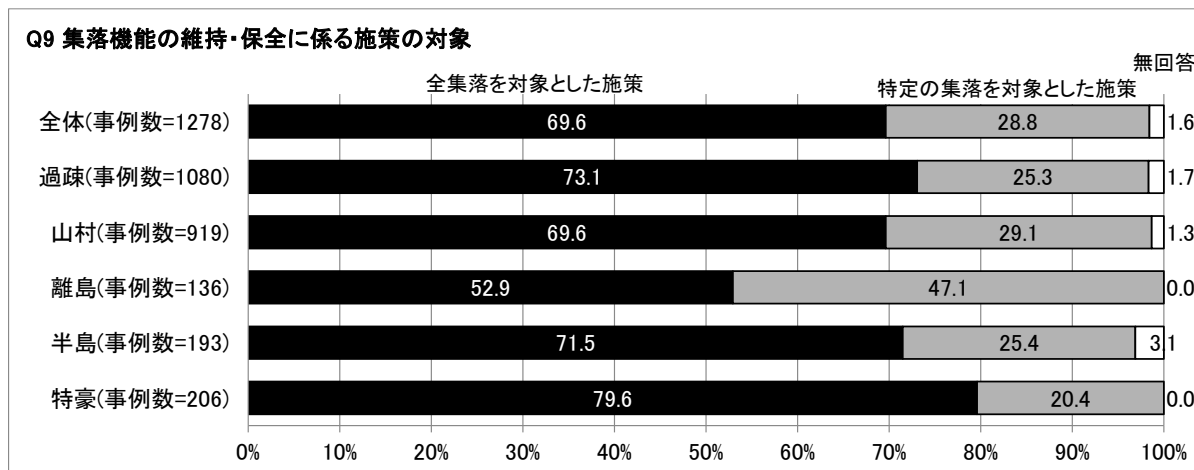


問9 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴市町村が行政施策として講じている対策があれば、代表的な施策を3つまで選び、以下に具体的にご回答ください。

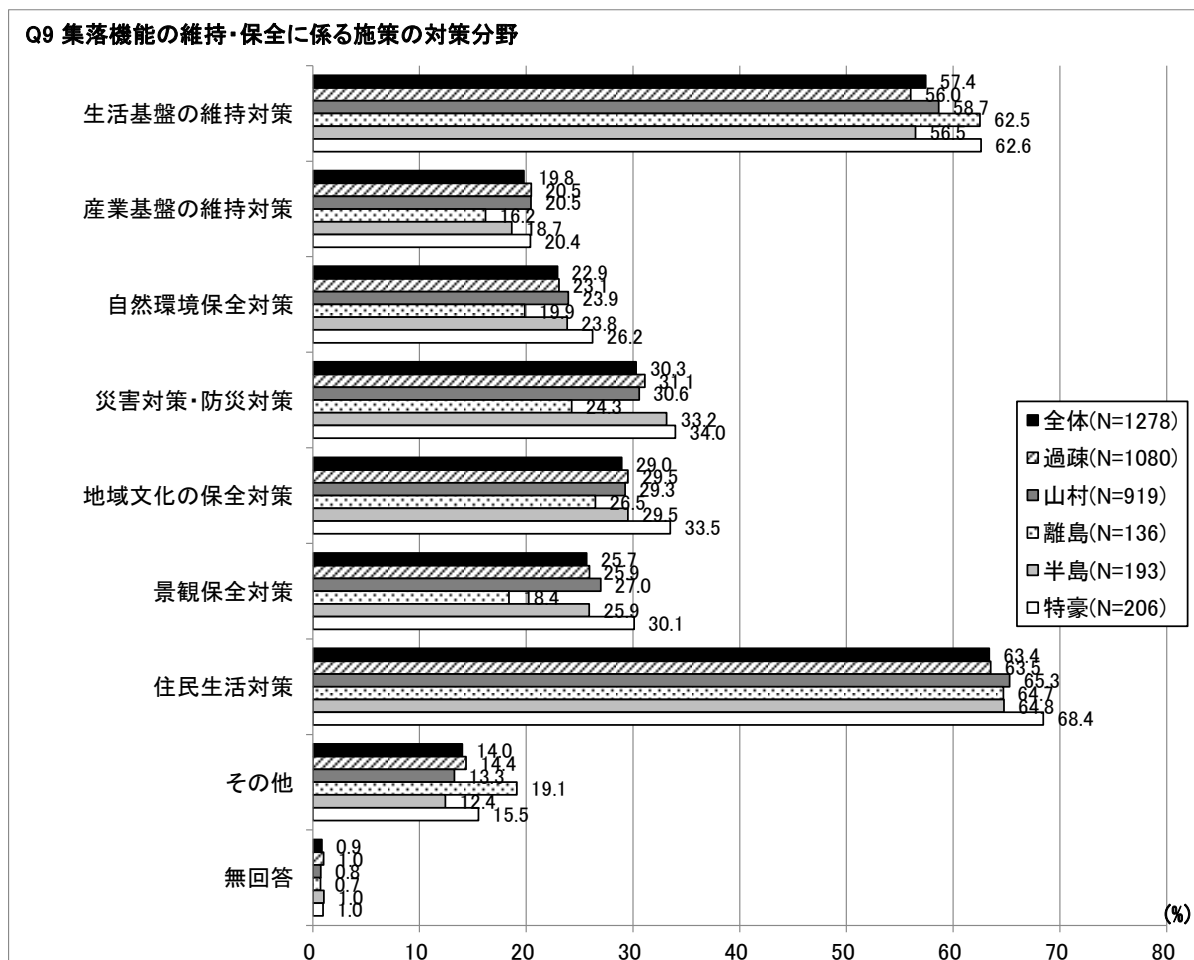
【全体集計】

- 集落機能の維持・保全に向けた行政施策の事例としては、1,278 件の事例が挙げられ、全集落を対象とした施策が 69.6%を占める。地域指定別で見ると、特別豪雪地帯では全集落を対象とした施策が 79.6%を占めるのに対し、離島地域では特定の集落を対象とした施策が 47.1%と他より高い割合となっている。
- 対策分野としては、「住民生活対策」(63.4%)と「生活基盤の維持対策」(57.4%)が特に多くみられる。

図表3-24 集落の維持・保全に向けた行政施策の対象



図表3-25 集落の維持・保全に向けた行政施策の対策分野



■施策の内容を記述回答から分類整理すると、大部分がソフト面での施策であり、特に集落や自治会等を対象とした活動費の助成に係る施策(491事例)や生活交通サービスの確保に関する施策(278事例)が多くみられた。また、ハード面での施策事例も生活・産業基盤の整備に関する施策を中心に225事例報告されている。

図表3-26 集落の維持・保全に向けた行政施策事例の内容(記述回答より整理)

施策の内容の分類と具体的な施策(例)		事例数(%)	
ソフト面での施策	集落や自治会等を対象とした活動費の助成に係る施策 ・広域活動組織が行う農地維持や資源向上事業に対し交付金を交付する ・自治会活動を支援するため、各自治会に対し自治会加入世帯数に応じて交付金を助成 ・町内会が自主的に企画し、行政課題の解決に資する事業の経費に対して助成する	491	39.2%
	生活交通サービスの確保に係る施策 ・「予約型乗合タクシー」及び「コミュニティバス」の運行主体である協議会への運営費の負担 ・高齢者や運転免許未所持者を対象にスーパーや銀行、公共施設などへの送迎を行っている ・定期バスの便が少なく、高齢者等が多い集落に対し、買物等支援バスを運行	278	22.2%
	生活支援や定住対策、空き家活用等に係る施策 ・買物に不便が生じている地域で移動販売を行う者に対し補助金を交付 ・都市住民に対し市内空き家を紹介し、利活用を図る ・住宅の新築、リフォーム、耐震改修、空き家購入及び住宅診断への補助金交付	146	11.7%
	集落活性化活動等の補助に関する施策 ・地域自主組織が交流センターを活動拠点として行う地域づくりの取組に対し交付金を交付 ・集落の維持・再生や活性化を図るために住民主体で取り組む集落活動センターの活動を支援 ・自治会や町民が組織する自主的な団体や個人が、自ら進んで取り組む地域づくり事業を支援	83	6.6%
	集落等の協働体制や医療・福祉等見守り体制の構築に係る施策 ・村内の児童・生徒が高齢者宅を訪問し、家屋内外の清掃や声かけ等を行う ・総合病院と連携した医療体制の維持・充実や医師確保対策のための補助・負担金支援 ・離島における医療の充実のため、医師の派遣に加え、テレビ電話を用いた遠隔診療を行う	39	3.1%
	地域づくりに係る調査や研究・開発、計画策定等に関する施策 ・大学と連携し集落の現状についてのヒアリングと住民ワークショップの実施 ・地域課題解消に向けた地域意見(事業計画書)を市の施策に的確に反映する仕組みを構築 ・各地域のありたい姿や目標、課題解決等の事業を明確化する地域づくり計画の策定支援	37	3.0%
	地域人材の確保や配置、育成に係る施策 ・地域防災力の向上と防災活動を指導できるリーダーの養成を目指し、講習会を開催 ・まちづくりの相談や指導、調整を行うことができる「まちづくりコーディネーター」を育成	33	2.6%
	小 計	1,107	88.3%
ハード面での施策	生活基盤や産業基盤の整備に関する施策 ・現地確認の上、緊急性の高い順に道路拡幅、排水整備、路面舗装などを計画、実施する ・自治会等が所有する施設などのハード整備補助や自治会等運営費補助を行う ・集落からの要望に応じて、道路等の修繕や砂利等の原材料を支給	92	7.3%
	施設等の維持管理に関する施策 ・行政区が実施する集会施設等の整備事業に対し補助金を交付 ・集落施設の建設及び改修に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付 ・集会所の整備補修、地区防犯灯の整備・補修、地区集会所の空調設備の整備・補修	74	5.9%
	既存施設の改修等に関する施策 ・集会施設の改修に関わる補助 ・地域集会施設整備(改修工事)への補助 ・公民館・集会所について、老朽化による雨漏りやバリアフリー化への対応等の維持・改修	31	2.5%
	活動拠点等の整備に関する施策 ・新たな交流拠点づくりに取り組む集落に対し、空き家等を活用した拠点の立ち上げ経費を支援 ・活動拠点となるコミュニティセンターを設置し、地域の様々な活動を行う拠点を運営 ・コミュニティ施設の建設、修繕、バリアフリー化、公共下水道等への接続、冷暖房設備の設置やコミュニティ掲示板の設置に必要な経費に対し補助金を交付	28	2.2%
	小 計	225	18.0%
総回答事例数(N)		1,251	(100.0%)

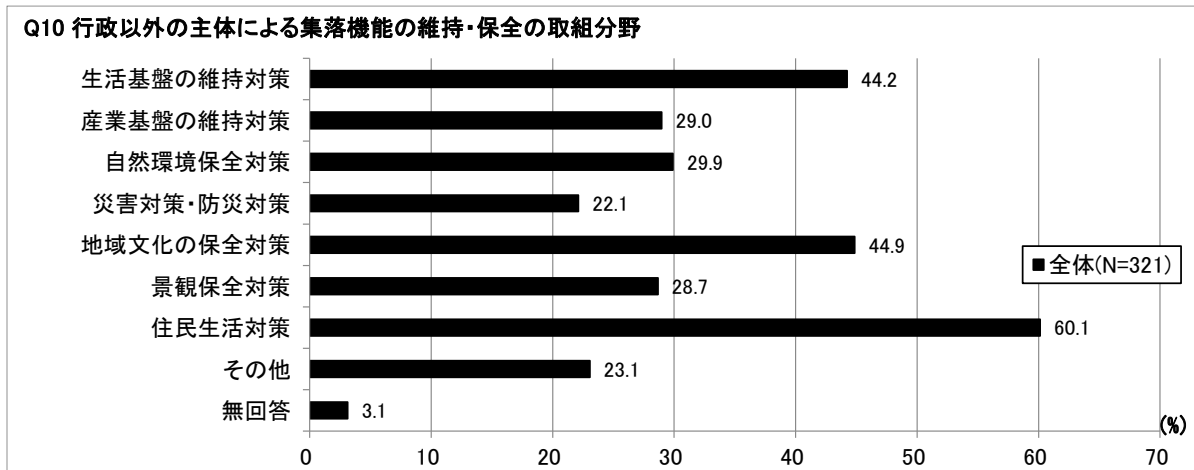
※複数に該当する回答あり

問10 行政による取組のほかに、集落間で連携を図り集落機能の維持・保全を図っている事例や、集落活性化のためにNPOや地域住民等が主体となって行っている取組など、特徴的な取組事例があれば、代表的な事例を以下にご紹介下さい。

【全体集計】

■NPOや地域住民等による集落活性化の取組事例は、321件挙げられた。分野としては住民生活対策、地域文化の保全対策、生活基盤の維持対策が多く、取組内容では、集落コミュニティの維持・活性化の取組事例や高齢者の生活支援に係る事例などが比較的多くみられた。

図表3-27 NPO等による集落機能の維持・保全に係る取組事例



図表3-28 NPO等による集落活性化事例の内容(記述回答より整理)

取組内容の分類	具体的な取組(例)	事例件数(%)
集落コミュニティの維持・活性化	・若者が地域課題解決を学ぶ場の運営等、地域課題解決の担い手の発掘・誘致 ・複数の集落で形成される協議会により地域課題解決や活性化のために協議	147 47.1%
高齢者の生活支援	・高齢者や障がい者世帯を対象に、住宅管理に関する事業を実施 ・独居老人等を中心に声掛けや安否確認、配食サービス、除雪等を実施	50 16.0%
都市との交流による集落活性化	・大学生の受入や「地域留学」による、農業実習や農村交流を通じた交流人口の増加 ・グリーンツーリズムを活用した都市農村交流	37 11.9%
地域文化の継承・保全	・集落の活性化に資するイベント開催等 ・農山漁村の生活(暮らしぶり)を体験いただく民俗博物館をコンセプトとした取組	37 11.9%
農林業や商業の活性化等	・林業・農業・福祉等、地域の雇用を創出しながら幅広い分野において活動 ・地域から集まる木材の薪加工やその材を使って作る加工品等を通じた地域活性化	33 10.6%
生活交通の確保	・デマンド型乗合交通について地域のNPO法人が協議会の一員として主体的に運行 ・通院や高校生の通学等、交通弱者対策として町会が中心となり送迎サービスを実施	32 10.3%
環境保全・景観保全	・遊休地、耕作放棄地の防止、田畑の復元による里山保全及び作物づくり、景観づくり ・重要文化的景観に選定された水荷浦の段畑の景観保全	31 9.9%
定住促進に向けた取組	・農家民宿体験等の教育旅行受入れ、修学旅行・体験型観光プログラムの開発・実施 ・特定地域づくり事業を活用し、移住支援と労働者派遣事業を実施	29 9.3%
特産品の開発・加工・販売	・農林業を柱とした特産品開発や地域景観の維持等を実施 ・JAや校区内集落等による協議会により、地場産品を中心とした産業まつりを開催	27 8.7%
集落環境の維持・整備等	・農業用水、集落用水として利用するため池の共同管理 ・地域イベントの開催、地域の環境整備等	21 6.7%
高齢者等の買い物支援	・移動販売による買い物支援 ・地域のボランティアが社協の車両貸し出しを受けて買い物支援を実施	19 6.1%
地域ぐるみでの防災防犯活動等	・自治会ごとに取り組んでいた福祉、生活安全等を一定のエリアで協働で取り組む ・環境美化活動や合同自主防災訓練などを実施	18 5.8%
住民による地域プランづくり	・集落支援員等による支援を受けながら、主体的なプラン策定や取組を実施 ・「子ども自治会」を結成し、アイデアを出しあい、企画から運営までを計画し挑戦	4 1.3%
その他	・小学校を改修し第一次産業体験型宿泊施設をつくり、地域と連携して運営	2 0.6%
総回答事例数(N)		312 (100.0%)

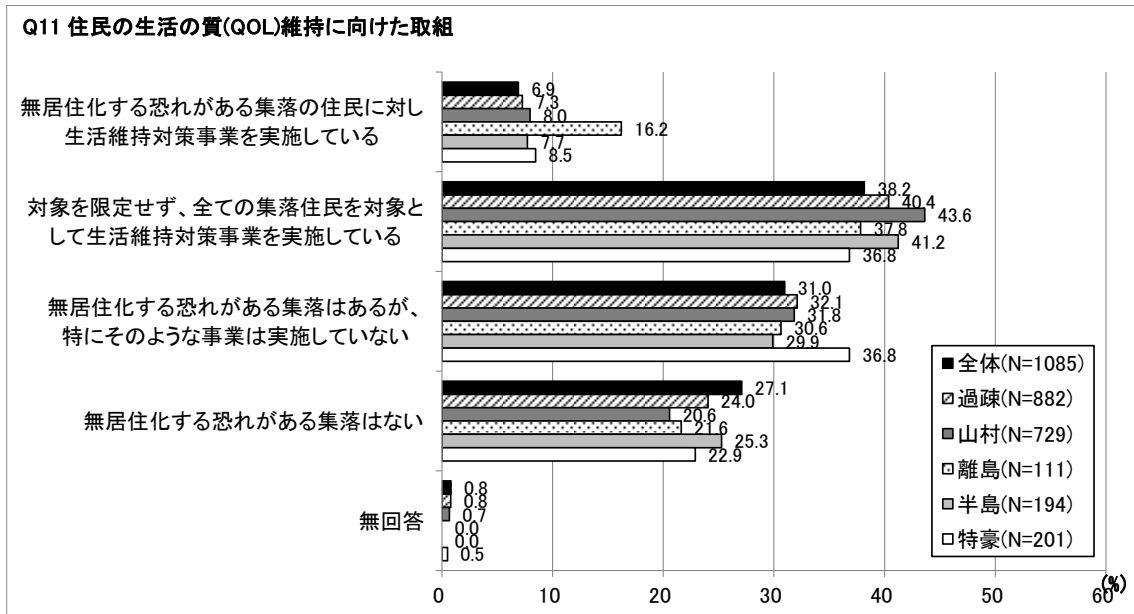
※複数に該当する回答あり

問11 貴市町村は、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落に対し、集落住民の生活の質を維持するために特段配慮した事業や行政サービス等(以下「生活維持対策事業」という。)を実施していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 「対象を限定せず、全ての集落住民を対象として生活維持対策事業を実施している」が 38.2%と最も多いが、「無居住化する恐れがある集落はあるが特に事業は実施していない」という市町村も約3分の1みられる。

図表3-29 無居住化する恐れがある集落に対する住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の実施状況

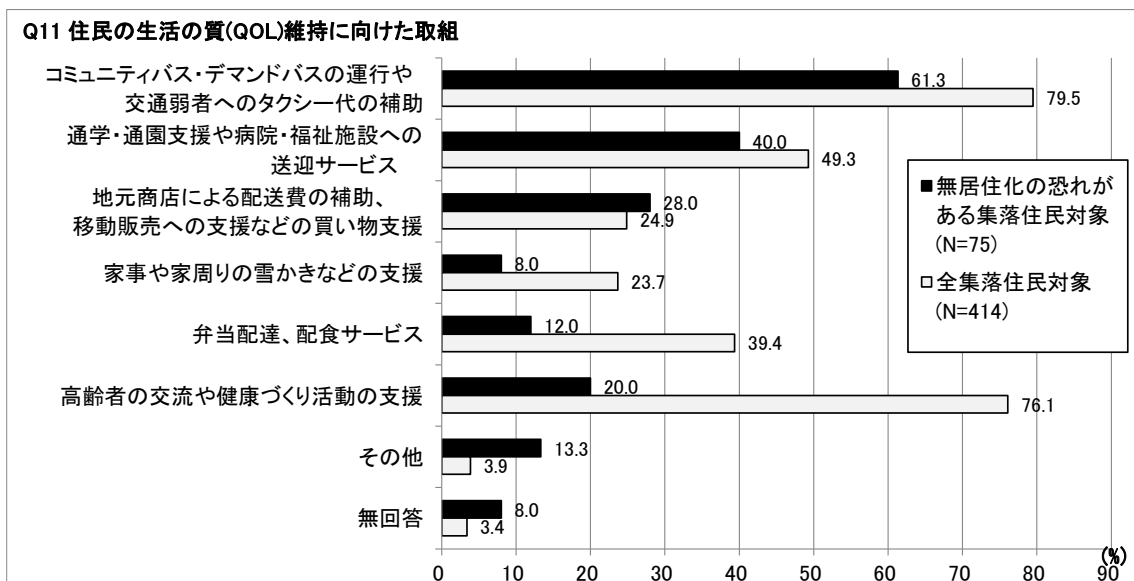


問11SQ (問11で1又は2と回答した場合)住民の生活の質を維持するために、どのような事業を実施していますか。あてはまる事業の番号を、事業の対象ごとに入力してください。

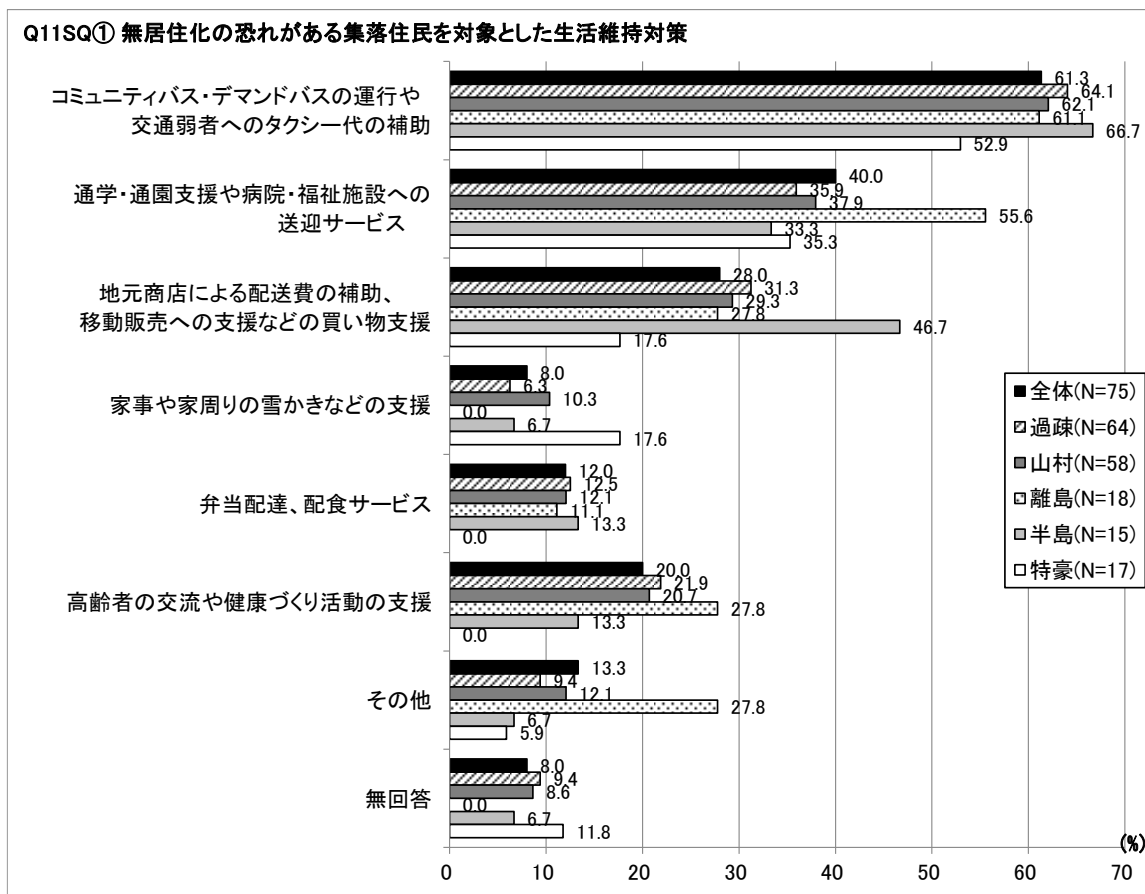
【全体及び地域指定別集計】

- 無居住化の恐れがある集落住民に対する事業としては、デマンドバスの運行や送迎サービスなど、生活交通対策に係る取組が多くみられる。
- 「高齢者の交流や健康づくり活動の支援」は対象者を限定しない事業としての取組が多い。

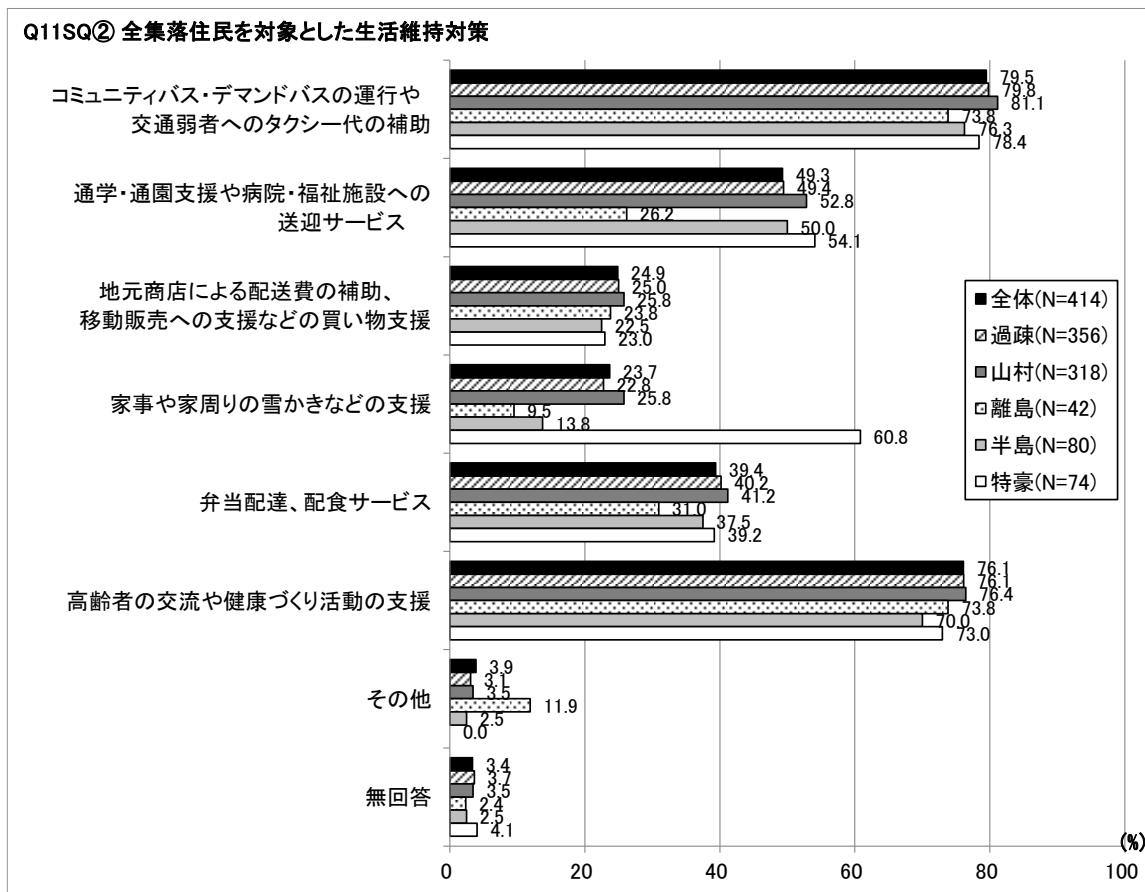
図表3-30 事業対象別でみた住民の生活の質(QOL)維持に向けた取組の内容



図表3-31 ①無居住化する恐れがある集落の住民に対する生活維持対策事業



図表3-32 ②全ての集落住民を対象とした生活維持対策事業

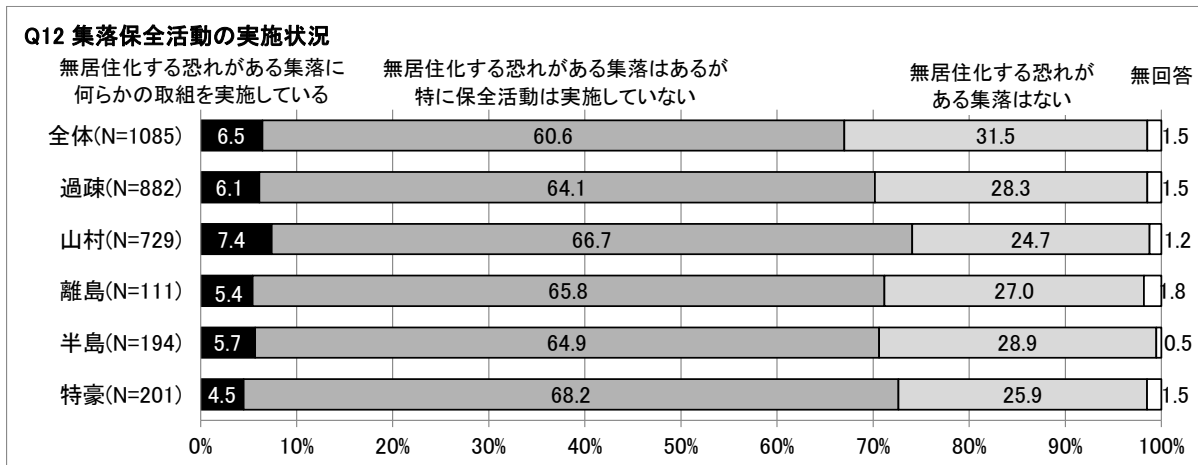


問12 貴市町村では、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落の地域資源を保全するために、何らかの取組を行っていますか。

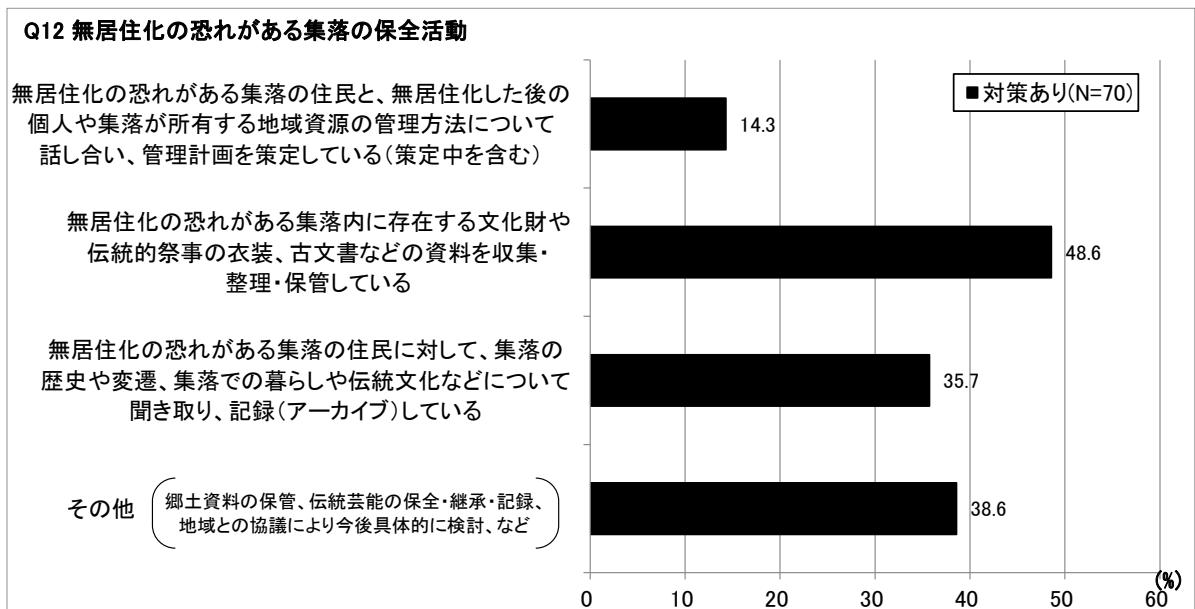
【全体及び地域指定別集計】

- 無居住化する恐れがある集落に対して何らかの保全対策を行っている市町村は 6.5%で、約6割の市町村は、「無居住化する恐れがある集落はあるが特に保全活動は実施していない」としている。
- 何らかの対策を行っている70市町村において実施されている対策の内容をみると、「無居住化の恐れがある集落の住民に対して、集落の歴史や変遷、集落での暮らしや伝統文化などについて聞き取り、記録(アーカイブ)している」や、「無居住化の恐れがある集落内に存在する文化財や伝統的祭事の衣装、古文書などの資料を収集・整理・保管している」が比較的多くみられた。

図表3-33 無居住化する恐れがある集落の保全活動の実施状況



図表3-34 無居住化する恐れがある集落に対する保全活動の内容

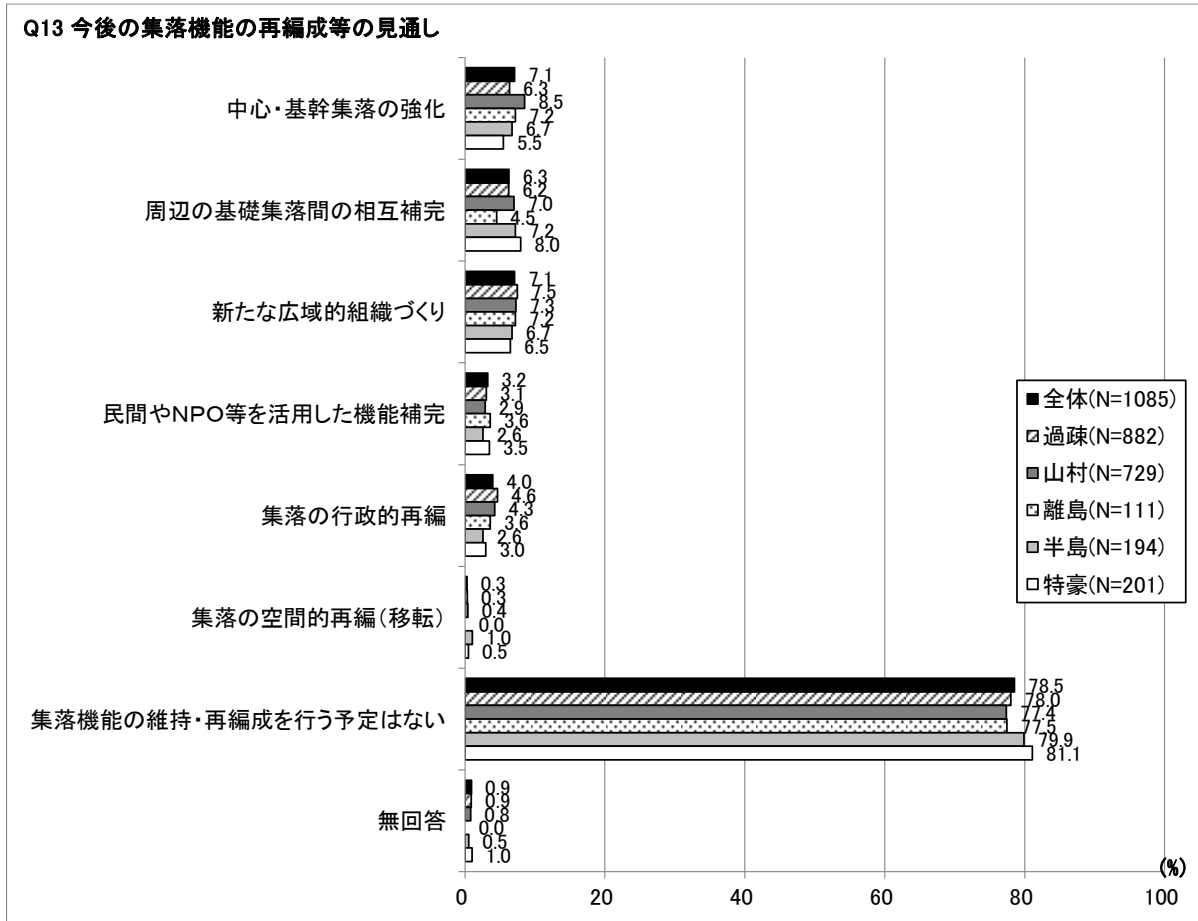


問13 貴市町村内の集落について、今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通しはありますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 集落機能の再編成については、78.5%の市町村が「行う予定はない」としている。
- 実施が予定されている対策の中では、「中心・基幹集落の強化」、「周辺の基礎集落間の相互補完」、「新たな広域的組織づくり」が比較的多くなっている。

図表3-35 今後の集落機能の維持・再編成の見通し



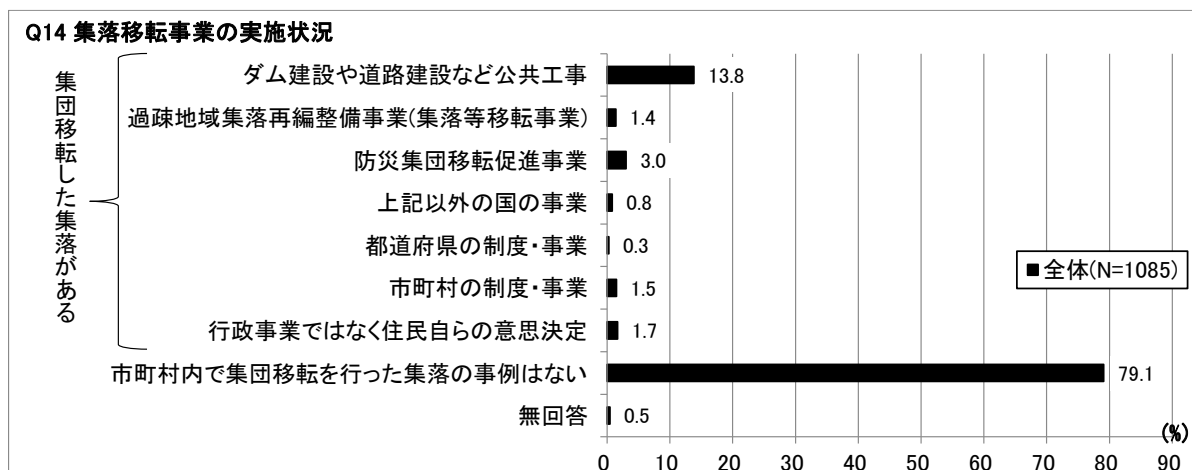
(4) 集落移転事業について

問14 貴市町村において、これまでに集落が集団で移転を行った事例はありますか。

【全体集計】

- 集落が集団で移転を行った事例の有無については、79.1%の市町村が「ない」としている。
- 集団移転した集落の事例としては、「ダム建設や道路建設など公共工事に伴い集団移転した集落がある」が13.8%と最も多い。

図表3-36 集落移転事業の実施状況



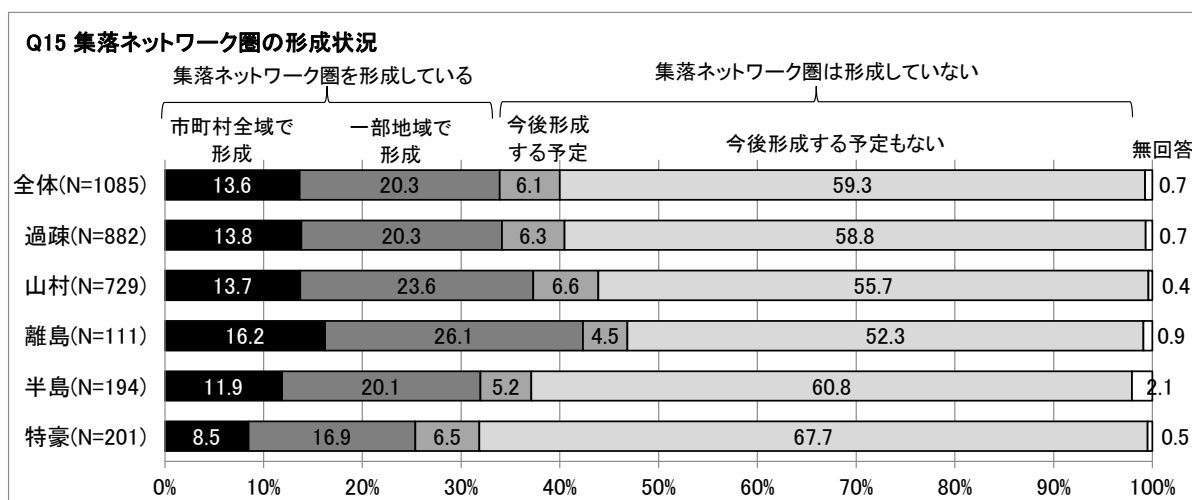
(5) 集落ネットワーク圏(小さな拠点)について

問15 貴市町村では、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)を形成していますか。

【全体及び地域指定別集計】

- 市町村全域又は一部地域で集落ネットワーク圏を形成しているのは 33.9%であり、なかでも市町村全域で形成している市町村は離島地域において16.2%と最も高い割合となっている。
- 今後形成する予定という市町村は6.1%みられ、既に形成している市町村と合わせると、離島地域では46.8%が集落ネットワーク圏への取組意向を示している。

図表3-37 集落ネットワーク圏の設定状況

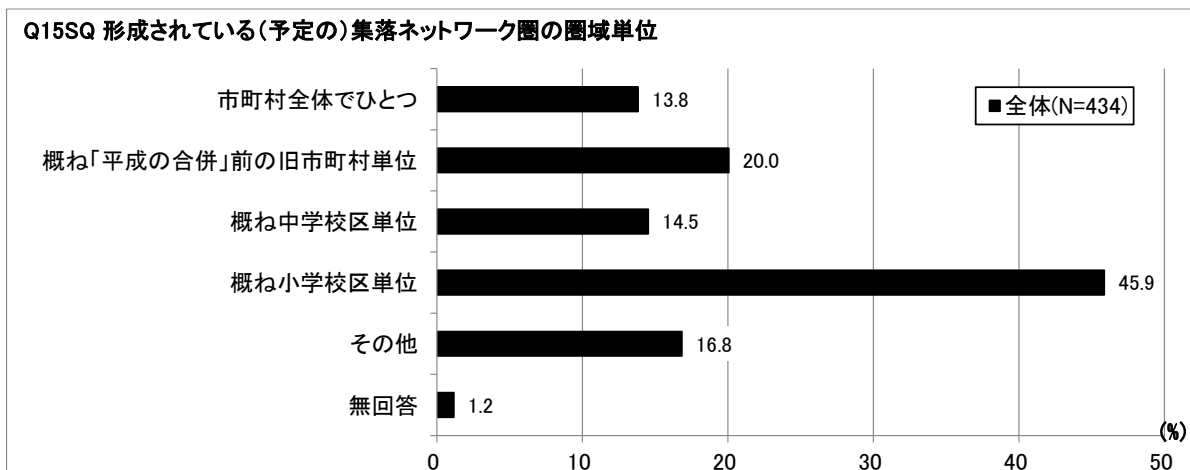


問15SQ (問15で1～3のいずれかを回答した場合)貴市町村で形成されている(形成を予定している)「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)のエリアとして該当するものをすべて選んで入力してください。

【全体集計】

- 集落ネットワーク圏のエリアとして最も多いのは「概ね小学校区単位」(45.9%)であり、これに次いで「概ね「平成の合併」前の旧市町村単位」が20.0%みられる。

図表3-38 形成されている(形成を予定している)集落ネットワーク圏のエリア

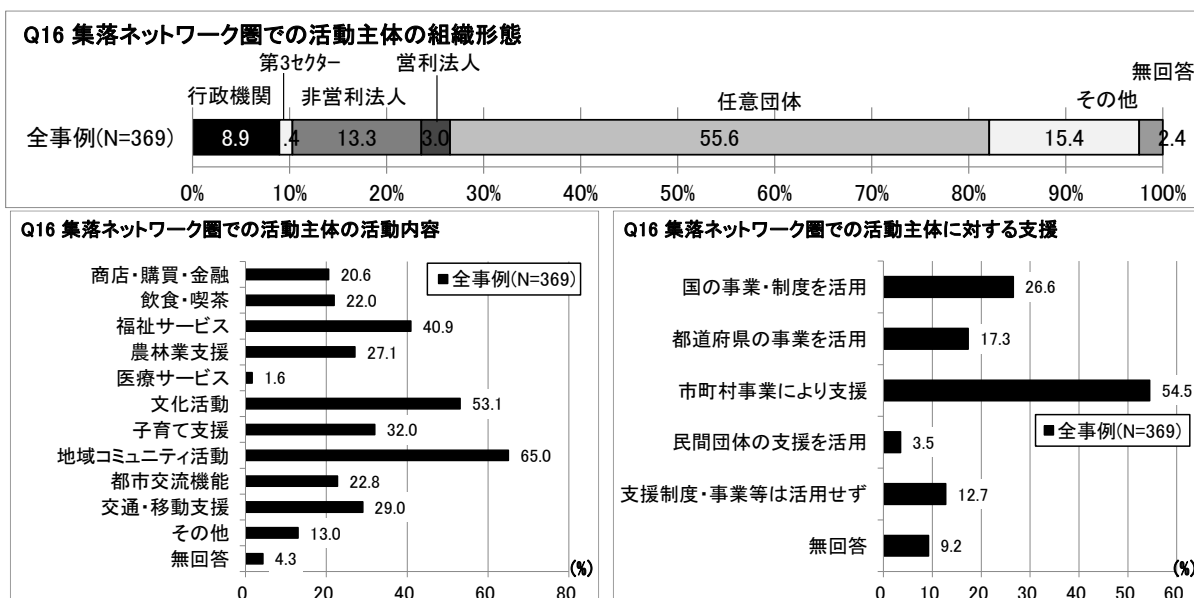


問16 貴市町村の中で、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)における取組があれば、代表的な取組事例を以下に3つまで具体的にご紹介ください。

【全体集計】

- 集落ネットワーク圏(小さな拠点)の具体的な事例として、369事例が挙げられた。
- 活動主体をみると、多くは任意団体であるが、非営利法人や行政機関が主体となった取組もみられる。
- 活動主体の活動内容をみると、地域コミュニティ活動が65.0%と最も多いほか、文化活動や福祉サービス、農林業支援、交通・移動支援なども比較的挙げられている。
- 集落ネットワーク圏での活動主体に対する行政支援をみると、54.5%の事例では市町村事業により支援が行われている。また、国の事業・制度を活用した事例も26.6%みられる。

図表3-39 集落ネットワーク圏の取組事例の概要

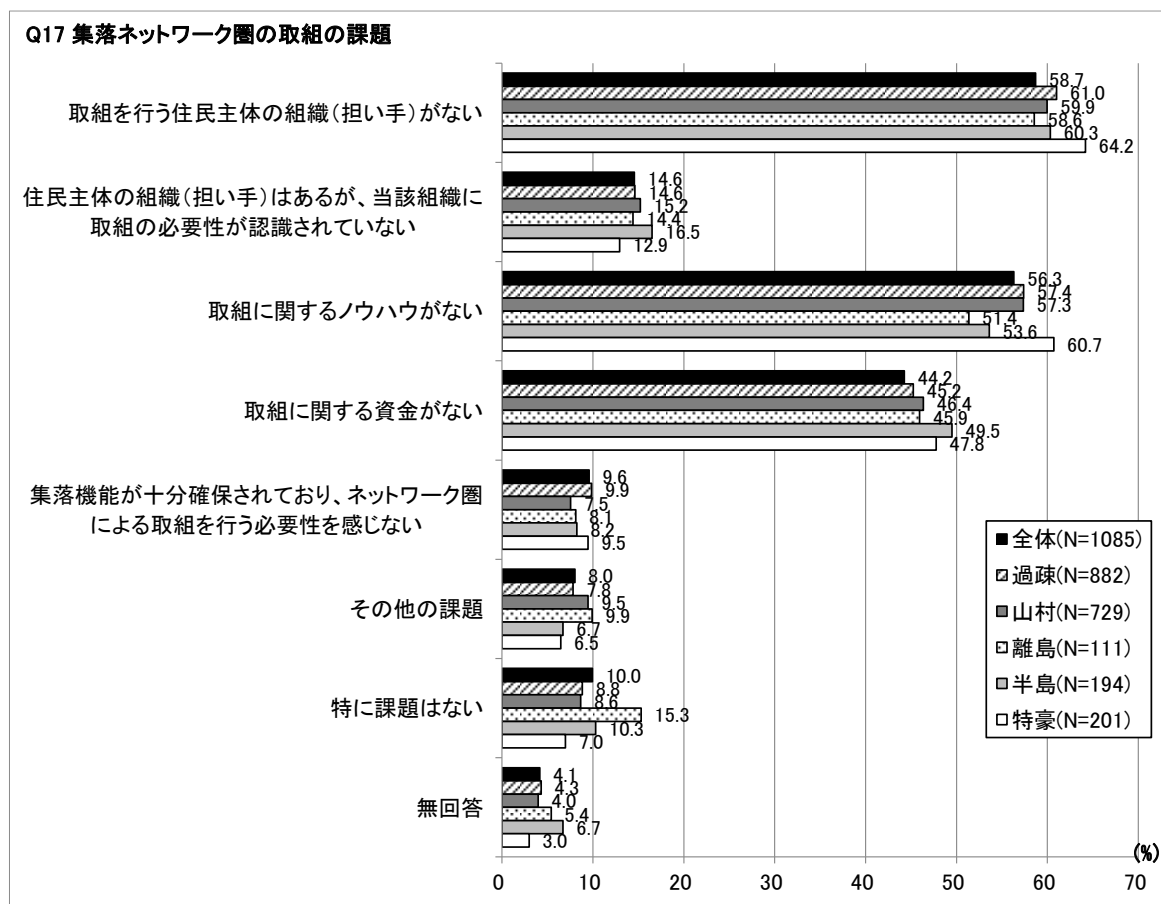


問17 貴市町村において「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)での取組を行うに際して、どのような課題がありますか。

【全体集計】

- 集落ネットワーク圏の取組に対する課題としては、「取組を行う住民主体の組織(担い手)がない」と「取組に対するノウハウがない」がともに半数以上の市町村から挙げられている。
- また、これらに次いで「取組に関する資金がない」も44.2%と比較的多くの市町村から課題として挙げられた。

図表3-40 集落ネットワーク圏の取組に対する課題



問18 上記の課題を解決するため、国等に要望することがあれば、以下にご回答ください。

【全体集計】

- 上記に呼応し、財政支援の拡充や取組に関する情報提供について多くの要望が挙げられた。

図表3-41 集落ネットワーク圏の取組に対する課題解決のために国等に求めること(記述回答より整理)

具体的な取組(例)	記述件数(%)
財政支援の拡充	49 (54.4%)
取組に関する情報提供・支援	16 (17.8%)
担い手の育成に関する情報提供や支援	11 (12.2%)
アドバイザーなど専門家の派遣	9 (10.0%)
地域特性に応じた柔軟な支援	8 (8.9%)
ハード支援の充実	3 (3.3%)
補助率が高い制度の創設	2 (2.2%)
過疎法指定要件の緩和	1 (1.1%)
その他	19 (21.1%)
総回答数(N)	90 100.0%

※複数に該当する回答あり

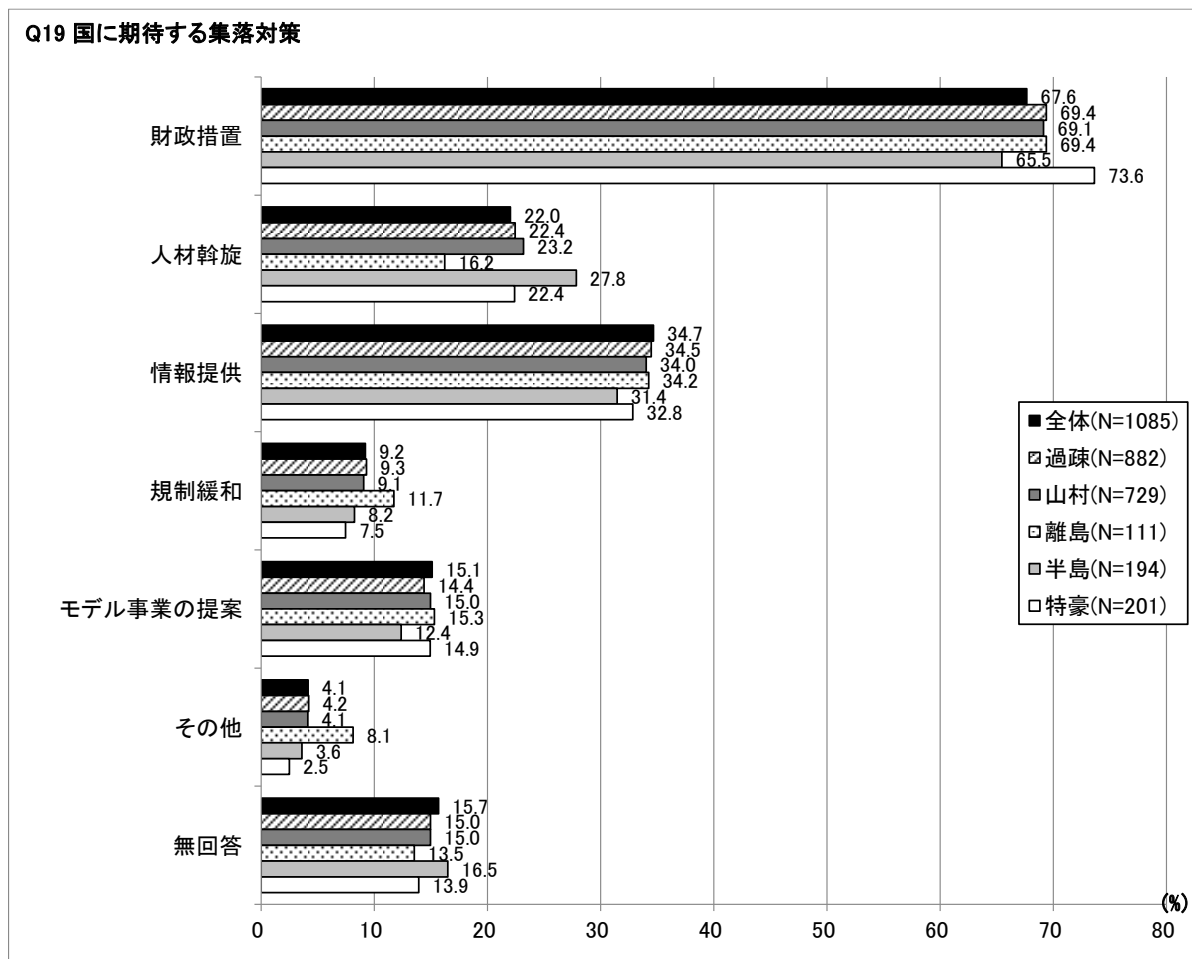
(6)その他

問19 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

【全体及び地域指定別集計】

■集落の維持・活性化に向けて国に「財政措置」を求める声が67.6%と多くの市町村から挙げられた。

図表3-42 集落の維持・活性化に向け国に期待する役割



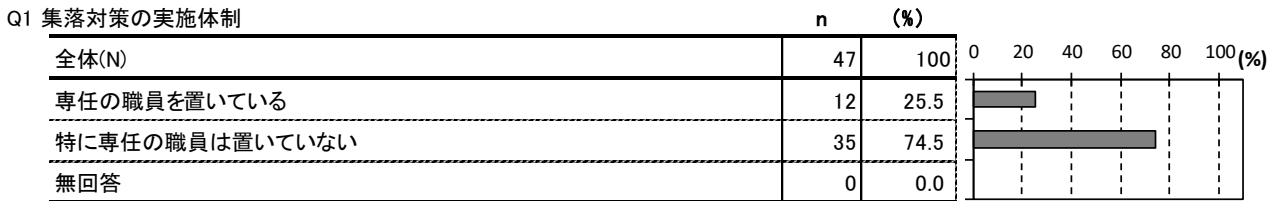
3-4. 調査結果（都道府県）

(1) 都道府県の集落対策に係る体制

問1 貴都道府県では、集落対策を担当する専門部署はありますか。

- 集落対策に係る専任の職員を置いている都道府県は 12 団体 (25.5%) であり、全都道府県の約7割では、集落対策に係る専任職員が配置されていない状況にある。
- 専任職員が配置されている 12 団体における具体的な配置状況をみると、1団体平均 9 人程度の専任職員が配置されている。

図表3-43 都道府県における集落対策の実施体制



図表3-44 都道府県における集落対策に係る専任職員の所属と活動内容

都道府県	人数	所属	活動内容
秋田県	6	地域づくり推進課 元気ムラ支援チーム	集落活動の情報発信、山菜等の地域資源を活用したビジネスへの支援、集落や多様な主体との交流促進など
山形県	4	みらい企画創造部 移住定住・地域活力創生課	・地域づくりアドバイザーの派遣 ・市町村地域づくり担当職員研修 ・過疎対策に関する調査、交付金事務等
富山県	4	ワンチームとやま推進室中山間地域対策課	関係市町と連携し、地域で活躍する地域運営組織等の多様な担い手と協働しながら、実際に集落等に出向き、地域課題の把握及び地域活性化に向けた取組の創出及び推進を支援している
京都府	4	農林水産部農村振興課地域連携支援係	・人口減少に対応できる地域運営体制づくりを推進支援 ・地域担当職員を置き、複数の集落連携に向けた取組を伴走支援
兵庫県	6	企画部地域振興課	広域的に集落機能を支え合う地域運営体制の構築に向けて、「持続可能な多自然地域プロジェクト」により、市町の地域づくり施策を支援するとともに、アドバイザーや有識者、市町担当で構成するプロジェクトチームを活用した、人材育成や地域づくり支援ツールの開発、関係人口の拡大に向けた仕組み作り等の検討・実践を進めている
和歌山県	2	地域振興課 地域支援班	住民生活の一体性を重視した「ふるさと生活圏」において、地域住民の主体性を活かした取組を総合的に支援する過疎集落再生・活性化支援事業の推進に関する活動
鳥取県	9	中山間・地域振興チーム	市町の中山間地域振興担当との連携・調整に関すること。
島根県	25	・中山間地域研究センター ・西部県民センター	中山間地域において、公民館エリアを基本単位として、住民同士の話し合いを通じた「小さな拠点づくり」を推進しており、各公民館エリアの取組を支援している（データ提供、事例紹介等）
岡山県	2	県民生活部 中山間・地域振興課	小規模高齢化集落等を含む地域で、小学校区等広域的な地域運営により集落機能の維持・強化を目指す地域を登録し、地域運営・活動支援、人材育成・人的支援、財政支援を実施
高知県	27	中山間地域対策課	・集落活動センターの立ち上げ、運営支援 ・地域おこし協力隊、集落支援員の導入支援 ・人口減少対策支援 ・生活用品、用水の確保、鳥獣対策支援 等
佐賀県	15	さが創生推進課	・日常的に地域に入り、地域住民と信頼関係を築きながら、地域資源を活かした地域主体の地域づくりをサポート ・H28 年度に「佐賀県中山間地・離島・県境振興対策本部」を庁内に設置し、全庁をあげて組織横断的に集落対策を行っている。
大分県	1	おおいた創生推進課	単独集落では立ち行かなくなる地域の機能を複数集落で補い合う「ネットワーク・コミュニティ」の構築を推進（集落の話し合いへの支援、地域運営組織の設立支援、地域課題解決への取組支援等の事業実施）

■一方、集落対策に係る専任の職員を配置していない団体における集落対策の実施体制としては、過疎対策や地域振興に係る担当者が集落対策を兼任するなどの例が比較的多くみられる。

図表3-45 都道府県における集落対策の兼務状況(記述回答より整理)

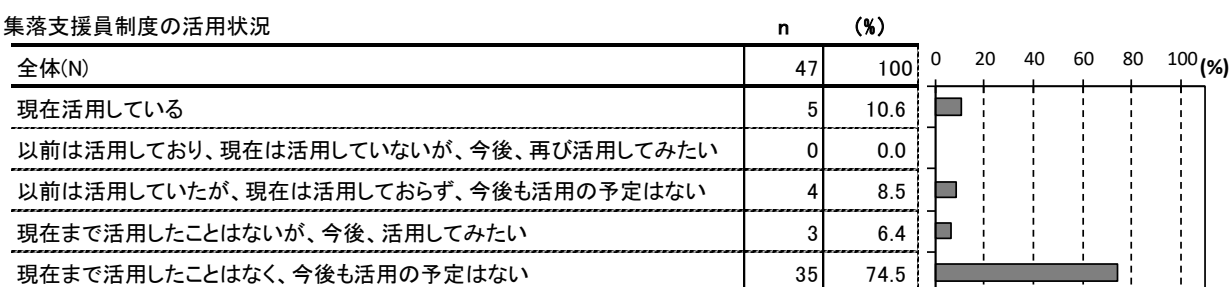
兼務体制	兼務の具体的な内容(例)
過疎対策担当が兼務	<ul style="list-style-type: none"> 条件不利地域担当者が兼務している(宮城県) 過疎対策の業務の一部として集落支援員制度のとりまとめや相談対応を実施している(岐阜県) 過疎対策、山村振興担当職員で兼務(熊本県)
地域振興担当が兼務	<ul style="list-style-type: none"> 総務局総務部市町村課地域振興室において、過疎地域及び離島振興全般を行っている(愛知県) 地域振興を担う係の職員が業務のひとつとして担当(なお、条件不利地域対策の担当課は複数課にまたがっている)(滋賀県)
関係課・各部局が分担	<ul style="list-style-type: none"> 各部局がそれぞれ必要な集落対策事業を実施している(栃木県) 各部局がそれぞれ集落対策を行っている(新潟県) 分野ごとに各課が対応している(石川県) 各分野の課題について、それぞれの部局が対応している。(三重県) 事務分掌において役割の一つとして実施(広島県) 本庁の中山間地域づくり推進課職員と出先機関の県民局職員が業務を担当(山口県) 過疎対策や地域振興を所掌する部署において、「中山間地域等集落活性化指針」(平成31年策定)に基づき、各集落が抱える課題の解決に向けた会議や人材育成研修を行う等、集落の維持・活性化を支援している(鹿児島県)
その他の兼務体制	<ul style="list-style-type: none"> 集落対策に未着手の市町村に、集落対策に着手するよう促すとともに、取組の定着に向け、集落住民や市町村を継続的に支援している他、道独自で実施している集落实態調査(2年に1度)の結果を踏まえ、専門家による研究会などで、地域における新たな課題の抽出などを行い、今後の取組の方向性を検討(北海道) 複数ある業務のうちの一つとして集落対策に関する業務を位置付け(長野県) 県内市町が実施する集落対策について、県単独事業で支援(福井県)
外部人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> 小さな拠点・地域運営組織形成を支援するための研修会や交流会の開催のほか、外部人材(地域おこし協力隊や大学生等)の力を活用した集落対策事業等を実施しており、複数名で兼務している(福島県)

問2 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴都道府県では当該制度を活用していますか。

■都道府県として集落支援員制度を活用しているのは5団体、過去に活用していたのは4団体、未活用だが今後活用してみたいという団体が3団体で、約7割は未活用かつ今後も活用する予定はないとしている。

図表3-46 都道府県における集落支援員制度の活用状況

Q2 集落支援員制度の活用状況



問2SQ（問2で1～3のいずれかを回答した場合）どのように活用している（活用していた）か、以下に具体的に回答ください。また、3と回答された都道府県は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。

- 都道府県としての集落支援員の活用は、集落点検等の直接的な取組に加え、住民どうしや地域内外との調整やコーディネート、地域の情報収集・発信等、多岐にわたっている。
- なお、活用をやめた理由としては、制度の周知・普及が進み市町村における取組が活発化したため、都道府県事業としての役割を終えたからという趣旨の回答が挙げられている。

図表3-47 都道府県として実施した集落支援員制度の活用内容（記述回答より整理）

都道府県	集落支援員制度の活用内容
秋田県	県内の集落を訪問し、地域情報の掘り起こしや集落間交流を促進するほか、県が運営するウェブサイト等で集落活動情報や魅力を発信する。
富山県	中山間地域での集落支援を推進するため、「地域コンシェルジュ」を課内に配置しており、関係市町、住民組織等と連携し、集落への目配りをしながら、地域課題の把握及び地域活性化に向けた取組の創出及び推進を支援している。
京都府	「半公半民」の立場で、地域組織のマネジメントを支援（マネジメントを担う役割を、地域運営組織や市町村に移したため）。
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の教授等と連携した集落等への直接支援（集落点検、話し合い促進等） ・市町村集落支援員との連携、支援 ・大学等と連携した集落等に対するサポート体制の構築、強化 ・地域づくりサポーターの業務支援 ・地域づくり情報の一元管理、発信 （現在活用していない理由）現在は各地域で集落支援員の活動が活発になり、県の支援には一定の効果を得たため。
島根県	H20～22年に中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業にて、県内市町村中5市町をモデル事業として選定し、4人の集落支援員（里山プランナー）を設置。市町村が設置する集落支援員の業務への直接支援及び助言、地域課題に対して経営的視点から地域に必要な機能・サービスを検討。
岡山県	集落の現状・課題の把握や住民同士の話し合いの促進、助言やコーディネート等を行う集落支援員を県出先事務所（県民局）に配置。
愛媛県	愛媛県移住コンシェルジュとして専任の集落支援員2名を設置し、移住対策等の業務を行っているほか、兼任の集落支援員1名を設置し、集落対策の業務を実施している。
高知県	中山間地域対策課に配置し、集落活動センターと大学との連携、集落活動センターの集落点検等の業務を行う。
宮崎県	県としては「集落対策支援員」を設置し、集落における話し合い及びそのサポート役としての集落支援員設置の必要性について、市町村への普及啓発活動を実施した。その結果、制度周知は進み、課題としては実際の運用方法や適切な人材の選定など、各市町村における個別具体的な検討をする段階となったため、活用を終えた。現在県では、支援員に関する情報の収集及び提供を行っている状況である。

問3 「集落支援員」制度の導入等における課題や、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。

- 集落支援員制度に対する課題として、集落支援員の人材確保や兼任の場合の報酬(特別交付税措置額)の低さが挙げられている。
- また、集落支援員制度の活用に関するノウハウや活用メリット、優良事例等、制度に係る情報不足等も挙げられている。

図表3-48 集落支援員制度の課題や国への要望等(記述回答より整理)

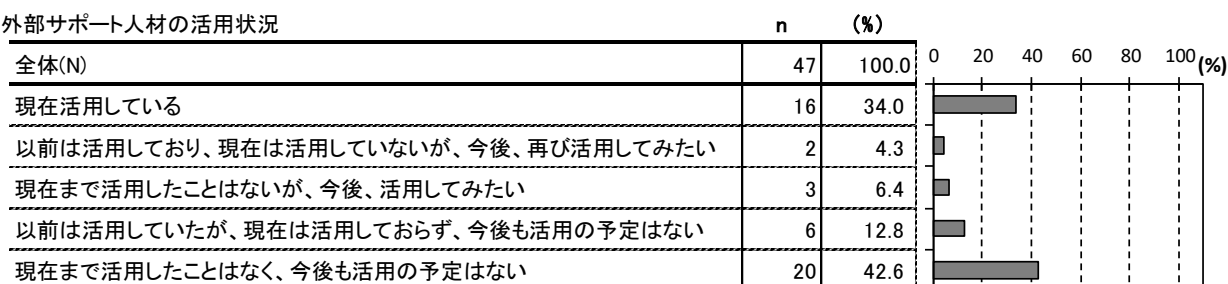
課題・要望	具体的内容
人材の確保が困難	・兼任の場合の年額 40 万円程度の報酬では、効果的な活動に必要な従事時間に比して過小であり、人材確保に支障をきたしている。(宮崎県)
兼任の報酬が低い	・年々制度活用にかかる人件費等が上昇していることから、集落支援員1人あたりの特別交付税措置額の上限額を引き上げてほしい。(富山県) ・上限額の引き上げや補助事業化。(京都府) ・現在の集落支援員設置に対する特別交付税措置は、年額で専任の場合が 485 万円、兼任の場合が 40 万円となっているが、差が大きすぎるため、当該措置の拡充をお願いしたい。(宮崎県)
優良事例の提供	・県及び市町村における集落支援員制度活用に係るノウハウが乏しい状況。総務省の他の施策(地域おこし協力隊、地域活性化起業人、特定地域づくり事業協同組合)と比べ研修の機会などが少ないと感じる。ノウハウを習得できる機会を増やして欲しい。(青森県) ・令和 4 年度に(一社)全国過疎地域連盟が実施した市町村対象アンケートを参考に、今年度、県内全市町村に対して同様の調査を実施した。そのうち設置したことがない理由について、以下の傾向があった。 ①「制度の理解不足」が全国同様最も回答が多く 36.4%だったが、全国比では 5pt 低い ②「設置後の効果」「なり手がいない」が共に 29.5%だったが、全国比では 7pt 高い これらの結果から、制度を分かりやすく伝えていただくことはもとより、設置後の効果について事例を交えて紹介いただきたい。また、なり手の確保についても、制度が上手く機能している場合のポイントや支援員のスキルを整理することに加え、研修モデルの提示、若者や移住者など従来のイメージと異なるバックボーンを持って活躍している支援員の事例紹介など期待したい。(福島県) ・地域の実情に詳しい人材の確保、ニーズに応じた活動内容の設定をする必要があることから、各市町村が制度導入を進め、県は、優良事例や関連制度の情報提供を行う等、サポートに回る形式での制度運用が好ましいと考える。(徳島県) ・先進事例や優良事例の情報提供等。(大分県)
制度の継続	・集落支援員制度における特別交付税措置については、今後も継続していただきたい。(秋田県) ・今後も特別交付税措置対象として、制度を継続していただきたい。(愛媛県)
県としての当制度の活用に係る役割の明確化	・県での活用メリットについて教えて欲しい。(広島県)

問4 貴都道府県では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。

- 地域おこし協力隊等の外部からのサポート人材を活用している都道府県は 16 団体(34.0%)であり、これまで活用したことはなく、今後も活用の予定がないとする都道府県が 20 団体(42.6%)と半数近くに及ぶ。なお、未活用だが今後活用してみたいとした都道府県は 3 団体(6.4%)となっている。

図表3-49 都道府県における外部サポート人材の活用状況

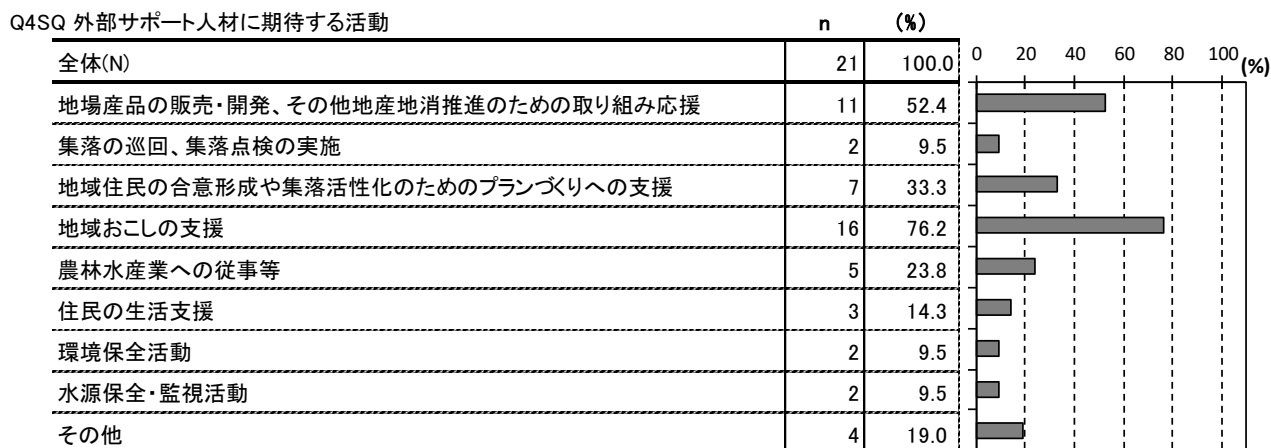
Q4 外部サポート人材の活用状況



問4SQ (問4で1～3のいずれかを回答した場合)集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。

■外部サポート人材を活用している(いた)又は今後活用してみたいとする 21 団体を対象に、外部サポート人材に期待する活動内容を聞いたところ、「地域おこしへの支援」が 16 団体(76.2%)で最も多く、次いで「地場産品の販売・開発、その他地産地消推進のための取り組み応援」(11 団体、52.4%)への期待が高い。

図表3-50 都道府県が外部サポート人材に期待する活動内容

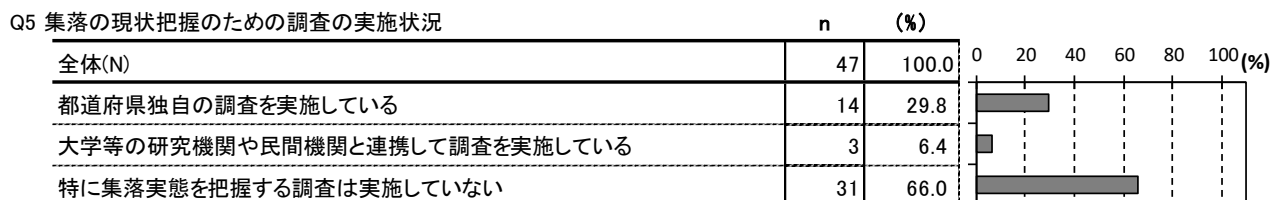


(2) 都道府県における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

問5 貴都道府県では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。

■集落の現状把握のために独自に調査を実施している都道府県は 17 団体と約4割であり、うち 14 団体は都道府県独自の調査を実施している一方、特に集落实態を把握していない都道府県は 31 団体(66.0%)である。

図表3-51 都道府県による集落の現状把握調査の実施状況

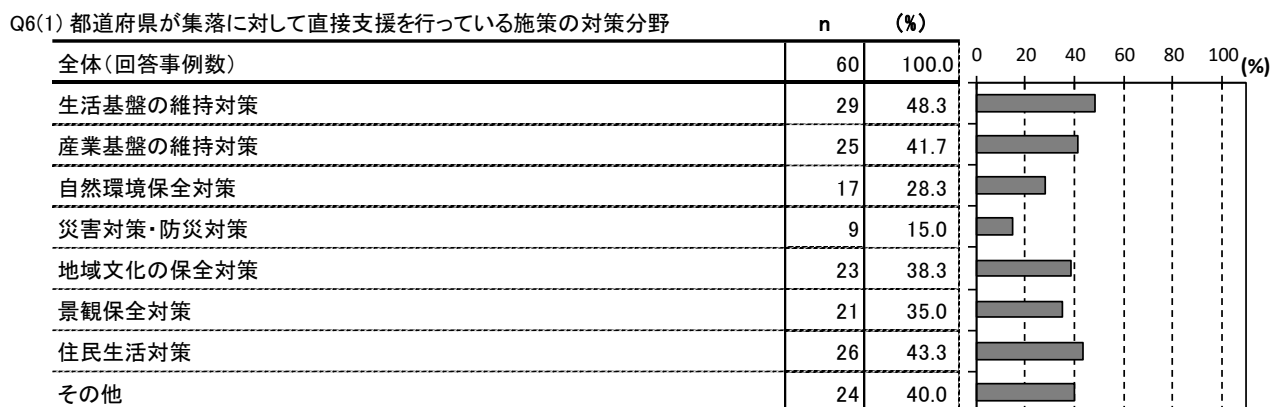


問6 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴都道府県が行政施策として講じている対策があれば、(1)～(3)のそれぞれについて主な施策を3事例まで選び、ご回答ください。

①都道府県が事業主体となり、集落に対して直接支援を行っている施策

- 直接の事業主体となり集落支援を行っている都道府県は 26 団体(55.3%)で、60 の施策事例が挙げられた。
- 各事例の分野をみると、「生活基盤の維持対策」が 29 事例と最も多いほか、「住民生活対策」(26 事例)や「産業基盤の維持対策」(25 事例)、「地域文化の保全対策」(23 事例)に係る施策が比較的多く挙げられている。
- 施策の内容をみると、モデル支援が 23 事例と最も多いほか、人材派遣に関する施策も 10 件以上挙げられている。

図表3-52 都道府県が集落に対して直接支援している対策分野



図表3-53 都道府県が集落に対して直接実施している対策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
連携調整	集落が抱える様々な課題に対応するため、地域住民の主体的な地域づくりの取組みに伴走しながら集落の持続可能性を高める実効性のある手法に関する情報やノウハウを提供するプラットフォームを構築	14 (24.1%)
人材育成	中山間地域の活性化事例をもとに、地域活性化を推進する人材の育成を行う	10 (17.2%)
財政支援	文化活動等助成事業や地域伝統文化継承事業等により、栃木県内での文化芸術活動や地域伝統文化継承活動に対し、事業費の一部を助成	9 (15.5%)
人材派遣	草刈り・祭りといった共同作業の担い手が減り、活動の維持・運営が困難になっている地域の共同作業にボランティアを派遣する仕組みを構築	9 (15.5%)
助言・指導	地域運営組織形成に取り組む地域や等に対して「地域コミュニティ支援アドバイザー」を派遣し、地域課題の解決に向けた指導・助言を行う	8 (13.8%)

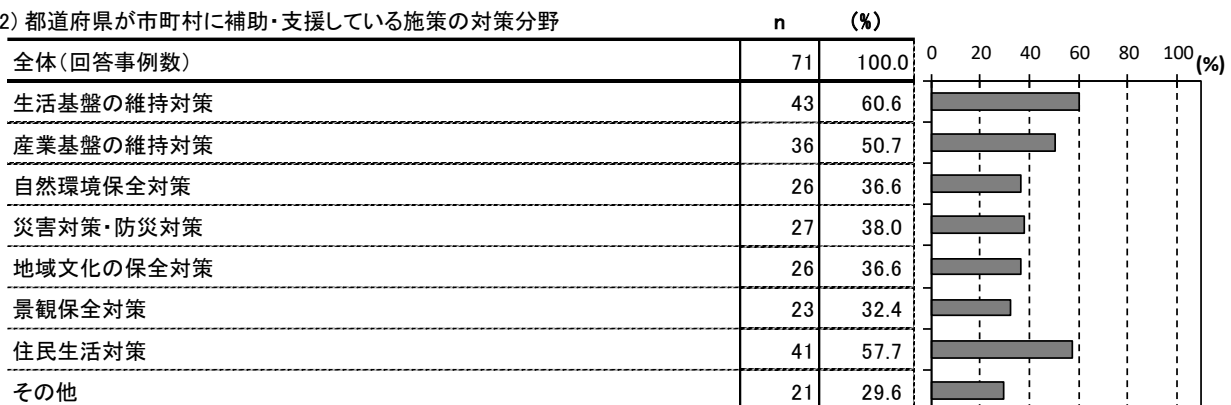
企業・大学連携	県がコーディネーターとなって、農村と企業や学生ボランティア等と結び、両者の協働活動によって、棚田地域の保全活動の推進を図る	8	(13.8%)
モデル支援	地域住民の生活に根ざした複数集落を範囲として、当該地域で活動する団体などを地域を支える担い手としてモデル的に確保育成する	7	(12.1%)
基盤整備	営農条件を改善するための水田、畑の整備、水田で必要な農業用水の確保、農産物などの運搬するための農業用道路の整備、農村の環境整備など	7	(12.1%)
人材配置	複数の市町村にまたがる広域的な地域振興活動に従事する人材をふるさと創生協力隊として採用し、配置	2	(3.4%)
情報発信	地域住民自らが地域の維持・活性化に向けて取り組む元気ムラ活動を県全域へ拡大するため、市町村の枠を越えた集落や多様な主体との交流、地域コミュニティ活動の情報発信などの取組を推進	1	(1.7%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	58	

②都道府県が市町村事業に対して補助・支援等を行っている施策

- 市町村が行う集落対策事業に対して補助・支援等を行っている都道府県は36団体であった。
- 回答された71事例を分野別にみると、「生活基盤の維持対策」(43事例)や「住民生活対策」(41事例)など、生活に密着した分野に係る施策が比較的多く挙げられている。
- 施策の内容をみると、ソフト面における補助・支援が41施策と最も多いほか、ソフト・ハードの両面にわたり市町村や集落が実施する取組を補助・支援している施策も10施策と比較的多くの事例が報告されている。

図表3-54 都道府県が市町村に補助を行っている施策

Q6(2) 都道府県が市町村に補助・支援している施策の対策分野



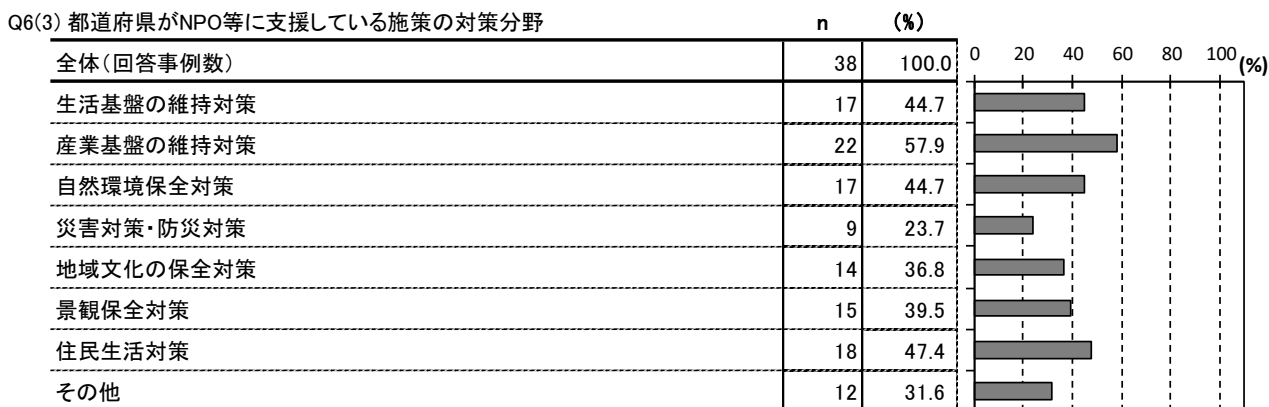
図表3-55 都道府県が市町村に補助を行っている施策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
ソフト支援	地域運営組織が策定した「将来ビジョン」に基づき、地域住民や組織が展開する地域の活力維持・強化に資する地域おこし活動や地域課題の解決に繋がる生活支援の取組のための必要な経費を支援。	41 (58.6%)
総合支援	市町の地域の実情に応じた弾力的で自由度の高い事業実施を支援するため、市町が自主的に事業を選択して実施できるよう、従来の市町向け県単独補助金を交付金化	10 (14.3%)
ハード支援	概ね小学校区単位の地域において、集会所や空き店舗、廃校舎等を活用し、住民が寄り合う場所やコミュニティ・ビジネスを行う拠点の整備を支援	9 (12.9%)
人的支援	地域経営会社設立に向けたサポートチームによる相談対応等の支援や、地域経営を担う人材の育成、初期投資等に係る施設整備支援を実施	7 (10.0%)
交通支援	過疎・離島地域において、市町が行う小・中学校の遠距離通学の児童・生徒に対する通学費補助を支援することにより、当該地域の振興を図る	6 (8.6%)
その他	公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構が主体で実施している全国における海浜清掃活動について、ゴミ袋の要望があった市町村へのゴミ袋の配付について支援する	2 (2.9%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	70 (100.0%)

③都道府県がNPO や住民団体を通じて間接的に支援を行っている施策

- 地域の NPO や住民団体等が行う集落機能の維持・保全対策に対し間接的に支援を行っている都道府県は 21 団体(44.7%)で、回答された 38 の施策事例を分野別にみると、「産業基盤の維持対策」や「生活基盤の維持対策」、「自然環境保全対策」、「住民生活対策」に係る取組への支援施策が比較的多い。
- 施策の内容をみると、多くは「活動費の補助・助成」(27 施策)である。

図表3-56 都道府県がNPO や住民団体を通じて支援している施策



図表3-57 都道府県がNPO や住民団体を通じて支援している施策の内容(記述回答より整理)

分類	施策の内容(例)	事例数(%)
活動費の補助・助成	豊かな自然環境や生物多様性の保全を推進するため、地域の団体が行う活動に対して、活動に要する経費の 1/2 以内、20 万円以内もしくは 20 万円以内の資材を提供	27 (73.0%)
事業委託による活動支援	民間企業に委託し、協働することでコストを削減し、持続可能な生活機能サービス提供のビジネスモデルを構築	3 (8.1%)
人材配置・派遣	「新たな生活様式」に対応した地域づくりを推進していくことを目的に、地域づくり団体(任意団体)やNPO、一般社団法人等に対して、人材育成、資金調達、組織運営などのアドバイスを行うプロデューサー人材を配置し、伴走型の活動支援	2 (5.4%)
その他	新規就農者の確保・育成のため、公益社団法人や一般社団法人が行う就農相談活動、無料職業紹介、研修斡旋等の活動を支援	6 (16.2%)
総回答事例数(N)	※複数に該当する回答あり	38 (100%)

(3) 今後の集落対策に向けた都道府県・国の役割

問7 集落地域の維持・活性化に向け、都道府県が担うべき役割や実施していくことが望ましいと考えられる施策について、具体的にご回答ください。

- 都道府県が担うべき役割や望ましい施策としては、37 団体から具体的な記述回答があった。
- 回答内容を類型化すると、「市町村や地域住民が主体となって行う集落対策に対する支援」が 9 団体と最も多く、次いで「市町村に対する先進事例の紹介や関連制度等の情報提供」と「市町村等との情報交換や相談、情報共有の場の設置」が 8 団体、「中間支援組織の育成や関係者間のネットワークづくり」と「基盤整備等のハード対策や医療・教育等の確保、広域的な課題への対応など」が 7 団体となっている。

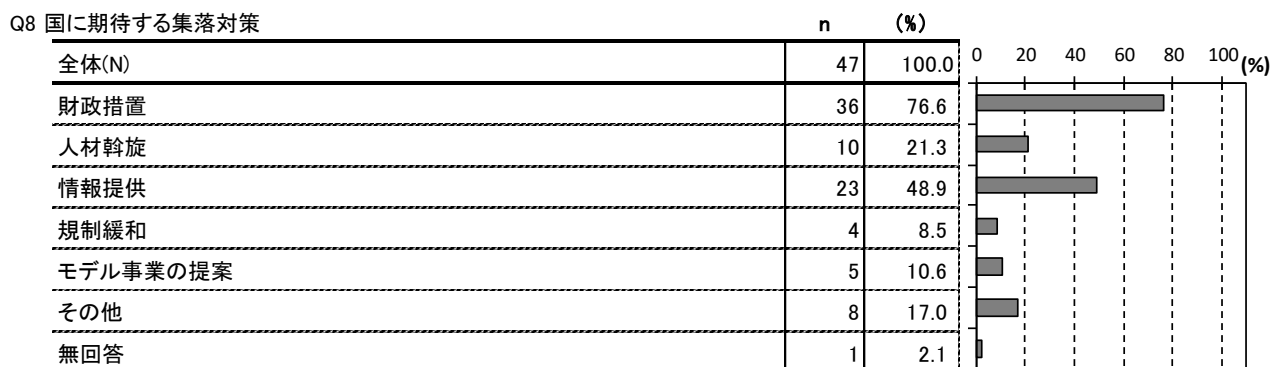
図表3-58 集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割や施策（記述回答より整理）

集落地域の維持・活性化に向けた都道府県の役割	回答団体数
市町村や地域住民が主体となって行う集落対策に対する支援	9
市町村に対する先進事例の紹介や関連制度等の情報提供	8
市町村等との情報交換や相談、情報共有の場の設置	8
中間支援組織の育成や関係者間のネットワークづくり	7
基盤整備等のハード対策や医療・教育等の確保、広域的な課題への対応など	7
県職員による人的支援や国と市町村間のコーディネート	6
都道府県が中心となって集落活性化のモデルとなる取組(事業)の実施	4
産業振興・ビジネスの創出	4
移住・定住や U/IJ ターン等の取組に関する支援	3
専門職員やアドバイザー等の人材等の派遣、研修等の開催による人材育成	1

問8 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

- 都道府県が国に期待する役割としては、46 団体から回答があり、「財政措置」が 36 団体と最も多く、次いで「情報提供」が 23 団体となっている。

図表3-59 都道府県が国に期待する集落対策



第4章 集落の現状及び集落対策等に 関する事例調査

第4章 集落の現状及び集落対策等に関する事例調査

4-1. 調査の概要

(1) 事例ヒアリング調査の趣旨

過疎地域では、それぞれの地域の実情に沿った集落対策が展開されているが、我が国全体が人口減少局面に転じた今、一層厳しい人口動向が予測される過疎地域において暮らしを維持し地方創生を成し遂げるためには、先進的な集落対策の取組や最新の集落地域の実態・課題等を的確に把握し、新たな集落対策のあり方を検討する必要がある。

このため、集落調査（第2章）や集落対策に係るアンケート調査（第3章）の回答内容等から、集落活性化に向けた独自の対策や取組を行っている地域を抽出し、現地ヒアリング調査を行った。

(2) 調査対象地域の概要

① 調査対象地域

長野県伊那市（一部過疎市町村）

② 選定理由

- 他の市町村と比較し、行政のみならず、地域や民間事業者の協働も含めて、多様な取組を展開しており、集落対策に積極的に取組まれている。また、国土交通省主催の第3回地域生活圏専門委員会（令和7年2月5日）においても、市長が臨時委員として出席し、地域課題解決に関する取組を発表する等、今後の国土政策を考える上で参考となる先進的な知見が得られることが期待できる。

③ 地域概況

- 伊那市は長野県の南部に位置し、南東側は南アルプスを境に山梨県と静岡県に接し、西側は中央アルプスを境に木曾地域に接している。また、東部に南アルプス国立公園、三峰川水系県立公園、西部に中央アルプス県立公園を有し、南アルプスと中央アルプスの2つのアルプスに抱かれた中央部には、標高約600mの伊那盆地が開け、広大なパノラマが展開している。
- 市域面積は667.93km²と、長野県で3番目に広く、人口は66,125人（令和2年国勢調査）である。
- 交通面では、市の中央部をJR飯田線が走り、中央本線・東海道本線に連絡している。また、市の西部をE19中央自動車道が南北に走り、首都圏及び中京圏から、ほぼ等距離に位置し、高速バスが都市間移動の交通として定着している。
- 平成18年に旧伊那市、旧高遠町、旧長谷村が合併して新「伊那市」が誕生し、「旧宿場で商工業の盛んな伊那市」「旧城下で史跡とタカトオコヒガンザクラの高遠町」「南アルプスの自然と豊かな民話伝承の長谷村」といった地域特性の融合により、魅力あるまちづくりを継承・展開している。また、南アルプス国立公園を中心とするユネスコエコパークや日本ジオパーク、「天下第一の桜」と称される高遠城址公園のタカトオコヒガンザクラ、「信州そば発祥の地」に由来する高遠そばなど、「山」「花」「食」という強みを生かした観光振興に力を入れるとともに、高

度な生産加工技術産業、医療機器や食品などの健康長寿関連産業が発展し、「ものづくり産業」の拠点として商圈の広がりも見られている。

④人口動態

- 伊那市の人口は 66,125 人、世帯数 26,238 世帯（令和 2 年国勢調査）。
- 平成 17 年と平成 27 年における地区ごとの国勢調査人口の推移をみると（人口の記載のない地区を除く 51 地区）、人口が増加している地区は 10 地区のみであり、他の 41 地区は人口減となっている。

(3)ヒアリング日程

令和 7 年 3 月 21 日

4-2. 調査結果

(1) 集落対策に関する取組状況

伊那市は平成18年3月に、旧伊那市、旧高遠町、旧長谷村の合併により誕生し、旧高遠町及び旧長谷村地域においては合併前から過疎地域に指定されており、現在は一部過疎地域となっている。

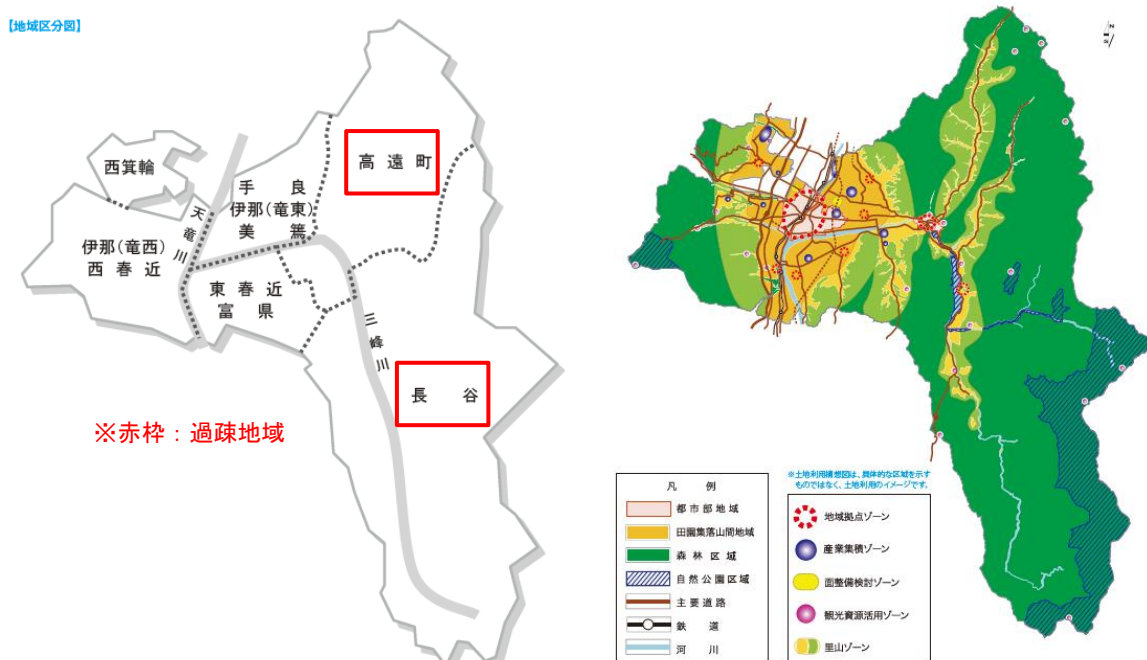
過疎地域である旧高遠町及び旧長谷地域に対しては、住宅新築・空き家取得等補助金(基金対応)や廃屋取り壊し事業に加え、定住助成や通勤助成等の支援を、過疎対策事業債を用いて行っている。

過疎地域以外についても、伊那市への移住・定住の促進を図るため、移住者の受け入れに高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定し、過疎地域同様の支援を行っている。

また、広域的な視点としては、研修会等による他市町村との情報共有や先進事例の紹介等を通じ、県との相互連携も図っている。

市内における地域づくりの動向としては、県による「地域発 元気づくり支援金」や市独自の「協働のまちづくり交付金」事業等を通じ、自治会や任意団体、まちづくりグループ等による地域主体の活動が自発的に行われており、地域づくりに対する気運の高まりが感じられる。

図表4-1 伊那市の地域区分及び土地利用



(出典)「第2次伊那市総合計画」より一部加工

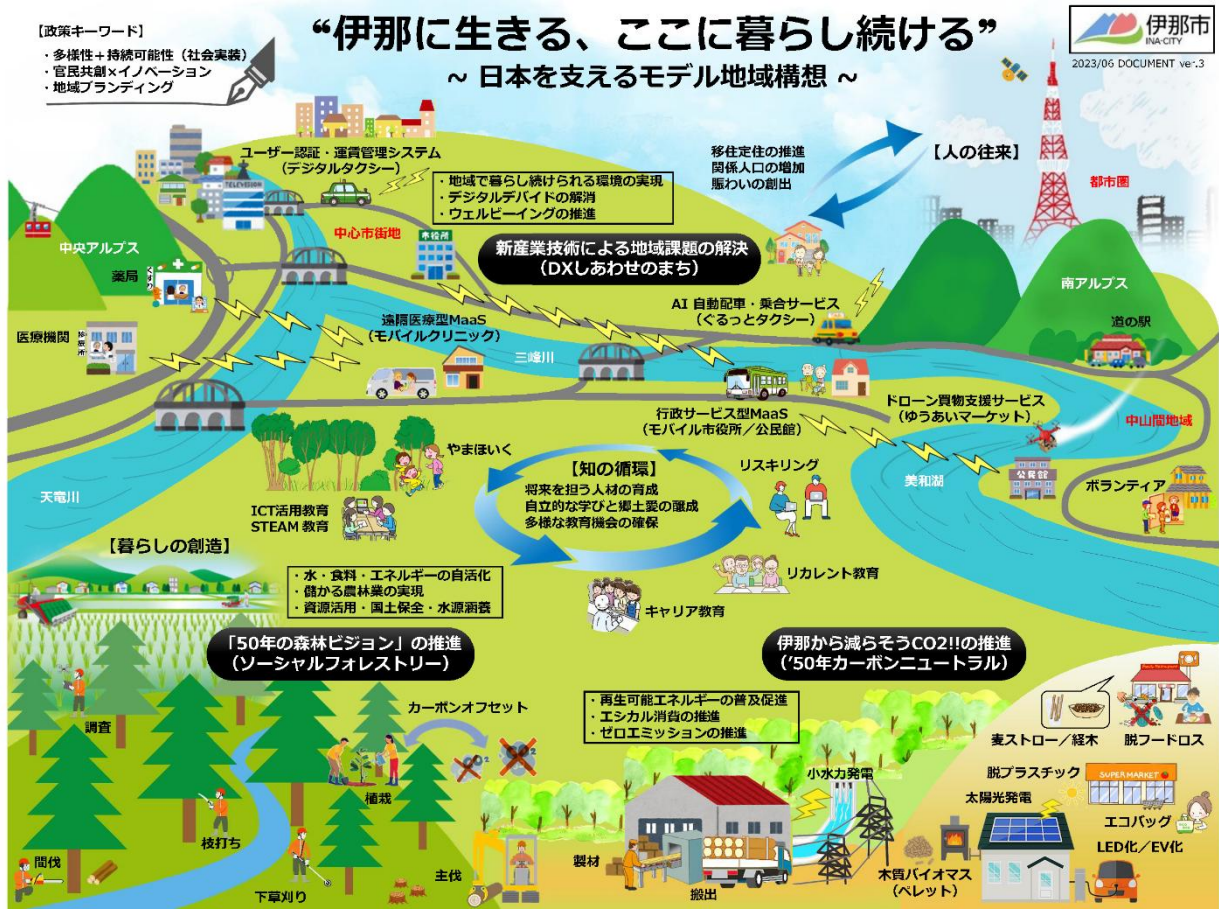
【参考】「地域発・元気づくり支援金」及び「協働のまちづくり交付金」について

県の事業である「地域発・元気づくり支援金」は、市町村や公共的団体等が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある様々な事業に対し、必要経費の一部を補助するものである。

「協働のまちづくり交付金」については、同様の内容を伊那市独自の事業として行っているものであり、市民等による5人以上の団体・グループに対し、地域活性化に資する取組みに対し補助を行うものである。

直近の活用例として、地域のお祭り等の交流や米の消費拡大に資する取組としてポン菓子製作機械の購入や、従来、助産師会を中心に会議室のみで対応していた産後ケア関連の取組について、市内の温泉施設で産後ケアや育児相談等に対応し、子育て世代のリフレッシュに資する事業に活用されている。

■伊那市における地域づくりの全体像




出典：第3回地域生活圏専門委員会資料

■「田舎暮らしモデル地域事業」の概要

田舎暮らしモデル地域事業の概要

1 目的

●伊那市への移住・定住の促進を図るため、その受け皿として高い意欲を有する地域を「田舎暮らしモデル地域」として指定し、地域、行政、民間事業者等の協働により、移住者に対する受入体制の整備や生活基盤の確立に向けた支援を行う。



4 コンセプト(協働の仕組み)

- ◆移住者
 - ・田舎暮らしを目的として、当該地域に移住・定住する。
 - ・地域活動に積極的に参画し、地域貢献を行う。
 - ・自ら田舎暮らしの広告塔となり、自然の中での農作業や子育てなどの様子を情報発信する。
 - 【メリット】…モチベーション
 - ・田舎暮らしにおいて自己実現が図られる。
 - ・安価でマイホームの取得ができる。
- ◆地域(住民)
 - ・移住者の積極的な受け入れを行う。
 - ・都市住民へ田舎暮らし体験の機会を提供し、交流促進を図る。
 - ・自ら地域課題の解決に当たり、そのプロセスを全国発信する。
 - 【メリット】…インセンティブ
 - ・子育て世代の定住により、地域の活性化につながる。
 - ・地域活動の担い手として、後継者の確保が図られる。
 - ・行政からの財政支援が受けられる。
- ◆民間事業者(製材メーカー、工務店、設備事業者等)
 - ・移住者の住居整備への協力(インフラ供給)を行う。
 - 【メリット】…プロバガンダ
 - ・業績アップや宣伝効果につながる。
 - ・地域貢献を通じ、社会的信用度が高まる。
- ◆行政(市)
 - ・地域活性化対策の経費と、移住者の生活基盤確立のための財政支援を行う。
 - 交付金(地域)…上限50万円/年
 - 補助金(移住者)
 - …住宅新築等補助金、定住助成金、通勤助成金、出産祝金
 - 国等からの補助金等の獲得支援
 - 【メリット】…シティプロモーション
 - ・伊那市の魅力の全国発信(イメージアップ)が図られる。
 - ・人口減少の抑制に資する。

2 指定の区域

●人口減少と過疎化の進行が見られ、移住・定住対策に積極的に取り組んでいる地域のうちから、市長が指定する。(高遠町・長谷地区で各1か所、旧伊那地区で2か所)

●区の単位を原則とする。(複数区にまたがる場合は、各区長を構成員に含む協議組織が設置されていること。常会や組など、区より小さい区域は、指定の対象としない。)

●指定期間は、10年間とする。(終期設定)

3 指定の要件

●指定を受けることについて、地域の総意として決定されていること。

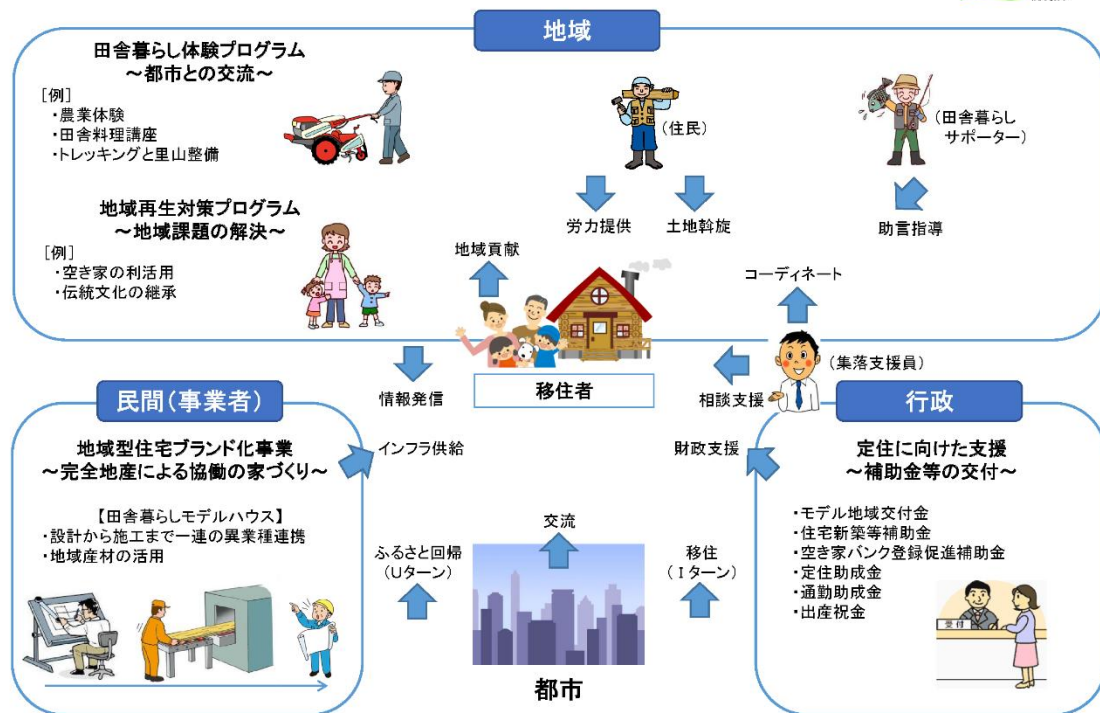
●移住者からの様々な相談に応じ、有効な助言や指導ができる人材(田舎暮らしサポーター)を有していること。

●地域活動や行事などにおいて、移住者が共に活動できる体制が整備されていること。

●地域自らの企画・運営により、都市との交流を目的とした「田舎暮らし体験プログラム」又は地域課題の解決に向けた「地域再生対策プログラム」の継続的な実施が図られること。

●「地域で育てるキットハウス」応募者に対し、住宅用地の斡旋と、家屋建設に対する労力提供(ボランティア)ができる体制が整備されていること。

田舎暮らしモデル地域の推進イメージ



出典：伊那市 HP

(2) 集落対策に関する取組詳細

① 集落での問題の発生状況

(i) 道路・農道・橋梁の維持が困難

市街地中心部で渋滞の原因となっている通過車両の迂回や移動性向上の観点から、内・外の環状網整備を優先しているため、生活道路の維持修繕工事実施まで期間を要している。

また、橋梁においても、橋りょう等長寿命化修繕計画に基づき、計画的な整備と点検・維持管理に努めているが、橋梁数等が多いため、期間を要している。

(ii) 住宅の荒廃（老朽家屋の増加）

高齢者の独り住まいや空き家の増加により、人が住まなくなることで住宅の修繕がされないため、荒廃が進んでいる。

(iii) 棚田や段々畑等の農山村景観の荒廃

高齢化の進行や若者世代の減少等による農業担い手不足、農業機械の大型化により、棚田や段々畑等の耕作面積の小さい農地が耕作放棄地になりやすく、鳥獣害の被害が多いことから荒廃が進んでいる状況にある。

②集落対策等における主な取組

(i) 新産業技術を活用した交通・物流ネットワーク

ドローン物流事業化に関する支援、ICTの活用・普及に向けた支援、AI最適運行・自動配車サービスの事業化に取り組んでおり、支え合い買い物サービス「ゆうあいマーケット」のサービス実装等につながっている。

ゆうあいマーケットはケーブルTVを活用し、TVリモコンで買い物ができ、14時まで注文すると当日中に商品が届くサービスとなっており、交通弱者等、なかなか買い物に出かけられない方等、多くの方が利用している。令和4年度からサービスを実装し、3年目を迎えているが、利用者数や事業者数が年々増加している状況にある。

ゆうあいマーケットのしくみ

～商品が手元に届くまで～



出典：伊那市 HP

新産業技術による地域課題の解決

暮らしの豊かさや付加価値を創出し 社会実装を実現「ゆうあいマーケット」



- ドローンを活用した新たな買い物支援サービス
- 中山間地域など買い物弱者サポート
- テクノロジーと人の融合 温かみのあるサービス
- 官民共創で推進 実験を重ねて 社会実装を実現

新産業技術による地域課題の解決

暮らしの豊かさや付加価値を創出し 社会実装を実現「くるっとタクシー」



- 高齢者や免許返納者などの移動困難者に対応
- AI自動配車の乗り合いタクシー ドアツードアで500円又は250円で利用
- 通院、買い物など外出機会を増やし 社会とのつながりを創出
- 他自治体へ水平展開

出典：第3回地域生活圏専門委員会資料

図表4-2「ゆうあいマーケット」の運営実績

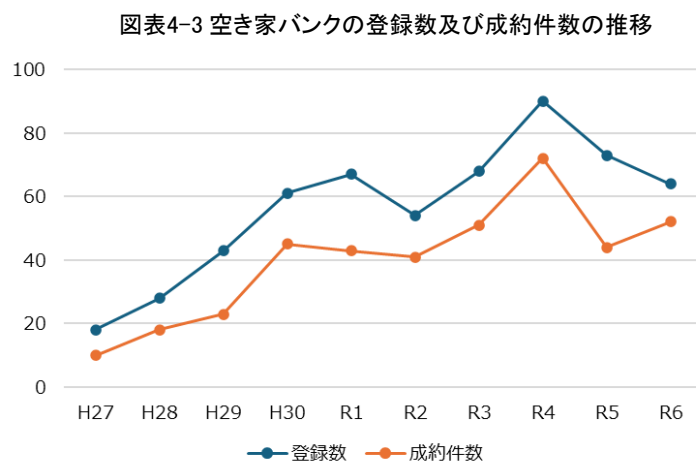
KPI	目標値	実績値
登録世帯数	129 世帯	117 世帯
事業従事者数	25 人	20 人
年間売上額	2,583,593 円	2,882,263 円

※令和7年2月末時点

(ii) 空き家の利活用促進

現状分析による具体的な人口増加に向けた政策展開、空き家バンク情報発信及び案内、不動産業者との連絡調整、空き家利用希望者との連絡調整等に取り組んでおり、空き家バンクの登録・成約件数ともに増加傾向にある。

下図の数値は伊那市全体のものであり、過疎地域に限ると相対的に空き家バンクの登録数はそれ程多くはないものの、空き家自体はかなり多く存在しており、所有者側からは顔が見えない方に家を譲ることに対する抵抗感に関する声が挙がる等の課題も生じている。そのような状況も踏まえ、空き家バンクでの情報発信や不動産組合等との連携を通じ、今後も空き家等の掘り起こしに取り組まれるところである。



※R6年度の数値は令和7年2月末時点

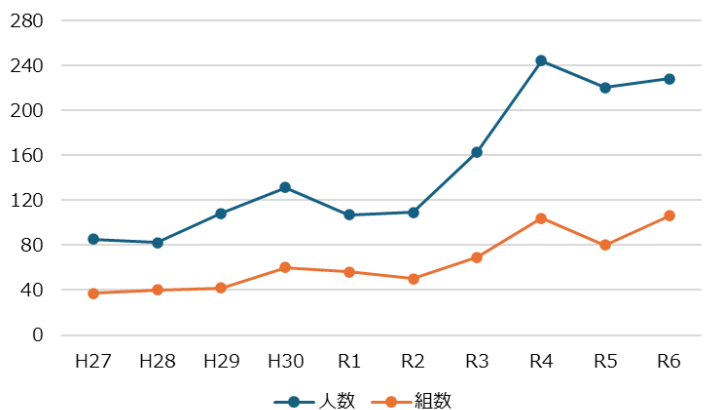
(iii) 移住・定住に向けた総合的な相談

田舎暮らしモデル地域との連携、移住・定住相談、移住・相談セミナー等の企画・実施、地域おこし協力隊の活動状況の把握、協力体制の構築に取り組んでおり、各種移住関連施策の実施を通じて市内の移住者・組数が増加傾向にある。

伊那市は若い世代の教育移住の面で非常に注目を浴びており、特色ある総合学習や総合活動が充実する伊那小学校に加え、特色ある学びを展開する小規模特認校が3校存在し、移住者増加の一要因となっている。

移住者の居住地域について正確なデータはないものの、約1割が過疎地域に居住しているものと推察され、移住者の住まいについては、空き家バンクや民間の物件等を中心に、大半の移住者が個々に手配している。

図表4-4 移住者数及び組数の推移



※R6年度の数值は令和7年1月末時点

(iv) 地域農業と小中学校連携

長谷地域の農業と直売所・小中学校との連携及び外部人材の活用、長谷地区の活性化に取り組む産官学民による組織「長谷さんさん協議会」との連携、営農組合と道の駅直売所との連携、農業関係交付金による補助に取り組んでいる。

取組みの主な効果として、長谷さんさん協議会と有志が共同で管理を行う「長谷さんさん農園」を舞台に、様々なイベントの開催等が行われ、農園の有効活用を通じた様々なメンバーの交流や関わりづくりに寄与している。

■長谷さんさん農学校



■中学校と連携した6次産業化、給食との連携



出典：長谷さんさん協議会 HP

③地域担当職員について

伊那市内には、82の地区が存在し、各地区を担当する地域担当職員を配置している。具体的な体制としては、各地域または近隣に居住している職員を全部署横断的に選定し割り当てている。

主な活動としては、地域での会議や集まりに積極的に参加し、地域からの情報や困りごと等の相談を持ち帰り、担当課と協議等の上で地域にフィードバックする等、地域とのパイプ役として活動している。

④外部のサポート人材について

伊那市では、地域おこし協力隊等の、集落に対する外部からのサポート人材を活用しており、サポート人材の主な活動内容としては、空き家の現状分析による具体的な政策展開、空き家の利活用の促進、空き家バンク制度の推進等を行っている他、移住・定住に向けた総合的な相談、セミナー等の開催や情報発信を行っている。

また、伊那市は専任の集落支援員数が県内の市町村でもトップクラスとなっており、集落支援員の活用も力を入れている。集落支援員の採用や任務等の要件については、「伊那市集落支援員設置要綱」としてとりまとめており、委嘱の形式をとっている。

集落支援員の代表的な人物像としては、元々地域おこし協力隊だった方が任期終了後に集落支援員を担うケースや、市が提示したミッションに対し興味を持つ方や長けている方で、市内居住者を中心としつつ、近隣市町村に居住する方も含めて対象としている。

集落支援員の導入に当たっては、期待やニーズが大きい事に対し、ミッションの内容等により負担が大きいこと等から担い手の確保が課題となっている。

伊那市では、市からミッションを提示して公募を行い、集落支援員となる人材の発掘を行っているが、市から提示されるミッションの内容は非常に幅広くバリエーションに富んでおり、ミッション名だけでは具体的内容まで読み取れないものもあることから、市がイメージするニーズと受け取る側のニーズにミスマッチが生じる場合（委嘱後にミスマッチが生じる場合もある）や、ミッションの内容が実際の内容以上に受け取られ、応募が少なくなるようなケース等も生じている。

また、応募してきた方に対し面接を通じ、ミッションの内容等についてしっかりと対話をする機会を設けており、そこで理解いただける場合や、逆に認識のギャップが生じる場合もあり、試行錯誤的に人材発掘を行っている。

さらに、三大都市圏に所在する企業等と地方圏の自治体が、協定書に基づき、社員を一定期間派遣し、地域課題に対する即戦力人材として地域活性化を図る「地域活性化起業人制度」の活用も積極的に行われている。

図表4-5 地域活性化起業人制度の活用実績

年度	企業名	活用実績
H29～R1	沖電気工業(株)	・INA ドローンアクア・スカイウェイ構想/空飛ぶデリバリーサービス構想事業、・LoRaWAN ハッカソン、・ドローンフェス in INAValley・中山間地における道の駅を拠点とした自動運転サービス実証事業
H30～R3	(株)ソフトバンク	・遠隔医療によるモバイルクリニック事業 ・LPWA くくり罫センサーの地域大学・企業との研究開発
R2～R4	東日本電信電話(株)	・行政型 MaaS「モバイル市役所」事業、・町内 ICT 化・デジタル行政・在宅テレワークの推進、・無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム事業
R2～R3	(株)ゼンリン	・INA ドローンアクア・スカイウェイ構想事業、・支え合い買物サービス「ゆうあいマーケット」事業、・新型コロナウイルス禍における小中学校オンライン教育推進サポート
R3～R5	富士通(株)	・ワーケーション型 MaaS「I VMO」事業、・地方創生アルカディア事業（公式LINE、伊那MRスクエア）・伊那市版メタバース構築事業、・シェアリングエコノミー（こころむすび）構築事業
R4～R6	(株)ソフトバンク	・遠隔医療によるモバイルクリニック事業、・モバイル公民館「モバCo」事業、・ロボティクスによるウェルビーイング創出事業（HAL, DFREE）
R5～R6	(株)インテック	・支え合い買物サービス「ゆうあいマーケット」事業、・無人 VTOL 機による物資輸送プラットフォーム構築事業、・アジャイルドローンによる橋梁点検構築事業、・ロボティクスによるウェルビーイング創出事業（HAL, DFREE, Romi）
R5～R6	(株)JT B	・交流人口、関係人口基盤構築事業（観光型 MaaS） ・ローカル人材育成事業

⑤自治体として講じている集落機能の維持・保全のための対策について

現在存続している集落に対する代表的な施策として、「過疎地域定住対策事業」「公共交通の確保」「集落施設整備事業」等、過疎地域における人口の流出を抑制するための対策が行われている。

「過疎地域定住対策事業」については、世帯主または配偶者等が45歳未満または中学生（15歳未満）の学生がいる世帯を主なターゲットとし、住宅新築等補助金、空き家取得等補助金、定住助成金、通勤助成金、出産祝い金等を交付するものであり、移住・定住者の増加を図るものである。

「公共交通の確保」としては、バス路線等の運行経費を負担する他、AIを活用した自動配車乗合タクシーの運行を行い、地域住民の生活に欠かすことのできないバス路線等の移動手手段の維持・確保に寄与している。

「集落施設整備事業」については、集落施設（ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した集落の公民館的な機能を有した拠点施設）の建設や改修に要する経費に対し補助金の交付を行っており、集落施設等の新築・回収に係る地域住民の負担軽減を図っている。

また、AIやドローン等の先進技術の活用についても積極的に行っており、今後の人口減少を踏まえると特に過疎地域周辺の人口が少なくなることで公共交通の維持が困難となり、更に地域に対する足が遠のく危機感から、先進技術等の活用については専門の部署を設けて様々な取組を展開している。

⑥行政以外が主体となった集落機能の維持・保全のための取組

行政以外が主体となった取組としては、旧伊那市に位置する新山地区において、「新山定住促進協議会」により、地域、行政、民間事業者等の協働により、住民がより安心して暮らせるような環境形成に取り組まれている。

取組を通じて、本地区の移住・定住者が増加傾向にある他、移住・定住者が地区内の空き家等に転居し、また、移住・定住者のほぼ全員が協議会のメンバーとして地域活動への参画や各種イベントの運営・協力・参加に関わる等、地域との深いつながりが形成されている。

本地区は田舎暮らしモデル地域の一つでもあり、園児の減少により地区内の保育園が休園し、5年以内に園児数が回復しなければ廃園となるような危機的な状況にあったが、地区の方々が立ち上がって移住者の受け入れ態勢を構築していったことにより、県外から移住してくる若い方々が増え、現在では市内で最も新しい保育園が立地する等、地区全体は活気を取り戻し、勢いのある地区となっている。

■新山地区位置図



■田舎暮らしモデルハウス



■「トンボの楽園」観察会



出典：新山定住促進協議会 HP

【参考】新山定住促進協議会の概要

■メンバー構成

- ・正副会長（各区長）、総務部（31人）、新山子育て応援部（6人）、住まい整備部（6人）、地域おこし協力隊（1人）、顧問（市議員1人）

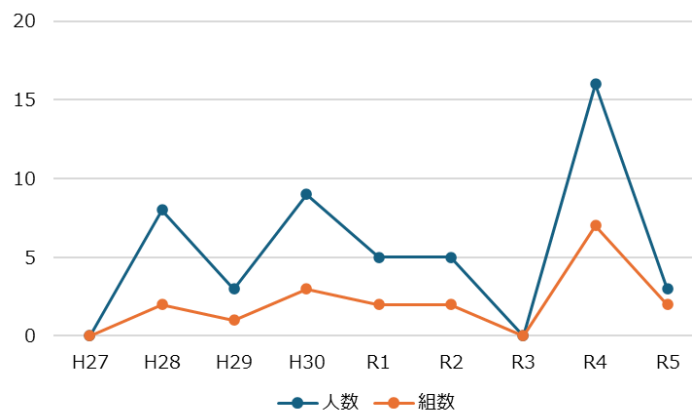
■主な取組内容

- ・総務部活動事業（小学校CS委員会、県移住モデル地区事業など）
- ・住まい整備事業（不動産・空き家調査、移住希望者面談・案内など）
- ・子育て応援活動事業（小学校・保育園環境整備、子どもイベントなど）
- ・広報活動事業（ホームページ・移住イベント等でのPR、活動記録など）
- ・田舎暮らしサポート事業（各種イベント協力など）

■活動頻度

- ・新山定住協議会定例会（毎月）、総会（毎年4月）、役員会（不定期）など

図表4-6 新山地区における移住・定住者数の推移



⑦無居住化のおそれのある集落に対する取組（生活維持対策事業）

集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化の恐れのある集落に対し、集落住民の生活の質を維持するために特段配慮した事業等（「生活維持対策事業」という。）について、市の総合計画における基本理念や方針等に基づいて実施している。

⑧集落ネットワーク圏（小さな拠点）について

過疎地域である長谷地区において、集落ネットワーク圏（小さな拠点）の形成に係る取組が行われており、主に農林業支援や交通・移動支援に係る活動が行われている。

具体的には、「集落住民の交流活動（生産者農家の懇談会、世代間交流）」「都市農村交流（農村体験、都市との交流、大学との連携）」「拠点の提供（施設の開放による近隣住民の交流）」等の取組や活動が行われている。

これらの活動は、行政主導により立ち上げた組織である「長谷地区「小さな拠点」づくり協議会」が行っていたが、メンバーの高齢化等により活動が鈍化していたところ、平成 27 年に長谷溝口地区の住民を中心とした「溝口未来プロジェクト」が発足し、長谷地区全域で空き家対策や移住者支援等の活動が積極的に行われている。また、平成 28 年には当該地区が田舎暮らしモデル地域に指定され、「溝口未来プロジェクト」が中心となり田舎暮らしのサポートを行っている。



出典：地域の教科書（溝口区）

**移住を考えておられる皆さんへ、
私ども「溝口未来プロジェクト」に
なんでも問い合わせてください。**

移住に向けての物件情報や、長谷地域に関して興味を感じられた皆さんへ、

わたくしども「溝口未来プロジェクト」は伊那市「田舎暮らしモデル地域」としての指定を受けた、伊那市長谷で組織された団体です。2016年から活動を開始しました。「空家・宅地部会」では、

- ＊ 引越し前後の片付けのお手伝い
- ＊ 移住物件の紹介・案内
- ＊ 住宅建築希望者に住宅建築用地の紹介
- ＊ 耕作農地や家庭菜園用地の紹介、および作物栽培のお手伝い
- ＊ お試し住宅（公営住宅中島団地）入居期間終了後の、定住先確保のお手伝い等を実施しています。

さらに、移住前の教育関連施設見学の案内や、先輩移住者との交流のサポートも行っています。

わたくしどもの特色は、地域に密着した活動を行っているので、「伊那市空家バンク」に登録されていない物件の情報や住宅建築用地の情報に加え、日常生活に直結した情報を提供できることにあります。

皆様からの問い合わせをお待ちしております。

長谷地域物件情報問い合わせ先

溝口未来プロジェクト
代表 中山勝司（なかやま かつし）
FAX 0265-98-2015
広報担当 高橋光治（たかはし みつはる）
E-mail mizokuchi.mp@gmail.com

伊那市役所 地域創造課（本庁4F）
TEL 0265-78-4111（内線：2155）
E-mail jkz@inacity.jp

2021.4.29

出典：溝口未来プロジェクト HP

(3) 集落対における取組のポイントや課題等について

伊那市では、集落支援員や地域おこし協力隊員の活用等により、各種事業の推進が行われており、集落及び自治会の困りごとや課題解決を行うことで、持続可能な自治会となることを目指しているが、古くからの地域の慣習や決め事等との折り合いが必要となり、解決や調整に時間が必要となる場合があることが課題として挙げられた。

一方で伊那市では、地域おこし協力隊や地域活性化起業人等の外部人材に加え、A Iやドローン等の先進的な技術を積極的に活用する「攻めの取組み」が散見される等、様々な方面からの情報をいち早く取り入れ、失敗を恐れず良いものがあれば積極的に取り入れていこうという方針が市全体の基本スタンスとなっていることも特徴的である。

また、伊那市が集落対策等に力を入れている背景として、これまでも市が抱える様々な課題や力を入れていきたい分野に対し、集落支援員等の力を発揮することが可能な方が対応してきており、地域課題の存在が取組のきっかけとなっているようである。

(4) 集落対策に対する今後の展望について

伊那市を取り巻く地勢的な動向として、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通が予定されている。

これらの変化により、地域の物流・人流が激的に変化し、地域経済に大きな効果をもたらすことが期待されることから、新たなビジネスチャンスを見逃すことなく地域経済に取り込むことが課題となっている。特に、観光は地域経済の活性化や地域の魅力を発信する手段の他、地域住民の誇りを育む要素としても大きな役割を果たすことが期待されることから、地域資源を最大限に活用し、住民との連携を深めながら持続可能な観光振興への取組みが求められるところである。

參考資料

参考資料1 集落の現状把握のための調査票

過疎地域等の条件不利地域における集落データ調査【B票】

※新たに集落を追加する場合は、行を挿入した上で、(1)～(11)に入力されている内容をコピーして貼り付けてください。
 ※最下段の空白行を使って入力していただいても結構です。その場合も(1)～(11)に入力されている内容をコピーして貼り付けてください。

…今回新たに回答していただくデータ(現在居住者がいる集落)
…今回新たに回答していただくデータ(R01年度以降に消滅した集落)
(参考) …継続調査対象区域における令和元年度調査での回答データ(空欄の場合は回答不要)
…継続調査対象区域に関するデータ(令和元年度以降に消滅した集落についてのデータ)

都道府県	市町村コード (R06時点)	市町村名 (R06時点)	市町村区分 (R06時点)	過疎指定 (R06時点)	山村指定 (R06時点)	離島指定 (R06時点)	半島指定 (R06時点)	特別豪雪指定 (R06時点)	旧市町村コード (H11時点)	旧市町村名 (H11時点)	調査対象区域の 種別	集落 番号	集落名
2024年4月1日時点									H11.4.1時点		通し番号		
				過疎地域の指定状況	振興山村の指定状況	離島振興対策実施地域の指定状況	半島振興対策実施地域の指定状況	特別豪雪地帯の指定状況			継続: 前回調査からの継続調査区域 新規: 今回新たに調査する区域(前回無回答を含む)	2024年4月1日現在居住者がいる集落について、(12)に通し番号を振り、(13)に集落の名称を入力してください。 ※継続調査対象区域には、前回調査の集落名が入力されています。前回調査以降に行政的再編が行われたり新たな集落が誕生した場合は、最下行の集落の下に、 新たに集落番号(通し番号)と集落名を入力 してください(青文字で表示されま ※新規調査対象区域は、旧市町村(H11時点)単位で3行ずつ入力行を設けています。足りない場合は行全体をコピーして挿入して追加してください。	
都道府県	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)
記入例													
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続	1	A山
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続	2	B川
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48301	●●町	継続	3	C里
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続	1	D野
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続	2	E崎
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続	3	F里
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48401	△△町	継続	4	Jが丘
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■村	継続	1	G野
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■村	継続	2	H崎
〇〇県	48153	〇〇市	市	一部過疎	一部山村			一部特別豪雪	48601	■村	継続	3	I原

集落 番号	集落名	地域振興諸法の地域指定状況					津波 被災地
		過疎	山村	離島	半島	特別豪雪・ 豪雪	
通し番号		(新規調査対象区域及び修正がある集落のみ)ブルダウンより選択					ブルダウンより 選択
2024年4月1日現在居住者がいる集落について、(12)に通し番号を振り、(13)に集落の名称を入力してください。 ※継続調査対象区域には、前回調査の集落名が入力されています。前回調査以降に行政的再編が行われたり新たな集落が誕生した場合は、最下行の集落の下に、 新たに集落番号(通し番号)と集落名を入力 してください(青文字で表示されま ※新規調査対象区域は、旧市町村(H11時点)単位で3行ずつ入力行を設けています。足りない場合は行全体をコピーして挿入して追加してください。		各集落ごとに、2024年4月1日現在の地域指定状況をそれぞれブルダウンより選択してください。 ※継続調査対象区域については、前回調査の回答や最新の各指定状況等を基にあらかじめ入力していますので、 基本的に修正は不要 です。ただし前回回答に間違いがあった場合などは修正してください。 ※新規調査対象区域については、2024年4月時点の旧市町村(H11時点)単位での指定状況が入力されていますので、 基本的に修正は不要 です。ただし、新規調査対象区域のうち、旧市町村の一部区域が山村、離島、半島、特別豪雪のいずれかに指定されている場合は、各集落ごとの指定状況を確認し、適宜修正してください。					東日本大震災の津波被災地には、ブルダウンより○をつけてください
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)
1	A山	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
2	B川	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
3	C里	4.一部過疎の非過疎区域・前過疎				豪雪(全域)	
1	D野	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
2	E崎	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
3	F里	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
4	Jが丘	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
1	G野	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
2	H崎	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	
3	I原	3.一部過疎の過疎区域	山村(全域)			特別豪雪(全域)	

集落の状況 (R01時点)	R01住民基本台帳(2019.4.1時点)							集落の状況 (R06時点)	(継続調査区域のみ)				R06住民基本台帳(2024.4.1時点)							当該集落に平成27 年以降に転入して きた人がいるか (R01時点)	当該集落に平成31 年以降に転入して きた人がいるか (R06時点)	
	世帯数 (世帯)	総人口 (人)	年齢別人口						ブルダウンより 選択	再編後の 集落No.	再編後の集落名	世帯数 (世帯)	総人口 (人)	年齢別人口								
			0~14歳	15~29歳	30~64歳	65~74歳	75歳以上							0~14歳	15~29歳	30~64歳	65~74歳	75歳以上				
(20)	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)		
1.居住者あり	68世帯	180	12	25	89	30	24	1.居住者あり						65世帯	180	12	25	89	30	24	1.転入者がいる	1.転入者がいる
1.居住者あり	58世帯	102	0	0	75	20	7	1.居住者あり						55世帯	102	0	0	75	20	7	1.転入者がいる	1.転入者がいる
1.居住者あり	32世帯	55	0	0	29	18	8	1.居住者あり						30世帯	55	0	0	29	18	8	2.転入者がいない	2.転入者がいない
1.居住者あり	11世帯	22	0	1	12	6	3	1.居住者あり	3.他と合併	4	が丘											
1.居住者あり	4世帯	6	0	0	2	2	2	2.消滅(無人化)														
1.居住者あり	7世帯	15	0	0	5	6	4	1.居住者あり	3.他と合併	4	が丘										2.転入者がいない	
1.居住者あり	12世帯	35	1	2	18	9	5	1.居住者あり	5.新規に誕生			36世帯	36	0	0	18	12	6			2.転入者がいない	
1.居住者あり	3世帯	4	0	0	1	1	2	2.消滅(無人化)	2.他に編入	3	原											
1.居住者あり	38世帯	80	5	12	30	22	11	1.居住者あり	1.他を統合			44世帯	111	6	8	38	32	27	2.転入者がいない	1.転入者がいる		

平成27年以降に転入した 世帯の中に高校生まで の子どもがいる世帯があ るか (R01時点)	平成31年以降に転入した 世帯の中に高校生まで の子どもがいる世帯があ るか (R06時点)	集落類型 (R01時点)	集落類型 (R06時点)	役場までの距離(km) (R01時点)		役場までの距離(km) (R06時点)		広域交通施設までの距離(※主要な経路に よる概ねの道のり距離)(R06時点)				地域区分 (R01時 点)	地域区分 (R06時 点)	地形的に 末端に ある集落 (R01時点)	地形的に 末端に ある集落 (R06時点)
				本庁まで の距離	支所・出張 所までの 距離	本庁まで の距離	支所・出張 所までの 距離	新幹線駅 までの距 離	特急停車 駅までの 距離	空港まで の距離	高速道路 等までの 距離				
(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)	(51)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)
1.子育て世帯がある	1.子育て世帯がある	3.中心	3.中心	1.0km	1.0km							3.平地	3.平地		
2.子育て世帯はない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	15.0km	15.0km							2.中間地	2.中間地		
2.子育て世帯はない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	12.0km	12.0km							2.中間地	2.中間地		
1.子育て世帯がある	1.子育て世帯がある	1.基礎	1.基礎	49.0km	5.0km							2.中間地	2.中間地		
2.子育て世帯はない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	75.0km	10.0km							1.山間地			
2.子育て世帯はない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	51.0km								1.山間地			
1.子育て世帯がある	1.子育て世帯がある	1.基礎	1.基礎	39.0km	4.0km	49.0km	5.0km					2.中間地	2.中間地		
2.子育て世帯はない	2.子育て世帯はない	1.基礎	1.基礎	79.0km	8.0km							1.山間地			
1.子育て世帯がある	1.子育て世帯がある	2.基幹	2.基幹	10.0km	10.0km							1.山間地	1.山間地	○	

生活サービス機能の立地状況(R01時点)												生活サービス機能の立地状況(R06時点)											
市町村 役場・支 所	公民館・ 集会所	病院・診 療所	商店・ スーパ	飲食店・ 喫茶店	ガソリン スタンド	(簡易)郵 便局	ATM	老人デイ サービス センター	駅・ バス停	小学校	幼稚園・ 保育所等	市町村 役場・支 所	公民館・ 集会所	病院・診 療所	商店・ スーパ	飲食店・ 喫茶店	ガソリン スタンド	(簡易)郵 便局	ATM	老人デイ サービス センター	駅・ バス停	小学校	幼稚園・ 保育所等
(57)	(58)	(59)	(60)	(61)	(62)	(63)	(64)	(65)	(66)	(67)	(68)	(69)	(70)	(71)	(72)	(73)	(74)	(75)	(76)	(77)	(78)	(79)	(80)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

H31.4以降に消滅(無人化)した集落((33)が「2.消滅(無人化)」)の消滅理由														備考 (R01時点)	備考
H31.4以降に消滅(無人化)した集落の消滅理由	H31.4以降に消滅した集落の住民の移転先	H31.4以降に消滅した集落の消滅時期	H31.4以降に消滅した集落にある主な資源の管理方法(R06時点)										消滅集落跡地の資源管理の状況(R06時点)		
			森林・林地	農地・田畑	集会所・小学校等	住宅	集落道路・農道等	用排水路等	神社・仏閣等	河川・湖沼・ため池等	伝統的祭事・伝統芸能等				
「ルダウン」より選択	ブルダウンより選択	半角数値入力	ブルダウンより選択										ブルダウンより選択		
1.集落移転事業による移転 2.公共工事による集団移転 3.廃坑による廃村等 4.自然災害等による分散転居 5.自然消滅 6.その他	1.主に自市町村内の他集落に転居 2.主に他市町に転居 3.各地に分散転居 4.転居者なし 5.不明	消滅(無住化)した年(和暦)を半角数値で回答してください(元号は自動的に入力されます)	1.転居した元集落住民により維持管理を継続 2.他集落等に維持管理を委託(依頼) 3.ボランティア等により維持管理を継続 4.行政により維持管理を継続 5.放置 -当集落には該当する資源・施設がない										1.良好 2.やや荒廃 3.荒廃		
(127)	(128)	(129)	(130)	(131)	(132)	(133)	(134)	(135)	(136)	(137)	(138)	(139)	(140)	(141)	
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	平成31	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃			
5.自然消滅	1.自市町村内に転居	令和2	5.放置	5.放置	4.行政が管理	5.放置	4.行政が管理	5.放置	1.元住民が管理	5.放置	1.元住民が管理	3.荒廃			

Q7 貴市町村では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。

回答欄

- 1 現在活用している
- 2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい
- 3 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい
- 4 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない
- 5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない

→ SQ Q7で「1」～「3」のいずれかを回答された市町村にうかがいます。
 集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

回答欄

- 1 地場製品の販売・開発、その他地産地消推進のための取り組み応援
 (特産品開発研究、販路開拓・拡大、地域資源を活用した産業の創出等)
- 2 集落の巡回、集落点検(集落の人口・世帯の動向等の把握)の実施
- 3 地域住民の合意形成や集落活性化のためのプランづくりへの支援
- 4 地域おこしの支援(地域が主催する行事への参加・協力、地域情報の発信等)
- 5 農林水産業への従事等(農作業支援、獣害対策等)
- 6 住民の生活支援(見守りサービス、通院・買い物等の移動サポート、除雪支援等)
- 7 環境保全活動(不法投棄パトロール、草刈り、ゴミ拾い、エコツアーの実施等)
- 8 水源保全・監視活動(河川の清掃活動、水源地の整備・清掃活動等)
- 9 その他()

市町村における集落地域の現状把握や集落の維持・保全に向けた取組等について

Q8 貴市町村では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

回答欄

- 1 市町村独自の調査を実施している
- 2 都道府県が実施する調査に協力している
- 3 大学等の研究機関や民間機関と連携して調査を実施している
- 4 特に集落实態を把握する調査は実施していない

→ SQ Q8で「1」～「3」を選択された市町村にうかがいます。集落の実態を把握するために実施している調査(複数ある場合は代表的なもの)について、以下に具体的にご回答ください。

実施主体	<input type="checkbox"/>	1 市町村	2 都道府県	3 大学	4 民間企業
調査手法	<input type="checkbox"/>	1 アンケート調査	2 ヒアリング調査	3 現地調査	
調査対象	<input type="checkbox"/>	1 集落住民	2 集落代表	3 その他	
調査範囲	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落	3 不特定の一部集落	
調査頻度	<input type="checkbox"/>	1 定期的(〇年ごとなど)	2 不定期		

Q9 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴市町村が行政施策として講じている対策があれば、代表的な施策を3つまで選び、以下に具体的にご回答ください。

① 事業名					
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落()		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください(例:平成20年度)				
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他	
施策概要					
事業効果					

② 事業名			
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落()
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)		
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策 2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策 4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策 6 景観保全対策 7 住民生活対策 8 その他
施策概要			
事業効果			

③ 事業名			
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落()
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)		
対策分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策 2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策 4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策 6 景観保全対策 7 住民生活対策 8 その他
施策概要			
事業効果			

Q10 行政による取組のほかに、集落間で連携を図り集落機能の維持・保全を図っている事例や、集落活性化のためにNPOや地域住民等が主体となって行っている取組など、特徴的な取組事例があれば、代表的な事例を以下にご紹介下さい。

取組団体名			
団体の種類	<input type="checkbox"/>	1 自治会・集落	2 複数の自治会・集落の協議体 3 任意団体 4 NPO法人 5 社会福祉協議会 6 営利法人 7 その他
対象集落	<input type="checkbox"/>	1 全ての集落	2 特定の集落()
開始年度	←和暦・年度でご回答ください (例：平成20年度)		
取組の分野	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策 2 産業基盤の維持対策 3 自然環境保全対策 4 災害対策・防災対策 5 地域文化の保全対策 6 景観保全対策 7 住民生活対策 8 その他
取組の概要			
取組の効果			

Q11 貴市町村は、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落に対し、集落住民の生活の質を維持するために特段配慮した事業や行政サービス等(以下「生活維持対策事業」という。)を実施していますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- | | |
|--|---|
| 1 無居住化する恐れがある集落の住民に対し生活維持対策事業を実施している | 回答欄
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
| 2 対象を限定せず、全ての集落住民を対象として生活維持対策事業を実施している | |
| 3 無居住化する恐れがある集落はあるが、特にそのような事業は実施していない | |
| 4 無居住化する恐れがある集落はない | |

SQ Q11で「1」又は「2」を選択された市町村にうかがいます。住民の生活の質を維持するために、どのような事業を実施していますか。あてはまる事業の番号を、事業の対象ごとに①か②の欄に入力してください。

①無居住化する恐れがある集落の住民が対象
②全ての集落の住民が対象

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| 1 コミュニティバス・デマンドバスの運行や交通弱者へのタクシー代の補助 | 回答欄
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> | 回答欄
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
| 2 通学・通園支援や病院・福祉施設への送迎サービス | | |
| 3 地元商店による配送費の補助、移動販売への支援などの買い物支援 | | |
| 4 家事や家周りの雪かきなどの支援 | | |
| 5 弁当配達、配食サービス | | |
| 6 高齢者の交流や健康づくり活動の支援 | | |
| 7 その他() | | |

Q12 貴市町村では、集落機能が著しく低下し、近い将来に無居住化する恐れがある集落の地域資源を保全するために、何らかの取組を行っていますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- | | |
|--|---|
| 1 無居住化の恐れがある集落の住民と、無居住化した後の個人や集落が所有する地域資源の管理方法について話し合い、管理計画を策定している(策定中を含む) | 回答欄
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
| 2 無居住化の恐れがある集落内に存在する文化財や伝統的祭事の衣装、古文書などの資料を収集・整理・保管している | |
| 3 無居住化の恐れがある集落の住民に対して、集落の歴史や変遷、集落での暮らしや伝統文化などについて聞き取り、記録(アーカイブ)している | |
| 4 その他() | |
| 5 無居住化する恐れがある集落はあるが、特にそのような保全活動は実施していない | |
| 6 無居住化する恐れがある集落はない | |

Q13 貴市町村内の集落について、今後10年間で集落機能の維持・再編成等を行う見通しはありますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- | | |
|--|---|
| 1 中心・基幹集落の強化による集落機能の維持・再編成を予定している
(基幹集落における「小さな拠点」づくりと基礎集落とのアクセスの確保による機能補完など) | 回答欄
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
| 2 周辺の基礎集落間の相互補完による集落機能の維持・再編成を予定している
(小規模集落同士の集落協定などによる共同作業や集落行事などの合同実施など) | |
| 3 新たな広域的組織づくりによる集落機能の維持・再編成を予定している
(大字や小学校区単位での新たな自治組織づくりなど) | |
| 4 民間やNPO等を活用した機能補完による集落機能の維持・再編を予定している
(各種団体による支援、地域住民が中心となった生活環境保全NPOの設立など) | |
| 5 集落の行政的再編を予定している
(近隣の大規模集落との統合・合併、同規模集落同士の統合・合併、全域的な行政区の見直しなど) | |
| 6 集落の空間的再編(移転)を予定している
(既存集落への集団移転、複数集落の移転による新規集落の形成などの空間的な移転) | |
| 7 集落機能の維持・再編成を行う予定はない | |

集落移転事業について

Q14 貴市町村において、これまでに集落が集団で移転を行った事例はありますか。
 あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | ダム建設や道路建設など公共工事に伴い集団移転した集落がある |
| 2 | 「過疎地域集落再編整備事業(集落等移転事業)」により集団移転した集落がある |
| 3 | 「防災集団移転促進事業」により集団移転した集落がある |
| 4 | 2・3以外の国の事業により集団移転した集落がある |
| 5 | 都道府県の制度・事業により集団移転した集落がある |
| 6 | 市町村の制度・事業により集団移転した集落がある |
| 7 | 行政の事業を適用せず、住民自らの意思決定で自力で集団移転した集落がある |
| 8 | 市町村内で集団移転を行った集落の事例はない |

回答欄

<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

SQ1 Q14で「4」を選択された市町村にうかがいます。

「過疎地域集落再編整備事業(集落等移転事業)」・「防災集団移転促進事業」以外の国の事業により
 集団移転した集落について、以下に具体的な内容をご回答ください。
 なお該当する集落移転の事例が複数ある場合は、代表的な事例についてご回答ください。

集落移転に 活用した国の 事業	事業名				
	所管省庁				
	事業内容 のタイプ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 移転後の生活補償	2 移転先の土地の貸付
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 住宅建設・購入費補助	4 移転費用の借入利子補助
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 固定資産税等の減免	6 その他
事業概要					
総事業費	万円 ←当該集落の移転に要した事業費総額をご回答ください				
移転元の集落	集落数	集落	集落名		
事業年度	開始	年度	終了	年度 ←和暦でご回答ください	
移転の規模等	移転人口	人	移転戸数	世帯	

SQ2 Q14で「5」又は「6」を選択された市町村にうかがいます。

都道府県又は市町村の制度・事業により集団移転した集落について、お分かりになる範囲で、以下に具体的な内容をご回答ください。

なお該当する集落移転の事例が複数ある場合は、代表的な事例についてご回答ください。

移転元の集落	集落数	集落	集落名		
移転の規模	移転人口	人	移転戸数	世帯	
移転の進行経過	検討開始	年度	移転終了	年度 ←和暦でご回答ください	
集落の集団移転に際して適用した事業	事業名				
	事業主体	<input type="checkbox"/>	1 都道府県の制度・事業	2 市町村の制度・事業	
	事業内容のタイプ	<input type="checkbox"/>	1 移転後の生活補償	2 移転先の土地の貸付	
		<input type="checkbox"/>	3 住宅建設・購入費補助	4 移転費用の借入利子補助	
		<input type="checkbox"/>	5 固定資産税等の減免	6 その他	
事業概要					
総事業費	万円 ←当該集落の移転に要した事業費総額をご回答ください				
集落の集団移転に至る経緯	移転元集落の災害時の危険性が高まった、集落住民から移転陳情があったなど、集落の集団での移転を行うこととなった経緯について、お分かりになる範囲で詳しくお教えてください。				
移転先の選定方法等	移転先の候補地の選定方法や決定までの住民との協議経緯などについてお教えてください。				
集落移転に係る問題点	集落移転の検討を開始してから移転が完了するまでの経緯で問題となったことや直面した課題などがあれば、詳しくお教えてください。またそれらの問題・課題をどう乗り越えられたのかについても併せてお教えてください。				
移転後の集落跡地の管理状況	共有財産	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	私有財産	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	神社仏閣	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	集会所	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
	インフラ	<input type="checkbox"/>	1 元住民(集落)が管理	2 行政が管理	3 その他
移転後の祭りや伝統行事の継承状況	元住民(集落)が集落跡地で継続開催、元住民(集落)が移転先で継承など、移転元の集落で実施されていた祭りや伝統行事の継承状況について、お分かりになる範囲でお教えてください。				
移転後の集落の構成	<input type="checkbox"/>	1 移転元と同じ集落構成を維持	2 複数の集落に分割	3 移転先の集落に編入	4 他の集落と統合して新たな集落を形成

「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の形成について

※「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の定義については、「はじめにお読みください」の『基本的な用語の定義』を参照してください。

Q15 国では、基幹集落を中心に周辺の複数集落をひとつのまとまりとして集落機能を確保する、いわゆる「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)の形成を支援しているところですが、貴市町村では、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)を形成していますか。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 市町村全域で集落ネットワーク圏が形成されている |
| 2 集落ネットワーク圏を形成している地域と形成していない地域がある |
| 3 集落ネットワーク圏は形成していないが、今後形成する予定がある |
| 4 集落ネットワーク圏は形成しておらず、今後形成する予定もない |

回答欄

→ SQ Q15で「1」～「3」のいずれかを回答された市町村にうかがいます。
貴市町村で形成されている(形成を予定している)「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)のエリアとして該当するものをすべて選んで入力してください。

- | |
|---|
| 1 市町村全体でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |
| 2 概ね「平成の合併」前の旧市町村単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |
| 3 (中学校が複数ある場合)概ね中学校区単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |
| 4 (小学校が複数ある場合)概ね小学校区単位でひとつの集落ネットワーク圏を形成 |
| 5 その他() |

回答欄

Q16 貴市町村の中で、「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)における取組があれば、代表的な取組事例を以下に3つまで具体的にご紹介ください。

① 集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称						
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/> 1	商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/> 2	飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/> 3	福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/> 4	農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/> 5	医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/> 6	文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/> 7	子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/> 8	地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/> 9	都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/> 10	交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/> 11	その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/> 1	国の事業・制度を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 2	都道府県の事業を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 3	市町村事業により支援 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 4	民間団体の支援を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 5	特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

②	集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称					
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/> 1	商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/> 2	飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/> 3	福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/> 4	農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/> 5	医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/> 6	文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/> 7	子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/> 8	地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/> 9	都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/> 10	交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/> 11	その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/> 1	国の事業・制度を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 2	都道府県の事業を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 3	市町村事業により支援 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 4	民間団体の支援を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 5	特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

③	集落ネットワーク圏(小さな拠点)の名称					
活動主体	組織名					
	組織形態	<input type="checkbox"/> 1 行政機関	<input type="checkbox"/> 2 第3セクター	<input type="checkbox"/> 3 非営利法人	<input type="checkbox"/> 4 営利法人	<input type="checkbox"/> 5 任意団体
集落ネットワーク圏(小さな拠点)における取組の主な活動内容	<input type="checkbox"/> 1	商店・購買・金融 (例)住民出資会社による商店経営、高齢者宅への配送サービスなど				
	<input type="checkbox"/> 2	飲食・喫茶 (例)女性グループによる地元農産物を使った食堂やカフェの営業など				
	<input type="checkbox"/> 3	福祉サービス (例)ミニデイサービス、高齢者等の見守り活動や日常生活のサポートなど				
	<input type="checkbox"/> 4	農林業支援 (例)農産物の集荷サービス、加工品等の特産品開発の支援など				
	<input type="checkbox"/> 5	医療サービス (例)診療所と一体となった「小さな拠点」の整備による医療の提供など				
	<input type="checkbox"/> 6	文化活動 (例)祭りや伝統行事の復活・活発化、新たなイベントの開催など				
	<input type="checkbox"/> 7	子育て支援 (例)子どもの居場所づくり、高齢者と子どもたちの交流活動など				
	<input type="checkbox"/> 8	地域コミュニティ活動 (例)人々が集まるサロンの開催、防災訓練や地域点検活動など				
	<input type="checkbox"/> 9	都市交流機能 (例)農業体験など都市住民との交流イベントの開催、移住相談など				
	<input type="checkbox"/> 10	交通・移動支援 (例)有償運送サービスの実施、コミュニティバスの運行など				
	<input type="checkbox"/> 11	その他				
具体的な取組・活動の内容						
上記の取組に対する支援	<input type="checkbox"/> 1	国の事業・制度を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 2	都道府県の事業を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 3	市町村事業により支援 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 4	民間団体の支援を活用 →事業名()				
	<input type="checkbox"/> 5	特に支援制度・事業等は活用していない(事業実施主体が独自に行っている)				

Q17 貴市町村において「集落ネットワーク圏」(小さな拠点)での取組を行うに際して、どのような課題がありますか。

あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 取組を行う住民主体の組織(担い手)がない
- 2 住民主体の組織(担い手)はあるが、当該組織に取組の必要性が認識されていない
- 3 取組に関するノウハウがない
- 4 取組に関する資金がない
- 5 集落機能が十分確保されており、ネットワーク圏による取組を行う必要性を感じない
- 6 その他の課題()
- 7 特に課題はない

回答欄

Q18 上記の課題を解決するため、国等に要望することがあれば、以下にご回答ください。

--

Q19 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

- 1 財政措置
- 2 人材斡旋
- 3 情報提供
- 4 規制緩和
- 5 モデル事業の提案
- 6 その他

回答欄



回答欄で選んだ番号の内容を具体的にご回答ください。

アンケート調査(A票)は以上です。集落データ(B票)と併せて都道府県にご返送下さい。
ご協力ありがとうございました。

参考資料3 都道府県アンケート調査票

過疎地域等の条件不利地域における集落の状況に関する調査〔都道府県票〕

令和6年10月 実施
国土交通省国土政策局総合計画課
総務省 自治行政局 過疎対策室

ご記入にあたってのお願い

■色のついたセルが回答欄です。それぞれの色は以下のとおりです。

黄色 選択肢の番号や数字(半角、直接入力)

水色 文字・文章(直接入力)

■文章が長く既定の枠では表示が切れてしまう場合は、必要に応じ行の高さを変えて頂いて結構です。

ただし、**行や列の挿入、削除は行わないでください。**

貴都道府県についておたずねします

■以下にご回答いただいた方のご所属、お名前、ご連絡先等をご記入ください。

団体名	都道府県			
記入者	所属			
	役職		氏名	
連絡先	TEL		FAX	
	E-mail			

都道府県の集落対策に係る体制について

Q1 貴都道府県では、集落対策を担当する専門部署はありますか。

1 専任の職員を置いている	2 特に専任の職員は置いていない	回答欄
<p>SQ1 集落対策の専任職員数と所属についてご記入ください。</p> <p>職員数 人</p> <p>所属 組織名 </p>	<p>SQ2 集落対策をどのように行っているか、兼務体制など具体的に記入してください。</p> <div style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; height: 40px;"></div>	
<p>SQ3 どのような活動を行っていますか。</p> <div style="background-color: lightblue; border: 1px solid black; height: 30px;"></div>		

Q2 国では、地域の実情等に詳しい人材が高齢者の見守りや買物支援などを含む集落の維持・活性化対策を行う「集落支援員」制度の活用を推進しているところですが、貴都道府県では当該制度を活用していますか。

市町村ではなく、貴都道府県として活用しているかどうかをご回答ください。

<p>1 現在活用している</p> <p>2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい</p> <p>3 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない</p> <p>4 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい</p> <p>5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない</p>	回答欄
--	--

↳ SQ Q2で「1」～「3」と回答された都道府県にうかがいます。

どのように活用している(活用していた)か、以下に具体的にご回答ください。
また、「3」と回答された都道府県は、現在活用していない理由を併せてご回答ください。

Q3 「集落支援員」制度の導入等における課題や、国等に対する要望等があれば、以下にご回答ください。

Q4 貴都道府県では、地域おこし協力隊等の集落に対する外部からのサポート人材を活用していますか。
市町村ではなく、貴都道府県として活用しているかどうかをご回答ください。

- 1 現在活用している
 - 2 以前は活用しており、現在は活用していないが、今後、再び活用してみたい
 - 3 現在まで活用したことはないが、今後、活用してみたい
 - 4 以前は活用していたが、現在は活用しておらず、今後も活用の予定はない
 - 5 現在まで活用したことはなく、今後も活用の予定はない

回答欄

↳ SQ Q4で「1」～「3」のいずれかを回答された都道府県にうかがいます。

集落に対する外部からのサポート人材に期待する活動は何ですか。
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 地場産品の販売・開発、その他地産地消推進のための取り組み応援
(特産品開発研究、販路開拓・拡大、地域資源を活用した産業の創出等)
 - 2 集落の巡回、集落点検(集落の人口・世帯の動向等の把握)の実施
 - 3 地域住民の合意形成や集落活性化のためのプランづくりへの支援
 - 4 地域おこしの支援(地域が主催する行事への参加・協力、地域情報の発信等)
 - 5 農林水産業への従事等(農作業支援、獣害対策等)
 - 6 住民の生活支援(見守りサービス、通院・買い物等の移動サポート、除雪支援等)
 - 7 環境保全活動(不法投棄パトロール、草刈り、ゴミ拾い、エコツアーの実施等)
 - 8 水源保全・監視活動(河川の清掃活動、水源地の整備・清掃活動等)
 - 9 その他()

回答欄

Q5 貴都道府県では、集落の現状等を把握するための調査(本調査を除く)を実施していますか。
あてはまる番号をすべて選んで入力してください。

- 1 都道府県独自の調査を実施している
 - 2 大学等の研究機関や民間機関と連携して調査を実施している
 - 3 特に集落实態を把握する調査は実施していない

回答欄

Q6 現在存続している集落について、集落機能の維持・保全のため、社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、貴都道府県が行政施策として講じている対策があれば、以下の(1)～(3)のそれぞれについて主な施策を3事例まで選び、具体的にご回答ください。

(1) 都道府県が直接事業主体となり、集落に対して直接支援を行っている施策

① 事業名																		
対象集落																		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）																	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他															
施策概要																		
事業効果																		

② 事業名																		
対象集落																		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）																	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他															
施策概要																		
事業効果																		

③ 事業名																		
対象集落																		
開始年度	←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）																	
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1 生活基盤の維持対策</td> <td>2 産業基盤の維持対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 自然環境保全対策</td> <td>4 災害対策・防災対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 地域文化の保全対策</td> <td>6 景観保全対策</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 住民生活対策</td> <td>8 その他</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7 住民生活対策	8 その他															
施策概要																		
事業効果																		

(2) 都道府県が市町村事業に対して補助・支援等を行っている施策

① 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

② 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

③ 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

(3) 都道府県がNPOや住民団体等を通じて間接的に支援を行っている施策

① 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

② 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

③ 事業名		
対象集落		
開始年度		←和暦・年度でご回答ください（例：平成20年度）
対策分野	※あてはまる番号を入力し、「具体的内容」に各分野の具体的な内容を記入してください	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 生活基盤の維持対策	2 産業基盤の維持対策
	3 自然環境保全対策	4 災害対策・防災対策
	5 地域文化の保全対策	6 景観保全対策
	7 住民生活対策	8 その他
施策概要		
事業効果		

Q7 集落地域の維持・活性化に向け、都道府県が担うべき役割や実施していくことが望ましいと考えられる施策について、具体的にご回答ください。

Q8 集落の維持・活性化に向けて国に期待する役割は何ですか。

<p>1 財政措置 2 人材斡旋 3 情報提供 4 規制緩和 5 モデル事業の提案 6 その他</p>	<p>回答欄</p> <p>→ → → → → →</p>	<p>回答欄で選んだ番号の内容を具体的にご回答ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
---	---	--

アンケート調査は以上です。貴都道府県内の対象市町村のご回答（アンケート票（A票）及び集落データ（B票））を取りまとめの上、本ファイルと併せてご返送下さい。ご協力ありがとうございました。

参考資料4 調査実施時における質問及び対応表

No.	質問内容	回答内容
1	<p>B票の(49)～(52) 広域交通施設までの距離(新幹線駅・特急停車駅・空港・高速道路等ICまでの距離)の項目で、</p> <p>①その自治体に新幹線駅や空港がない市町もあります。そのため、各集落から0.1km単位までの距離を算定することが難しく、概算値のような形になると考えられます。この項目はここまで詳細なものを求められていますでしょうか。</p> <p>②また、調査対象の集落が多い市町の場合、その集落が属する小学校区単位での距離で回答することは可能でしょうか。</p>	<p>①御指摘のとおり、当該自治体に新幹線駅や空港がない市町の場合は、0.1km単位精度の距離算定は困難又は煩雑と思えますので、概算値(1km単位(難しければ5km単位))で結構です。この場合において、直線距離ではなく、主要な経路による概ねの道のり距離である点、御留意いただけますと幸いです。</p> <p>②調査対象の集落数が多く、事務負担が大きい場合には、その集落が属する小学校区単位で同一の距離を回答いただいても、差し支えございません。ただし、小学校区が広大な場合には、各集落の実態を可能な限り捕捉できるよう、可能な範囲で結構ですので小学校区を更に細分化いただくなど、御配慮いただけますと幸いです。</p>
2	<p>B票(40)について、世帯ごと転入した人(いわゆる移住世帯)だけを対象としてよいのでしょうか。B票(41)は「世帯」となっておりまして、大都市圏から帰ってきて親の世帯の一員になった人はどうすべきかと思ひ、確認をさせていただければと思います(ミナマムな部分も含まれるか)。</p> <p>※(42)が、転入世帯のうち高校生以下が含まれるか、という世帯を対象にした設問に対し、その前段での本項目が「人」単位でよいのか、という趣旨</p>	<p>B票(40)は「当該集落に平成31年以降に転入してきた“人”がいるか」という設問のため、世帯単位の転入でない場合(個人転入で親の世帯に入った人がある場合)でも、該当するものとして御回答ください。</p> <p>ただし、前回調査時の回答において、(40)同旨問に対し、転入“世帯”でカウントしている場合には、継続性確保の観点から、前回整理と同様の整理で御回答いただけますと幸いです。</p>
3	<p>「SQ 令和元年度の職員数や配置先をご回答ください。」とあるのは、令和6年度の誤りではないか。</p>	<p>お見込みのとおり、正しくは「令和6年度」であり、「令和元年度」は誤りです。「令和6年度」と書き換え、読み替えた上で、御回答いただけますと幸いです。</p> <p>なお、御指摘を踏まえ、該当箇所修正後の市町村票A票を総務省過疎対策室から全自治体へ追って再配布いたします。</p>
4	<p>「都市部(市町村の中心部)への移動手段」とあるが、この都市部の捉え方について、小林市は、旧小林市(過疎ではない)、旧須木村(過疎地域)、旧野尻町(過疎地域)が合併している一部過疎ですが、「都市部(市町村の中心部)」というのは小林市全体としてのことなのか、旧須木村、旧野尻町それぞれの中心部なのかとらえ方を教えてください。</p>	<p>一般論として申し上げれば、ここでいう「都市部(市町村の中心部)」とは、旧町村単位ではなく、現行の市町村の中心部です。</p> <p>ただし、小林市では、前回調査(R元)において、「田代八重」集落について、本項目に回答いただいております(105)ため、継続性の観点から、前回調査時の回答に当たって想定した“都市部”と齟齬がない形で御回答いただけますと幸甚に存じます。</p>
5	<p>前回調査時(元年度)は、対象地域が離島のみであったため、島内の自治会単位で回答を作成したが、R3年度の過疎新法により、市内の他地域が過疎地域となり、今回は当該地域も含めて回答対象となるように思う。</p> <p>前回と同様に自治会単位で、一部過疎地域も含めて回答しようとする100を超える地域となってしまう煩雑であるため、もう少し広い範囲(大字など)を1単位として回答したいと考えているが、貴省として「集落」はどの程度の単位を想定しているか。</p>	<p>本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位と定義しております。</p> <p>実態としては旧市町村単位、丁や字、地域独自の範囲など、市町村によって一集落の規模感は様々ですので、新たに追加となる地域については実情を踏まえて判断いただければ幸いです。</p> <p>なお、継続性の観点から、前回から対象となっている地域につきましては引き続き同じ集落単位でご回答いただきますようお願いいたします。</p>
6	<p>B票の(49)～(52) 広域交通施設までの距離(新幹線駅・特急停車駅・空港・高速道路等ICまでの距離)の項目について、離島であることから航路の経由が必須であり、どのように0.1km単位の精度での距離算定が困難であるが、どのように考えたらよいか。</p>	<p>当該自治体に新幹線駅や空港がない市町の場合は、0.1km単位精度の距離算定は困難又は煩雑と思えますので、概算値(1km単位(難しければ5km単位))で結構です。この場合において、直線距離ではなく、主要な経路による概ねの道のり距離である点、御留意いただけますと幸いです。</p>
7	<p>「転入した世帯の中に高校生以下の子どもがいるか」という設問について、高校生かというのは年齢で高校生として判断してかまわないということでしょうか。</p>	<p>年齢で御判断いただいても構いません。</p>
8	<p>本町は一部過疎であり、これまで本調査では泊地域のみを対象として回答させていただいておりました。回答している集落の中に「泊」という地区があるのですが、ここは行政区としては泊1区から6区までの6つに分かれていますが、これまで一つの集落として調査に回答しておりました。</p> <p>今回、令和4年に本町の東郷地域も過疎地域に指定されたので、回答に東郷地域も追加するのですが、東郷地域にも松崎地区という1区から6区までにわかれていた行政区があります。今回の調査につきましても、泊地域と同様、松崎地区をまとめて一つの集落として回答して差し支えないでしょうか。</p> <p>「はじめにお読みください」というエクセルに集落の定義が「市町村行政において扱う行政区の基本単位」とされておりましたので、区ごとに回答したほうがよろしいのでしょうか。</p>	<p>本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位と定義しております。</p> <p>実態としては旧市町村単位、丁や字、地域独自の範囲など、市町村によって一集落の規模感は様々ですので、新たに追加となる地域については実情を踏まえて判断いただければ幸いです。</p> <p>なお、継続性の観点から、前回から対象となっている地域(泊地域)につきましては引き続き同じ集落単位でご回答いただきたく考えており、それとの横並びの観点から新たに追加となった「松崎地区」も一つの集落として回答いただいても差し支えありません。</p>

No.	質問内容	回答内容
9	今回、新規調査対象区域として、加治川村が入っており、3行設けられているが個々の集落を記載をするとすると、足らないが、どう記載すればよいか。	B票W14に記載がある通り、行全体をコピーして挿入願いたい。
10	全て最寄りの地点までの距離を記載とのことだが、用途によって地点が異なる場合(ex.新潟方面or東京方面)で利用する駅が異なるが、どの地点を指定すべきなのかご教示いただきたい。	実態ベースで記載いただくのではなく、記入要領に記載があるとおり、 <u>最寄り</u> で地点を決めていただき、そこまでの距離を記載願いたい。
11	記号(45)～(52)までの欄で、距離を記入しますが、 Q1この距離というのは、対象集落からの直線距離でいいのか、道路等を使用した場合の距離でいいのか Q2.最寄りとありますが、空港や高速道路のICで、空港の場合、一番近い地方空港でなく、一番利用する(羽田空港)空港という考え方でいいのか (※直線距離でいえば、長野県の松本空港が近いと思います) また、インターチェンジの場合も最寄りではないが、一番利用する(渋川伊香保IC)インターという考え方でよいのでしょうか (※一番近いのは、月夜野ICとなります)	A1.「B票記入要領」のとおり、「主要な経路による概ねの道のり距離」(直線距離ではなく道のり距離)で御回答いただけますと幸いです。 A2.直線距離ではなく、道のり距離で最も近い又は移動時間が最も短い(＝最寄り)広域交通施設までの距離を御回答いただけますと幸いです。 なお、道のり距離で最も近い又は移動時間が最も短い空港、IC等が、日常生活における利用実態に即していない場合であっても、調査上は、記入要領の文字とおり、最寄りの施設までの距離を御回答いただけますと幸いです。
12	「SQ 令和元年度の職員数や配置先をご回答ください。」とあるのは、令和6年度の誤りではないか。	お見込みのとおり、正しくは「令和6年度」であり、「令和元年度」は誤りです。「令和6年度」と書き換え、読み替えた上で、御回答いただけますと幸いです。 なお、他の市町村御担当者様からの同様の御指摘を踏まえ、該当箇所修正後の市町村票A票を総務省過疎対策室から各都道府県経由で対象の全自治体へ再配布済みです。追って修正版のA票が到達するかと思います。
13	調査B票(47)～(52)の距離の質問において、集落の起点をどこにすればよいか、考え方の基準はありますでしょうか。市町村で任意に決めてよいものでしょうか。	継続調査項目である同票(45),(46)の役場までの距離の算定に当たり、過去調査において、各集落の起点を各市町村において定められていると考えます(一般論で申し上げますと、公民館や自治会館などの集落の中心的な拠点・施設を起点としているケースが多いと聞き及んでおります)ので、それら過去調査で定めた起点と同地点を起点として、(49)～(52)についても御回答いただけますと幸いです。 なお、新規項目である(49)～(52)については、集落数が多い等により、 0.1km単位精度の距離算定が困難又は煩雑な場合には、概算値 (1km単位(難しければ5km単位))の距離を御回答いただくことも構いません。この場合において、直線距離ではなく、主要な経路による概ねの道のり距離である点、御留意いただけますと幸いです。
14	(桐生市からの質問) 継続で調査対象となっている集落について、過去調査では、現在市町村行政において取り扱っている集落単位よりかなり細分化された形で回答していた。 現在の実態に即して、継続調査対象の集落をいくつか合体して回答してもよいか。	基本的には、調査の継続性の観点から、集落の合併・再編等状況の変化がない限りは、前回調査の集落単位で引き続き御回答いただきたい。 その上で、前回調査の集落単位と実態があまりにも乖離している場合には、実態に即して是正いただいても構わない。その場合、同票(29)～(31)の再編状況の欄で前回調査回答との対応付けをしていただければと存じます。
15	上市町は町全域が特別豪雪地域に指定されているため、町全域の集落が調査対象と捉えているが、前回調査では、町全域が網羅されておらず、町営団地で構成される集落などが欠落している。集落を追加してもよいか。	前回調査時に何かしらの判断基準をもって、集落を分別された上で回答いただいているものと考えます。したがって、基本的には、調査の継続性の観点から、前回調査の集落単位で御回答いただくことと構わない。 その上で、前回調査の集落単位と実態があまりにも乖離している場合には、実態に即して欠落していた集落を追加いただいても構わない。 単なる記入漏れ等の場合は、集落を追加頂く形で特段集計上の問題ないが、(141)の備考欄に「前回記入漏れ」等の記入を頂けると助かります(前回調査でも北海道苫前町と大分県竹田市でそのような回答がありました)。
16	「(2)都道府県が市町村事業に対して補助・支援等を行っている施策」について、都道府県として、今回調査対象となっている条件不利地域の市町村にのみフォーカスした補助・支援等でなく、県全域を対象とした補助・支援でも該当ありとしてよいか。	社会基盤の維持管理や社会的サービスの提供などの面で、集落機能の維持・保全に資するものであれば、条件不利地域に限定せず、県全域に対し講じている施策でも、回答いただいても構わない。
17	「平成31年以降に転入した世帯の中に高校生までの子どもがいる世帯があるか(R06時点)」について、転入してきた時点では、夫婦のみであり、その後子どもが生まれた世帯は、カウントしてよいのか。	「B票記入要領」において、(42)について、「(40)で「転入者がいる」とした集落について、平成31年4月1日以降に転入してきた人の中に、令和6年度時点で0歳から高校3年生までの子どもがいる世帯(＝子育て世帯)があるかどうかを、プルダウンから選択してください。」 としていた。 このことから、H31.4.1以降に転入してきた世帯において、転入してきた時点の子どもの有無にかかわらず、R6.4.1時点で0歳～高校3年生までの子どもがいればカウントされたい。

No.	質問内容	回答内容
18	表頭に「 1.子育て世帯がある 2.子育て世帯はない 3.分からない ※子育て世帯＝ <u>高校生以上</u> の子どもがいる世帯」 との記載があるが、高校生以下」の誤りではないか。	御指摘のとおり、当該※書きは、「※子育て世帯＝高校生以下の子どもがいる世帯」の誤りである。 B票記入要領では、「令和6年度時点で0歳から高校3年生までの子どもがいる世帯(＝子育て世帯)があるかどうか」としているの、正しい解釈(高校生以下)で御回答いただければ幸い。
19	生活サービス機能の立地状況(R06時点)のうち、「公民館・集会所」について、老人集会所や農業集会所は該当するか。	B票記入要領において、「集会所とは、公民館以外で、集落住民の交流や活動拠点施設(事務所機能や集会機能を持つ施設)。※町内会館や自治会の集会所等は含まない。」とされている。 老人集会所は、集落住民の交流拠点に該当するものと考えられ、農業集会所は、活動拠点施設に該当するものと考えられるので、該当ありとしていただいても構わない。
20	新規追加となったこれらの調査項目について、例えば湧別町から最寄りの新幹線駅までは、700km程度以上離れているがそれでも回答すべきか。	新規項目である(49)～(52)について、集落数が多い等により、 0.1km単位精度の距離算定が困難又は煩雑な場合には、概算値 (1km単位(難しければ5km単位))の距離を御回答いただくことも構いませんが、可能な限り御回答をお願いしたい。 なお、この場合において、直線距離ではなく、主要な経路による概ねの道のり距離である点、御留意いただけますと幸いです。
21	完全国費の事業(農村RMO)は記載対象となりますでしょうか？	農山漁村振興交付金(中山間地農業推進対策)のうち農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業 (https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/attach/pdf/chusankan_suishin-7.pdf)は該当しますので、Q6の「(3) 都道府県がNPOや住民団体等を通じて間接的に支援を行っている施策」に御記入いただけますと幸いです。 (理由) 都道府県負担の有無にかかわらず、都道府県を通じて講じられている行政施策について御回答いただきたい趣旨のため。 また、当該事業は、1,000万円上限の定額支援施策であり、地域によっては、1,000万円を超える部分を都道府県が負担している場合も排除できないため。
22	(29)～(31)の「R01.4以降の集落の行政的再編の有無」について、記入例は空欄になっていますが、該当がなければ空欄でよいでしょうか。	(29)について、新規に追加された集落である場合は空欄で結構ですが、 継続調査集落で特に再編等が無い場合は「4.行政的再編なし」とご記入いただきたく存じます。 (30)、(31)については該当がない場合((29)で2,3,6以外を選択)は空欄で構いません。
23	(34)～(38)の「年齢区分別人口」について、本市では調査していないことから、空欄でよいでしょうか。 令和元年度調査においても、ご担当者様へ確認の上、空欄で提出しています。	調査していない等により把握できない場合には、空欄で結構です。
24	(49)～(52)の「広域交通施設までの距離(※主要な経路による概ねの道のり距離)」について、記入例は空欄になっていますが、当該都道府県に新幹線駅がないなど、相当程度の距離が想定される場合は空欄でよいでしょうか。	大変ご負担をおかけして申し訳ございませんが、当該都道府県に新幹線駅がないなどの場合であっても、最寄り拠点までの距離を、可能な範囲で御記入いただきたく存じます。 その場合、0.1km単位精度の距離算定は困難又は煩雑 と思いますので、概算値(1km単位や5km単位など)で、かつ、一定の集落のまとまりごとに同一の距離を御回答いただく形でも結構です。 また、直線距離ではなく、主要な経路による概ねの道のり距離である点、御留意いただけますと幸いです。
25	生活サービス機能の立地状況(R06時点)のうち、「公民館・集会所」について、B票記入要領には、「集会所＝公民館以外で、集落住民の交流や活動拠点施設(事務所機能や集会機能を持つ施設)。※町内会館や自治会の集会所等は含まない。」とされているが、自治会の集会所を選挙投票所として使用したり避難所として指定したりしている。こうした場合も、集会所に該当しないものとして整理すべきか。	定義がわかりづらく申し訳ない。 公的な用途で利用されている集会所であれば、ここでいう集会所に該当するものとして、○を入れていただいても構わない。 記入要領の※書きは、自治会が独自に設置した、公的な役割を有しない私立の集会所を排除する意図かと推察される。
26	B表のBA列ですが、「※子育て世帯＝高校生以上の子どもがいる世帯」とありますが、「高校生以下の子どもがいる世帯」が正しいでしょうか。	お見込みのとおり誤植でして、「※子育て世帯＝高校生以上の子どもがいる世帯」とあるのは「※子育て世帯＝高校生以下の子どもがいる世帯」と読み替えていただきたく存じます。 なお、 B票記入要領には、「(40)で「1.転入者がいる」とした集落 について、平成31年4月1日以降に転入してきた人の中に、 <u>令和6年度時点で0歳から高校3年生までの子どもがいる世帯(＝子育て世帯)があるかどうかを、プルダウンから選択してください。</u> 」としておりますので、 時点の差に御留意いただけますと幸いです。

No.	質問内容	回答内容
27	<p>(13)集落名について、前回調査の集落名を転記されているかと思うが、 集落番号 30「一ツ屋、四天地」 → 正しくは「田之尻」 集落番号 36「田の尻、四天地」 → 正しくは「一ツ屋」 集落番号 37「田の尻、一ツ屋」 → 正しくは「四天地」 の誤り。 おそらく、前回調査で、集落番号30の1集落を30,36,37の3つに分離した際、「再編後の集落名」に分離していった地区(分離後の当該集落以外の2集落)を誤って書いたものが、そのまま集落名になっていると推察。 どのように修正すればよいか。</p>	<p>(13)集落名は赤字で修正いただいた上で、最右の「備考欄」に、以下のように記載いただきたい。 ――備考欄記載例―― 修正前の集落名は、「～～」。前回調査時の誤記のため、修正。</p>
28	<p>「今後の消滅の可能性(R06時点)」について、 ○: 今後、いずれは消滅(無人化)する可能性のある集落 ◎: 今後、10年以内に消滅(無人化)する可能性のある集落 はどのように、何を基準に判断すればよいか。</p>	<p>無人化の可能性については、これまでの人口減少の経年変化、集落の立地状況等を総合的に勘案し、市町村の御担当者で判断いただいできているところ。 前回調査では、貴市は全集落で「一: 当面存続」になっているので、いずれ無人化する集落はないと想定されているものと思料。実態上は、無人化する前に、他の集落と統合する等を想定されているのではないか。</p>
29	<p>当市は、市の一部のみが離島振興対策実施地域に該当するのですが、こちらの調査のA票は、調査対象区域の離島についてのみ回答すればよろしいのでしょうか。もしくは、市全域について回答すればよいのでしょうか。 具体的には、集落支援員や地域おこし協力隊に係る設問について、調査対象の離島では活用していないが、本土では活用しており、どのように回答すればよいか判断がつかない。</p>	<p>A票については、市全域について御回答願います。 (補足) 特にお尋ねの集落支援員や地域おこし協力隊については、市町村票B票の「サポート人材の配置状況(84)-(86)において、対象集落ことの状況を把握可能です。</p>
30	<p>①集落名について 本市の集落名は、行政区名を読み替えて入力をしています。 前回調査と比較すると、現在の行政区名との差異があり、今後のためにも整合性が合うように修正しておく方がよいと考えております。 変更については、行政的な再編に伴うものでなく、単純な記載内容の確認漏れや前例踏襲とした結果によるものです。 以下のような事例があるのですが、どのように対応するのがよろしいでしょうか？ 1番下のケースのみ、集落数を増やす必要があります。</p> <p>a 前回調査: 三島上組 → 行政区名は「三島町上組」(中組・下組もあり) b 前回調査: 湊町増福寺 → 行政区名は「湊町増福町」 c 前回調査: 影ノ浦・城ノ下 → 影之浦・城ノ下 d 旧町ごとにある「犬寄」という地名 → 行政区名は両者を区分するために、「中山犬寄」「双海犬寄」としている e 前回調査: AONO 灘町 → マンション名の変更により、行政区名は「灘町キャッスル」になっている f 全課調査: 双海地区にある「三島」 → 行政区上は、「双海灘町1丁目～5丁目」まであり</p>	<p>一般論として、本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位と定義しております。 実態としては旧市町村単位、丁や字、地域独自の範囲など、市町村によって一集落の規模感は様々ですので、集落の単位については実情を踏まえて判断いただければ幸いです。 その上で、各ケースに対し、御回答すると、以下のとおりです。 (ケースa～e) (13)集落名は赤字で修正いただいた上で、(29)で「名称変更」を選択の上、最右の「備考欄」に、以下のように記載いただきたい。 ――備考欄記載例―― 修正前の集落名は、「～～」。前回調査時の誤記のため、修正。 ----- (ケースf) 調査の継続性の観点から、原則、前回調査時と同様の単位での回答で構いませんが、前回調査の集落単位と実態が乖離している場合には、実態に即して是正いただいても構いません。その場合、同票(29)～(31)の再編状況の欄で前回調査回答との対応付け(分離)をしていただければと存じます。加えて、実態上集落の分離ではないとのことですので、上記と同様に、最右の「備考欄」に適正化である旨を記載いただけますと幸いです。</p>
31	<p>②サポート人材について 本市では、集落支援員・地域おこし協力隊・地域活性化企業人の活用があります。 集落支援員は特定集落へのサポートをしておりますが、地域おこし協力隊・地域活性化企業人については地域を定めず、市内全域を対象に活動しております。 この場合の入力については、全ての集落に○をつけたのでかまわないのでしょうか？</p>	<p>サポート人材が市内全域を対象としており、調査対象集落が活動範囲に含まれている場合には、全ての集落に○を付けていただいで構いません。</p>

No.	質問内容	回答内容
32	専任職員数となっていますが、集落対策を担当する職員数を記載すればよろしいでしょうか。 (集落対策が幅広く、どのようなイメージで記載すればよいか、例等があればご教示いただきたいです)	たとえば集落支援員のサポート業務を専任で行っている職員や、集落支援員に類する活動をしている常勤職員などのイメージです。なお、前回調査を見ると、【専任職員を置いていない】と回答した自治体について、 ・まちづくり・地域振興・過疎対策等の業務と兼務 ・事業・課題ごとに担当各課で個別対応 ・集落支援員・地域おこし協力隊を配置・活用 などを実施体制としてあげている団体もありましたので、こちらを参考にそれぞれの自治体のご判断で専任の線引きをしていただければと存じます。
33	「支所・出張所までの距離」について、支所がない場合、「0.0km」と入力してきている市町村が散見されるが、どのように「0.0km」か「blank」か「-」かどのように記入すべきか。	「0.0km」と入力いただいた場合、当該集落を管轄する支所・出張所がないのか、支所・出張所が当該集落の中心地点なのか、いずれのケースなのか判別できなくなるので、当該集落を管轄する支所・出張所がない場合には、「-」を記入いただきたい。
34	前回調査で「離島地域に指定されている区域がある集落」と回答した集落(町単位)について、今回集落全体が調査対象となったケースがあります。この場合、回答として以下①または②が考えられますが、①継続として回答してよろしいでしょうか。 ①継続(A町)として回答(※ただし前回と54.90.91.92で回答が異なる) ②継続(A町) + 新規(A町)として回答(※集落番号が2件同じ集落名で重複する)	新たに調査対象区域に追加となったエリアが、実態として前回調査での「離島地域に指定されている区域がある集落」と同一集落であれば、①継続として御回答いただきまして構いません。その際、最右の「備考欄」に以下のように記載いただきたく存じます。 ——備考欄—— 前回調査では「離島地域に指定されている区域がある集落」として集落の一部が調査対象であったが、今回調査では集落全体が対象となったため前回と54.90.91.92で回答が異なる。
35	丹波市は過疎地域に指定されており、従来は氷上町・青垣町・市島町が過疎の指定を受けていた。R1～R5年度の間山南町が新たに過疎の指定を受けた。 今回の調査は山南町も追加して回答するようになるが、国からの調査票では山南町の回答欄が3行(山南町だけで)3か所ある。山南町は町単位で過疎指定を受けており、集落ごとに区切ることが難しいため1行での回答を考えているが、万が一国から3行になっている理由があれば教えていただきたい。	お尋ねの件につきまして、3行としている明確な意図はございませんので、実態に照らし山南町が一つの集落単位であれば、1行で御回答いただいて構いません。
36	「集落対策の専任職員数」は正規職員だけか、会計年度任用職員である集落支援員を含めて回答してよいのか。 当村では、会計年度任用職員3名を「集落支援員」として専任させているが、カウントしてよいのか。	自治体が担うべき集落対策の一部を、集落支援員を活用して実施するという整理ですので、今回の設問については、集落対策に係る専任のプロパー職員の有無で御回答いただけますと幸いです。 (会計年度任用職員を集落支援員として任用というより、集落支援員を会計年度任用職員として任用との整理) ※考え方(総務省)※ 「専任職員を置いていない市町村における集落対策の実施体制」についての記述回答に、「集落支援員・地域おこし協力隊を配置・活用」があったこと、続く問3で別途集落支援員の活用を聞いていることから、市町村のプロパー職員を想定して回答しました。
37	「集落対策の専任職員数」は正規職員だけか、集落支援員を含めて回答してよいのか。	自治体が担うべき集落対策の一部を、集落支援員を活用して実施するという整理ですので、今回の設問については、集落対策に係る専任のプロパー職員の有無で御回答いただけますと幸いです。 したがって、集落支援員が会計年度任用職員であれば、カウントしない。
38	背景 (13) 集落名 むつ市が過去に登録している集落名126項目のうち、70項目程度が住民基本台帳で追えるような町名、字名となっておらず、地域住民が使ういわゆる「俗称」でのエリアことになっており、世帯情報や人口情報を抽出することが大変困難となっております。 また、前回調査時に担当していた回答者がすでに庁内におらず、令和元年度(どういったデータを参照し抽出していたかわからないことや、仮に住基上の全世帯をB票上にある集落にあてはめようにも、集落が「俗称」でのエリアことになっているために、線引きが曖昧で不明瞭なこと から集落名を住基システムに習って再編する事を検討しています。 (過去の調査データとの関連は失われると思います。)	一般論として、本調査での「集落」とは、一定の土地に数戸以上の社会的まとまりが形成された、住民生活の基本的な地域単位であり、市町村行政において扱う行政区の基本単位と定義しております。 実態としては旧市町村単位、丁や字、地域独自の範囲など、市町村によって一集落の規模感は様々ですので、集落の単位については実情を踏まえて判断いただければ幸いです。 その上で、お尋ねの件に御回答すると、調査の継続性の観点から、原則、前回調査時と同様の単位での回答で構いませんが、前回調査の集落単位と実態が乖離している場合には、実態に即して是正いただいても構いません。その場合、同票(29)～(31)の再編状況の欄で前回調査回答との対応付け(分離)をしていただければと存じます。加えて、実態上集落の分離ではないとのことですので、上記と同様に、最右の「備考欄」に「実態に即した集落単位の適正化」である旨を記載いただけますと幸いです。
39	項目全般についてだが、例えば「道路・農道・橋梁の維持が困難」であれば、どのような場合に「維持が困難」と判断すればよいのか。基準がわからない。財政的に厳しいが、ただちに支障を来しているものではない。	現に維持管理に支障を来している状況であるか否かで御判断いただきたい。

No.	質問内容	回答内容
40	<p>地域区分について、農業地域類型に基づく地域区分として</p> <p>1.山間地: 山間農業地域。林野率が80%以上の集落。</p> <p>2.中間地: 中間農業地域。山間地と平地の中間にある集落。</p> <p>3.平地: 平地農業地域。林野率が50%未満でかつ耕地率20%以上の集落。</p> <p>4.都市: 都市的地域。DID面積のある集落。</p> <p>から選択するようにされているが、集落単位の林野率のデータが存在しない。地図等を基に概ねの地域区分を選択することによいか。</p>	<p>集落単位が旧市町村単位でない場合、集落単位での林野率のデータは存在しないと思われるため、地図やGISデータ等を基に、概ねの地域区分を選択いただいで構わない。</p>
41	<p>長浜市からの質問</p> <p>[A票]の対象は市内全域という認識でよいでしょうか。</p> <p>Q2「集落対策」の定義(具体例)を教えてください。</p> <p>※県の見解: 過疎地域等における集落対策の推進要綱の第2(1)の内容および第3(1)に記載の集落対策の方針に記載の内容</p> <p>[A票]Q7SQ 地域おこし協力隊にはミッション(特産品開発、自伐型林業、情報発信など)と合わせて、「原則、居住する地域コミュニティの一員として自治会に加入する」としていることから、自治会活動に当てはまる項目(2~8)に当てはまると考えられますが、よろしいでしょうか。</p>	<p>すべて県の見解どおりで問題ない。</p>
42	<p>サポート人材の配置状況(R06時点)</p> <p>地域おこし協力隊の活動エリアが「長浜市全域」の隊員がいます。この場合集落全てに○を付けて差し支えありませんか。</p>	<p>問題ない</p>
43	<p>(肝付町(半島)から質問)</p> <p>新幹線駅や空港までの距離について、フェリーのルートと高速道路のルートがあり、双方とも同等の利用頻度である場合、どちらの距離とすべきか。</p>	<p>当該項目については、主要な経路による概ねの道のり距離の記載をお願いしている。</p> <p>2ルートとも利用頻度が同等であり、主要な経路が一意に定まらない場合には、距離が短い方を記入いただきたい。</p>
44	<p>A票の「Q6」等に職員という記載がありますが、これは会計年度任用職員を含みますか。</p>	<p>会計年度任用職員は含まず、プロパー職員について御回答いただきたく存じます。</p>
45	<p>「特急停車駅までの距離」の”特急”は、乗車券のほか別途特急券を要するような特急を指しているのか。都市部の通勤快速のような特急券不要の特急・急行まで合せて良いのか。</p>	<p>新幹線に準ずるイメージで設けた設問であることから、乗車券のほか別途特急券を要するような特急のみとし、都市部の通勤快速のような特急券不要の特急・急行は含めないこととされたい。</p>
46	<p>集落の増減や区割りの変更などはないが、日頃管理している順番に並び替えたい(集落に紐付いている集落番号を変えたい)が問題ないか。</p>	<p>経年比較をする際に集落番号で紐付ける可能性もありますので、なるべく変更しないでいただきたいところです。</p> <p>ただ、もしどうしても並び順を変更したいということであれば、行ごとカット&ペースト等により、集落番号は変えずに行ごとの体裁を保ったまま並び替えていただく形(備考欄に並び替えを行った旨等記載)でご対応いただけますと幸いです。</p>

参考資料5 集落データ調査【B票】の基礎処理内容及び今後の課題

本調査において、回収した集落データ調査【B票】の分析にあたり実施したデータクリーニング等の基礎処理の実施内容を以下に示す。

視点	関連する列番号	実施内容
備考欄の確認	(141)	・備考欄の記載内容を確認し、調査票の集計において考慮すべき事項や留意点等を確認。
新規で追加された集落番号が前回調査結果に存在しないか	(12)	・新規追加集落に対し、過年度集落番号とマッチングしないことを確認。
集落番号がユニークな番号となっているか	(9) (12)	・集落番号（「旧市町村コード」＋「集落番号」）に重複がないことを確認。
自治体により新たに追加された行に対する基本情報の付与	(1)～(11)	・新たにデータが追加された行に着目し、「都道府県」及び項目(1)～(11)までの基本情報を付与。
再編のあった集落の入力内容の確認	(12)～(13) (29) (30)～(31)	・項目(29)で「4.再編なし」以外となっている行に対し、項目(12)～(13)及び(30～(31)の入力内容が誤っていないか確認。
集計上不適切な入力内容の確認	全般	・集計Excelの上部(1～9行目)において、各列ごとの回答コードが記載されているため、当該コード以外の情報が入力されていないか確認 ※特に、“○”や“—”等の記号について、全角半角の違いや、数値に“世帯”、“分”、“km”のように単位も含んだ回答等が散見。 ※選択肢以外の回答については集計漏れを防止するため、空欄もしくは“—”に変換。
関数で入力された回答の処理	全般	・Excel内の関数の入力により回答してある場合が散見され、集計データ統合の際にエラーが生じるため、値に変換。
調査対象区域としての“新規”、“継続”の統一	(11)	・調査対象区域としての“新規”、“継続”区分について、集落単位の区分で入力されている場合があり、前回調査との比較にずれが生じるため、修正。
集落番号の不一致等の修正	(12)	・前回調査時と集落番号や集落名が一致しない集落を抽出し、適正化。
無人化した集落の無人化時期の入力の統一化	(129)	・無人化した集落の無人化時期について、回答内容(元号の有無等)に差異があるため、統一化。
広域交通施設までの距離に対する空欄の処理	(49)～(52)	・広域交通施設までの距離に対する回答において、空欄が散見されるが、集計上“5km未満”と集計されるため、“—”(無回答扱い)に修正。
継続調査集落における再編状況の処理	(11) (29)	・調査対象区域の種別が“継続”である集落において、行政的再編の有無の回答が空欄である集落が散見され、前回調査との比較に係る集計漏れが生じるため、“4.再編なし”に修正。

また、今回の調査実施を踏まえた、今後の調査に向けた課題を以下に示す。

視点	内容
回答票における誤記入の防止	・今回調査の集落調査票【B票】の回答において、指定の入力内容と異なる内容の回答が散見された。当該回答については、集計が正しく行われない懸念があるため、適切な入力方法を分かりやすく伝える等、回答時点から不適切な回答を防止する工夫が望まれる。
広域交通施設等、距離を回答いただく場合の工夫	・距離を回答いただくような設問については、「直線距離か道のり距離か」や「計測の精度や単位(丸め)」等に関する質問を多くいただいたことや、回答者によってこれらを含む計測方法等に差が生じる懸念があるため、定義を明確化する等の工夫が望まれる。

過疎地域等における集落の状況に関する現況把握調査報告書

令和7年3月

国土交通省 国土政策局 総合計画課

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2 TEL:03-5253-8365(直通) FAX:03-5253-1570

〔調査・研究〕株式会社 福山コンサルタント

〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14神田平成ビル TEL:03-5296-9403 FAX:03-5296-9408